

〈教養教育科目〉

基礎ゼミ I

科目分類	100-110-21	授業コード	F00011
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	山本 元隆	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	山本 元隆	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 14:40~16:10 水曜日 14:40~16:10 後期 月曜日 14:40~16:10 水曜日 14:40~16:10	研究室	10-506
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	山本 元隆	【第 1 回】 予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業：前期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4）（発表） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	山本 元隆	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：大学での学び（教科書 第 2 章 pp.5-8） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	山本 元隆	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第 3 章 pp.9-14） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	山本 元隆	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業：学内ツアー（教科書 第 4 章 p.15）（フィールドワーク） 復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。	
5	山本 元隆	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第 5 章 pp.17-20）（フィールドワーク） 復習：教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	山本 元隆	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第 6 章 pp.21-24）（実習） 復習：教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	山本 元隆	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第 7 章 pp.25-28）（ディスカッション） 復習：教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	山本 元隆	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 1：レポートとは（教科書 第 8 章 pp.29-34） 復習：教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	山本 元隆	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 2：アウトライン（教科書 第 9 章 pp.35-40） 復習：教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	山本 元隆	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 3：書式・引用（教科書 第 10 章 pp.41-47） 復習：教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	

11	山本 元隆	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。						
12	山本 元隆	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
13	山本 元隆	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
14	山本 元隆	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
15	山本 元隆	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。						
授業開始前学習	教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法	提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材	人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書	授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法	各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	◎	○				
関連科目								
その他	臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F00012
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	榎本 環	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	榎本 環	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00~14:30 火曜日 10:40~12:10 後期 月曜日 13:00~14:30 火曜日 10:40~12:10	研究室	10-716
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	榎本 環	【第 1 回】 予習 : シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業 : 前期ガイダンス (教科書 第 1 章 pp.2-4) (発表) 復習 : 教科書第 1 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
2	榎本 環	【第 2 回】 予習 : 教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 大学での学び (教科書 第 2 章 pp.5-8) 復習 : 教科書第 2 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	榎本 環	【第 3 回】 予習 : 教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 人間総合学群の学び (全体授業) (教科書 第 3 章 pp.9-14) 復習 : 教科書第 3 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
4	榎本 環	【第 4 回】 予習 : 教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業 : 学内ツアー (教科書 第 4 章 p.15) (フィールドワーク) 復習 : 各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題 (感想・質問) を提出してください。	
5	榎本 環	【第 5 回】 予習 : 教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 図書館の使い方、文献・資料の探し方 (教科書 第 5 章 pp.17-20) (フィールドワーク) 復習 : 教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
6	榎本 環	【第 6 回】 予習 : 教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 講義の聞き方、メモ・ノートのとり方 (教科書 第 6 章 pp.21-24) (実習) 復習 : 教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
7	榎本 環	【第 7 回】 予習 : 教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 論理的に考える、問いを立てる (教科書 第 7 章 pp.25-28) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
8	榎本 環	【第 8 回】 予習 : 教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 1 : レポートとは (教科書 第 8 章 pp.29-34) 復習 : 教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
9	榎本 環	【第 9 回】 予習 : 教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 2 : アウトライン (教科書 第 9 章 pp.35-40) 復習 : 教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
10	榎本 環	【第 10 回】 予習 : 教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 3 : 書式・引用 (教科書 第 10 章 pp.41-47) 復習 : 教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	

11	榎本 環	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。							
12	榎本 環	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
13	榎本 環	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
14	榎本 環	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
15	榎本 環	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。							
授業開始前学習		教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書		授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00013
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	楠田 恵美	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	楠田 恵美	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 10:40～12:10 金曜日 14:40～16:10 後期 火曜日 10:40～12:10 金曜日 14:40～16:10	研究室	10-612
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	楠田 恵美	【第 1 回】 予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業：前期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4）（発表） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	楠田 恵美	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：大学での学び（教科書 第 2 章 pp.5-8） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	楠田 恵美	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第 3 章 pp.9-14） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	楠田 恵美	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業：学内ツアー（教科書 第 4 章 p.15）（フィールドワーク） 復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。	
5	楠田 恵美	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第 5 章 pp.17-20）（フィールドワーク） 復習：教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	楠田 恵美	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第 6 章 pp.21-24）（実習） 復習：教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	楠田 恵美	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第 7 章 pp.25-28）（ディスカッション） 復習：教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	楠田 恵美	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 1：レポートとは（教科書 第 8 章 pp.29-34） 復習：教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	楠田 恵美	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 2：アウトライン（教科書 第 9 章 pp.35-40） 復習：教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	楠田 恵美	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 3：書式・引用（教科書 第 10 章 pp.41-47） 復習：教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	

11	楠田 恵美	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。							
12	楠田 恵美	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
13	楠田 恵美	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
14	楠田 恵美	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
15	楠田 恵美	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。							
授業開始前学習		教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書		授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00014
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	小菅 清香	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	小菅 清香	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 金曜日 13:00~16:10 後期 金曜日 13:00~16:10	研究室	10-702
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	小菅 清香	【第 1 回】 予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業：前期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4）（発表） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	小菅 清香	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：大学での学び（教科書 第 2 章 pp.5-8） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	小菅 清香	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第 3 章 pp.9-14） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	小菅 清香	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業：学内ツアー（教科書 第 4 章 p.15）（フィールドワーク） 復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。	
5	小菅 清香	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第 5 章 pp.17-20）（フィールドワーク） 復習：教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	小菅 清香	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第 6 章 pp.21-24）（実習） 復習：教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	小菅 清香	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第 7 章 pp.25-28）（ディスカッション） 復習：教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	小菅 清香	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 1：レポートとは（教科書 第 8 章 pp.29-34） 復習：教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	小菅 清香	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 2：アウトライン（教科書 第 9 章 pp.35-40） 復習：教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	小菅 清香	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 3：書式・引用（教科書 第 10 章 pp.41-47） 復習：教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	

11	小菅 清香	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。							
12	小菅 清香	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
13	小菅 清香	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
14	小菅 清香	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
15	小菅 清香	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。							
授業開始前学習		教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書		授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00015
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	浅川 真知子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	浅川 真知子	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 10:30~12:00 木曜日 10:30~12:00 後期 火曜日 10:30~12:00 木曜日 10:30~12:00	研究室	10-603
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	浅川 真知子	【第 1 回】 予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業：前期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4）（発表） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	浅川 真知子	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：大学での学び（教科書 第 2 章 pp.5-8） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	浅川 真知子	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第 3 章 pp.9-14） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	浅川 真知子	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業：学内ツアー（教科書 第 4 章 p.15）（フィールドワーク） 復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。	
5	浅川 真知子	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第 5 章 pp.17-20）（フィールドワーク） 復習：教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	浅川 真知子	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第 6 章 pp.21-24）（実習） 復習：教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	浅川 真知子	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第 7 章 pp.25-28）（ディスカッション） 復習：教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	浅川 真知子	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 1：レポートとは（教科書 第 8 章 pp.29-34） 復習：教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	浅川 真知子	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 2：アウトライン（教科書 第 9 章 pp.35-40） 復習：教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	浅川 真知子	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 3：書式・引用（教科書 第 10 章 pp.41-47） 復習：教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	

11	浅川 真知子	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。							
12	浅川 真知子	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
13	浅川 真知子	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
14	浅川 真知子	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
15	浅川 真知子	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。							
授業開始前学習		教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書		授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00016
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	工藤 俊	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	工藤 俊	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00～14:30 火曜日 16:20～17:50 後期 月曜日 13:00～14:30 火曜日 16:20～17:50	研究室	10-607
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	工藤 俊	【第 1 回】 予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業：前期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4）（発表） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	工藤 俊	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：大学での学び（教科書 第 2 章 pp.5-8） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	工藤 俊	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第 3 章 pp.9-14） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	工藤 俊	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業：学内ツアー（教科書 第 4 章 p.15）（フィールドワーク） 復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。	
5	工藤 俊	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第 5 章 pp.17-20）（フィールドワーク） 復習：教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	工藤 俊	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第 6 章 pp.21-24）（実習） 復習：教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	工藤 俊	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第 7 章 pp.25-28）（ディスカッション） 復習：教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	工藤 俊	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 1：レポートとは（教科書 第 8 章 pp.29-34） 復習：教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	工藤 俊	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 2：アウトライン（教科書 第 9 章 pp.35-40） 復習：教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	工藤 俊	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 3：書式・引用（教科書 第 10 章 pp.41-47） 復習：教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	

11	工藤 俊	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。							
12	工藤 俊	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
13	工藤 俊	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
14	工藤 俊	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
15	工藤 俊	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。							
授業開始前学習		教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書		授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00017
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	本間 准	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	本間 准	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 10:40～12:10 金曜日 16:20～17:50 後期 水曜日 10:40～12:10 金曜日 16:20～17:50	研究室	10-720
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	本間 准	【第 1 回】 予習 : シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業 : 前期ガイダンス (教科書 第 1 章 pp.2-4) (発表) 復習 : 教科書第 1 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
2	本間 准	【第 2 回】 予習 : 教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 大学での学び (教科書 第 2 章 pp.5-8) 復習 : 教科書第 2 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	本間 准	【第 3 回】 予習 : 教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 人間総合学群の学び (全体授業) (教科書 第 3 章 pp.9-14) 復習 : 教科書第 3 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
4	本間 准	【第 4 回】 予習 : 教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業 : 学内ツアー (教科書 第 4 章 p.15) (フィールドワーク) 復習 : 各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題 (感想・質問) を提出してください。	
5	本間 准	【第 5 回】 予習 : 教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 図書館の使い方、文献・資料の探し方 (教科書 第 5 章 pp.17-20) (フィールドワーク) 復習 : 教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
6	本間 准	【第 6 回】 予習 : 教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 講義の聞き方、メモ・ノートのとり方 (教科書 第 6 章 pp.21-24) (実習) 復習 : 教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
7	本間 准	【第 7 回】 予習 : 教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 論理的に考える、問いを立てる (教科書 第 7 章 pp.25-28) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
8	本間 准	【第 8 回】 予習 : 教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 1 : レポートとは (教科書 第 8 章 pp.29-34) 復習 : 教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
9	本間 准	【第 9 回】 予習 : 教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 2 : アウトライン (教科書 第 9 章 pp.35-40) 復習 : 教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
10	本間 准	【第 10 回】 予習 : 教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 3 : 書式・引用 (教科書 第 10 章 pp.41-47) 復習 : 教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	

11	本間 准	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。							
12	本間 准	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
13	本間 准	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
14	本間 准	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
15	本間 准	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。							
授業開始前学習		教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書		授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00018
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	渡邊 光章	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	渡邊 光章	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 16:20～17:50 金曜日 13:00～14:30 後期 水曜日 16:20～17:50 金曜日 13:00～14:30	研究室	10-501
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	渡邊 光章	【第 1 回】 予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業：前期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4）（発表） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	渡邊 光章	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：大学での学び（教科書 第 2 章 pp.5-8） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	渡邊 光章	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第 3 章 pp.9-14） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	渡邊 光章	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業：学内ツアー（教科書 第 4 章 p.15）（フィールドワーク） 復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。	
5	渡邊 光章	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第 5 章 pp.17-20）（フィールドワーク） 復習：教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	渡邊 光章	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第 6 章 pp.21-24）（実習） 復習：教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	渡邊 光章	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第 7 章 pp.25-28）（ディスカッション） 復習：教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	渡邊 光章	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 1：レポートとは（教科書 第 8 章 pp.29-34） 復習：教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	渡邊 光章	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 2：アウトライン（教科書 第 9 章 pp.35-40） 復習：教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	渡邊 光章	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 3：書式・引用（教科書 第 10 章 pp.41-47） 復習：教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	

11	渡邊 光章	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。							
12	渡邊 光章	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
13	渡邊 光章	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
14	渡邊 光章	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
15	渡邊 光章	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。							
授業開始前学習		教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書		授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00019
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	田代 真人	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	田代 真人	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 10:30~12:00 木曜日 10:30~12:00 後期 火曜日 10:30~12:00 木曜日 10:30~12:00	研究室	10-613
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	田代 真人	【第 1 回】 予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業：前期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4）（発表） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	田代 真人	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：大学での学び（教科書 第 2 章 pp.5-8） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	田代 真人	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第 3 章 pp.9-14） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	田代 真人	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業：学内ツアー（教科書 第 4 章 p.15）（フィールドワーク） 復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。	
5	田代 真人	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第 5 章 pp.17-20）（フィールドワーク） 復習：教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	田代 真人	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第 6 章 pp.21-24）（実習） 復習：教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	田代 真人	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第 7 章 pp.25-28）（ディスカッション） 復習：教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	田代 真人	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 1：レポートとは（教科書 第 8 章 pp.29-34） 復習：教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	田代 真人	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 2：アウトライン（教科書 第 9 章 pp.35-40） 復習：教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	田代 真人	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 3：書式・引用（教科書 第 10 章 pp.41-47） 復習：教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	

11	田代 真人	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。						
12	田代 真人	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
13	田代 真人	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
14	田代 真人	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
15	田代 真人	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。						
授業開始前学習	教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法	提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材	人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書	授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法	各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	◎	○				
関連科目								
その他	臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F00020
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	明田川 紀彦	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	明田川 紀彦	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00～12:10 火曜日 09:00～12:10 後期 水曜日 09:00～12:10 火曜日 09:00～12:10	研究室	10-707
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	明田川 紀彦	【第 1 回】 予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業：前期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4）（発表） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	明田川 紀彦	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：大学での学び（教科書 第 2 章 pp.5-8） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	明田川 紀彦	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第 3 章 pp.9-14） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	明田川 紀彦	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業：学内ツアー（教科書 第 4 章 p.15）（フィールドワーク） 復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。	
5	明田川 紀彦	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第 5 章 pp.17-20）（フィールドワーク） 復習：教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	明田川 紀彦	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第 6 章 pp.21-24）（実習） 復習：教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	明田川 紀彦	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第 7 章 pp.25-28）（ディスカッション） 復習：教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	明田川 紀彦	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 1：レポートとは（教科書 第 8 章 pp.29-34） 復習：教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	明田川 紀彦	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 2：アウトライン（教科書 第 9 章 pp.35-40） 復習：教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	明田川 紀彦	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 3：書式・引用（教科書 第 10 章 pp.41-47） 復習：教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	

11	明田川 紀彦	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。							
12	明田川 紀彦	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
13	明田川 紀彦	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
14	明田川 紀彦	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
15	明田川 紀彦	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。							
授業開始前学習		教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書		授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00021
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	依田 尚也	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	依田 尚也	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 14:40～16:10 火曜日 16:20～17:50 後期 火曜日 14:40～16:10 火曜日 16:20～17:50	研究室	10-715
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	依田 尚也	【第 1 回】 予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業：前期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4）（発表） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	依田 尚也	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：大学での学び（教科書 第 2 章 pp.5-8） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	依田 尚也	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第 3 章 pp.9-14） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	依田 尚也	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業：学内ツアー（教科書 第 4 章 p.15）（フィールドワーク） 復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。	
5	依田 尚也	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第 5 章 pp.17-20）（フィールドワーク） 復習：教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	依田 尚也	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第 6 章 pp.21-24）（実習） 復習：教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	依田 尚也	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第 7 章 pp.25-28）（ディスカッション） 復習：教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	依田 尚也	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 1：レポートとは（教科書 第 8 章 pp.29-34） 復習：教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	依田 尚也	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 2：アウトライン（教科書 第 9 章 pp.35-40） 復習：教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	依田 尚也	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 3：書式・引用（教科書 第 10 章 pp.41-47） 復習：教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	

11	依田 尚也	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。						
12	依田 尚也	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
13	依田 尚也	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
14	依田 尚也	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
15	依田 尚也	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。						
授業開始前学習	教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法	提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材	人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書	授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法	各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	◎	○				
関連科目								
その他	臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F00022
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	保坂 律子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	保坂 律子	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 10:00~13:00 後期 水曜日 10:00~13:00	研究室	10-709
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	保坂 律子	【第 1 回】 予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業：前期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4）（発表） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	保坂 律子	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：大学での学び（教科書 第 2 章 pp.5-8） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	保坂 律子	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第 3 章 pp.9-14） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	保坂 律子	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業：学内ツアー（教科書 第 4 章 p.15）（フィールドワーク） 復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。	
5	保坂 律子	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第 5 章 pp.17-20）（フィールドワーク） 復習：教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	保坂 律子	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第 6 章 pp.21-24）（実習） 復習：教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	保坂 律子	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第 7 章 pp.25-28）（ディスカッション） 復習：教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	保坂 律子	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 1：レポートとは（教科書 第 8 章 pp.29-34） 復習：教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	保坂 律子	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 2：アウトライン（教科書 第 9 章 pp.35-40） 復習：教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	保坂 律子	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 3：書式・引用（教科書 第 10 章 pp.41-47） 復習：教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	

11	保坂 律子	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。							
12	保坂 律子	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
13	保坂 律子	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
14	保坂 律子	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
15	保坂 律子	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。							
授業開始前学習		教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書		授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00023
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	米金 孝雄	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	米金 孝雄	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 10:10～10:40 木曜日 10:30～13:00 後期 水曜日 10:00～10:40 水曜日 12:10～13:00	研究室	10-711
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	米金 孝雄	【第 1 回】 予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業：前期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4）（発表） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	米金 孝雄	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：大学での学び（教科書 第 2 章 pp.5-8） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	米金 孝雄	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第 3 章 pp.9-14） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	米金 孝雄	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業：学内ツアー（教科書 第 4 章 p.15）（フィールドワーク） 復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。	
5	米金 孝雄	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第 5 章 pp.17-20）（フィールドワーク） 復習：教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	米金 孝雄	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第 6 章 pp.21-24）（実習） 復習：教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	米金 孝雄	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第 7 章 pp.25-28）（ディスカッション） 復習：教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	米金 孝雄	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 1：レポートとは（教科書 第 8 章 pp.29-34） 復習：教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	米金 孝雄	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 2：アウトライン（教科書 第 9 章 pp.35-40） 復習：教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	米金 孝雄	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 3：書式・引用（教科書 第 10 章 pp.41-47） 復習：教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	

11	米金 孝雄	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。						
12	米金 孝雄	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
13	米金 孝雄	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
14	米金 孝雄	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
15	米金 孝雄	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。						
授業開始前学習	教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法	提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材	人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書	授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法	各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	◎	○				
関連科目								
その他	臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F00024
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	李 志炯	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	李 志炯	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 09:00~10:30 水曜日 13:00~14:30 後期 火曜日 09:00~10:30 水曜日 16:20~17:50	研究室	1-207
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	李 志炯	【第 1 回】 予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業：前期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4）（発表） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	李 志炯	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：大学での学び（教科書 第 2 章 pp.5-8） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	李 志炯	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第 3 章 pp.9-14） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	李 志炯	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業：学内ツアー（教科書 第 4 章 p.15）（フィールドワーク） 復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。	
5	李 志炯	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第 5 章 pp.17-20）（フィールドワーク） 復習：教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	李 志炯	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第 6 章 pp.21-24）（実習） 復習：教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	李 志炯	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第 7 章 pp.25-28）（ディスカッション） 復習：教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	李 志炯	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 1：レポートとは（教科書 第 8 章 pp.29-34） 復習：教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	李 志炯	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 2：アウトライン（教科書 第 9 章 pp.35-40） 復習：教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	李 志炯	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 3：書式・引用（教科書 第 10 章 pp.41-47） 復習：教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	

11	李志炯	【第11回】 予習：教科書第11章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方4：レポートの意義（教科書第11章 pp.48-49） 復習：教科書第11章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。							
12	李志炯	【第12回】 予習：教科書第12章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ミニレポートのふりかえり（教科書第12章 p.50） 復習：教科書第12章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	李志炯	【第13回】 予習：教科書第13章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学術的文章に親しむ1：本との出会い（教科書第13章 pp.51-54）（ディスカッション） 復習：教科書第13章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	李志炯	【第14回】 予習：教科書第14章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学術的文章に親しむ2：読書の意義（教科書第14章 p.55）（ディスカッション） 復習：教科書第14章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	李志炯	【第15回】 予習：前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業：前期ふりかえり（教科書第15章 p.56） 復習：前期の成果をふりかえりましょう。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミⅠ』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：ミニレポート・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00025
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	松元 良枝	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	松元 良枝	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 木曜日 09:00~10:30 木曜日 10:40~12:10 後期 木曜日 09:00~10:30 木曜日 10:40~12:10	研究室	10-601
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	松元 良枝	【第 1 回】 予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業：前期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4）（発表） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	松元 良枝	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：大学での学び（教科書 第 2 章 pp.5-8） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	松元 良枝	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第 3 章 pp.9-14） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	松元 良枝	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業：学内ツアー（教科書 第 4 章 p.15）（フィールドワーク） 復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。	
5	松元 良枝	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第 5 章 pp.17-20）（フィールドワーク） 復習：教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	松元 良枝	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第 6 章 pp.21-24）（実習） 復習：教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	松元 良枝	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第 7 章 pp.25-28）（ディスカッション） 復習：教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	松元 良枝	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 1：レポートとは（教科書 第 8 章 pp.29-34） 復習：教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	松元 良枝	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 2：アウトライン（教科書 第 9 章 pp.35-40） 復習：教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	松元 良枝	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 3：書式・引用（教科書 第 10 章 pp.41-47） 復習：教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	

11	松元 良枝	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。						
12	松元 良枝	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
13	松元 良枝	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
14	松元 良枝	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
15	松元 良枝	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。						
授業開始前学習	教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法	提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材	人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書	授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法	各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	◎	○				
関連科目								
その他	臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F00026
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	堀邊 阿伊子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	堀邊 阿伊子	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 13:00~16:00 後期 金曜日 13:00~16:00	研究室	10-619
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	堀邊 阿伊子	【第 1 回】 予習 : シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業 : 前期ガイダンス (教科書 第 1 章 pp.2-4) (発表) 復習 : 教科書第 1 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
2	堀邊 阿伊子	【第 2 回】 予習 : 教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 大学での学び (教科書 第 2 章 pp.5-8) 復習 : 教科書第 2 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	堀邊 阿伊子	【第 3 回】 予習 : 教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 人間総合学群の学び (全体授業) (教科書 第 3 章 pp.9-14) 復習 : 教科書第 3 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
4	堀邊 阿伊子	【第 4 回】 予習 : 教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業 : 学内ツアー (教科書 第 4 章 p.15) (フィールドワーク) 復習 : 各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題 (感想・質問) を提出してください。	
5	堀邊 阿伊子	【第 5 回】 予習 : 教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 図書館の使い方、文献・資料の探し方 (教科書 第 5 章 pp.17-20) (フィールドワーク) 復習 : 教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
6	堀邊 阿伊子	【第 6 回】 予習 : 教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 講義の聞き方、メモ・ノートのとり方 (教科書 第 6 章 pp.21-24) (実習) 復習 : 教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
7	堀邊 阿伊子	【第 7 回】 予習 : 教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 論理的に考える、問いを立てる (教科書 第 7 章 pp.25-28) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
8	堀邊 阿伊子	【第 8 回】 予習 : 教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 1 : レポートとは (教科書 第 8 章 pp.29-34) 復習 : 教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
9	堀邊 阿伊子	【第 9 回】 予習 : 教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 2 : アウトライン (教科書 第 9 章 pp.35-40) 復習 : 教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
10	堀邊 阿伊子	【第 10 回】 予習 : 教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 3 : 書式・引用 (教科書 第 10 章 pp.41-47) 復習 : 教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	

11	堀邊 阿伊子	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。						
12	堀邊 阿伊子	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
13	堀邊 阿伊子	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
14	堀邊 阿伊子	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
15	堀邊 阿伊子	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。						
授業開始前学習	教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法	提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材	人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書	授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法	各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	◎	○				
関連科目								
その他	臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F00027
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	山崎 陽菜	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	山崎 陽菜	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 14:40～16:40 金曜日 14:40～15:40 後期 水曜日 11:00～12:00 水曜日 14:40～16:40	研究室	2-201
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	山崎 陽菜	【第 1 回】 予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業：前期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4）（発表） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	山崎 陽菜	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：大学での学び（教科書 第 2 章 pp.5-8） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	山崎 陽菜	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第 3 章 pp.9-14） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	山崎 陽菜	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業：学内ツアー（教科書 第 4 章 p.15）（フィールドワーク） 復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。	
5	山崎 陽菜	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第 5 章 pp.17-20）（フィールドワーク） 復習：教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	山崎 陽菜	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第 6 章 pp.21-24）（実習） 復習：教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	山崎 陽菜	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第 7 章 pp.25-28）（ディスカッション） 復習：教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	山崎 陽菜	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 1：レポートとは（教科書 第 8 章 pp.29-34） 復習：教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	山崎 陽菜	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 2：アウトライン（教科書 第 9 章 pp.35-40） 復習：教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	山崎 陽菜	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 3：書式・引用（教科書 第 10 章 pp.41-47） 復習：教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	

11	山崎 陽菜	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。							
12	山崎 陽菜	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
13	山崎 陽菜	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
14	山崎 陽菜	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
15	山崎 陽菜	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。							
授業開始前学習		教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書		授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00041
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	橋本 衆宝	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	橋本 衆宝	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00~12:00 後期 水曜日 09:00~12:00	研究室	10-616
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	橋本 衆宝	【第 1 回】 予習 : シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業 : 前期ガイダンス (教科書 第 1 章 pp.2-4) (発表) 復習 : 教科書第 1 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
2	橋本 衆宝	【第 2 回】 予習 : 教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 大学での学び (教科書 第 2 章 pp.5-8) 復習 : 教科書第 2 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	橋本 衆宝	【第 3 回】 予習 : 教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 人間総合学群の学び (全体授業) (教科書 第 3 章 pp.9-14) 復習 : 教科書第 3 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
4	橋本 衆宝	【第 4 回】 予習 : 教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業 : 学内ツアー (教科書 第 4 章 p.15) (フィールドワーク) 復習 : 各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題 (感想・質問) を提出してください。	
5	橋本 衆宝	【第 5 回】 予習 : 教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 図書館の使い方、文献・資料の探し方 (教科書 第 5 章 pp.17-20) (フィールドワーク) 復習 : 教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
6	橋本 衆宝	【第 6 回】 予習 : 教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 講義の聞き方、メモ・ノートのとり方 (教科書 第 6 章 pp.21-24) (実習) 復習 : 教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
7	橋本 衆宝	【第 7 回】 予習 : 教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 論理的に考える、問いを立てる (教科書 第 7 章 pp.25-28) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
8	橋本 衆宝	【第 8 回】 予習 : 教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 1 : レポートとは (教科書 第 8 章 pp.29-34) 復習 : 教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
9	橋本 衆宝	【第 9 回】 予習 : 教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 2 : アウトライン (教科書 第 9 章 pp.35-40) 復習 : 教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	
10	橋本 衆宝	【第 10 回】 予習 : 教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 3 : 書式・引用 (教科書 第 10 章 pp.41-47) 復習 : 教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。	

11	橋本 衆宝	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。							
12	橋本 衆宝	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
13	橋本 衆宝	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
14	橋本 衆宝	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
15	橋本 衆宝	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。							
授業開始前学習		教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書		授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00042
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	渡邊 光章	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	渡邊 光章	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 16:20～17:50 金曜日 13:00～14:30 後期 水曜日 16:20～17:50 金曜日 13:00～14:30	研究室	10-501
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	渡邊 光章	【第 1 回】 予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業：前期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4）（発表） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	渡邊 光章	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：大学での学び（教科書 第 2 章 pp.5-8） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	渡邊 光章	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第 3 章 pp.9-14） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	渡邊 光章	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業：学内ツアー（教科書 第 4 章 p.15）（フィールドワーク） 復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。	
5	渡邊 光章	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第 5 章 pp.17-20）（フィールドワーク） 復習：教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	渡邊 光章	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第 6 章 pp.21-24）（実習） 復習：教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	渡邊 光章	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第 7 章 pp.25-28）（ディスカッション） 復習：教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	渡邊 光章	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 1：レポートとは（教科書 第 8 章 pp.29-34） 復習：教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	渡邊 光章	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 2：アウトライン（教科書 第 9 章 pp.35-40） 復習：教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	渡邊 光章	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 3：書式・引用（教科書 第 10 章 pp.41-47） 復習：教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	

11	渡邊 光章	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。							
12	渡邊 光章	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
13	渡邊 光章	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
14	渡邊 光章	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
15	渡邊 光章	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。							
授業開始前学習		教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書		授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00043
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	明田川 紀彦	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	明田川 紀彦	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00～12:10 火曜日 09:00～12:10 後期 水曜日 09:00～12:10 火曜日 09:00～12:10	研究室	10-707
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	明田川 紀彦	【第 1 回】 予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業：前期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4）（発表） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	明田川 紀彦	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：大学での学び（教科書 第 2 章 pp.5-8） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	明田川 紀彦	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第 3 章 pp.9-14） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	明田川 紀彦	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業：学内ツアー（教科書 第 4 章 p.15）（フィールドワーク） 復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。	
5	明田川 紀彦	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第 5 章 pp.17-20）（フィールドワーク） 復習：教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	明田川 紀彦	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第 6 章 pp.21-24）（実習） 復習：教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	明田川 紀彦	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第 7 章 pp.25-28）（ディスカッション） 復習：教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	明田川 紀彦	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 1：レポートとは（教科書 第 8 章 pp.29-34） 復習：教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	明田川 紀彦	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 2：アウトライン（教科書 第 9 章 pp.35-40） 復習：教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	明田川 紀彦	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 3：書式・引用（教科書 第 10 章 pp.41-47） 復習：教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	

11	明田川 紀彦	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。							
12	明田川 紀彦	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
13	明田川 紀彦	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
14	明田川 紀彦	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。							
15	明田川 紀彦	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。							
授業開始前学習		教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書		授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00044
科目名称	基礎ゼミ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	鈴木 利彦	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 利彦	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 09:00~12:10 後期 火曜日 09:00~12:10	研究室	10-509
授業概要	初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。大学生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	鈴木 利彦	【第 1 回】 予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。 授業：前期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4）（発表） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	鈴木 利彦	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：大学での学び（教科書 第 2 章 pp.5-8） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メール「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください	
3	鈴木 利彦	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第 3 章 pp.9-14） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	鈴木 利彦	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点を確認しておいてください。 授業：学内ツアー（教科書 第 4 章 p.15）（フィールドワーク） 復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。	
5	鈴木 利彦	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第 5 章 pp.17-20）（フィールドワーク） 復習：教科書第 5 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	鈴木 利彦	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第 6 章 pp.21-24）（実習） 復習：教科書第 6 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	鈴木 利彦	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第 7 章 pp.25-28）（ディスカッション） 復習：教科書第 7 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	鈴木 利彦	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 1：レポートとは（教科書 第 8 章 pp.29-34） 復習：教科書第 8 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	鈴木 利彦	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 2：アウトライン（教科書 第 9 章 pp.35-40） 復習：教科書第 9 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	鈴木 利彦	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：レポートの書き方 3：書式・引用（教科書 第 10 章 pp.41-47） 復習：教科書第 10 章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	

11	鈴木 利彦	【第 11 回】 予習 : 教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : レポートの書き方 4 : レポートの意義 (教科書 第 11 章 pp.48-49) 復習 : 教科書第 11 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。						
12	鈴木 利彦	【第 12 回】 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50) 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
13	鈴木 利彦	【第 13 回】 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
14	鈴木 利彦	【第 14 回】 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション) 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。						
15	鈴木 利彦	【第 15 回】 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56) 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。						
授業開始前学習	教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法	提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材	人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書	授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法	各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文等) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	◎	○				
関連科目								
その他	臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F00061
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	山本 元隆	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	山本 元隆	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 14:40～16:10 水曜日 14:40～16:10 後期 月曜日 14:40～16:10 水曜日 14:40～16:10	研究室	10-506
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	山本 元隆	【第 1 回】 予習：教科書第 1 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	山本 元隆	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICT メディアの活用（教科書 第 2 章 pp.2-7） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	山本 元隆	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 1：準備（教科書 第 3 章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	山本 元隆	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 2：実施 1（教科書 第 4 章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第 4 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	山本 元隆	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 3：実施 2（教科書 第 5 章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第 5 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	山本 元隆	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第 6 章 pp.17） 復習：教科書第 6 章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	山本 元隆	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 1（教科書 第 7 章 pp.18-24） 復習：教科書第 7 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	山本 元隆	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 2（教科書 第 8 章 pp.25-28） 復習：教科書第 8 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	山本 元隆	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 3（教科書 第 9 章 pp.29-30） 復習：教科書第 9 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	山本 元隆	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 1：グループ・テーマの設定（教科書 第 10 章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 10 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	山本 元隆	【第 11 回】 予習：教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 2：資料収集（教科書 第 11 章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	山本 元隆	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	山本 元隆	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	山本 元隆	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	山本 元隆	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00062
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	榎本 環	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	榎本 環	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00～14:30 火曜日 10:40～12:10 後期 月曜日 13:00～14:30 火曜日 10:40～12:10	研究室	10-716
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として4年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	榎本 環	【第1回】 予習：教科書第1章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第1章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第1章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	榎本 環	【第2回】 予習：教科書第2章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICTメディアの活用（教科書 第2章 pp.2-7） 復習：教科書第2章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	榎本 環	【第3回】 予習：教科書第3章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション1：準備（教科書 第3章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第3章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	榎本 環	【第4回】 予習：教科書第4章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション2：実施1（教科書 第4章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第4章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	榎本 環	【第5回】 予習：教科書第5章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション3：実施2（教科書 第5章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第5章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	榎本 環	【第6回】 予習：教科書第6章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第6章 pp.17） 復習：教科書第6章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	榎本 環	【第7回】 予習：教科書第7章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方1（教科書 第7章 pp.18-24） 復習：教科書第7章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	榎本 環	【第8回】 予習：教科書第8章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方2（教科書 第8章 pp.25-28） 復習：教科書第8章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	榎本 環	【第9回】 予習：教科書第9章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方3（教科書 第9章 pp.29-30） 復習：教科書第9章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	榎本 環	【第10回】 予習：教科書第10章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション1：グループ・テーマの設定（教科書 第10章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第10章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	榎本 環	【第11回】 予習：教科書第11章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション2：資料収集（教科書 第11章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	榎本 環	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	榎本 環	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	榎本 環	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	榎本 環	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00063
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	楠田 恵美	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	楠田 恵美	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 10:40～12:10 金曜日 14:40～16:10 後期 火曜日 10:40～12:10 金曜日 14:40～16:10	研究室	10-612
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	楠田 恵美	【第 1 回】 予習：教科書第 1 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	楠田 恵美	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICT メディアの活用（教科書 第 2 章 pp.2-7） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	楠田 恵美	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 1：準備（教科書 第 3 章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	楠田 恵美	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 2：実施 1（教科書 第 4 章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第 4 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	楠田 恵美	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 3：実施 2（教科書 第 5 章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第 5 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	楠田 恵美	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第 6 章 pp.17） 復習：教科書第 6 章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	楠田 恵美	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 1（教科書 第 7 章 pp.18-24） 復習：教科書第 7 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	楠田 恵美	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 2（教科書 第 8 章 pp.25-28） 復習：教科書第 8 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	楠田 恵美	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 3（教科書 第 9 章 pp.29-30） 復習：教科書第 9 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	楠田 恵美	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 1：グループ・テーマの設定（教科書 第 10 章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 10 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	楠田 恵美	【第 11 回】 予習：教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 2：資料収集（教科書 第 11 章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	楠田 恵美	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	楠田 恵美	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	楠田 恵美	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	楠田 恵美	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00064
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	小菅 清香	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	小菅 清香	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 金曜日 13:00～16:10 後期 金曜日 13:00～16:10	研究室	10-702
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	小菅 清香	【第 1 回】 予習：教科書第 1 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	小菅 清香	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICT メディアの活用（教科書 第 2 章 pp.2-7） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	小菅 清香	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 1：準備（教科書 第 3 章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	小菅 清香	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 2：実施 1（教科書 第 4 章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第 4 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	小菅 清香	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 3：実施 2（教科書 第 5 章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第 5 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	小菅 清香	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第 6 章 pp.17） 復習：教科書第 6 章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	小菅 清香	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 1（教科書 第 7 章 pp.18-24） 復習：教科書第 7 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	小菅 清香	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 2（教科書 第 8 章 pp.25-28） 復習：教科書第 8 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	小菅 清香	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 3（教科書 第 9 章 pp.29-30） 復習：教科書第 9 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	小菅 清香	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 1：グループ・テーマの設定（教科書 第 10 章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 10 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	小菅 清香	【第 11 回】 予習：教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 2：資料収集（教科書 第 11 章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	小菅 清香	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	小菅 清香	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	小菅 清香	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	小菅 清香	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00065
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	浅川 真知子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	浅川 真知子	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 10:30～12:00 木曜日 10:30～12:00 後期 火曜日 10:30～12:00 木曜日 10:30～12:00	研究室	10-603
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	浅川 真知子	【第 1 回】 予習：教科書第 1 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	浅川 真知子	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICT メディアの活用（教科書 第 2 章 pp.2-7） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	浅川 真知子	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 1：準備（教科書 第 3 章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	浅川 真知子	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 2：実施 1（教科書 第 4 章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第 4 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	浅川 真知子	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 3：実施 2（教科書 第 5 章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第 5 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	浅川 真知子	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第 6 章 pp.17） 復習：教科書第 6 章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	浅川 真知子	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 1（教科書 第 7 章 pp.18-24） 復習：教科書第 7 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	浅川 真知子	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 2（教科書 第 8 章 pp.25-28） 復習：教科書第 8 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	浅川 真知子	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 3（教科書 第 9 章 pp.29-30） 復習：教科書第 9 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	浅川 真知子	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 1：グループ・テーマの設定（教科書 第 10 章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 10 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	浅川 真知子	【第 11 回】 予習：教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 2：資料収集（教科書 第 11 章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	浅川 真知子	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	浅川 真知子	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	浅川 真知子	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	浅川 真知子	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00066
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	工藤 俊	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	工藤 俊	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00～14:30 火曜日 16:20～17:50 後期 月曜日 13:00～14:30 火曜日 16:20～17:50	研究室	10-607
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として4年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	工藤 俊	【第1回】 予習：教科書第1章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第1章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第1章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	工藤 俊	【第2回】 予習：教科書第2章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICTメディアの活用（教科書 第2章 pp.2-7） 復習：教科書第2章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	工藤 俊	【第3回】 予習：教科書第3章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション1：準備（教科書 第3章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第3章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	工藤 俊	【第4回】 予習：教科書第4章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション2：実施1（教科書 第4章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第4章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	工藤 俊	【第5回】 予習：教科書第5章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション3：実施2（教科書 第5章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第5章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	工藤 俊	【第6回】 予習：教科書第6章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第6章 pp.17） 復習：教科書第6章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	工藤 俊	【第7回】 予習：教科書第7章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方1（教科書 第7章 pp.18-24） 復習：教科書第7章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	工藤 俊	【第8回】 予習：教科書第8章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方2（教科書 第8章 pp.25-28） 復習：教科書第8章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	工藤 俊	【第9回】 予習：教科書第9章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方3（教科書 第9章 pp.29-30） 復習：教科書第9章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	工藤 俊	【第10回】 予習：教科書第10章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション1：グループ・テーマの設定（教科書 第10章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第10章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	工藤 俊	【第11回】 予習：教科書第11章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション2：資料収集（教科書 第11章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	工藤 俊	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	工藤 俊	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	工藤 俊	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	工藤 俊	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00067
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	本間 准	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	本間 准	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 10:40～12:10 金曜日 16:20～17:50 後期 水曜日 10:40～12:10 金曜日 16:20～17:50	研究室	10-720
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	本間 准	【第 1 回】 予習：教科書第 1 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	本間 准	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICT メディアの活用（教科書 第 2 章 pp.2-7） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	本間 准	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 1：準備（教科書 第 3 章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	本間 准	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 2：実施 1（教科書 第 4 章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第 4 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	本間 准	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 3：実施 2（教科書 第 5 章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第 5 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	本間 准	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第 6 章 pp.17） 復習：教科書第 6 章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	本間 准	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 1（教科書 第 7 章 pp.18-24） 復習：教科書第 7 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	本間 准	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 2（教科書 第 8 章 pp.25-28） 復習：教科書第 8 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	本間 准	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 3（教科書 第 9 章 pp.29-30） 復習：教科書第 9 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	本間 准	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 1：グループ・テーマの設定（教科書 第 10 章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 10 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	本間 准	【第 11 回】 予習：教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 2：資料収集（教科書 第 11 章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	本間 准	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	本間 准	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	本間 准	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	本間 准	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00068
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	渡邊 光章	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	渡邊 光章	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 16:20～17:50 金曜日 13:00～14:30 後期 水曜日 16:20～17:50 金曜日 13:00～14:30	研究室	10-501
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	渡邊 光章	【第 1 回】 予習：教科書第 1 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	渡邊 光章	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICT メディアの活用（教科書 第 2 章 pp.2-7） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	渡邊 光章	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 1：準備（教科書 第 3 章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	渡邊 光章	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 2：実施 1（教科書 第 4 章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第 4 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	渡邊 光章	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 3：実施 2（教科書 第 5 章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第 5 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	渡邊 光章	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第 6 章 pp.17） 復習：教科書第 6 章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	渡邊 光章	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 1（教科書 第 7 章 pp.18-24） 復習：教科書第 7 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	渡邊 光章	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 2（教科書 第 8 章 pp.25-28） 復習：教科書第 8 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	渡邊 光章	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 3（教科書 第 9 章 pp.29-30） 復習：教科書第 9 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	渡邊 光章	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 1：グループ・テーマの設定（教科書 第 10 章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 10 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	渡邊 光章	【第 11 回】 予習：教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 2：資料収集（教科書 第 11 章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	渡邊 光章	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	渡邊 光章	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	渡邊 光章	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	渡邊 光章	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00069
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	田代 真人	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	田代 真人	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 10:30～12:00 木曜日 10:30～12:00 後期 火曜日 10:30～12:00 木曜日 10:30～12:00	研究室	10-613
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	田代 真人	【第 1 回】 予習：教科書第 1 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	田代 真人	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICT メディアの活用（教科書 第 2 章 pp.2-7） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	田代 真人	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 1：準備（教科書 第 3 章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	田代 真人	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 2：実施 1（教科書 第 4 章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第 4 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	田代 真人	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 3：実施 2（教科書 第 5 章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第 5 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	田代 真人	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第 6 章 pp.17） 復習：教科書第 6 章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	田代 真人	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 1（教科書 第 7 章 pp.18-24） 復習：教科書第 7 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	田代 真人	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 2（教科書 第 8 章 pp.25-28） 復習：教科書第 8 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	田代 真人	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 3（教科書 第 9 章 pp.29-30） 復習：教科書第 9 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	田代 真人	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 1：グループ・テーマの設定（教科書 第 10 章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 10 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	田代 真人	【第 11 回】 予習：教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 2：資料収集（教科書 第 11 章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	田代 真人	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	田代 真人	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	田代 真人	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	田代 真人	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00070
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	明田川 紀彦	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	明田川 紀彦	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00～12:10 火曜日 09:00～12:10 後期 水曜日 09:00～12:10 火曜日 09:00～12:10	研究室	10-707
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	明田川 紀彦	【第 1 回】 予習：教科書第 1 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	明田川 紀彦	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICT メディアの活用（教科書 第 2 章 pp.2-7） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	明田川 紀彦	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 1：準備（教科書 第 3 章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	明田川 紀彦	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 2：実施 1（教科書 第 4 章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第 4 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	明田川 紀彦	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 3：実施 2（教科書 第 5 章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第 5 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	明田川 紀彦	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第 6 章 pp.17） 復習：教科書第 6 章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	明田川 紀彦	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 1（教科書 第 7 章 pp.18-24） 復習：教科書第 7 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	明田川 紀彦	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 2（教科書 第 8 章 pp.25-28） 復習：教科書第 8 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	明田川 紀彦	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 3（教科書 第 9 章 pp.29-30） 復習：教科書第 9 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	明田川 紀彦	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 1：グループ・テーマの設定（教科書 第 10 章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 10 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	明田川 紀彦	【第 11 回】 予習：教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 2：資料収集（教科書 第 11 章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	明田川 紀彦	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	明田川 紀彦	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	明田川 紀彦	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	明田川 紀彦	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00071
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	依田 尚也	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	依田 尚也	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 14:40～16:10 火曜日 16:20～17:50 後期 火曜日 14:40～16:10 火曜日 16:20～17:50	研究室	10-715
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として4年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	依田 尚也	【第1回】 予習：教科書第1章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第1章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第1章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	依田 尚也	【第2回】 予習：教科書第2章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICTメディアの活用（教科書 第2章 pp.2-7） 復習：教科書第2章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	依田 尚也	【第3回】 予習：教科書第3章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション1：準備（教科書 第3章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第3章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	依田 尚也	【第4回】 予習：教科書第4章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション2：実施1（教科書 第4章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第4章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	依田 尚也	【第5回】 予習：教科書第5章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション3：実施2（教科書 第5章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第5章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	依田 尚也	【第6回】 予習：教科書第6章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第6章 pp.17） 復習：教科書第6章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	依田 尚也	【第7回】 予習：教科書第7章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方1（教科書 第7章 pp.18-24） 復習：教科書第7章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	依田 尚也	【第8回】 予習：教科書第8章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方2（教科書 第8章 pp.25-28） 復習：教科書第8章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	依田 尚也	【第9回】 予習：教科書第9章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方3（教科書 第9章 pp.29-30） 復習：教科書第9章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	依田 尚也	【第10回】 予習：教科書第10章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション1：グループ・テーマの設定（教科書 第10章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第10章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	依田 尚也	【第11回】 予習：教科書第11章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション2：資料収集（教科書 第11章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	依田 尚也	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	依田 尚也	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	依田 尚也	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	依田 尚也	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00072
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	保坂 律子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	保坂 律子	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 10:00～13:00 後期 水曜日 10:00～13:00	研究室	10-709
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	保坂 律子	【第 1 回】 予習：教科書第 1 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	保坂 律子	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICT メディアの活用（教科書 第 2 章 pp.2-7） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	保坂 律子	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 1：準備（教科書 第 3 章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	保坂 律子	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 2：実施 1（教科書 第 4 章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第 4 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	保坂 律子	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 3：実施 2（教科書 第 5 章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第 5 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	保坂 律子	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第 6 章 pp.17） 復習：教科書第 6 章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	保坂 律子	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 1（教科書 第 7 章 pp.18-24） 復習：教科書第 7 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	保坂 律子	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 2（教科書 第 8 章 pp.25-28） 復習：教科書第 8 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	保坂 律子	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 3（教科書 第 9 章 pp.29-30） 復習：教科書第 9 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	保坂 律子	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 1：グループ・テーマの設定（教科書 第 10 章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 10 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	保坂 律子	【第 11 回】 予習：教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 2：資料収集（教科書 第 11 章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	保坂 律子	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	保坂 律子	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	保坂 律子	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	保坂 律子	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00073
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	米金 孝雄	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	米金 孝雄	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 10:10～10:40 木曜日 10:30～13:00 後期 水曜日 10:00～10:40 水曜日 12:10～13:00	研究室	10-711
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	米金 孝雄	【第 1 回】 予習：教科書第 1 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	米金 孝雄	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICT メディアの活用（教科書 第 2 章 pp.2-7） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	米金 孝雄	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 1：準備（教科書 第 3 章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	米金 孝雄	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 2：実施 1（教科書 第 4 章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第 4 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	米金 孝雄	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 3：実施 2（教科書 第 5 章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第 5 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	米金 孝雄	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第 6 章 pp.17） 復習：教科書第 6 章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	米金 孝雄	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 1（教科書 第 7 章 pp.18-24） 復習：教科書第 7 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	米金 孝雄	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 2（教科書 第 8 章 pp.25-28） 復習：教科書第 8 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	米金 孝雄	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 3（教科書 第 9 章 pp.29-30） 復習：教科書第 9 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	米金 孝雄	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 1：グループ・テーマの設定（教科書 第 10 章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 10 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	米金 孝雄	【第 11 回】 予習：教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 2：資料収集（教科書 第 11 章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	米金 孝雄	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	米金 孝雄	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	米金 孝雄	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	米金 孝雄	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00074
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	李 志炯	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	李 志炯	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 09:00～10:30 水曜日 13:00～14:30 後期 火曜日 09:00～10:30 水曜日 16:20～17:50	研究室	1-207
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として4年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	李 志炯	【第1回】 予習：教科書第1章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第1章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第1章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	李 志炯	【第2回】 予習：教科書第2章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICTメディアの活用（教科書 第2章 pp.2-7） 復習：教科書第2章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	李 志炯	【第3回】 予習：教科書第3章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション1：準備（教科書 第3章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第3章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	李 志炯	【第4回】 予習：教科書第4章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション2：実施1（教科書 第4章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第4章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	李 志炯	【第5回】 予習：教科書第5章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション3：実施2（教科書 第5章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第5章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	李 志炯	【第6回】 予習：教科書第6章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第6章 pp.17） 復習：教科書第6章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	李 志炯	【第7回】 予習：教科書第7章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方1（教科書 第7章 pp.18-24） 復習：教科書第7章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	李 志炯	【第8回】 予習：教科書第8章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方2（教科書 第8章 pp.25-28） 復習：教科書第8章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	李 志炯	【第9回】 予習：教科書第9章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方3（教科書 第9章 pp.29-30） 復習：教科書第9章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	李 志炯	【第10回】 予習：教科書第10章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション1：グループ・テーマの設定（教科書 第10章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第10章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	李 志炯	【第11回】 予習：教科書第11章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション2：資料収集（教科書 第11章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	李志炯	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	李志炯	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	李志炯	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	李志炯	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00075
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	松元 良枝	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	松元 良枝	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 木曜日 09:00~10:30 木曜日 10:40~12:10 後期 木曜日 09:00~10:30 木曜日 10:40~12:10	研究室	10-601
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	松元 良枝	【第 1 回】 予習：教科書第 1 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	松元 良枝	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICT メディアの活用（教科書 第 2 章 pp.2-7） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	松元 良枝	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 1：準備（教科書 第 3 章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	松元 良枝	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 2：実施 1（教科書 第 4 章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第 4 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	松元 良枝	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 3：実施 2（教科書 第 5 章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第 5 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	松元 良枝	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第 6 章 pp.17） 復習：教科書第 6 章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	松元 良枝	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 1（教科書 第 7 章 pp.18-24） 復習：教科書第 7 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	松元 良枝	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 2（教科書 第 8 章 pp.25-28） 復習：教科書第 8 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	松元 良枝	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 3（教科書 第 9 章 pp.29-30） 復習：教科書第 9 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	松元 良枝	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 1：グループ・テーマの設定（教科書 第 10 章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 10 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	松元 良枝	【第 11 回】 予習：教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 2：資料収集（教科書 第 11 章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	松元 良枝	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	松元 良枝	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	松元 良枝	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	松元 良枝	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00076
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	堀邊 阿伊子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	堀邊 阿伊子	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 13:00～16:00 後期 金曜日 13:00～16:00	研究室	10-619
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	堀邊 阿伊子	【第 1 回】 予習：教科書第 1 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	堀邊 阿伊子	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICT メディアの活用（教科書 第 2 章 pp.2-7） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	堀邊 阿伊子	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 1：準備（教科書 第 3 章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	堀邊 阿伊子	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 2：実施 1（教科書 第 4 章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第 4 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	堀邊 阿伊子	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 3：実施 2（教科書 第 5 章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第 5 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	堀邊 阿伊子	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第 6 章 pp.17） 復習：教科書第 6 章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	堀邊 阿伊子	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 1（教科書 第 7 章 pp.18-24） 復習：教科書第 7 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	堀邊 阿伊子	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 2（教科書 第 8 章 pp.25-28） 復習：教科書第 8 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	堀邊 阿伊子	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 3（教科書 第 9 章 pp.29-30） 復習：教科書第 9 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	堀邊 阿伊子	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 1：グループ・テーマの設定（教科書 第 10 章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 10 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	堀邊 阿伊子	【第 11 回】 予習：教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 2：資料収集（教科書 第 11 章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	堀邊 阿伊子	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	堀邊 阿伊子	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	堀邊 阿伊子	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	堀邊 阿伊子	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00077
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	山崎 陽菜	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	山崎 陽菜	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 14:40～16:40 金曜日 14:40～15:40 後期 水曜日 11:00～12:00 水曜日 14:40～16:40	研究室	2-201
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	山崎 陽菜	【第 1 回】 予習：教科書第 1 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	山崎 陽菜	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICT メディアの活用（教科書 第 2 章 pp.2-7） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	山崎 陽菜	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 1：準備（教科書 第 3 章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	山崎 陽菜	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 2：実施 1（教科書 第 4 章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第 4 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	山崎 陽菜	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 3：実施 2（教科書 第 5 章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第 5 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	山崎 陽菜	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第 6 章 pp.17） 復習：教科書第 6 章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	山崎 陽菜	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 1（教科書 第 7 章 pp.18-24） 復習：教科書第 7 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	山崎 陽菜	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 2（教科書 第 8 章 pp.25-28） 復習：教科書第 8 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	山崎 陽菜	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 3（教科書 第 9 章 pp.29-30） 復習：教科書第 9 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	山崎 陽菜	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 1：グループ・テーマの設定（教科書 第 10 章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 10 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	山崎 陽菜	【第 11 回】 予習：教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 2：資料収集（教科書 第 11 章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	山崎 陽菜	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	山崎 陽菜	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	山崎 陽菜	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	山崎 陽菜	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00091
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	橋本 衆宝	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	橋本 衆宝	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00～12:00 後期 水曜日 09:00～12:00	研究室	10-616
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	橋本 衆宝	【第 1 回】 予習：教科書第 1 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	橋本 衆宝	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICT メディアの活用（教科書 第 2 章 pp.2-7） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	橋本 衆宝	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 1：準備（教科書 第 3 章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	橋本 衆宝	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 2：実施 1（教科書 第 4 章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第 4 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	橋本 衆宝	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 3：実施 2（教科書 第 5 章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第 5 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	橋本 衆宝	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第 6 章 pp.17） 復習：教科書第 6 章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	橋本 衆宝	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 1（教科書 第 7 章 pp.18-24） 復習：教科書第 7 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	橋本 衆宝	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 2（教科書 第 8 章 pp.25-28） 復習：教科書第 8 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	橋本 衆宝	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 3（教科書 第 9 章 pp.29-30） 復習：教科書第 9 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	橋本 衆宝	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 1：グループ・テーマの設定（教科書 第 10 章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 10 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	橋本 衆宝	【第 11 回】 予習：教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 2：資料収集（教科書 第 11 章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	橋本 衆宝	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	橋本 衆宝	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	橋本 衆宝	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	橋本 衆宝	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00092
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	渡邊 光章	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	渡邊 光章	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 16:20～17:50 金曜日 13:00～14:30 後期 水曜日 16:20～17:50 金曜日 13:00～14:30	研究室	10-501
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	渡邊 光章	【第 1 回】 予習：教科書第 1 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	渡邊 光章	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICT メディアの活用（教科書 第 2 章 pp.2-7） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	渡邊 光章	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 1：準備（教科書 第 3 章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	渡邊 光章	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 2：実施 1（教科書 第 4 章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第 4 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	渡邊 光章	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 3：実施 2（教科書 第 5 章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第 5 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	渡邊 光章	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第 6 章 pp.17） 復習：教科書第 6 章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	渡邊 光章	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 1（教科書 第 7 章 pp.18-24） 復習：教科書第 7 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	渡邊 光章	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 2（教科書 第 8 章 pp.25-28） 復習：教科書第 8 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	渡邊 光章	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 3（教科書 第 9 章 pp.29-30） 復習：教科書第 9 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	渡邊 光章	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 1：グループ・テーマの設定（教科書 第 10 章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 10 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	渡邊 光章	【第 11 回】 予習：教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 2：資料収集（教科書 第 11 章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	渡邊 光章	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	渡邊 光章	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	渡邊 光章	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	渡邊 光章	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00093
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar Ⅱ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	明田川 紀彦	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	明田川 紀彦	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00～12:10 火曜日 09:00～12:10 後期 水曜日 09:00～12:10 火曜日 09:00～12:10	研究室	10-707
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	明田川 紀彦	【第 1 回】 予習：教科書第 1 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	明田川 紀彦	【第 2 回】 予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICT メディアの活用（教科書 第 2 章 pp.2-7） 復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	明田川 紀彦	【第 3 回】 予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 1：準備（教科書 第 3 章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	明田川 紀彦	【第 4 回】 予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 2：実施 1（教科書 第 4 章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第 4 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	明田川 紀彦	【第 5 回】 予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション 3：実施 2（教科書 第 5 章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第 5 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	明田川 紀彦	【第 6 回】 予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第 6 章 pp.17） 復習：教科書第 6 章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	明田川 紀彦	【第 7 回】 予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 1（教科書 第 7 章 pp.18-24） 復習：教科書第 7 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	明田川 紀彦	【第 8 回】 予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 2（教科書 第 8 章 pp.25-28） 復習：教科書第 8 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	明田川 紀彦	【第 9 回】 予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方 3（教科書 第 9 章 pp.29-30） 復習：教科書第 9 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	明田川 紀彦	【第 10 回】 予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 1：グループ・テーマの設定（教科書 第 10 章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 10 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	明田川 紀彦	【第 11 回】 予習：教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 2：資料収集（教科書 第 11 章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	明田川 紀彦	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	明田川 紀彦	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	明田川 紀彦	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	明田川 紀彦	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F00094
科目名称	基礎ゼミⅡ	単位数	1.0 単位
英文名称	Freshmen Seminar II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	鈴木 利彦	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 利彦	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 09:00～12:10 後期 火曜日 09:00～12:10	研究室	10-509
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として4年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	鈴木 利彦	【第1回】 予習：教科書第1章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：後期ガイダンス（教科書 第1章 pp.1）（ディスカッション） 復習：教科書第1章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
2	鈴木 利彦	【第2回】 予習：教科書第2章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ICTメディアの活用（教科書 第2章 pp.2-7） 復習：教科書第2章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
3	鈴木 利彦	【第3回】 予習：教科書第3章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション1：準備（教科書 第3章 pp.8-11）（ディスカッション） 復習：教科書第3章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
4	鈴木 利彦	【第4回】 予習：教科書第4章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション2：実施1（教科書 第4章 p.12-15）（ディスカッション） 復習：教科書第4章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
5	鈴木 利彦	【第5回】 予習：教科書第5章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：ディスカッション3：実施2（教科書 第5章 p.16）（ディスカッション） 復習：教科書第5章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
6	鈴木 利彦	【第6回】 予習：教科書第6章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：学類進級ガイダンス（教科書 第6章 pp.17） 復習：教科書第6章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
7	鈴木 利彦	【第7回】 予習：教科書第7章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方1（教科書 第7章 pp.18-24） 復習：教科書第7章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
8	鈴木 利彦	【第8回】 予習：教科書第8章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方2（教科書 第8章 pp.25-28） 復習：教科書第8章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
9	鈴木 利彦	【第9回】 予習：教科書第9章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：文献の読み方3（教科書 第9章 pp.29-30） 復習：教科書第9章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
10	鈴木 利彦	【第10回】 予習：教科書第10章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション1：グループ・テーマの設定（教科書 第10章 pp.31-41）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第10章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。	
11	鈴木 利彦	【第11回】 予習：教科書第11章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション2：資料収集（教科書 第11章 pp.42）（グループワーク）	

		復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
12	鈴木 利彦	【第 12 回】 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.43-48）（グループワーク） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
13	鈴木 利彦	【第 13 回】 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.49-52）（グループワーク・プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。							
14	鈴木 利彦	【第 14 回】 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.53-54）（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。							
15	鈴木 利彦	【第 15 回】 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.55） 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。							
授業開始前学習		教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題のフィードバックの方法		提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材		人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書		授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法		各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文等）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	○	◎	○				
関連科目									
その他		臨時に合同授業を実施する場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-11 (J)	授業コード	F00111
科目名称	仏教学 I	単位数	2.0 単位
英文名称	Buddhism I	授業区分	講義
科目責任者	安藤 嘉則	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	安藤 嘉則	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00~12:00 後期 火曜日 09:00~12:00	研究室	10-505
授業概要	本講義では、駒沢女子大学の建学の精神「行学一如」「正念」とその基礎となる仏教の開祖・釈尊の生涯と教え、さまざまな日本の仏教文化について概説する。日本文化の形成に大きな影響を与えた仏教が今を生きる私たちにとってどのように関わり合ってくるのか、仏教学 I の学びを現代社会に活かす視点をもって授業をすすめる。本講義の学びを通じて、今後の人生の指針となる教養と作法を身につけるとともに、仏教の観点から「人間」をより深く理解する契機とする。授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神、および仏教の開祖釈尊の生涯と教えを理解することができる。 2. 日本の仏教文化について広く理解し、その特質を説明することができる。 3. 駒沢女子大学で学ぶ意義をみずから説明することができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	安藤 嘉則	【第 1 回】 予習 : 教科書 (4 頁-9 頁) を読んでおく 授業 : ガイダンス 駒澤学園の歴史、建学の精神 復習 : 建学の精神をこれからの学生生活に照らし合わせまとめる	
2	安藤 嘉則	【第 2 回】 予習 : 世界の三大宗教を調べておく 授業 : 宗教の成立と世界の宗教 復習 : 日本人の宗教観についてまとめる	
3	安藤 嘉則	【第 3 回】 予習 : 教科書 (12 頁-18 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 古代インドの宗教と釈尊の誕生 (花まつり) 復習 : 駒澤学園の仏教行事「花まつり」の意義をまとめる	
4	安藤 嘉則	【第 4 回】 予習 : 教科書 (18-19 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 青年期の釈尊 (四苦八苦) と出家 (課題解決型授業) 復習 : 「四苦八苦」の要点をまとめる	
5	安藤 嘉則	【第 5 回】 予習 : 教科書 (20 頁.28-29 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 6 年間の苦行と「中道」の教え 復習 : 「中道」の教えの要点をまとめる	
6	安藤 嘉則	【第 6 回】 予習 : 教科書 (64-74 頁) を読み、坐禅の作法を調べておく 授業 : 坐禅実習 坐禅の作法と意義を学ぶ 復習 : 坐禅の意義と礼儀作法の要点をまとめる	
7	安藤 嘉則	【第 7 回】 予習 : 教科書 (21 頁.27-28 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 釈尊の悟り (成道) と「縁起」の教え 復習 : 駒澤学園の仏教行事「成道会」「撰心会」の意義をまとめる	
8	安藤 嘉則	【第 8 回】 予習 : 教科書 (22 頁.29-31 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 初転法輪と「四諦八正道」の教え 復習 : 「四諦八正道」の教えの要点をまとめる	
9	安藤 嘉則	【第 9 回】 予習 : 「祇園精舎」「竹林精舎」について調べておく 授業 : 釈尊の伝道とさまざまな「対機説法」 復習 : 「応病与薬」と「対機説法」についてまとめる	
10	安藤 嘉則	【第 10 回】 予習 : 教科書 (23-24 頁.32-35 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 釈尊の入滅 (涅槃) と「諸行無常」の教え 復習 : 駒澤学園の仏教行事「涅槃会」の意義をまとめる	
11	安藤 嘉則	【第 11 回】 予習 : 教科書 (64-74 頁) を読み、坐禅の心得 (調身・調息・調心) を調べておく 授業 : 坐禅実習 坐禅と礼儀作法 復習 : 坐禅の三つの心得についてまとめる	

12	安藤 嘉則	【第12回】 予習：教科書（25-26頁,36-37頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：釈尊滅後の仏教の展開（結集から大乘仏教へ） 復習：大乘仏教の「菩薩」についてまとめる						
13	安藤 嘉則	【第13回】 予習：日本文化と仏教の関係について調べておく 授業：仏教と日本の文化（課題解決型授業） 復習：仏教と日本文化の特徴をまとめる						
14	安藤 嘉則	【第14回】 予習：仏教に由来する習慣・風習について調べておく 授業：日常に息づく仏教の教え 復習：日常の仏教の教えをまとめる						
15	安藤 嘉則	【第15回】 予習：仏教学Ⅰで学んだ事項の要点を振り返る 授業：仏教学Ⅰの学びの総括、駒澤学園の仏教行事の意義、仏教と現代社会 復習：仏教学Ⅰの学びや駒沢女子大学での学びの意義をまとめる						
授業開始前学習	担当教員の指示に基づき、教科書の指定された頁ならびに配付資料を読んでおくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業で課した提出物（レポート等）は次回授業で総評する。また、必要に応じて個別にフィードバックする。							
テキスト・教材	『仏教学』（駒沢女子大学教科書）を基礎テキストとして用いる。その他、必要に応じてプリントを配付する。							
参考書	『英文対訳 道元禅師の典座教訓』（駒沢学園） その他、必要に応じて指示する。							
評価の基準と方法	授業での提出物（30%）とテスト・レポート（70%）で総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				△
関連科目								
その他	坐禅実習は予定表に注意し、あらかじめ確認の上、服装を整えて参加すること。 板書事項はもろさずノートに書き写すように努力すること。建学の精神の学びの場である学燈会や損心会などの学校行事には積極的に参加して、幅広い教養を身につけてほしい。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	曹洞宗の僧侶としての実務経験有り。その経験を生かして建学の精神や釈尊の教え等を講じる。							

科目分類	100-110-11 (J)	授業コード	F00112
科目名称	仏教学 I	単位数	2.0 単位
英文名称	Buddhism I	授業区分	講義
科目責任者	山本 元隆	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	山本 元隆	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 14:40～16:10 水曜日 14:40～16:10 後期 月曜日 14:40～16:10 水曜日 14:40～16:10	研究室	10-506
授業概要	本講義では、駒沢女子大学の建学の精神「行学一如」「正念」とその基礎となる仏教の開祖・釈尊の生涯と教え、さまざまな日本の仏教文化について概説する。日本文化の形成に大きな影響を与えた仏教が今を生きる私たちにどのように関わり合ってくるのか、仏教学 I の学びを現代社会に活かす視点をもって授業をすすめる。本講義の学びを通じて、今後の人生の指針となる教養と作法を身につけるとともに、仏教の観点から「人間」をより深く理解する契機とする。授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神、および仏教の開祖釈尊の生涯と教えを理解することができる。 2. 日本の仏教文化について広く理解し、その特質を説明することができる。 3. 駒沢女子大学で学ぶ意義をみずから説明することができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	山本 元隆	【第 1 回】 予習 : 教科書 (4 頁-9 頁) を読んでおく 授業 : ガイダンス 駒澤学園の歴史、建学の精神 復習 : 建学の精神をこれからの学生生活に照らし合わせまとめる	
2	山本 元隆	【第 2 回】 予習 : 世界の三大宗教を調べておく 授業 : 宗教の成立と世界の宗教 復習 : 日本人の宗教観についてまとめる	
3	山本 元隆	【第 3 回】 予習 : 教科書 (12 頁-18 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 古代インドの宗教と釈尊の誕生 (花まつり) 復習 : 駒澤学園の仏教行事「花まつり」の意義をまとめる	
4	山本 元隆	【第 4 回】 予習 : 教科書 (18-19 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 青年期の釈尊 (四苦八苦) と出家 (課題解決型授業) 復習 : 「四苦八苦」の要点をまとめる	
5	山本 元隆	【第 5 回】 予習 : 教科書 (20 頁.28-29 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 6 年間の苦行と「中道」の教え 復習 : 「中道」の教えの要点をまとめる	
6	山本 元隆	【第 6 回】 予習 : 教科書 (64-74 頁) を読み、坐禅の作法を調べておく 授業 : 坐禅実習 坐禅の作法と意義を学ぶ 復習 : 坐禅の意義と礼儀作法の要点をまとめる	
7	山本 元隆	【第 7 回】 予習 : 教科書 (21 頁.27-28 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 釈尊の悟り (成道) と「縁起」の教え 復習 : 駒澤学園の仏教行事「成道会」「撰心会」の意義をまとめる	
8	山本 元隆	【第 8 回】 予習 : 教科書 (22 頁.29-31 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 初転法輪と「四諦八正道」の教え 復習 : 「四諦八正道」の教えの要点をまとめる	
9	山本 元隆	【第 9 回】 予習 : 「祇園精舎」「竹林精舎」について調べておく 授業 : 釈尊の伝道とさまざまな「対機説法」 復習 : 「応病与薬」と「対機説法」についてまとめる	
10	山本 元隆	【第 10 回】 予習 : 教科書 (23-24 頁.32-35 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 釈尊の入滅 (涅槃) と「諸行無常」の教え 復習 : 駒澤学園の仏教行事「涅槃会」の意義をまとめる	
11	山本 元隆	【第 11 回】 予習 : 教科書 (64-74 頁) を読み、坐禅の心得 (調身・調息・調心) を調べておく 授業 : 坐禅実習 坐禅と礼儀作法 復習 : 坐禅の三つの心得についてまとめる	

12	山本 元隆	【第12回】 予習：教科書（25-26頁,36-37頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：釈尊滅後の仏教の展開（結集から大乘仏教へ） 復習：大乘仏教の「菩薩」についてまとめる						
13	山本 元隆	【第13回】 予習：日本文化と仏教の関係について調べておく 授業：仏教と日本の文化（課題解決型授業） 復習：仏教と日本文化の特徴をまとめる						
14	山本 元隆	【第14回】 予習：仏教に由来する習慣・風習について調べておく 授業：日常に息づく仏教の教え 復習：日常の仏教の教えをまとめる						
15	山本 元隆	【第15回】 予習：仏教学Ⅰで学んだ事項の要点を振り返る 授業：仏教学Ⅰの学びの総括、駒澤学園の仏教行事の意義、仏教と現代社会 復習：仏教学Ⅰの学びや駒沢女子大学での学びの意義をまとめる						
授業開始前学習	担当教員の指示に基づき、教科書の指定された頁ならびに配付資料を読んでおくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業で課した提出物（レポート等）は次回授業で総評する。また、必要に応じて個別にフィードバックする。							
テキスト・教材	『仏教学』（駒沢女子大学教科書）を基礎テキストとして用いる。その他、必要に応じてプリントを配付する。							
参考書	『英文対訳 道元禅師の典座教訓』（駒沢学園） その他、必要に応じて指示する。							
評価の基準と方法	授業での提出物（30%）とテスト・レポート（70%）で総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				△
関連科目								
その他	坐禅実習は予定表に注意し、あらかじめ確認の上、服装を整えて参加すること。 板書事項はもろさずノートに書き写すように努力すること。建学の精神の学びの場である学燈会や損心会などの学校行事には積極的に参加して、幅広い教養を身につけてほしい。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	曹洞宗の僧侶としての実務経験有り。その経験を生かして建学の精神や釈尊の教え等を講じる。							

科目分類	100-110-11 (J)	授業コード	F00113
科目名称	仏教学 I	単位数	2.0 単位
英文名称	Buddhism I	授業区分	講義
科目責任者	小早川 浩大	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	小早川 浩大	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	本講義では、駒沢女子大学の建学の精神「行学一如」「正念」とその基礎となる仏教の開祖・釈尊の生涯と教え、さまざまな日本の仏教文化について概説する。日本文化の形成に大きな影響を与えた仏教が今を生きる私たちにとってどのように関わり合ってくるのか、仏教学 I の学びを現代社会に活かす視点をもって授業をすすめる。本講義の学びを通じて、今後の人生の指針となる教養と作法を身につけるとともに、仏教の観点から「人間」をより深く理解する契機とする。授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神、および仏教の開祖釈尊の生涯と教えを理解することができる。 2. 日本の仏教文化について広く理解し、その特質を説明することができる。 3. 駒沢女子大学で学ぶ意義をみずから説明することができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	小早川 浩大	【第 1 回】 予習 : 教科書 (4 頁-9 頁) を読んでおく 授業 : ガイダンス 駒澤学園の歴史、建学の精神 復習 : 建学の精神をこれからの学生生活に照らし合わせまとめる	
2	小早川 浩大	【第 2 回】 予習 : 世界の三大宗教を調べておく 授業 : 宗教の成立と世界の宗教 復習 : 日本人の宗教観についてまとめる	
3	小早川 浩大	【第 3 回】 予習 : 教科書 (12 頁-18 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 古代インドの宗教と釈尊の誕生 (花まつり) 復習 : 駒澤学園の仏教行事「花まつり」の意義をまとめる	
4	小早川 浩大	【第 4 回】 予習 : 教科書 (18-19 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 青年期の釈尊 (四苦八苦) と出家 (課題解決型授業) 復習 : 「四苦八苦」の要点をまとめる	
5	小早川 浩大	【第 5 回】 予習 : 教科書 (20 頁.28-29 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 6 年間の苦行と「中道」の教え 復習 : 「中道」の教えの要点をまとめる	
6	小早川 浩大	【第 6 回】 予習 : 教科書 (64-74 頁) を読み、坐禅の作法を調べておく 授業 : 坐禅実習 坐禅の作法と意義を学ぶ 復習 : 坐禅の意義と礼儀作法の要点をまとめる	
7	小早川 浩大	【第 7 回】 予習 : 教科書 (21 頁.27-28 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 釈尊の悟り (成道) と「縁起」の教え 復習 : 駒澤学園の仏教行事「成道会」「撰心会」の意義をまとめる	
8	小早川 浩大	【第 8 回】 予習 : 教科書 (22 頁.29-31 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 初転法輪と「四諦八正道」の教え 復習 : 「四諦八正道」の教えの要点をまとめる	
9	小早川 浩大	【第 9 回】 予習 : 「祇園精舎」「竹林精舎」について調べておく 授業 : 釈尊の伝道とさまざまな「対機説法」 復習 : 「応病与薬」と「対機説法」についてまとめる	
10	小早川 浩大	【第 10 回】 予習 : 教科書 (23-24 頁.32-35 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 釈尊の入滅 (涅槃) と「諸行無常」の教え 復習 : 駒澤学園の仏教行事「涅槃会」の意義をまとめる	
11	小早川 浩大	【第 11 回】 予習 : 教科書 (64-74 頁) を読み、坐禅の心得 (調身・調息・調心) を調べておく 授業 : 坐禅実習 坐禅と礼儀作法 復習 : 坐禅の三つの心得についてまとめる	

12	小早川 浩大	【第12回】 予習：教科書（25-26頁,36-37頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：釈尊滅後の仏教の展開（結集から大乘仏教へ） 復習：大乘仏教の「菩薩」についてまとめる						
13	小早川 浩大	【第13回】 予習：日本文化と仏教の関係について調べておく 授業：仏教と日本の文化（課題解決型授業） 復習：仏教と日本文化の特徴をまとめる						
14	小早川 浩大	【第14回】 予習：仏教に由来する習慣・風習について調べておく 授業：日常に息づく仏教の教え 復習：日常の仏教の教えをまとめる						
15	小早川 浩大	【第15回】 予習：仏教学Ⅰで学んだ事項の要点を振り返る 授業：仏教学Ⅰの学びの総括、駒澤学園の仏教行事の意義、仏教と現代社会 復習：仏教学Ⅰの学びや駒澤女子大学での学びの意義をまとめる						
授業開始前学習	担当教員の指示に基づき、教科書の指定された頁ならびに配付資料を読んでおくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業で課した提出物（レポート等）は次回授業で総評する。また、必要に応じて個別にフィードバックする。							
テキスト・教材	『仏教学』（駒澤女子大学教科書）を基礎テキストとして用いる。その他、必要に応じてプリントを配付する。							
参考書	『英文対訳 道元禅師の典座教訓』（駒澤学園） その他、必要に応じて指示する。							
評価の基準と方法	授業での提出物（30%）とテスト・レポート（70%）で総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				△
関連科目								
その他	坐禅実習は予定表に注意し、あらかじめ確認の上、服装を整えて参加すること。 板書事項はもろさずノートに書き写すように努力すること。建学の精神の学びの場である学燈会や損心会などの学校行事には積極的に参加して、幅広い教養を身につけてほしい。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	曹洞宗の僧侶としての実務経験有り。その経験を生かして建学の精神や釈尊の教え等を講じる。							

科目分類	100-110-11 (J)		授業コード	F00121
科目名称	仏教学Ⅱ		単位数	2.0 単位
英文名称	Buddhism Ⅱ		授業区分	講義
科目責任者	山本 元隆		必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	山本 元隆		開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 14:40～16:10 水曜日 14:40～16:10 後期 月曜日 14:40～16:10 水曜日 14:40～16:10		研究室	10-506
授業概要	本講義は、駒沢女子大学の建学の精神「行学一如」「正念」と、その基礎となる曹洞宗の開祖・道元禅師の生涯と教え、さまざまな日本の禅文化について概説する。日本文化に大きな影響を与えた禅の教えが今を生きる私たちの日常生活にどのように関わり合っているのか、仏教学Ⅱ（禅）の学びを現代社会に活かす視点をもって授業をすすめる。本講義の学びを通じて、今後の人生の指針となる教養と作法を身につけるとともに、禅の観点から「人間」をより深く理解する契機とする。授業では課題解決型学習を行う。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神、および道元禅師の生涯と教えを理解することができる。 2. 日本の禅文化について広く理解し、その特質を説明することができる。 3. 駒沢女子大学で学ぶ意義をみずから説明することができる。 			
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回	複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容		
1	山本 元隆	【第 1 回】 予習 : 仏教学Ⅰ で学んだことを振り返る 授業 : ガイダンス 建学の精神と仏教学Ⅰ の復習 復習 : 駒沢女子大学と永平寺・道元禅師の関係についてまとめる		
2	山本 元隆	【第 2 回】 予習 : 教科書 (40-44 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 中国における仏教 (禅宗) の展開 復習 : 中国禅宗の特徴についてまとめる		
3	山本 元隆	【第 3 回】 予習 : 教科書 (46-49 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 日本における仏教の展開 1 (仏教伝来～平安時代) 復習 : 平安時代の仏教の特徴についてまとめる		
4	山本 元隆	【第 4 回】 予習 : 教科書 (49-51 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 日本における仏教の展開 2 (平安後期～鎌倉時代) 復習 : 鎌倉時代の仏教の特徴についてまとめる		
5	山本 元隆	【第 5 回】 予習 : 教科書 (56 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 道元禅師の誕生と出家 復習 : 駒澤学園の仏教行事「誕生記念日」の意義をまとめる		
6	山本 元隆	【第 6 回】 予習 : 教科書 (56-57 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 道元禅師、比叡山と建仁寺での修行 (課題解決型授業) 復習 : 天台本覚法門に対する道元禅師の疑念をまとめる		
7	山本 元隆	【第 7 回】 予習 : 教科書 (64-74 頁) を読み、坐禅の作法を調べておく 授業 : 坐禅実習 坐禅の作法と意義を学ぶ 復習 : 坐禅の意義と礼儀作法の要点をまとめる		
8	山本 元隆	【第 8 回】 予習 : 教科書 (57-58 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 道元禅師の入宋求法と二人の典座の教え 復習 : 典座の教えと禅修行の要点をまとめる		
9	山本 元隆	【第 9 回】 予習 : 予習 : 教科書 (58 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 道元禅師、如浄禅師のもとでの大悟 復習 : 「身心脱落」と「只管打坐」についてまとめる		
10	山本 元隆	【第 10 回】 予習 : 教科書 (58-59 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 道元禅師、帰朝後の教化 復習 : 道元禅師の修証観の特色をまとめる		

11	山本 元隆	【第 11 回】 予習 : 教科書 (60-61 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 道元禅師の教えと実践 復習 : 道元禅師の仏教観の特色をまとめる						
12	山本 元隆	【第 12 回】 予習 : 教科書 (59 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 道元禅師の永平寺創建と示寂 復習 : 駒澤学園の仏教行事「追善記念日」の意義をまとめる						
13	山本 元隆	【第 13 回】 予習 : 禅と日本の文化の関係について調べておく 授業 : 禅と日本の文化 (課題解決型授業) 復習 : 禅文化の特徴をまとめる						
14	山本 元隆	【第 14 回】 予習 : 永平寺など禅道場の修行について調べておく 授業 : 日常に息づく禅の教え 復習 : 禅の教えから日常生活を振り返る						
15	山本 元隆	【第 15 回】 予習 : 仏教学Ⅱで学んだ要点を振り返る 授業 : 仏教学Ⅱの学びの総括、駒澤学園の仏教行事の意義、禅と現代社会 復習 : 仏教学Ⅱの学びや駒沢女子大学での学びの意義を振り返る						
授業開始前学習	担当教員の指示に基づき、教科書の指定された頁ならびに配付資料を読んでおくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業で課した提出物 (レポート等) は次回の授業で総評する。また、必要に応じて個別にフィードバックする。							
テキスト・教材	『仏教学』(駒沢女子大学教科書) を基本テキストとして用いる。その他、必要に応じてプリントを配付する。							
参考書	『英文対訳 道元禅師の典座教訓』(駒澤学園) その他、必要に応じて指示する。							
評価の基準と方法	授業での提出物 (30%) とテスト・レポート (70%) で総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける	社会的責務を果たすことので きる専門力と判断力を身 につける	文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケ ーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				△
関連科目								
その他	坐禅実習は予定表に注意し、あらかじめ確認の上、服装を整えて参加すること。 板書事項はもろさずノートに書き写すように努力すること。建学の精神の学びの場である学燈会や摂心会などの学校行事には積極的に参加して、幅広い教養を身につけてほしい。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容	曹洞宗の僧侶としての実務経験有り。その経験を生かして建学の精神や道元禅師の教え等を講じる。							

科目分類	100-110-11 (J)	授業コード	F00122
科目名称	仏教学Ⅱ	単位数	2.0 単位
英文名称	Buddhism Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	安藤 嘉則	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	安藤 嘉則	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00～12:00 後期 火曜日 09:00～12:00	研究室	10-505
授業概要	本講義は、駒沢女子大学の建学の精神「行学一如」「正念」と、その基礎となる曹洞宗の開祖・道元禅師の生涯と教え、さまざまな日本の禅文化について概説する。日本文化に大きな影響を与えた禅の教えが今を生きる私たちの日常生活にどのように関わり合っているのか、仏教学Ⅱ（禅）の学びを現代社会に活かす視点をもって授業をすすめる。本講義の学びを通じて、今後の人生の指針となる教養と作法を身につけるとともに、禅の観点から「人間」をより深く理解する契機とする。授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神、および道元禅師の生涯と教えを理解することができる。 2. 日本の禅文化について広く理解し、その特質を説明することができる。 3. 駒沢女子大学で学ぶ意義をみずから説明することができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	安藤 嘉則	【第 1 回】 予習：仏教学Ⅰで学んだことを振り返る 授業：ガイダンス 建学の精神と仏教学Ⅰの復習 復習：駒沢女子大学と永平寺・道元禅師の関係についてまとめる	
2	安藤 嘉則	【第 2 回】 予習：教科書（40-44 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：中国における仏教（禅宗）の展開 復習：中国禅宗の特徴についてまとめる	
3	安藤 嘉則	【第 3 回】 予習：教科書（46-49 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：日本における仏教の展開 1（仏教伝来～平安時代） 復習：平安時代の仏教の特徴についてまとめる	
4	安藤 嘉則	【第 4 回】 予習：教科書（49-51 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：日本における仏教の展開 2（平安後期～鎌倉時代） 復習：鎌倉時代の仏教の特徴についてまとめる	
5	安藤 嘉則	【第 5 回】 予習：教科書（56 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：道元禅師の誕生と出家 復習：駒澤学園の仏教行事「誕生記念日」の意義をまとめる	
6	安藤 嘉則	【第 6 回】 予習：教科書（56-57 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：道元禅師、比叡山と建仁寺での修行（課題解決型授業） 復習：天台本覚法門に対する道元禅師の疑念をまとめる	
7	安藤 嘉則	【第 7 回】 予習：教科書（64-74 頁）を読み、坐禅の作法を調べておく 授業：坐禅実習 坐禅の作法と意義を学ぶ 復習：坐禅の意義と礼儀作法の要点をまとめる	
8	安藤 嘉則	【第 8 回】 予習：教科書（57-58 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：道元禅師の入宋求法と二人の典座の教え 復習：典座の教えと禅修行の要点をまとめる	
9	安藤 嘉則	【第 9 回】 予習：予習：教科書（58 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：道元禅師、如浄禅師のもとでの大悟 復習：「身心脱落」と「只管打坐」についてまとめる	
10	安藤 嘉則	【第 10 回】 予習：教科書（58-59 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：道元禅師、帰朝後の教化 復習：道元禅師の修証観の特色をまとめる	

11	安藤 嘉則	【第 11 回】 予習 : 教科書 (60-61 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 道元禅師の教えと実践 復習 : 道元禅師の仏教観の特色をまとめる						
12	安藤 嘉則	【第 12 回】 予習 : 教科書 (59 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 道元禅師の永平寺創建と示寂 復習 : 駒澤学園の仏教行事「追善記念日」の意義をまとめる						
13	安藤 嘉則	【第 13 回】 予習 : 禅と日本の文化の関係について調べておく 授業 : 禅と日本の文化 (課題解決型授業) 復習 : 禅文化の特徴をまとめる						
14	安藤 嘉則	【第 14 回】 予習 : 永平寺など禅道場の修行について調べておく 授業 : 日常に息づく禅の教え 復習 : 禅の教えから日常生活を振り返る						
15	安藤 嘉則	【第 15 回】 予習 : 仏教学Ⅱで学んだ要点を振り返る 授業 : 仏教学Ⅱの学びの総括、駒澤学園の仏教行事の意義、禅と現代社会 復習 : 仏教学Ⅱの学びや駒沢女子大学での学びの意義を振り返る						
授業開始前学習	担当教員の指示に基づき、教科書の指定された頁ならびに配付資料を読んでおくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業で課した提出物 (レポート等) は次回の授業で総評する。また、必要に応じて個別にフィードバックする。							
テキスト・教材	『仏教学』(駒沢女子大学教科書) を基本テキストとして用いる。その他、必要に応じてプリントを配付する。							
参考書	『英文対訳 道元禅師の典座教訓』(駒澤学園) その他、必要に応じて指示する。							
評価の基準と方法	授業での提出物 (30%) とテスト・レポート (70%) で総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける	社会的責務を果たすことの できる専門力と判断力を身 につける	文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケ ーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				△
関連科目								
その他	坐禅実習は予定表に注意し、あらかじめ確認の上、服装を整えて参加すること。 板書事項はわざわざノートに書き写すように努力すること。建学の精神の学びの場である学燈会や摂心会などの学校行事には積極的に参加して、幅広い教養を身につけてほしい。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容	曹洞宗の僧侶としての実務経験有り。その経験を生かして建学の精神や道元禅師の教え等を講じる。							

科目分類	100-110-11 (J)	授業コード	F00124
科目名称	仏教学Ⅱ	単位数	2.0 単位
英文名称	Buddhism Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	小早川 浩大	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	小早川 浩大	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	本講義は、駒沢女子大学の建学の精神「行学一如」「正念」と、その基礎となる曹洞宗の開祖・道元禅師の生涯と教え、さまざまな日本の禅文化について概説する。日本文化に大きな影響を与えた禅の教えが今を生きる私たちの日常生活にどのように関わり合っているのか、仏教学Ⅱ（禅）の学びを現代社会に活かす視点をもって授業をすすめる。本講義の学びを通じて、今後の人生の指針となる教養と作法を身につけるとともに、禅の観点から「人間」をより深く理解する契機とする。授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神、および道元禅師の生涯と教えを理解することができる。 2. 日本の禅文化について広く理解し、その特質を説明することができる。 3. 駒沢女子大学で学ぶ意義をみずから説明することができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	小早川 浩大	【第 1 回】 予習：仏教学Ⅰで学んだことを振り返る 授業：ガイダンス 建学の精神と仏教学Ⅰの復習 復習：駒沢女子大学と永平寺・道元禅師の関係についてまとめる	
2	小早川 浩大	【第 2 回】 予習：教科書（40-44 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：中国における仏教（禅宗）の展開 復習：中国禅宗の特徴についてまとめる	
3	小早川 浩大	【第 3 回】 予習：教科書（46-49 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：日本における仏教の展開 1（仏教伝来～平安時代） 復習：平安時代の仏教の特徴についてまとめる	
4	小早川 浩大	【第 4 回】 予習：教科書（49-51 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：日本における仏教の展開 2（平安後期～鎌倉時代） 復習：鎌倉時代の仏教の特徴についてまとめる	
5	小早川 浩大	【第 5 回】 予習：教科書（56 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：道元禅師の誕生と出家 復習：駒澤学園の仏教行事「誕生記念日」の意義をまとめる	
6	小早川 浩大	【第 6 回】 予習：教科書（56-57 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：道元禅師、比叡山と建仁寺での修行（課題解決型授業） 復習：天台本覚法門に対する道元禅師の疑念をまとめる	
7	小早川 浩大	【第 7 回】 予習：教科書（64-74 頁）を読み、坐禅の作法を調べておく 授業：坐禅実習 坐禅の作法と意義を学ぶ 復習：坐禅の意義と礼儀作法の要点をまとめる	
8	小早川 浩大	【第 8 回】 予習：教科書（57-58 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：道元禅師の入宋求法と二人の典座の教え 復習：典座の教えと禅修行の要点をまとめる	
9	小早川 浩大	【第 9 回】 予習：予習：教科書（58 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：道元禅師、如浄禅師のもとでの大悟 復習：「身心脱落」と「只管打坐」についてまとめる	
10	小早川 浩大	【第 10 回】 予習：教科書（58-59 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：道元禅師、帰朝後の教化 復習：道元禅師の修証観の特色をまとめる	

11	小早川 浩大	【第 11 回】 予習 : 教科書 (60-61 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 道元禅師の教えと実践 復習 : 道元禅師の仏教観の特色をまとめる						
12	小早川 浩大	【第 12 回】 予習 : 教科書 (59 頁) を読み、語句の意味を調べておく 授業 : 道元禅師の永平寺創建と示寂 復習 : 駒澤学園の仏教行事「追善記念日」の意義をまとめる						
13	小早川 浩大	【第 13 回】 予習 : 禅と日本の文化の関係について調べておく 授業 : 禅と日本の文化 (課題解決型授業) 復習 : 禅文化の特徴をまとめる						
14	小早川 浩大	【第 14 回】 予習 : 永平寺など禅道場の修行について調べておく 授業 : 日常に息づく禅の教え 復習 : 禅の教えから日常生活を振り返る						
15	小早川 浩大	【第 15 回】 予習 : 仏教学Ⅱで学んだ要点を振り返る 授業 : 仏教学Ⅱの学びの総括、駒澤学園の仏教行事の意義、禅と現代社会 復習 : 仏教学Ⅱの学びや駒沢女子大学での学びの意義を振り返る						
授業開始前学習	担当教員の指示に基づき、教科書の指定された頁ならびに配付資料を読んでおくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業で課した提出物 (レポート等) は次回の授業で総評する。また、必要に応じて個別にフィードバックする。							
テキスト・教材	『仏教学』(駒沢女子大学教科書) を基本テキストとして用いる。その他、必要に応じてプリントを配付する。							
参考書	『英文対訳 道元禅師の典座教訓』(駒澤学園) その他、必要に応じて指示する。							
評価の基準と方法	授業での提出物 (30%) とテスト・レポート (70%) で総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける	社会的責務を果たすことの できる専門力と判断力を身 につける	文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケ ーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				△
関連科目								
その他	坐禅実習は予定表に注意し、あらかじめ確認の上、服装を整えて参加すること。 板書事項はもろさずノートに書き写すように努力すること。建学の精神の学びの場である学燈会や摂心会などの学校行事には積極的に参加して、幅広い教養を身につけてほしい。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容	曹洞宗の僧侶としての実務経験有り。その経験を生かして建学の精神や道元禅師の教え等を講じる。							

科目分類	100-130-12 (J)	授業コード	F00130
科目名称	仏教学Ⅲ	単位数	2.0 単位
英文名称	BuddhismⅢ	授業区分	講義
科目責任者	廣瀬 良文	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	廣瀬 良文	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	<p>仏教は、シルクロード・中国を経て日本に伝わった。その過程で各国・各地域ごとの文化とあわさり、多様な仏教文化を形成した。今日の日本の文化のなかにもインドや中国の仏教文化の影響がみられる。また日本独自の仏教文化もおおく見いだせる。本講義では多種多様な仏教文化について、思想や歴史、芸術や人間、文化遺産などさまざまな分野からその特質を考察し、あわせて現代社会における仏教文化の意義について考えていく。仏教の観点から日本文化を説明し日々の生活の中で授業では課題解決型学習を行う。</p>		
到達目標	<p>1. 日本の文化に大きな影響を与えた仏教文化について広く理解し、その特質を説明することができるようになる。 2. 建学の精神「行学一如」を理解し、日々の生活で実践することができるようになる。</p>		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	廣瀬 良文	<p>【第 1 回】 予習 : 仏教について調べておく 授業 : 仏教および建学の精神 (行学一如) とは何か 復習 : 仏教と「行学一如」の関係をもとめる</p>	
2	廣瀬 良文	<p>【第 2 回】 予習 : 釈尊 (おしやか様) と花祭り・ねはん団子について調べておく 授業 : 釈尊と日本文化 復習 : 釈尊と仏教文化についてまとめる</p>	
3	廣瀬 良文	<p>【第 3 回】 予習 : 宮澤賢治「銀河鉄道の夜」について調べておく 授業 : 大乘仏教の菩薩の思想と文化 - 文学からアニメまで - 復習 : 大乘仏教の菩薩の思想を通じて仏教文化・日本社会についてまとめる</p>	
4	廣瀬 良文	<p>【第 4 回】 予習 : 仏教と仏像への信仰について調べておく 授業 : 仏教と仏像 (如来・菩薩・明王・天) 復習 : 仏教と仏像への信仰と仏教文化・日本社会まとめる</p>	
5	廣瀬 良文	<p>【第 5 回】 予習 : 日本の鬼・妖怪について調べておく 授業 : 仏教にみる鬼と妖怪 復習 : 鬼・妖怪・怪異を通してみた仏教文化・日本社会についてまとめる</p>	
6	廣瀬 良文	<p>【第 6 回】 予習 : 七福神について調べておく 授業 : 「天の神さま」と七福神 復習 : 仏教と「天」・神の関係を通してみた仏教文化・日本社会についてまとめる</p>	
7	廣瀬 良文	<p>【第 7 回】 予習 : 墓と仏壇について調べておく 授業 : お墓・仏壇からみる仏教 復習 : お墓からみられる仏教文化・日本社会の特色についてまとめる</p>	
8	廣瀬 良文	<p>【第 8 回】 予習 : 聖徳太子について調べておく 授業 : 日本仏教と聖徳太子 復習 : 日本への仏教伝来の意義と聖徳太子の果たした役割についてまとめる</p>	
9	廣瀬 良文	<p>【第 9 回】 予習 : 奈良東大寺の大仏について調べておく 授業 : 奈良東大寺からみる日本仏教と日本文化 復習 : 東大寺の歴史・儀礼を通じて仏教文化・日本社会の特色についてまとめる</p>	
10	廣瀬 良文	<p>【第 10 回】 予習 : 平安時代と密教について調べておく 授業 : 平安時代の仏教と文化 - 密教の伝来と展開 復習 : 密教文化を通してみた仏教文化・日本社会の特徴についてまとめる</p>	
11	廣瀬 良文	<p>【第 11 回】 予習 : 安倍晴明・役小角について調べておく 授業 : 陰陽師・山伏と日本の仏教文化</p>	

		復習：陰陽道・修験道との関係を通じてみた仏教文化・日本社会の特徴についてまとめる						
12	廣瀬 良文	【第12回】 予習：阿弥陀如来と浄土信仰について調べておく 授業：平安文学からみる浄土信仰と日本文化 復習：浄土信仰を通してみた仏教文化・日本社会についてまとめる						
13	廣瀬 良文	【第13回】 予習：菅原道真について調べておく 授業：怨霊・幽霊からみた日本仏教と日本文化 復習：御霊信仰と幽霊からみた仏教文化・日本社会についてまとめる						
14	廣瀬 良文	【第14回】 予習：日本文化に果たした仏教の役割を自分の経験に照らし合わせ説明できるようにしておく 授業：日本文化における仏教の役割について考える（課題解決型授業） 復習：仏教文化・日本社会について考え直しその意義を深める						
15	廣瀬 良文	【第15回】 予習：授業内容の要点を振り返る 授業：授業内容を振り返り、自らの学びを通じ「行学一如」について各自が内容を深める 復習：授業内容の要点をまとめる						
授業開始前学習	中学・高校時代の国語・日本史の授業や、大学での仏教文化に関する興味・関心を深め、それに関連する書籍に目を通しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業の感想に対して、次回の授業で教員がコメントする。またグループ討論を行い学びを深め得られた意見に対して総評を行うこともある。							
テキスト・教材	特定のテキストは使用せず、必要に応じて資料を配付する。							
参考書	『仏教学』（駒沢女子大学教科書） 奈良康明編著『日本の仏教を知る事典』（東京書籍、1994年）、その他、必要に応じて指示する。							
評価の基準と方法	平常点（授業態度・提出物）30点とテスト70点で総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				△
関連科目	「仏教学」や日本文化に関する授業などは日本文化と仏教との関係を考える上ですべて関連するものである。							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	曹洞宗の僧侶としての実務経験有り。その経験を生かして仏教の思想・文化について講義する。							

科目分類	100-130-12 (J)		授業コード	F00140
科目名称	仏教学Ⅳ		単位数	2.0 単位
英文名称	BuddhismⅣ		授業区分	講義
科目責任者	廣瀬 良文		必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	廣瀬 良文		開講時期	2 年
オフィスアワー	-		研究室	-
授業概要	<p>インドの修行法であるヨガ (yoga・禪定)は、仏教にも修行法として取り入れられた。仏教において特別な位置を与えられた禅は、ダルマにより中国に伝えられたとされる。中国で禅宗として花開いた禅思想は、栄西や道元らによって日本に伝えられた。日本では茶道・芸術・庭園・建築空間などにおよぶ日本独自の禅文化として花開く。近代には日本の禅文化は「ZEN」として世界に広まり、現代国際社会においてはZENは「クール (cool・格好よい)」で理想的なあり方や日本文化を象徴するものとして、世界の人々に受け入れられている。本講義では多種多様な禅文化について、思想や歴史、芸術や人間、文化遺産などさまざまな分野からその特質を考察し、あわせて現代社会における禅文化の意義について知り、考え、自ら生かすことができるようになることを目標とする。授業では課題解決型学習を行う。</p>			
到達目標	<p>1. 日本の文化に大きな影響を与えた禅文化について広く理解し、その特質を説明することができるようになる。 2. 建学の精神「正念」を深く理解し日常に活かしていくことができるようになる。</p>			
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回	複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容		
1	廣瀬 良文	<p>【第 1 回】 予習 : 中学・高校の社会や大学での授業で仏教について学んだことを振り返る 授業 : 仏教と建学の精神「正念」の復習 復習 : 道元禅師の生き方と「正念」の関係をまとめる</p>		
2	廣瀬 良文	<p>【第 2 回】 予習 : ヨガと釈尊の坐禅について調べておく 授業 : ヨガと禅文化 復習 : インドのヨガと禅文化の特色についてまとめる</p>		
3	廣瀬 良文	<p>【第 3 回】 予習 : 達磨と禅について調べておく 授業 : 「達磨さんが転んだ」の達磨大師と禅の教え 復習 : ダルマ人形に関連する禅文化・日本社会の特色について振り返る</p>		
4	廣瀬 良文	<p>【第 4 回】 予習 : 禅宗の教えについて調べておく 授業 : 人生の主人公とは～悟りの逸話からみる禅宗～ 復習 : 禅宗の教えの特色についてまとめ禅文化・日本社会について振り返る</p>		
5	廣瀬 良文	<p>【第 5 回】 予習 : 鎌倉時代の禅について調べておく 授業 : 武士の世の到来と鎌倉時代の禅 復習 : 鎌倉の臨済禅の特色と禅文化・日本社会について振り返る</p>		
6	廣瀬 良文	<p>【第 6 回】 予習 : 曹洞宗の道元禅師について調べておく 授業 : 道元禅師と永平寺・『典座教訓』 復習 : 道元禅師の教えを通じて禅文化・日本社会について振り返る</p>		
7	廣瀬 良文	<p>【第 7 回】 予習 : 京都の禅宗寺院について調べておく 授業 : 五山の成立と禅文化～墨蹟・水墨画・庭園～ 復習 : 室町時代の禅宗・京都の禅文化と日本社会について振り返る</p>		
8	廣瀬 良文	<p>【第 8 回】 予習 : 「一休さん」について調べておく 授業 : 「一休さん」と一休宗純～その実像と逸話～ 復習 : 一休宗純と京都大徳寺に関する禅文化・日本社会について振り返る</p>		
9	廣瀬 良文	<p>【第 9 回】 予習 : 禅と女性の関係について調べておく 授業 : 禅宗と女性・尼僧 復習 : 禅宗における尼僧と禅文化・日本社会について振り返る</p>		
10	廣瀬 良文	<p>【第 10 回】 予習 : 昔話と仏教の関係について調べておく 授業 : 禅宗と説話 復習 : 禅宗の坐禅や行持が生んだ日本の昔話・禅文化・日本社会について振り返る</p>		

11	廣瀬 良文	【第 11 回】 予習 : 日本文化と妖怪について調べておく 授業 : 禅と妖怪 復習 : 禅宗の葬儀法要と日本の禅文化・日本社会について振り返る						
12	廣瀬 良文	【第 12 回】 予習 : 幽霊について調べておく 授業 : 禅と幽霊 復習 : 禅宗の活動が生んだ地域の伝承と禅文化・日本社会について振り返る						
13	廣瀬 良文	【第 13 回】 予習 : 江戸時代の名僧について調べておく 授業 : 江戸時代の名僧たち～黄檗宗の隠元・臨済宗の沢庵・曹洞宗の良寛～ 復習 : 江戸時代における禅僧たちの生き方に学び自らの生き方をふりかえる						
14	廣瀬 良文	【第 14 回】 予習 : 世界の ZEN について調べておく 授業 : 世界に広がる「ZEN」 復習 : 「ZEN」の教えと各自の生き方を照らし合わせ、その意義を深める						
15	廣瀬 良文	【第 15 回】 予習 : 仏教学Ⅳで学んだ事項の要点を振り返る 授業 : 仏教学Ⅳの学びの総括、禅文化と現代社会について 復習 : 仏教学Ⅳで学んだことの要点をまとめる						
授業開始前学習		禅文化に関する興味・関心を深め、それに関連する書籍に目を通しておくこと。						
授業内課題のフィードバックの方法		授業で課題もしくは感想を提出してもらった場合、次回の授業で総評する。またグループ討論を行うこともある。						
テキスト・教材		特定のテキストは使用せず、必要に応じて資料を配付する。						
参考書		『仏教学』（駒沢女子大学教科書） 田上太秀編著『禅の思想辞典』（東京書籍、2008 年）、その他、必要に応じて指示する。						
評価の基準と方法		平常点（授業態度・提出物）30 点とテスト 70 点で総合的に評価する。						
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける 自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける 社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける 文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける						
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				△
関連科目		「仏教学」や日本文化に関する授業などは仏教文化・禅文化と仏教との関係を考える上ですべて関連するものである。						
その他								
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）						
実務経験を活かした教育内容		曹洞宗の僧侶としての実務経験有り。その経験を生かして禅の思想・文化について講義する。						

科目分類	100-130-11	授業コード	F00150
科目名称	駒沢女子大学入門	単位数	2.0 単位
英文名称	Introduction for Komazawa Women's University Studies	授業区分	講義
科目責任者	安藤 嘉則	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	明田川・安藤	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00～12:00 後期 火曜日 09:00～12:00	研究室	10-505
授業概要	本講義は、駒沢女子大学の学生としてのアイデンティティーの確立と本学の教育目標で掲げる「現代社会に活躍する女性の人材育成」を理解することを目的とする。具体的には駒沢女子大学の建学の精神や教育理念、創立者・山上曹源の生涯と教え、学園の沿革史、さらに現在、本学が立地する稲城市の自然と歴史などを講義する。この授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	1, 駒沢女子大学の建学の精神ならびに教育理念を理解できる。 2, 本学の学生としてのアイデンティティーを確立することができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
		複数教員の場合の 授業形態	共同
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	安藤 嘉則 明田川 紀彦	【第 1 回】 予習 : シラバスで授業内容を確認する 授業 : 駒沢女子大学の建学の精神理念と教育の特色 復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる	
2	安藤 嘉則 明田川 紀彦	【第 2 回】 予習 : 駒沢女子大学の学校行事について調べる 授業 : 駒沢女子大学の教育理念と教育の特色 復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる	
3	安藤 嘉則 明田川 紀彦	【第 3 回】 予習 : 駒沢学園 HP で学内施設について調べる 授業 : 駒沢女子大学の学校行事 復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる	
4	安藤 嘉則 明田川 紀彦	【第 4 回】 予習 : 第 1 回から第 3 回に学んだ事項を振り返る 授業 : 駒沢女子大学の建学の精神と教育について考える (課題解決型学習) 復習 : 考えたことをレポートにまとめる	
5	安藤 嘉則 明田川 紀彦	【第 5 回】 予習 : 駒沢学園の創立者・山上曹源の生涯を調べる 授業 : 駒沢学園の創立者・山上曹源の生涯 復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる	
6	安藤 嘉則 明田川 紀彦	【第 6 回】 予習 : 駒沢学園の創立者・山上曹源の教育を調べる 授業 : 駒沢学園の創立者・山上曹源の教育 復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる	
7	安藤 嘉則 明田川 紀彦	【第 7 回】 予習 : 駒沢学園 HP で駒沢学園の創立から戦前の歴史を調べる 授業 : 駒沢学園の歴史 1 ? 創立から戦前の歩み? 復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる	
8	安藤 嘉則 明田川 紀彦	【第 8 回】 予習 : 駒沢学園 HP で駒沢学園の戦後から現代までの歴史を調べる 授業 : 駒沢学園の歴史 2 ? 戦後から現代の歩み? 復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる	
9	安藤 嘉則 明田川 紀彦	【第 9 回】 予習 : 第 5 回から第 8 回の授業で学んだ事項を振り返る 授業 : 創立者と学園の歴史について考える (課題解決型学習) 復習 : 考えたことをレポートにまとめる	
10	安藤 嘉則 明田川 紀彦	【第 10 回】 予習 : 本学が立地する稲城市について調べる 授業 : 稲城の自然 復習 : 授業で学んだことをノートにまとめる	
11	安藤 嘉則 明田川 紀彦	【第 11 回】 予習 : 稲城の古代から中世の歴史を調べる 授業 : 稲城の歴史と文化財 1 復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる	

12	安藤 嘉則 明田川 紀彦	【第 12 回】 予習 : 稲城の近世から現代までの歴史を調べる 授業 : 稲城の歴史と文化財 2 復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる						
13	安藤 嘉則 明田川 紀彦	【第 13 回】 予習 : 第 10 回から第 12 回の授業で学んだ事項を振り返る 授業 : 稲城の自然と歴史について考える(課題解決型学習) 復習 : 考えたことをレポートにまとめる						
14	安藤 嘉則 明田川 紀彦	【第 14 回】 予習 : 第 1 回から第 13 回の授業で学んだ事項を振り返る 授業 : 駒女検定と駒女の魅力について考える (課題解決型学習) 復習 : ディスカッションの結果をもとに自分の考えをノートにまとめる						
15	安藤 嘉則 明田川 紀彦	【第 15 回】 予習 : ノートから第 14 回までの授業で学んだ事項を振り返り、自分なりに総括する 授業 : 総括 レポート作成(課題解決型学習) 復習 : この授業を通じて学んだことを総括し、自分の考えをまとめる						
授業開始前学習	駒沢女子大学の H P・大学案内などの本学に関する記事を読んでおく授業が理解しやすい。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業で提出するレポートについては、単元のまとめの授業で講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	『駒沢女子大学入門』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書	『駒沢学園六十周年史』、『駒沢学園創立七十周年記念誌』、『わが古里の花なればー駒沢学園八十年史ー』、『駒沢学園九十年史』							
評価の基準と方法	平常点、レポート、駒女検定で行う。配点 (100 点満点における) は平常点 (提出物) 30 点、レポート 50 点 駒女検定 20 点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				△
関連科目	「仏教学Ⅰ」の仏教の開祖釈尊の生涯と教え、「仏教学Ⅱ」の道元の生涯や教えは、本科目の建学の精神や学校行事、創立者や学園の歴史を理解する上で、必要になる科目である。							
その他	授業の進捗状況によって、内容を変更する場合がある。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00310
科目名称	日本文化入門 I	単位数	2.0 単位
英文名称	Introduction to Japanese Cultural Studies I	授業区分	講義
科目責任者	下川 雅弘	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	下川 雅弘	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00~14:30 水曜日 13:00~14:30 後期 月曜日 13:00~14:30 水曜日 13:00~14:30	研究室	10-706
授業概要	この授業では、日本の文化の専門的学習を行うために必要な基礎知識と方法を身に付ける。具体的には、文化的景観（地域の人々の生活・生業や風土により形成された景観）の価値が評価された日本各地の世界遺産を事例とし、これらを通して日本のさまざまな文化事象及び日本人の物の考え方について考察する。この授業によって、日本の文化に対する考えを深めるきっかけとする。授業では課題解決型学習・発表を行う。		
到達目標	1. 日本の世界遺産や文化的景観に関する自分の調査内容を適切にまとめることができる。 2. 日本の文化を育んできた日本人の特質について自分なりの考えを説明することができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	下川 雅弘	【第 1 回】 予習 : シラバスを読み、学習内容を確認する 授業 : 日本文化入門 I の学習内容 (教科書 1 頁) / 法隆寺から考える日本の木造建築文化 (教科書 2~4 頁) 復習 : 授業内容の整理課題と考察課題をフォームで提出する (6 点)	
2	下川 雅弘	【第 2 回】 予習 : 「京町家は未来に伝えられるか」の部分について教科書を読んでおく 授業 : 未来に伝えたい日本の文化 (課題解決型学習) / 京町家は未来に伝えられるか (教科書 5 頁) 復習 : 授業内容の整理課題をフォームで提出する (6 点)	
3	下川 雅弘	【第 3 回】 予習 : 「世界遺産と無形文化遺産」の部分について教科書を読んでおく 授業 : 世界遺産と無形文化遺産 (教科書 6~7 頁) / 世界遺産「白川郷・五箇山の合掌造り集落」 復習 : 授業内容の整理課題をフォームで提出する (6 点)	
4	下川 雅弘	【第 4 回】 予習 : 「世界遺産と文化的景観」の部分について教科書を読んでおく 授業 : 世界遺産と文化的景観 (教科書 8~9 頁) / 世界遺産レジユメによる発表について (教科書 12 頁) 復習 : 授業内容の整理課題と考察課題 1 をフォームで提出する (6 点)	
5	下川 雅弘	【第 5 回】 予習 : ブルーノ・タウト『日本美の再発見』についてプリントを読んでおく 授業 : ブルーノ・タウト『日本美の再発見』を読む (課題解決型学習) / 世界遺産「白川郷・五箇山の合掌造り集落」から考える文化的景観とその保存 (教科書 10~11 頁) 復習 : 授業内容の整理課題と考察課題 2 をフォームで提出する (6 点)	
6	下川 雅弘	【第 6 回】 予習 : 「文化的景観を守る意義」の部分について教科書を読んでおく 授業 : 文化的景観を守る意義 (教科書 16~17 頁) 復習 : 授業内容の整理課題をフォームで提出する (6 点)	
7	下川 雅弘	【第 7 回】 予習 : 世界遺産レジユメ (世界遺産の概要部分) を提出する 授業 : 世界遺産レジユメの参考文献について (教科書 13~15 頁) / 世界遺産レジユメ考察部分の執筆とアドバイス 復習 : 世界遺産レジユメ (世界遺産の考察部分) を書き進める	
8	下川 雅弘	【第 8 回】 予習 : 「里地・里山という文化的景観」の部分について教科書を読んでおく 授業 : 里地・里山という文化的景観 (教科書 18~19 頁) 復習 : 授業内容の整理課題をフォームで提出する (6 点)	
9	下川 雅弘	【第 9 回】 予習 : 「谷戸と棚田の文化的景観」の部分について教科書を読んでおく 授業 : 谷戸と棚田の文化的景観 (教科書 20~22 頁) 復習 : 授業内容の整理課題をフォームで提出する (6 点)	
10	下川 雅弘	【第 10 回】 予習 : 「文化的景観を未来にどう伝えるか」の部分について教科書を読んでおく 授業 : 正課学外活動【地元発見プロジェクト】「大学付近の谷戸田を歩く」/ 文化的景観を未来にどう伝えるか (教科書 22 頁) 復習 : 考察課題をフォームで提出する (6 点)	

11	下川 雅弘	【第 11 回】 予習：世界遺産レジュメを提出する（30 点）／「世界文化遺産と世界自然遺産」の部分について教科書を読んでおく 授業：世界文化遺産と世界自然遺産（教科書 23～24 頁）／世界遺産レジュメの修正とアドバイス 復習：授業内容の整理課題をフォームで提出する（6 点）／世界遺産レジュメを完成させ、発表に使用する写真をアップする							
12	下川 雅弘	【第 12 回】 予習：世界遺産レジュメ集を読んでおく 授業：世界遺産レジュメ集を読む①（世界遺産「宗像・沖ノ島と関連遺産群」）（発表） 復習：発表にコメントを寄せる							
13	下川 雅弘	【第 13 回】 予習：世界遺産レジュメ集を読んでおく 授業：世界遺産レジュメ集を読む②（世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」）（発表） 復習：発表にコメントを寄せる							
14	下川 雅弘	【第 14 回】 予習：世界遺産レジュメ集を読んでおく 授業：世界遺産レジュメ集を読む③（世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」）（発表） 復習：発表にコメントを寄せる							
15	下川 雅弘	【第 15 回】 予習：ミニレポートをフォームで提出する（10 点） 授業：世界遺産から考える日本文化の学びの総括（課題解決型学習） 復習：ミニレポートの感想をフォームで提出する							
授業開始前学習									
授業内課題のフィードバックの方法		毎回の課題に対して、次回の授業時に受講者からの回答を紹介し、コメント・講評を行う。							
テキスト・教材		授業中に教科書やプリントを配付する。							
参考書		授業中に指示する。							
評価の基準と方法		課題 6 0 %、発表レジュメ 3 0 %、ミニレポート 1 0 %により評価する。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		◎	○	△					
関連科目									
その他		授業の進捗状況等によって、内容を変更することがある。 この授業では、稲城市内の文化的景観を体感するため、授業時間内に正課学外活動（大学付近の谷戸田を歩く）を行う可能性がある。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-120-11	授業コード	F00320
科目名称	日本文化入門Ⅱ	単位数	2.0 単位
英文名称	Introduction to Japanese Cultural Studies Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	木内 英実	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	木内 英実	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 13:00～14:30 水曜日 14:40～16:10 後期 月曜日 13:00～14:30 水曜日 13:00～14:30	研究室	10-620
授業概要	この授業では、日本の文化の専門的学習を行うために必要な基礎知識と方法を身に付ける。具体的には、日本の世界遺産・文化遺産・民俗文化財を考察の対象とし、それを通して日本のさまざまな文化事象及び日本人の物の考え方について考察する。この授業によって、日本の文化に対する考えを深めるきっかけとする。また、この授業では、教員が演習発表の模擬授業を行った後に各自の調査内容の基づく学生演習発表について意見交換を行う。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日本の言語文化財かつ民俗学資料である日本昔話（日本五大昔話：桃太郎・かちかち山・猿蟹合戦・舌切り雀・花咲爺や「今昔物語」天竺部、「遠野物語」収録作品等）と日本の世界遺産及び文化遺産に関する自分の調査内容を適切にまとめることができる。 日本の言語文化を育んできた日本人の特質について自分なりの考えを説明することができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	木内 英実	【第 1 回】 予習：日本の昔話について自分が知っていることをまとめておく 授業：日本の言語文化財としての日本昔話、伝承文芸、日本民俗学資料としての日本民話について基本的概念及び専門用語整理 復習：本授業の概要を把握し、ミニレポートを完成させる	
2	木内 英実	【第 2 回】 予習：教科書第 1 章精読 授業：教科書第 2 章「いまなぜ日本の昔話なのか 1. いまなぜ日本の昔話なのか」 復習：授業内容をもとにミニレポート作成	
3	木内 英実	【第 3 回】 予習：教科書第 2 章精読 授業：演習発表模擬授業「インド由来の日本伝承文学：月のうさぎ・五色の鹿」（意見交換）・教科書第 2 章「いまなぜ日本の昔話なのか 2. 昔話のおもしろさは？」 復習：授業内容をもとに感想・意見をまとめる	
4	木内 英実	【第 4 回】 予習：教科書第 2 章精読 授業：演習発表模擬授業「身近な昔話・民話：猫の盆踊り・猫の踊り場」（意見交換）・教科書第 2 章「いまなぜ日本の昔話なのか 3. 物語から昔話へ」 復習：授業内容をもとに感想・意見をまとめる	
5	木内 英実	【第 5 回】 予習：教科書第 3 章テーマ 1 精読 授業：演習発表模擬授業「勧善懲悪を語る昔話とその展開：猿蟹合戦」（意見交換）・教科書第 3 章テーマ 1「愛と別れ」 復習：授業内容をもとに感想・意見をまとめる	
6	木内 英実	【第 6 回】 予習：教科書第 3 章テーマ 2 精読 授業：演習発表模擬授業「勧善懲悪を語る昔話とその展開：かちかち山」（意見交換）・教科書第 3 章テーマ 2「恵み」・学生演習発表についての確認事項 復習：授業内容をもとに感想・意見をまとめる	
7	木内 英実	【第 7 回】 予習：教科書第 3 章テーマ 3 精読 授業：教科書第 3 章テーマ 3「逃走」・学生演習発表 1 回目（意見交換・質疑応答） 復習：授業内容をもとに感想・意見をまとめる	
8	木内 英実	【第 8 回】 予習：教科書第 3 章テーマ 4 精読 授業：教科書第 3 章テーマ 4「夢と運」・学生演習発表 2 回目（意見交換・質疑応答） 復習：授業内容をもとに感想・意見をまとめる	
9	木内 英実	【第 9 回】 予習：教科書第 3 章テーマ 5 精読 授業：教科書第 3 章テーマ 5「冒険」・学生演習発表 3 回目（意見交換・質疑応答） 復習：授業内容をもとに感想・意見をまとめる	

10	木内 英実	【第10回】 予習：教科書第3章テーマ6精読 授業：教科書第3章テーマ6「悪と欲」・学生演習発表4回目（意見交換・質疑応答） 復習：授業内容をもとに感想・意見をまとめる						
11	木内 英実	【第11回】 予習：教科書第3章テーマ7精読 授業：教科書第3章テーマ7「報復」・学生演習発表5回目（意見交換・質疑応答） 復習：授業内容をもとに感想・意見をまとめる						
12	木内 英実	【第12回】 予習：教科書第3章テーマ8精読 授業：教科書第3章テーマ8「笑い」とんち」・学生演習発表6回目（意見交換・質疑応答） 復習：授業内容をもとに感想・意見をまとめる						
13	木内 英実	【第13回】 予習：教科書第3章テーマ9精読 授業：教科書第3章テーマ9「友情」・学生演習発表7回目（意見交換・質疑応答）・冬休みの課題説明 復習：冬休みの課題（1. コメントシートの集計及び演習発表振り返り2. 演習発表レジュメを修正しレポートとしてまとめる）						
14	木内 英実	【第14回】 予習：教科書第3章テーマ10精読 授業：教科書第3章テーマ10「時代（伝説）」・学生演習発表（予備）・冬休みの課題フィードバック 復習：冬休みの課題フィードバックをもとに授業内容や提出課題を振り返る						
15	木内 英実	【第15回】 予習：授業振り返りレポート準備 授業：これまでのまとめと授業振り返りレポート作成 復習：授業内容を振り返り次年度の専門科目への展望を持つ						
授業開始前学習	日本の昔話、伝承文芸、それら周辺の文化や自然に関する図書を読んでおく、授業が理解しやすい。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内容に関する課題を複数回課す。次回以降の授業時に簡単なコメントを付し、返却する。学生演習発表時のコメントシート（学生相互評価）は授業翌週にまとめて返却する。							
テキスト・教材	真野須美子『日本の昔話の変遷・メッセージ-日本文化としての昔話-』（明治図書、1999）							
参考書	関敬吾『日本昔話大成』角川書店（1978-1980）、小澤俊夫・赤羽末吉『日本の昔話』＜全5巻＞福音館書店（1995）、松谷みよ子『現代民話考』＜全12巻＞筑摩書房（2010）							
評価の基準と方法	ミニレポート及びコメントシート 20%、学生演習発表 30%、演習発表レジュメ 10%、レジュメ修正レポート 10%、コメントシート振り返り 10%、振り返りレポート 20%で評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○	△					
関連科目								
その他	第13回～第15回は時期的に冬休みを挟むため、実際のカレンダーに合わせての進行とすることがある。詳しくは授業時に指示する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00330
科目名称	人間関係入門 I	単位数	2.0 単位
英文名称	Introduction to Human Relations Studies I	授業区分	講義
科目責任者	大貫 恵佳	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	白井・大貫・倉住・田澤	開講時期	1 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	<p>テーマ：人間関係研究への招待 前編</p> <p>人間文化学類人間関係専攻の学問分野のうち「応用心理学」「ビジネス企画」「国際政治学」「社会学」について、それぞれの分野のエッセンスを紹介する。人間・文化・社会をめぐるさまざまな現象や諸課題を 4 分野ではどのように捉えることができるのか、どのような理解と発想が可能なのか、それぞれの学問的特徴を理解するとともに、学的魅力にふれてもらいたい。</p>		
到達目標	<p>「応用心理学」「ビジネス企画」「国際政治学」「社会学」の各分野について、研究の対象・方法・基本的な考え方を理解し、人間・文化・社会に対する各分野のアプローチの違いをイメージできるようになることを目標とする。</p>		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
			オムニバス
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	倉住 友恵	<p>【第 1 回】</p> <p>予習：シラバスを熟読し、質問や相談事項があれば整理しておく 応用心理学 1：人間関係専攻の学び / 応用心理学とは 復習：不安から引き起こされる日常的な行動を考えてみる</p>	
2	倉住 友恵	<p>【第 2 回】</p> <p>予習：やる気を起こすためにどのような方法を使用しているか考える 応用心理学 2：やる気をコントロールする 復習：普段の学習の中で動機づけ調整方略を使用してみる</p>	
3	倉住 友恵	<p>【第 3 回】</p> <p>予習：普段自分はどのような感情を感じやすいか考える 応用心理学 3：感情をもとにコミュニケーションについて考える（グループワーク） 復習：感情に関する気付きを実生活に活かしてみる</p>	
4	倉住 友恵	<p>【第 4 回】</p> <p>予習：「ストレス」について辞書等を使用して調べる 応用心理学 4：ストレスとうまく付き合う 復習：ストレス対処方略とポジティブリフレーミングを実践してみる</p>	
5	田澤 秀司	<p>【第 5 回】</p> <p>予習：日記を書いてくる 授業：ビジネス企画 1：日常を記す 復習：文で表現する</p>	
6	田澤 秀司	<p>【第 6 回】</p> <p>予習：日記を書いてくる 授業：ビジネス企画 2：物語を作る 復習：絵と文で表現する</p>	
7	田澤 秀司	<p>【第 7 回】</p> <p>予習：日記を書いてくる 授業：ビジネス企画 3：情報を伝える 復習：写真と文で表現する</p>	
8	田澤 秀司	<p>【第 8 回】</p> <p>予習：日記を書いてくる 授業：ビジネス企画 4：メディアで表現する 復習：動画と文で表現する</p>	
9	白井 実穂子	<p>【第 9 回】</p> <p>予習：新聞を読んで、現在問題となっている国際問題を書きとめ、授業に臨む 授業：国際関係論 1：歴史を学ぶことの重要性を知る 復習：授業内容を振り返り、理解を深める</p>	
10	白井 実穂子	<p>【第 10 回】</p> <p>予習：身の回りにある MADE IN JAPAN 以外のモノを書きとめ、授業に臨む 授業：国際関係論 2：グローバル化の進む国際社会 復習：授業内容を振り返り、理解を深める</p>	
11	白井 実穂子	<p>【第 11 回】</p> <p>予習：国際化を意識した事象を書きとめ、授業に臨む 授業：国際関係論 3：平和の学問としての国際関係論 復習：4 回の授業を振り返り、当該分野の専門書を読んでもらう</p>	

12	大貫 恵佳	【第12回】 予習：自分の「自己紹介文」を考えてみる 授業：社会学入門1：自己と他者への関心／「問い」の重要性（ディスカッション） 復習：友人の「自己紹介」への質問を考える							
13	大貫 恵佳	【第13回】 予習：自己と他者の多面性を理解する 授業：社会学入門2：自己と他者 復習：配布資料をもとに、自己論の基礎を理解する							
14	大貫 恵佳	【第14回】 予習：自身の所属している集団はどこか考える 授業：社会学入門3：集団と社会化 復習：配布資料をもとに、過剰な社会化の事例を考える							
15	大貫 恵佳	【第15回】 予習：自分の「理想の家族」を考える 授業：社会学入門4：近代社会とは～家族のあり方 復習：多様な家族のあり方考える							
授業開始前学習									
授業内課題のフィードバックの方法		課題提出を求める場合は、次回授業以降に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材		とくに指定しない。必要に応じて適宜、資料を配布する。							
参考書									
評価の基準と方法		平常点（受講取組みの積極性・課題提出）（60％）、各担当者（4名）による課題（40％）をもとに総合的に評価する。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	△	○	○	◎			
関連科目		教養教育科目の「心理学ⅠⅡ」「社会学ⅠⅡ」「戦争と平和の歴史ⅠⅡ」と関連し、「人間関係の基礎」（2年前期、専攻必修科目）への橋渡しとなる科目である。							
その他		「コミュニケーション」を共通の具体的研究事例に含めながら、4名の教員によるオムニバス形式で進める。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-120-11	授業コード	F00340
科目名称	人間関係入門Ⅱ	単位数	2.0 単位
英文名称	Introduction to Human Relations Studies Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	榎本 環	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	石田・榎本(環)・楠田・小菅	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	<p>テーマ：人間関係研究への招待 後編</p> <p>人間文化学類人間関係専攻の学問分野のうち「身体文化論」「メディア論」「キャリア心理学」「現代社会学」について、それぞれの分野のエッセンスを紹介する。人間・文化・社会をめぐるさまざまな現象や諸課題を 4 分野ではどのように捉えることができるのか、どのような理解と発想が可能なのか、それぞれの学問的特徴を理解するとともに、学的魅力にふれてもらいたい。</p>		
到達目標	<p>「身体文化論」「メディア論」「キャリア心理学」「現代社会学」の各分野について、研究の対象・方法・基本的な考え方を理解し、人間・文化・社会に対する各分野のアプローチの違いをイメージできるようになることを目標とする。</p>		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
			オムニバス
授業回数	担当者	授業の内容	
1	石田 かおり	<p>【第 1 回】</p> <p>予習：論理的思考やロジカルシンキングの本を図書館・書店等で探して概要を把握する</p> <p>授業：身体文化論 1：論理的な考え方に親しむ</p> <p>復習：配布資料や自筆ノートを見直して授業内容の理解を深める</p>	
2	石田 かおり	<p>【第 2 回】</p> <p>予習：高校数学で学習した集合論を中心に各種の考え方を復習する</p> <p>授業：身体文化論 2：真理の探究方法としての論理学</p> <p>復習：配布資料や自筆ノートを見直して授業内容の理解を深める</p>	
3	石田 かおり	<p>【第 3 回】</p> <p>予習：高校で学習した倫理の教科書・参考書や哲学の入門書に目を通す</p> <p>授業：身体文化論 3：真理の探究方法としての哲学</p> <p>復習：授業で説明した哲学者の考え方を使って物事を見て気付いたことをノートに記入する</p>	
4	石田 かおり	<p>【第 4 回】</p> <p>予習：現象学についての資料を探して読む</p> <p>授業：身体文化論 4：現象学という方法と応用例</p> <p>復習：配布資料や自筆ノートを見直して授業内容の理解を深める、授業で紹介した書籍を読む、論理パズルを解く</p>	
5	楠田 恵美	<p>【第 5 回】</p> <p>予習：「近代化」、「メディア」とは何か調べる</p> <p>授業：メディア論 1：近代化とメディア</p> <p>復習：近代化にメディアが果たした役割について考える</p>	
6	楠田 恵美	<p>【第 6 回】</p> <p>予習：「グローバル化」とは何か調べる</p> <p>授業：メディア論 2：グローバル化とメディア</p> <p>復習：グローバル化にメディアが果たした役割について考える</p>	
7	楠田 恵美	<p>【第 7 回】</p> <p>予習：身の回りの空間に広がるメディアをリストアップする</p> <p>授業：メディア論 3：都市とメディア</p> <p>復習：予習で作成したリストをバージョンアップさせる</p>	
8	小菅 清香	<p>【第 8 回】</p> <p>予習：「キャリア」という言葉の意味について、イメージするものを自由に書き出す※授業時に使用する</p> <p>授業：キャリア心理学 1：心理学からみる「キャリア」</p> <p>復習：配付資料および参考文献 (https://www.jil.go.jp/institute/zassi/backnumber/2017/04/pdf/073-074.pdf) に目を通して、自身の考えをまとめる※次回授業時に発表する</p>	

9	小菅 清香	【第 9 回】 予習：どのように大学を選んだか、他者に説明できるようにまとめる※授業時に使用する 授業：キャリア心理学 2：研究からみる「キャリア」 復習：配付資料を参考にして、自身の進路選択がどのようなものであったかを理論に照らしてまとめる※次回授業時に発表する						
10	小菅 清香	【第 10 回】 予習：中学校や高校等で行われた進路選択に関わる活動を、他者に説明できるようにまとめる※授業時に使用する 授業：キャリア心理学 3：実践からみる「キャリア」 復習：配付資料を参考にして、中学校や高校での実践にどのような意味があったかをまとめる						
11	榎本 環	【第 11 回】 予習：社会学とはどのような学問か、入門書・Web 等でリサーチしてみる 授業：現代社会学 1：「社会学」という学問 復習：配布資料を再読し、不明点を整理する（次回授業時に質問する）						
12	榎本 環	【第 12 回】 予習：「ロードサイドビジネス」「ショッピングモール」について調べておく 授業：現代社会学 2：郊外社会と消費文化 復習：授業内で紹介された参考文献を読んでみる						
13	榎本 環	【第 13 回】 予習：「自由」の概念について百科事典等で調べておく 授業：現代社会学 3：人間関係と「自由」（ディスカッション） 復習：配布資料を再読し、不明点を整理する（次回授業時に質問する）						
14	榎本 環	【第 14 回】 予習：女性の労働環境をめぐる諸問題について Web 等で調べておく 授業：現代社会学 4：職場組織と女性のキャリア（ディスカッション） 復習：配布資料を再読し、不明点を整理する（次回授業時に質問する）						
15	榎本 環	【第 15 回】 予習：学生便覧や大学広報物を通じて人間関係専攻および専攻 2～4 年次のカリキュラムについて調べ、質問や相談事項を整理しておく 授業：総括：人間関係専攻について / 履修計画に向けて 復習：全 15 回の配布資料を再読し、人間関係専攻の学びについての理解を整理する						
授業開始前学習	『現象学は思考の原理である』（竹田青嗣）、およびメディア論、キャリア心理学、社会学についての入門書を読んでおく授業が理解しやすい。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題提出を求める場合は、次回授業以降に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	とくに指定しない。必要に応じて適宜、資料を配布する。							
参考書	竹田青嗣『現象学は思考の原理である』（ちくま新書、2004 年）。その他、授業内で適宜、紹介する。							
評価の基準と方法	平常点（受講取組みの積極性・課題提出）（60 %）、各担当者（4 名）による課題（40 %）をもとに総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	△	○	○	◎			
関連科目	教養教育科目の「社会学ⅠⅡ」「心理学ⅠⅡ」と関連し、「化粧の文化史」「現代社会の論点」「メディアと社会」をはじめ、人間関係専攻の各専門教育科目への橋渡しとなる科目である。							
その他	「コミュニケーション」を共通の具体的研究事例に含めながら、4 名の教員によるオムニバス形式で進める。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00350
科目名称	英語コミュニケーション入門 I	単位数	2.0 単位
英文名称	Introduction to English Communication Studies I	授業区分	講義
科目責任者	工藤 俊	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	本講義では、英語に関連する様々な学問領域の基礎を学ぶ。具体的には、英語学・英語教育・英語圏文化・英語圏文学・英語の多様性・国際社会研究といった、英語に関連する学問分野の基礎を学ぶ。同時に、聞く・読む・書く・話すといった、総合的な英語力を身につけることも目指す。		
到達目標	英語に関連する様々な学問分野の基礎知識を習得できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
		複数教員の場合の 授業形態	共同
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 1 回】 予習：英語コミュニケーション専攻の科目について調べる 授業：教員自己紹介・オリエンテーション 復習：各教員の専門分野で興味を持った分野について調べる	
2	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 2 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー1 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
3	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 3 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー2 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
4	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 4 回】 予習：レポートおよび論文の書き方を調べる 授業：レポートおよび論文についての説明 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
5	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 5 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー3 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
6	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 6 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー4 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
7	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 7 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー5 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
8	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 8 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー6 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
9	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 9 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー7 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
10	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 10 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー8 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
11	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 11 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー9 復習：学習した内容についてのまとめを行う	

12	浅川・工藤(俊)・福王・ブライアン・サガ・松山	【第12回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー10 復習：学習した内容についてのまとめを行う						
13	浅川・工藤(俊)・福王・ブライアン・サガ・松山	【第13回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー11 復習：学習した内容についてのまとめを行う						
14	浅川・工藤(俊)・福王・ブライアン・サガ・松山	【第14回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー12 復習：学習した内容についてのまとめを行う						
15	浅川・工藤(俊)・福王・ブライアン・サガ・松山	【第15回】 予習：前期の授業で学んだことを振り返る 授業：前期の総括と後期に向けて 復習：前期のまとめをする						
授業開始前学習	事前に与えられた課題について、書籍や各種メディアを適切に使用し、授業内容理解のための準備を行う。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時、学生が提出した課題を担当した教員がチェックし、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	授業中に適宜参考資料を配布する							
参考書	授業中に適宜参考資料を配布する							
評価の基準と方法	授業参加度：15%、各教員より課される課題：85%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	各回の授業に、積極的に参加すること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

英語コミュニケーション入門Ⅱ

科目分類	100-120-11	授業コード	F00360
科目名称	英語コミュニケーション入門Ⅱ	単位数	2.0 単位
英文名称	Introduction to English Communication Studies Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	工藤 俊	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	本講義では、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」に引き続き、英語に関連する様々な学問領域についてさらに深く学ぶ。具体的には、英語学・英語教育・英語圏文化・英語圏文学・英語の多様性・国際社会研究といった、英語に関連する学問分野を学ぶ。また、総合的な英語力を身につけることも継続して目指す。		
到達目標	英語に関連する様々な学問分野の深い知識を習得できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
		複数教員の場合の 授業形態	共同
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 1 回】 予習：英語コミュニケーション専攻の科目について調べる 授業：教員自己紹介・オリエンテーション 復習：各教員の専門分野で興味を持った分野について調べる	
2	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 2 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー1 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
3	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 3 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー2 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
4	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 4 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー3 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
5	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 5 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー4 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
6	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 6 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー5 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
7	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 7 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー6 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
8	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 8 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー7 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
9	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 9 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー8 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
10	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 10 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー9 復習：学習した内容についてのまとめを行う	
11	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラサ・松山	【第 11 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー10 復習：学習した内容についてのまとめを行う	

12	浅川・工藤(俊)・福王・ブライク・ブライク・松山	【第12回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー11 復習：学習した内容についてのまとめを行う						
13	浅川・工藤(俊)・福王・ブライク・ブライク・松山	【第13回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー12 復習：学習した内容についてのまとめを行う						
14	浅川・工藤(俊)・福王・ブライク・ブライク・松山	【第14回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー13 復習：学習した内容についてのまとめを行う						
15	浅川・工藤(俊)・福王・ブライク・ブライク・松山	【第15回】 予習：後期の授業で学んだことを振り返る 授業：後期の総括と次年度に向けて 復習：後期のまとめをする						
授業開始前学習	事前に与えられた課題について、書籍や各種メディアを適切に使用し、授業内容理解のための準備を行う。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時、学生が提出した課題を担当した教員がチェックし、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	授業中に適宜参考資料を配布する							
参考書	授業中に適宜参考資料を配布する							
評価の基準と方法	授業参加度：15%、各教員より課される課題：85%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	各回の授業に、積極的に参加すること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11 (J)	授業コード	F00370
科目名称	観光文化入門 I	単位数	2.0 単位
英文名称	Introduction to Culture and Tourism I	授業区分	講義
科目責任者	羽鳥 修	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鮫島・張・ゼイヤー・ウィン・田代・羽鳥・本間・渡邊(光)	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	人間総合学群、観光文化学類の「観光文化入門 I」科目は、観光・文化・産業という3つのキーワードを柱に、講義を構成している。受講生には、国と国を結ぶ「観光」を通じて国際人になって、さらに国境を越えた問題意識を「異文化理解」という観点から共有できるグローバルな人材として成長してほしいと願っている。その思いを込めた「観光文化入門 I」は、1 年次の教養教育でありながら 2～4 年次の専門教育へと橋渡しをする、輪講形式の人間総合学群の共通専門科目である。		
到達目標	本講義を通じて、2 年次に所属する学類と研究分野を自ら進んで学べる力を養う。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
			オムニバス
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	羽鳥 修	【第 1 回】担当 教員全員 予習 : シラバスを読んでおく 授業 : 授業概要・観光文化入門 I の全体内容・評価方法の説明 復習 : 配布された授業資料を復習する。	
2	張 景泰	【第 2 回】担当 張 予習 : シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業 : 駒沢女子大学で学ぶ「観光学」 復習 : 配布された授業資料を復習する。	
3	ゼイヤー	【第 3 回】担当 ゼイヤー 予習 : シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業 : 観光地のフィールドワーク (少数民族社会における調査経験の事例を学ぶ) 復習 : 配布された授業資料を復習する。	
4	羽鳥 修	【第 4 回】担当 羽鳥 予習 : 事前課題に取り組む。 授業 : アメリカ旅入門 (政治の街としてのワシントン DC) 復習 : 配布された授業資料を復習する。	
5	渡邊 光章	【第 5 回】担当 渡邊 予習 : シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業 : 観光のメディアと視覚効果 復習 : 配布された授業資料を復習する。	
6	渡邊 光章	【第 6 回】担当 渡邊 予習 : シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業 : 観光の PR メディアと心理 復習 : 配布された授業資料を復習する。	
7	田代 真人	【第 7 回】担当 田代 予習 : シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業 : 観光地を紹介するメディアの編集について① 復習 : 配布された授業資料を復習する。	
8	田代 真人	【第 8 回】担当 田代 予習 : シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業 : 観光地を紹介するメディアの編集について② 復習 : 配布された授業資料を復習する。	
9	鮫島 卓	【第 9 回】担当 鮫島 予習 : シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業 : 海外旅行の魅力と効果～なぜ旅で人は変わるのか～ 復習 : 配布された授業資料を復習する。	
10	鮫島 卓	【第 10 回】担当 鮫島 予習 : シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業 : 観光マーケティング論入門～ディズニーリゾートの舞台裏～ 復習 : 配布された授業資料を復習する。	
11	張 景泰	【第 11 回】担当 張 予習 : シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業 : 世界の観光地と統合型リゾート(IR)を考える。(グループ・ディスカッション) 復習 : 配布された授業資料を復習する。	

12	ゼイヤー	【第12回】担当 ゼイヤー 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業：開発援助プロジェクトのフィールドワーク（観光と国際協力の事例を学ぶ） 復習：配布された授業資料を復習する。							
13	本間 准	【第13回】担当 本間 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業：旅行商品企画と観光地域振興① 復習：配布された授業資料を復習する。							
14	本間 准	【第14回】担当 本間 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業：旅行商品企画と観光地域振興② 復習：配布された授業資料を復習する。							
15	羽鳥 修	【第15回】担当 教員全員 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業：期末学習レポート、全体授業の総括 復習：配布された授業資料を復習する。							
授業開始前学習		シラバスの該当ページおよび事前配布資料を熟読する。							
授業内課題のフィードバックの方法		毎回の授業において作成・提出される授業課題レポートに対し、次回の授業で講評と質問に対する回答を行う。							
テキスト・教材		各講義担当教員が個別に指定（配布プリントなど）							
参考書		授業の中で、適宜紹介する。							
評価の基準と方法		各教員が担当する全14回の授業で、授業レポート70点(各回5点×14回)、期末レポート30点、合計100点で評価する。10回以上の出席と、レポート評価が60%以上であることが単位取得の条件である。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○				◎			△
関連科目		「観光文化入門Ⅱ」							
その他									
予習・復習の所要時間		講義時間30時間（2時間×15週）＋予習・復習時間60時間（4時間×15週）							
実務経験を活かした教育内容		本科目は複数の担当者がオムニバス形式で指導する科目であり、担当教員のうち、田代は広告・出版編集者の実務経験を、渡邊はメディア業の実務経験を、鮫島・本間は旅行業の実務経験を有している。本科目では、その経験を活かして講義を行う予定である。							

科目分類	100-120-11 (J)		授業コード	F00380	
科目名称	観光文化入門Ⅱ		単位数	2.0 単位	
英文名称	Introduction to Culture and Tourism II		授業区分	講義	
科目責任者	張 景泰		必修・選択	履修ガイド参照	
担当教員	鮫島・張・ゼイヤー・ウィン・田代・羽鳥・本間・渡邊(光)		開講時期	1 年	
オフィスアワー	-		研究室	-	
授業概要	この科目は2部構成からなる。第1部(第1回～第6回、14回)は観光文化学類専任教員によるオムニバス授業。観光文化学類の専門科目の橋渡しとなる授業を行う。第2部(第7回～第13回)は観光ホスピタリティ産業の最前線で活躍する実務家による授業を行う。ゲスト講師から業界の仕組みや仕事内容を学び、学生諸君の将来の進路設計の一助とすることを目的とする。2年次以降に観光文化学類を選択する学生は履修することを勧める。				
到達目標	①観光文化学類の専門科目を理解する ②観光ホスピタリティ産業の仕組みと仕事を学ぶ ③レポート類を通して調べる力・考える力・文章力を向上させる				
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回	複数教員の場合の 授業形態	オムニバス
授業 回数	担当者	授業の内容			
1	張 景泰	【第1回】担当：専任教員全員 予習：シラバスを読んでおく 授業：授業の概要と方針・評価方法の説明 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する			
2	張 景泰	【第2回】担当：張 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する 授業：海外観光資源研究(韓国)入門 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する			
3	ゼイヤー	【第3回】担当：ゼイヤー 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する 授業：海外観光資源(東南アジア)入門 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する			
4	渡邊 光章	【第4回】担当：渡邊 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する 授業：観光のPR入門 復習：授業を聞いて授業レポートを提出する			
5	羽鳥 修	【第5回】担当：羽鳥 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する 授業：海外観光資源研究(アメリカ) 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する			
6	田代 真人	【第6回】担当：田代 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する 授業：メディア編集入門 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する			
7	鮫島 卓	【第7回】担当：鮫島 予習：ゲスト企業ホームページや記事を読み質問を考える 授業：旅行業入門(旅行会社のゲスト講師による講義)《ディスカッション》 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する			
8	本間 准	【第8回】担当：本間 予習：ゲスト企業ホームページや記事を読み質問を考える 授業：宿泊業入門(宿泊施設のゲスト講師による講義)《ディスカッション》 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する			
9	本間 准	【第9回】担当：本間 予習：ゲスト企業ホームページや記事を読み質問を考える 授業：航空業入門(航空会社のゲスト講師による講義)《ディスカッション》 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する			

10	鮫島 卓	【第10回】担当：鮫島 予習：ゲスト企業ホームページや記事を読み質問を考える 授業：観光施設業入門（テーマパークのゲスト講師による講義）《ディスカッション》 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する							
11	本間 准	【第11回】担当：本間 予習：ゲスト企業ホームページや記事を読み質問を考える 授業：ブライダル業入門（ブライダル業のゲスト講師による講義）《ディスカッション》 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する							
12	鮫島 卓	【第12回】担当：鮫島 予習：ゲスト企業ホームページや記事を読み質問を考える 授業：インバウンド・地域振興入門（ゲスト講師）《ディスカッション》 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する							
13	本間 准	【第13回】担当：本間 予習：ゲスト企業ホームページや記事を読み質問を考える 授業：ツーリストシップ入門（ゲスト講師）《ディスカッション》 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する							
14	鮫島 卓	【第14回】担当：鮫島 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する 授業：観光政策論入門 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する							
15	本間 准	【第15回】担当：張、本間、鮫島 予習：これまでの授業を振り返り、期末レポートを準備する。 授業：旅行業務取扱管理者試験・観光文化ゼミ入門、観光文化入門Ⅱのふりかえり《ディスカッション》 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する ※講師の業務上の都合により登壇者の変更または回が変更になる場合がある。							
授業開始前学習		シラバスをよく読み、観光文化入門Ⅱの授業内容を理解する							
授業内課題のフィードバックの方法		毎回、授業終了時に授業レポートの提出を義務付ける。次回授業時に講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材		授業の中で配付する。							
参考書		青木義英・廣岡裕一・神田孝治『観光入門～観光の仕事・学習・研究をつなぐ』新曜社							
評価の基準と方法		毎回授業時に提出する小レポート1回4点×15回（60%）、期末レポート（40%）の2つから総合点として評価する。期末レポートのテーマ及び提出期限は授業内で指示する。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○				◎	△		○
関連科目		本科目は、教養教育科目として位置づけられているので1年次から履修できる。観光関連実務科目の入門として活用すれば有意義な内容である。また2年次に観光文化学類を選択希望する学生は履修することを勧める。							
その他		第7回から第13回のゲスト講師の具体的な会社名と氏名は第1回授業時に紹介する。							
予習・復習の所要時間		講義時間30時間（2時間×15週）＋予習・復習時間60時間（4時間×15週）							
実務経験を活かした教育内容		第1部は観光文化学類の専任教員の実務経験に基づいた講義を行う。また第2部は観光ホスピタリティ産業で活躍する実務家による講義を行う。							

☆心理学入門（心理学概論）Ⅰ／心理学入門Ⅰ

科目分類	100-121-11（2022年～入学者） 100-120-11（～2021年入学者）	授業コード	F00390
科目名称	☆心理学入門（心理学概論）Ⅰ／心理学入門Ⅰ	単位数	2.0単位
英文名称	Introduction to Psychology Ⅰ	授業区分	講義
科目責任者	奥野 真之	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	奥野 真之	開講時期	1年
オフィスアワー	前期 木曜日 10:40～12:10 金曜日 13:00～14:30 後期 木曜日 10:40～12:10 金曜日 13:00～14:30	研究室	10-713
授業概要	私たちの認知や行動のメカニズムを明らかにするために心理学はどのような貢献ができるのだろうか。本授業の目標は、“こころ”をめぐる科学としての心理学の発展の歴史と基本的な知見・方法について知ることである。そのために心理学の基本的なトピックを概観する（特に「学習」や「発達」に関する領域については重点的に取り上げる予定）。		
到達目標	心理学の基礎的な知識やロジックを正確に理解し、それを身近な出来事の分析に応用することができるようになること。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	奥野 真之	【第1回】 予習：教科書 p.3-8 までを読んでくこと 授業：心理学の世界を概観する（1）「心を科学する方法」とは（初回につきイントロダクションとして講義の概要・評価方法などの説明も行う） 復習：教科書の該当ページおよび配布したレジュメを読み返し、心理学的なロジックについて理解すること	
2	奥野 真之	【第2回】 予習：教科書 p.9-18 までを読んでくこと 授業：心理学の世界を概観する（2）乳児や動物を対象とした研究のロジックを知る 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、心理学的なロジックについて理解すること	
3	奥野 真之	【第3回】 予習：教科書 p.19-27 までを読んでくこと 授業：行動の基本様式とは？ 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、行動の基本様式について理解すること	
4	奥野 真之	【第4回】 予習：教科書 p.27-39 までを読んでくこと 授業：行動の間接化、シンボル機能について 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、行動の間接化、シンボル機能を理解すること	
5	奥野 真之	【第5回】 予習：教科書 p.39-45 までを読んでくこと 授業：「心の理論」について 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、「心の理論」について理解する	
6	奥野 真之	【第6回】 予習：教科書 p.47-54 までを読んでくこと 授業：遺伝か、環境か 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、行動や心理が発達する要因について理解すること	
7	奥野 真之	【第7回】 予習：教科書 p.54-61 までを読んでくこと 授業：初期経験と認知発達および発達障害について 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、特にピアジェの認知発達理論について理解すること	
8	奥野 真之	【第8回】 予習：教科書 p.65-70 までを読んでくこと 授業：学習（1）心理学における「学習」とは？ 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、心理学的な「学習」の意味について理解すること	
9	奥野 真之	【第9回】 予習：教科書 p.70-80 までを読んでくこと 授業：学習（2）心理学における学習研究のいろいろ 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、「学習」をめぐる様々な研究成果を理解すること	
10	奥野 真之	【第10回】 予習：教科書 p.80-87 までを読んでくこと 授業：記憶（1）「記憶」の種類とその研究方法について 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、「記憶」の種類と研究方法を理解すること	
11	奥野 真之	【第11回】 予習：教科書 p.87-100 までを読んでくこと 授業：記憶（2）「記憶」の方略および神経学的な基礎 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、記憶方略および神経学的な基礎を理解すること	

12	奥野 真之	【第12回】 予習：教科書 p.101-116 までの指定箇所を読んでくこと 授業：感覚・知覚（1）精神物理学的な方法とは 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、感覚・知覚研究のパラダイムを理解すること						
13	奥野 真之	【第13回】 予習：教科書 p.117-139 までの指定箇所を読んでくこと 授業：感覚・知覚（2）感覚・知覚研究の拡がり？錯視や感覚間協応などについて 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、感覚・知覚に関する研究成果を理解すること						
14	奥野 真之	【第14回】 予習：教科書 p.139-164 までの指定箇所を読んでくこと 授業：感覚・知覚（3）感覚・知覚のまとめ／前期のまとめ 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、前期の授業で扱った内容について整理すること						
15	奥野 真之	【第15回】 予習：確認テストの実施要領を理解しておく（実施要領は授業内で提示する） 授業：確認テストを実施 復習：前期に配布された資料等を読み返し、理解を定着させる						
授業開始前学習	教科書の各授業回の該当箇所には目を通しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で講評する機会を設け、重要と思われるポイントについて振り返りを行う。							
テキスト・教材	鹿取廣人／杉本敏夫／鳥居修晃／河内十郎（編）『心理学 第5版補訂版』（東京大学出版会）							
参考書	授業内で適宜指示する。							
評価の基準と方法	確認テスト 70 点と平常点（授業内容に即した小レポートの提出 20%と授業への参加態度 10%）を総合して最終的な評価とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	△	○		○	△		
関連科目	心理学に関連する科目はすべて。							
その他	本授業は、「心理学入門Ⅱ（後期科目）」に続いていくように構成されている。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

☆心理学入門（心理学概論）Ⅱ／心理学入門Ⅱ

科目分類	100-121-11（2022年～入学者） 100-120-11（～2021年入学者）	授業コード	F00400
科目名称	☆心理学入門（心理学概論）Ⅱ／心理学入門Ⅱ	単位数	2.0単位
英文名称	Introduction to Psychology Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	飯田 敏晴	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	飯田・富士原	開講時期	1年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	前期の心理学入門Ⅰに引き続き、心理学の基礎的知識の習得が目標となるが、2年次以降、心理学をより深めて学習していくためのガイダンスも兼ねる。具体的には、思考・言語、動機付け、知能とパーソナリティ、社会的行動について学び、心理学は個人の内界ばかりでなく対人相互的、社会相互的にとらえることが重要であり、そのような視点を持つことによって、様々な応用が可能な学問であることを理解してもらう。学生には、テキストを精読し、分からない言葉は、心理学辞典などで調べて授業に臨むことを求めたい。		
到達目標	心理学の基礎的な理論を学び、それらがどのように社会的な場面で活用されるのかを理解すると同時に、今後の専門的な学習のための全体的な見通しを持つことができるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	無	全授業回数	15回
		複数教員の場合の授業形態	オムニバス
授業回数	担当者	授業の内容	
1	富士原 光洋	【第1回】 予習：心理学入門Ⅰの学習を整理しておく。 授業：学習のガイダンス 復習：思考と言語に関する心理学研究史を調べる。	
2	富士原 光洋	【第2回】 予習：第1回で指示したテキストの精読と下調べ 授業：問題解決、問題解決と認知的発達（テキスト pp165-173） 復習：認知の発達に関する理論を調べる。	
3	富士原 光洋	【第3回】 予習：第2回で指示したテキストの精読と下調べ 授業：知識、推論と発見（テキスト pp174-186） 復習：論理的推論を妨害する要因についてまとめる。	
4	富士原 光洋	【第4回】 予習：第3回で指示したテキストの精読と下調べ 授業：非言語的・言語的コミュニケーション、言語の特性（テキスト pp187-200） 復習：人のコミュニケーションの特徴をまとめる。	
5	富士原 光洋	【第5回】 予習：第4回で指示したテキストの精読と下調べ 授業：脳損傷と高次機能の障害（テキスト pp200-208） 復習：大脳半球機能差について調べる。	
6	富士原 光洋	【第6回】 予習：第5回で指示したテキストの精読と下調べ 授業：食と性の動機づけ、基本的情動（テキスト pp209-222） 復習：情動に関する理論を調べる。	
7	富士原 光洋	【第7回】 予習：第6回で指示したテキストの精読と下調べ 授業：親和動機づけなど（テキスト pp222-234） 単元テスト(1回から7回) 復習：第1回～第7回授業内容に関する感想レポートを作成する。	
8	飯田 敏晴	【第8回】 予習：テキスト（pp244-251）の精読と下調べ 授業：『個人差』①パーソナリティの分類（類型論と特性論）と検査法（テキスト pp244-251） 復習：類型論と特性論の違いについてまとめる。	
9	飯田 敏晴	【第9回】 予習：テキスト（pp251-263）の精読と下調べ 授業：『個人差』②パーソナリティの発達と不適応・障害（テキスト pp251-263） 復習：パーソナリティの不適応・障害について、理論による違いについてまとめる。	
10	飯田 敏晴	【第10回】 予習：テキスト（pp235-244）の精読と下調べ 授業：『個人差』③知能の測定、知能の因子（テキスト pp235-244） 復習：ビネー式知能検査とウェクスラー式の知能検査の違いについてまとめる。	

11	飯田 敏晴	【第 11 回】 予習 : 第 8~10 回の重要ポイントの復習 (テキスト pp235-263) 授業 : 『個人差』まとめと確認 (小テスト) (テキスト pp235-263) 復習 : 小テストの復習						
12	飯田 敏晴	【第 12 回】 予習 : テキスト (pp265-275) の精読と下調べ 授業 : 『社会行動』①社会行動の発達と社会的認知 (テキスト pp265-275) 復習 : 自我と自己の違いについてまとめる。						
13	飯田 敏晴	【第 13 回】 予習 : テキスト (pp275-279) の精読と下調べ 授業 : 『社会行動』②態度と説得、社会的影響 (テキスト pp275-279) 復習 : 認知的不協和の例を考える。						
14	飯田 敏晴	【第 14 回】 予習 : テキスト (pp279-294) の精読と下調べ 授業 : 『社会行動』③対人魅力と対人関係 (テキスト pp279-294) 復習 : 集団になることによってどのような問題があるかまとめる。						
15	飯田 敏晴	【第 15 回】 予習 : 第 12~14 回の重要ポイントの復習 (テキスト pp265-294) 授業 : 『社会行動』まとめと確認 (小テスト) (テキスト pp265-294) 復習 : 小テストの復習						
授業開始前学習	心理学入門 I の授業で学んだ知識を整理しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	レポートや小テストを課した場合には、適宜、当該テーマのポイントを解説していく。							
テキスト・教材	鹿取廣人, 杉本敏夫, 鳥居修晃 編 『心理学』 (東京大学出版会)							
参考書								
評価の基準と方法	前半 (富士原) が 50% (授業内課題・復習課題 25%・単元テスト 25%)、後半 (飯田) が 50% (小テスト 20%、レポート 20%、コメント点 10%) の配分で総合評価する。出席 3 分の 2 以上が単位取得の前提条件である。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける	社会的責務を果たすこと のできる専門力と判断力を身 につける	文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケ ーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	△	○		○			
関連科目								
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00410
科目名称	住空間デザイン入門 I	単位数	2.0 単位
英文名称	Introduction to Living Space Design I	授業区分	講義
科目責任者	佐藤 勉	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	李・佐藤(勉)・西尾・茂木	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	住空間に関する講義を通してデザインの基礎を習得しながら、自分の考えを表現すること、伝達すること、批評することなどを学び、主体的な学習方法を体得します。 生活（暮らし）のための空間をトータルにデザインする「リビングデザイン」について幅広く客観的に展望し学びます。4 年間で何どのように学び、そして将来の自分がリビングデザイナーとしての専門性を持って社会とどのように向き合っていくかをイメージします。		
到達目標	自分の考えの表現、伝達、他者への批評を行えるよう、主体的な学習方法を体得すること。またこれらを通じて自己の能力を発見し、高められるようになる。 建築、インテリア、プロダクトデザイン、陶芸、立体織の各分野が目指す基礎的なデザイン内容と領域を理解しイメージできるようになる。同時にそれぞれの分野の特徴と差異を理解する事を目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
			共同
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 1 回】 予習：履修ガイド学科該当ページの熟読 授業：ガイダンス 復習：ガイダンスのふりかえり	
2	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 2 回】 予習：「住空間デザイン入門交流会」予備調査 授業：「住空間デザイン入門交流会」課題説明（グループワーク） 復習：「住空間デザイン入門交流会」企画準備	
3	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 3 回】 予習：「住空間デザイン入門交流会」準備 授業：「住空間デザイン入門交流会」実施（グループワーク） 復習：「住空間デザイン入門交流会」報告レポート作成	
4	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 4 回】 予習：建築デザインについて考える 授業：「住空間と建築デザイン（講義）」、「日本の暮らし」課題出題 復習：配布資料のふりかえり	
5	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 5 回】 予習：「日本の暮らし」事前準備 授業：住空間デザイン学類の教員紹介 1、「日本の暮らし」資料作成 復習：「日本の暮らし」調査資料のまとめ	
6	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 6 回】 予習：「日本の暮らし」発表内容の整理 授業：住空間デザイン学類の教員紹介 2、「日本の暮らし」見学時調査項目発表（グループ発表） 復習：「日本の暮らし」見学時調査項目の整理	
7	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 7 回】 予習：「日本の暮らし」見学会事前準備 授業：「日本の暮らし」江戸東京たてもの園見学会実施（フィールドワーク） 復習：「日本の暮らし」見学会調査結果まとめ	
8	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 8 回】 予習：「日本の暮らし」プレゼン資料準備 授業：「日本の暮らし」プレゼン制作作業 復習：「日本の暮らし」プレゼン資料作成、レポート作成	
9	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 9 回】 予習：「日本の暮らし」クラス発表資料作成 授業：「日本の暮らし」プレゼンテーション発表会（グループ発表・プレゼンテーション） 復習：「日本の暮らし」クラス発表整理、レポート作成	
10	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 10 回】 予習：インテリアデザインについて考える 授業：「住空間とインテリアデザイン（講義）」、「店舗のインテリアを考える」課題出題 復習：配布資料のふりかえり	

11	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 11 回】 予習：「店舗のインテリアを考える」事前準備 授業：住空間デザイン学類の教員紹介 3、「店舗のインテリアを考える」調査資料作成 復習：「店舗のインテリアを考える」調査資料のまとめ						
12	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 12 回】 予習：「店舗のインテリアを考える」事前準備 授業：住空間デザイン学類の教員紹介 4、「店舗のインテリアを考える」発表資料作成 復習：「店舗のインテリアを考える」発表資料のまとめ						
13	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 13 回】 予習：「店舗のインテリアを考える」クラス発表資料作成 授業：「店舗のインテリアを考える」プレゼンテーション発表会（プレゼンテーション） 復習：「店舗のインテリアを考える」クラス発表整理、レポート作成						
14	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 14 回】 予習：家具デザインについて考える 授業：「住空間と家具デザイン（講義）」、住空間デザインに関わる資格について 復習：配布資料のふりかえり						
15	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 15 回】 予習：前期のふりかえり 授業：住空間デザイン学類の教員紹介 5、夏休み課題出題 復習：夏休み課題						
授業開始前学習	大学で学ぶための基本的な姿勢や心構えやについて、履修ガイドの該当する項目を熟読すること。 日本人のくらしや住まいについて、書籍やインターネットを通して基本的な知識を得ること。							
授業内課題のフィードバックの方法	各課題の実施後に講評を行う。							
テキスト・教材	資料・プリント等を適宜配布する。							
参考書	資料等を適宜配布・紹介する。							
評価の基準と方法	提出物、受講態度などにより評価する。 評価は提出物 70%、受講態度など 30%。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	◎		△			
関連科目								
その他	「日本のくらし」江戸東京たても園 見学会は 3 時間程度行われる。 見学会を実施するかどうかは、その時の状況に応じて判断する。 見学会の交通費は自己負担となる。見学先での記録道具としてスマートフォンやデジタルカメラなどを用意すること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

住空間デザイン入門Ⅱ

科目分類	100-120-11	授業コード	F00420
科目名称	住空間デザイン入門Ⅱ	単位数	2.0 単位
英文名称	Introduction to Living Space Design II	授業区分	講義
科目責任者	佐藤 勉	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	李・佐藤(勉)・西尾・茂木	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	見学会や共同作業などを通してデザインの基礎を実践しながら、自分の考えを表現すること、伝達すること、批評することなどを学び、主体的な学習の方法を体得する。 生活(くらし)のための空間をトータルにデザインする「リビングデザイン」について幅広く客観的に展望し学びます。将来の自分が、リビングデザイナーとしての専門性を持って社会と向き合っていくために必要な、調査力・分析力や表現力を実践から学びます。ディスカッションやグループ発表などのグループワーク及び、プレゼンテーションやフィールドワークを行う。		
到達目標	自分の考えの表現、伝達、他者への批評を行えるよう、主体的な学習方法を体得する。またこれらを通じて自己の能力を発見し、高められるようになる。 与えられた課題に対して調査を行い、その結果を分析して独自の結論を導き出せるようになる。またその結論をプレゼンテーションして他者に伝えることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
			共同
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 1 回】 予習 : 夏休み課題の確認 授業 : 住空間デザイン学類の教員紹介 7、プレゼンテーションの方法について 復習 : 配布資料のふりかえり	
2	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 2 回】 予習 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」予備調査 授業 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」課題出題 復習 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」事前調査レポート	
3	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 3 回】 予習 : 看護学科との連携課題「環境について」1 事前準備 授業 : 看護学科との連携課題「環境について」1 (グループワーク) 復習 : 看護学科との連携課題「環境について」1 ふりかえり	
4	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 4 回】 予習 : 看護学科との連携課題「環境について」2 事前準備 授業 : 看護学科との連携課題「環境について」2 (グループワーク、プレゼンテーション) 復習 : 看護学科との連携課題「環境について」2 ふりかえり	
5	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 5 回】 予習 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」事前調査レポート発表準備 授業 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」事前調査レポート発表 (プレゼンテーション) 復習 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」発表のふりかえり	
6	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 6 回】 予習 : 住空間デザイン学類の学びやコースについて調べる 授業 : 住空間デザイン学類の教員紹介 8 復習 : 配布資料のふりかえり	
7	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 7 回】 予習 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」見学準備 授業 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」見学会 復習 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」見学会ふりかえり	
8	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 8 回】 予習 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」プレゼンシート準備 授業 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」プレゼンシート制作作業 復習 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」レポート作成	
9	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 9 回】 予習 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」プレゼンシート制作準備 授業 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」プレゼンシート制作作業 復習 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」レポート作成	
10	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 10 回】 予習 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」発表準備 授業 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」発表会 (グループ発表・プレゼンテーション) 復習 : 「日本の住まい (団地とは何か) 」発表のふりかえり	

11	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 11 回】 予習 : 「まち歩き」予備調査 授業 : 「まち歩き」課題出題 復習 : 「まち歩き」事前調査レポート						
12	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 12 回】 予習 : 「フィールドワーク」とは何か調べる 授業 : 「フィールドワーク」の案内 復習 : 講義のふりかえり						
13	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 13 回】 予習 : 「まち歩き」事前調査レポート発表準備 授業 : 「まち歩き」事前調査レポート発表 (グループ発表) 、冬休み課題出題 復習 : 「まち歩き」事前調査レポート発表のふりかえり、冬休み課題						
14	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 14 回】 予習 : 「まち歩き」発表準備 授業 : 「まち歩き」発表会 (プレゼンテーション) 復習 : 「まち歩き」発表会ふりかえり						
15	佐藤 勉 茂木 弥生子 李 志炯	【第 15 回】 予習 : これまでの学修内容をふりかえる 授業 : 春休み課題出題、後期授業アンケート実施 復習 : 春休み課題						
授業開始前学習	前期の住空間デザイン入門 I で出題された夏休み課題を見直しておくこと。 現在居住しているの地域や歴史について、書籍やインターネットを通して基本的な知識を得ること。							
授業内課題のフィードバックの方法	各課題の実施後に講評を行う。							
テキスト・教材	資料・プリント等を適宜配布する。							
参考書	資料等を適宜紹介する。							
評価の基準と方法	提出物、受講態度などにより評価する。 評価は提出物 70%、受講態度など 30%。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	◎		△			
関連科目								
その他	正課学外活動として見学会が土日または祝日のいずれかに実施される。 見学会を実施するかどうかは、その時の状況に応じて判断する。 交通費は自己負担、見学先によっては入場料がかかる場合がある。 見学先での記録道具としてスマートフォンやデジタルカメラなどを用意すること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00611
科目名称	☆哲学／人間と思想 I	単位数	2.0 単位
英文名称	Philosophy／Humans and Thought I	授業区分	講義
科目責任者	鈴木 由加里	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 由加里	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	人間とはどのような存在なのか、人間の本質はどのようなものなのか、を考察することがテーマである。古代ギリシアから中世までの哲学的知識を講義する予定である。学んだ学説や概念を使って、現代的な問題についての考察、演習問題を行う予定である。		
到達目標	考える材料として西洋哲学を歴史的に学び、かつ現代社会の情報を踏まえつつ、学生が自分で考察ができるようになることが達成目標。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	鈴木 由加里	【第 1 回】 予習：シラバスの内容を吟味し、自分の興味対象がどこにあるのかを考えてくる 授業：人間と思想を学ぶということについて 授業の進め方評価基準などについて資料を配付 論述課題を実施 復習：自分がすでにもっている「人間」についてのイメージをまとめる	
2	鈴木 由加里	【第 2 回】 予習：人間とはどのような存在であるか 授業：人間学と哲学（映像資料を利用） 復習：授業で扱ったテーマについて考察を深めておく	
3	鈴木 由加里	【第 3 回】 予習：ギリシアの歴史について調べておく 授業：ギリシア哲学 I 古代ギリシアの世界 復習：自然学とは何かをまとめておく	
4	鈴木 由加里	【第 4 回】 予習：アテネの民主制について調べておく 授業：ギリシア哲学 II 自然哲学からソクラテスへ 復習：ソクラテスの刑死の意味を考えよう	
5	鈴木 由加里	【第 5 回】 予習：プラトンの時代のギリシア世界について調べておく 授業：プラトンの思想 復習：イデア論について問題点をまとめておく	
6	鈴木 由加里	【第 6 回】 予習：マケドニアとギリシアについての歴史を調べておく 授業：ヘレニズム期の哲学と文化 復習：アリストテレスと学問についてまとめる	
7	鈴木 由加里	【第 7 回】 予習：コスモポリタンの意味を調べておく 授業：ヘレニズム期の思想 復習：ストア派についてまとめる	
8	鈴木 由加里	【第 8 回】 予習：ヨーロッパ文化の特性を自分なりに語れるようにしておく 授業：ヘレニズムとヘブライズム 復習：文化論の意義について考えておく	
9	鈴木 由加里	【第 9 回】 予習：『創世記』第一章の内容を調べておく 授業：原始キリスト教 宗教と人間について 復習：贖い、福音という言葉の説明できるようにする	
10	鈴木 由加里	【第 10 回】 予習：宗教の力について考えておく 授業：キリスト教とローマ帝国 人生と哲学について 復習：布教活動の意味について再考しておく	
11	鈴木 由加里	【第 11 回】 予習：中世の定義を調べておく 授業：中世ヨーロッパの人間観 復習：歴史区分の意味について再考しておく	

12	鈴木 由加里	【第 12 回】 予習：現代における宗教の意義について考えてくる 授業：宗教と死について 復習：死の概念の違いを再解釈する						
13	鈴木 由加里	【第 13 回】 予習：キリスト教と世俗権力について調べておく 授業：中世キリスト教神学と哲学 復習：キリスト教の多様さを再確認すること						
14	鈴木 由加里	【第 14 回】 予習：「近代」という概念を調べておく 授業：古代・中世の人間観と現代の人間観について考察をする 復習：人文主義の意義について考えておく。						
15	鈴木 由加里	【第 15 回】 予習：各自ノート及びレジュメ参考文献などを味読しておくこと 授業 1 回から 14 回までの 授業内容確認レポートあるいはテスト形式での質問に答える (授業内でレポート作成) 復習：授業内容について不十分なところを補っておく * 学生の知識レベル興味関心に応じて内容を変更する可能性もある。						
授業開始前学習	課題提出などで、GWE(Google Workspace for Education)など PC 操作を必要とするシステムを使用予定である。パソコンの基本的な知識 (Web の閲覧、メールの送受信、ファイルの種類についての知識など) を学んでおいて欲しい。 授業内容に関しては、西洋の哲学史についての話になるので、常識のレベルでの西洋の歴史について学んでおいてもらいたい。							
授業内課題のフィードバックの方法	基本的に、フィードバックは、GWE(Google Workspace for Education)を利用。 レポート課題は、Google Classroom を利用して、出題、回収。また、連絡も Google Classroom を利用。遠隔授業になった場合、GWE(Google Workspace for Education)を通じてオンデマンドで行う。クラス記号など詳細は「クラスプロフィール」を通じて連絡をする予定。「クラスプロフィール」の使い方を確認しておくこと。							
テキスト・教材	GWE(Google Workspace for Education)Google Classroom にて、授業に必要な講義内容のレジュメと資料を PDF 形式ファイルで配付。各資料を DL したものをプリントアウトするか、PC やタブレットなどデジタル機器でノートテイクするか、各自の学習方法にあわせて使用すること。							
参考書	熊野 純彦 『西洋哲学史 古代から中世へ』岩波新書 2006 その他 授業中に適宜指示する							
評価の基準と方法	GWE(Google Workspace for Education)において、課題を提出してもらう。課題を全部提出することが単位取得の前提条件。全て提出した場合のみ、各回の点数と授業内容確認テストの点数を合計し、100 点換算の上成績評価を行う。課題の詳細は授業時に説明。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△		○		
関連科目	人間と思想							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00621
科目名称	☆ 人間と思想 / 人間と思想 II	単位数	2.0 単位
英文名称	Humans and Thought / Humans and Thought II	授業区分	講義
科目責任者	鈴木 由加里	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 由加里	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	近代以降の西洋哲学についての知識を深めつつ、人間はどのような存在として考えられてきたかということを考える。倫理や道徳に関する現代的なテーマについてとりあげて、知識を増やし、哲学的知識を実践で役立てる方法を講義する予定である。		
到達目標	哲学史を覚えるだけでなく、その知識を活用して、現代社会における様々な事象や社会問題との関連の中で人間について考察を深めていくことができるようになること。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	鈴木 由加里	【第 1 回】 予習：シラバスの内容を吟味し、自分の興味対象がどこにあるのかを考えてくる 授業：現代的視点で人間について考えることについて及び授業説明 授業の進め方評価基準などについて資料を配付 授業内で論述課題を行う 復習：自分がすでにもっている「人間」についてのイメージをまとめる	
2	鈴木 由加里	【第 2 回】 予習：近代という言葉からイメージするものを考えてくる 授業：近代とは何か 復習：日本語で西洋のことについて学ぶことの意味について考える	
3	鈴木 由加里	【第 3 回】 予習：自分が考える「科学的」ということの意味を考えること 授業：科学革命と人間 復習：現代の科学は人間の何を明らかにしているのかを考える	
4	鈴木 由加里	【第 4 回】 予習：人権とは何か、箇条書きにしておく 授業：近代市民社会の成立 歴史的経緯と「市民」「社会」の意味 復習：現代社会における人権侵害の事例を調べる	
5	鈴木 由加里	【第 5 回】 予習：人間にとって許されないこととは何かを考えてくる 授業：人間と悪についての小論文作成 復習：自分が言葉にできなかったことをもう一度考えてみよう	
6	鈴木 由加里	【第 6 回】 予習：17 世紀のヨーロッパ史について調べてくる 授業：デカルトと理性的存在としての人間について 復習：理性とは何かを考えてみよう	
7	鈴木 由加里	【第 7 回】 予習：30 年戦争の原因と結果を説明できるようにしておく 授業：17 世紀ヨーロッパの哲学について パスカールについて 復習：人間の弱さと強さについて考える	
8	鈴木 由加里	【第 8 回】 予習：17 世紀のイギリスのことを調べておく 授業：イギリスの経験論 思考の方法 復習：授業内で学んだ概念を原語と日本語訳を覚え、活用できるようにしておく	
9	鈴木 由加里	【第 9 回】 予習：「啓蒙」という漢字の意味を調べておくこと 授業：啓蒙主義 ①「百科全書派」とヴォルテール 復習：「リスボン大地震」について調べてみよう	
10	鈴木 由加里	【第 10 回】 予習：権力と啓蒙について考えておく 授業：啓蒙主義 ② 啓蒙専制君主について 復習：ルソーの思想についてまとめておく	
11	鈴木 由加里	【第 11 回】 予習：人間の定義と自分の違いについて考えてみる 授業：18 世紀から 19 世紀の思想 自由と平等を中心に 復習：ジェンダーという概念を正しく理解しておく	

12	鈴木 由加里	【第 12 回】 予習：「女性」の権利について調べておこう 授業：「人間と女性」について 復習：「人間」=女性なのか、ということを考えてみる						
13	鈴木 由加里	【第 13 回】 予習：日本の社会について考えておこう 授業：現代の人間観 ①ジェンダー概念について 復習：自分と全く異なった人間観を持つ人たちどうやって向き合うかを考える						
14	鈴木 由加里	【第 14 回】 予習：マイノリティという言葉について調べておく 授業：現代の人間観 ②「性的マイノリティ」について 復習：小テストで答えられなかったところを復習しておく						
15	鈴木 由加里	【第 15 回】 予習：これまでのノート及び資料の味読をしておく 授業：授業内容確認レポートもしくはテスト形式での質問（授業内でレポート作成） 復習：授業内容について不十分なところを補っておく * 学生の知識レベル興味関心理解度に応じて内容と講義の日程を変更する可能性がある。						
授業開始前学習	ルネサンス以降の西洋の歴史について概略を学んでおくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	基本的に、フィードバックは、GWE(Google Workspace for Education)を利用。 対面授業の場合は、リアクションペーパーは手書き。授業時に回収し、返却はなし。 レポート課題は、Google Classroom を利用して、出題、回収。また、連絡も Google Classroom を利用。遠隔授業の場合の場合は、GWE(Google Workspace for Education)を通じて行う。クラス記号など詳細は「クラスプロフィール」を通じて連絡をする予定。							
テキスト・教材	GWE(Google Workspace for Education)Google Classroom にて、授業に必要な講義内容のレジメと資料を PDF 形式ファイルで配付。各資料を DL したものをプリントアウトするか、PC やタブレットなどデジタル機器でノートテイクするか、各自の学習方法にあわせて使用すること。							
参考書	授業概要のレジメやスライドで指示							
評価の基準と方法	GWE(Google Workspace for Education)において、課題を提出してもらう。課題を全部提出することが単位取得の前提条件。全て提出した場合のみ、各回の点数と授業内容確認テストの点数を合計し、100 点換算の上成績評価を行う。課題の詳細は授業時に説明。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△		○		
関連科目	哲学／人間と思想 I							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00630
科目名称	人間と文化 I	単位数	2.0 単位
英文名称	Humans and Culture I	授業区分	講義
科目責任者	石田 仁志	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	石田 仁志	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	明治維新から始まったとされる日本の近代社会というのは、一言で言えば、西欧の都市文化を移入することであった。この授業では、明治から昭和にかけての日本近代の短編小説を読解することを通じて、日本近代における都市化と文学との関連、そして、そこに描かれる「人間」の喜怒哀楽、幸福、孤独、家族意識、死生観などを捉えていく。そのことを通じて、日本近代における「人間」の価値観の変容を学んでいく。		
到達目標	日本近代の都市化と日本人の価値観の変容について、具体的テキストを挙げて、その基本的な変遷と相互関係について理解し、説明できるようにする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	石田 仁志	【第 1 回】ガイダンス（都市と文学との関係） 予習：指定した教科書の末尾の「〈都市論〉へのいざない」を読んでくる。 授業：教科書に収録された短編小説を概観する。 復習：授業内容をまとめ直す。	
2	石田 仁志	【第 2 回】明治期の都市と文学 1 予習：泉鏡花「夜行巡査」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業：泉鏡花「夜行巡査」読解 復習：授業で紹介した小説を読み直す。	
3	石田 仁志	【第 3 回】明治期の都市と文学 2 予習：樋口一葉「十三夜」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業：樋口一葉「十三夜」読解 復習：授業で紹介した小説を読み直す。	
4	石田 仁志	【第 4 回】明治期の都市と文学 3 予習：田山花袋「少女病」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業：田山花袋「少女病」読解 復習：授業で紹介した小説を読みなおす。	
5	石田 仁志	【第 5 回】明治期の都市と文学 4 予習：国木田独歩「窮死」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業：国木田独歩「窮死」読解 復習：授業で紹介した小説を読みなおす。	
6	石田 仁志	【第 6 回】明治期の都市と文学 5 予習：谷崎潤一郎「秘密」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業：谷崎潤一郎「秘密」読解 復習：授業で紹介した小説を読み直す。	
7	石田 仁志	【第 7 回】大正期の都市と文学 1 予習：志賀直哉「小僧の神様」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業：志賀直哉「小僧の神様」読解 復習：授業で紹介した小説を読み直す。	
8	石田 仁志	【第 8 回】大正期の都市と文学 2 予習：芥川龍之介「舞踏会」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業：芥川龍之介「舞踏会」読解 復習：授業で紹介した小説を読み直す。	
9	石田 仁志	【第 9 回】昭和期の都市と文学 1 予習：横光利一「街の底」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業：横光利一「街の底」読解 復習：授業で紹介した小説を読みなおす。	
10	石田 仁志	【第 10 回】昭和期の都市と文学 2 予習：中野重治「交番前」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業：中野重治「交番前」読解 復習：授業で紹介した小説を読み直す。	
11	石田 仁志	【第 11 回】昭和期の都市と文学 3 予習：堀辰雄「水族館」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業：堀辰雄「水族館」読解 復習：授業で紹介した小説を読み直す。	

12	石田 仁志	【第 12 回】昭和期の都市と文学 4 予習：江戸川乱歩「目羅博士」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業：江戸川乱歩「目羅博士」読解 復習：授業で紹介した小説を読みなおす。						
13	石田 仁志	【第 13 回】昭和期の都市と文学 5 予習：織田作之助「木の都」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業：織田作之助「木の都」読解 復習：授業で紹介した小説を読み直す。						
14	石田 仁志	【第 14 回】昭和期の都市と文学 6 予習：三島由紀夫「橋づくし」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業：三島由紀夫「橋づくし」読解 復習：授業で紹介した小説を読み直す。						
15	石田 仁志	【第 15 回】まとめ 予習：第 2 回から第 14 回の授業内容を振り返る。 授業：日本近代文学における都市と文学、日本人の価値観の変化 復習：授業内容をまとめる。						
授業開始前学習	教科書に指定した本に収録されている小説をさっと目を通しておく。近代社会における都市化の影響について、自分なりに調べてみる。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業終了後に、毎回、小レポートを提出してもらいます。また、そのレポートのうち、優れた内容のものや興味深い視点を有するものなどは授業を通じて内容を紹介し、学生たちの理解度の深まりを確認していきます。							
テキスト・教材	東郷克己・吉田司雄編『〈都市〉文学を読む』（鼎書房、2,000 円＋税） ISBN978-4-907282-28-8							
参考書								
評価の基準と方法	授業での小レポート等の課題成績（70%）、授業への参加状況（30%）の総合評価による。単位認定は、総合評価で 60%以上の成績をとった者に限る。提出物を 5 回以上未提出の場合は失格。提出物の遅刻提出は減点する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00640
科目名称	人間と文化Ⅱ	単位数	2.0 単位
英文名称	Humans and Culture Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	石田 仁志	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	石田 仁志	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	日本の近代・現代社会の家族関係や東日本大震災と文学文化との関連について、具体的な小説の中にそれらがどのように描かれているかを学ぶ。		
到達目標	日本の近代・現代社会におけるトピックスと文学テキストとの関連について、理解して説明できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	石田 仁志	【第 1 回】ガイダンス；〈家族〉小説とは？ 予習：自分にとって〈家族〉とは何かを考える。 授業：〈家族〉の社会的な定義、戦後日本社会における家族意識の変化を講義する。 復習：授業内容をまとめる。	
2	石田 仁志	【第 2 回】日本の家族小説（介護小説）1 予習：有吉佐和子『恍惚の人』を読んでくる。 授業：老人介護と文学 復習：授業内容をまとめ、小レポートを執筆する。	
3	石田 仁志	【第 3 回】日本の家族小説（介護小説）2 予習：現代の母娘の関係の在り方について調べる。 授業：篠田節子『長女たち』・中島京子『長いお別れ』を読む 復習：授業内容をまとめ、小レポートを執筆する。	
4	石田 仁志	【第 4 回】日本の家族小説（高度経済成長）3 予習：山田太一『岸辺のアルバム』（前半）を読んでくる。 授業：高度経済成長と家族小説：家族意識の解体 復習：授業内容をまとめ、小レポートを執筆する。	
5	石田 仁志	【第 5 回】日本の家族小説（高度経済成長）4 予習：山田太一『岸辺のアルバム』（後半）を読んでくる。 授業：高度経済成長と家族小説：情緒的家族の再編 復習：授業内容をまとめ、小レポートを執筆する。	
6	石田 仁志	【第 6 回】日本の家族小説（離婚・いじめ）5 予習：干川あがた『ウホップ探検隊』『黄色い髪』を読んでくる。 授業：いじめ問題と家族小説 復習：授業内容をまとめ、小レポートを執筆する。	
7	石田 仁志	【第 7 回】日本の家族小説（再婚・ステップファミリー）6 予習：ステップファミリーについて調べる。 授業：重松清『幼子われらに生まれ』を読む（映画も取り扱う） 復習：授業内容をまとめ、小レポートを執筆する。	
8	石田 仁志	【第 8 回】日本の家族小説（引きこもり）7 予習：村上龍『最後の家族』を読んでくる。 授業：戦後家族の転換点 復習：授業内容をまとめ、小レポートを執筆する。	
9	石田 仁志	【第 9 回】日本の家族小説（まとめ）8 予習：第 2 回から第 8 回までの授業内容を振り返る。 授業：戦後・現代の日本の家族小説は何かということについて、グループ・ディスカッションをおこなう。（ディスカッション） 復習：授業内容をまとめ、小レポートを執筆する。	
10	石田 仁志	【第 10 回】震災後文学 1 予習：川上弘美『神様 2011』を読んでくる。 授業：震災への怒り、変貌する物語世界。 復習：震災後文学 1 についてまとめる。	
11	石田 仁志	【第 11 回】震災後文学 2 予習：和合亮一『詩の磯』を読んでくる。 授業：新しい詩歌の形式、地震と言葉。 復習：震災後文学 2 についてまとめる。	

12	石田 仁志	【第12回】震災後文学3 予習：多和田葉子『献灯使』・桐野夏生『バラカ』、高橋源一郎『恋する原発』を読んでくる。 授業：震災後のディストピア小説 復習：震災後文学3についてまとめる。						
13	石田 仁志	【第13回】震災後文学4 予習：いとうせいこう『想像ラジオ』・玄侑宗久『光の山』を読んでくる。 授業：震災の死・鎮魂と文学 復習：震災後文学4についてまとめる。						
14	石田 仁志	【第14回】震災後文学5 予習：垣谷美雨『女たちの避難所』を読んでくる。 授業：震災とジェンダー、同調圧力 復習：震災後文学5についてまとめる。						
15	石田 仁志	【第15回】まとめ 予習：家族、震災と文学との関係について整理する。森絵都・吉田尚令『希望の牧場』を読んでくる。 授業：震災が日本の社会や文学文化に与えた影響について、グループ・ディスカッションを行う。（ディスカッション） 復習：人間社会と文学文化との相関関係についてまとめる。						
授業開始前学習	予習として提示した小説を読んでおく。読めない場合でもどのような小説家は調べておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	基本的には、テーマに合わせた課題レポート（家族、震災）を提出してもらう。ただし、授業の進行状況を鑑みて、回数は調整することがあります。フィードバックについては、可能な限り、毎回行いますが、できない場合はまとめて行います。							
テキスト・教材	特定の教科書はありません。取り上げる小説については、各自で文庫本や単行本を入手するようにしてください。							
参考書								
評価の基準と方法	テーマごとの課題レポート（50～70%）、授業内での発言など発言（20%）、期末レポート（10～30%）とする。学生の履修状況によっては、期末レポートを省略することもある。詳しくは業内で説明する。課題レポートや授業感想を1/3以上未提出の場合、もしくは欠席が1/3の場合は、失格とする。単位認定は総合評価において60%以上の成績を得た者に与える。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他	読んでくるように指示する小説類は各自で揃える。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00650
科目名称	生命の科学	単位数	2.0 単位
英文名称	Life Science	授業区分	講義
科目責任者	鞠子 典子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鞠子 典子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	<p>生命は環境の中から偶然に生まれ、今日まで生物は環境と深く関りながら進化を繰り返してきました。その結果、DNA による巧妙な遺伝のしくみ、バクテリアから人間までの多様な生物世界、人間の複雑極まりない脳神経系がつけられてきました。ところが、人間の脳は DNA やゲノムを編集する技術を開発するまで高度に発達し、その結果、遺伝子改変や生殖医療などの問題を引き起こすようになりました。私たちはそうした時代に生きており、皆さん一人ひとりが生命倫理に関わる様々な選択が求められているのです。こうした認識のもとに、この授業では、様々な視点から生物や生命について取り上げ、最新の話題を紹介していきます。後半の授業では、女性に特有な問題を切り抜いて、様々なテーマで講義していきます。授業は、パワーポイントを使用し、画像や動画を取り入れながら、分かり易い言葉で進めていきます。</p>		
到達目標	<p>生命とは何かを生物学的に学び、生命の科学に関する科学リテラシーの向上を目指し、生命の操作に関する諸問題について自分の意見をもてるようになること。またヒトや女性について生物学的に理解し、自分の生き方に自信と責任をもてるようになること。</p>		
アクティブ・ラーニング型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	鞠子 典子	<p>【第 1 回】 授業：なぜ今、生命科学なのか（ガイダンス） 予習：「生命」に関する話題についてネットで検索してみよう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
2	鞠子 典子	<p>【第 2 回】 授業：「生命」は人の手で創れるか？ ～生命の条件～ 予習：生物と無生物の違いを考えてみよう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
3	鞠子 典子	<p>【第 3 回】 授業：私たちは自然法則に逆らって生きている!? 予習：今回のキーワードである「エントロピー」について調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
4	鞠子 典子	<p>【第 4 回】 授業：遺伝子が支配する生命の世界 ～セントラルドグマ～ 予習：「DNA の構造やはたらき」について調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
5	鞠子 典子	<p>【第 5 回】 授業：同じ遺伝子をもつはずの双子の指紋が違うのはなぜ？ ～エピジェネティクス～ 予習：今回のキーワードである「エピジェネティクス」について調べおこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
6	鞠子 典子	<p>【第 6 回】 授業：ウイルスが生物を進化させている!? 予習：「レトロウイルス」について調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
7	鞠子 典子	<p>【第 7 回】 授業：遺伝子組み換え大豆を使った納豆をあなたは食べますか？ 予習：「GM 作物・食品」の利用の是非について家族や身近な人に尋ねてみよう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
8	鞠子 典子	<p>【第 8 回】 授業：神の領域？ヒトの遺伝子改変はどこまで許されるのか 予習：「ゲノム編集技術」に関する話題について調べてみよう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
9	鞠子 典子	<p>【第 9 回】 授業：女性のための生命科学 ～女性の健康問題を解決するためのフェムテック～ 予習：「フェムテック」に関する最新の話題についてネットで検索してみよう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
10	鞠子 典子	<p>【第 10 回】 授業：女性のための生命科学 ～知ってほしいピルのはなし～ 予習：「低用量ピル」に関する話題について調べてみよう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	

11	鞠子 典子	【第 11 回】 授業：女性のための生命科学 ～出生前診断・染色体が教えてくれる子どもの未来～ 予習：「出生前診断」に関する話題について調べてみよう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する						
12	鞠子 典子	【第 12 回】 授業：女性のための生命科学 ～母子の栄養と子どもの健康～ 予習：厚生労働省の HP に掲載されている「低出生体重児保健指導マニュアル」に目を通しておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する						
13	鞠子 典子	【第 13 回】 授業：女性のための生命科学 ～子宮頸がんワクチン接種の是非論～ 予習：「子宮頸がん」について調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する						
14	鞠子 典子	【第 14 回】 授業：女性のための生命科学 ～生殖補助医療・不妊治療について考える～ 予習：「生殖補助医療」について調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する						
15	鞠子 典子	【第 15 回】 授業：生命の科学 総括と試験範囲の説明 予習：「生命の科学」で学んだことを復習し、生命の科学リテラシーの必要性について自分の意見をまとめる 復習：試験に向けた勉強をする						
授業開始前学習	常日頃から、授業と関連する話題に強い関心をもってニュースや新聞記事と接すること。							
授業内課題のフィードバックの方法	ワンポイントで復習できる課題の講評及び解答は講義内で行います。							
テキスト・教材	教科書は指定せず、資料を配布します。							
参考書	「生命科学の静かなる革命」福岡伸一著(インターナショナル新書) 「好きになる人間生物学」吉田邦久著(講談社サイエンティフィック) この他、講義の中で適宜書籍を紹介します。							
評価の基準と方法	試験 7 0 % , 平常点 (授業に臨む姿勢・提出物) 3 0 %							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニ ケーション力と社会性を身につ ける	社会的責務を果たすこと のできる専門力と判断力を身 につける	文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニ ケーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他	授業の理解度などを勘案し、授業テーマの順序や内容を多少変更することがあります。 講義で分からないことがある場合は、そのままにせず、いつでも質問してください。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00661
科目名称	倫理学	単位数	2.0 単位
英文名称	Ethics	授業区分	講義
科目責任者	鈴木 由加里	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 由加里	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	本講義では、倫理学の概要と現代における倫理的テーマを考察する。現代社会に生きる個々人が直面する倫理的な判断をしなければならぬ具体的な諸問題を紹介し、それぞれに対して論議できるようになることを目的とした。		
到達目標	平等や正義に関する哲学的知識を身につけ、現実的な問題について議論できるようになることが到達目標。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	鈴木 由加里	【第 1 回】 予習：シラバスの内容を吟味し、自分の興味対象がどこにあるのかを考えてくる 授業：倫理学を学ぶにあたって。レポートの書き方や単位取得条件及び勉強の仕方について説明する。 論述課題を実施 復習：配布したレジメを読む	
2	鈴木 由加里	【第 2 回】 予習：配布した資料を読む 授業：倫理学の課題 復習：問題群を確認	
3	鈴木 由加里	【第 3 回】 予習：配付資料を読んでくる 授業：倫理学の歴史 ①古代ギリシア 復習：倫理学の歴史について知識を確認する	
4	鈴木 由加里	【第 4 回】 予習：配布資料を読んでくる 授業：倫理学の歴史 ②近代 復習：倫理学の歴史についての知識を確認する	
5	鈴木 由加里	【第 5 回】 予習：自由の価値について自分の考えをまとめてくる 授業：自由について① J・S・ミルの『自由論』を読む 復習：ミルとハリエット・テイラーについて確認する	
6	鈴木 由加里	【第 6 回】 予習：ミル自由主義の問題点を確認する 授業：自由について② 復習：自由が批判されるケースの確認	
7	鈴木 由加里	【第 7 回】 予習：功利主義という言葉調べてくる 授業：功利主義について 復習：功利主義と倫理の関係について確認	
8	鈴木 由加里	【第 8 回】 予習：19 世紀以降の歴史を確認してくる 授業：倫理学の現代的展開 科学と倫理 復習：科学の中立性について考える	
9	鈴木 由加里	【第 9 回】 予習：技術なしの生活を考えてみる 授業：科学技術と倫理 復習：科学技術の問題点を確認	
10	鈴木 由加里	【第 10 回】 予習：医療に対する不満を考えてくる 授業：医療と倫理① 医療の課題 復習：医療における課題の具体像を確認	
11	鈴木 由加里	【第 11 回】 予習：終末期に何をしたいか考える 授業：医療と倫理② 人間の尊厳について 復習：尊厳ある死について確認	

12	鈴木 由加里	【第 12 回】 予習：日本における法的な自由の定義を調べる 授業：再び自由の問題について 復習：自由の価値について確認する							
13	鈴木 由加里	【第 13 回】 予習：意見の対立についての具体的なケースを考えてくる 授業：相対主義という問題 復習：倫理的に生きることについて考察する							
14	鈴木 由加里	【第 14 回】 予習：ノートと配布した資料、参考文献を読んで理解しておく 授業 補足 授業内容確認レポート（授業内でレポート作成） 復習：授業内容について不十分なところを補っておく							
15	鈴木 由加里	【第 15 回】 予習：ノートと配布した資料、参考文献を読んで理解しておく 授業：授業内容確認小テスト（ノート レジメ 持ち込み可） 復習：小テストで答えられなかったところを復習しておく							
授業開始前学習		この授業では、課題の提出などで GWE(Google Workspace for Education)を使用する可能性がある。使用法を各自学習しておくこと。基本的なパソコンの操作を学ぶこと。Web の閲覧、ファイルの種類の違い、ワープロソフトの使用法、メールの送受信など基本的な操作ができるようにしておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法		基本的に、フィードバックは、GWE(Google Workspace for Education)を利用。 対面授業の場合は、リアクションペーパーは手書き。授業時に回収し、返却はなし。 レポート課題は、Google Classroom を利用して、出題、回収。また、連絡も Google Classroom を利用。クラス記号など詳細は「クラスプロファイル」を通じて連絡をする予定。「クラスプロファイル」の使い方を確認しておくこと。							
テキスト・教材		授業概要についてのレジメと資料を授業項目ごとに配布。参考文献や必要な資料は授業時に配布もしくはデジタル版へのリンクを指示する。							
参考書		各テーマごとにレジメで指示。ブックリスト配布を配布するので、図書館などを利用し、より多くの参考文献に目を通して欲しい。							
評価の基準と方法		GWE(Google Workspace for Education)において、課題を提出してもらう。課題を全部提出することが単位取得の前提条件。全て提出した場合のみ、各回の点数と授業内容確認テストの点数を合計し、100 点換算の上成績評価を行う。課題の詳細は授業時に説明。不備のあるレポートには再提出を指示する。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		◎	○		△		○		
関連科目		特になし							
その他									
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-120-11	授業コード	F00670
科目名称	人権の基礎	単位数	2.0 単位
英文名称	Introduction to Human Rights	授業区分	講義
科目責任者	福王 守	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	福王 守	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00～14:30 木曜日 10:30～12:00 後期 月曜日 13:00～14:30 木曜日 10:30～12:00	研究室	10-614
授業概要	今日の日本の法社会は、ヨーロッパの近代市民社会を模範としています。一人ひとりの個人を人格の担い手として尊重すること、すなわち「人間の尊厳」は市民社会の実現目標かつ基本的な価値観として捉えられてきました。特に、「自由」や「平等」は人間の尊厳の具体的な内容をなす基本的な「人権」として捉えられ、今日に至っています。このことを踏まえ、本講義ではまず人権の本質と内容について理解します。その上で、今日における様々な人権問題を国内社会と国際社会を比較しつつ法的な観点から考察します。		
到達目標	市民社会における客観的な判断基準としての「法」の役割を踏まえ、異なる意見を踏まえつつ筋道を立てて未解決の人権問題を考える力を身につけることを目標とします。		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	福王 守	<p>※ 毎回の授業後には、「問題解決型学習」の手段として課題レポートを作成してもらい、次回授業時にこれに対する解説と質問への回答を行います。</p> <p>【第 1 回】 予習 : 本科目シラバスおよびテキスト目次 1-11 頁の講読 授業 : 「人権の基礎」とは : 授業の目的・内容・学習方法について【テキスト 目次 1-11 頁】 復習 : テキスト目次 1-11 頁の再読、【第 1 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
2	福王 守	<p>【第 2 回】 予習 : テキスト 3 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 市民社会と法 : 法の役割と日本の法体系の起源 【テキスト 3 頁】 復習 : テキスト 3 頁の再読、【第 2 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
3	福王 守	<p>【第 3 回】 予習 : テキスト 11-12 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 人権の背景 : 近代市民社会と人間の尊厳 【テキスト 11-12 頁】 復習 : テキスト 11-12 頁の再読、【第 3 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
4	福王 守	<p>【第 4 回】 予習 : テキスト 12-13 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 人権の背景 : 近代市民国家と個人の尊厳 【テキスト 12-13 頁】 復習 : テキスト 12-13 頁の再読、【第 4 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
5	福王 守	<p>【第 5 回】 予習 : テキスト 17-22、27-30 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 国内社会と人権 : 日本国憲法と基本的人権 【テキスト 17-22、27-30 頁】 復習 : テキスト 17-22、27-30 頁の再読、【第 5 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
6	福王 守	<p>【第 6 回】 予習 : テキスト 53-54、103-106 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 国内社会と人権 : 自由権 【テキスト 53-54、103-106 頁】 復習 : テキスト 53-54、103-106 頁の再読、【第 6 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
7	福王 守	<p>【第 7 回】 予習 : テキスト 161-175 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 国内社会と人権 : 社会権 【テキスト 161-175 頁】 復習 : テキスト 161-175 頁の再読、【第 7 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
8	福王 守	<p>【第 8 回】 予習 : テキスト 73-81、167-168 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 国内社会と人権 : 環境と人権 【テキスト 73-81、167-168 頁】 復習 : テキスト 73-81、167-168 頁の再読、【第 8 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
9	福王 守	<p>【第 9 回】 予習 : テキスト 54-58、288-289 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 国内社会と人権 : 外国人の人権 【テキスト 54-58、288-289 頁】 復習 : テキスト 54-58、288-289 頁の再読、【第 9 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
10	福王 守	<p>【第 10 回】 予習 : 第 2 回-9 回までのテキスト全学習頁の講読およびキーワードの確認 授業 : これまでの授業の総括と発展学習の手引 : 授業全体の体系的整理と論証に向けて【テキスト全学習頁】 復習 : テキスト全学習頁の再読、【第 10 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	

11	福王 守	【第 11 回】 予習 : テキスト 281-282 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 国際社会と人権 : 国際社会の構造的特徴 【テキスト 281-282 頁】 復習 : テキスト 281-282 頁の再読、【第 11 回】授業ノートおよび配布プリントの整理						
12	福王 守	【第 12 回】 予習 : テキスト 282-283 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 国際社会と人権 : 国際人権保障のあゆみと国連の役割 【テキスト 282-283 頁】 復習 : テキスト 282-283 頁の再読、【第 12 回】授業ノートおよび配布プリントの整理						
13	福王 守	【第 13 回】 予習 : テキスト 283-286 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 国際社会と人権 : 国際人権章典 【テキスト 283-286 頁】 復習 : テキスト 283-286 頁の再読、【第 13 回】授業ノートおよび配布プリントの整理						
14	福王 守	【第 14 回】 予習 : テキスト 291-294 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 国際社会と人権 : 国際人権保障をめぐる課題と日本 【テキスト 291-294 頁】 復習 : 291-294 頁の再読、【第 14 回】授業ノートおよび配布プリントの整理						
15	福王 守	【第 15 回】 予習 : テキスト目次 1-11 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 「人権の基礎」の総括と発展学習の手引 : 授業全体の体系的整理と論証に向けて【テキスト全学習頁】 復習 : テキスト全学習頁の再読、【第 15 回】授業ノートおよび配布プリントの整理						
授業開始前学習	テレビや新聞の社会面・政治面の報道に、少しでも多く接する機会をもって下さい。必ずどこかで授業理解の助けになります。							
授業内課題のフィードバックの方法	適宜回の授業冒頭において課題レポートに対する講評と質問への回答を述べます。また第 10 回および 15 回目において、レポート課題全般に関する講評と個々の問題解決に向けた助言等を行います。							
テキスト・教材	古野豊秋・畑尻剛編『新・スタンダード憲法（第 4 版補訂版）』（尚学社、2016 年） 『ポケット六法（令和 6 年版）』（有斐閣、2023 年）							
参考書	授業を通じて適宜紹介します。							
評価の基準と方法	・15 回のレポートの総合点で評価します（10 点×15 回 = 150 点を 100 点満点に換算）。 ・単位取得の前提として、すべての授業回数のうち出席に基づく 10 回以上の提出が必要です。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	◎		△				
関連科目	「法学」、「法と社会」および「日本国憲法」と関連させながら、「人権の基礎」授業が組み立てられています。また、2 年次以降に受講できる科目として「国際法」があります。							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00680
科目名称	女性の人権	単位数	2.0 単位
英文名称	Human Rights for Women	授業区分	講義
科目責任者	佐藤 美由紀	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐藤 美由紀	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	人が社会生活を営む上で最も基本的な人と人との関係を規定する規範としての法学を通して、市民と法との関わり方、という観点から、日本の法のあり方について検討する。日常の社会生活での具体的問題、特に「女性の権利」に関わる問題を素材に、法的なものの考え方（リーガルマインド）を説明し、現代の法がどのようなことを定めているのか、またそれはどのように形成されてきたのか、さらには、どのように評価するべきかを考察する。		
到達目標	①憲法の基本的な考え方を理解する。 ②社会における法律の役割を理解する。 ③自分の考え思考を他者に説明できる。 ④「女性と人権」に関する問題についての法律問題を発見し、その法的解釈を自分の言葉で説明できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	佐藤 美由紀	【第 1 回】 テーマ「民主主義と基本的人権」 授業の目的、内容、学習方法についての説明 (予習) 講義の時間を使ってこの授業でのルールを作ります。①授業中の私語の禁止は授業中のルールとしますので、それ以外のルールを授業開始までに一つ考えてください。 (復習) 多数決による法決定の問題点について各自検討し自分の言葉で意見を述べられるようにする。	
2	佐藤 美由紀	【第 2 回】近代憲法における女性に関する人権の位置づけ (予習) 授業中に適示指示します。 (復習) 立憲主義について授業の内容を自分なりに整理する。	
3	佐藤 美由紀	【第 3 回】近代憲法における女性に関する人権の位置づけ (予習) 授業中に適示指示します。 (復習) 立憲主義における女性の権利の問題点について、ノートにまとめ、自分なりに説明ができるようにする。	
4	佐藤 美由紀	【第 4 回】日本国憲法における女性に関する人権保障の形成 (予習) 授業中に適示指示します。 (復習) 日本国憲法において形成された女性に関する人権保障の規定について、ノートにまとめ、自分なりに説明ができるようにする。	
5	佐藤 美由紀	【第 5 回】女性の人権救済と、合理的差別論における女性差別の認容 (予習) 教科書 15 章を熟読する (復習) 「合理的区別」と「差別」の違いについて、自分なりに説明ができるようにする。	
6	佐藤 美由紀	【第 6 回】政治的平等（憲法 4 4 条） (予習) 教科書第 3 章を熟読する (復習) 女性の政治参加の問題点について、自分なりの考えを述べられるようにする。	
7	佐藤 美由紀	【第 7 回】家族関係における平等：（家庭内暴力） (予習) 教科書第 13 章を熟読する (復習) 家庭内暴力の問題を自分なりに整理して、自分の考えを述べられるようにする。	
8	佐藤 美由紀	【第 8 回】家族関係における平等（離婚・再婚禁止期間） (予習) 教科書第 11 勝を熟読する (復習) 再婚禁止期間についての問題を自分なりに理解し、自分の考えを述べられるようにする。	
9	佐藤 美由紀	【第 9 回】家族関係における平等（夫婦別姓制） (予習) 教科書第 10 章を熟読する (復習) 夫婦別姓制についての問題を自分なりに理解し、自分の考えを述べられるようにする。	

10	佐藤 美由紀	【第 10 回】表現活動と女性の権利 (予習) 授業中に適示指示します。 (復習) 表現の自由の重要性を自分の言葉で説明できるようにする。						
11	佐藤 美由紀	【第 11 回】職場環境における平等 (予習) 教科書第 6 章、第 14 章を熟読する。 (復習) 職場環境に関する問題点を自分なりに整理できるようにする。						
12	佐藤 美由紀	【第 12 回】職業選択と女性 (予習) 教科書第 8 章 第 16 章を熟読する (復習) 授業中に適示指示します。						
13	佐藤 美由紀	【第 13 回】刑事被害者と女性 (予習) 教科書第 7 章を熟読する (復習) 授業中に適示指示します。						
14	佐藤 美由紀	【第 14 回】刑事事件と女性 (予習) 授業中に適示指示します。 (復習) 授業中に適示指示します。						
15	佐藤 美由紀	【第 15 回】女性の人權と女性の権利：授業全体の体系的整理・レポートの講評 (予習) 授業中に適示指示します。 (復習) 授業中に適示指示します。						
授業開始前学習	テレビや新聞の社会面、政治面、インターネットニュース等の報道に、少しでも多く接するようにしてください。時々時事ネタのお話をしますので。							
授業内課題のフィードバックの方法	不定期に、授業内容の理解等の確認のため、ミニテスト、授業内レポートを実施し、翌週以降で解説します。							
テキスト・教材	六法 『ポケット六法』有斐閣、『デイリー六法』三省堂、『法学六法』信山社のいずれか 安西文雄/巻美矢紀/穴戸常寿・著『憲法学読本』有斐閣							
参考書	『憲法判例百選Ⅰ』（第 7 版）有斐閣 『憲法判例百選Ⅱ』（第 7 版）有斐閣 ■ 講義の中で適時指定する。 ■ 学習方法について 横田明美著『カフェパウゼで法学を～対話で見つける〈学び方〉』弘文堂 ⇒法学部生向けの本ですが、大学での講義の受け方、時間の使い方、メールの作成方法、レポートや卒業論文の作成方法、自習の仕方等が説明されている本ですので、ぜひ一度、通読してみてください。							
評価の基準と方法	単位取得の前提としてすべての授業日数のうち 60%以上の出席が必要です。評価については、授業態度（30%）、授業内レポート（20%）、レポート課題の評価（50%）とします。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	◎		△				
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11 (J)	授業コード	F00691
科目名称	心理学 I	単位数	2.0 単位
英文名称	Psychology I	授業区分	講義
科目責任者	田口 香代子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	田口 香代子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	心理学の基礎となる知識や諸理論について概説する。心理学 I では主に認知、学習等の基礎的な領域と、発達及びパーソナリティについて学習する。はじめに人は外界からどのように情報を得ているのか (第 2 回)、情報はどのように整理されるのか (第 3 回)、人の行動の成り立ちについて学ぶ (第 4 回、5 回)。次に乳幼児から高齢期までの心身の成長や変化の特徴 (第 6 回、9-10 回) 及び発達障害 (第 7 回、8 回) について学ぶ。その後、人の個性や特徴の捉え方について学び (第 11-13 回)、授業全体を通して人の心や行動に関する理解を深める。その他、第 14 回では心理療法の 1 つである「認知行動療法」について学ぶ。		
到達目標	心理学の基本的な知識を習得することを目標とする。また、人の心や行動について心理学的観点から理解し、説明することができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	田口 香代子	【第 1 回】 予習： テキスト p.1 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： ガイダンス、心理学とは (第 1 章) ※pp.8-20「心理学の歴史」を除く 復習： キーワードをまとめておく	
2	田口 香代子	【第 2 回】 予習： テキスト pp.169-170 及び pp.187-188 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： 感覚と知覚 -人は外界からどのように情報を得ているのか- (第 10 章、第 11 章) 復習： キーワードをまとめておく	
3	田口 香代子	【第 3 回】 予習： テキスト pp.205-206 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： 記憶のメカニズム -過去の経験を保持する仕組み- (第 12 章) 復習： キーワードをまとめておく	
4	田口 香代子	【第 4 回】 予習： テキスト p.221 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： 学習と言語 -新しい行動の学習と言語の獲得- (第 13 章) 復習： キーワードをまとめておく	
5	田口 香代子	【第 5 回】 予習： テキスト p.87 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： 動機づけと情動 -何が人を動かすのか- (第 5 章) 復習： キーワードをまとめておく	
6	田口 香代子	【第 6 回】 予習： テキスト p.51 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： 心の発達 -乳幼児期の心理- (第 3 章) ※pp.67-68「発達障害とその支援」を除く 復習： キーワードをまとめておく	
7	田口 香代子	【第 7 回】 予習： 注意欠如・多動症、限局性学習症について調べておく 授業： 発達障害の理解と支援 1：注意欠如・多動症、限局性学習症 (第 3 章の pp.67-68) 復習： キーワードをまとめておく	
8	田口 香代子	【第 8 回】 予習： 自閉スペクトラム症について調べておく 授業： 発達障害の理解と支援 2：自閉スペクトラム症 (第 3 章の pp.67-68) 復習： キーワードをまとめておく	
9	田口 香代子	【第 9 回】 予習： テキスト p.72「人間は一生発達する」、p.80「ケース 2」を読んでおく 授業： 児童期・青年期の心理 (第 4 章の pp.71-81) 復習： キーワードをまとめておく	
10	田口 香代子	【第 10 回】 予習： テキスト p.84「本章のサマリー」を読んでおく 授業： 成人期・高齢期の心理 (第 4 章の pp.81-84) 復習： キーワードをまとめておく	

11	田口 香代子	【第 11 回】 予習： テキスト p.120「本章のサマリー」を読んでおく 授業： パーソナリティの理解と測定 1：質問紙法（第 6 章の pp.106-107、pp.112-113） 復習： キーワードをまとめておく							
12	田口 香代子	【第 12 回】 予習： テキスト p.105 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： パーソナリティの理解と測定 2：投映法（第 6 章の p.111-112「投映法で性格をはかる」） 復習： キーワードをまとめておく							
13	田口 香代子	【第 13 回】 予習： テキスト p.119「健康な性格とは何だろうか」を読んでおく 授業： パーソナリティの理論（第 6 章の pp.106-107、pp.113-120） 復習： キーワードをまとめておく							
14	田口 香代子	【第 14 回】 予習： 認知行動療法について調べておく 授業： 認知行動療法（資料配付） 復習： キーワードをまとめておく							
15	田口 香代子	【第 15 回】 予習： これまで学んだ内容を復習しておく 授業： キーワードの確認 復習： キーワードをまとめておく							
授業開始前学習									
授業内課題のフィードバックの方法		授業の最後にリアクションペーパーの提出を求め、次の授業で全体に向けてフィードバックする。							
テキスト・教材		・テキスト：長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦・廣中直行 著『はじめて出会う心理学 第 3 版』2020 年発行（有斐閣） ・テキストの他に適宜資料を配布します							
参考書									
評価の基準と方法		レポート 70%、授業態度及びリアクションペーパーの提出 30%を基準とし、総合的に評価する。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		◎	○		△				
関連科目									
その他		・人の心や行動に関心を持ち、積極的な姿勢で受講することを期待します。 ・必要に応じて授業計画の一部を変更して講義を行うことがあります。 ・心理学 I（前期）と心理学 II（後期）を履修することにより、心理学について、より広く学ぶ構成となっている。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容		心理臨床に関わる講義内容については、教育機関、医療機関における実務経験を活かし、講義を行う。							

科目分類	100-120-11	授業コード	F00693
科目名称	心理学 I	単位数	2.0 単位
英文名称	Psychology I	授業区分	講義
科目責任者	朴 建映	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	朴 建映	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	心理学は、さまざまな科学的方法を駆使して、心についての研究を行う学問である。この授業では、心理学の主要な研究を紹介し、心理学の基礎的な知識と考え方を身に付ける。心理学 I では、環境に適応していくうえで心がどのように役立っているのかを考える。この授業で扱うテーマは発達が中心であり、授業の後半では情動、性格、知能等に触れ、個人差や心の適応について考える。		
到達目標	心理学 I では、主に人間の発達について学び、赤ちゃんがさまざまな経験を通して心身ともに発達し大人になっていく過程を理解し、自分の言葉で説明できるようになることを目標とする。受講者は子どもの発達において大切なことは何であるか、自分の意見を述べるができるようになることが求められる。また、心の働きを知るを通して、自分自身のストレスやメンタルヘルスについて考える。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	朴 建映	【第 1 回】 予習：テキスト 1～29 ページを読む 授業：心理学とはどのような学問か（ガイダンス） 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、これまでの心理学の流れを整理する	
2	朴 建映	【第 2 回】 予習：テキスト 33～50 ページを読む 授業：心の進化：ヒトの心のユニークさはどこにあるか 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、身近な動物の行動を観察し、ヒトとの違いを考える	
3	朴 建映	【第 3 回】 予習：テキスト 51～56 ページを読む 授業：心の発達：新生児期の特徴を中心に 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、人間の赤ちゃんの特徴について考える	
4	朴 建映	【第 4 回】 予習：テキスト 51～56 ページを読む 授業：心の発達：乳幼児期の特徴を中心に 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、乳幼児期の発達について確認し、身近な子どもを観察する	
5	朴 建映	【第 5 回】 予習：テキスト 57～59 ページを読む 授業：愛着の発達 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、愛着の重要性について確認する	
6	朴 建映	【第 6 回】 予習：テキスト 60～66 ページを読む 授業：言葉と認知の発達 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、言葉の発達について確認する	
7	朴 建映	【第 7 回】 予習：テキスト 67～70 ページを読む 授業：発達障害とその支援 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、発達障害にはどのような種類があるのか整理する	
8	朴 建映	【第 8 回】 予習：テキスト 71～85 ページを読む 授業：ライフサイクル 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、ライフサイクルについて理解する	
9	朴 建映	【第 9 回】 予習：テキスト 87～96 ページを読む 授業：動機づけ 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、動機づけについてまとめる	
10	朴 建映	【第 10 回】 予習：テキスト 97～104 ページを読む 授業：情動 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、情動について考える	

11	朴 建映	【第 11 回】 予習：テキスト 105~121 ページを読む 授業：性格 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、それぞれの性格の違いについて考える							
12	朴 建映	【第 12 回】 予習：テキスト 123~136 ページを読む 授業：知能 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、知能についての疑問点を整理する							
13	朴 建映	【第 13 回】 予習：テキスト 137~150 ページを読む 授業：ストレスとメンタルヘルス 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、日常生活におけるストレスについて考える							
14	朴 建映	【第 14 回】 予習：テキスト 151~165 ページを読む 授業：カウンセリングと心理療法 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、さまざまな心理療法について調べてみる							
15	朴 建映	【第 15 回】 予習：1 回~14 回の授業で扱った内容について、教科書と Classroom の資料で復習する 授業：前期の授業を通してどんなことを学んできたのかふりかえる 復習：理解が十分でない部分について確認し、興味がある内容についてはさらに調べてみる							
授業開始前学習									
授業内課題のフィードバックの方法		授業に関するフィードバック課題を提出し、次の授業の最初に主な回答や興味深い意見の紹介等を行う。							
テキスト・教材		長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦・廣中直行著『はじめて出会う心理学 第 3 版』有斐閣アルマ この他に、Classroom の資料を参照							
参考書									
評価の基準と方法		授業態度（15 点）、フィードバック課題（15 点）、学期末のテスト(70 点)をもとに総合的に評価する							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		◎	○		△				
関連科目									
その他									
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-120-11 (J)		授業コード	F00701
科目名称	心理学Ⅱ		単位数	2.0 単位
英文名称	Psychology II		授業区分	講義
科目責任者	田口 香代子		必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	田口 香代子		開講時期	1 年
オフィスアワー	-		研究室	-
授業概要	<p>心理学の基礎となる知識や諸理論について概説する。心理学Ⅱでは主に臨床及び社会心理学の領域について学習する。心の問題と心理学的援助の方法について理解を深めた後（第2回-9回）、他者の理解や他者からの影響、心と社会の関係について学び（第10回、13回、14回）、授業全体を通して人の心や行動に関する理解を深める。</p> <p>その他、ストレスへの対処法（第3回）や円滑な人間関係を築くコミュニケーション（第11回、12回）等、日常生活で実際に役立つ応用的なテーマを取り上げる。</p>			
到達目標	<p>心理学の基本的な知識を習得することを目標とする。また、人の心や行動について心理学的観点から理解し、説明することができるようになる。</p>			
アクティブ・ラーニング型授業	無	全授業回数	15 回	複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容		
1	田口 香代子	<p>【第1回】 予習： テキスト pp.27-28「本章のサマリー」を読んでおく 授業： ガイダンス、心理学とは（第1章）※pp.8-20「心理学の歴史」を中心に講義 復習： キーワードをまとめておく</p>		
2	田口 香代子	<p>【第2回】 予習： テキスト pp.137-138 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： ストレスとメンタルヘルス（第8章）※pp.143-149を除く 復習： キーワードをまとめておく</p>		
3	田口 香代子	<p>【第3回】 予習： 自分のストレスについて整理しておく 授業： ストレスマネジメント – ストレスへの対処 –（資料配布） 復習： キーワードをまとめておく、ワークを実践する</p>		
4	田口 香代子	<p>【第4回】 予習： 精神疾患について調べておく 授業： 精神疾患（資料配布） 復習： キーワードをまとめておく</p>		
5	田口 香代子	<p>【第5回】 予習： テキスト p.164「本章のサマリー」を読んでおく 授業： 心理療法1：精神分析療法（第8章の pp.143-147、第9章の pp.152-155） 復習： キーワードをまとめておく</p>		
6	田口 香代子	<p>【第6回】 予習： テキスト pp.151-152「あなたはカウンセラー」を読んでおく 授業： 心理療法2：クライアント中心療法（第9章の pp.159-162） 復習： キーワードをまとめておく</p>		
7	田口 香代子	<p>【第7回】 予習： テキスト p.164「本章のサマリー」を読んでおく 授業： 心理療法3：行動療法、認知療法（第8章の pp.147-149、第9章の pp.155-159） 復習： キーワードをまとめておく</p>		
8	田口 香代子	<p>【第8回】 予習： 箱庭療法について調べておく 授業： 心理療法4：箱庭療法（資料配布） 復習： キーワードをまとめておく</p>		
9	田口 香代子	<p>【第9回】 予習： 治療的家庭教師について調べておく 授業： 治療的関係とは（資料配布） 復習： キーワードをまとめておく</p>		
10	田口 香代子	<p>【第10回】 予習： テキスト p.317（「本章のサマリー」）の2行目以降を読んでおく 授業： 対人認知 – 他者の理解と他者への好意 –（第17章の pp.309-316） 復習： キーワードをまとめておく</p>		
11	田口 香代子	<p>【第11回】 予習： コミュニケーションの種類について調べておく 授業： コミュニケーション（資料配布）</p>		

		復習： キーワードをまとめておく							
12	田口 香代子	【第12回】 予習： 自身の自己表現の特徴や傾向について整理しておく 授業： アサーション・トレーニング -円滑な人間関係を築くコミュニケーション- (資料配布) 復習： キーワードをまとめておく							
13	田口 香代子	【第13回】 予習： テキスト p.303 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： 他者の存在と心 -人の行動は他者からどのような影響を受けるのか- (第17章の pp.303-309, pp.312-313) 復習： キーワードをまとめておく							
14	田口 香代子	【第14回】 予習： テキスト pp.319-320 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： 心と社会 (第18章) 復習： キーワードをまとめておく							
15	田口 香代子	【第15回】 予習： これまで学んだ内容を確認しておく 授業： キーワードの確認 復習： キーワードをまとめておく							
授業開始前学習									
授業内課題のフィードバックの方法		授業の最後にリアクションペーパーの提出を求め、次の授業で全体に向けてフィードバックする。							
テキスト・教材		・テキスト：長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦・廣中直行 著『はじめて出会う心理学 第3版』2020年発行(有斐閣) ・テキストの他に適宜資料を配付します							
参考書									
評価の基準と方法		レポート70%、授業態度及びリアクションペーパーの提出30%を基準とし、総合的に評価する。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		◎	○		△				
関連科目									
その他		・人の心や行動に関心を持ち、積極的な姿勢で受講することを期待します。 ・必要に応じて授業計画の一部を変更して講義を行うことがあります。 ・心理学Ⅰ(前期)と心理学Ⅱ(後期)を履修することにより、心理学について、より広く学ぶ構成となっている。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30時間(2時間×15週) + 予習・復習時間 60時間(4時間×15週)							
実務経験を活かした教育内容		心理臨床に関わる講義内容については、教育機関、医療機関における実務経験を活かし、講義を行う。							

科目分類	100-120-11	授業コード	F00703
科目名称	心理学Ⅱ	単位数	2.0 単位
英文名称	Psychology II	授業区分	講義
科目責任者	朴 建映	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	朴 建映	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	心理学は、さまざまな科学的方法を駆使して、心についての研究を行う学問である。この授業では、心理学の主要な研究を紹介し、心理学の基礎的な知識と考え方を身に付ける。心理学Ⅱでは、知覚や記憶、学習といった基本的な心のメカニズムについて説明する。また、心と脳の関係や、他者および集団との相互作用においてどのような心の活動が生じているのかについても説明する。		
到達目標	心理学Ⅱの前半では、知覚、記憶、学習といった私たちの行動を支える基本的なシステムがどのようなしくみで成り立っているのか理解し、自分の言葉で説明できるようになることを目標とする。また授業の後半では、推論や問題解決といった能動的な認知活動、社会的な相互作用についても理解を深め、具体例を挙げて説明できるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	朴 建映	【第 1 回】 予習：169～185 ページを読む 授業：「感覚」 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、様々な感覚の働きについて整理する	
2	朴 建映	【第 2 回】 予習：テキスト 187～198 ページを読む 授業：「知覚」1 形の知覚 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、形の知覚や錯視について確認する	
3	朴 建映	【第 3 回】 予習：テキスト 198～204 ページを読む 授業：「知覚」2 動きの知覚、恒常性 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、動きの知覚や知覚の恒常性について理解する	
4	朴 建映	【第 4 回】 予習：テキスト 205～210 ページを読む 授業：「記憶」1 記憶の過程 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、記憶の過程の基本的な考え方を復習する	
5	朴 建映	【第 5 回】 予習：テキスト 210～216 ページを読む 授業：「記憶」2 短期記憶と長期記憶 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、短期記憶と長期記憶の違いについて整理する	
6	朴 建映	【第 6 回】 予習：テキスト 216～220 ページを読む 授業：「記憶」3 知識とスキーマ 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、日常生活で用いられているスキーマについて整理する	
7	朴 建映	【第 7 回】 予習：テキスト 221～228 ページを読む 授業：「学習」1 古典的条件づけ 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、古典的条件づけについて整理する	
8	朴 建映	【第 8 回】 予習：テキスト 228～242 ページを読む 授業：「学習」2 オペラント条件づけ・観察学習 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、オペラント条件づけについて整理する	
9	朴 建映	【第 9 回】 予習：テキスト 243～250 ページを読む 授業：「思考」1 推論 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、日常生活で行われている推論について考える	
10	朴 建映	【第 10 回】 予習：テキスト 251～261 ページを読む 授業：「思考」2 問題解決 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、人間の問題解決能力について考える	
11	朴 建映	【第 11 回】 予習：テキスト 263～283 ページを読む 授業：「脳と心」 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、脳の構造と心的機能の関連について整理する	

12	朴 建映	【第 12 回】 予習：テキスト 285～301 ページを読む 授業：「脳損傷と心の働き」 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、脳損傷によって生じる認知機能の障害について整理する							
13	朴 建映	【第 13 回】 予習：テキスト 303～309 ページを読む 授業：「社会の中の人」1 他者による影響 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、他者との関わりで生じる行動の変化について確認する							
14	朴 建映	【第 14 回】 予習：テキスト 309～337 ページを読む 授業：「社会の中の人」2 他者の認知 復習：Classroom の資料をもとにテキストを読み直し、差別や偏見をなくすにはどうすればよいか考える							
15	朴 建映	【第 15 回】 予習：1 回～14 回の授業で扱った内容について、教科書と Classroom の資料で復習する 授業：後期の授業を通してどんなことを学んできたのかふりかえる 復習：理解が十分でない部分について確認し、興味がある内容についてはさらに調べてみる							
授業開始前学習									
授業内課題のフィードバックの方法		授業に関するフィードバック課題を提出し、次の授業の最初に主な回答や興味深い意見の紹介等を行う。							
テキスト・教材		長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦・廣中直行著『はじめて出会う心理学 第 3 版』有斐閣アルマ この他に、Classroom の資料を参照							
参考書									
評価の基準と方法		授業態度(15 点)、フィードバック課題(15 点)、学期末のテスト(70 点)をもとに総合的に評価する							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		◎	○		△				
関連科目									
その他									
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-121-11	授業コード	F00710
科目名称	生涯学習論 I	単位数	2.0 単位
英文名称	Life-Long Education Studies I	授業区分	講義
科目責任者	山本 双葉	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	山本 双葉	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 木曜日 11:00~14:00 後期 木曜日 13:00~14:30 金曜日 10:30~12:00	研究室	16-316
授業概要	<p>本授業は、生涯学習の意義・目的や定義を学び、生涯学習社会の実現について討論することから始める。また、生涯学習の基礎理論や歴史的背景を学び、生涯学習の多様な在り方についての理解を深める。そして、国際社会が目指す人間像や生涯「学修」の特性を踏まえ、自身の長期的な学修課題について考察を深めていく。</p> <p>そのため、講義毎に「学びのドキュメンテーション」を作成することを求める。自身の学修プロセスの記録や振り返りを通じ、学修課題の明確化に役立ててほしい。</p>		
到達目標	<p>本授業では、生涯学習の基礎理論や歴史的背景を学びながら、自発的意志に基づく「学修」の特性を体得することを目指す。具体的な到達目標として、以下の4点を挙げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯学習の歴史的背景や基礎理論に関する知識を修得することができる 2. 現代的課題に応じた生涯学習の内容を理解することができる 3. 生涯学習における多様な学習方法を理解することができる 4. 生涯学習の意義や目的を踏まえ、自発的意思に基づく「学修」の特性を体得することができる 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	山本 双葉	<p>【第 1 回】 予習 : 「生涯学習」の意味を調べ、ノートにまとめる 授業 : 生涯学習の意義・目的と定義を学ぶ 復習 : 生涯学習を学ぶ意味を振り返る</p>	
2	山本 双葉	<p>【第 2 回】 予習 : 「生涯学習社会」の意味を調べ、ノートにまとめる 授業 : 生涯学習社会の実現について考察する 復習 : 生涯学習社会の果たす役割について整理する</p>	
3	山本 双葉	<p>【第 3 回】 予習 : 学校や家庭、地域社会で受けてきた教育による自分の育ちを振り返り、身に付けた力をノートに書き出す 授業 : 学校教育・家庭教育・社会教育の関連性を学ぶ 復習 : 生涯学習が行われる場所の違いによる学修内容の違いを整理する</p>	
4	山本 双葉	<p>【第 4 回】 予習 : 社会人や高齢者が取り組んでいる生涯学習活動について調べ、ノートにまとめる 授業 : 生涯学習の基礎理論①を学ぶ (教育学, 成人教育学, 教育老年学) 復習 : 「ペタゴジー」「アンドラゴジー」「ジェロゴジー」の意味の違いを整理する</p>	
5	山本 双葉	<p>【第 5 回】 予習 : 「リカレント教育」について調べ、ノートにまとめる 授業 : 生涯学習の基礎理論②を学ぶ (統合・循環・解放の理論) 復習 : 「統合」「解放」「循環」による生涯学習の基礎理論を整理する</p>	
6	山本 双葉	<p>【第 6 回】 予習 : 「ライフサイクル理論」について調べ、ノートにまとめる 授業 : 生涯にわたる人間形成の理論を学ぶ (ライフサイクル理論, 発達課題など) 復習 : 孔子やコメニウスの発達観、エリクソンやハヴィガーストの発達理論を整理する</p>	
7	山本 双葉	<p>【第 7 回】 予習 : 「寺子屋」や「私塾」について調べ、ノートにまとめる 授業 : 日本における生涯学習の誕生と展開を学ぶ 復習 : 日本における生涯学習の展開について時代別に整理する</p>	
8	山本 双葉	<p>【第 8 回】 予習 : イギリスの「コーヒーハウス」について調べ、ノートにまとめる 授業 : 欧米における生涯学習の誕生と展開を学ぶ 復習 : ドイツ・フランス・イギリス・アメリカ・ブラジルにおける生涯学習の展開を整理する</p>	
9	山本 双葉	<p>【第 9 回】 予習 : Well-Being について調べ、ノートにまとめる 授業 : 現代の生涯学習の内容を学ぶ① (生きがい, 身体・精神的健康, まちづくり) 復習 : 「生きがい」「身体・精神的健康」「まちづくり」の生涯学習について整理する</p>	
10	山本 双葉	<p>【第 10 回】 予習 : 少子高齢化社会の課題について調べ、ノートにまとめる 授業 : 現代の生涯学習の内容を学ぶ② (少子高齢化, 消費・環境問題, 男女共同参画, 国際化)</p>	

		復習：「少子高齢化」「消費・環境問題」「男女共同参画」「国際化」の生涯学習について整理する						
11	山本 双葉	【第11回】 予習：これまで受けてきた授業について振り返り、理解しやすかった授業の特徴をノートに書き出す 授業：生涯学習の多様な学習方法を学ぶ①（学習方法の種類、講義型・討論型） 復習：講義型・討論型による学習の長所と短所を整理する						
12	山本 双葉	【第12回】 予習：これまで参加してきた体験活動をノートに書き出す【グループワーク】 授業：生涯学習の多様な学習方法を学ぶ②（体験型・実験型・ブレインストーミング） 復習：体験型・実験型・ブレインストーミングによる学習の長所と短所を整理する						
13	山本 双葉	【第13回】 予習：「キー・コンピテンシー」の意味を調べ、ノートにまとめる 授業：生涯学習社会が目指す人間像を学ぶ①（国際的な能力基準「キー・コンピテンシー」） 復習：現在の自己の能力と「キー・コンピテンシー」を比較する						
14	山本 双葉	【第14回】 予習：「社会人基礎力」の意味を調べ、ノートにまとめる 授業：生涯学習社会が目指す人間像を学ぶ②（職業能力の育成「社会人基礎力」） 復習：現在の自己の能力と「社会人基礎力」を比較する						
15	山本 双葉	【第15回】 予習：これまでの授業で取り上げた内容を振り返り、疑問点をノートにまとめておく 授業：自発的意思に基づく「学修」の特性を振り返る（自身の学修課題の明確化） 復習：自身の興味・関心が高い事柄について生涯学習を進める						
授業開始前学習	生涯学習に関する書籍を講読する							
授業内課題のフィードバックの方法	講義毎に小レポートを実施する（翌週の講義内にて、適宜、講評する）。							
テキスト・教材	香川正弘・鈴木真理・佐々木英和編『よくわかる生涯学習』（ミネルヴァ書房）							
参考書	関口礼子・小池源吾・西岡正子・鈴木志元・堀薫夫著『新しい時代の生涯学習』（有斐閣アルマ）							
評価の基準と方法	講義毎の小レポート（60%）、最終レポート（40%）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎				○	○		
関連科目	学芸員養成課程と教職課程に位置づく本科目は、他の博物館に関する科目や教職科目と関連している。特に、生涯学習の意義・目的、生涯学習社会の理念を踏まえた学びが展開される科目との有機的関連性は高い。							
その他	図書館や博物館など、生涯学習の拠点となる身近な施設を訪れること 日常生活の中から湧き出た疑問を解決するクセをつけること							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-121-11	授業コード	F00720
科目名称	生涯学習論Ⅱ	単位数	2.0 単位
英文名称	Life-Long Education Studies II	授業区分	講義
科目責任者	氏家 祥美	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	氏家 祥美	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	本授業では、生涯学習についてより深く実践的に学び、生涯を通じた学びを自分のものにする具体的な方法を学習する。さらに、生涯学習の支援者としての視点や方法を身につけていく。 具体的には、生涯学習に関わる法律や行政の仕組み、公的施設の種類や役割、多様化する学習方法や利用できる制度について学ぶとともに、「生涯学習プログラム」の作成、発表を通じて、生涯学習支援者の視点を実践を通じて学習する。		
到達目標	本授業では、生涯学習に関する法制度や行政の振興政策を学びながら、生涯学習支援者としての役割を自覚することを目指す。具体的な到達目標として、以下の4点を挙げる。 1. 生涯学習を支える制度（法律や行政の取り組み）に関する知識を習得することができる 2. 生涯学習を支える施設や職員の役割に関する知識を習得することができる 3. 生涯学習の具体的な方法や制度を通じて、社会人教育の重要性を理解することができる 4. 生涯学習プログラムの開発を通して、生涯学習支援者としての役割を自覚することができる		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	氏家 祥美	【第1回】 予習：「生涯学習論Ⅰ」を振り返り、疑問点をノートにまとめる 授業：人生100年時代における生涯学習の意義や目的とは（ライフサイクル、生涯設計） 復習：生涯学習が今の時代になぜ必要なのか自分の言葉でまとめる	
2	氏家 祥美	【第2回】 予習：生涯学習、リカレント教育、リスキリングの違いを調べておく 授業：生涯学習における「学修」の特性と方法を俯瞰する 復習：生涯学習の学びの種類、学習方法を整理する	
3	氏家 祥美	【第3回】 予習：興味を持ってそうな講演会やワークショップの情報を探してみる 授業：生涯学習における多様な学習方法を学ぶ①（講演会、討論、ワークショップ） 復習：講演会やワークショップの告知情報を参加者目線、主催者目線で分析する	
4	氏家 祥美	【第4回】 予習：オンライン講座と対面講座のメリット・デメリットを考える 授業：生涯学習における多様な学習方法を学ぶ②（オンライン、メディア活用など、学びの多様化） 復習：時間や場所を選ばずに学習できるオンライン講座、通信講座の情報を集めてみる	
5	氏家 祥美	【第5回】 予習：社会教育主事について調べる 授業：日本の法律と社会教育行政（日本国憲法、教育基本法、社会教育法、生涯学習振興法） 復習：生涯学習にかかわる法律について整理する	
6	氏家 祥美	【第6回】 予習：公民館の活動情報を調べてみる 授業：生涯学習施設の種類と詳細①公民館、生涯学習センター 復習：公民館や生涯学習センター主催の講座情報を主催者目線で読み解く	
7	氏家 祥美	【第7回】 予習：どんな博物館があるか、調べてみる 授業：生涯学習施設の種類と詳細②図書館、博物館 復習：図書館や博物館について調べ、足を運んでみる	
8	氏家 祥美	【第8回】 予習：女性教育施設（女性センター）での講座や活動を調べて、気づいたことや疑問点をまとめる 授業：生涯学習施設の種類と詳細③青少年教育施設、女性教育施設、体育施設 復習：地域にどんな施設があるのか調べてみる。	
9	氏家 祥美	【第9回】 予習：職業訓練について調べ、疑問点をまとめておく 授業：公的な職業能力開発（雇用保険、ハローワークの役割、職業訓練など） 復習：最寄りのハローワークや、ハローワークのウェブサイトで、職業訓練について調べる	
10	氏家 祥美	【第10回】 予習：大学の公開講座を調べて、気づいたことや疑問点をまとめる 授業：大学、大学院と生涯学習（公開講座、大学院、放送大学など） 復習：大学の公開講座を複数比較して、その特徴や気づきをまとめる	

11	氏家 祥美	【第 11 回】 予習 : 生涯学習と社会教育について整理する 授業 : 生涯学習に関わる人的資源 (社会教育主事、社会教育士、司書、学芸員、専門職員、ボランティア) 復習 : 生涯学習に関わる資格や仕事の中で、興味を持ったものについて知らべてまとめておく						
12	氏家 祥美	【第 12 回】 予習 : 教育訓練給付金の概要を調べて、疑問点をまとめておく 授業 : 生涯学習に関わる経済的支援 (教育訓練給付金、助成金、企業の制度ほか) 復習 : 生涯学習を始めたい人、生涯学習の場づくりをしたい人目線で、利用できる制度をまとめる						
13	氏家 祥美	【第 13 回】 予習 : 生涯学習プログラムの構想を練っておく 授業 : 生涯学習プログラムを開発する①プログラムの構成、制度 (グループワーク) 復習 : 生涯学習プログラムの詳細を考える						
14	氏家 祥美	【第 14 回】 予習 : 生涯学習講座の募集チラシなどから、集客のヒントを集める 授業 : 生涯学習プログラムを開発する②プログラムの告知、宣伝、集客 (グループワーク) 復習 : 生涯学習プログラムの告知文を考える						
15	氏家 祥美	【第 15 回】 予習 : 生涯学習についての学習を振り返り、疑問点や感動をまとめておく 授業 : 作成した生涯学習プログラムを発表する (グループワーク) 復習 : 発表を振り返り、生涯学習プログラムをブラッシュアップする						
授業開始前学習	・前期に「生涯学習論 I」を受講したものは、「生涯学習論 I」を振り返る ・自身の興味関心の高い事柄について調べる							
授業内課題のフィードバックの方法	・生涯学習プログラム作成を課す (講義内にて、適宜、講評する) ・講義ごとに小レポートを実施する (翌週の講義内にて、適宜、講評する)							
テキスト・教材	配布資料等で実施							
参考書	香川正弘・鈴木真理・永井健夫編「よくわかる生涯学習」改訂版 小林繁・平川景子・片岡了著「生涯学習概論」第 3 版							
評価の基準と方法	講義毎の小レポート (50%)、期末レポート (50%)							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎				○	○		
関連科目	本科目は、博物館に関する科目や教職科目と関連している。特に、生涯学習を支える制度や生涯学習プログラム作成による学びは、「教育制度」等の科目と関連性が高い							
その他	図書館や博物館、公民館やスポーツセンターなど、生涯学習の拠点となる身近な施設に目を向け、訪れること 学習者としてはもちろん、生涯学習支援者の目線に立ち、生涯学習の情報を見られるようになること							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容	専門家として、お金やキャリアなどをテーマに大学のエクステンションセンターや、東京都や市区町村などが主催する講座で豊富な講師経験がある。講座の企画者、受講生とのコミュニケーション経験から、近年の実情に即した話題を提供できる。							

科目分類	100-120-11 (J)		授業コード	F00730	
科目名称	社会福祉概論 I		単位数	2.0 単位	
英文名称	Introduction to Social Welfare I		授業区分	講義	
科目責任者	森島 由紀子		必修・選択	履修ガイド参照	
担当教員	森島 由紀子		開講時期	1 年	
オフィスアワー	-		研究室	-	
授業概要	社会福祉概論 I では、社会福祉論という領域の基本を学習します。授業では、まず、社会福祉論の基本的視点を紹介し、次に、社会福祉の歴史として、イギリスやアメリカを中心に学び、日本については、古代から現在に至るまでの流れをpushsえます。そして、女性福祉、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉といった個別の福祉分野について、制度的な歴史や現代的問題について取り上げます。				
到達目標	社会福祉論の基本的理解を学習課題とし、社会福祉の諸現象に対して、その社会的要因や背景を探り、その改善や解決につながる働きかけを考察できることを目標とします。欧米や日本の社会福祉の大きな流れや個別分野の制度的な歴史をしっかりと押さえたうえで、現代の課題について理解し、改善・解決の道を考察する力を養います。				
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回	複数教員の場合の 授業形態	
授業 回数	担当者	授業の内容			
1	森島 由紀子	【第 1 回】 予習 : シラバスの授業のテーマ・目標、授業内容の確認 授業 : オリエンテーション 復習 : 授業のテーマ・目標、授業内容、授業の進め方の確認			
2	森島 由紀子	【第 2 回】 予習 : 資料 1 の講読 授業 : 社会福祉とは何か : 社会福祉論の基本的視点 復習 : 社会福祉論の基本的視点のまとめ			
3	森島 由紀子	【第 3 回】 予習 : 資料 2 の講読 授業 : 社会福祉の歴史 - 欧米 : イギリスの社会福祉の歴史 復習 : イギリスの社会福祉のキーワードの確認			
4	森島 由紀子	【第 4 回】 予習 : 資料 2 と参考資料の講読 授業 : 社会福祉の歴史 - 欧米 : アメリカ、その他の社会福祉の歴史 復習 : 欧米の社会福祉の歴史のまとめ			
5	森島 由紀子	【第 5 回】 予習 : 資料 3 の講読 授業 : 社会福祉の歴史 - 日本 : 古代から昭和初期 復習 : 昭和初期までの社会福祉のキーワードの確認			
6	森島 由紀子	【第 6 回】 予習 : 資料 3 と参考資料の講読 授業 : 社会福祉の歴史 - 日本 : 戦後から現在 復習 : 日本の社会福祉の歴史のまとめ			
7	森島 由紀子	【第 7 回】 予習 : 資料 4 の講読 授業 : 女性福祉 1 : 女性福祉の基本的視覚 復習 : 女性福祉のキーワードの確認			
8	森島 由紀子	【第 8 回】 予習 : 女性福祉の参考資料の講読、視聴 授業 : 女性福祉 2 : 女性福祉の現代的問題 復習 : 女性福祉の課題について自分の考えをまとめる			
9	森島 由紀子	【第 9 回】 予習 : 資料 5 の講読 授業 : 児童福祉 1 : 児童福祉の歴史 復習 : 児童福祉のキーワードの確認			
10	森島 由紀子	【第 10 回】 予習 : 児童福祉の参考資料の講読、視聴 授業 : 児童福祉 2 : 児童福祉の現代的問題 復習 : 児童福祉の課題について自分の考えをまとめる			
11	森島 由紀子	【第 11 回】 予習 : 資料 6 の講読 授業 : 障害者福祉 1 : 障害者福祉の歴史 復習 : 障害者福祉のキーワードの確認			

12	森島 由紀子	【第12回】 予習：障害者福祉の参考資料の講読、視聴 授業：障害者福祉2：障害者福祉の現代的問題 復習：障害者福祉の課題について自分の考えをまとめる						
13	森島 由紀子	【第13回】 予習：資料7の講読 授業：高齢者福祉1：高齢者福祉の歴史 復習：高齢者福祉のキーワードの確認						
14	森島 由紀子	【第14回】 予習：高齢者福祉の参考資料の講読、視聴 授業：高齢者福祉2：高齢者福祉の現代的問題 復習：高齢者福祉の課題について自分の考えをまとめる						
15	森島 由紀子	【第15回】 予習：今までの資料の講読、視聴 授業：これからの社会福祉 復習：これからの社会福祉の課題について自分の考えをまとめる						
授業開始前学習	社会福祉の入門または概論について、本を読んでおくと授業が理解しやすい。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業後半の個別福祉分野ではリアクションペーパーを課すが、翌週に何人かの意見・感想を紹介しながら講評を行い、個別の質問には回答します。							
テキスト・教材	特に指定しません。授業時に資料を配付します。							
参考書								
評価の基準と方法	定期試験（90%）、授業態度・リアクションペーパー（10%）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	△		△	○	○		
関連科目								
その他	講義資料は前週までに配付しますので、予習に活用してください。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	介護サービス相談員の実務経験を活かして、高齢者福祉の現状や課題について講義で触れます。また、社会福祉士の国家資格を有しているため、資格取得を目指す学生の相談にのります。							

科目分類	100-120-11 (J)		授業コード	F00740
科目名称	社会福祉概論Ⅱ		単位数	2.0 単位
英文名称	Introduction to Social Welfare Ⅱ		授業区分	講義
科目責任者	森島 由紀子		必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	森島 由紀子		開講時期	1 年
オフィスアワー	-		研究室	-
授業概要	社会福祉概論Ⅱでは、社会福祉の理念や倫理を学び、ソーシャルワークの実際として、社会福祉の実施体制や社会福祉援助技術について理解します。授業後半では、各自がソーシャルワーカーの立場に立って、個別援助技術（ケースワーク）および集団援助技術（グループワーク）の具体的な事例に取り組み、発表とディスカッションを行います。			
到達目標	社会福祉概論Ⅱでは、社会福祉援助技術に関する知識や技術を習得し、社会福祉援助活動に活用できる能力と態度を育てることを目標とします。各自がケースワークの事例とグループワークの事例に取り組み、発表とディスカッションを行うことで、社会福祉援助技術を実践的にとらえ、主体的に考えられるようにします。			
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回	複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容		
1	森島 由紀子	【第 1 回】 予習 : シラバスの授業のテーマ・目標、授業内容の確認 授業 : オリエンテーション 復習 : 授業のテーマ・目標、授業内容の確認		
2	森島 由紀子	【第 2 回】 予習 : 資料 1 の講読 授業 : 社会福祉の理念 : 社会福祉の歴史と理念 復習 : 社会福祉の歴史や理念のキーワードの確認		
3	森島 由紀子	【第 3 回】 予習 : 資料 2 の講読 授業 : 社会福祉の実施体制 復習 : 社会福祉の実施体制の整理とまとめ		
4	森島 由紀子	【第 4 回】 予習 : 資料 3 の講読 授業 : 社会福祉援助の方法 復習 : 社会福祉援助方法のキーワードの確認		
5	森島 由紀子	【第 5 回】 予習 : 資料 4 の講読 授業 : 社会福祉援助の倫理 復習 : 社会福祉援助の倫理のキーワードの確認		
6	森島 由紀子	【第 6 回】 予習 : 資料 5 の講読 授業 : 個別援助技術（ケースワーク）とは一原則と過程 復習 : 原則・過程のキーワードの確認、ケースワークの方法についてまとめる		
7	森島 由紀子	【第 7 回】 予習 : 資料 6 の事例講読と質問への回答 授業 : ケースワークの実際 1 - 受面接（発表とディスカッション） 復習 : 受面接のキーワードの確認、他の学生の意見と比較しながら自分の考えをまとめる		
8	森島 由紀子	【第 8 回】 予習 : 資料 6 の事例講読と質問への回答 授業 : ケースワークの実際 2 - 事前評価（発表とディスカッション） 復習 : 事前評価のキーワードの確認、他の学生の意見と比較しながら自分の考えをまとめる		
9	森島 由紀子	【第 9 回】 予習 : 資料 6 の事例講読と質問への回答 授業 : ケースワークの実際 3 - 援助計画（発表とディスカッション） 復習 : 援助計画のキーワードの確認、他の学生の意見と比較しながら自分の考えをまとめる		
10	森島 由紀子	【第 10 回】 予習 : 資料 6 の事例講読と質問への回答 授業 : ケースワークの実際 4 - 介入・実践評価、終結（発表とディスカッション） 復習 : 介入・実践評価・終結のキーワードの確認、他の学生の意見と比較しながら自分の考えをまとめる		
11	森島 由紀子	【第 11 回】 予習 : 資料 7 の講読 授業 : 集団援助技術（グループワーク）とは一原則と過程 復習 : 原則・過程のキーワードの確認、グループワークの方法についてまとめる		

12	森島 由紀子	【第12回】 予習：資料8の事例講読と質問への回答 授業：グループワークの実際1－準備期（発表とディスカッション） 復習：準備期のキーワードの確認、他の学生の意見と比較しながら自分の考えをまとめる						
13	森島 由紀子	【第13回】 予習：資料8の事例講読と質問への回答 授業：グループワークの実際2－開始期（発表とディスカッション） 復習：開始期のキーワードの確認、他の学生の意見と比較しながら自分の考えをまとめる						
14	森島 由紀子	【第14回】 予習：資料8の事例講読と質問への回答 授業：グループワークの実際3－作業期（発表とディスカッション） 復習：作業期のキーワードの確認、他の学生の意見と比較しながら自分の考えをまとめる						
15	森島 由紀子	【第15回】 予習：資料8の事例講読と質問への回答 授業：グループワークの実際4－終結期（発表とディスカッション） 復習：終結期のキーワードの確認、他の学生の意見と比較しながら自分の考えをまとめる						
授業開始前学習	社会福祉の入門または概論について、本を読んでおくことで授業が理解しやすい。社会福祉概論Ⅰの履修者は配付資料を復習してください。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業後半では各自が具体的な事例に取り組み、回答を板書してもらいますが、回答内容についてコメントします。							
テキスト・教材	特に指定しません。授業時に資料を配付します。							
参考書								
評価の基準と方法	レポート（80%）、事例発表・ディスカッション（20%）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	△		△	○	○		
関連科目								
その他	講義資料は事前に配付しますので、予習で講読（質問には回答）してください。受講者数によって事例の発表とディスカッションの方法を検討します。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	介護サービス相談員の実務経験を活かして、社会福祉の理念、実施体制、援助におけるソーシャルワーカーの役割などについて、講義で触れます。また、社会福祉士の国家資格を有しているため、資格取得を目指す学生の相談にのります。							

科目分類	100-120-11	授業コード	F00751
科目名称	日本の歴史	単位数	2.0 単位
英文名称	Japanese History	授業区分	講義
科目責任者	武廣 亮平	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	武廣 亮平	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	日本の古代から近世までの歴史について、各時代の歴史書や日記などの記録、宗教的な著作、絵画史料など幅広い史料をもとに考える。またそれぞれの史料が物語る時代の特性などもあわせて学ぶ。		
到達目標	日本史の各時代のさまざまな史料を素材に歴史を考察することで、歴史的なものの見方、考え方を身に付ける。学生各自が「歴史」をより深く学ぶことで培った視角や問題認識をもとに、現代日本社会の諸問題も考えることができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	武廣 亮平	【第 1 回】 予習 : シラバスの内容を確認する 授業 : オリエンテーション (日本史のさまざまな史料) 復習 : 授業で紹介した史料の特徴の確認	
2	武廣 亮平	【第 2 回】 予習 : 1～5 世紀の東アジアの歴史を概観する 授業 : 中国史料と金石文が記す古代の日本 復習 : 授業内容のノート整理と要点の確認	
3	武廣 亮平	【第 3 回】 予習 : 六国史について調べる 授業 : 『日本書紀』と史料批判 復習 : 授業内容のノート整理と要点の確認	
4	武廣 亮平	【第 4 回】 予習 : 奈良時代の歴史を概観する 授業 : 『続日本紀』と奈良時代の政変 復習 : 授業内容のノート整理と要点の確認	
5	武廣 亮平	【第 5 回】 予習 : 律令制下の税制についてまとめる 授業 : 木簡が語る古代人の生活 (平城京木簡を中心に) 復習 : 授業内容のノート整理と要点の確認	
6	武廣 亮平	【第 6 回】 予習 : 古代の武蔵国の郡と交通路を調べる 授業 : 奈良時代の古文書を読む (宝亀三年太政官符) 復習 : 授業内容のノート整理と要点の確認	
7	武廣 亮平	【第 7 回】 予習 : 摂関政治の特徴を調べる 授業 : 日記にみる平安貴族の生活と世界観 復習 : 授業内容のノート整理と要点の確認	
8	武廣 亮平	【第 8 回】 予習 : 末法思想について調べる 授業 : 『往生要集』と日本人の他界観 復習 : 授業内容のノート整理と要点の確認	
9	武廣 亮平	【第 9 回】 予習 : 平氏政権から鎌倉幕府の成立について調べる 授業 : 『吾妻鏡』が記す源頼朝とその権力 復習 : 授業内容のノート整理と要点の確認	
10	武廣 亮平	【第 10 回】 予習 : 鎌倉幕府の政治機構について調べる 授業 : 鎌倉時代の古文書を読む (政所下文) 復習 : 授業内容のノート整理と要点の確認	
11	武廣 亮平	【第 11 回】 予習 : 承久の乱と建武の新政について調べる 授業 : 「後鳥羽上皇像」と「後醍醐天皇像」 復習 : 授業内容のノート整理と要点の確認	

12	武廣 亮平	【第 12 回】 予習 : 日本におけるイエズス会の活動をまとめる 授業 : ルイス=フロイスが見聞した戦国時代の日本 復習 : 授業内容のノート整理と要点の確認							
13	武廣 亮平	【第 13 回】 予習 : 織田信長の統一事業についてまとめる 授業 : 「本能寺の変」とはなにか 復習 : 授業内容のノート整理と要点の確認							
14	武廣 亮平	【第 14 回】 予習 : 江戸幕府の成立について調べる 授業 : 『武江年表』にみる江戸の成立と発展 復習 : 授業内容のノート整理と要点の確認							
15	武廣 亮平	【第 15 回】 予習 : 授業内容のノートの整理 授業 : 授業の総括と試験 復習 : 歴史における史料の重要性について自分の意見をもとめる							
授業開始前学習									
授業内課題のフィードバックの方法		授業内のレポートや課題は次回の授業時に講評を行う。個別の質問についても毎回授業終了時に対応する。							
テキスト・教材		テキストは特に指定せず、毎回プリントを配布する。							
参考書									
評価の基準と方法		平常点（授業時の提出物）40点、レポート30点、定期試験30点							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		◎	○		△				
関連科目									
その他									
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-120-11	授業コード	F00760
科目名称	世界の歴史	単位数	2.0 単位
英文名称	World History	授業区分	講義
科目責任者	山本 興一郎	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	山本 興一郎	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	本講義のテーマは、古代地中海世界からフランス革命前夜までのヨーロッパにおける、人々の政治参加に関わる概念や諸制度について学ぶことです。(近代以降の日本を含む) 近現代の人々が参照し、更には影響を受けることとなった概念・諸制度揺籃の地であるヨーロッパにおいて、当時の人々がどのようにそれらを認識し、運用していたのか。これらの疑問を考えることにより、本講義は受講生自身が持っている或いは利用している権利概念や諸制度について、改めて考える機会を提供していきます。		
到達目標	人々の政治参加や諸制度をめぐる世界の歴史を正確に理解し、それらに関して自分の考えを述べるができるようになる。また、同じ名称の概念・用語・制度であっても、時代・場所・状況により相違点があることに気づき、その意味を理解することで、歴史的事実・認識に対する自身の考えを、多角的視点を踏まえたうえで表明できるようにすることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	山本 興一郎	【第 1 回】 予習：高等学校で使用した世界史の教科書を熟読しておくこと 授業：【地中海世界・ヨーロッパ世界とは】この授業の前提になる知識を学びます。また、次回以降の授業実施方法および評価方法を説明します。 復習：課題を中心に復習を行うことで、「前近代の歴史」に関して大枠の理解を深める	
2	山本 興一郎	【第 2 回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【古代地中海世界の展開 1】古代ギリシアのポリス社会とオリエント諸文明の関係について学びます 復習：課題を中心に復習を行うことで、古代ギリシアとオリエント諸文明の関係性に関して理解を深める	
3	山本 興一郎	【第 3 回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【古代地中海世界の展開 2】：共和政ローマの成立と国制について学びます 復習：課題を中心に復習を行うことで、政治参加とローマ市民権に関して理解を深めること	
4	山本 興一郎	【第 4 回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【古代地中海世界の展開 3】：古代地中海世界の代表的勢力の特徴とローマの地中海世界への拡大について学びます 復習：課題を中心に復習を行うことで、諸勢力とローマ支配のあり方に関して理解を深めること	
5	山本 興一郎	【第 5 回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【古代地中海世界の展開 4】：ローマの内乱と帝政の成立について学びます 復習：課題を中心に復習を行うことで、帝政の成立に関して理解を深めること	
6	山本 興一郎	【第 6 回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【古代地中海世界の展開 5】：帝政ローマの展開と「市民」の関係について学びます 復習：課題を中心に復習を行うことで、帝政と市民権の位置づけに関して理解を深めること	
7	山本 興一郎	【第 7 回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【古代末期の展開】：古代と中世の断絶ではない、「古代末期」世界について概要を学びます 復習：課題を中心に復習を行うことで、後期帝政と市民権の位置づけ、そして一神教の発展に関して理解を深めること	
8	山本 興一郎	【第 8 回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【中世の展開 1】：中世前期の概要について学びます 復習：課題を中心に復習を行うことで、ポスト・ローマ世界に関して理解を深めること	
9	山本 興一郎	【第 9 回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【中世の展開 2】：中世ヨーロッパ世界の前提となる聖俗の関係について学びます 復習：課題を中心に復習を行うことで、古代とは異なる中世の政治参加に関して理解を深めること	
10	山本 興一郎	【第 10 回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【中世の展開 3】：中世を特徴づける封建社会と貴族・騎士について学びます 復習：課題を中心に復習を行うことで、封建社会とそこに生きる貴族・騎士という存在に関して理解を深めること	

11	山本 興一郎	【第 11 回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【中世の展開 4】：封建社会における都市の重要性について学びます 復習：課題を中心に復習を行うことで、王権と都市の関係に関して理解を深めること						
12	山本 興一郎	【第 12 回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【近世の展開 1】：近世初期の貴族の変容と教会大分裂の影響について学びます 復習：課題を中心に復習を行うことで、近世の政治参加に関して理解を深めること						
13	山本 興一郎	【第 13 回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【近世の展開 2】：危機の時代における三部会（身分制議会）の活動について学びます 復習：課題を中心に復習を行うことで、百年戦争や宗教戦争等の危機の時代における王権・三部会の関係に関して理解を深めること						
14	山本 興一郎	【第 14 回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【近世の展開 3】：近世社会の王権と社団の関係と「主権論」について学びます。また【レポート課題】を提示します 復習：課題を中心に復習を行うことで、主権論に基づく絶対王政と社団の関係性に関して理解を深めること						
15	山本 興一郎	【第 15 回】 予習：【第 1 回】から【第 14 回】までの授業を復習しておくこと 授業：【ヨーロッパ世界の特徴と近現代の胎動】 復習：配布資料を熟読しておくこと						
授業開始前学習	高等学校で使用した世界史の教科書や便覧・用語集等で、本シラバスの「授業の内容」で示した範囲を熟読しておいてください。							
授業内課題のフィードバックの方法	小課題については、提出締切日の 1,2 週後を目途に採点結果と適宜総評を Google Classroom 登録メールアドレスへ送信します。 課題・総評提示日等は、授業形態・学習状況により日程を変更する可能性があります。変更する場合は事前に受講者に伝達いたします。							
テキスト・教材	適宜資料を事前配布します。							
参考書	服部良久・南川高志・山辺規子（編著）（2007）『大学で学ぶ西洋史〔古代・中世〕』ミネルヴァ書房。 小山哲・上垣豊・山田史郎・杉本淑彦（編著）（2011）『大学で学ぶ西洋史〔近現代〕』ミネルヴァ書房。 池上俊一著（2021）『ヨーロッパ史入門—原型から近代への胎動』岩波ジュニア文庫。 池上俊一著（2022）『ヨーロッパ史入門—市民革命から現代へ』岩波ジュニア文庫。							
評価の基準と方法	レポート課題の成績 50%と平常点 50%（平常点は、適宜実施する小課題の点数で評価する）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他	受講者数により授業の予定を変更することもあります。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00770
科目名称	戦争と平和の歴史 I	単位数	2.0 単位
英文名称	History of Peace and War I	授業区分	講義
科目責任者	臼井 実稲子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	臼井 実稲子	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10 後期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10	研究室	10-705
授業概要	戦争はなぜ繰り返されるのか？人類にとって戦争は避けられないものなのか？この問いに対する答えを求めて、20 世紀の国際関係を分析する。その際、欧米の国際関係が中心となるが、19 世紀後半に国際社会で頭角を現すようになった日本についても言及する。 1 9 世紀末から第二次世界大戦の終結までの国際関係が分析の対象となる。		
到達目標	国際関係史の基礎的知識および社会科学的思考方法の習得を目的とする。 (1) 19 世紀末から第二次世界大戦の終結までの国際関係の流れを説明することができるようになる。 (2) どのような政治力学が働いて戦争が起きるのか（あるいは、終結するのか）を、具体的に説明することができるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	無	全授業回数	15 回 複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	臼井 実稲子	【第 1 回】 予習：シラバスを読む 授業：イントロダクション 人類は戦争をさけられないのか？ 復習：初回の授業を踏まえ、戦争について自身の考えをまとめる	
2	臼井 実稲子	【第 2 回】 予習：19 世紀の大国について調べる 授業：不穏な世紀末の国際社会 復習：19 世紀末の欧米の主要国についてまとめる	
3	臼井 実稲子	【第 3 回】 予習：産業革命の影響について調べる 授業：20 世紀の幕開け 復習：イギリス王室と欧州諸国の王室の関係をまとめる	
4	臼井 実稲子	【第 4 回】 予習：欧州諸国の植民地支配を地図で確認 授業：列強の植民地支配 復習：ヨーロッパ列強の植民地支配をまとめる	
5	臼井 実稲子	【第 5 回】 予習：アジアにおける日本の植民地支配を地図で確認 授業：列強をモデルとした日本 明治・大正期の日本の大陸政策 復習：日本と欧州列強の植民地政策の相違をまとめる	
6	臼井 実稲子	【第 6 回】 予習：欧州の同盟について調べる 授業：第一次世界大戦への道 復習：第一次大戦前後の世界の対立と協調の動きをまとめる	
7	臼井 実稲子	【第 7 回】 予習：1914 年と 1919 年のヨーロッパの地図を確認 授業：第一次世界大戦 勃発と拡大 復習：第一次大戦の勃発要因と拡大の様相をまとめる	
8	臼井 実稲子	【第 8 回】 予習：中東地域を地図で確認 授業：パレスチナ問題の起源 復習：パレスチナ問題の深淵を考える	
9	臼井 実稲子	【第 9 回】 予習：20 世紀はじめの戦争における武器について調べる 授業：技術と戦争 大量殺戮兵器の登場 復習：現代の戦争における技術について考えをまとめる	
10	臼井 実稲子	【第 10 回】 予習：革命前のロシアの状況について調べる 授業：ロシア革命の勃発と第一次世界大戦の終結 復習：第一次大戦終結後の条約についてまとめる	

11	白井 実穂子	【第 11 回】 予習 : ヴェルサイユ体制について調べる 授業 : 国際協調主義 戦間期の束の間の平和 復習 : ヴェルサイユ体制・ワシントン体制・ロカルノ体制を整理						
12	白井 実穂子	【第 12 回】 予習 : 第一次大戦後の対独条約について確認 授業 : 第二次世界大戦への道 世界恐慌とナチズムの台頭 復習 : 世界恐慌の影響についてまとめる						
13	白井 実穂子	【第 13 回】 予習 : 第二次世界大戦前のヒトラーの対外政策を確認 授業 : 第二次世界大戦の勃発 復習 : イギリスの宥和政策についてまとめる						
14	白井 実穂子	【第 14 回】 予習 : 日中戦争・太平洋戦争について自身の知るところをまとめる 授業 : アジア・太平洋戦争 復習 : 日本の戦争についてまとめる						
15	白井 実穂子	【第 15 回】 予習 : 日独の同盟関係を確認 授業 : ファシズムの敗退・第二次世界大戦の終結 復習 : 戦争について自身の考えをまとめる						
授業開始前学習	これまで勉強した近現代史を確認							
授業内課題のフィードバックの方法	適宜、リアクションペーパーを用いる。							
テキスト・教材	毎授業時にレジュメを配布する							
参考書	適宜、授業内で指示する。							
評価の基準と方法	試験（60点）と平常点（40点）で評価する。試験で60点未満の場合、また、出席において不正が発覚した場合も単位取得はできない。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける	社会的責務を果たすこと のできる専門力と判断力を身 につける	文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケ ーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	戦争と平和の歴史Ⅱ 国際社会の論点							
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

戦争と平和の歴史Ⅱ

科目分類	100-120-11	授業コード	F00780
科目名称	戦争と平和の歴史Ⅱ	単位数	2.0 単位
英文名称	History of Peace and War II	授業区分	講義
科目責任者	臼井 実稲子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	臼井 実稲子	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10 後期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10	研究室	10-705
授業概要	戦争はなぜ繰り返されるのか？人類にとって戦争は避けられないものなのか？この問いに対する答えを求めて、20 世紀の国際関係を分析する。その際、欧米の国際関係が中心となるが、19 世紀後半に国際社会で頭角を現すようになった日本についても言及する。 第二次世界大戦後から冷戦の終結までの国際関係が分析の対象となる。		
到達目標	国際関係史の基礎的知識および社会科学的思考方法の習得を目的とする。 (1) 第二次世界大戦後から冷戦の終結までの国際関係の流れを説明することができるようになる。 (2) どのような政治力学が働いて戦争が起きるのか（あるいは、終結するのか）を、具体的に説明することができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	臼井 実稲子	【第 1 回】 予習： シラバスを読む 授業： ガイダンス 勝者の世界分割 復習： ヤルタ会談における戦勝国の成果についてまとめる	
2	臼井 実稲子	【第 2 回】 予習： 日本の植民地支配の現在への影響を考える 授業： 植民地支配と新たな戦争（1）中国・朝鮮半島・ヴェトナム 復習： 日本の植民地支配の理念と実際を理解する	
3	臼井 実稲子	【第 3 回】 予習： インドと東南アジアの地図を確認しておく 授業： 植民地支配と新たな戦争（2）インド・東南アジア 復習： 日本と欧州の植民地宗主国の統治をまとめる	
4	臼井 実稲子	【第 4 回】 予習： 中東地域の地図を確認しておく 授業： 新たな戦争のはじまり 中東 復習： 現在の中東情勢との関連をまとめる	
5	臼井 実稲子	【第 5 回】 予習： 第二次世界大戦後から 1950 年までの国際情勢を確認しておく 授業： 冷戦（1）恐怖の均衡 復習： 核と国際政治についてまとめる	
6	臼井 実稲子	【第 6 回】 予習： 第二次世界大戦後の欧州の状況を確認しておく 授業： 冷戦（2）分断された欧州 復習： 米ソと欧州諸国の関係をまとめる	
7	臼井 実稲子	【第 7 回】 予習： 第二次大戦後のアメリカ政権を確認しておく 授業： 冷戦（3）キューバ危機 復習： キューバ危機から得た教訓をまとめる	
8	臼井 実稲子	【第 8 回】 予習： 第二次大戦後の中国情勢を確認しておく 授業： 米ソデタントと中ソ対立 復習： 米ソ中の当時の国際関係をまとめる	
9	臼井 実稲子	【第 9 回】 予習： 米ソ冷戦の中での欧州諸国の動きを確認しておく 授業： 戦争の無い欧州を目指して 復習： 現在の欧州統合の動きと比較する	
10	臼井 実稲子	【第 10 回】 予習： ケネディ暗殺後のアメリカ政権を確認しておく 授業： アメリカの内憂外患 復習： アメリカの対外政策と国内政策の関係をまとめる	

11	白井 実穂子	【第 11 回】 予習： インドシナ戦争からヴェトナム戦争の経緯を確認しておく 授業： アメリカと先進国の動揺 復習： ヴェトナム戦争が米国に与えた影響をまとめる							
12	白井 実穂子	【第 12 回】 予習： ソ連の 1970 年代から崩壊までの政権移行を確認しておく 授業： ソ連崩壊（1） 復習： ソ連崩壊後 30 年の現在のロシアをまとめる							
13	白井 実穂子	【第 13 回】 予習： ソ連によるアフガニスタン侵攻を確認しておく 授業： ソ連崩壊（2） 復習： アフガニスタン情勢についてまとめる							
14	白井 実穂子	【第 14 回】 予習： 東欧革命以前と以後の欧州の地図を確認しておく 授業： ソ連崩壊と東欧革命 復習： 東欧革命の意義をまとめる							
15	白井 実穂子	【第 15 回】 予習： 現代の戦争・紛争を確認しておく 授業： 終わらない戦争 復習： 人類にとって戦争は不可避かを考え、まとめる							
授業開始前学習		これまで勉強した近現代史を確認しておく。							
授業内課題のフィードバックの方法		適宜、リアクションペーパーを用いる。							
テキスト・教材		毎回授業時にレジユメを配布する。							
参考書		適宜、授業内で指示する。							
評価の基準と方法		試験（60点）と平常点（40点）で評価する。試験で60点未満の場合、また、出席において不正が発覚した場合も単位取得はできない。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける	社会的責務を果たすこと のできる専門力と判断力を身 につける	文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける				
学修指針		教養力	人間性	コミュニケ ーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		◎	○		△				
関連科目		戦争と平和の歴史 I 国際社会の論点							
その他									
予習・復習の 所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容									

科目分類	100-120-11 (2022年～入学者) 100-121-11 (～2021年入学者)	授業コード	F00791
科目名称	西洋文化史	単位数	2.0 単位
英文名称	History of the Occidental Culture	授業区分	講義
科目責任者	河合 恵美	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	河合 恵美	開講時期	1年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	ルネサンス以降の西洋文化を衣・食・住の観点より学び、研究する。文化・生活に関連した装飾美術・工芸の分野にて、大国でありその発信地的役割を果たしたイギリス、フランスを中心に、バロック期から20世紀ミッド・センチュリーにおける装飾の歴史を俯瞰し、食であるテーブルウェア（陶磁器・銀器・ガラス）、住である建築と家具、衣であるモード（服飾）、ジュエリー、装飾小物などについて、映像・画像と共に、ものの見方、鑑定眼を身につけられるように研究し、現代の生活文化への影響やルーツを学ぶ。		
到達目標	西洋工芸品・西洋装飾美術品の様式や特徴に関し、その歴史と背景、代表的な建築・美術・工芸について理解できるようになる。7月に実施される西洋アンティーク鑑定検定試験協会主催「アンティーク検定試験」3級の合格を目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	河合 恵美	【第1回】 予習：シラバス全体を読み、装飾美術工芸とは何かを調べる 授業：美術（純粋美術）と装飾美術（応用美術）の定義、共通点と相違点について理解する 復習：西洋装飾美術工芸の世界を理解する	
2	河合 恵美	【第2回】 予習：教科書 P12-21 を読み、「様式とは何か」について調べておく 授業：バロックからモダニズムまでの装飾様式の特徴を俯瞰する 復習：各様式の特徴について時代背景と共に理解する	
3	河合 恵美	【第3回】 予習：教科書 P24-37 を読み、西洋の家具（椅子）について調べておく 授業：西洋家具の成り立ち、変遷と歴史について学ぶ 復習：西洋家具の歴史と各時代の特徴について理解する	
4	河合 恵美	【第4回】 予習：教科書 P66-71 を読み、陶磁器について調べておく 授業：西洋陶磁について、陶器・磁器それぞれの誕生の歴史と特徴を学ぶ 復習：陶磁器の歴史や種類について理解する	
5	河合 恵美	【第5回】 予習：教科書 P110-115 を読み、ガラスについて調べておく 授業：ヴェネツィアガラス、ボヘミアガラス、クリスタルガラスについて学ぶ 復習：ガラスの歴史と種類、製法について理解する	
6	河合 恵美	【第6回】 予習：教科書 P140-143 および P218-219 を読み、銀器について調べておく 授業：イギリスとフランスの銀器の刻印の読み方について学ぶ 復習：西洋における銀器の歴史、刻印について理解する	
7	河合 恵美	【第7回】 予習：教科書 P180-183 を読み、また宝飾品（ジュエリー）について調べておく 授業：貴石の種類とジュエリーの歴史について学ぶ 復習：ジュエリーの歴史、ダイヤモンドの世界を理解する	
8	河合 恵美	【第8回】 予習：モード（服飾）とジェンダーについて調べておく 授業：西洋モードの歴史と変遷について学ぶ 第1回レポート課題 復習：生活様式の中でのモードの歴史を理解する	
9	河合 恵美	【第9回】 予習：教科書 P19 を読みアール・ヌーヴォーについて調べておく 授業：アール・ヌーヴォー芸術と、その工芸品について学ぶ 復習：アール・ヌーヴォーの芸術様式を理解する	
10	河合 恵美	【第10回】 予習：教科書 P20 を読みアール・デコについて調べておく 授業：アール・デコ様式と、その工芸品について学ぶ 復習：アール・デコの芸術様式を理解する	
11	河合 恵美	【第11回】 予習：教科書 P21 を読み北欧デザインについて調べておく 授業：ミッド・センチュリーの家具工芸品について学ぶ 第1回のレポート講評、第2回レポート 復習：ミッド・センチュリーの家具工芸品を理解する	

12	河合 恵美	【第 12 回】 予習 : 19 世紀後半の万博について調べておく 授業 : 1851 年のロンドン博から 1900 年のパリ万博までを俯瞰する 復習 : 19 世紀後半の万博について、その意義と役割を理解する						
13	河合 恵美	【第 13 回】 予習 : 第 12 回までの授業につき復習をする 授業 : アンティーク検定対策 復習 : アンティーク検定試験に向けての総復習をする						
14	河合 恵美	【第 14 回】 予習 : テーブルウェアの歴史について調べておく 授業 : テーブルコーディネートの変遷について学ぶ 復習 : テーブルウェアの種類、テーブルコーディネートの歴史を理解する						
15	河合 恵美	【第 15 回】 予習 : 「アンティーク」とは何か、について調べておく 授業 : アンティーク、ヴィンテージ、コレクタブルなどの定義、その価値基準について学ぶ 第 2 回レポート講評 復習 : アートマーケットにおける実情を理解する						
授業開始前学習	本授業にて触れる時代・地域は 17 世紀～20 世紀のヨーロッパの生活文化史であるため、ルネサンス以降の世界史、西洋美術史の通史を読み、基本的知識を学んでおくと、授業が理解しやすい。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業 8 回目、11 回目に提出するレポートについては、それぞれ授業 11 回目、15 回目に講評を行う。							
テキスト・教材	「西洋骨董鑑定の教科書」ジュディス・ミラー著 (パイ インターナショナル)							
参考書	「フランステーブルウェアの教科書」イネス・ウージェル著 (パイ インターナショナル) 「ヨーロッパの装飾と文様」海野弘著 (パイ インターナショナル) 「アール・ヌーヴォーの美術」岡部昌幸著 (東京美術)							
評価の基準と方法	定期試験は実施せず、授業内に行う 2 回のレポート (60%) および外部検定試験「アンティーク検定試験 3 級」等 (40%) とする。授業内でのリアクションペーパーも随時行い、成績は絶対評価で加点方式とする。 出席が 3 分の 2 以下の場合、また出席の改ざんが発覚した場合は成績にかかわらず単位取得不可。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他	「西洋骨董鑑定の教科書」: 3600 円 + 税 アンティーク検定試験 3 級: 受験料未定 (学生割引あり) 7 月 7 日 (日) に実施予定、本受験 (任意) は、成績評価の対象となる。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-121-11 (J)		授業コード	F00800	
科目名称	日本美術史		単位数	2.0 単位	
英文名称	Japanese Art History		授業区分	講義	
科目責任者	遠山 元浩		必修・選択	履修ガイド参照	
担当教員	遠山 元浩		開講時期	1 年	
オフィスアワー	-		研究室	-	
授業概要	日本に於ける美術の流れを追えば、日本という文化の独自性が見えてくる。信仰や各種儀式から生まれた美、装飾性の多様さ、建築や工芸に見るデザインなど、日本人としての意識を、代表的な日本美術の作品を用いて解説しつつ、日本美術を紐解いていく。				
到達目標	まず、日本美術の変遷を時代ごとに理解する。そして、時代ごとに取り上げた美術品の分野、形態、その特徴や技法などを己の知識として身につける。併せて解説に使用した作品の意味や本質を理解する。日本美術の基礎を理解した上で、自分の中にある「日本の美」とは何なのか？を、導き出す事ができるようになる。				
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回	複数教員の場合の 授業形態	
授業 回数	担当者	授業の内容			
1	遠山 元浩	【第 1 回】 予習 : 関心がある日本美術とは何か考察する。 授業 : ガイダンス 日本美術とは 復習 : 日本美術にどのような特徴が顕著かまとめる。			
2	遠山 元浩	【第 2 回】 予習 : 美術の種類にはどんなものがあるのか確認する。 授業 : 美術品の分類と文化財 復習 : 美術の分類特徴をまとめる。			
3	遠山 元浩	【第 3 回】 予習 : 古代の美術についてどんなものがあるのか確認する。 授業 : 古代の美術 (縄文・弥生・古墳) 復習 : 古代の美術の特徴をまとめる。			
4	遠山 元浩	【第 4 回】 予習 : 飛鳥の宗教美術についてどんなものがあるのか確認する。 授業 : 飛鳥の宗教美術 (信仰と美術) 復習 : 飛鳥の宗教美術の特徴をまとめる。			
5	遠山 元浩	【第 5 回】 予習 : 仏像についてどんなものがあるのか確認する。 授業 : 仏像の伝来 (宗教美術) 復習 : 宗教美術としての仏像の特徴をまとめる。			
6	遠山 元浩	【第 6 回】 予習 : 飛鳥から奈良の美術についてどんなものがあるのか確認する。 授業 : 飛鳥から奈良時代の美術 復習 : 飛鳥から奈良の美術の特徴をまとめる。			
7	遠山 元浩	【第 7 回】 予習 : 奈良から平安の歴史についてどんなものがあるのか確認する。 授業 : 奈良から平安時代の美術 (浄土美術) 復習 : 奈良から平安の美術の特徴をまとめる			
8	遠山 元浩	【第 8 回】 予習 : 平安から鎌倉についてどんなものがあるのか確認する。 授業 : 平安から鎌倉時代の美術 (やまと絵) 復習 : 平安から鎌倉のやまと絵の特徴をまとめる			
9	遠山 元浩	【第 9 回】 予習 : 平安から鎌倉時代の美術についてどんなものがあるのか確認する。 授業 : 平安から鎌倉時代の美術 (絵巻) 復習 : 平安から鎌倉時代の絵巻の特徴をまとめる。			
10	遠山 元浩	【第 10 回】 予習 : 鎌倉時代の美術についてどんなものがあるのか確認する。 授業 : 鎌倉から室町時代の美術 (垂迹絵画) 復習 : 鎌倉から室町時代の美術の特徴をまとめる。			
11	遠山 元浩	【第 11 回】 予習 : 中近世移行期についての歴史を確認する。 授業 : 中近世移行期の美術 復習 : 中近世移行期の美術の特徴を整理する。			

12	遠山 元浩	【第12回】 予習：江戸時代の歴史を確認する。 授業：技法から見る江戸時代の美術（截金・蒔絵など） 復習：江戸時代の美術技法の特徴をまとめる。						
13	遠山 元浩	【第13回】 予習：美本美術の技法についてどんなものがあるのか確認する。 授業：彫刻・工芸からみる日本美術の技術（仏像・刀・刀装具など） 復習：江戸の彫刻や工芸の特徴をまとめる。						
14	遠山 元浩	【第14回】 予習：近世から近代の歴史について確認する。 授業：江戸から明治時代の美術（浮世絵など） 復習：江戸から明治の美術の特徴をまとめる						
15	遠山 元浩	【第15回】 予習：各時代の美術の特徴についてどんなものがあるのか確認する。 授業：学びの総括 復習：日本の美術の特徴をまとめる。						
授業開始前学習	授業テキストや美術全集などとなるべく多くの日本美術作品を見ておくこと							
授業内課題のフィードバックの方法	授業中必要と思われるタイミングに質疑応答時間を設ける 随時その内容に対して研究意欲を掘り下げられるよう、参考文献や実際の史料画像などを提示する							
テキスト・教材	『日本美術史 JAPANESE ART HISTORY』(美術出版ライブラリー 歴史編) 山下裕二・高岸輝 (監修) 美術出版社発行 これ以外に適宜プリント資料等を配付する事もある。							
参考書	講義中に参考資料等を紹介、配付資料には参考文献等を掲載する。							
評価の基準と方法	授業の平常点（30%）、課題レポート（70%）で総合的に評価する。 課題レポートは、指定された方法のみで受け付ける。 提出方法などの詳細は、授業終盤に授業の中で提示する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他	各回パワーポイントを使用しての授業となるが、授業中に用いた美術作品や史料等は、図版集などを見て毎回確認をすること。 また専門用語はその都度解説する。余裕のある時に、博物館・美術館・寺社仏閣などを訪れ、美術に接する機会を増やす努力をして欲しい。授業内容によっては必要と思われる最新史料の紹介、DVDや動画などを用いた視覚授業を実施することがあるので、予定がずれることも想定される。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	遊行寺宝物館の現役館長である。収蔵品は国宝『一遍聖絵』重要文化財『後醍醐天皇御像』など多数。専門は日本美術。特に日本仏教美術中の時宗美術と得意とする。保存担当学芸員の資格を有して文化財保護活動にも従事する。これらの経験を活かして日本美術史を紐解いて行く。							

科目分類	100-120-11	授業コード	F00810
科目名称	比較文化	単位数	2.0 単位
英文名称	Comparative Culture	授業区分	講義
科目責任者	安井 裕司	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	安井 裕司	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 13:00～14:30 水曜日 14:40～16:10 後期 水曜日 13:00～14:30 水曜日 14:40～16:10	研究室	16-206
授業概要	前半は、文化中心主義・文化相対主義、文化帝国主義、アメリカナイゼーション、グローバリゼーション、オリエンタリズム、カルチュラル・スタディーズ、文化的ステレオタイプ等、理論的な側面から「比較文化」を捉えています。 後半は、具体的なケーススタディとして、『マイ・フェア・レディ』、『大草原の小さな家』、『フランダースの犬』、『西遊記』、『アルプスの少女ハイジ』、『ムーミン』、『ベルサイユのばら』などを例に、国を越えて作品が享受されることによって、重なり合いながらも顕在化する日本及び諸外国のそれぞれの「文化性」を分析していきます。		
到達目標	自分がどのような文化圏に所属しても、自分及び他者が帰属する「文化」を客観的に捉えられるようになることを目標とします。「文化」を比較することで、国境を越える「文化」のダイナミズムを理解できるようになることもターゲットとします。		
アクティブ・ラーニング型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	安井 裕司	【第 1 回】 予習 : 「文化」について自分なりに調べてくる 授業 : 文化とは何か。文化を比較することの意味 復習 : 自分で予習していた「文化」と講義における「文化」の意味が同じかどうかを考え、「文化」を比較する意義を再考すること	
2	安井 裕司	【第 2 回】 予習 : なぜ、人は自分の所属する集団の「文化」を、他よりも優位（中心）であるとする傾向があるのかを考える。『ナショナリズム論の名著 50』（平凡社）、M.バーリー、W.ヴァッパマン『人種主義国家ドイツ: 1933-45』等のナショナリズム関連書からエスノセントリズムに関する部分を読んでおく 授業 : 「自文化中心主義」（エスノセントリズム）・「文化相対主義」とは何か 復習 : 講義を踏まえて、「自文化中心主義」と「文化相対主義」について把握し、まとめておくこと	
3	安井 裕司	【第 3 回】 予習 : エドワード・サイード『文化と帝国主義』等を読んで「文化帝国主義」について調べておくこと 授業 : 「文化帝国主義」とは何か 復習 : 講義を踏まえて、「帝国」と「文化」について纏めておく	
4	安井 裕司	【第 4 回】 予習 : 米国発で世界に広がった「米国文化」を調べる。また、米国発ではなく世界に広まった「グローバル文化」を調べておく 授業 : 「文化」のアメリカナイゼーションとグローバリゼーション 復習 : 授業を踏まえて強制的ではなく国境を越えて広がる「文化」を考える。時間があれば、映画『ファウンダー ハンバーガー帝国のヒミツ』、映画『幸せの経済学』、映画『ココロ・キッド』等を観ておく	
5	安井 裕司	【第 5 回】 予習 : エドワード・サイード『オリエンタリズム』を読んでおく 授業 : 「オリエンタリズム」とは何か 復習 : 授業を踏まえて、「オリエンタリズム」について纏めておく	
6	安井 裕司	【第 6 回】 予習 : 「カルチュラル・スタディーズ」についてのスチュアート・ホール他『カルチュラル・アイデンティティの諸問題』等の学術書を読んでおく 授業 : カルチュラル・スタディーズとは何か 復習 : 授業を踏まえてカルチュラル・スタディーズについて纏めておく	
7	安井 裕司	【第 7 回】 予習 : 山本七平（イザヤ・ベンダサン）『日本人とユダヤ人』を読んでおく 授業 : 比較者の「中立性」「客観性」への問い 復習 : 日本人とユダヤ人比較が、ユダヤ人から発せられた場合と日本人から発せられた場合、受け手側の受け止め方が異なる理由は何なのかを考える	
8	安井 裕司	【第 8 回】 予習 : 映画『将軍 SHOGUN』（1980 年）、映画『SAYURI』、映画『ガン・ホー』等を観ておく 授業 : 文化的ステレオタイプ : 米国で消費される「日本文化」と「日本人性」。 復習 : 授業を纏め、ステレオタイプについて米国の「日本人」以外のケースも考える	
9	安井 裕司	【第 9 回】 予習 : ローラ・インガルス・ワイルダー『大草原の小さな家』を読んでおく 授業 : 日本で享受されたアメリカの家族物語 : ドラマ『大草原の小さな家』 復習 : 講義を纏め、可能ならばドラマ『大草原の小さな家』を観ておく	

10	安井 裕司	【第 10 回】 予習 : ギリシャ神話『変身物語』の「ピグマリオン」を読んでおく 授業 : 英国・米国で分岐する価値 : 『ピグマリオン』(1939 年)、『マイ・フェア・レディ』(1964 年)、『Pygmalion』(1973 年)、『リタと大学教授』(1983 年)、『プリティ・ウーマン』(1990 年)、『ルビー・スパークス』(2012 年) を例に考える 復習 : 授業で紹介した映画作品をできるだけ見ておく						
11	安井 裕司	【第 11 回】 予習 : ウィーダ『フランダースの犬』を読んでおく 授業 : 日本で受け入れられたベルギーの悲劇 : 『フランダースの犬』 復習 : 講義を踏まえて、なぜ同作品が日本人の心を掴んだのかを纏め、可能ならばアニメ『フランダースの犬』を観ておく						
12	安井 裕司	【第 12 回】 予習 : 1979 年に英国 BBC で「Monkey」として放送された大ヒットした日本のドラマ『西遊記』(1978 年) がどのように海外で評価されているかを事前に英文記事で調べておく 授業 : 日本化されて英国に受け入れられた中国の古典 : ドラマ『西遊記』(1979 年) 復習 : 授業を踏まえて、可能ならばドラマ『西遊記』(1978 年) を観ておく						
13	安井 裕司	【第 13 回】 予習 : ヨハンナ・シュビリ『アルプスの少女ハイジ』を読んでおく 授業 : 日本アニメとして再創出されたスイスの『アルプスの少女ハイジ』 復習 : 日本の TV アニメ『アルプスの少女ハイジ』(1974 年, 日本) を観ておく。可能ならば、『Heidi』(1937 年, 米国)、『アルプスの少女ハイジ』(1952 年, スイス)、『アルプスの少女ハイジ』(1965 年, 西ドイツ)、『ハイジ』(2005 年, 英国)、『ハイジアルプスの物語』(2015 年, スイス) 等も観ておく						
14	安井 裕司	【第 14 回】 予習 : トーベ・ヤンソン『ムーミン全集』をできるだけ読んでおく 授業 : 日本で生き続ける北欧の妖精『ムーミン』 復習 : 講義を踏まえ、可能ならば TV アニメ『楽しいムーミン一家』を観て、瀬戸一夫『ムーミンの哲学』、富原真弓『ムーミンを読む』も読んでおく						
15	安井 裕司	【第 15 回】 予習 : 池田理代子『ベルサイユのばら』を読んでおくこと 授業 : 日本化した「フランス革命」: 漫画・アニメ『ベルサイユのばら』、宝塚歌劇『ベルサイユのばら』そして『Lady Oscar』は何を問うのか 復習 : 授業を踏まえて、可能ならば、アニメ『ベルサイユのばら』、宝塚歌劇『ベルサイユのばら』を観てみる						
授業開始前学習	紹介する学術書、一般書、漫画を全て読み、映像作品(映画、ドラマ)を全て鑑賞することを義務化しませんが、事前に多くの関連書を読んで、沢山の映画を観たほうがより授業が分かり易く、何よりも楽しくなります。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で課題をフィードバックする時間を設けます。							
テキスト・教材	特にありません。							
参考書	毎回、授業において紹介します。							
評価の基準と方法	授業参加態度 30% 定期試験 70%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	△		○				
関連科目	異文化理解 I、異文化理解 II、日本事情Ⅲ、日本事情Ⅳ							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00820
科目名称	日本の文化	単位数	2.0 単位
英文名称	Japanese Culture	授業区分	講義
科目責任者	佐々木 俊道	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐々木 俊道	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 09:00～10:30 月曜日 14:40～16:10 後期 月曜日 09:00～10:30 月曜日 14:40～16:10	研究室	10-504
授業概要	日本文化に多大な影響を与えた仏教文化を中心に授業を進めて行く。誰でも挨拶という言葉を知っており日常生活で実践し無意識に文化として身に付けている。しかし、それが仏教・禅から派生した言葉であることは、ほとんどの人が知らない。よって挨拶のように自然に身に付いている日本における日常の「かたち」や「こころ」の歴史的背景を理解する。さらに無意識に行っている様々な行為を意識下に置く事により自分自身の文化的背景を見直す事が出来るようになることを目標とする。この授業では課題解決型学習、ディスカッションを行う。		
到達目標	日本の文化に関わる目に見える「かたち」と、その背景にある「こころ」の本質を理解することができるようになる。こうした能力は、それぞれの問題意識に合わせて民俗学・歴史学・社会学といった個々の学問領域における方法論を駆使して様々な事象を分析することができるようになる。将来、理性と知性を身につけた心豊かな教養人として未来に向けて「受け継いでいくべきもの」と「変えていかなければならないもの」を判断出来る人材となれることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	佐々木 俊道	【第 1 回】 予習 : 文化という言葉为国語辞典で調べておくこと。 授業 : 文化とは何か (文化の定義) ・日本文化を学ぶことの意義を確認 復習 : 自分自身が無意識に学習して来た個別文化を確認しノートにまとめること。	
2	佐々木 俊道	【第 2 回】 予習 : 日本という言葉为国語辞典で調べておくこと。 授業 : 「日本」とは。なぜ我が国は日本と呼ぶのか、また倭、大和とは何か 復習 : 日本の国を示す様々な言葉の違いを明確にしノートにまとめること。	
3	佐々木 俊道	【第 3 回】 予習 : 仏教の影響を受けた個別文化について、文献で調べて箇条書きにメモしておくこと。 授業 : 日本文化と仏教の関係 復習 : 日常の仏教文化を確認しノートにまとめること。	
4	佐々木 俊道	【第 4 回】 予習 : 縄文時代と弥生時代・古墳時代の個別文化を調べておくこと。 授業 : 仏教伝来以前の日本の信仰・カミとは何か・日本のアニミズム 復習 : 授業の要点をノートにまとめること。	
5	佐々木 俊道	【第 5 回】 予習 : 文化人類学における原始宗教 (マナ、アニミズム、シャーマニズム) について調べておくこと。 授業 : 仏教伝来以前の日本の信仰・シャーマニズム論から日本文化を考える、レポート提出 (課題解決型学習) 復習 : 原始宗教とは何かをあらためてノートにまとめること。	
6	佐々木 俊道	【第 6 回】 予習 : 日本の神道について『古事記』を中心に調べておくこと。 授業 : 仏教の伝来と飛鳥文化・日本人は外来の宗教である仏教をどのように受容したか 復習 : 日本人が外来文化をどのように需要してきたかを確認、ノートにまとめること。	
7	佐々木 俊道	【第 7 回】 予習 : 奈良時代の仏教美術について調べておくこと。 授業 : 奈良仏教・国家仏教・鎮護国家の仏教・白鳳文化と天平文化 復習 : この時代の好きな仏教美術についてノートにまとめること。さらに、それを口頭で説明出来るようにすること。	
8	佐々木 俊道	【第 8 回】 予習 : 最澄の伝記を調べておくこと。 授業 : 日本天台宗・最澄の生涯と教え 復習 : 最澄の思想と日本文化史上の意義をノートにまとめること。	
9	佐々木 俊道	【第 9 回】 予習 : 空海の伝記を調べておくこと。 授業 : 真言宗・空海の生涯と教え 復習 : 空海の思想とその文化史上の意義をノートにまとめること。	
10	佐々木 俊道	【第 10 回】 予習 : 平安初期の仏教美術について調べておくこと。 授業 : 平安初期の文化・弘仁貞観文化 復習 : この時代の好きな仏教美術について口頭で説明出来るようにしておくこと。	

11	佐々木 俊道	【第 11 回】 予習：平安中期の仏教美術について調べておくこと。 授業：平安中期の文化・国風文化 復習：この時代の好きな仏教美術について口頭で説明出来るようにしておくこと。						
12	佐々木 俊道	【第 12 回】 予習：平安末期の仏教美術について調べておくこと。 授業：平安末期の文化・末法思想と浄土思想、レポート提出（課題解決型学習） 復習：この時代の好きな仏教美術について口頭で説明出来るようにしておくこと。						
13	佐々木 俊道	【第 13 回】 予習：鎌倉仏教における浄土系について調べておくこと。 授業：法然・親鸞の生涯と教え 復習：浄土系思想の特徴を口頭で説明出来るようにしておくこと。						
14	佐々木 俊道	【第 14 回】 予習：鎌倉仏教における禅宗・日蓮宗について調べておくこと。 授業：栄西・道元・日蓮の生涯と教え 復習：禅宗と日蓮宗の思想について口頭で説明出来るようにしておくこと。						
15	佐々木 俊道	【第 15 回】 予習：仏教と祖先崇拜について調べておくこと。 授業：仏教と祖先崇拜、課題レポート提出（課題解決型学習） 復習：日本の葬祭儀礼とその背景について口頭で説明出来るようにしておくこと。						
授業開始前学習	高校で使用した『日本史』の教科書・資料集・年表等で江戸時代までの日本史の流れを特に文化を中心に復習しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業にて生じた疑問点等をレポートに記入させる。それを適宜、クラスルームにて公開し個別の質問に回答しフィードバックする。							
テキスト・教材	『日本の文化』（駒沢女子大学講義ノートシリーズ）をテキストとして用い、その他、適宜、プリントを配付する。							
参考書	高校で使用した『日本史』教科書、資料集、年表。							
評価の基準と方法	3回の課題レポート（30%）と7回の確認テスト（70%）を行い、それぞれ10点満点とした合計点で順位を出しGPAに合わせて総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける		社会的責務を果たすこと のできる専門力と判断力を身 につける		文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケ ーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他	とにかく理解しやすいように、懇切丁寧に専門用語の解説をする。DVD等を用いて視覚的にも興味を持たせる。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目分類	100-120-11 (J)	授業コード	F00830
科目名称	観光地理(日本)	単位数	2.0 単位
英文名称	Tourism Geography (Japan)	授業区分	講義
科目責任者	本間 准	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	本間 准	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 10:40～12:10 金曜日 16:20～17:50 後期 水曜日 10:40～12:10 金曜日 16:20～17:50	研究室	10-720
授業概要	日本各地に存在する名所旧跡や観光施設などを知ることは観光を学ぶ基本となる。 まずは、何処にどのような観光地があるかを地図上で確認し、その観光地の魅力や歴史的背景も学ぶ。 旅行業務取扱管理者試験合格も意識して解説を進める。		
到達目標	①主な名所旧跡や観光施設が、どの都道府県・地域に所在し、魅力は何なのかを説明できる。 ②国内旅行業務取扱管理者試験科目 国内旅行実務の合格レベル（60パーセント）に達する力をつける。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	本間 准	[第 1 回] 予習 47 都道府県の位置関係をテキストで確認 授業 オリエンテーション・都道府県と日本の世界遺産 テキスト 2～19 頁 復習 日本の世界遺産を覚える	
2	本間 准	[第 2 回] 予習 北海道 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 北海道 テキスト 20 頁～40 頁 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える	
3	本間 准	[第 3 回] 予習 北東北 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 北東北（青森・秋田・岩手） テキスト 41 頁～51、54 頁 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える	
4	本間 准	[第 4 回] 予習 南東北 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 南東北（宮城・山形・新潟・福島） テキスト 52 項～53 項、55 頁～63 頁 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える	
5	本間 准	[第 5 回] 予習 北関東 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 北関東（茨城・栃木・群馬・埼玉） テキスト 64 項～77 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える	
6	本間 准	[第 6 回] 予習 南関東 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 南関東（東京・千葉・神奈川） テキスト 78 項～93 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える	
7	本間 准	[第 7 回] 予習 北陸 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 北陸（富山・石川・福井・長野） テキスト 104 項～121 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える	
8	本間 准	[第 8 回] 予習 中部 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 中部（山梨・静岡・愛知・岐阜） テキスト 122 項～133 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える	
9	本間 准	[第 9 回] 予習 北近畿・紀伊半島 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 北近畿（大阪・京都・兵庫・奈良・滋賀） テキスト 134 項～157 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える	
10	本間 准	[第 10 回] 予習 紀伊半島 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 紀伊半島（和歌山・三重） テキスト 158 項～164 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える	
11	本間 准	[第 11 回] 予習 中国 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 中国（鳥取・島根・岡山・広島・山口） テキスト 166 項～178 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える	

12	本間 准	[第 12 回] 予習 四国 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 四国 (徳島・香川・愛媛・高知) テキスト 166 項～178 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える							
13	本間 准	[第 13 回] 予習 北九州 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 北九州 (福岡・佐賀・長崎・大分・熊本) テキスト 166 項～178 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える							
14	本間 准	[第 14 回] 予習 南九州・沖縄 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 南九州・沖縄 (熊本・宮崎・鹿児島・沖縄) テキスト 166 項～178 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える							
15	本間 准	[第 15 回] 予習 各県の観光地の名称を覚える 授業 【最終テスト】 最終テスト回答の解説 復習 出題された観光地などの所在地をテキストで確認する							
授業開始前学習		TV の旅番組などを利用して観光地の知識を増やす。 旅行パンフレットも観光地を学ぶ有用なツールである。							
授業内課題のフィードバックの方法		授業内または翌週に解答・解説を行う。							
テキスト・教材		『旅地図 日本』(昭文社)							
参考書		『旅行業実務シリーズ 4 国内観光資源』(JTB 総合研究所) ※旅行業業務取扱管理者試験合格を目指す学生は購入を推奨する							
評価の基準と方法		小テスト 40%、最終テスト 50%、平常点 10%							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		◎	○						
関連科目		後期に開講する観光地理 (世界) の受講を推奨する。							
その他									
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容		旅行会社勤務により得た知見に基づいた講義を行う。							

科目分類	100-120-11 (J)	授業コード	F00840
科目名称	観光地理(世界)	単位数	2.0 単位
英文名称	Tourism Geography (World)	授業区分	講義
科目責任者	本間 准	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	本間 准	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 10:40～12:10 金曜日 16:20～17:50 後期 水曜日 10:40～12:10 金曜日 16:20～17:50	研究室	10-720
授業概要	観光学の学びにおいては、国々・地域の観光地における歴史・文化・習慣・魅力を知ることが基本となる。多様な世界を知ることが教養を高めることにつながる。 まずは、何処にどのような観光地があるかを地図上で確認し、その観光地の魅力や歴史的背景も学ぶ。 総合旅行業務取扱管理者国家試験（海外実務）合格も意識した解説を進める。		
到達目標	主な国々・地域の文化や魅力を観光の観点から説明できるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	本間 准	[第 1 回] 予習 外国人旅行者の多い国上位 10 国を調べ、多い理由を考える。 授業 主な国々の位置関係・国勢と最近の観光情勢、日本とのつながり 復習 授業で配付した資料を再度確認	
2	本間 准	[第 2 回] 予習 アジアの国々の名称と位置関係を地図帳で確認 授業 アジア地域の国々の観光資源 テキスト 82 頁～124 頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする	
3	本間 准	[第 3 回] 予習 地図帳で韓国の主な地名を確認 授業 韓国 86 頁～90 頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする	
4	本間 准	[第 4 回] 予習 地図帳で中国の主な地名を確認 授業 台湾、中国、香港、マカオ テキスト 92 頁～108 頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする	
5	本間 准	[第 5 回] 予習 地図帳で国の位置、観光地を確認 授業 ベトナム、ミャンマー、カンボジア、タイ テキスト 110 頁～117 頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする	
6	本間 准	[第 6 回] 予習 地図帳で国の位置、観光地を確認 授業 マレーシア、シンガポール、インドネシア、インド、ネパール テキスト 119 頁～133 頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする	
7	本間 准	[第 7 回] 予習 ヨーロッパ各国の位置関係を地図帳で確認する 授業 ヨーロッパ地域の国々の観光資源、イギリス、オランダ、ベルギー テキスト 66 頁～74 頁 36～37 項 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする	
8	本間 准	[第 8 回] 予習 主な観光都市と位置を確認する 授業 イタリア、スペイン、ポルトガル テキスト 44 頁～53 頁 38 頁～43 頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする	
9	本間 准	[第 9 回] 予習 主な観光都市と位置を確認する 授業 北欧、ロシア テキスト 76 頁～79 頁 62 頁～64 頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする	
10	本間 准	[第 10 回] 予習 主な観光都市と位置を確認する 授業 ギリシャ、トルコ、エジプト テキスト 54 頁～59 頁 142 頁～144 頁 152 頁～153 頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする	
11	本間 准	[第 11 回] 予習 主な観光都市と位置を確認する 授業 スイス、フランス テキスト 29 頁 14 頁～18 頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする	

12	本間 准	[第 12 回] 予習 主な観光都市と位置を確認する 授業 ドイツ、オーストリア、チェコ、テキスト 22 頁～28 頁 32 頁～33 頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする						
13	本間 准	[第 13 回] 予習 主な観光都市と位置を確認する 授業 オセアニア地域の国々 テキスト 192 頁～202 頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする						
14	本間 准	[第 14 回] 予習 主な観光都市と位置を確認する 授業 北アメリカ地域、ハワイ テキスト 156 頁～179 頁 203 頁～206 頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする						
15	本間 准	[第 15 回] 予習 各国の観光地を覚える 授業 【最終テスト】回答の解説 復習 出題された観光地を把握し、説明できるようにする						
授業開始前学習	海外旅行パンフレット・世界遺産・世界の出来事など、日常生活でこれらの情報対象の国名・都市名がどこにあるかを確認する習慣を始めましょう。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内課題のフィードバックの方法：授業内または翌週に解答・解説を行う。							
テキスト・教材	『旅地図 世界』（昭文社）							
参考書	『旅行実務シリーズ7 海外観光資源』（JTB 総合研究所）※総合旅行業務取扱管理者試験合格をめざす学生は購入を推奨する							
評価の基準と方法	小テスト40%、最終テスト50%、平常点（授業への貢献）10%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目	前期に開講する観光地理（日本）の受講を推奨する。							
その他	総合旅行業務取扱管理者試験合格をめざす学生は履修を推奨する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	旅行会社勤務の経験を活かし、現地の文化を紹介する講義を行う。							

科目分類	100-120-11	授業コード	F00851
科目名称	☆日本文学／日本の文学	単位数	2.0 単位
英文名称	Japanese Literature	授業区分	講義
科目責任者	松村 良	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	松村 良	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 14:40～16:10 木曜日 13:00～14:30 後期 火曜日 14:40～16:10 木曜日 13:00～14:30	研究室	10-617
授業概要	芥川龍之介の短編小説「鼻」「芋粥」と、太宰治の短編小説「魚服記」「道化の華」を読み、それぞれの作家についての基礎的な知識と、小説の読み方、作品へのアプローチの仕方について学ぶ。芥川と太宰の小説テキストの分析を通して、単なる感想に留まらない、文学研究の基礎と教養を身につけることを目的とする。この授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	文学研究の基礎である、作品の典拠との比較や、先行研究における問題点を把握できるようになる。登場人物の人間性や社会との関わり、小説の構成や語りについて、独自の論点を見つけ出せるようになる。さらに小説の読解を通して、自分の考えを論理的に説明できるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	松村 良	【第 1 回】 予習 : 芥川龍之介と太宰治について知っていることをまとめておく 授業 : 授業の進め方について・芥川龍之介と太宰治に関する質問 復習 : 授業の進め方を理解し、質問に答える	
2	松村 良	【第 2 回】 予習 : 芥川龍之介について調べておく 授業 : 芥川龍之介の生涯と作品について 復習 : 芥川龍之介について学んだことをまとめる	
3	松村 良	【第 3 回】 予習 : 「鼻」を読み、内容を把握する 授業 : 「鼻」を読む 1 (教科書 20～30 頁、小説の内容と構成・典拠について・課題 1 提出) (課題解決型学習) 復習 : 小説の内容と構成、典拠について学んだことをまとめ、課題 1 に取り組む	
4	松村 良	【第 4 回】 予習 : 前回の授業で学んだことを読み返す 授業 : 「鼻」を読む 2 (人物造型と語りの特徴) 復習 : 人物造型と語りの特徴について学んだことをまとめる	
5	松村 良	【第 5 回】 予習 : 前回の授業で学んだことを読み返す 授業 : 「鼻」を読む 3 (小説の結末部の問題・課題 1 解説) 復習 : 「鼻」についての自分の意見をまとめる	
6	松村 良	【第 6 回】 予習 : 「芋粥」を読み、内容を理解しておく 授業 : 「芋粥」を読む 1 (教科書 32～59 頁、小説の内容と構成・典拠について・課題 2 提出) (課題解決型学習) 復習 : 小説の内容と構成、典拠について学んだことをまとめ、課題 2 に取り組む	
7	松村 良	【第 7 回】 予習 : 前回の授業で学んだことを読み返す 授業 : 「芋粥」を読む 2 (人物造型と語りの特徴) 復習 : 人物造型と語りの特徴について学んだことをまとめる	
8	松村 良	【第 8 回】 予習 : 前回の授業で学んだことを読み返す 授業 : 「芋粥」を読む 3 (小説の結末部の問題・課題 2 解説) 復習 : 「芋粥」についての自分の意見をまとめる	
9	松村 良	【第 9 回】 予習 : 太宰治について調べておく 授業 : 太宰治の生涯と作品について 復習 : 太宰治について学んだことをまとめる	
10	松村 良	【第 10 回】 予習 : 「魚服記」を読み、内容を把握する 授業 : 「魚服記」を読む 1 (教科書 84～95 頁、小説の構成と語り・典拠について・課題 3 提出) (課題解決型学習) 復習 : 小説の構成と語り、典拠について学んだことをまとめ、課題 3 に取り組む	

11	松村 良	【第 11 回】 予習 : 一章・二章を読み返し、内容について考える 授業 : 「魚服記」を読む 2 (一章・二章の特徴と内容読解) 復習 : 一章・二章について学んだことをまとめる						
12	松村 良	【第 12 回】 予習 : 三章・四章を読み返し、内容について考える 授業 : 「魚服記」を読む 3 (三章・四章の特徴と内容読解・課題 3 解説) 復習 : 「魚服記」についての自分の意見をまとめる						
13	松村 良	【第 13 回】 予習 : 「道化の華」を読み、内容を把握する 授業 : 「道化の華」を読む 1 (教科書 1 3 5 ~ 2 0 6 頁、私小説的手法と語りの問題・課題 4 提出) (課題解決型学習) 復習 : 私小説的手法と語りの問題について学んだことをまとめ、課題 4 に取り組む						
14	松村 良	【第 14 回】 予習 : 前半部を読み直し、内容について考える 授業 : 「道化の華」を読む 2 (前半部の特徴と内容読解) 復習 : 前半部について学んだことをまとめる						
15	松村 良	【第 15 回】 予習 : 後半部を読み直し、内容について考える 授業 : 「道化の華」を読む 3 (後半部の特徴と内容読解・課題 4 解説) 復習 : 「道化の華」についての自分の意見をまとめる						
授業開始前学習	授業で扱う作品は事前に必ず読んでおくこと。文庫本に収録されている他の作品や、解説、年譜なども読んでおく授業の理解に役立つ。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業で取り上げる 4 つの作品については、それぞれ授業内課題を提出してもらう。それをもとに解説を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	芥川龍之介『羅生門・鼻』(新潮文庫)・太宰治『晩年』(新潮文庫)							
参考書	授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	授業内課題 (40%) と、学期末レポート (60%) で評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00870
科目名称	日本の政治	単位数	2.0 単位
英文名称	Japanese Politics	授業区分	講義
科目責任者	弥久保 宏	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	弥久保 宏	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 14:40～16:10 金曜日 13:00～14:30 後期 水曜日 14:40～16:10 金曜日 13:00～14:30	研究室	10-703
授業概要	日本の政治を戦後から今日まで、国会、政党、議員、官僚、政権交代にスポットライトを当て、その軌跡から日本政治の特徴を探ることが、この講義の目標です。私達の日常生活は、様々な局面で政治と密接に結びついています。ただ、そのことに気が付いているか、どうかの違いです。政治に対する無関心は、政治家や官僚任せの人生を送ることになります。未来に希望の持てる日本にする為に、今何をすべきかを受講生の皆さんと一緒に考えたいと思います。同時に、学生として知っておくべき時事問題力を養います。		
到達目標	現在の日本の政治を戦後政治史から俯瞰できるようにする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	弥久保 宏	【第 1 回】 予習 : シラバスを読んでおくこと 授業 : 日本政治の見方とガイダンス (講義の進め方、試験と単位評価、受講にあたっての諸注意など) 復習 : ガイダンスのポイントメモを作成	
2	弥久保 宏	【第 2 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおく 授業 : 戦前の政治と戦争① 復習 : 講義のポイントメモを作成	
3	弥久保 宏	【第 3 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおく 授業 : 戦前の政治と戦争② 復習 : 講義のポイントメモを作成	
4	弥久保 宏	【第 4 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおく 授業 : 占領と民主化① 復習 : 講義のポイントメモを作成	
5	弥久保 宏	【第 5 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおく 授業 : 占領と民主化② 復習 : 講義のポイントメモを作成	
6	弥久保 宏	【第 6 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおく 授業 : 敗戦後の再出発① 復習 : 講義のポイントメモを作成	
7	弥久保 宏	【第 7 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおく 授業 : 敗戦後の再出発② 復習 : 講義のポイントメモを作成	
8	弥久保 宏	【第 8 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおく 授業 : 戦後政治モデルの形成 - 「5 5 年体制」と 6 0 年安保① 復習 : 講義のポイントメモを作成	
9	弥久保 宏	【第 9 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおく 授業 : 戦後政治モデルの形成 - 「5 5 年体制」と 6 0 年安保② 復習 : 講義のポイントメモを作成	
10	弥久保 宏	【第 10 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおく 授業 : 高度成長の時代 - 5 0 年代後半から 7 0 年代後半① 復習 : 講義のポイントメモを作成	
11	弥久保 宏	【第 11 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおく 授業 : 高度成長の時代 - 5 0 年代後半から 7 0 年代後半②	

		復習：講義のポイントメモを作成						
12	弥久保 宏	【第12回】 予習：テキストの該当部分を読んでおく 授業：戦後保守政治の再編① 復習：講義のポイントメモを作成						
13	弥久保 宏	【第13回】 予習：テキストの該当部分を読んでおく 授業：戦後保守政治の再編② 復習：講義のポイントメモを作成						
14	弥久保 宏	【第14回】 予習：テキストの該当部分を読んでおく 授業：混迷の時代から新しい政治へー90年代後半から現在 復習：講義のポイントメモを作成						
15	弥久保 宏	【第15回】 予習：これまでの講義ポイントメモに目を通しておく 授業：前期の総括 復習：これまでの講義メモをまとめる						
授業開始前学習	新聞などのニュースメディアに日常的に接し、時事問題に対するアンテナを磨いておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	予習学習の成果を授業で確認する。							
テキスト・教材	五十嵐仁 『18歳から考える日本の政治（第3版）』（法律文化社）							
参考書	随時紹介する。							
評価の基準と方法	単位の評価は、受講意欲（授業中の質疑など）4割。定期試験6割。6回以上の欠席や出席で不正行為を行った場合は、単位取得は認めない。遅刻は3回で1回の欠席扱いにする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	「世界の政治」、「政治と市民参加」							
その他	<p><重要事項></p> <p>履修登録は、ガイダンスの出席を義務づける。事情によりガイダンスを受けなかった場合は、研究室を訪ねて、ガイダンスの内容を了解した上で履修登録を行うこと。講義の録音は認めない。勝手に録音した場合は、機材を没収する。講義中のスマホや携帯電話の使用は厳禁。見つけ次第、没収し退室を命じる。また授業中に講義と関係のない他の作業を行った者も退室を命じる。履修登録にあたって、これらの事項を了解したうえで登録すること。</p>							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00880
科目名称	世界の政治	単位数	2.0 単位
英文名称	World Politics	授業区分	講義
科目責任者	弥久保 宏	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	弥久保 宏	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 14:40～16:10 金曜日 13:00～14:30 後期 水曜日 14:40～16:10 金曜日 13:00～14:30	研究室	10-703
授業概要	国際社会における諸問題や日本のポジションを探るのがこの講義の目標です。国際社会で日本は"異質な国家"とみなされるケースが多々ありますが、なぜ日本は"異質"に思われるのか？日本が"異質"と思われる構造を国際政治における日本政治の特徴や日本国憲法の特徴から検証します。また、日本を取り巻く国際社会のアップデートな問題も取り上げるのでシラバスの内容と変わる場合がある。		
到達目標	国内外で起こる様々なニュースの基本的な知識を身につけ、事件の本質を見抜く力をつける。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	弥久保 宏	【第 1 回】 予習 : シラバスを読んでおく、特に【その他】の重要事項を熟読のこと。 授業 : 世界の政治の学習方法とガイダンス (講義の進め方、試験や単位について、その他注意事項) 復習 : 学習方法やガイダンスの諸注意の理解	
2	弥久保 宏	【第 2 回】 予習 : 日本国憲法の前文と第 9 条に目を通しておくこと 授業 : 世界の政治と日本国憲法の特異性 復習 : 講義のポイントメモの作成	
3	弥久保 宏	【第 3 回】 予習 : 日米安保条約を読んでおくこと。 授業 : 日本の安全保障①日米安全保障条約 復習 : 講義のポイントメモの作成	
4	弥久保 宏	【第 4 回】 予習 : 日米安保条約を読んでおくこと 授業 : 日本の安全保障②安保関連法制 復習 : 講義のポイントメモの作成	
5	弥久保 宏	【第 5 回】 予習 : テキストの該当部分 P.38 を読んでおくこと 授業 : 日韓関係 復習 : 講義のポイントメモの作成	
6	弥久保 宏	【第 6 回】 予習 : テキストの該当部分 p.40 を読んでおくこと 授業 : 日本の領土問題①北方領土問題 復習 : 講義のポイントメモの作成	
7	弥久保 宏	【第 7 回】 予習 : 配布資料を読んでおくこと 授業 : 日本の領土問題②竹島問題 復習 : 講義のポイントメモの作成	
8	弥久保 宏	【第 8 回】 予習 : 配布資料を読んでおくこと 授業 : 日本の領土問題③尖閣諸島問題 復習 : 講義のポイントメモの作成	
9	弥久保 宏	【第 9 回】 予習 : テキストの該当部分 p.22 を読んでおくこと 授業 : パレスチナ問題 復習 : 講義のポイントメモの作成	
10	弥久保 宏	【第 10 回】 予習 : 配布資料を読んでおくこと 授業 : アメリカ大統領選挙① 復習 : 講義のポイントメモの作成	
11	弥久保 宏	【第 11 回】 予習 : 配布資料を読んでおくこと 授業 : アメリカ大統領選挙② 復習 : 講義のポイントメモの作成	

12	弥久保 宏	【第 12 回】 予習 : 拉致問題を調べておくこと 授業 : 北朝鮮による拉致問題 復習 : 講義のポイントメモの作成						
13	弥久保 宏	【第 13 回】 予習 : テキストの該当部分 p.10 を読んでおくこと 授業 : 男女格差 (国際比較) 復習 : 講義のポイントメモの作成						
14	弥久保 宏	【第 14 回】 予習 : テキストの該当部分 p.30 を読んでおくこと 授業 : ロシアのウクライナ侵攻 復習 : 講義のポイントメモの作成						
15	弥久保 宏	【第 15 回】 予習 : これまでの講義のポイントメモをまとめる 授業 : 世界の政治での学習を深める方法 復習 : 定期試験に向けての準備						
授業開始前学習	新聞などのニュースメディアに日常的に接し、時事問題に対するアンテナを磨いておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	予習学習の成果を授業で確認する。							
テキスト・教材	時事問題リサーチ編著『2023-2024年版日本と世界の時事キーワード』ナツメ社、1200円							
参考書	随時紹介する。							
評価の基準と方法	単位の評価は、受講意欲(授業中の質疑など)4割。定期試験6割。6回以上の欠席や出席で不正行為を行った場合は、単位取得は認めない。遅刻は3回で1回の欠席扱いにする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	「日本の政治」、「政治と市民参加」							
その他	<p><重要事項></p> <p>履修登録は、ガイダンスの出席を義務づける。事情によりガイダンスを受けなかった場合は、研究室を訪ねて、ガイダンスの内容を了解した上で履修登録を行うこと。講義の録音は認めない。勝手に録音した場合は、機材を没収する。講義中のスマホや携帯電話の使用は厳禁。見つけ次第、没収し退室を命じる。また授業中に講義と関係のない他の作業を行った者も退室を命じる。履修登録にあたって、これらの事項を了解したうえで登録すること。</p>							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00890
科目名称	政治と市民参加	単位数	2.0 単位
英文名称	Politics and Citizenship	授業区分	講義
科目責任者	東 裕	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	東 裕	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	政治と市民参加について、日本の戦後政治と今日の日本政治を素材にして、憲法的な視点から考えてみたい。戦後政治の中で、国民が「市民」としてどのように関わった来たか、またグローバル化が進む国際社会の中で日本の政治はどこに向かおうとしているのか。それに対して、国民は「市民」としてどう考え、政治に向き合っていくべきか。そのような問題意識を持って、憲法的視点から戦後政治と今日の日本政治を考察し、各人が自立し自律性を備えた「市民」として、日々生起する政治上の諸問題について分析し、判断し、自分自身の意見が形成できる力を身につけることを目的とする。		
到達目標	大学生として恥ずかしくない政治に関する知識と教養を身につけ、日々生起する政治上の諸問題について、分析し、判断し、自分自身の意見が形成できる力を身につけることを目的とする。併せて、責任ある主権者としての自覚をもち、国政選挙や地方選挙において、自らの判断で政党や候補者を選択し、積極的に投票する「市民」となることを目的とする。		
アクティブ・ラーニング型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	東 裕	【第 1 回】 予習 : シラバスを読んでおくこと。 授業 : 憲法と「市民」の誕生—近代市民革命から現代へ 復習 : 講義のポイントメモの作成	
2	東 裕	【第 2 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおくこと 授業 : 憲法は何のためにあるのか? —憲法・政治・国民 復習 : 講義のポイントメモの作成	
3	東 裕	【第 3 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおくこと 授業 : 憲法が前提とする個人とは? —国民・市民・個人 復習 : 講義のポイントメモの作成	
4	東 裕	【第 4 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおくこと 授業 : 憲法と市民参加の制度 (1) —参政権 復習 : 講義のポイントメモの作成	
5	東 裕	【第 5 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおくこと 授業 : 憲法と市民参加の制度 (2) —国務請求権 復習 : 講義のポイントメモの作成	
6	東 裕	【第 6 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおくこと 授業 : 憲法と市民参加の制度 (3) —裁判員制度・検察審査会 復習 : 講義のポイントメモの作成	
7	東 裕	【第 7 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおくこと 授業 : 憲法と市民参加の制度 (4) —直請求権・住民投票制度 復習 : 講義のポイントメモの作成	
8	東 裕	【第 8 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおくこと 授業 : 憲法と市民参加の制度 (5) —憲法改正国民投票制 復習 : 講義のポイントメモの作成	
9	東 裕	【第 9 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおくこと 授業 : 戦後日本の憲法と政治と市民 (1) —敗戦・占領・独立 復習 : 講義のポイントメモの作成	
10	東 裕	【第 10 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおくこと 授業 : 戦後日本の憲法と政治と市民 (2) —独立・日米安保改定・高度経済成長 復習 : 講義のポイントメモの作成	
11	東 裕	【第 11 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおくこと 授業 : 戦後日本の憲法と政治と市民 (3) —高度経済成長・オイルショック・バブル経済	

		復習：講義のポイントメモの作成						
12	東 裕	【第12回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：戦後日本の憲法と政治と市民（4）―バブル崩壊・政治改革・「失われた30年」 復習：講義のポイントメモの作成						
13	東 裕	【第13回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：令和日本の政治課題（1）―国と人の安全保障 復習：講義のポイントメモの作成						
14	東 裕	【第14回】 予習：配布プリントの内容を調べておく 授業：令和日本の政治課題（2）―憲法改正問題 復習：講義のポイントメモの作成						
15	東 裕	【第15回】 予習：これまでの講義のポイントをまとめる 授業：これまでの授業の総括 復習：後期のポイントメモを作成						
授業開始前学習	今、政治の世界で論議されている事柄、そしてそのことがなぜ問題になり、問題の核心は何なのかと考えながら、日頃のニュースや事件に関心をもち、一定の情報を得ておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	予習で身につけた知識を授業内の質疑応答を通じて確認し、不十分なところや誤ったところを明らかにし、正確な知識と問題意識をもてるようにしていく。							
テキスト・教材	東 裕編著『憲法入門講義』（一藝社・2021年）定価2,700円							
参考書	随時、授業の中で紹介する。							
評価の基準と方法	単位の評価は、受講意欲（授業中の質疑など）2割。定期試験8割。6回以上の欠席や出席で不正行為を行った場合は、単位取得は認めない。遅刻は3回で1回の欠席扱いとする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	「日本の政治」							
その他	<p><重要事項></p> <p>履修登録は、ガイダンスの出席を義務づける。事情によりガイダンスを受けなかった場合は、担当者に連絡し、ガイダンスの内容を了解した上で履修登録を行うこと。講義中のスマートホン等の無断使用は禁止する。また授業中に私語や講義と関係のない他の授業の予習等を行った者には退出を命じることがある。履修登録にあたって、これらの事項を了解したうえで登録すること。</p>							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00900
科目名称	日本の経済	単位数	2.0 単位
英文名称	Japanese Economy	授業区分	講義
科目責任者	羽田 翔	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	羽田 翔	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	日本経済の現状について、財政・金融面、産業まで幅広く、そして歴史、制度、経済理論、データによって多角的に捉え、日本経済が抱える課題について学修する。主に、最近特に注目されている格差問題や少子高齢化、環境問題と経済・産業との関係について取り上げる。		
到達目標	日本経済の現状について幅広く、そして歴史、制度、経済理論、データによって多角的に理解する能力を修得する。そして、現代の日本経済が抱える課題を認識することができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	羽田 翔	【第 1 回】 予習：シラバスに目を通しておきましょう。新聞、ニュースなどで経済の問題に触れるようにしてください。 授業：履修上の注意点。なぜ日本の経済について学ぶのか。 復習：シラバスを読み直し、履修に向けて必要なことを確認しましょう。	
2	羽田 翔	【第 2 回】 予習：新聞、ニュースなどで経済の問題に触れるようにしてください。 授業：経済のルールを身に付けましょう。 ・稀少性、トレード・オフ、機会費用、限界、インセンティブ、取引、神の見えざる手、政府の介入、インフレーション、失業 復習：経済のルールを再確認してください。	
3	羽田 翔	【第 3 回】 予習：需要とは何かを調べておきましょう。 授業：世の中の財やサービスの価格と取引量の決め方を学びましょう。（1） ・経済の三主体の関係。 ・需要曲線とシフト要因。 復習：価格と取引量の決め方を見直しておいてください。	
4	羽田 翔	【第 4 回】 予習：供給とは何かを調べておきましょう。 授業：世の中の財やサービスの価格と取引量の決め方を学びましょう。（2） ・供給曲線の導出とシフト要因。 復習：価格と取引量の決め方を見直しておいてください。	
5	羽田 翔	【第 5 回】 予習：政府の介入の市場への影響を調べておきましょう。 授業：世の中の財やサービスの価格と取引量の決め方を学びましょう。（3） ・均衡価格、均衡取引量、政府の介入（租税）と死荷重。 復習：租税の影響を整理しておいてください。	
6	羽田 翔	【第 6 回】 予習：GDP とは何か調べておきましょう。 授業：国同士の経済を比較する基準を知りましょう。 ・GDP、構成要素、名目 GDP、実質 GDP 復習：GDP を構成する要素を整理しておきましょう。	
7	羽田 翔	【第 7 回】 予習：経済成長とは何か調べておきましょう。 授業：景気が「良い」、「悪い」と判断される理由を知りましょう。 ・経済成長率、名目経済成長率、実質経済成長率 復習：経済成長率を求められるようにしておきましょう。	
8	羽田 翔	【第 8 回】 予習：貨幣とは何か調べておきましょう。 授業：景気を良くする方法を考えてみましょう。（1） ・貨幣の機能。金融政策。 復習：金融政策を整理しておきましょう。	
9	羽田 翔	【第 9 回】 予習：公債とは何か調べておきましょう。 授業：景気を良くする方法を考えてみましょう。（2） ・財政の仕組み、財政政策 ・公債発行の問題 復習：財政健全化の方法を考えてみましょう。	

10	羽田 翔	【第 10 回】 予習：租税とは何か調べておきましょう。 授業：日本が抱える問題について知りましょう。（1） ・租税の仕組み。 ・所得税の計算方法。 復習：所得税の計算方法を復習しておきましょう。						
11	羽田 翔	【第 11 回】 予習：賦課方式と積立方式とは何か調べておきましょう。 授業：日本が抱える問題について知りましょう。（2） ・少子高齢化，年金の仕組み，世代会計 復習：年金は持続可能か考えてみましょう。						
12	羽田 翔	【第 12 回】 予習：自分の住む地域の人口推移を調べておきましょう。 授業：日本が抱える問題について知りましょう。（3） ・地域間格差，地方分権，補助金政策 復習：地域活性化の方法を考えてみましょう。						
13	羽田 翔	【第 13 回】 予習：日本の CO2 排出目標について調べておきましょう。 授業：日本が抱える問題について知りましょう。（4） ・CO2 排出目標，ESG 投資，原子力発電 復習：環境問題と経済の両立を考えてみましょう。						
14	羽田 翔	【第 14 回】 予習：第 1 回～第 13 回の内容を復習しておきましょう。 授業：授業のまとめと復習 ・テストの練習，説明 復習：注意事項を確認し，テストの準備をしましょう。						
15	羽田 翔	【第 15 回】 予習：第 1 回～第 14 回の内容を再確認・復習しておきましょう。 授業：授業内試験 復習：Classroom に掲示された解答例をもとに復習しておきましょう。						
授業開始前学習	最近注目される社会現象や経済問題を多く取り上げます。そのため、日常より新聞やニュースに触れ、興味関心を持つよう心がけてください。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で小テストなど課題を課した場合は、次回授業以降に解答例を Classroom に掲示します。							
テキスト・教材	特に教科書は指定しませんが、初歩的な経済学の入門書の中から気に入ったものを購入することをおすすめします。							
参考書	講義内で適宜紹介します。							
評価の基準と方法	講義内課題：40% 期末試験：60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	後期開講の「世界の経済」と合わせて受講することで、日本と世界における経済に関する諸問題について、理解がより深まります。そのため、「日本の経済」を受講後に「世界の経済」を受講することをおすすめします。どちらかを単独で受講しても問題ありません。							
その他	経済や経済学についての専門知識は必要ありませんが、各回の内容には継続性があるため、毎回の講義へ参加することが重要になります。また、受講生の人数などによっては講義内容を変更する可能性があります。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00910
科目名称	世界の経済	単位数	2.0 単位
英文名称	World Economy	授業区分	講義
科目責任者	羽田 翔	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	羽田 翔	開講時期	1 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	世界経済の現状について、経済学の基礎的手法や統計データなどを用いることにより学修する。最終的に、貿易政策や他国との関係、時事問題を理解する力を養う。		
到達目標	世界経済の現状について幅広く、歴史、制度、経済理論、データによって多角的に理解する能力を修得する。そして、現代の世界経済が抱える課題を認識することができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	羽田 翔	<p>【第 1 回】</p> <p>予習：シラバスに目を通しておきましょう。新聞、ニュースなどで経済の問題に触れるようにしてください。</p> <p>授業：履修上の注意点。なぜ世界の経済について学ぶのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稀少性、トレード・オフ、機会費用、限界、インセンティブ、取引、神の見えざる手、政府の介入、インフレーション、失業 <p>復習：シラバスを読み直し、履修に向けて必要なことを確認しましょう。</p>	
2	羽田 翔	<p>【第 2 回】</p> <p>予習：需要と供給とは何かを調べておきましょう。</p> <p>授業：世の中の財やサービスの価格と取引量の決め方を学びましょう。（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済の三主体の関係 ・需要曲線とシフト要因 ・供給曲線の導出とシフト要因 <p>復習：価格と取引量の決め方を見直しておいてください。</p>	
3	羽田 翔	<p>【第 3 回】</p> <p>予習：政府の介入の市場への影響を調べておきましょう。</p> <p>授業：世の中の財やサービスの価格と取引量の決め方を学びましょう。（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・均衡価格、均衡取引量、政府の介入（租税）と死荷重 <p>復習：租税の影響を整理しておいてください。</p>	
4	羽田 翔	<p>【第 4 回】</p> <p>予習：GDP とは何か調べておきましょう。</p> <p>授業：国同士の経済を比較する基準を知りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GDP、構成要素、名目 GDP、実質 GDP、経済成長率、名目経済成長率、実質経済成長率 <p>復習：GDP を構成する要素を整理しておきましょう。</p>	
5	羽田 翔	<p>【第 5 回】</p> <p>予習：比較優位とは何か調べておきましょう。</p> <p>授業：貿易の利益について知りましょう。（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較優位、貿易の利益 <p>復習：貿易の利益を整理しておきましょう。</p>	
6	羽田 翔	<p>【第 6 回】</p> <p>予習：どのような企業が輸出しているか調べておきましょう。</p> <p>授業：貿易の利益について知りましょう。（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出企業の特徴 <p>復習：輸出企業の特徴を整理しておきましょう。</p>	
7	羽田 翔	<p>【第 7 回】</p> <p>予習：TPP と RCEP について調べておきましょう。</p> <p>授業：アジア地域の貿易について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済統合、ASEAN、TPP、RCEP、中国、生産ネットワーク <p>復習：アジア地域の貿易協定について整理しておきましょう</p>	
8	羽田 翔	<p>【第 8 回】</p> <p>予習：日本と EU 諸国の主要な貿易取引について調べておきましょう。</p> <p>授業：ヨーロッパ・北米諸国との貿易について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EU、EPA、USMCA <p>復習：日本と EU の EPA について整理しておきましょう</p>	
9	羽田 翔	<p>【第 9 回】</p> <p>予習：外国為替レートについて調べておきましょう。</p> <p>授業：通貨と国際資金循環について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際通貨、外国為替レート、国際資金循環、通貨危機 	

		復習：国際資金循環について整理しておきましょう						
10	羽田 翔	【第 10 回】 予習：世界金融危機について調べておきましょう。 授業：世界経済が抱える問題について知りましょう。（1） ・サブプライムローン問題，リーマンショック，世界金融危機 復習：リーマンショック発生の理由について整理しておきましょう。						
11	羽田 翔	【第 11 回】 予習：SDGs について調べておきましょう。 授業：世界経済が抱える問題について知りましょう。（2） ・発展途上国，貧困，経済開発，SDGs 復習：発展途上国への支援の方法を考えてみましょう。						
12	羽田 翔	【第 12 回】 予習：デジタル課税について調べておきましょう。 授業：世界経済が抱える問題について知りましょう。（3） ・デジタル課税，海外進出，海外直接投資，法人税 復習：企業の海外進出について整理しておきましょう。						
13	羽田 翔	【第 13 回】 予習：世界における COVID-19 の状況について調べておきましょう。 授業：世界経済が抱える問題について知りましょう。（4） ・COVID-19，ヒト・モノの移動，ワクチン 復習：自由貿易の利益についてもう一度考えてみましょう。						
14	羽田 翔	【第 14 回】 予習：第 1 回～第 13 回の内容を復習しておきましょう。 授業：授業のまとめと復習 ・テストの練習，説明 復習：注意事項を確認し，テストの準備をしましょう。						
15	羽田 翔	【第 15 回】 予習：第 1 回～第 14 回の内容を再確認・復習しておきましょう。 授業：授業内試験 復習：Classroom に掲示された解答例をもとに復習しておきましょう。						
授業開始前学習	最近注目される社会現象や経済問題を多く取り上げます。そのため、日常より新聞やニュースに触れ、興味関心を持つよう心がけてください。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で小テストなど課題を課した場合は、次回授業以降に解答例を Classroom に掲示します。							
テキスト・教材	特に教科書は指定しませんが、初歩的な国際経済学の入門書の中から気に入ったものを購入することをおすすめします。							
参考書	必要に応じて講義内で適宜紹介します。							
評価の基準と方法	講義内課題：40% 期末試験：60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	前期開講の「日本の経済」と合わせて受講することで、日本と世界における経済に関する諸問題について、理解がより深まります。そのため、「日本の経済」を受講後に「世界の経済」を受講することをおすすめします。どちらかを単独で受講しても問題ありません。							
その他	経済や経済学についての専門知識は必要ありませんが、各回の内容には継続性があるため、毎回の講義へ参加することが重要になります。また、受講生の人数などによっては講義内容を変更する可能性があります。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11 (J)	授業コード	F00920
科目名称	新聞と報道	単位数	2.0 単位
英文名称	Newspaper and Media	授業区分	講義
科目責任者	佐々木 竜介	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐々木 竜介	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	新聞を題材に、ニュース報道の読み方、報道の背景、意義を理解する。記事を「読む」、報道の背景を「考える」、考察を「書く」ことを通じて、メディアリテラシーの第一歩とする。		
到達目標	記事ジャンルごとの文脈を理解することで新聞のリテラシー能力を身につけるとともに、新聞報道の意義と社会における役割を再確認、他のメディアのリテラシー能力の礎とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	佐々木 竜介	【第 1 回】 予習：新聞やインターネットにてニュースに接すること 授業：新聞とインターネットの特性の違いについて 復習：講義ノート P1-5 の読み返し、「新聞とインターネット」に関する課題を再考する	
2	佐々木 竜介	【第 2 回】 予習：講義ノート P6-10 および配布資料の閲読、新聞の歴史について考察する 授業：新聞の歴史 復習：講義ノート P6-10 の読み返し、「新聞の歴史」に関する課題を再考する	
3	佐々木 竜介	【第 3 回】 予習：講義ノート P11-13 および配布資料の閲読、新聞とはについて考察する 授業：新聞とは 復習：講義ノート P11-13 の読み返し、「ジャーナリズム」に関する課題を再考する	
4	佐々木 竜介	【第 4 回】 予習：講義ノート P14-18 および配布資料の閲読、新聞の事件・事故報道について考察する 授業：新聞の事件・事故報道 復習：講義ノート P14-18 の読み返し、「事件・事故と新聞」に関する課題を再考する	
5	佐々木 竜介	【第 5 回】 予習：講義ノート P19-24 および配布資料の閲読、配布資料にある記事について考察する 授業：新聞の社会問題報道 復習：講義ノート P19-24 の読み返し、「新聞の議題設定機能」に関する課題を再考する	
6	佐々木 竜介	【第 6 回】 予習：講義ノート P25-29 および配布資料の閲読、配布資料の記事について考察する 授業：新聞の政治報道 復習：講義ノート P25-29 の読み返し、「新聞と政治」に関する課題を再考する	
7	佐々木 竜介	【第 7 回】 予習：講義ノート P30-35 および配布資料の閲読、配布資料の記事について考察する 授業：新聞の生活報道 復習：講義ノート P30-35 の読み返し、「生活報道のジャーナリズム」に関する課題を再考する	
8	佐々木 竜介	【第 8 回】 予習：講義ノート P36-37 および配布資料の閲読、新聞の経済報道について考察する 授業：新聞の経済報道 復習：講義ノート P36-37 の読み返し、「経済記事」に関する課題を再考する	
9	佐々木 竜介	【第 9 回】 予習：講義ノート P38-43 および配布資料の閲読、新聞の国際報道について考察する 授業：新聞の国際報道 復習：講義ノート P38-43 の読み返し、「国際報道の意義」に関する課題を再考する	
10	佐々木 竜介	【第 10 回】 予習：講義ノート P44-52 および配布資料の閲読、新聞、テレビ、インターネットのスポーツ報道の違いについて考察する 授業：新聞のスポーツ報道 復習：講義ノート P44-52 の読み返し、「新聞のスポーツ報道」に関する課題を再考する	
11	佐々木 竜介	【第 11 回】 予習：講義ノート P53-56 および配布資料の閲読、新聞の書評の意義について考察する 授業：新聞の文化報道 復習：講義ノート P53-56 の読み返し、「文化報道の意義」に関する課題を再考する	

12	佐々木 竜介	【第12回】 予習：講義ノートP57-64 および配布資料の閲読、新聞の科学報道について考察する 授業：新聞の科学報道 復習：講義ノートP57-64 の読み返し、「科学報道の難しさ」に関する課題を再考する						
13	佐々木 竜介	【第13回】 予習：講義ノートP65-70 および配布資料の閲読、配布資料の記事について考察する 授業：新聞報道の問題点 復習：講義ノートP65-70 の読み返し、「記事に関する外部のチェック機関の意義」に関する課題を再考する						
14	佐々木 竜介	【第14回】 予習：講義ノートP71-79 および配布資料の閲読、新聞の取材活動について考察する 授業：新聞の取材活動 復習：講義ノートP71-79 の読み返し、「新聞記者と取材」に関する課題を再考する						
15	佐々木 竜介	【第15回】 予習：講義ノートP80-81 の閲読、メディア・リテラシーと新聞について考察する 授業：1年間の新聞報道を振り返る 復習：課題（講義の最後に提示）の考察						
授業開始前学習	どのメディアに限らず、日常生活において主体的にニュースに接していると、講義の内容が理解しやすくなる。新聞に普段接していない人でも、興味を持つきっかけとして受講してほしい。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎回講義の冒頭と途中に記述式の課題を出題。 Classroomを通じて評価を戻すとともに、次回講義時に、解答をいくつか選び紹介、講評する。							
テキスト・教材	講義ノートを使用（初回講義時に配布） また毎回は新聞記事配布し、そちらも講義に使用する。新聞記事は Google Classroom にもアップするので、講義に出られなかった人はダウンロードしておくこと。							
参考書	講義ノートの最終ページに記載							
評価の基準と方法	講義参加の積極性 40%、課題（毎回講義中に出题） 40%、レポート（期末に提出）20%で評価 単位取得には講義の2/3以上の出席と指定数以上のレポートの提出が必要							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	「メディアと報道」は、新聞単体から5マスメディアに拡げたメディアリテラシー講義の応用編であり、次年度以降に合わせて受講してほしい。							
その他	初回の講義にて評価や出席など、受講の注意事項を説明する。見逃した場合は、終了後に録画をアップさせるので、そちらを視聴のこと。 伝達事項はポータルサイト内のクラスプロフィールに掲出するとともに、資料は Google Classroom に本講義のクラスを作るので、そこで配布する。Classroom ではミニ課題の受け付けなどを行う他、個別質問も受け付け、回答もここで行う。 また、内容は変更されることがある。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	現在新聞社に勤務しており、豊富な事例を生かして講義を行う。							

科目分類	100-120-11	授業コード	F00940
科目名称	法学	単位数	2.0 単位
英文名称	Law	授業区分	講義
科目責任者	福王 守	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	福王 守	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00～14:30 木曜日 10:30～12:00 後期 月曜日 13:00～14:30 木曜日 10:30～12:00	研究室	10-614
授業概要	私たちの生活は、法によって規律されています。法は社会をよりよく営んでいくための手段です。その一方で、時にこれは私たちの生活を厳しく制限します。ゆえに、「秩序」と「正義」という相矛盾しがちな 2 つの目的について、いかに妥協点を模索するかが法の責務であるといわれます。前期の授業では、近代以降の市民社会のあゆみを踏まえて、「法とは何か」ということをいねいに伝えたいと思います。できるだけ、身近な裁判例なども紹介します。新聞やテレビの社会問題などについて、結論を急がずに考えるためのきっかけとなれば幸いです。		
到達目標	市民社会における客観的な判断基準としての「法」の役割を踏まえて、異なる意見を踏まえつつ筋道を立てて未解決の社会問題を考える力を身につけることを目標とします。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	福王 守	<p>※ 毎回の授業後には、「問題解決型学習」の手段として課題レポートを作成してもらい、次回授業時にこれに対する解説と質問への回答を行います。</p> <p>【第 1 回】 予習 : 本科目シラバスおよびテキスト iii - x 頁の講読 授業 : 法学とは : この授業の目的・内容・学習方法について【テキスト iii - X 頁】 復習 : テキスト iii - X 頁の再読、【第 1 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
2	福王 守	<p>【第 2 回】 予習 : テキスト 7 -21 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 市民社会と法 : 法の特性と日本の法体系【テキスト 7 -21 頁】 復習 : テキスト 7 -21 頁の再読、【第 2 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
3	福王 守	<p>【第 3 回】 予習 : テキスト 210-219 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 市民社会と法 : 近代市民社会の特徴と法的要請【テキスト 210-219 頁】 復習 : テキスト 210-219 頁の再読、【第 3 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
4	福王 守	<p>【第 4 回】 予習 : テキスト 21-32 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 市民社会と法 : 法目的としての「秩序と正義」【テキスト 21-32 頁】 復習 : テキスト 21-32 頁の再読、【第 4 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
5	福王 守	<p>【第 5 回】 予習 : テキスト 49-59 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 法のあり方 : 実定法の意義と問題点【テキスト 49-59 頁】 復習 : テキスト 49-59 頁の再読、【第 5 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
6	福王 守	<p>【第 6 回】 予習 : テキスト 59、130-132 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 法のあり方 : 判例法と裁判【テキスト 59、130-132 頁】 復習 : テキスト 59、130-132 頁の再読、【第 6 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
7	福王 守	<p>【第 7 回】 予習 : テキスト 64-65 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 法のあり方 : 条理と裁判【テキスト 64-65 頁】 復習 : テキスト 64-65 頁の再読、【第 7 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
8	福王 守	<p>【第 8 回】 予習 : テキスト 66-69 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 法の適用 : 事実認定【テキスト 66-69 頁】 復習 : テキスト 66-69 頁の再読、【第 8 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
9	福王 守	<p>【第 9 回】 予習 : テキスト 69-75 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 法の適用 : 法解釈における学説の対立【テキスト 69-75 頁】 復習 : テキスト 69-75 頁の再読、【第 9 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
10	福王 守	<p>【第 10 回】 予習 : 第 2 回-9 回までのテキスト全学習頁の講読およびキーワードの確認 授業 : これまでの授業の総括と発展学習の手引 : 授業全体の体系的整理と論証に向けて【テキスト全学習頁】 復習 : テキスト全学習頁の再読、【第 10 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	

11	福王 守	【第 11 回】 予習 : テキスト 83-85 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 法の体系 : 公法と私法の区分 【テキスト 83-85 頁】 復習 : テキスト 83-85 頁の再読、【第 11 回】授業ノートおよび配布プリントの整理						
12	福王 守	【第 12 回】 予習 : テキスト 85-88、219-221 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 法の体系 : 公法と私法の特徴と融合 【テキスト 85-88、219-221 頁】 復習 : テキスト 85-88、219-221 頁の再読、【第 12 回】授業ノートおよび配布プリントの整理						
13	福王 守	【第 13 回】 予習 : テキスト 157-179 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 法の体系 : 社会法の特徴と種類 【テキスト 157-179 頁】 復習 : テキスト 157-179 頁の再読、【第 13 回】授業ノートおよび配布プリントの整理						
14	福王 守	【第 14 回】 予習 : テキスト 7 157-179 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 法の体系 : 社会法をめぐる今日の問題 【テキスト 157-179 頁】 復習 : テキスト 157-179 頁の再読、【第 14 回】授業ノートおよび配布プリントの整理						
15	福王 守	【第 15 回】 予習 : テキスト iii - X 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 「法学」の総括と発展学習の手引き : 授業全体の体系的整理と論証に向けて (問題解決型学習) 【テキスト 全学習頁】 復習 : テキスト全学習頁の再読、【第 15 回】授業ノートおよび配布プリントの整理						
授業開始前学習	テレビや新聞の社会面・政治面の報道に、少しでも多く接する機会をもって下さい。必ずどこかで授業理解の助けになります。							
授業内課題のフィードバックの方法	適宜次回の授業冒頭において課題レポートに対する講評と質問への回答を述べます。また第 10 回および 15 回目において、レポート課題全般に関する講評と個々の問題解決に向けた助言等を行います。							
テキスト・教材	伊藤正巳・加藤一郎編『現代法学入門 (第 4 版)』(有斐閣、2005 年) 『ポケット六法 (令和 6 年版)』(有斐閣、2023 年)							
参考書	授業を通じて適宜紹介します。							
評価の基準と方法	・15 回のレポートの総合点で評価します (10 点×15 回 = 150 点を 100 点満点に換算)。 ・単位取得の前提として、すべての授業回数のうち出席に基づく 10 回以上の提出が必要です。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	△		◎				
関連科目	法律学を学ぶ上で、最も基礎となる入門科目です。この授業に基づいて、発展科目としての「法と社会」が組み立てられています。また、日本国憲法 I・II も関連性をもって構成されています。なお、2 年次以降に受講できる科目として「国際法」があります。							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00950
科目名称	法と社会	単位数	2.0 単位
英文名称	Law and Society	授業区分	講義
科目責任者	福王 守	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	福王 守	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00～14:30 木曜日 10:30～12:00 後期 月曜日 13:00～14:30 木曜日 10:30～12:00	研究室	10-614
授業概要	法は、人々が社会生活をよりよく営むための手段です。また一方で、法は私たちの生活を強く制約することがあります。あるべき法の姿を方向づけていくのは、私たち一人ひとりの考えに裏づけられた、世論です。この授業では、法と社会の関わりについて基本的な知識を伝えます。未解決な社会問題を考える際に、ひとつの手がかりを提供できれば幸いです。後期の授業では、個々の法のあり方（法の体系）を具体的に紹介した上で、後半において現代社会の抱える高齢社会の問題について考えます。		
到達目標	市民社会における客観的な判断基準としての「法」の役割を踏まえて、異なる意見を踏まえつつ筋道を立てて未解決の社会問題を考える力を身につけることを目標とします。		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	福王 守	<p>※ 毎回の授業後には、「問題解決型学習」の手段として課題レポートを作成してもらい、次回授業時にこれに対する解説と質問への回答を行います。</p> <p>【第 1 回】 予習 : 本科目シラバスおよびテキスト iii - X 頁の講読 授業 : 法学とは : この授業の目的・内容・学習方法について 【テキスト iii - X 頁】 復習 : テキスト iii - X 頁の再読、【第 1 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
2	福王 守	<p>【第 2 回】 予習 : テキスト 7-21、83-85、210 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 市民社会と法 : 日本法体系の今日的起源と特徴 【テキスト 7-21、83-85、210-219 頁】 復習 : テキスト 7-21、83-85、210-219 頁の再読、【第 2 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
3	福王 守	<p>【第 3 回】 予習 : テキスト 94-110 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 国家の基本法 : 日本国憲法制定の背景 【テキスト 94-110 頁】 復習 : テキスト 94-110 頁の再読、【第 3 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
4	福王 守	<p>【第 4 回】 予習 : テキスト 94-110 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 国家の基本法 : 日本憲法の抱える今日の問題 【テキスト 94-110 頁】 復習 : テキスト 94-110 頁の再読、【第 4 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
5	福王 守	<p>【第 5 回】 予習 : テキスト 141-156 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 財産と家族 : 民法（財産法）について 【テキスト 141-156 頁】 復習 : テキスト 141-156 頁の再読、【第 5 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
6	福王 守	<p>【第 6 回】 予習 : テキスト 128-140 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 財産と家族 : 民法（家族法）について 【テキスト 128-140 頁】 復習 : テキスト 128-140 頁の再読、【第 6 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
7	福王 守	<p>【第 7 回】 予習 : テキスト 111-127 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 犯罪と刑罰 : 刑法について 【テキスト 111-127 頁】 復習 : テキスト 111-127 頁の再読、【第 7 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
8	福王 守	<p>【第 8 回】 予習 : テキスト 118-119 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 犯罪と刑罰 : 未成年者の犯罪と処遇 【テキスト 118-119 頁】 復習 : テキスト 118-119 頁の再読、【第 8 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
9	福王 守	<p>【第 9 回】 予習 : テキスト 180-204 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 国家と国際機構 : 国際法について 【テキスト 180-204 頁】 復習 : テキスト 180-204 頁の再読、【第 9 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
10	福王 守	<p>【第 10 回】 予習 : 第 2 回-9 回までのテキスト全学習頁の講読およびキーワードの確認 授業 : これまでの授業の総括と発展学習の手引 : 授業全体の体系的整理と論証に向けて【テキスト全学習頁】 復習 : テキスト全学習頁の再読、【第 10 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	

11	福王 守	【第 11 回】 予習 : テキスト 200-201 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 国家と国際機構 : 国連と UNICEF 【テキスト 200-201 頁】 復習 : テキスト 200-201 頁の再読、【第 11 回】授業ノートおよび配布プリントの整理						
12	福王 守	【第 12 回】 予習 : テキスト 157-179 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 福祉と法 : 社会法の意義 【テキスト 157-179 頁】 復習 : テキスト 157-179 頁の再読、【第 12 回】授業ノートおよび配布プリントの整理						
13	福王 守	【第 13 回】 予習 : テキスト 157-161 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 高齢社会と法 : 少子高齢社会と社会保障法 【テキスト 157-161 頁】 復習 : テキスト 157-161 頁の再読、【第 13 回】授業ノートおよび配布プリントの整理						
14	福王 守	【第 14 回】 予習 : テキスト 160-161 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 高齢社会と法 : 高齢者福祉のあゆみと課題 【テキスト 160-161 頁】 復習 : テキスト 160-161 頁の再読、【第 14 回】授業ノートおよび配布プリントの整理						
15	福王 守	【第 15 回】 予習 : テキスト iii - X 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 「法と社会」の総括と発展学習の手引 : 授業全体の体系的整理と論証に向けて【テキスト 全学習頁】 復習 : テキスト全学習頁の再読、【第 15 回】授業ノートおよび配布プリントの整理						
授業開始前学習	テレビや新聞の社会面・政治面の報道に、少しでも多く接する機会をもって下さい。必ずどこかで授業理解の助けになります。							
授業内課題のフィードバックの方法	適宜次回の授業冒頭において課題レポートに対する講評と質問への回答を述べます。また第 10 回および 15 回目において、レポート課題全般に関する講評と個々の問題解決に向けた助言等を行います。							
テキスト・教材	伊藤正巳・加藤一郎編『現代法学入門（第 4 版）』（有斐閣、2005 年） 『ポケット六法（令和 6 年版）』（有斐閣、2023 年）							
参考書	授業を通じて適宜紹介します。							
評価の基準と方法	・15 回のレポートの総合点で評価します（10 点×15 回=150 点を 100 点満点に換算）。 ・単位取得の前提として、15 回の授業のうち出席に基づく 10 回以上の提出が必要です。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	△		◎				
関連科目	「法学」を基礎として、授業が組み立てられています。関連科目として「日本国憲法」および「人権の基礎」があります。また、2 年次以降に受講できる科目として「国際法」があります。							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-121-11	授業コード	F00960
科目名称	日本国憲法 I	単位数	2.0 単位
英文名称	Japanese Constitution I	授業区分	講義
科目責任者	福王 守	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	福王 守	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00~14:30 木曜日 10:30~12:00 後期 月曜日 13:00~14:30 木曜日 10:30~12:00	研究室	10-614
授業概要	日本国憲法とは、日本国のあり方を定めた基本法を意味します。これは、一人ひとりの国民を人格の担い手として尊重するという、例外を許さない価値観の下に作られました。なぜ、第二次世界大戦後にこの憲法は制定されたのでしょうか。そして、なぜ「基本的人権の尊重」、「国民主権」、および「平和主義」という 3 つの柱が立てられたのでしょうか。この授業では、はじめにこのような基本的な仕組みを歴史的に検証します。その上で、第 1 の柱である「基本的人権の尊重」について、急がずに具体例を踏まえつつ理解を深めたいと思います。		
到達目標	日本国における基本法である「日本国憲法」の役割を踏まえ、異なる意見を踏まえつつ筋道を立てて未解決の社会問題を考える力を身につけることを目標とします。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	福王 守	<p>※ 毎回の授業後には、「問題解決型学習」の手段として課題レポートを作成してもらい、次回授業時にこれに対する解説と質問への回答を行います。</p> <p>【第 1 回】 予習 : 本科目シラバスおよびテキスト目次 1-11 頁の講読 授業 : 「日本国憲法」とは : 授業の目的・内容・学習方法について【テキスト 目次 1-11 頁】 復習 : テキスト目次 1-11 頁の再読、第 1 回授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
2	福王 守	<p>【第 2 回】 予習 : テキスト 3 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 市民社会と法 : 法の役割と憲法の意義 【テキスト 3 頁】 復習 : テキスト 3 頁の再読、第 2 回授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
3	福王 守	<p>【第 3 回】 予習 : テキスト 13-16 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 日本国憲法の背景 : 立憲主義と個人の尊厳 【テキスト 13-16 頁】 復習 : テキスト 13-16 頁の再読、第 3 回授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
4	福王 守	<p>【第 4 回】 予習 : テキスト 17-26 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 日本国憲法の背景 : 戦後憲法制定の背景 【テキスト 17-26 頁】 復習 : テキスト 17-26 頁の再読、第 4 回授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
5	福王 守	<p>【第 5 回】 予習 : テキスト 27-31 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 憲法の目的と趣旨 : 日本国憲法前文の意味 【テキスト 27-31 頁】 復習 : テキスト 27-31 頁の再読、第 5 回授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
6	福王 守	<p>【第 6 回】 予習 : テキスト 32-43 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 憲法の目的と趣旨 : 平和主義原理と平和的生存権 【テキスト 32-43 頁】 復習 : テキスト 32-43 頁の再読、第 6 回授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
7	福王 守	<p>【第 7 回】 予習 : テキスト 15、29、53 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 憲法の目的と趣旨 : 基本的人権尊重原理と人権の類型 【テキスト 15、29、53 頁】 復習 : テキスト 15、29、53 頁の再読、第 7 回授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
8	福王 守	<p>【第 8 回】 予習 : テキスト 73-81 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 人権の基本 : 包括的基本権としての幸福追求権 【テキスト 73-81 頁】 復習 : テキスト 73-81 頁の再読、第 8 回授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
9	福王 守	<p>【第 9 回】 予習 : テキスト 81-88 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 人権の基本 : 法の下での平等 【テキスト 81-88 頁】 復習 : テキスト 81-88 頁の再読、第 9 回授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
10	福王 守	<p>【第 10 回】 予習 : 第 2 回-9 回までのテキスト全学習頁の講読およびキーワードの確認 授業 : これまでの授業の総括と発展学習の手引 : 授業全体の体系的整理と論証に向けて【テキスト全学習頁】 復習 : テキスト全学習頁の再読、【第 10 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	

11	福王 守	【第 11 回】 予習 : テキスト 134-150 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 人身の自由 : 奴隷的拘束からの自由・適正手続と刑罰 【テキスト 134-150 頁】 復習 : テキスト 134-150 頁の再読、第 11 回授業ノートおよび配布プリントの整理						
12	福王 守	【第 12 回】 予習 : テキスト 161-168 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 社会権 : 福祉国家思想と社会権 【テキスト 161-168 頁】 復習 : テキスト 161-168 頁の再読、第 12 回授業ノートおよび配布プリントの整理						
13	福王 守	【第 13 回】 予習 : テキスト 162-168 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 社会権 : 生存権 【テキスト 162-168 頁】 復習 : テキスト 162-168 頁の再読、第 13 回授業ノートおよび配布プリントの整理						
14	福王 守	【第 14 回】 予習 : テキスト 168-172 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 社会権 : 教育を受ける権利 【テキスト 168-172 頁】 復習 : 168-172 頁の再読、第 14 回授業ノートおよび配布プリントの整理						
15	福王 守	【第 15 回】 予習 : テキスト目次 1-11 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 「日本国憲法 I」の総括と発展学習の手引き : 授業全体の体系的整理と論証に向けて【テキスト全学習頁】 復習 : テキスト全学習頁の再読、第 15 回授業ノートおよび配布プリントの整理						
授業開始前学習	テレビや新聞の社会面・政治面の報道に、少しでも多く接する機会をもって下さい。必ずどこかで授業理解の助けになります。							
授業内課題のフィードバックの方法	適宜次回の授業冒頭において課題レポートに対する講評と質問への回答を述べます。また第 10 回および 15 回目において、レポート課題全般に関する講評と個々の問題解決に向けた助言等を行います。							
テキスト・教材	古野豊秋・畑尻剛編『新・スタンダード憲法（第 4 版補訂版）』（尚学社、2016 年） 『ポケット六法（令和 6 年版）』（有斐閣、2023 年）							
参考書	授業を通じて適宜紹介します。							
評価の基準と方法	・15 回のレポートの総合点で 100%評価します（10 点×15 回 = 150 点を 100 点満点に換算）。 ・単位取得のためには、すべての授業回数のうち出席に基づく 10 回以上の提出が必要です。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	△		◎				
関連科目	「法学」、「法と社会」および「人権の基礎」と関連させながら「日本国憲法」授業が組み立てられています。また、2 年次以降に受講できる科目として「国際法」があります。							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-121-11	授業コード	F00970
科目名称	日本国憲法Ⅱ	単位数	2.0 単位
英文名称	Japanese Constitution Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	福王 守	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	福王 守	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00～14:30 木曜日 10:30～12:00 後期 月曜日 13:00～14:30 木曜日 10:30～12:00	研究室	10-614
授業概要	現在の日本国憲法は、戦前に対する深い反省の下で制定されました。一人ひとりの国民を人格の担い手として尊重するために、憲法は国家の政治のあり方を定めています。この授業では、こうした国家統治の仕組みを中心に学びます。さらに、現在憲法をめぐって議論されている問題点についても触れていきます。結論を急がずに、私たちの社会における基本法かつ最高法規のあり方を考えていきましょう。		
到達目標	日本国における基本法である「日本国憲法」の役割を踏まえ、異なる意見を踏まえつつ筋道を立てて未解決の社会問題を考える力を身につけることを目標とします。		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	福王 守	<p>※ 毎回の授業後には、「問題解決型学習」の手段として課題レポートを作成してもらい、次回授業時にこれに対する解説と質問への回答を行います。</p> <p>【第 1 回】 予習 : 本科目シラバスおよびテキスト目次 1-11 頁の講読 授業 : 「日本国憲法」とは : この授業の目的・内容・学習方法 【テキスト 目次 1-11 頁】 復習 : テキスト目次 1-11 頁の再読、【第 1 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
2	福王 守	<p>【第 2 回】 予習 : テキスト 3 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 市民社会と法 : 法の役割と憲法の意義 【テキスト 3 頁】 復習 : テキスト 3 頁の再読、【第 2 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
3	福王 守	<p>【第 3 回】 予習 : テキスト 13-16 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 日本国憲法の背景 : 立憲主義と個人の尊厳 【テキスト 13-16 頁】 復習 : テキスト 13-16 頁の再読、【第 3 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
4	福王 守	<p>【第 4 回】 予習 : テキスト 17-26 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 日本国憲法の背景 : 戦後憲法制定の背景 【テキスト 17-26 頁】 復習 : テキスト 17-26 頁の再読、【第 4 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
5	福王 守	<p>【第 5 回】 予習 : テキスト 27-29 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 日本国憲法の目的と趣旨 : 憲法前文の意味 【テキスト 27-29 頁】 復習 : テキスト 27-29 頁の再読、【第 5 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
6	福王 守	<p>【第 6 回】 予習 : テキスト 9-10、27-29 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 国民主権について : 立憲民主主義と権力分立との関わりから 【テキスト 9-10、27-29 頁】 復習 : テキスト 9-10、27-29 頁の再読、【第 6 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
7	福王 守	<p>【第 7 回】 予習 : テキスト 187-193 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 国会 : 立法機関としての地位と役割 【テキスト 187-193 頁】 復習 : テキスト 187-193 頁の再読、【第 7 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
8	福王 守	<p>【第 8 回】 予習 : テキスト 193-207 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 国会 : 国会と議院の権能 【テキスト 193-207 頁】 復習 : テキスト 193-207 頁の再読、【第 8 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
9	福王 守	<p>【第 9 回】 予習 : テキスト 208-214 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 内閣 : 行政機関としての地位と役割 【テキスト 208-214 頁】 復習 : テキスト 208-214 頁の再読、【第 9 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	
10	福王 守	<p>【第 10 回】 予習 : 第 2 回-9 回までのテキスト全学習頁の講読およびキーワードの確認 授業 : これまでの授業の総括と発展学習の手引 : 授業全体の体系的整理と論証に向けて【テキスト全学習頁】 復習 : テキスト全学習頁の再読、【第 10 回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>	

11	福王 守	【第 11 回】 予習 : テキスト 218-227 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 裁判所 : 司法機関としての地位と役割 【テキスト 218-227 頁】 復習 : テキスト 218-227 頁の再読、【第 11 回】授業ノートおよび配布プリントの整理							
12	福王 守	【第 12 回】 予習 : テキスト 227-234 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 裁判所 : 司法権の独立と民主的統制 【テキスト 227-234 頁】 復習 : テキスト 227-234 頁の再読、【第 12 回】授業ノートおよび配布プリントの整理							
13	福王 守	【第 13 回】 予習 : テキスト 234 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 裁判所 : 裁判員制度 【テキスト 234 頁】 復習 : テキスト 234 頁の再読、【第 13 回】授業ノートおよび配布プリントの整理							
14	福王 守	【第 14 回】 予習 : テキスト 235-248 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 違憲審査制 : 憲法の保障と付随的違憲審査制【テキスト 235-248 頁】 復習 : テキスト 235-248 頁の再読、【第 14 回】授業ノートおよび配布プリントの整理							
15	福王 守	【第 15 回】 予習 : テキスト目次 1-11 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 「日本国憲法Ⅱ」の総括と発展学習の手引き : 授業全体の体系的整理と論証に向けて【テキスト全学習頁】 復習 : テキスト全学習頁の再読、【第 15 回】授業ノートおよび配布プリントの整理							
授業開始前学習		テレビや新聞の社会面・政治面の報道に、少しでも多く接する機会をもって下さい。必ずどこかで授業理解の助けになります。							
授業内課題のフィードバックの方法		適宜次回の授業冒頭において課題レポートに対する講評と質問への回答を述べます。また第 10 回および 15 回目において、レポート課題全般に関する講評と個々の問題解決に向けた助言等を行います。							
テキスト・教材		古野豊秋・畑尻剛編『新・スタンダード憲法（第 4 版補訂版）』（尚学社、2016 年） 『ポケット六法（令和 6 年版）』（有斐閣、2023 年）							
参考書		授業を通じて適宜紹介します。							
評価の基準と方法		・15 回のレポートの総合点で 100%評価します（10 点×15 回＝150 点を 100 点満点に換算）。 ・単位取得の前提として、すべての授業回数のうち出席に基づく 10 回以上の提出が必要です。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○	△		◎				
関連科目		「法学」、「法と社会」、「日本国憲法Ⅰ」および「人権の基礎」と関連させながら、「日本国憲法Ⅱ」授業が組み立てられています。また、2 年次以降に受講できる科目として「国際法」があります。							
その他									
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-120-11	授業コード	F00981
科目名称	社会学 I	単位数	2.0 単位
英文名称	Sociology I	授業区分	講義
科目責任者	三津田 悠	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	三津田 悠	開講時期	1 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	社会学の基本的な理論や考え方を具体的な事例とともに取り上げ、また、現代に至るまでの社会学の歩みを視野に収めながら、人間と社会に関する社会的な見方・考え方を学ぶ。受講者の皆さん自身が「社会学とは何か」という問い、そして「社会とは何か」という問いについて考えること、また、その「社会」に対していかにして向き合うのかを考えること、本講義がそうした取り組みの手がかりとなれば幸いである。		
到達目標	具体的な社会的事象について、社会学の見方・考え方をういて理解できるようになる。 具体的な社会的事象について論じる際に、文脈上適切な社会学の概念を選択できるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	三津田 悠	【第 1 回】 予習： 図書館の使い方、文献の調べ方・集め方を確認しておく。 授業： イントロダクション—講義の進め方・注意事項 復習： 社会学の辞典・事典、および参考文献の利用方法を確認する。	
2	三津田 悠	【第 2 回】 予習： 「社会的想像力」という言葉の意味について、社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業： 社会が人間を動かすのか、人間が社会を動かすのか（1）——「社会的想像力」とは何か 復習： 「社会的想像力」および関連する概念について、授業をもとにまとめる。	
3	三津田 悠	【第 3 回】 予習： É. デュルケムについて、社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業： 社会が人間を動かすのか、人間が社会を動かすのか（2）——デュルケムの社会学方法論 復習： デュルケムの社会学方法論について、授業をもとにまとめる。	
4	三津田 悠	【第 4 回】 予習： 「意図せざる結果」という概念について、社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業： 社会が人間を動かすのか、人間が社会を動かすのか（3）——「意図せざる結果」としての社会 復習： 「意図せざる結果」および関連する概念について、授業をもとにまとめる。	
5	三津田 悠	【第 5 回】 予習： M. ウェーバーについて、社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業： 社会が人間を動かすのか、人間が社会を動かすのか（4）——ウェーバーの社会学方法論 復習： ウェーバーの社会学方法論について、授業をもとにまとめる。	
6	三津田 悠	【第 6 回】 予習： T. パーソンズについて、社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業： 社会秩序はいかにして可能か——パーソンズの構造・機能主義 復習： パーソンズの社会学理論について、授業をもとにまとめる。	
7	三津田 悠	【第 7 回】 予習： 「社会化」という概念について、社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業： 社会化と個人のなかの社会——クーリー、ミードの社会学 復習： 「社会化」に関連する理論・学説について、授業をもとにまとめる。	
8	三津田 悠	【第 8 回】 予習： 「相互行為」という概念について、社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業： 相互行為とドラマとしての社会——ジンメル、ゴフマンの社会学 復習： 「相互行為」に関連する理論・学説について、授業をもとにまとめる。	
9	三津田 悠	【第 9 回】 予習： 「エスノメソドロジー」について、社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業： 役割と相互行為（1）——エスノメソドロジー 復習： 「エスノメソドロジー」の考え方について、授業をもとにまとめる。	
10	三津田 悠	【第 10 回】 予習： E. ゴフマンについて、社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業： 役割と相互行為（2）——ゴフマンの『アサイラム』 復習： ゴフマンが『アサイラム』で論じた内容について、授業をもとにまとめる。	
11	三津田 悠	【第 11 回】 予習： 「ラベリング理論」について、社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業： 逸脱と社会問題（1）——逸脱とラベリング理論 復習： 「ラベリング理論」の考え方について、授業をもとにまとめる。	

12	三津田 悠	【第12回】 予習：「社会問題の構築」および「（社会問題の）構築主義」について、社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業：逸脱と社会問題（2）——「社会問題の構築主義」の考え方 復習：「社会問題の構築主義」の考え方について、授業をもとにまとめる。						
13	三津田 悠	【第13回】 予習：「ジェンダー」および「セクシュアリティ」という言葉の意味について、社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業：ジェンダーとセクシュアリティ（1）——フェミニズムの視角 復習：「フェミニズム」の考え方について、授業をもとにまとめる。						
14	三津田 悠	【第14回】 予習：「ジェンダー」および「セクシュアリティ」をめぐる差別や不平等について、インターネットや新聞記事などを使って調べておく。 授業：ジェンダーとセクシュアリティ（2）——「不平等」と「差別」をめぐって 復習：現象学的社会学の視角から「不平等」「差別」はどのように捉えられるのか、授業をもとにまとめる。						
15	三津田 悠	【第15回】 予習：配布資料を整理し、これまでの講義で学んだ内容を振り返る。 授業：授業のまとめ 復習：授業内容を踏まえて、学期末レポートの草稿を作成する。						
授業開始前学習	「社会」とはどのようなものか、授業前の自分の考えをまとめておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	提出された授業内課題の回答とそれに対するリプライは適宜 Google Classroom にアップロードし、受講者間でも共有する予定である。また、学期末レポートについては、希望者に対してのみ、コメント機能を使ってフィードバック（文章の書き方および授業の理解度に対するコメント）を行ない、メールまたは Google Classroom を使って返却する。							
テキスト・教材	特に指定しない。適宜、教場で資料を配布する。							
参考書	ピーター・L・バーガー，水野節夫・村山研一訳，2017，『社会学への招待』筑摩書房。 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志，2019，『社会学（新版）』有斐閣。 那須壽編，1997，『クロニクル社会学——人と理論の魅力を語る』有斐閣。 篠原清夫・栗田真樹編，2016，『大学生のための社会学入門——日本学術会議参照基準対応』晃洋書房。 その他、教場で適宜指示します。							
評価の基準と方法	学期末のレポートによって評価する（100%）。ただし、出席状況、および授業内課題・追加課題の提出状況に鑑みて加点する場合がある。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	社会学 II							
その他	・講義の進捗状況、社会情勢の変化、受講者の関心等々に鑑み、授業計画を変更する場合がある。 ・講義中、長時間にわたる音の発生については口頭で注意し、場合によっては退席を求めることがある。 ・社会的な見方・考え方を学ぶうえで参考になる本をなるべく多く紹介する予定である。1冊でも（願わくは1冊でも多く）手に取っていただければ幸いです。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F00991
科目名称	社会学Ⅱ	単位数	2.0 単位
英文名称	Sociology II	授業区分	講義
科目責任者	三津田 悠	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	三津田 悠	開講時期	1 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	社会学がそのなかで生まれ、その分析対象としてきた「近代」とはいかなる時代であり、また「近代社会」とはいかなる社会であるのかについて理解を深めるとともに、現代社会について批判的に捉える視座を身につけることを目指す。受講者の皆さん自身が、私たちが生きている社会とはいかなる社会であるのか、また、現代社会に対していかにして向き合うのかを考えること、本講義がそうした取り組みの手がかりとなれば幸いである。		
到達目標	近・現代の社会的事象について、社会学の見方・考え方をういて理解できるようになる。 近・現代の社会的事象について論じる際に、文脈上適切な社会学の概念を選択できるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	三津田 悠	【第 1 回】 予習： 図書館の使い方、文献の調べ方・集め方を確認しておく。 授業： イントロダクション—講義の進め方・注意事項 復習： 社会学の辞典・事典、および参考文献の利用方法を確認する。	
2	三津田 悠	【第 2 回】 予習： 「セカイ系」という言葉について、インターネットや書籍で調べておく。 授業： 「社会」というものは存在しない？——「近代」について考える 復習： 「社会というものは存在しない」という主張とそれに関連する議論について、授業をもとにまとめる。	
3	三津田 悠	【第 3 回】 予習： 「第一次集団」という概念について、社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業： 集団と組織（1）——集団の見方・考え方 復習： 「第一次集団と第二次集団」「ゲマインシャフトとゲゼルシャフト」「コミュニティとアソシエーション」という概念について、それらの概念を提唱した社会学者の名前とともに整理する。	
4	三津田 悠	【第 4 回】 予習： 映画『シン・ゴジラ』について、作品の背景・概要、監督などをインターネットで調べておく。 授業： 近代以降の社会について考える・その 1 ——『シン・ゴジラ』 復習： 映画『シン・ゴジラ』にみられる「近代社会」の仕組みについて、授業をもとにまとめる。	
5	三津田 悠	【第 5 回】 予習： 「官僚制」と「NPO」について、社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業： 集団と組織（2）——官僚制と NPO 復習： 「官僚制」と「NPO」について、授業をもとに（「合理化」をキーワードとして）まとめる。	
6	三津田 悠	【第 6 回】 予習： 「世帯」や「結婚」といった家族に関する言葉の一般的な意味について、インターネットや書籍で調べておく。 社会学の辞典・事典で「家族」を調べ、何が書かれているかを確認する。 授業： 変容する家族のかたち（1）——家族の見方・考え方 復習： 古典的な社会学の家族の見方・考え方を整理する。	
7	三津田 悠	【第 7 回】 予習： ドラマ『逃げるは恥だが役に立つ』について、作品の背景・概要などをインターネットや書籍で調べておく。 授業： 近代以降の社会について考える・その 2 ——『逃げるは恥だが役に立つ』 復習： ドラマ『逃げるは恥だが役に立つ』にみられる現代の家族・恋愛のあり方について、授業をもとにまとめる。	
8	三津田 悠	【第 8 回】 予習： 「近代家族」という概念について、社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業： 変容する家族のかたち（2）——「近代家族」をめぐる 復習： 「近代家族」の特徴について、授業をもとにまとめる。	
9	三津田 悠	【第 9 回】 予習： 配布資料および参考文献を読み、現代の家族に関する諸問題を調べておく。 授業： 変容する家族のかたち（3）——現代の家族をめぐる諸問題 復習： 現代の家族に関する諸問題について、授業をもとにまとめる。	
10	三津田 悠	【第 10 回】 予習： U. ベックについて、社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業： 「後期近代」を生きる（1）——ベックの「リスク社会」論 復習： 「リスク社会」に関するベックの議論について、授業をもとにまとめる。	

11	三津田 悠	【第 11 回】 予習： 配布資料および参考文献を読み、現代における科学・技術の問題について把握する。 授業： 「後期近代」を生きる（2）——専門知の「危機」 復習： 現代における科学的な専門知の在り様について、授業をもとにまとめる。						
12	三津田 悠	【第 12 回】 予習： A. シュッツについて、社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業： 「後期近代」を生きる（3）——「見識ある市民」をめぐる 復習： 「見識ある市民」という態度について、授業をもとにまとめる。						
13	三津田 悠	【第 13 回】 予習： 「個人化」という言葉の意味を社会学の辞典・事典や参考文献で調べておく。 授業： 「後期近代」を生きる（4）——「個人化」のゆえ 復習： 「個人化」とその帰結について、授業をもとにまとめる。						
14	三津田 悠	【第 14 回】 予習： 「社会学的想像力」について、配布資料、社会学の辞典・事典や参考文献で確認しておく。 授業： 「社会学的想像力」再考——「自己責任」論と「通俗道徳」 復習： 「自己責任」論の問題点（そうした言説がもたらす社会的機能）について、社会学の見方・考え方をういて整理する。						
15	三津田 悠	【第 15 回】 予習： 配布資料を整理し、これまでの講義で学んだ内容を振り返る。 授業： 授業のまとめ 復習： 授業内容を踏まえて、学期末レポートの草稿を作成する。						
授業開始前学習		「近代社会」に関する社会学の議論について、社会学の辞典・事典や参考文献で確認しておく。						
授業内課題のフィードバックの方法		提出された授業内課題の回答とそれに対するリプライは適宜 Google Classroom にアップロードし、受講者間でも共有する予定である。また、学期末レポートについては、希望者に対してのみ、コメント機能を使ってフィードバック（文章の書き方および授業の理解度に対するコメント）を行ない、メールまたは Google Classroom を使って返却する。						
テキスト・教材		特に指定しない。適宜、教場で資料を配布する。						
参考書		長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志，2019，『社会学（新版）』有斐閣。 伊藤美登里，2017，『ウルリッヒ・ベックの社会理論——リスク社会を生きるということ』勁草書房。 那須壽編，1997，『現象学的社会学への道——開かれた地平を求めて』恒星社厚生閣。 篠原清夫・栗田真樹編，2016，『大学生のための社会学入門——日本学術会議参照基準対応』晃洋書房。 その他、教場で適宜指示する。						
評価の基準と方法		学期末のレポートによって評価する（100%）。ただし、出席状況、および授業内課題・追加課題の提出状況に鑑みて加点する場合がある。						
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける 自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける 社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける 文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける						
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目		社会学 I						
その他		・講義の進捗状況、社会情勢の変化、受講者の関心等々に鑑み、授業計画を変更する場合がある。 ・講義中、長時間にわたる音の発生については口頭で注意し、場合によっては退席を求めることがある。 ・社会学的な見方・考え方を学ぶうえで参考になる本をなるべく多く紹介する予定である。1冊でも（願わくは1冊でも多く）手に取っていただければ幸いです。						
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）						
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F01001
科目名称	数学の世界	単位数	2.0 単位
英文名称	World of Mathematics	授業区分	講義
科目責任者	川村 翔	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	川村 翔	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	本講義は人間総合学群の授業の一環として、後の専門分野の修得に不可欠な数学的な基礎知識、また社会生活における数学的知識を活用する応用力を身につける講義である。		
到達目標	高校までに学習した数学の内容について、他の専門授業や社会生活に求められる数学的知識を円滑に使用できるようになる。電卓の使用に慣れ、日常的に計算できるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	川村 翔	【第 1 回】 予習 : シラバスを確認し、中学・高校の授業での未修・既修について各自把握しておく。 授業 : ガイダンス 復習 : ガイダンスで示された履修、課題提出方法等を確認しておく。	
2	川村 翔	【第 2 回】 予習 : 数と式について、一般参考書等で予習しておく。 授業 : 数と式 (整式・因数分解) 復習 : 講義内容について確実な理解ができるようにしておく。	
3	川村 翔	【第 3 回】 予習 : とくに前回の講義と密接に関連しているので、疑問点は解決しておく。 授業 : 数と式 (一次方程式・連立方程式) 復習 : 講義内容について確実な理解ができるようにしておく。	
4	川村 翔	【第 4 回】 予習 : 関数について、一般参考書等で予習しておく。 授業 : 関数 (一次関数、二次関数) 復習 : 講義内容について確実な理解ができるようにしておく。	
5	川村 翔	【第 5 回】 予習 : とくに前回の講義と密接に関連しているので、疑問点は解決しておく。 授業 : 関数 (二次方程式) 復習 : 講義内容について確実な理解ができるようにしておく。	
6	川村 翔	【第 6 回】 予習 : 図形の性質について、一般参考書等で予習しておく。 授業 : 図形の性質 (合同・相似・三平方の定理) 復習 : 講義内容について確実な理解ができるようにしておく。	
7	川村 翔	【第 7 回】 予習 : とくに前回の講義と密接に関連しているので、疑問点は解決しておく。 授業 : 図形の性質 (円の性質) 復習 : 講義内容について確実な理解ができるようにしておく。	
8	川村 翔	【第 8 回】 予習 : 三角比の性質について、一般参考書等で予習しておく。 授業 : 図形と計量 (三角比、三角関数) 復習 : 講義内容について確実な理解ができるようにしておく。	
9	川村 翔	【第 9 回】 予習 : とくに前回の講義と密接に関連しているので、疑問点は解決しておく。 授業 : 図形と計量 (三角形への応用) 復習 : 講義内容について確実な理解ができるようにしておく。	
10	川村 翔	【第 10 回】 予習 : 場合の数について、一般の参考書等で予習する。 授業 : 場合の数 (順列・組合せ) 復習 : 講義内容について確実な理解ができるようにしておく。	
11	川村 翔	【第 11 回】 予習 : 確率について、一般の参考書等で予習する。 授業 : 確率 復習 : 講義内容について確実な理解ができるようにしておく。	

12	川村 翔	【第 12 回】 予習 : 整数の性質について、一般の参考書等で予習する。 授業 : 整数の性質 (約数と倍数) 復習 : 講義内容について確実な理解ができるようにしておく。						
13	川村 翔	【第 13 回】 予習 : 第 1 回から第 12 回までに学習した内容を各自通読しておく。 授業 : 設計活動における計算演習 復習 : 講義内容について身近な環境から理解・計算をできるようにする。						
14	川村 翔	【第 14 回】 予習 : 第 1 回から第 12 回までに学習した内容を各自通読しておく。 授業 : 社会活動における計算演習 1 復習 : 講義内容について身近な環境から理解・計算をできるようにする。						
15	川村 翔	【第 15 回】 予習 : 第 1 回から第 12 回までに学習した内容を各自通読しておく。 授業 : 社会活動における計算演習 2 復習 : 講義全体を通して疑問点が残らないように、学習内容を確認しておく。						
授業開始前学習	毎週の講義内容について予め予習資料を各自視聴・通読し予習する。							
授業内課題のフィードバックの方法	講義内の内容を復習や課題を通して確実に習得できるようにしておく。 課題提出の際に質疑事項を記載する項目を用意するので疑問点があれば記載すること。							
テキスト・教材	講義内で PDF 資料等、適宜資料を配布する。							
参考書	『サンダイヤル 基本チェックノート 高校数学の基本』啓林館							
評価の基準と方法	各講義の出席状況、講義後の課題提出、定期試験にて評価を行う。 配点比率は「出席【2】：課題【3】：定期試験【5】」とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他	テキスト、方眼ノート、電卓（千円以下でよい）を用意すること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11	授業コード	F01010
科目名称	物理の世界	単位数	2.0 単位
英文名称	World of Physics	授業区分	講義
科目責任者	手塚 貴史	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	手塚 貴史	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	本講義は人間総合学群の授業の一環として、日常生活や身近な環境における物理現象を理解し、物理学を身近に感じる視点を身に着ける、また後の専門分野の修得に必要な物理学の基礎知識を学習する講義である。		
到達目標	物理学を身近な現象として捉えられるようになる。 電卓の使用に慣れ、日常的に計算できるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	手塚 貴史	【第 1 回】 予習 : シラバスを確認し、中学・高校の授業での未修・既修について各自把握しておく。 授業 : ガイダンス 復習 : ガイダンスで示された履修、課題提出方法等を確認しておく。	
2	手塚 貴史	【第 2 回】 予習 : 思いつく単位記号を書き出す 授業 : 物理学で扱う単位と数学的知識 復習 : 物理学における数学的知識をテキストなどで復習し不明点を解決しておく。	
3	手塚 貴史	【第 3 回】 予習 : 日常的な移動、時間について考察しておく。 授業 : 物体の運動 (速さ・速度・変位・合成・相対) 復習 : 講義を基に、テキストを通読して復習する。	
4	手塚 貴史	【第 4 回】 予習 : とくに前回の講義と密接に関連しているので、疑問点は解決しておく。 授業 : 物体の運動 (加速度・重力加速度) 復習 : 講義を基に、テキストを通読して復習する。	
5	手塚 貴史	【第 5 回】 予習 : 身の回りの物に対する重さや移動について考察しておく。 授業 : 力学 (力と運動) 復習 : 講義を基に、テキストを通読して復習する。	
6	手塚 貴史	【第 6 回】 予習 : とくに前回の講義と密接に関連しているので、疑問点は解決しておく。 授業 : 力学 (運動方程式・摩擦) 復習 : 講義を基に、テキストを通読して復習する。	
7	手塚 貴史	【第 7 回】 予習 : 日常的に物を動かす際の力について考察しておく。 授業 : 仕事とエネルギー (仕事の正負・仕事率) 復習 : 講義を基に、テキストを通読して復習する。	
8	手塚 貴史	【第 8 回】 予習 : とくに前回の講義と密接に関連しているので、疑問点は解決しておく。 授業 : 仕事とエネルギー (運動エネルギー・保存) 復習 : 講義を基に、テキストを通読して復習する。	
9	手塚 貴史	【第 9 回】 予習 : 身の回りの環境で熱を感じる、与えることについて考察しておく。 授業 : 熱とエネルギー (熱量・比熱・保存) 復習 : 講義を基に、テキストを通読して復習する。	
10	手塚 貴史	【第 10 回】 予習 : とくに前回の講義と密接に関連しているので、疑問点は解決しておく。 授業 : 熱とエネルギー (物質の三態・熱膨張・仕事) 復習 : 講義を基に、テキストを通読して復習する。	
11	手塚 貴史	【第 11 回】 予習 : 日常生活における音の高さ低さ、大きさについて考察しておく。 授業 : 音とは何か(波・音) 復習 : 講義を基に、テキストを通読して復習する。	

12	手塚 貴史	【第12回】 予習：身の回りの電気や電磁波を活用している物について考察しておく。 授業：電気とは何か(電気・電磁波) 復習：講義を基に、テキストを通読して復習する。							
13	手塚 貴史	【第13回】 予習：これまでに講義で学習したエネルギーに関わる事について考察しておく。 授業：身の回りの物理学（エネルギーの利用と生活） 復習：講義を基に、テキストを通読して復習する。							
14	手塚 貴史	【第14回】 予習：日常生活の中で目にする建物の構造について考察しておく。 授業：身の回りの物理学（構造物や防災技術） 復習：講義を基に、テキストを通読して復習する。							
15	手塚 貴史	【第15回】 予習：第1回から第14回の講義内容を各自復習しておく。 授業：まとめ 復習：テキスト、参考書の再読。とくに講義内で強調した点などを後の専門分野の講義に照らし合わせ独習する。							
授業開始前学習		毎週に講義内容について予めテキストで各自通読し予習する。							
授業内課題のフィードバックの方法		講義内の内容を復習や課題を通して確実に習得できるようにしておく。 課題提出の際に質疑事項を記載する項目を用意するので疑問点があれば記載すること。							
テキスト・教材		三浦登・前田京剛共著 シグマベスト 理解しやすい 物理基礎, 文英堂, 2022							
参考書									
評価の基準と方法		各講義の出席状況、講義後の課題提出、定期試験にて評価を行う。 配点比率は「出席【2】：課題【3】：定期試験【5】」とする。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		◎	○						
関連科目									
その他		テキスト、方眼ノート、電卓（千円以下でよい）を用意すること。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-120-11	授業コード	F01020
科目名称	生物と生命	単位数	2.0 単位
英文名称	Biology and Life	授業区分	講義
科目責任者	鞠子 典子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鞠子 典子	開講時期	1 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	<p>私たちは生物の一員ですが、あなたが普段の生活の中でそのことを意識することは少ないと思います。でも、私たちの発達した脳は高度な科学技術を発達させ、私たちが恩恵を受けているはずの環境を破壊するに至っています。そもそも環境の中において、生物の一員としてのヒトとはどんな存在なのでしょう、あるいは社会的存在としての人間とはどんな存在であるべきなのでしょう。おそらく、みなさんは一つの授業の中で、この両方について学んできたことはないのではないのでしょうか。私たちには、将来世代に対してこの環境を残す責任があるとは思いませんか。そのために必要なことを学びたい人のために、この授業では環境、生命、生物としてのヒト、社会的存在としての人間に関する様々なテーマを設定し、最新の話題を盛り込みながら講義していきます。さらに、生物としての女性、社会的存在としての女性という視点でも講義をしていきます。授業の進め方としては、パワポによる講義だけでなく、教室内で行える簡単な実験・実習などを交えながら、講義内容を具体的に理解できるように工夫していきます。</p>		
到達目標	<p>ヒトとは何か、人間とは何かを理解し、人間の脱生物的活動によって生じた多種多様な環境問題の理解と解決に資する科学リテラシー・リスクリテラシーおよび人類存続を可能とするための規範やライフスタイルを大胆に発する能力を身につけます。</p>		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	鞠子 典子	<p>【第 1 回】 授業：生物学を学ぶ意味（ガイダンス） 予習：「人間とは何か」について考えてみよう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
2	鞠子 典子	<p>【第 2 回】 授業：私たちは星のかけらでできている?! 予習：今回のキーワードとなる「化学進化」について調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
3	鞠子 典子	<p>【第 3 回】 授業：生命の誕生と生物多様性 予習：今回のキーワードとなる「生物進化」について調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
4	鞠子 典子	<p>【第 4 回】 授業：生物にとって環境とは何だろう？ 予習：今回のキーワードとなる「主体環境系の概念」について調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
5	鞠子 典子	<p>【第 5 回】 授業：身近な自然に目を向けてみよう 予習：キャンパスの周りの森を自然散策してみよう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
6	鞠子 典子	<p>【第 6 回】 授業：自然の恵みのお値段は？ 生態系サービスについて考える 予習：今回のキーワードとなる「生態系サービス」について調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
7	鞠子 典子	<p>【第 7 回】 授業：人類の未来を救う?! 昆虫食の可能性 予習：「昆虫食」に関する話題についてネットで検索してみよう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
8	鞠子 典子	<p>【第 8 回】 授業：現代は地球史上第 6 回目の生物大量絶滅期?! 予習：どうやったら地球上の生物の個体数を数えられるのか考えてみよう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
9	鞠子 典子	<p>【第 9 回】 授業：最大の公害病である水俣病から学ぶ ～科学リテラシーの重要性～ 予習：「水俣病」はなぜ発生したのか、その理由について調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	
10	鞠子 典子	<p>【第 10 回】 授業：地球温暖化問題における真実とフェイク 予習：Youtube で映画「不都合な真実」の予告編を観ておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>	

11	鞠子 典子	【第 11 回】 授業：現代世代が未来世代の生存可能性に持つべき責任 予習：「世代間倫理」について調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する						
12	鞠子 典子	【第 12 回】 授業：ヒトはどこから来て、どこへ向かうのか 予習：わたしたち「ホモ・サピエンス」の将来について考えておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する						
13	鞠子 典子	【第 13 回】 授業：女性の平均寿命が男性より長いのはなぜ？ 予習：女と男はどう違うのか？生物学的視点で考えてみよう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する						
14	鞠子 典子	【第 14 回】 授業：私の性は誰が決める？ 予習：生物学的性とジェンダーの違いについて調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する						
15	鞠子 典子	【第 15 回】 授業：生物と生命 総括と試験範囲の説明 予習：「生物と生命」で学んだことを復習し、生命の科学リテラシーの必要性について自分の意見をまとめる 復習：試験に向けた勉強をする						
授業開始前学習	常日頃から、授業と関連する話題に強い関心をもってニュースや新聞記事と接すること。							
授業内課題のフィードバックの方法	ワンポイントで復習できる課題の講評及び解答は講義内で行います。							
テキスト・教材	教科書は指定せず、資料を配布します。							
参考書	「好きになる生物学」吉田邦久著（講談社サイエンティフィク） 「面白くてよくわかる！エコロジー」吉田久義著（アスペクト） この他講義の中で適宜書籍を紹介します。							
評価の基準と方法	試験 70%，平常点（授業に臨む姿勢・提出物）30%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける		社会的責務を果たすこと のできる専門力と判断力を身 につける		文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケ ーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他	授業の理解度などを勘案し、授業テーマの順序や内容を多少変更することがあります。 講義で分からないことがある場合は、そのままにせず、いつでも質問してください。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目分類	100-120-11 (J)		授業コード	F01030	
科目名称	地球と宇宙		単位数	2.0 単位	
英文名称	Earth and Planetary Science		授業区分	講義	
科目責任者	鈴木 絢子		必修・選択	履修ガイド参照	
担当教員	鈴木 絢子		開講時期	1 年	
オフィスアワー	-		研究室	-	
授業概要	<p>このコースでは、地球や太陽系の現在の姿やそのでき方を紹介し、我々人類がそれをどのように理解してきたのかを解説します。みなさんは、自分が地球という惑星に生きていることを意識したのは何歳ごろでしたか？我々人類が地球に生きていることや、地球がとても稀有なシステムであるという理解は、グローバル社会で生きる我々にとって欠かせない視点です。また日本では自然災害が多く発生するため、日本社会の構成員として地球惑星科学の基礎知識は必須です。</p> <p>講義では、教員から知識を伝達するだけでなく、考えを表明したり、簡単な数式やグラフを用いて論理的に考える練習もします。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ベキ演算や概算を用いる地球惑星科学的な物事の方法を実践できる。 ・簡単な数式やグラフなどの根拠を基に、論理的な結論を導いたり、それを自分の言葉で説明できる。 ・私たちが生きている地球や太陽系の現在の姿や、それがどのようにしてできたと考えられるのかを説明できる。 ・自分自身や地球を、太陽系・銀河系・宇宙全体の中に位置付けて考え、自分が「地球人」であり「宇宙人」であるという自覚を持つことができる。 				
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回	複数教員の場合の 授業形態	
授業 回数	担当者	授業の内容			
1	鈴木 絢子	<p>【第 1 回】 予習 : 中学・高校理科の内容を見直しておくこと 授業 : 地球惑星科学的な視点、バックグラウンドアンケート、フェルミ推定 (ディスカッション含む) 復習 : 配布資料を見直し、質問や検索をしてわからない点をなくしておくこと</p>			
2	鈴木 絢子	<p>【第 2 回】 予習 : 中学・高校理科の内容を見直しておくこと 授業 : 宇宙の階層構造、対数グラフ (ディスカッション含む) 復習 : 配布資料を見直し、質問や検索をしてわからない点をなくしておくこと</p>			
3	鈴木 絢子	<p>【第 3 回】 予習 : 中学・高校理科の内容を見直しておくこと 授業 : 地球の概観、歴史的経緯 (ディスカッション含む) 復習 : 配布資料を見直し、質問や検索をしてわからない点をなくしておくこと。1～3 回の内容を復習し、確認テストに備えるとい</p>			
4	鈴木 絢子	<p>【第 4 回】 予習 : 中学・高校理科の内容を見直しておくこと 授業 : 理解度確認テスト 1、地球の構造とプレートテクトニクス (前半) (ディスカッション含む) 復習 : 配布資料を見直し、質問や検索をしてわからない点をなくしておくこと。確認テストでわからなかったところを復習するとよい</p>			
5	鈴木 絢子	<p>【第 5 回】 予習 : 中学・高校理科の内容を見直しておくこと 授業 : 理解度確認テスト 1 の解説、地球の構造とプレートテクトニクス (後半) (ディスカッション含む) 復習 : 配布資料を見直し、質問や検索をしてわからない点をなくしておくこと</p>			
6	鈴木 絢子	<p>【第 6 回】 予習 : 中学・高校理科の内容を見直しておくこと 授業 : 火山活動と地震活動 (ディスカッション含む) 復習 : 配布資料を見直し、質問や検索をしてわからない点をなくしておくこと</p>			
7	鈴木 絢子	<p>【第 7 回】 予習 : 中学・高校理科の内容を見直しておくこと 授業 : 月の成り立ちと衝突現象 (ディスカッション含む) 復習 : 配布資料を見直し、質問や検索をしてわからない点をなくしておくこと</p>			
8	鈴木 絢子	<p>【第 8 回】 予習 : 中学・高校理科の内容を見直しておくこと 授業 : 太陽系の他の惑星と探査 (ディスカッション含む) 復習 : 配布資料を見直し、質問や検索をしてわからない点をなくしておくこと。4～8 回の内容を復習し、確認テ</p>			

		ストに備えるとい
9	鈴木 絢子	【第 9 回】 予習 : 中学・高校理科の内容を見直しておくこと 授業 : 理解度確認テスト 2、元素の話 (ディスカッション含む) 復習 : 配布資料を見直し、質問や検索をしてわからない点をなくしておくこと。確認テストでわからなかったところを復習するとよい
10	鈴木 絢子	【第 10 回】 予習 : 中学・高校理科の内容を見直しておくこと 授業 : 理解度確認テスト 2 の解説、惑星系の成り立ち (前半) (ディスカッション含む) 復習 : 配布資料を見直し、質問や検索をしてわからない点をなくしておくこと
11	鈴木 絢子	【第 11 回】 予習 : 中学・高校理科の内容を見直しておくこと 授業 : 惑星系の成り立ち (後半) (ディスカッション含む) 復習 : 配布資料を見直し、質問や検索をしてわからない点をなくしておくこと
12	鈴木 絢子	【第 12 回】 予習 : 中学・高校理科の内容を見直しておくこと 授業 : 系外惑星系、宇宙に生命はあるのか (ディスカッション含む) 復習 : 配布資料を見直し、質問や検索をしてわからない点をなくしておくこと
13	鈴木 絢子	【第 13 回】 予習 : 中学・高校理科の内容を見直しておくこと 授業 : 恒星の一生 (ディスカッション含む) 復習 : 配布資料を見直し、質問や検索をしてわからない点をなくしておくこと。9 ~ 13 回の内容を復習し、確認テストに備えるとい
14	鈴木 絢子	【第 14 回】 予習 : 中学・高校理科の内容を見直しておくこと 授業 : 理解度確認テスト 3、宇宙の概観 (前半) (ディスカッション含む) 復習 : 配布資料を見直し、質問や検索をしてわからない点をなくしておくこと。確認テストでわからなかったところを復習するとよい
15	鈴木 絢子	【第 15 回】 予習 : 中学・高校理科の内容を見直しておくこと 授業 : 理解度確認テスト 3 の解説、宇宙の概観 (後半) (ディスカッション含む) 復習 : 配布資料を見直し、質問や検索をしてわからない点をなくしておくこと

授業開始前学習	中学・高校の理科を復習しておくことが望ましい。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎回の授業内では Google フォームを用いて意見収集・ディスカッションを行う。3 回実施する理解度確認テストは、実施回の次の授業までに採点・コメント付与して GWE Classroom で返却する。さらに次の授業で解説を行う。							
テキスト・教材	必要に応じて、講義内で適宜資料を配布する。							
参考書	必要に応じて、講義内で参考図書を紹介する。							
評価の基準と方法	毎回の授業内課題 30%、理解度確認テスト 3 回分 70%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容	宇宙航空研究開発機構 (JAXA) や民間企業で、惑星探査分野での研究・分析の実務経験あり。これらの実務経験に基づき、地球惑星科学や宇宙・惑星探査と社会との関わりについて講義する。							

科目分類	100-120-11	授業コード	F01040
科目名称	物質と化学	単位数	2.0 単位
英文名称	Substance and Chemistry	授業区分	講義
科目責任者	高橋 大介	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	高橋 大介	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	現代の私たちが日常生活を送る際、多くの科学技術の恩恵を受けている。スマートフォンに代表される電子機器だけでなく、医薬品や化粧品、食料品や服などほぼ全てのモノには、何らかの科学技術が使われている。科学技術の中でも「化学」は身近な分野の一つである。先に挙げた物品だけでなく、自然界のほぼ全てのモノは化学物質の集合体でできている。この講義では「化学」とはどのようなものなのかを、化学の歴史に始まり、原子とはどういうものなのか、どんな風につながることで様々な物質ができていくのかを解説し、日常生活とどのように繋がりがああるかを考えながら学ぶ。		
到達目標	化学に関連する知識を学び、客観的に物事を見る力や説明力を養うことで、実生活で多視点的に物事をみることができるようになり、新たな智慧やヒントを得ることを到達目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	高橋 大介	【第 1 回】 予習：科学と化学の違い 授業：「科学」と「化学」 復習：科学と化学の類似点と違いを理解しまとめる	
2	高橋 大介	【第 2 回】 予習：化学はどのように発展したか 授業：化学の歴史 復習：火の発見から周期表の完成までをまとめる	
3	高橋 大介	【第 3 回】 予習：物質はどんなもので構成されているか 授業：原子とは何か 復習：原子の種類と特長についてまとめる	
4	高橋 大介	【第 4 回】 予習：原子の種類と組み合わせ方 授業：原子の組み換え 1 復習：純物質と混合物についてまとめる	
5	高橋 大介	【第 5 回】 予習：原子の番号と表現方法 授業：原子の組み換え 2 復習：元素記号と化学式についてまとめる	
6	高橋 大介	【第 6 回】 予習：周期表とはどういうものか 授業：周期表 1 復習：原子核や電子殻についてまとめる	
7	高橋 大介	【第 7 回】 予習：化学結合とは 授業：周期表 2 復習：化学結合とイオンについてまとめる	
8	高橋 大介	【第 8 回】 予習：無機とはどういう意味か 授業：無機物質 1 復習：基本的な 6 つの非金属元素についてまとめる	
9	高橋 大介	【第 9 回】 予習：非金属と金属とは 授業：無機物質 2 復習：代表的な 7 つの金属元素についてまとめる	
10	高橋 大介	【第 10 回】 予習：原子を量る方法 授業：物質 1 復習：原子密度や単位などについてまとめる	
11	高橋 大介	【第 11 回】 予習：物質を量る方法 授業：物質 2	

		復習：モル(mol)濃度、理想気体や実体気体についてまとめる						
12	高橋 大介	【第 12 回】 予習：「錆びる」とはどういう状態 授業：酸・塩基 復習：酸化や還元、pH についてまとめる						
13	高橋 大介	【第 13 回】 予習：生物とは何か 授業：有機物 1 復習：無機物と有機物の違いについてまとめる						
14	高橋 大介	【第 14 回】 予習：有機的で複雑な化学物質について 授業：有機物 2 復習：エタノールや水、炭素骨格や立体化学についてまとめる						
15	高橋 大介	【第 15 回】 予習：これまでの「化学」について見直しておく 授業：化学全体の壮観 復習：現在の化学技術や応用事例についてまとめる						
授業開始前学習	高校までの基本的な化学知識があると理解しやすいが、初めて化学に触れる前提で講義を進めていくため、必須ではない。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題の解答例は次回の講義の中で解説する。 質問等は毎回の課題時もしくはガイダンス時に説明する質問方法より適宜受け付ける。 質問の回答は講義中もしくは個別に返信する。							
テキスト・教材	講義資料は電子データや紙媒体で配布するため、特に指定はしない。 講義受講前に化学や物理の教科を履修したことがある場合は、事前に復習しておくとう理解しやすくなる。							
参考書	基本的に講義資料および補助資料と講義中の解説および質問で対応可能であり、 "購入不要"だが、初めてで不安な人は以下の本が参考になる。 左巻健男著『一度読んだら絶対に忘れない化学の教科書』,SB クリエイト ISBN：978-4-8156-1747-9 定価 1,760 円							
評価の基準と方法	課題点：70[%] レポートもしくは試験：30[%] ※課題はほぼ毎回出題する ※「レポートもしくは試験」は 1 回もしくは 2 回の予定 出席：3/4 以上の出席必須 正当理由のない「遅刻早退は 0.5 回、欠席は 1 回」と欠席にカウントする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他	覚えなければいけないものは、最低限に留める。 実社会でほとんどの場合は資料を見て良いように、暗記するのではなく、「理解」を重視する。 できるだけ受講者がわかりやすいような実例を交え、専門用語は極力使わずに進める。 また、高校等で「化学」を履修しておらず、事前知識が無い人でも安心して受講してもらえるよう構成する。 講義の中で生じた質問や意見はいつでも歓迎する。 状況により、授業内容や順序、方法等を変更する可能性がある。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-120-11 (J)		授業コード	F01060
科目名称	色彩と科学		単位数	2.0 単位
英文名称	Chromatics and Science		授業区分	講義
科目責任者	稲葉 隆		必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	稲葉 隆		開講時期	1 年
オフィスアワー	-		研究室	-
授業概要	色彩と人の関わりを、伝達・文化・創造・生活・産業・社会という多面的な視点でとらえ、学ぶ。そのために、知覚・認知心理学をベースとした色彩に関する知識を得るための講義と、実践的な表現技術として身につけるための演習とを毎回繰り返す。			
到達目標	色彩に関する基礎的な知識を学び、配色表現の技術を身につける。それらを生活、創作、実務の場において実践的に活用できるようにする。			
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回	複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容		
1	稲葉 隆	【第 1 回】 予習 : 日常生活においてカラー・デザインがどのような役割を果たしているのかを考える。 授業 : カラー・デザインの目的と役割 テキスト p142 (混色) 復習 : 自分自身の色彩感覚を客観的に把握する。		
2	稲葉 隆	【第 2 回】 予習 : 色が認知できる条件を考える。 授業 : 色彩の物理的・生理的特性 (色が見えるしくみ) テキスト p52 (光と色)、p86 (目の働き) 【実習】 復習 : 光の性質、物の表面の性質、さらに視覚系と脳による認知という一連の流れを理解する。		
3	稲葉 隆	【第 3 回】 予習 : 色の名前にはどのようなものがあるかを調べる。 授業 : 色彩の伝え方 (色名) テキスト p21 (色名)、p9 などの「主なパレット」【実習】 復習 : 色名によるコミュニケーションの長所短所を理解する。		
4	稲葉 隆	【第 4 回】 予習 : 色を整理し記録するための客観的な方法を考える。 授業 : 色彩の分類と表記 (表色系) テキスト p21 (色相とトーン)、p97 (清色と濁色①)、p136-138 (色彩の見方) 【実習】 復習 : マンセル表色系 (色相・明度・彩度) の成り立ちを理解する。		
5	稲葉 隆	【第 5 回】 予習 : 色に関するイリュージョンの事例を調べる。 授業 : 色による視覚的・生理的効果 テキスト p5 (進出色と後退色)、p84 (グレア錯視) 【実習】 復習 : 色による視覚的効果 (対比、同化、恒常性) を整理して理解する。		
6	稲葉 隆	【第 6 回】 予習 : 色によって気持ちが左右されることがあるかを考える。 授業 : 色彩の心理的効果 (色彩感情) テキスト p116 (清色と濁色②)、p134-135 (配色を印象によって整理する) 【実習】 復習 : 色が喚起する情緒的な印象を色の 3 属性との関連で考察する。		
7	稲葉 隆	【第 7 回】 予習 : 自然の中に見られる美しく、心地よい色の秩序について調べる。 授業 : 色彩構成の基礎 (配色調和) テキスト p28 (ナチュラルハーモニー)、p29 (色相対比)、p128 (色相同士の関係)、p142 (配色調和の原理) 【実習】 復習 : 色彩が調和する基本条件を整理する。		
8	稲葉 隆	【第 8 回】 予習 : 複数の色相、あるいは複数のトーンで構成された配色の事例を探す。 授業 : 配色表現の基本技法①色相とトーン テキスト p35 (配色の色数)、p140 (カラーパレットを作る) 【実習】 復習 : 配色のための色の選択方法の原則を理解し、実際に配色を作成する。		
9	稲葉 隆	【第 9 回】 予習 : 色相あるいはトーンが徐々に変化するように並べられた配色の事例を探す。 授業 : 配色表現の基本技法②セパレーションとグラデーション テキスト p10 (2 つのグラデーション)、p20 (グラデーション×セパレーション)、141 (色を配列・構成する) 【実習】 復習 : 選択した色の配置方法の原則を理解し、実際に配色を作成する。		

10	稲葉 隆	【第10回】 予習：ポスターやパッケージの色使いからどのような感性的な印象が感じられるかを考える。 授業：配色表現の基本技法③イメージ表現 テキスト p24（季節を配色で表現する）、p40（感情と配色）、p134-135（配色を印象によって整理する） 【実習】 復習：配色によるイメージ表現の重要性を認識し、テーマ別に配色を作成する。						
11	稲葉 隆	【第11回】 予習：自分と他者（家族や友人）の色の好みの共通点と相違点を考える。 授業：色彩嗜好 テキスト p133（イラスト作品に学ぶ配色構成の考え方） 【実習】 復習：グローバルにみた日本人の色彩嗜好の特徴を整理し考察する。						
12	稲葉 隆	【第12回】 予習：ファッションにおける魅力的なカラー表現の事例を探す。 授業：カラー・コーディネート(ファッション) テキスト p129（色と形の調和によるエレガントさ）、p132（人物と背景の対比と同化） 【実習】 復習：カラー・コーディネートの基本的な考え方を理解し、実際に試みる。						
13	稲葉 隆	【第13回】 予習：身近な製品で用いられているカラー・バリエーションの事例を調べる。 授業：カラー・バリエーション（プロダクト） テキスト p51（カラーバリエーションの狙い）、p78（清潔感溢れる質感の表現） 【実習】 復習：目的に適した製品の色ぞろえの方法を理解した上で、色と質感・素材感の関係について整理する。						
14	稲葉 隆	【第14回】 予習：自宅や店舗の室内空間が、どのような色の製品によって構成されているかを調べる。 授業：カラー・プランニング（インテリア） テキスト p14（面積比率を考慮した配色計画） 【実習】 復習：暮らしを豊かにするインテリア空間のスタイルを整理し考察する。						
15	稲葉 隆	【第15回】 予習：日本らしい色彩について調べる。 授業：文化としてのカラー・デザイン テキスト p45（色で情報を伝える）、p86（目の働き） 【実習】 復習：カラー・ユニバーサル・デザインの事例を探し、その効果が有効か否かを考える。						
授業開始前学習	生活の中で、普段は何気なく目にしていく「色」をできるだけ意識して見ること。							
授業内課題のフィードバックの方法	色彩教材『配色用色紙ロング（195mm）』を使った 演習課題などについて随時講評する。							
テキスト・教材	『人気絵師の作品から学ぶ配色で生み出す物語』（玄光社） 『配色用色紙ロング（195mm）』（日本カラーデザイン研究所）							
参考書	『配色手帳 増補・新版』（玄光社） 『人気絵師の作品から学ぶ配色のヒミツ』（玄光社）							
評価の基準と方法	各回の講義への積極的な参加と演習課題 65%、総合演習課題（第10回を予定） 35%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他	1) 色彩教材『配色用色紙ロング（195mm）』は教科書販売期間に必ず入手しておくこと。基本的に個人向け販売されていない教材であり、これがないと演習課題が作成できないので注意する。 2) 以下のものを毎回授業で使用するので準備すること。①色彩教材『配色用色紙ロング（195mm）』、②はさみ、③スティックタイプの固形のり、④筆記具（多色のボールペン、色鉛筆、マーカーなど）、⑥教科書『人気絵師の作品から学ぶ配色で生み出す物語』 3) デジタル色彩演習では PowerPoint（Microsoft）を使用する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	プロダクト、建築、ブランドなど様々な分野の色彩計画業務をおこなっている。それらの実務経験を生かした講義と実践的な演習をおこなう。							

科目分類	100-120-11	授業コード	F01070
科目名称	統計の基礎	単位数	2.0 単位
英文名称	Basic Statistics	授業区分	講義
科目責任者	田端 章明	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	田端 章明	開講時期	1・2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	この授業では統計学のなかでも、より基礎的な「記述統計学」の習得をテーマとします。 記述統計学の狙いは、与えられたデータを、特徴がわかりやすくなるようにまとめることです。この授業では平均値のような単純なまとめ方からスタートして、より高度なまとめ方までを段階的に勉強していきます。		
到達目標	記述統計学の基礎を理解し、目的に応じてデータを適切にまとめ、知見を引き出せるようになること。これを到達目標とします。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	田端 章明	【第 1 回】 予習 : このシラバスを読んでおくこと 授業 : 記述統計学とは何か 復習 : シラバスと初回の授業を手がかりに、自分はこの授業を履修すべきかについて熟考すること	
2	田端 章明	【第 2 回】 予習 : 「次回予告レジュメ (1)」を読んでおくこと 授業 : 1 変数の統計的分析 (1) 代表値と散布度 復習 : わからなかったところを解決しておくこと (自力で解決できなかったところは質問すること。以下、同様)	
3	田端 章明	【第 3 回】 予習 : 「次回予告レジュメ (2)」を読んでおくこと 授業 : 1 変数の統計的分析 (2) 標準化得点と偏差値、変動係数 復習 : わからなかったところを解決しておくこと	
4	田端 章明	【第 4 回】 予習 : 授業内課題に向けて、復習をしておくこと 授業 : ここまでのまとめと授業内課題 (1) 1 変数の統計的分析について 復習 : 問題用紙を見ながら、自分の解答についてふりかえること	
5	田端 章明	【第 5 回】 予習 : 「次回予告レジュメ (3)」を読んでおくこと 授業 : 2 変数の統計的分析 (1) 共分散と相関係数 復習 : わからなかったところを解決しておくこと	
6	田端 章明	【第 6 回】 予習 : 「次回予告レジュメ (4)」を読んでおくこと 授業 : 2 変数の統計的分析 (2) 相関関係と因果関係 復習 : わからなかったところを解決しておくこと	
7	田端 章明	【第 7 回】 予習 : 授業内課題に向けて、復習をしておくこと 授業 : ここまでのまとめと授業内課題 (2) 相関係数について 復習 : 問題用紙を見ながら、自分の解答についてふりかえること	
8	田端 章明	【第 8 回】 予習 : 「次回予告レジュメ (5)」を読んでおくこと 授業 : 量的変数と質的変数の違い、4 つの尺度の区別 復習 : わからなかったところを解決しておくこと	
9	田端 章明	【第 9 回】 予習 : 「次回予告レジュメ (6)」を読んでおくこと 授業 : 2 変数の統計的分析 (3) 2×2 のクロス表の関連性指標 復習 : わからなかったところを解決しておくこと	
10	田端 章明	【第 10 回】 予習 : 「次回予告レジュメ (7)」を読んでおくこと 授業 : 2 変数の統計的分析 (4) 2×2 より大きなクロス表の関連性指標 復習 : わからなかったところを解決しておくこと	
11	田端 章明	【第 11 回】 予習 : 授業内課題に向けて、復習をしておくこと 授業 : ここまでのまとめと授業内課題 (3) クロス表について 復習 : 問題用紙を見ながら、自分の解答についてふりかえること	

12	田端 章明	【第12回】 予習：「次回予告レジュメ(8)」を読んでおくこと 授業：3変数の統計的分析(1) 多重クロス表の読み方 復習：わからなかったところを解決しておくこと							
13	田端 章明	【第13回】 予習：「次回予告レジュメ(9)」を読んでおくこと 授業：3変数の統計的分析(2) 偏相関係数 復習：わからなかったところを解決しておくこと							
14	田端 章明	【第14回】 予習：授業内課題に向けて、復習しておくこと 授業：ここまでのまとめと授業内課題(4) 3変数の統計的分析について 復習：問題用紙を見ながら、自分の解答についてふりかえること							
15	田端 章明	【第15回】 予習：この回は、予習は不要 授業：記述統計学から推測統計学へ 復習：期末試験に向けて、勉強すること							
授業開始前学習									
授業内課題のフィードバックの方法		授業内課題は翌週の授業で返却し、問題について解説します。							
テキスト・教材		テキストは指定しません。代わりに授業内容をまとめたレジュメを配布します。							
参考書		参考書は折に触れて紹介します。							
評価の基準と方法		コメントシート(30点満点)、授業内課題(40点満点)、期末試験(30点満点)で評価します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○				◎	○	○	△
関連科目		同じ講師による後期開講科目「統計の応用」では、統計学のもう1つの柱である「推測統計学」について学びます。							
その他		授業での計算には電卓を使います。8ケタ以上表示でき、平方根(ルート)の計算ができる電卓を用意してください。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-120-11	授業コード	F01080
科目名称	統計の応用	単位数	2.0 単位
英文名称	Applied Statistics	授業区分	講義
科目責任者	田端 章明	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	田端 章明	開講時期	1・2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	<p>同じ講師による「統計の基礎」の続編です。授業のテーマは「推測統計学のエッセンスに触れる」です。「推測統計学」とは、「限られたデータをもとにして、未知のデータも含む全体の傾向を推し測る（おしはかる）」ことを目的とした統計学です。</p> <p>最初の数週は基礎固めとして記述統計学について、推測統計学を学ぶのに必要な範囲を学習します。その後、推測統計学の主要な役割である、「統計的推定」と「統計的検定」について、じっくりと学習します。</p>		
到達目標	推測統計学の基礎を理解し、統計データを目にしたときに「この結果は統計的に意味があるのか」という判断ができるようになること。これを到達目標とします。		
アクティブ・ラーニング型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	田端 章明	<p>【第 1 回】</p> <p>予習 : このシラバスを読んでおくこと</p> <p>授業 : 推測統計学とは何か</p> <p>復習 : 「自分にとってこの授業がプラスになるかどうか」を熟慮したうえで、履修を決めること</p>	
2	田端 章明	<p>【第 2 回】</p> <p>予習 : 「次回予告レジュメ (1)」を読んでおくこと</p> <p>授業 : 記述統計学の復習 (1) : 代表値と分散度</p> <p>復習 : 授業でわからなかったところを解決すること (解決できない疑問は質問すること。以下、同様)</p>	
3	田端 章明	<p>【第 3 回】</p> <p>予習 : 「次回予告レジュメ (2)」を読んでおくこと</p> <p>授業 : 記述統計学の復習 (2) : 標準化得点と変動係数</p> <p>復習 : 授業でわからなかったところを解決すること</p>	
4	田端 章明	<p>【第 4 回】</p> <p>予習 : 授業内課題に向けて、今までの内容を復習しておくこと</p> <p>授業 : ここまでのまとめと授業内課題 (1) : 記述統計学のまとめと課題</p> <p>復習 : 今までのレジュメを参照しながら、「自分の答えはあれでよかったか」とふりかえること</p>	
5	田端 章明	<p>【第 5 回】</p> <p>予習 : 「次回予告レジュメ (3)」を読んでおくこと</p> <p>授業 : 推測統計学 (1) : 確率分布とは何か</p> <p>復習 : 授業でわからなかったところを解決すること</p>	
6	田端 章明	<p>【第 6 回】</p> <p>予習 : 「次回予告レジュメ (4)」を読んでおくこと</p> <p>授業 : 推測統計学 (2) : 確率分布表のしくみと使い方</p> <p>復習 : 授業でわからなかったところを解決しておくこと</p>	
7	田端 章明	<p>【第 7 回】</p> <p>予習 : 授業内課題に向けて、関係する内容を復習しておくこと</p> <p>授業 : ここまでのまとめと授業内課題 (2) : 確率分布のまとめと課題</p> <p>復習 : 今までのレジュメを参照しながら、「自分の答えはあれでよかったか」とふりかえること</p>	
8	田端 章明	<p>【第 8 回】</p> <p>予習 : 「次回予告レジュメ (5)」を読んでおくこと</p> <p>授業 : 推測統計学 (3) : 統計的推定の方法 1 (標準化正規分布を使った平均値の区間推定)</p> <p>復習 : 授業でわからなかったところを解決しておくこと</p>	
9	田端 章明	<p>【第 9 回】</p> <p>予習 : 「次回予告レジュメ (6)」を読んでおくこと</p> <p>授業 : 推測統計学 (4) : 統計的推定の方法 2 (t 分布を使った平均値の区間推定)</p> <p>復習 : 授業でわからなかったところを解決しておくこと</p>	
10	田端 章明	<p>【第 10 回】</p> <p>予習 : 授業内課題に向けて、関係する内容を復習しておくこと</p> <p>授業 : ここまでのまとめと授業内課題 (3) : 統計的推定のまとめと課題</p> <p>復習 : 今までのレジュメを参照しながら、「自分の答えはあれでよかったか」とふりかえること</p>	
11	田端 章明	<p>【第 11 回】</p> <p>予習 : 「次回予告レジュメ (7)」を読んでおくこと</p> <p>授業 : 推測統計学 (5) : 統計的検定の発想としくみ</p>	

		復習：授業でわからなかったところを解決しておくこと						
12	田端 章明	【第12回】 予習：「次回予告レジュメ(8)」を読んでおくこと 授業：推測統計学(6)：統計的検定の方法1(カイ2乗検定) 復習：授業でわからなかったところを解決しておくこと						
13	田端 章明	【第13回】 予習：「次回予告レジュメ(9)」を読んでおくこと 授業：推測統計学(7)：統計的検定の方法2(t検定) 復習：授業でわからなかったところを解決しておくこと						
14	田端 章明	【第14回】 予習：授業内課題に向けて、関係する内容を復習しておくこと 授業：ここまでのまとめと授業内課題(4)：統計的検定のまとめと課題 復習：今までのレジュメを参照しながら、「自分の答えはあれでよかったか」とふりかえること						
15	田端 章明	【第15回】 予習：この回は予習は不要 授業：より高度な統計的分析に向けて 復習：期末試験に向けて勉強すること						
授業開始前学習	前期開講科目の「統計の基礎」を履修しないでのこの科目を履修する場合には、記述統計学の基礎(平均値・分散・標準偏差・標準化得点など)について勉強しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内課題は翌週の授業で返却し、問題について解説します。							
テキスト・教材	テキストは指定しません。代わりに授業の流れをまとめたレジュメを配布します。							
参考書	参考書は折に触れて紹介します。							
評価の基準と方法	コメントシート(30点満点)、授業内課題(40点満点)、期末試験(30点満点)で評価します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○				◎	○	○	△
関連科目	同じ講師による前期開講科目「統計の基礎」では、統計学のもう1つの柱である「記述統計学」について学びます。							
その他	授業での計算には電卓を使います。8ケタ以上表示でき、平方根(ルート)の計算ができる電卓を用意してください。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間(2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間(4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-131-21	授業コード	F01610						
科目名称	ボランティア実習 I	単位数	1.0 単位						
英文名称	Volunteer Practice I	授業区分	演習・実習・実技						
科目責任者	臼井 実穂子	必修・選択	履修ガイド参照						
担当教員	臼井 実穂子	開講時期	1 年						
オフィスアワー	前期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10 後期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10	研究室	10-705						
授業概要	学外に人の輪を広げよう 国内（地域）ボランティア：駒沢学園女子中学・高等学校において教育ボランティア、稲城市および近隣地域の施設などで、地元密着型のボランティア活動をおこなう。								
到達目標	履修者が将来、国際社会、地域社会において有用な人材になる第一歩となることを目標とする。								
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	1 回	複数教員の場合の 授業形態					
授業 回数	担当者	授業の内容							
1	臼井 実穂子	<p>本実習に該当する海外・地域ボランティアは以下を想定している。 海外ボランティア：休暇中に、履修者自身で選んだ学外の団体が行う海外ボランティアに2週間以上参加する。 地域ボランティア：地域に貢献するボランティアに定期的もしくは複数回参加する（45 時間以上）</p> <p>課題学習と単位取得条件 海外ボランティア：①事前に担当教員と面談 ②事前にボランティア活動届を学生支援課に提出 ③参加証明書の提出 ④危機管理ガイダンスへの参加 ⑤ボランティア活動記録（ポータルサイトよりダウンロード）もしくは4000字程度のレポートの提出</p> <p>国内ボランティア：①担当教員による個別ガイダンスを受ける ②事前に担当教員と面談 ③事前にボランティア活動届を学生支援課に提出 ④ボランティア活動記録（ポータルサイトよりダウンロード）の提出</p>							
授業開始前学習	ポータルサイトの学生支援課のボランティア活動に関する注意事項を必ず確認すること								
授業内課題のフィードバックの方法	科目の性質上、通常の講義科目とは異なるため、提出されるボランティア活動記録によることになる								
テキスト・教材	ポータルサイトの学生支援課のボランティアに関する注意事項								
参考書	適宜指示する								
評価の基準と方法	単位取得条件を全てクリアした上で、活動記録（海外ボランティア活動の場合はレポートも可）により評価								
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける	社会的責務を果たすことの できる専門力と判断力を身 につける	文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける					
学修指針	教養力	人間性	コミュニケ ーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力	
科目の該当	△	○	△			△		○	
関連科目	特になし								
その他	【重要】 ・科目登録を確定した時点で必ず、臼井研究室（10-705）を訪ねてください。								

	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動届を学生支援課にボランティア活動開始前に必ず提出してください。 ・ボランティア活動届およびボランティア活動記録については、大学のポータルサイトに書式があります。 ・履修者のボランティア活動中の事故等について、責任を負うものではありません。
<p>予習・復習の 所要時間</p>	<p>講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）</p>
<p>実務経験を活かした 教育内容</p>	

科目分類	100-131-22		授業コード	F01620				
科目名称	ボランティア実習Ⅱ		単位数	2.0 単位				
英文名称	Volunteer Practice II		授業区分	演習・実習・実技				
科目責任者	臼井 実穂子		必修・選択	履修ガイド参照				
担当教員	臼井 実穂子		開講時期	2 年				
オフィスアワー	前期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10 後期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10		研究室	10-705				
授業概要	<p>本科目はボランティア実習Ⅰの履修後、さらに同種の活動を行おうとする学生が対象である。</p> <p>海外ボランティア 海外におけるボランティア活動を通して、履修者が多種多様な文化や習慣の違いを受け入れ、将来、国際社会のなかで生き抜く術を学ぶ。</p> <p>国内ボランティア 稲城市および近隣地域の施設などで、地元と密着型のボランティア活動を中心に行う。</p>							
到達目標	履修者が将来、国際社会、地域社会において有用な人材になる第一歩になることを目標とする							
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	1 回	複数教員の場合の 授業形態				
授業 回数	担当者		授業の内容					
1	臼井 実穂子		<p>本実習に該当する海外・地域ボランティアは以下を想定している。</p> <p>海外ボランティア：休暇中に、履修者自身で選んだ学外の団体が行う海外ボランティアに2週間以上参加する。 地域ボランティア：地域に貢献するボランティアに定期的もしくは複数回参加する（45時間以上）</p> <p>課題学習と単位取得条件 海外ボランティア：①事前に担当教員と面談 ②事前にボランティア活動届を学生支援課に提出 ③参加証明書の提出 ④危機管理ガイダンスへの参加 ⑤ボランティア活動記録（ポータルサイトよりダウンロード）もしくは4000字程度のレポートの提出</p> <p>国内ボランティア：①担当教員による個別ガイダンスを受ける ②事前に担当教員と面談 ③事前にボランティア活動届を学生支援課に提出 ④ボランティア活動記録（ポータルサイトよりダウンロード）の提出</p>					
授業開始前学習	ポータルサイトの学生支援課のボランティア活動に関する注意事項を必ず確認すること。							
授業内課題のフィードバックの方法	科目の性質上、ボランティア活動記録を活用する							
テキスト・教材	ポータルサイトの学生支援課のボランティア活動に関する注意事項							
参考書	特になし							
評価の基準と方法	単位取得条件を全てクリアした上で、活動記録（海外ボランティア活動の場合はレポートも可）により評価							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける	社会的責務を果たすことの できる専門力と判断力を身 につける	文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケ ーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	△	○	△			△		○
関連科目								

<p>その他</p>	<p>【重要】科目登録を確定した時点で必ず、臼井研究室（10-705）を訪ねてください。 ボランティア実習 I の単位取得者を対象とします。（段階科目） ボランティア活動届を学生支援課にボランティア活動開始前に必ず提出してください。 ボランティア活動届およびボランティア活動記録については、大学のポータルサイトに書式があります。 履修者のボランティア活動中の事故等について、責任を負うものではありません。</p>
<p>予習・復習の 所要時間</p>	<p>講義時間 60 時間 + 予習・復習時間 30 時間（2 時間×15 週）</p>
<p>実務経験を活かした 教育内容</p>	

科目分類	100-130-21	授業コード	F01630						
科目名称	海外英語研修 I	単位数	2.0 単位						
英文名称	English Training Abroad I	授業区分	演習・実習・実技						
科目責任者	松山 響子	必修・選択	履修ガイド参照						
担当教員	浅川・工藤(俊)・中野・福王・ブライアン・プラザ・松山	開講時期	1 年						
オフィスアワー	－	研究室	－						
授業概要	オーストラリアないしはニュージーランドにおいて 2 週間ホームステイをしながら、大学あるいは語学学校に通学し、英語の研修を受けます。研修を通して海外での生活や異文化に触れ、言語ばかりでなく総合的なコミュニケーションスキルの習得を目標にしています。こうした体験を通してあらためて英語学習に対する動機を自分に問い直し、帰国後も語学習得に興味関心をもって臨めるようにしましょう。								
到達目標	英語の環境に身を置くことで、運用能力を高める。相手の意図を聞き取り、自分の意思を伝えることができる。ホームステイにより、現地の生活を実際に体験し、異文化を知る。								
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回	複数教員の場合の授業形態					
授業回数	担当者	授業の内容							
1	浅川・工藤(俊)・中野・福王・ブライアン・プラザ・松山	<p>研修そのもの実施は 2023 年 2 月中旬以降約 2 週間、予定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南半球における 2 月は夏であるため、充実した海外体験が可能であると考えています。 ・1 家庭につき日本人学生 1 名のみで 2 週間ホームステイすることになっています。 ・大学や語学学校へ通学しながら異文化を体験することとなります。 ・オーストラリアやニュージーランドの歴史や文化、地理といった講義も展開されます。 ・現地の人との交流や観光地への小旅行など、アクティビティも予定されています。 ・尚、帰国後レポート提出が求められます。 							
授業開始前学習	数回にわたり実施される説明会に必ず出席すること。								
授業内課題のフィードバックの方法	語学学校の指定に従って授業課題を終了すること。								
テキスト・教材	現地の語学学校にて配布されます。								
参考書									
評価の基準と方法	説明会への出席、現地の学校の成績、そして帰国後に提出されるレポートで成績を判断します。特に後期に開催される説明会には必ず出席のこと、出席が難しい場合は担当教員と要相談をしてください。								
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける					
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力	
科目の該当			◎				△	○	
関連科目	必修英語 A・B：海外での英語研修において必要とされる総合的な英語力を、当該授業で修得するため。 英会話 I・II：海外生活で必要とされる英語でのコミュニケーション能力を、当該授業で修得するため。								
その他	参加にあたっては別途費用がかかります。受け身ではなく、自分から積極的に行動することが、海外研修を成功に導くカギです。 履修対象：1 年生～3 年生								
予習・復習の所要時間	講義時間 60 時間 + 予習・復習時間 30 時間（2 時間×15 週）								
実務経験を活かした教育内容									

海外英語研修Ⅱ

科目分類	100-130-22	授業コード	F01640
科目名称	海外英語研修Ⅱ	単位数	2.0 単位
英文名称	English Training Abroad Ⅱ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	松山 響子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	浅川・工藤(俊)・中野・福王・ブライアン・プラザ・松山	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	オーストラリアないしはニュージーランドにおいて 2 週間ホームステイをしながら、大学あるいは語学学校に通学し、英語の研修を受けます。研修を通して海外での生活や異文化に触れ、言語ばかりでなく総合的なコミュニケーションスキルの習得を目標にしています。こうした体験を通してあらためて英語学習に対する動機を自分に問い直し、帰国後も語学習得に興味関心をもって臨めるようにしましょう。		
到達目標	英語の環境に身を置くことで、運用能力を高める。相手の意図を聞き取り、自分の意思を伝えることができる。ホームステイにより、現地の生活を実際に体験し、異文化を知る。		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	浅川・工藤(俊)・中野・福王・ブライアン・プラザ・松山	<p>研修そのもの実施は 2023 年 2 月中旬以降約 2 週間、予定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南半球における 2 月は夏であるため、充実した海外体験が可能であると考えています。 ・1 家庭につき日本人学生 1 名のみで 2 週間ホームステイすることになっています。 ・大学や語学学校へ通学しながら異文化を体験することとなります。 ・オーストラリアやニュージーランドの歴史や文化、地理といった講義も展開されます。 ・現地の人との交流や観光地への小旅行など、アクティビティも予定されています。 ・尚、帰国後レポート提出が求められます。 	
授業開始前学習	数回にわたり実施される説明会に必ず出席すること。		
授業内課題のフィードバックの方法	語学学校の指定に従って授業課題を終了すること。		
テキスト・教材	現地の語学学校にて配布されます。		
参考書			
評価の基準と方法	説明会への出席、現地の学校の成績、そして帰国後に提出されるレポートで成績を判断します。特に後期に開催される説明会には必ず出席のこと、出席が難しい場合は担当教員と要相談をしてください。		
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける
	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける		
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力
			社会性
			専門力
			判断力
			技術力
			実践力
科目の該当			◎
			△
			○
関連科目	必修英語 A・B：海外での英語研修において必要とされる総合的な英語力を、当該授業で修得するため。 英会話Ⅰ・Ⅱ：海外生活で必要とされる英語でのコミュニケーション能力を、当該授業で修得するため。		
その他	参加にあたっては別途費用がかかります。受け身ではなく、自分から積極的に行動することが、海外研修を成功に導くカギです。 履修対象：1 年生～3 年生		
予習・復習の所要時間	講義時間 60 時間 + 予習・復習時間 30 時間（2 時間×15 週）		
実務経験を活かした教育内容			

科目分類	100-130-22	授業コード	F01650
科目名称	国際協力実習	単位数	1.0 単位
英文名称	International Cooperation Practice	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	臼井 実穂子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	臼井 実穂子	開講時期	2 年
オフィスアワー	前期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10 後期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10	研究室	10-705
授業概要	グローバル化が進展し、世界が緊密になりつつある昨今、国際協力は幅広い意味を持ち、その手法も多様化している。国際協力実習では、特に途上国での開発支援を念頭に、協力の現場である現地を訪ね、社会・経済状況を視察し、人々と交流を行いながら、自ら国際協力を実践し、国際協力の難しさや意義などを体感することを目的とする。 前期は訪問国についての情報収集、実習の準備と実習を中心とし、ディスカッションやプレゼンテーションによりコミュニケーション力を高め、国際協力への理解を深めます。		
到達目標	①訪問国について、歴史や社会・経済情勢、日本との関係など基本的な知識を得る。 ②訪問国の人々と積極的に交流する。 ③国際協力実習後は、引率なしでスタディツアーや海外ボランティアなどに参加することができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	7 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	臼井 実穂子	【第 1 回】 予習 : 国際協力実習に参加する目的を明確にする。 授業 : 実習についての説明と各種準備の作業工程の確認 復習 : 授業を踏まえ、自分なりの実習目的・目標を設定する。	
2	臼井 実穂子	【第 2 回】 予習 : 海外ボランティアなどに関する情報を収集する。 授業 : 学生ができる国際協力 復習 : 授業を参考に国際協力実習で取り入れたい活動を考える。	
3	臼井 実穂子	【第 3 回】 予習 : これまでの「国際協力実習」の記録を読む。 授業 : 実習内容・各種視察報告を検討 (ディスカッション) 復習 : 実習の具体的なイメージをつかむ。	
4	臼井 実穂子	【第 4 回】 予習 : 訪問国についての情報を収集する。 授業 : 訪問国に関する調査 復習 : 調査内容をまとめる。	
5	臼井 実穂子	【第 5 回】 予習 : 発表の準備をする。 授業 : 訪問国についてのプレゼンテーション 復習 : プレゼンテーション資料を読み直し、訪問先についての理解を深める。	
6	臼井 実穂子	【第 6 回】 予習 : 交流を具体的にイメージし、どのような準備をすべきか考える。 授業 : 交流活動の準備 復習 : 必要な資機材を調達する。	
7	臼井 実穂子	【第 7 回】 予習 : 日程案・活動内容を確認する。 授業 : 実習の最終打ち合わせ (役割分担の確認など) 復習 : 実習の最終準備を行う。	
授業開始前学習	政府開発援助 (ODA) のしくみや途上国の現状などに関心を持ち、ニュースや新聞に日ごろから触れておく。		
授業内課題のフィードバックの方法	リアクションペーパーを用い、個別の質問等に回答する。		
テキスト・教材	プリントなどを配布する。		
参考書	適宜指示する。大学図書館にモンゴル本コーナーがある。		
評価の基準と方法	事前課題及びプレゼンテーションへの取り組み (20%)、準備やスタディツアー中の知的貢献・積極的な取り組み (50%)、実習報告書 (30%) などにより総合的に判断する。		

ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	△	○	△			△		
関連科目	ボランティア実習							
その他	<p>（注意）新型コロナウイルス感染症の感染（日本及び訪問先）などで人の移動に制限がある場合は、参加者の安全が確保できないため、実習は行わない（授業を開講しない）。</p> <p>後期の国際協力実習フォローアップ／国際協力実習Ⅱも必ず履修すること。</p> <p>最初の授業と事前説明会（授業と異なる曜日・時間の場合あり）に必ず出席すること。</p> <p>実習実施国はモンゴルとし、8月下旬～9月上旬の6日間の実施予定する。旅行費用は18～20万円程度の予定（為替変動・航空運賃で異なる）。</p> <p>海外での実習が目的のため、実習不参加の場合は単位は付与しない。</p>							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-12	授業コード	F01660
科目名称	国際協力実習フォローアップ	単位数	2.0 単位
英文名称	International Cooperation Practice Follow	授業区分	講義
科目責任者	臼井 実穂子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	臼井 実穂子	開講時期	2 年
オフィスアワー	前期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10 後期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10	研究室	10-705
授業概要	グローバル化が進展し、世界が緊密になりつつある昨今、国際協力は幅広い意味を持ち、様々な手法で実施されている。国際協力実習では、特に途上国での開発支援を念頭に、実際に協力の現場である現地を訪ね、社会・経済状況を視察し、人々と交流を行いながら、自ら国際協力を実践し、国際協力の難しさや意義などを体感することを目的とする。後期は実習後の報告活動を中心とします。		
到達目標	①視察を踏まえ、今後国際協力やボランティア活動にどのように関与すべきか、自分の意見を述べることができる。 ②実習成果の発表内容や発表方法について、学生主体で企画・準備し、報告を行う。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	臼井 実穂子	【第 1 回】 予習：実習時のメモなどを振り返り、報告事項をまとめ、訪問先への礼状を作成する。 授業：授業内での報告会 復習：授業後半での報告会での発表方法について検討する。	
2	臼井 実穂子	【第 2 回】 予習：実習時の写真を整理し、展示用の候補写真を選ぶ。 授業：りんどう祭写真展の準備（写真の選別）（グループワーク） 復習：選別された写真をテーマごとにまとめる。	
3	臼井 実穂子	【第 3 回】 予習：予習：写真に付すコメントを考える（課題 1）。 授業：りんどう祭写真展の準備（コメントの調整）（グループワーク） 復習：写真とコメントをどのように配置するか考える。	
4	臼井 実穂子	【第 4 回】 予習：りんどう祭の準備をする。 授業：りんどう祭写真展 復習：来訪者のコメントや反応を共有する。	
5	臼井 実穂子	【第 5 回】 予習：実習時に集めた資料を整理する。 授業：報告方法と作業工程の検討・報告資料の整理 復習：授業内で確認した方法と行程に基づき、報告の準備を進める。	
6	臼井 実穂子	【第 6 回】 予習：どのような報告書を作成するか考える。 授業：報告書の内容の精査と分担の決定 復習：報告書に盛り込むべき内容を精査する。	
7	臼井 実穂子	【第 7 回】 予習：自分の担当ページの構成を考える（課題 2）。 授業：報告書の作成（活動報告） 復習：出来上がったページを読み直し、誤字脱字がないか確認する。	
8	臼井 実穂子	【第 8 回】 予習：自分の担当ページの構成を考える（課題 3）。 授業：報告書の作成（その他関連項目） 復習：出来上がったページを読み直し、誤字脱字がないか確認する。	
9	臼井 実穂子	【第 9 回】 予習：自分の担当ページの構成を考える（課題 4）。 授業：報告書の作成（実習を終えて） 復習：出来上がったページを読み直し、誤字脱字がないか確認する。	
10	臼井 実穂子	【第 10 回】 予習：これまでに作成したページを確認する。 授業：報告書の作成（各自の作業の統合） 復習：統合版の報告書の分量・内容が適切か確認する。	
11	臼井 実穂子	【第 11 回】 予習：報告書を読んでおく。 授業：報告書の校正・全体の調整	

		復習：授業で指摘された部分を修正する。						
12	白井 実穂子	【第12回】 予習：報告会に向けてどのような作業が必要か考える。 授業：報告会の準備 復習：報告会で使用する資料を最終確認する。						
13	白井 実穂子	【第13回】 予習：報告会の準備を行う（具体的な流れを頭に入れておく）。 授業：報告会実施に向けた打ち合わせ 復習：授業内の検討を振り返り、報告会に備える。						
14	白井 実穂子	【第14回】 予習：報告会の最終準備を行う。 授業：報告会（発表） 復習：報告会での質問や参加者の反応など、気づきの点をまとめる。						
15	白井 実穂子	【第15回】 予習：：実習及び報告会を振り返り、何を学んだかをまとめておく。 授業：国際協力実習の総括 復習：実習を経て、今後どのように国際協力に関わっていきたいか考える						
授業開始前学習	訪問国や国際協力について引き続き関心を持ち、ニュースなどをフォローしておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	適宜実施する。提出後の授業内でコメントやアドバイスをを行い、個別の質問等に回答する。							
テキスト・教材	プリントなどを配布する。							
参考書	適宜指示するが、大学図書館にはモンゴル本コーナーがある。							
評価の基準と方法	写真展の準備や報告書作成（課題1～4を含む）への知的貢献（60%）、報告会への積極的関与（40%）などにより総合的に判断する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	△	○	△	◎		△		
関連科目	国際貢献論、海外協力論、ボランティア実習							
その他	「国際協力実習／国際協力実習Ⅰ」を履修済みの学生のみ履修可。 学生が実習中に撮影した写真をもとに、りんどう祭で写真展を行う予定です。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-11 (J)	授業コード	F01671
科目名称	進路設計	単位数	2.0 単位
英文名称	Career Planning	授業区分	講義
科目責任者	新井 香子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	新井 香子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	本授業は、社会に羽ばたく準備として「キャリア（生き方や働き方）」を学ぶことが大きなテーマとなります。自分らしく生きるための考え方、目標をたて、行動するきっかけを作ります。自分のこと、取り巻く社会や生き方の多様性を知り対話を通じて今後の就職活動にむけての準備をしていきます。授業の序盤では主に自分の興味や価値観や大事にしていることを見つけ、一緒に学ぶ仲間との価値観を知ることで考え方の多様性を理解します。その後現代社会の状況理解、業種・職種・働き方などのさまざまな知識を習得し、後半では職業人に対するインタビューを実施しレポートに纏めることで職業理解を深めます。授業は「講義」⇒「個人ワーク」⇒「ディスカッション」「グループワーク」「発表」などを組み合わせアクティブラーニングで行います。		
到達目標	「自分を知る、他者を知る、社会を知る」という3つのアプローチから、進路の明確化や働くことへの意欲の向上、自らのキャリアを考える機会を持つことを目標とします。		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	新井 香子	【第1回】 予習：学科シラバスに目を通しておくこと 授業：授業イントロダクション & キャリアデザインってなんだろう？（グループワーク、ディスカッション） 復習：授業時間内に明示	
2	新井 香子	【第2回】 予習：コミュニケーションするってなに？－授業時間内に明示 授業：人間関係づくり（グループワーク、実習） 復習：授業時間内に明示	
3	新井 香子	【第3回】 予習：自分を発見しよう－授業時間内に明示（資料配布など） 授業：自分を発見しよう（グループワーク、ディスカッション） 復習：授業時間内に明示	
4	新井 香子	【第4回】 予習：時間とお金について学ぶ－授業時間内に明示（資料配布など） 授業：時間とお金について学ぶ（グループワーク、ディスカッション） 復習：授業時間内に明示	
5	新井 香子	【第5回】 予習：「働く」をとりまく法について学ぶ－授業時間内に明示（資料配布など） 授業：法について学ぶ（グループワーク、ディスカッション） 復習：授業時間内に明示	
6	新井 香子	【第6回】 予習：職業人インタビュー事前学習(インタビュー記事を検索してくる) 授業：職業人インタビュー計画書作成（グループワーク・実習） 復習：授業時間内に明示	
7	新井 香子	【第7回】 予習：身近なもの（好きなもの）から職業を考える 授業：社会を知る① 社会のつながりと多様な職業を知る（グループワーク、プレゼンテーション） 復習：授業時間内に明示	
8	新井 香子	【第8回】 予習：業種&職業調査 授業：社会を知る② 業種と職種と働き方について学ぶ（グループワーク、プレゼンテーション） 復習：授業時間内に明示	
9	新井 香子	【第9回】 予習：「ライフイベント」と「働く」についての予備知識を考える 授業：ライフキャリアプランについて学ぶ（グループワーク、ディスカッション） 復習：授業時間内に明示	
10	新井 香子	【第10回】 予習：自分のロールモデルを探す(憧れの生き方について考えてみる) 授業：ロールモデルについて考える（プレゼンテーション、ディスカッション） 復習：授業時間内に明示	

11	新井 香子	【第 11 回】 予習 : 社会人基礎力について (資料配布) 授業 : 社会人基礎力 (グループワーク、プレゼンテーション) 復習 : 授業時間内に明示						
12	新井 香子	【第 12 回】 予習 : 社会で求められる人材について調べる (資料配布) 授業 : 社会で求められる人材について知る (グループワーク、プレゼンテーション) 復習 : 授業時間内に明示						
13	新井 香子	【第 13 回】 予習 : メンタルヘルスについての基礎知識を得る (資料配布) 授業 : 生き活きたキャリアをつくるためのメンタルヘルス (グループワーク) 復習 : 授業時間内に明示						
14	新井 香子	【第 14 回】 予習 : 目標設定シートに記載することを考えてくる 授業 : 今後の大学生活~未来への目標設定 (発表) 復習 : 授業時間内に明示						
15	新井 香子	【第 15 回】 予習 : 【第 14 回】授業までのワークの振り返りやレポートを見返す 授業 : 職業人インタビューのまとめ「報告会」 (発表、ディスカッション) 復習 : 設定した目標に向けて実際に取り組みをはじめ						
授業開始前学習	授業内容の予習を参照							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で理解した内容、気づいたこと、質問、感想などを毎回リアクションペーパーにまとめて提出する。記載内容については次回の授業で講師がコメントをする。							
テキスト・教材	齊藤 博・上本 裕子著『大学 1 年からのキャリアデザイン実践 第 2 版』(八千代出版)							
参考書	必要に応じて授業内で紹介します。							
評価の基準と方法	平常点 (ディスカッションやグループワークへの参加態度や貢献度といった授業態度、確認テスト、リアクションペーパー、課題提出物の内容など) (60%) とインタビュー・レポート (40%) を基本に総合評価をします。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		○	◎			○	
関連科目	2 年次のキャリア関連授業							
その他	講義構成 (例) : 事前準備してきた課題について自分の言葉で話してみる/ペア (10 分) →グループディスカッション (45 分) + 全体シェア (15 分) →講義 & フィードバック (20 分) ■ 講義前 : 課題の事前学習を必ずしてくる ■ 講義中 : 4~5 名 1 組のグループを組み、対話や協働作業などを行います。講義時間は学んだことをアウトプットする「学び合い・教え合い」などの協動的な学習の場であり、学んだことを体感する場となります。遅刻や欠席はグループのメンバーに迷惑が掛かります。毎回きちんと参加をして主体的にワークに取り組んでください。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容	民間企業で 20 年以上の社会人経験、行政・産業・学校・地域領域においてキャリアコンサルティングの面談や研修・ワークショップ・講演等の実務経験あり。国家資格キャリアコンサルタント 社会や企業で求められる心構えや能力について、インタラクティブなやりとりを通じて学びを促進する。							

科目分類	100-110-11 (J)	授業コード	F01672
科目名称	進路設計	単位数	2.0 単位
英文名称	Career Planning	授業区分	講義
科目責任者	民部田 駒子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	民部田 駒子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	本授業は、大学卒業後を見据え、皆さん一人ひとりが納得のいく人生を送るために、「生き方」「働き方」「大学生生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくります。また、社会人として必要になる心構えや能力について学び、社会に目を向け、自己理解を深め、多様な人たちと関わるコミュニケーションスキルを高めていきます。それにより大学生生活をさらに充実させていくことを目指します。		
到達目標	① 自分を知る：自分の興味・強み・価値観を理解する ② 社会を知る：社会で求められる力、業界・企業・職業など多様な働き方を理解する ③ 自己理解と社会理解を深め、大学生生活から将来に向けた目標設定ができる		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	民部田 駒子	【第 1 回】 予習：学科シラバスに目を通す。テキスト第 1 章を読んでおく 授業：授業全体のガイダンス（進め方、評価方法、約束事）、キャリアデザインの考え方 復習：キャリアデザインがなぜ必要なのか理解したことを整理する	
2	民部田 駒子	【第 2 回】 予習：テキスト第 13 章を読んでおく 授業：コミュニケーションとは？（グループワーク） 復習：授業時間内に明示	
3	民部田 駒子	【第 3 回】 テキスト第 4 章を読んでおく 授業：これまでの自分を振り返る（グループワーク） 復習：授業時間内に明示	
4	民部田 駒子	【第 4 回】 予習：テキスト第 5 章を読んでおく 授業：人生における自分の役割（グループワーク） 復習：授業時間内に明示	
5	民部田 駒子	【第 5 回】 予習：テキスト第 6 章を読んでおく 授業：働くとは何か（グループワーク） 復習：授業時間内に明示	
6	民部田 駒子	【第 6 回】 予習：テキスト第 3 章を読んでおく 授業：ライフイベントとお金について（グループワーク） 復習：授業時間内に明示	
7	民部田 駒子	【第 7 回】 予習：テキスト第 9 章を読んでおく 授業：働く上での法とルールについて（グループワーク） 復習：授業時間内に明示	
8	民部田 駒子	【第 8 回】 予習：テキスト第 2 章を読んでおく 授業：社会で求められる人材とは（グループワーク） 復習：授業時間内に明示	
9	民部田 駒子	【第 9 回】 予習：テキスト第 8 章を読んでおく 授業：社会を知る意味とその方法（グループワーク） 復習：授業時間内に明示	
10	民部田 駒子	【第 10 回】 予習：働いている女性のインタビュー記事などを読み、発表準備をする（授業時間内に説明） 授業：女性の生き方・働き方について学ぶ（グループワーク） 復習：授業時間内に明示	
11	民部田 駒子	【第 11 回】 予習：世の中にどのような業界・企業・職種があるか調べておく（授業時間内に説明） 授業：業界・企業・職種について知る（グループワーク） 復習：業界・企業・職種についての理解を深める	

12	民部田 駒子	【第12回】 予習：興味のある業界・企業・職種について調べる（授業時間内に説明） 授業：調べた業界・企業・職種についての発表（プレゼンテーション） 復習：授業時間内に明示							
13	民部田 駒子	【第13回】 予習：これまでの授業を振り返り、新たに気付いたこと、不明点を整理しておく（授業時間内に説明） 授業：自己理解、社会理解の統合から目標を立てる（グループワーク） 復習：授業時間内に明示							
14	民部田 駒子	【第14回】 予習：プレゼンテーションの準備をする 授業：今後の大学生活から将来に向けての目標発表（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの振り返り、設定した目標に向けて実際に取り組みを始める							
15	民部田 駒子	【第15回】 予習：授業全体を振り返っておく 授業：他者とかかわり社会で自分を活かすことについて（グループワーク） 復習：今後の大学生活の中で具体的に動き始める							
授業開始前学習		なし							
授業内課題のフィードバックの方法		毎回の授業で得た気づき、感想、質問などをリアクションペーパーにまとめて提出。 提出されたリアクションペーパーに対して講師が次の授業にてコメントする。							
テキスト・教材		『大学生のキャリアデザイントレーニング第2版』（晃洋書房）							
参考書		必要に応じて授業内で紹介します。							
評価の基準と方法		平常点（授業態度及び各回のリアクションペーパー内容の評価：60%）と提出課題（授業内にて実施も含む）（40%）を基準とし、総合的に判断します。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		○	◎			○	
関連科目		2年次のキャリア関連授業に連携します。							
その他		① 本授業は社会に出る準備の場です。基本的なマナー（授業の始めと終わりを含めたあいさつ、課題・提出物の期限など）を守り、主体的に取り組ましましょう。遅刻・私語厳禁です。 ② 毎回テキストのワークに取り組むため、必ず指定のテキストを手元に準備してください。 ③ 授業の中で経験する学び（他者とのコミュニケーションやグループワーク、プレゼンテーションなど）を重要視します。他者理解だけでなく、自己理解の促進に役立ちます。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容		人材ビジネスや公共、教育領域でのキャリアコンサルタントとして様々な階層の人々の相談業務に携わる。 以上に加え、自身が家族や社会環境の変化に伴い、働き方を選択してきた経験を提供します。							

科目分類	100-110-11 (J)	授業コード	F01674
科目名称	進路設計	単位数	2.0 単位
英文名称	Career Planning	授業区分	講義
科目責任者	小林 幸夫	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	小林 幸夫	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	本講義は、これからの人生、仕事、大学生活といった自分の進路（生き方）を考えるにあたって必要なプランを描くことを学びます。 プランを描くためには目的や目標が必要になりますが、そのためには自分自身や社会を知り、課題の洗い出しや解決方法を考えることが重要になります。また、各種調査やグループワークを通して、気づきや視野を広げることの大切さも学びます。		
到達目標	① 「自分を知る」ということを理解し、新たな気づきと現在の自分とのギャップから課題設定ができる。 ② 「意思決定」とは何かを理解し、意思決定をするために必要な要因を見出すことができる。 ③ 目標を設定して、キャリアプランを描くことができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	小林 幸夫	【第 1 回】 予習：シラバスに目を通す。「キャリア」「プラン」「デザイン」それぞれの言葉の定義を調べる 授業：授業のガイダンス（目標、ルールなど）、キャリア、プラン、デザインとは何か？キャリアプランとは何か？（ディスカッション） 復習：キャリアプランとキャリアデザインの意味をまとめる	
2	小林 幸夫	【第 2 回】 予習：「コミュニケーション」ならびに「コミュニケーション能力」とは何かを調べる 授業：話すことと聴くこと、言語と非言語、コミュニケーションで大切なことを学ぶ（ペアワーク、ディスカッション） 復習：コミュニケーションについて気づいたこと、意識すべきことをまとめる	
3	小林 幸夫	【第 3 回】 予習：テキスト P1-3 を読み、ワークシート I -2 を作成する 授業：現在の自分を理解し、過去から現在までを振り返る（ワーク、ディスカッション） 復習：気づいたこと、現在の自分の課題をまとめる	
4	小林 幸夫	【第 4 回】 予習：テキスト P15-18 を読み、自分が自覚している性格や特徴を書き出す 授業：自分が自覚している自分と、他人が見る自分とのギャップを知る（グループワーク、ディスカッション） 復習：自分と他人とのギャップ、ならびにギャップが発生した理由と今後を考える	
5	小林 幸夫	【第 5 回】 予習：大学卒業までの大きな予定やイベントを書き出ししておく 授業：プランニングの基礎を学ぶ：卒業までのプランを描く（グループワーク、発表） 復習：予習で考えたことと、授業で気づいたことの差を理解する	
6	小林 幸夫	【第 6 回】 予習：ワークシート II -5 と II -7 を実施する 授業：職業興味と価値観を知る（ディスカッション） 復習：テスト結果による気づきと、その活用方法を考える	
7	小林 幸夫	【第 7 回】 予習：テキスト P33-36 を読み、ワークシート III -1 を作成する 授業：働くことの意義を考える（ディスカッション、発表） 復習：社会人になるための課題と、何のために働くかを言語化する	
8	小林 幸夫	【第 8 回】 予習：ワークシート III -3 を作成する 授業：企業イメージと実際を知る（ディスカッション、発表） 復習：企業などに対する、先入観やステレオタイプの弊害を考える	
9	小林 幸夫	【第 9 回】 予習：「業種」と「職種」について調べ、それぞれどのようなものがあるかを調べる 授業：保護者が勧める業種と同じ／異なる業種を選択する場合の検討事項を考える（ディスカッション、発表） 復習：仕事選択時に、業種と職種をどのように活用するかを考える	
10	小林 幸夫	【第 10 回】 予習：テキスト P57-62 を講読する 授業：社会人基礎力チェックを実施し、それぞれの課題を考える（個人ワーク、ディスカッション） 復習：社会人基礎力の課題を明らかにし、その解決方法をまとめる	

11	小林 幸夫	【第 11 回】 予習：葛藤とは何か調べ、過去に経験した決めることが難しかったことを書き留めておく 授業：過去の後悔した意思決定の問題点、ならびに後悔しない意思決定に必要なことは何か（ディスカッション、発表） 復習：今後、遭遇するであろう意思決定に必要なことを考える						
12	小林 幸夫	【第 12 回】 予習：資格の分類や種類を調べ、取得したい資格と理由を考える 授業：資格はどのように活用されているか、資格取得で注意すべきことを考える（ディスカッション、発表） 復習：取得したい資格の理由と課題をまとめる						
13	小林 幸夫	【第 13 回】 予習：ワークシート I-7 と I-8 を作成する 授業：キャリアプラン作成準備（個人ワーク、相談） 復習：進路設計を行う上で解決すべき課題を洗い出し、最優先課題の理由を考える						
14	小林 幸夫	【第 14 回】 予習：ストレスとは何かを調べ、普段ストレスを感じる時を洗い出す 授業：ストレスとストレスラーの存在、自律神経への影響を理解し、ストレス対処方法を考える（ディスカッション、発表） 復習：普段から感じているストレスを洗い出し、実践できそうな対処方法を考える						
15	小林 幸夫	【第 15 回】 予習：キャリアプランの発表準備をする 授業：キャリアプランの発表を行い、他の発表者へのコメントをする（個別発表） 復習：キャリアプラン発表を振り返り、キャリアの課題をレポートにまとめる						
授業開始前学習	シラバスならびに指定テキストを眺めておく。 「各回の授業内容と課題学習（予習・復習）」欄の【第 1 回】予習を参照する。							
授業内課題のフィードバックの方法	リアクションペーパーの内容で共有する必要があるものや補足すべきことは、次回授業で説明します。また必要に応じて個別にコメントします。							
テキスト・教材	齋藤 博・上本裕子著『大学 1 年からのキャリアデザイン実践 第 2 版』（八千代出版）							
参考書	必要に応じて紹介します。							
評価の基準と方法	平常点（授業の参加態度やグループワークへの貢献度、予習の準備内容、リアクションペーパーなど）（60%）と、キャリアプラン（キャリアプラン発表、レポート）（40%）を基に、総合的に評価します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		○	◎			○	
関連科目	2 年次以降の就業力育成科目と関連します。							
その他	① テキストは、ワークを行うためにも必ず持参してください。 ② 授業に臨むためには予習は必須です。グループワークなどで必要になりますので必ず行ってください。 ③ 他人の意見を聴くことを心がけましょう。また自分の意見は、自信をもって伝えましょう。 ④ グループワークは、新たな気づきの場となりますので、積極的に参加しましょう。 ⑤ 授業の中で知ったクラスメイトの個人的な情報を、口外する（SNS への投稿なども含む）ことは厳禁です。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	長年の企業経験（システム開発、プロジェクトマネジメント、セールスプロモーション、リスクマネジメントなど）や、多様な世代へのキャリア相談経験を活かした授業を行います。 また必要に応じて、キャリアコンサルタント・公認心理師・社会福祉士・ファイナンシャルプランナーといった保有資格の専門性を授業に盛り込みます。							

☆キャリアと教養演習 A / 社会と教養演習 A

科目分類	100-130-22 (J)	授業コード	F01680
科目名称	☆キャリアと教養演習 A / 社会と教養演習 A	単位数	1.0 単位
英文名称	Career and Liberal Arts Exercises A / Seminar on Career A	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	守屋 裕子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	守屋 裕子	開講時期	2・3 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	本授業のテーマは、社会へ出ていく準備です。そのために「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」で構成される「社会人基礎力 (=3 の能力 / 12 の能力要素 / 3 の視点)」に取り組みます。「ペアワーク」「グループワーク」「プレゼンテーション」などの演習を通じ、社会人として必要になる心構えと能力について学び、広く社会の課題についても考えます。変化の激しい時代に、自ら考え、答えを見つけていく「課題解決プロジェクト」にチームで取り組みます。視野を広げ、自己理解を深め、多様な人たちと関わるコミュニケーションスキルを高め、大学生活をさらに充実させていきましょう。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会で必要とされている「社会人基礎力」について理解を深め、身につけるためのコツを獲得する。 ■ 多様性を活かすコミュニケーションの意識とスキルを高める。 ■ チームでプロジェクトに取り組み、課題解決力を身につける。 ■ 社会で起きている出来事に目を向けるようになる。 ■ 自分への自信を高める。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	守屋 裕子	【第 1 回】 予習：シラバスに目を通す 授業：授業ガイダンス、キャリアとは、社会人基礎力とは 復習：社会人基礎力の内容を振り返る	
2	守屋 裕子	【第 2 回】 予習：自分のことを伝える準備をする 授業：自己理解：自分を知り、自分についての取り扱い説明書を作る 復習：授業で作成したワークシートの見直し	
3	守屋 裕子	【第 3 回】 予習：自身の自身のコミュニケーションを振り返り、得意や苦手な場面をイメージする 授業：アサーティブコミュニケーション：周囲との効果的なかかわり方について考える 復習：日常生活でアサーティブコミュニケーションを試みる	
4	守屋 裕子	【第 4 回】 予習：日常のストレスやストレス解消法について考える 授業：ストレスコントロール：レジリエンスを高める方法を知る 復習：日常生活で学んだことを実践する	
5	守屋 裕子	【第 5 回】 予習：過去のチームワーク経験について振り返る 授業：チームワーク：過去の経験を振り返り、自分らしいチームへの貢献方法を知る 復習：チームワークについての授業の振り返り	
6	守屋 裕子	【第 6 回】 予習：前回のチームへの自分なりの貢献方法について見直す 授業：グループディスカッション：進め方やポイントを知る 復習：グループディスカッションについて授業を振り返る	
7	守屋 裕子	【第 7 回】 予習：気になるニュースについて調べる 授業：SDGs を通して、社会課題について考える 復習：授業で新たに興味を持った社会課題を調べる	
8	守屋 裕子	【第 8 回】 予習：プロジェクトとして取り組みたい社会課題を調べてみる 授業：私たちの課題解決プロジェクト①：情報収集 復習：情報収集が不十分な点を調べる	
9	守屋 裕子	【第 9 回】 予習：どのような解決すべき課題がありそうか検討する 授業：私たちの課題解決プロジェクト②：課題の特定 復習：課題の具体化をするにあたり不足する情報があれば調べる	
10	守屋 裕子	【第 10 回】 予習：課題解決のための打ち手の候補を考える 授業：私たちの課題解決プロジェクト③：解決方法の検討	

		復習：解決方法の要素で不足する点があれば調べる						
11	守屋 裕子	【第 11 回】 予習：プレゼンテーションの準備 授業：私たちの課題解決プロジェクト④：プレゼンテーションの準備 復習：プレゼンテーションの完成						
12	守屋 裕子	【第 12 回】 予習：プレゼンテーションで担当する分を練習する 授業：私たちの課題解決プロジェクト⑤：プレゼンテーションの実施及び振り返り 復習：プレゼンテーションの良かった点と課題点を振り返る						
13	守屋 裕子	【第 13 回】 予習：興味のある仕事について調べてみる 授業：業界・職種理解：世の中の仕事について知り、自分の適性を考える 復習：授業をきっかけに興味を持った仕事をさらに調べる						
14	守屋 裕子	【第 14 回】 予習：今後の大学生活でチャレンジしたいことを考える 授業：目標設定：世の中の仕事を踏まえ、今後の大学以降の目標を考える 復習：作成したワークシートの見直し						
15	守屋 裕子	【第 15 回】 予習：第 1 回で学んだ社会人基礎力の内容を振り返る 授業：行動計画：授業全体を振り返り、社会人基礎力を伸ばすための行動計画を立てる 復習：行動計画を実践に移していく						
授業開始前学習	新聞やテレビ、ネットなどのニュースを通して、社会で起きている出来事に目を向けてください。さらにその出来事に対して、自分なりの考えを持つようにしてください。SDGs についても関心を寄せましょう。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎回、授業終了時に振り返りシートを提出してください。次回講義時に返却します。							
テキスト・教材	毎回、資料を配布します。							
参考書								
評価の基準と方法	平常点（授業態度など）（60%）と 最終プレゼンテーション（40%）を基本に総合評価をします。毎回の授業で記入する振り返りシートも評価の対象です。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎		○	○			○	
関連科目	一年次必修「進路設計」							
その他	社会人になる準備をするための授業です。基本的なマナー（挨拶、身だしなみ、言葉遣い、立ち振舞い等）に気を配り、主体的に取り組ましましょう。遅刻・私語厳禁です。 毎回、ペアやグループで演習や話し合いに取り組み、体験学習で学びを深めます。コミュニケーションにチャレンジし、楽しみましょう。 学生の人数や希望を踏まえ、シラバスの内容が変更する場合があります。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	公務員、キャリアコンサルタント、研修講師等の実務経験があり、社会や企業で求められる心構え・能力について講義し、体験学習による学びを促進する。							

☆キャリアと教養演習 B / 社会と教養演習 B

科目分類	100-130-22 (J)	授業コード	F01690
科目名称	☆キャリアと教養演習 B / 社会と教養演習 B	単位数	1.0 単位
英文名称	Career and Liberal Arts Exercises B / Seminar on Career B	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	樋口 浩子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	樋口 浩子	開講時期	2・3 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	本授業は、社会で必要とされている「社会人基礎力」について知り、身につけるための取り組み方法や強化ポイントについて、グループワークを通じて学ぶことを目標とします。多様な人との関わりの中で、社会の一員として責任を果たし、貢献、成長していくためには、大きく3つの力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」が必要とされます（経済産業省「社会人基礎力」）。これらは、社会人になっても、継続的に取り組む必要があるものです。授業のテーマは、この3つの力を構成する12の能力要素となります。		
到達目標	本授業は、就職活動の準備として、社会で必要とされている「社会人基礎力」について知り、身につけるための取り組み方法や強化ポイントについて学ぶことを目標とします。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	樋口 浩子	【第1回】 予習：自己理解（過去の行動などについて振り返る）をしておく 授業：授業ガイダンス 復習：自己理解（過去の行動などについて振り返る）をしておく	
2	樋口 浩子	【第2回】 予習：自己理解（過去の行動などについて振り返る）をしておく 授業：＜チームワーク力②＞傾聴力（69～77ページ）&アクティブラーニングトレーニング（ペアワーク） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む	
3	樋口 浩子	【第3回】 予習：前回までの復習をする 授業：社会人基礎力とは（4～10ページ） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む	
4	樋口 浩子	【第4回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜前に踏み出す力①＞主体性（12～19ページ）（グループディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む	
5	樋口 浩子	【第5回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜前に踏み出す力②＞働きかけ力（20～25ページ）（グループディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む	
6	樋口 浩子	【第6回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜前に踏み出す力③＞実行力（26～30ページ）（グループディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む	
7	樋口 浩子	【第7回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜考え抜く力①＞課題発見力（36～42ページ）（グループディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む	
8	樋口 浩子	【第8回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜考え抜く力②＞計画力（43～50ページ）（グループディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む	
9	樋口 浩子	【第9回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜考え抜く力③＞創造力（51～56ページ）（グループディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む、アサーションを生活に取り入れる	
10	樋口 浩子	【第10回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜チームワーク①＞発信力（62～68ページ）&アサーショントレーニング（グループワーク） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む、アクティブラーニングを生活に取り入れる	
11	樋口 浩子	【第11回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜チームワーク③＞柔軟性（78～84ページ）（グループワーク）	

		復習：ワークシート未記入箇所に取り組む							
12	樋口 浩子	【第12回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜チームワーク④＞ 状況把握力（85～90ページ）（グループディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む							
13	樋口 浩子	【第13回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜チームワーク⑤＞ 規律性（91～97ページ）（グループディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む							
14	樋口 浩子	【第14回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜チームワーク⑥＞ ストレスコントロール力（98～106ページ） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む、テキストを見直し社会人基礎力全体を理解する							
15	樋口 浩子	【第15回】 予習：テキストすべてに目を通しておく 授業：まとめのワーク 復習：最終回までの復習をする							
授業開始前学習		授業内容欄の予習を参照							
授業内課題のフィードバックの方法		コメントを入れて授業講義時に返却							
テキスト・教材		富士通エフ・オー・エム株式会社（FOM出版）「社会人基礎力 社会で働くための基礎を学ぶ」2010年発売							
参考書									
評価の基準と方法		平常点（授業態度・課題提出など）（60%）と最終まとめレポート（40%）を基本に総合評価します。毎回の授業で記入する振り返りシートも評価対象です。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		◎		○	○			○	
関連科目									
その他		社会人になる準備をするための授業です。基本的なマナー（挨拶、身だしなみ、言葉遣い、立居振舞など）を守り、主体的に取り組ましましょう。遅刻・私語厳禁です。 3～4名1組のグループ分けをします。多様な人との関わりの中で学ぶために、グループは何回か変更して行きます。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容		社会で必要とされている能力について、企業で 20 年以上の社会人経験を活かし講義する。 また、キャリアカウンセラーとして就職活動を支援している経験からも、社会で必要とされている能力について学生生活の中でどのように身につけていくかを伝える。							

☆キャリアと教養演習 C / 社会と教養演習 C

科目分類	100-130-22 (J)	授業コード	F01700
科目名称	☆キャリアと教養演習 C / 社会と教養演習 C	単位数	1.0 単位
英文名称	Career and Liberal Arts Exercises C / Seminar on Career C	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	新井 香子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	新井 香子	開講時期	2・3 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	本授業は、社会で必要とされる「社会人基礎力」について知り、身につけるための取り組み方について、演習を通して学ぶことを目標とします。多様な人との関わりの中で、社会の一員として責任を果たし、貢献、成長していくためには、大きく3つの力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」が必要とされます。社会で必要な力を身につけ、大学生活をさらに充実させていくことを目指します。また、グループディスカッションなどを通して、多様な人たちと関わるコミュニケーションスキルも高めていきます。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 社会で必要とされる「社会人基礎力」の理解を深め、身につけるための取り組み方法を獲得する。 ② 自己理解と他者理解を図り、多様な人と関わる力を獲得する。 ③ 社会人基礎力を伸ばすための大学生活での行動計画が立てられる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	新井 香子	【第 1 回】 予習 : 学科シラバスに目を通す 授業 : 授業全体のガイダンス (進め方、評価方法、約束事)、社会人基礎力とは 復習 : 特に身につけたい社会人としての力を考える	
2	新井 香子	【第 2 回】 予習 : 自分のことを伝える準備をする 授業 : 相互理解のコミュニケーション (ペアワーク・グループワーク) 復習 : 自分のコミュニケーションスタイルを振り返る	
3	新井 香子	【第 3 回】 予習 : 自分のコミュニケーション課題を考える 授業 : アサーティブコミュニケーション (自己分析とコミュニケーションに関する知識) (ペアワーク・グループワーク) 復習 : 自分のコミュニケーションスタイルを振り返る	
4	新井 香子	【第 4 回】 予習 : チームについて考える 授業 : チームビルディング、チームコンセンサス (グループディスカッション) 復習 : 自分のチームでの関わり方を振り返る	
5	新井 香子	【第 5 回】 予習 : グループディスカッションの進め方について考える 授業 : グループディスカッション体験 (グループディスカッション) 復習 : 自分のチームでの役割、貢献度を振り返る	
6	新井 香子	【第 6 回】 予習 : 社会の出来事で気になるテーマを調べておく 授業 : 社会で求められる課題解決力とは、気になる社会課題について考える (グループディスカッション) 復習 : 課題解決力について振り返る	
7	新井 香子	【第 7 回】 予習 : 気になる社会課題に関する情報を調べておく 授業 : 課題解決型プロジェクトに取り組む (チーム活動) 復習 : チーム活動の振り返り	
8	新井 香子	【第 8 回】 予習 : プロジェクトの準備 授業 : 課題解決型プロジェクトに取り組む (チーム活動) 復習 : チーム活動の振り返り	
9	新井 香子	【第 9 回】 予習 : プレゼンテーションの準備 授業 : 課題解決型プロジェクトのプレゼンテーション (プレゼンテーション) 復習 : プレゼンテーションの振り返り	
10	新井 香子	【第 10 回】 予習 : チーム活動で得た力や気づきを整理する 授業 : 課題解決型プロジェクトの振り返り (グループワーク) 復習 : チーム活動で得た力の活かし方を考える	
11	新井 香子	【第 11 回】 予習 : 世の中にどのような業界・企業・職種があるか調べておく (授業時間内に説明) 授業 : 業界、企業、職種について、多様な働き方 (グループディスカッション)	

		復習 : 業界、企業、職種について整理する						
12	新井 香子	【第 12 回】 予習 : 企業・職種リサーチ (授業時間内に説明) 授業 : 企業や仕事で求められる力についてリサーチ結果の発表 (プレゼンテーション) 復習 : プレゼンテーションの振り返り						
13	新井 香子	【第 13 回】 予習 : 働く上での法とルールについて調べておく (授業時間内に説明) 授業 : 働く上での法とルールについて (グループディスカッション) 復習 : ワークシート未記入箇所に取り組む						
14	新井 香子	【第 14 回】 予習 : 第 1 3 回授業までのワークを振り返る、目標シートに記載することを考えてくる 授業 : 目標の立て方について学ぶ、今後の大学生活から将来に向けての目標設定 復習 : 目標シートを見直し、プレゼンテーションの準備をする						
15	新井 香子	【第 15 回】 予習 : プレゼンテーション準備 授業 : 社会人基礎力を伸ばすための大学生活での行動計画の発表 (プレゼンテーション) 復習 : 授業全体の振り返りを行い、今後の大学生活に活かしていく						
授業開始前学習	なし							
授業内課題のフィードバックの方法	毎回の授業で得た気づき、感想、質問などをリアクションペーパーにまとめて提出。提出されたリアクションペーパーに対して講師が次の授業にてコメントする。							
テキスト・教材	毎回、資料を配布します。							
参考書	必要に応じて授業内で紹介します。							
評価の基準と方法	平常点 (授業態度及び各回のリアクションペーパー内容の評価 : 60%) とプレゼンテーション・提出課題 (40%) を基準とし、総合的に判断します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎		○	○			○	
関連科目	一年次必修「進路設計」							
その他	① 本授業は社会に出る準備の場です。基本的なマナー (あいさつ、言葉遣い、立ち振る舞い等) を守り、主体的に取り組みましょう。 ② 毎回、ペアやグループで演習やディスカッションに取り組み、体験学習で学びを深めます。主体的にワークに取り組むことがより自分の成長に繋がります。遅刻や欠席は共に学ぶメンバーに迷惑が掛かります。学生の希望を授業内容に取り入れるため、シラバスの変更も生じます。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容	民間企業で 20 年以上の社会人経験、行政・産業・学校・地域領域においてキャリアコンサルティングの面談や研修・ワークショップ・講演等の実務経験あり。国家資格キャリアコンサルタント。 社会や企業で求められる心構え・能力について講義し、体験学習による学びを促進する。							

☆キャリアと教養演習 D / 社会と教養演習 D

科目分類	100-130-22	授業コード	F01710
科目名称	☆キャリアと教養演習 D / 社会と教養演習 D	単位数	1.0 単位
英文名称	Career and Liberal Arts Exercises D / Seminar on Career D	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	橋本 衆宝	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	橋本 衆宝	開講時期	2・3 年
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00~12:00 後期 水曜日 09:00~12:00	研究室	10-616
授業概要	就活に直結し、社会生活に必要な言語的知識(語彙)と論理的な表現方法を習得する。社会人として、対人関係やその場、状況に応じて適切な言葉遣いを実践できるようにする。毎回の演習を通して実践的に学修することは、以下の 2 点である。①就職試験に対応した言語分野の知識の修得。特に、SPI 言語分野の弱点補強や学修のポイントを効率的に理解したい学生に最適な演習である。②時事問題に関する新聞コラムを読解し、論理的な「問い」を作ったり、コメントや意見したりする方法の修得。ペア(グループ)ワークもとり入れた演習を行うので、他人の「自己表現」を学ぶ機会としても活用できる。		
到達目標	社会生活において必要な言語的知識と表現方法を習得し、就職試験における言語分野の問題に慣れ、迅速かつ正確に解けるようになることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	橋本 衆宝	【第 1 回】 予習 : 言語分野で特に学修したいことを考えておく。就職適性検査における言語分野(日本語)の出題傾向を調べておく。 授業 : 授業内容の説明 / 就職適性検査における言語分野(日本語)の出題内容について(実習) 復習 : 【第 1 回】配付資料を読み返し、復習する。	
2	橋本 衆宝	【第 2 回】 予習 : 配付資料の(難読漢字)を読む。 授業 : 難読漢字の読み方と意味を確認し、実践問題に取り組む。 復習 : 【第 2 回】配付資料を読み返し、復習する。	
3	橋本 衆宝	【第 3 回】 予習 : 配付資料の(対義語と類義語 1)を読む。 授業 : 対義語と類義語 1 : 対義語の主な構成。 復習 : 【第 3 回】配付資料を読み返し、復習する。	
4	橋本 衆宝	【第 4 回】 予習 : 配付資料の(対義語と類義語 2)を読む。 授業 : 対義語と類義語 2 : 対義語の問題に取り組む / 類義語の主な構成 復習 : 【第 4 回】配付資料を読み返し、復習する。	
5	橋本 衆宝	【第 5 回】 予習 : 配付資料の(対義語と類義語 3)を読む。 授業 : 対義語と類義語 3 : 類義語の問題に取り組む。 復習 : 【第 5 回】配付資料を読み返し、復習する。	
6	橋本 衆宝	【第 6 回】 予習 : 配付資料の(語句の意味)を読む。 授業 : 語句の意味に関する問題に取り組む。 復習 : 【第 6 回】配付資料を読み返し、復習する。	
7	橋本 衆宝	【第 7 回】 予習 : 配付資料の(四字熟語)を読む。 授業 : 四字熟語の問題に取り組む。 復習 : 【第 7 回】配付資料を読み返し、復習する。	
8	橋本 衆宝	【第 8 回】 予習 : 配付資料の(二語の関係 1)を読む。 授業 : 二語の関係(包含関係、役割など)を問う問題に取り組む。 復習 : 【第 8 回】配付資料を読み返し、復習する。	
9	橋本 衆宝	【第 9 回】 予習 : 配付資料の(二語の関係 2)を読む。 授業 : 二語の関係(材料、同列など)を問う問題に取り組む。 復習 : 【第 9 回】配付資料を読み返し、復習する。	
10	橋本 衆宝	【第 10 回】 予習 : 配付資料の(語句・文の並べ替え 1)を読む。 授業 : 語句や文の並べ替え問題に取り組む。 復習 : 【第 10 回】配付資料を読み返し、復習する。	

11	橋本 衆宝	【第 11 回】 予習 : 配付資料の (語句の並べ替え 2 / 文法) を読む。 授業 : 文や文章の並べ替え問題に取り組む / 主な文法事項について説明する。 復習 : 【第 11 回】配付資料を読み返し、復習する。						
12	橋本 衆宝	【第 12 回】 予習 : 配付資料の (文法 2 / 読解 1) を読む。 授業 : 文法に関する問題・長文読解問題に取り組む。 復習 : 【第 12 回】配付資料を読み返し、復習する。						
13	橋本 衆宝	【第 13 回】 予習 : 配付資料の (読解 2) を読む。 授業 : 文章の主旨や正誤を問う問題に取り組む。 復習 : 【第 13 回】配付資料を読み返し、復習する。						
14	橋本 衆宝	【第 14 回】 予習 : 配付資料の (読解 3) を読む。 授業 : 総合的な長文読解問題に取り組む。 復習 : 【第 14 回】配付資料を読み返し、復習する。						
15	橋本 衆宝	【第 15 回】 予習 : 【第 14 回】までに配付した資料を読む。 授業 : 第 14 回の内容に関連した総合問題に取り組む。 復習 : 授業で学んだことをまとめる。						
授業開始前学習	就職適性検査問題集に目を通し、言語分野 (日本語) の出題傾向を知っておく							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内容に即した課題を課す。課題のフィードバックは原則として翌授業時に行う。							
テキスト・教材	プリントを配付する							
参考書	学修内容に応じて、適宜、授業内で提示する。							
評価の基準と方法	授業出席におけるレジュエーシートの提出と授業内演習状況 (40%) と課題レポートの作成 (60%) で評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける		社会的責務を果たすこと のできる専門力と判断力を身 につける		文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケ ーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎		○	○			○	
関連科目	キャリアと教養演習 A ~ C。言語表現演習 I・II							
その他	第 1 回授業において、受講者の学修・進路ニーズを確認する。授業計画を再編する場合がある。その場合は、シラバスを再配 付し、授業内容および課題、評価方法について改めて説明する。 この授業は同時双方向型授業と課題研究型授業を組み合わせで行う。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間 × 15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間 × 15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目分類	100-130-13 (J)	授業コード	F01720
科目名称	☆ビジネスとキャリア／キャリアリテラシー	単位数	2.0 単位
英文名称	Business and Career／Career Literacy	授業区分	講義
科目責任者	守屋 裕子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	守屋 裕子	開講時期	3 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	就活を取り巻く環境が変化中、本授業では就活の不安を緩和し、前向きな気持ちで行動していくことを目指し、自分の「軸」を見出すプロセスを学びます。個人やチームで企業や社会について調べ、考え、「グループワーク」「相互フィードバック」「課題解決」「プレゼンテーション」などの演習中心で授業を進め、経験を通して社会に出てから役立つ意識やスキルを習得していきます。知らなかった業界や職種にも視野を広げ、自分の可能性を広げ、納得感のある就職活動にチャレンジしていきましょう。そして自分の未来を明るく思い描いていきましょう。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 就活に関する知識と情報を習得し、不安が緩和されることで、就活への意識が高まり前向きになる。 ■ 就活を取り巻く環境が変化する時だからこそ、自分の軸をしっかりとする。 ■ 対人関係やチーム活動に必要な要素を体験しながら学び、人と関わることに自信が持てるようになる。 ■ 自分に向き合うことで自己認識を深め、就活に向けてさまざまな葛藤を乗り越えるコツを得る。 ■ 自分の将来を前向きに考えられるようになる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	守屋 裕子	【第 1 回】 予習：授業のシラバスを読む 授業：授業ガイダンス & 就職活動の流れ／キャリアについて考える 復習：就職活動の流れと、本授業への取り組み方をイメージする	
2	守屋 裕子	【第 2 回】 予習：自己紹介をイメージする。 授業：様々なワークを通して自分自身の強みや特徴を知る 復習：授業の振り返り ワークシート未記入分を記入	
3	守屋 裕子	【第 3 回】 予習：これまでの自分のチームにおける役割を振り返る 授業：ゲームを通してチームワークを体験する 復習：チームワークにおける自分の強みと課題を振り返る	
4	守屋 裕子	【第 4 回】 予習：気になるニュースを調べる 授業：世界の中の日本、現状と課題を知る 復習：興味を持ったテーマについて調べる	
5	守屋 裕子	【第 5 回】 予習：気になる業界について考える 授業：業界とは、企業とは、会社研究の方法 復習：興味を持った企業について HP を調べる	
6	守屋 裕子	【第 6 回】 予習：気になる職種を考える 授業：職種とは、世の中の職種について知る 復習：興味を持った職種について調べる	
7	守屋 裕子	【第 7 回】 予習：身近にある求人情報を調べる 授業：仕事情報の探し方、読み取り方を知る 復習：新たに知った求人の探し方を試してみる	
8	守屋 裕子	【第 8 回】 予習：興味のある企業の応募用紙を調べる 授業：応募書類の書き方を知る①自分の学生生活のエピソードを整理する 復習：ワークシートの未記入分を完成させる	
9	守屋 裕子	【第 9 回】 予習：興味のある企業の応募用紙を調べる 授業：応募書類の書き方を知る②志望動機、自己 PR を作成する 復習：ワークシートの未記入分を完成させる	
10	守屋 裕子	【第 10 回】 予習：インターンシップのサイトを見る 授業：インターンシップの目的、概要、調べ方を知る	

		復習：チャレンジしたい企業があれば追加で調べる						
11	守屋 裕子	【第11回】 予習：就活サイトに書かれているマナーを読む 授業：就職活動に必要なマナーを知り実践する 復習：マナーについて授業を振り返る						
12	守屋 裕子	【第12回】 予習：就活サイトの面接情報を読む 授業：面接の流れを学び、私らしい面接を実践する 復習：面接について授業を振り返る						
13	守屋 裕子	【第13回】 予習：就活サイトのグループディスカッションの情報を読む 授業：グループディスカッションを体験し、自分らしい取り組み方に気付く 復習：グループディスカッションの実践の振り返り						
14	守屋 裕子	【第14回】 予習：長期的な人生のありたい姿を想像する 授業：就職活動など人生に役立つキャリア理論を知る 復習：理論を振り返る						
15	守屋 裕子	【第15回】 予習：夏休み以降にチャレンジしたいことをリストアップする 授業：残りの大学生活の行動計画を立て、仲間と共有する 復習：計画を実践していく						
授業開始前学習	新聞やネットなどのニュースに目を向け、社会で起きている出来事に目を向けるようにしてください。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎回、振り返りシートを提出していただきます。次の授業で学びや質問への回答を共有します。							
テキスト・教材	プリントを毎回、配布します。							
参考書								
評価の基準と方法	チーム活動への参加態度（60%）、振り返りシート・課題成果物（40%）を目的に総合評価。振り返りシートは毎回提出。授業中盤に1度レポート提出。終盤に最終課題（レポート又はプレゼンテーション）。オンデマンド教材の視聴もあり。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		○	○			◎	
関連科目	「進路設計」、「キャリアと教養演習」、正課外「進路支援プログラム」。キャリア形成へ向けての関連性があります。							
その他	この授業で何をどれだけ得られるか、それは自分次第です。主体的に取り組み、経験をしっかり振り返ることで学びを深め、就活や将来に役立つ考えやスキルを習得し、モチベーションを高めていきましょう。さらに、人と関わるワークが多い授業です。それらの活動を積み重ねることで、対人関係に自信をつけていきましょう。真摯に取り組み、必ず成長できます。また、この授業は社会人になる準備をしていく実践的なプログラムです。基本的なマナー（あいさつ、身だしなみ、言葉遣い、立ち居振る舞い）はもとより、欠席や遅刻、私語のない行動、態度を求めます。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	キャリアコンサルタント等の実務経験があり、社会や企業で求められる心構え・能力について講義し、体験学習による学びを促進する。							

科目分類	100-130-11	授業コード	F01750
科目名称	女性と健康 I	単位数	2.0 単位
英文名称	Women and Health I	授業区分	講義
科目責任者	丸山 麻子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	丸山 麻子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	<p>本授業（女性の健康）では女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすための能力を養うことを目的とする。具体的には女性の各ライフステージにおける様々な健康問題の特徴について取り上げ、その問題の予防や改善のための知識について演習・実技も含めた講義とする。</p> <p>女性と健康 I では、健康に関する基礎知識と「成人期」に起こりやすい健康課題を取り上げる。</p> <p>女性と健康 II では、「思春期」「妊娠・出産」「更年期」「老年期」に起こりやすい健康課題を取り上げる。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女性のライフサイクルの視点からみた健康について理解できる。 2. 女性の心身の健康ケアへのアプローチについて理解できる 3. 女性がよりよく生きることができる状態を計画・実践できる 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	丸山 麻子	<p>【第 1 回】</p> <p>予習 : 健康とは何か、なぜ健康が必要なのかについて考える</p> <p>授業 : 健康の定義、女性の健康とは</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
2	丸山 麻子	<p>【第 2 回】</p> <p>予習 : 様々な女性の生き方について調べる</p> <p>授業 : 女性のライフステージの種類と特徴について</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
3	丸山 麻子	<p>【第 3 回】</p> <p>予習 : 自分の体力の状態を考える</p> <p>授業 : 健康と身体活動・運動</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
4	丸山 麻子	<p>【第 4 回】</p> <p>予習 : 体力改善のための運動を実践する</p> <p>授業 : 女性と身体活動・運動 1</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
5	丸山 麻子	<p>【第 5 回】</p> <p>予習 : 体力改善のための運動を実践する</p> <p>授業 : 女性と身体活動・運動 2</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
6	丸山 麻子	<p>【第 6 回】</p> <p>予習 : 普通の食生活を振り返り、食生活について意識していることをまとめる</p> <p>授業 : 女性と栄養・食生活 1</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
7	丸山 麻子	<p>【第 7 回】</p> <p>予習 : 自分の食生活の問題点を整理し、見直す</p> <p>授業 : 女性と栄養・食生活 2</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
8	丸山 麻子	<p>【第 8 回】</p> <p>予習 : お酒を飲むことで起こる健康への悪影響を調べる</p> <p>授業 : 女性と飲酒</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
9	丸山 麻子	<p>【第 9 回】</p> <p>予習 : タバコを吸うことで起こる健康への悪影響を調べる</p> <p>授業 : 女性と喫煙</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
10	丸山 麻子	<p>【第 10 回】</p> <p>予習 : 自分の睡眠状況を調べ、把握する</p> <p>授業 : 女性の睡眠・休養</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	

11	丸山 麻子	【第 11 回】 予習 : 自分の心の状態を考える 授業 : 女性のメンタルヘルス 復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる						
12	丸山 麻子	【第 12 回】 予習 : 【第 1 回】から【第 11 回】までの内容を振り返る 授業 : 女性と健康の基本要素に関するテスト 復習 : 自分の考えをレポートにまとめる						
13	丸山 麻子	【第 13 回】 予習 : 自分の月経状況を把握し、まとめる 授業 : 女性ホルモンと月経 復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる						
14	丸山 麻子	【第 14 回】 予習 : 婦人科系疾患について調べる 授業 : 女性特有の疾病 1 復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる						
15	丸山 麻子	【第 15 回】 予習 : AYA 世代の婦人科系疾患について調べる 授業 : 女性特有の疾病 2、女性と健康 I 総括 復習 : 授業で学んだ事項をレポートにまとめる						
授業開始前学習	新聞やニュースに掲載された女性の健康に関する記事を読んでおくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で実施した小テスト・レポートについては、次回以降の授業にて返却・回答を行う。							
テキスト・教材	適宜、授業内に資料を使用する。							
参考書	授業中に適宜、紹介する。							
評価の基準と方法	小テスト・レポート 40 点、授業内テスト 50 点・最終提出課題 10 点 ※定期テストは行わない。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○	△					
関連科目	女性と健康 II							
その他	講義に対する質問や個別連絡については、メールを使用すること。 なお、受講者数や授業の進捗状況、また、社会情勢により講義の予定を変更することがある。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-11	授業コード	F01760
科目名称	女性と健康Ⅱ	単位数	2.0 単位
英文名称	Women and Health Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	丸山 麻子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	丸山 麻子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	<p>本授業では女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすための能力を養うことを目的とする。具体的には女性の各ライフステージにおける様々な健康問題の特徴について取り上げ、その問題の予防や改善のための知識について演習・実技も含めた講義とする。</p> <p>女性と健康Ⅰでは、健康に関する基礎知識と「成人期」に起こりやすい健康課題を取り上げる。</p> <p>女性と健康Ⅱでは、「思春期」「妊娠・出産」「更年期」「老年期」に起こりやすい健康課題を取り上げる。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女性のライフサイクルの視点からみた健康について理解できる。 2. 女性の心身の健康ケアへのアプローチについて理解できる 3. 女性がよりよく生きることができる状態を計画・実践できる 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	丸山 麻子	<p>【第 1 回】</p> <p>予習 : 健康とは何か、なぜ健康が必要なのかについて考える</p> <p>授業 : オリエンテーション 女性と健康Ⅰの総復習</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
2	丸山 麻子	<p>【第 2 回】</p> <p>予習 : 自らのこれまでに生じた心身の問題を振り返る</p> <p>授業 : 女性の思春期に生じやすい問題 1</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
3	丸山 麻子	<p>【第 3 回】</p> <p>予習 : 自らのこれまでに生じた心身の問題を振り返る</p> <p>授業 : 女性の思春期に生じやすい問題 2</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
4	丸山 麻子	<p>【第 4 回】</p> <p>予習 : 妊娠と出産について中学校・高等学校等で学んだことをまとめる</p> <p>授業 : 妊娠と出産 1 女性ホルモンの役割</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
5	丸山 麻子	<p>【第 5 回】</p> <p>予習 : 妊娠と出産に関する最近の情報を調べる</p> <p>授業 : 妊娠と出産 2 妊娠・出産時期特有の疾患</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
6	丸山 麻子	<p>【第 6 回】</p> <p>予習 : 不妊治療に関する最近の情報を調べる</p> <p>授業 : 妊娠と出産 3 妊孕性と不妊治療</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
7	丸山 麻子	<p>【第 7 回】</p> <p>予習 : 自分の今後のキャリアについて考える</p> <p>授業 : 女性と仕事</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
8	丸山 麻子	<p>【第 8 回】</p> <p>予習 : 更年期障害について調べる</p> <p>授業 : 更年期障害</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
9	丸山 麻子	<p>【第 9 回】</p> <p>予習 : 更年期の婦人科系疾患について調べる</p> <p>授業 : 更年期に生じやすい疾患 1 がん</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	
10	丸山 麻子	<p>【第 10 回】</p> <p>予習 : 更年期の婦人科系疾患について調べる</p> <p>授業 : 更年期に生じやすい疾患 2 うつ、生活習慣病</p> <p>復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>	

11	丸山 麻子	【第 11 回】 予習 : 老年期の疾患について調べる 授業 : 老年期に生じやすい疾患 1 骨粗鬆症、フレイル 復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる						
12	丸山 麻子	【第 12 回】 予習 : 認知症について調べる 授業 : 老年期に生じやすい疾患 2 認知症 復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめる						
13	丸山 麻子	【第 13 回】 予習 : 【第 1 回】から【第 12 回】までの内容を振り返る 授業 : 女性と健康に関するテスト 復習 : 自分の考えをレポートにまとめる						
14	丸山 麻子	【第 14 回】 予習 : アンチエイジングについて調べる 授業 : 女性とアンチエイジング 復習 : 授業で学んだ事項をノートにまとめ、実践する						
15	丸山 麻子	【第 15 回】 予習 : 自身のこれからの人生を考える 授業 : 自身の人生設計、女性と健康 II 総括 復習 : 授業で学んだ事項をレポートにまとめる						
授業開始前学習	新聞やニュースに掲載された女性の健康に関する記事を読んでおくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で実施した小テスト・レポートについては、次回以降の授業にて返却・回答を行う。							
テキスト・教材	適宜、授業内に資料を使用する。							
参考書	授業中に適宜、紹介する。							
評価の基準と方法	小テスト・レポート 40 点、授業内テスト 50 点・最終提出課題 10 点 ※定期テストは行わない。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける		社会的責務を果たすこと のできる専門力と判断力を身 につける		文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケ ーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○	△					
関連科目	女性と健康 I							
その他	講義に対する質問や個別連絡については、メールを使用すること。 なお、受講者数や授業の進捗状況、また、社会情勢により講義の予定を変更することがある。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目分類	100-131-21	授業コード	F01771
科目名称	スポーツ I	単位数	1.0 単位
英文名称	Physical Education I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	丸山 麻子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	丸山 麻子	開講時期	1・2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	生涯にわたり健康的な生活を送る上で、自分自身の身体に関する知識・関心を持つことは重要である。そして、心身の健康を維持・増進するためには、運動を取り入れることが望ましい。しかし、誤った方法での運動は効果がないばかりか、心身を害することもあるため、正しい運動の実施方法を理解し、修得することが必要である。 本授業では様々な種類のスポーツを行うことにより、生涯を通して続けられるようなスポーツ・運動を見つけ、上達する方法について探究する。		
到達目標	本授業では様々なスポーツについて調べたうえで体験し、健やかな心身を形成するための運動に関する知識を得るとともに、様々な人と関わりながら互いに協力し合う力を身につけることを目的とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	丸山 麻子	【第 1 回】 予習 : 体育実技にふさわしい服装の準備 授業 : オリエンテーション、スポーツを行う上での注意点 復習 : 伝達事項ポイントの復習	
2	丸山 麻子	【第 2 回】 予習 : ニュースポーツ (ピロポロなど) のルールを調べる 授業 : ニュースポーツ (ピロポロなど) 復習 : 伝達事項ポイントの復習	
3	丸山 麻子	【第 3 回】 予習 : ドッジボールのルールを調べる 授業 : ドッジボール (球技系スポーツ 1) (実習) 復習 : プレー・ポイントの復習	
4	丸山 麻子	【第 4 回】 予習 : 卓球 (シングルス) のルールを調べる 授業 : 卓球 (シングルス) (ラケット系スポーツ 1) (実習) 復習 : プレー・ポイントの復習	
5	丸山 麻子	【第 5 回】 予習 : 卓球 (ダブルス) のルールを調べる 授業 : 卓球 (ダブルス) (ラケット系スポーツ 2) (実習) 復習 : プレー・ポイントの復習	
6	丸山 麻子	【第 6 回】 予習 : 卓球 (団体戦) のルールを調べる 授業 : 卓球 (団体戦) (ラケット系スポーツ 3) (実習) 復習 : プレー・ポイントの復習	
7	丸山 麻子	【第 7 回】 予習 : バドミントン (シングルス) のルールを調べる 授業 : バドミントン (シングルス) (ラケット系スポーツ 4) (実習) 復習 : プレー・ポイントの復習	
8	丸山 麻子	【第 8 回】 予習 : バドミントン (ダブルス) のルールを調べる 授業 : バドミントン (ダブルス) (ラケット系スポーツ 5) (実習) 復習 : プレー・ポイントの復習	
9	丸山 麻子	【第 9 回】 予習 : ティーボールのルールを調べる 授業 : ティーボール (球技系スポーツ 2) (実習) 復習 : プレー・ポイントの復習	
10	丸山 麻子	【第 10 回】 予習 : バasketボールのルールを調べる 授業 : Basketball (球技系スポーツ 3) (実習) 復習 : プレー・ポイントの復習	
11	丸山 麻子	【第 11 回】 予習 : 戦略を考える 授業 : Basketball (球技系スポーツ 4) (実習)	

		復習：プレー・ポイントの復習						
12	丸山 麻子	【第12回】 予習：レクリエーションスポーツ（バドミントン等）のルールを調べる 授業：レクリエーションスポーツ（バドミントン等）（実習） 復習：プレー・ポイントの復習						
13	丸山 麻子	【第13回】 予習：ソフトバレーボールのルールを調べる 授業：ソフトバレーボール（球技系スポーツ5）（実習） 復習：プレー・ポイントの復習						
14	丸山 麻子	【第14回】 予習：シッティングバレーボールのルールを調べる 授業：シッティングバレーボール（球技系スポーツ5）（実習） 復習：プレー・ポイントの復習						
15	丸山 麻子	【第15回】 予習：ルールを調べる 授業：バレーボール（球技系スポーツ7）（実習） 復習：プレー・ポイントの復習						
授業開始前学習	日ごろから体を動かす習慣を作り、自らの体をよく知ること。また、受講前に行うスポーツを見るなどして事前にルール等の知識を得てから受講すること。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎授業において回収するレポートに対しては、理解度の確認および適宜個別にコメントし、授業内にて全体の講評等を行う。							
テキスト・教材	なし							
参考書								
評価の基準と方法	レポート課題（60%）、学習意欲（20%）、授業参加態度（20%）を総合して評価を行う。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	○	○				
関連科目	なし							
その他	受講の際には、ジャージ等運動着、靴下、運動靴（外履き不可）にて臨むこと。運動を行うために適していないと判断される服装の場合には、受講を認めない。また、筆記用具および水分補給のための飲み物を持参すること。また授業内容については、参加人数で適宜変更して行うこともある。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-131-21 (J)		授業コード	F01772
科目名称	スポーツ I		単位数	1.0 単位
英文名称	Physical Education I		授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	塩嶋 理恵		必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	塩嶋 理恵		開講時期	1・2 年
オフィスアワー	-		研究室	-
授業概要	健康・体力づくりは、国民全体の大きな課題となっている。この科目の目標は、スポーツその他の身体運動を通して継続できるスポーツを選択しながら、健康志向への動機付けを図り、それらの実践に関する知識や技術を得ると共に、その方法を自分自身に当てはめ、応用展開する能力を体験して養ってもらうことである。 スポーツ I の実技種目は、インドア（体育館）で体操・バドミントン・バレーボールなどを行う。			
到達目標	各種スポーツにおけるルールの理解・個々のスキルアップを目指す。 またチームプレイを通して協調性を養う。			
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回	複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容		
1	塩嶋 理恵	【第 1 回】 予習 : 体育実技にふさわしい服装の準備 授業 : ガイダンス (授業説明・注意事項) 復習 : 高等学校で使用した体育館専用シューズの確認		
2	塩嶋 理恵	【第 2 回】 予習 : 体育実技にふさわしい服装と体育館専用シューズの準備 授業 : ゆがみ修正体操 (実習) 復習 : ゆがみ修正体操 復習		
3	塩嶋 理恵	【第 3 回】 予習 : 服装とシューズの準備 授業 : バドミントン (基本練習・サーブ) (実習) 復習 : バドミンのサーブの復習		
4	塩嶋 理恵	【第 4 回】 予習 : バドミンのルール確認。服装とシューズの準備 授業 : バドミントン (ゲーム・ルール説明) (実習) 復習 : バドミンのルールの復習		
5	塩嶋 理恵	【第 5 回】 予習 : バドミンのゲーム方法の確認。服装とシューズの準備 授業 : バドミントン (ゲーム・マナー) (実習) 復習 : バドミンのゲームとマナーの復習		
6	塩嶋 理恵	【第 6 回】 予習 : バドミンのゲーム方法の確認。服装とシューズの準備 授業 : バドミントン (ゲーム・フォーメーション) (実習) 復習 : バドミンのゲームとフォーメーションの復習		
7	塩嶋 理恵	【第 7 回】 予習 : バドミンのシングルスゲーム方法の確認。服装とシューズの準備 授業 : バドミントン (ゲーム・フォーメーション) (実習) 復習 : バドミンのゲームとフォーメーションの復習		
8	塩嶋 理恵	【第 8 回】 予習 : バドミンのダブルスゲーム方法の確認。服装とシューズの準備 授業 : バドミントン (ゲーム・フォーメーション) (実習) 復習 : バドミンのゲームとフォーメーションの復習		
9	塩嶋 理恵	【第 9 回】 予習 : バレーボールのオーバー・アンダーハンドパスの予習 授業 : バレーボール (基本練習・オーバー・アンダーハンドパス) (実習) 復習 : バレーボールのオーバー・アンダーハンドパスの復習		
10	塩嶋 理恵	【第 10 回】 予習 : バレーボールのアンダーサーブ・オーバーサーブの予習 授業 : バレーボール (基本練習・サーブ) (実習) 復習 : バレーボールのアンダー・オーバーサーブの復習		
11	塩嶋 理恵	【第 11 回】 予習 : バレーボールのサーブとレシーブの予習 授業 : バレーボール (基本練習・サーブとレシーブ) (実習) 復習 : バレーボールのサーブとレシーブの復習		

12	塩嶋 理恵	【第 12 回】 予習 : バレーボールのゲーム・ルールの予習 授業 : バレーボール (ゲーム・ルール説明) (実習) 復習 : バレーボールのゲーム・ルールの復習						
13	塩嶋 理恵	【第 13 回】 予習 : バレーボールのルールとマナーの予習 授業 : バレーボール (ゲーム・ルールとマナー説明) (実習) 復習 : バレーボールのルールとマナーの復習						
14	塩嶋 理恵	【第 14 回】 予習 : バレーボールのルールとマナーの予習 授業 : バレーボール (ゲーム・ルールとマナー説明) (実習) 復習 : バレーボールのルールとマナーの復習						
15	塩嶋 理恵	【第 15 回】 予習 : バスケットボールのドリブルの予習 授業 : バスケットボール (基本練習・ドリブル) (実習) 復習 : バスケットボールのドリブルの復習						
授業開始前学習	体育実技にふさわしい服装の準備と高等学校で使用した体育館専用シューズの確認							
授業内課題のフィードバックの方法	授業 8 回目、14 回目に各種目ごとのゲーム結果を発表し、個人、チーム全体の講評を行う。個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	特にありません							
参考書								
評価の基準と方法	実技態度 70%、技術・試合評価 30%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	○	○				
関連科目	スポーツⅡ							
その他	人数調整等により卓球などの他のスポーツを並行して実施することもある。 体操 では各自バスタオルを準備すること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容	競技チアリーディング上級指導資格・審査員資格をもち、幼児から大学生までを指導してきた経験を活かし、体のストレッチングや柔軟性を高めるよう授業に取り入れて行う。							

科目分類	100-131-21	授業コード	F01781
科目名称	ｽﾎﾟｰﾂII	単位数	1.0 単位
英文名称	Physical Education II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	三辻 浩子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	三辻 浩子	開講時期	1・2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	自分の身体とは一生つきあって行かねばならない。そして健康を維持する事が幸せにつながる。更になりたい自分の身体づくりをすることは楽しさにもつながる。シェイプアップにつながる運動の仕方や食事法など学び、きれいな姿勢など身体を意識することも学ぶ。この授業ではエアロビクス（有酸素運動）に楽しい音楽を用いて心肺機能向上、脂肪燃焼を目指す。またフレックスクッション、バランスボール、ダンベルも用いて楽しみながら Body Making の方法を学ぶ。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・持久力向上・シェイプアップのための運動方法を学ぶ。 ・シェイプアップや筋肉をつけるための食事の摂取法を学ぶ。 ・基本的な STEP を習得し楽しく動く事を学ぶ。 ・正しい姿勢を習得することを学ぶ。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	三辻 浩子	【第 1 回】 授業：エアロビクスとは 実技 1（フレックスクッション導入）（実習） ＊健康を考える 予習：エアロビクスについて調べておく 復習：本日の STEP を合致させておく	
2	三辻 浩子	【第 2 回】 授業：ウォームアップについて 実技 2（実習） ＊自己管理法 予習：ウォームアップについて調べておく 復習：本日の STEP を覚える	
3	三辻 浩子	【第 3 回】 授業：メインエクササイズについて 実技 3（実習） ＊H.R（脈拍の変化について） 予習：本日の STEP を合致させておく 復習：本日の S T E P を覚える	
4	三辻 浩子	【第 4 回】 授業：筋肉強化エクササイズについて 実技 4（ダンベル導入）（実習） ＊筋肉をつけるための食事について 予習：本日の STEP を合致させておく 復習：本日の S T E P を覚える	
5	三辻 浩子	【第 5 回】 授業：クールダウンについて 実技 5（実習） ＊食事管理について 予習：本日の STEP を合致させておく 復習：本日の S T E P を覚える	
6	三辻 浩子	【第 6 回】 授業：創作の仕方（1）STEP のコンビネーション 実技 6（実習） ＊Step の組み合わせ方について 予習：本日の STEP を合致させておく 復習：32 カウントの創作（足の動きを考えておく）	
7	三辻 浩子	【第 7 回】 授業：創作の仕方（2）アームス導入 実技 7（実習） ＊Step の組み合わせと腕の動きについて 予習：発表者のみ自分の作品を考えてくる 復習：32 カウントアームスを導入し創作	
8	三辻 浩子	【第 8 回】 授業：創作の仕方（3）フォーメーション・方向の導入 実技 8（実習） ＊Step の組み合わせと重心の移動について（運動量を上げる方法） 予習：発表者のみ自分の作品を考えてくる 復習：32 カウント方向を導入し創作	

9	三辻 浩子	【第 9 回】 授業：創作の仕方(4) キューイングの導入 実技 9 (実習) * Step の組み合わせと声出しについて 予習：発表者のみ自分の作品を練習してくる 復習：32 カウントの創作をしキューイング練習						
10	三辻 浩子	【第 10 回】 授業：好きな曲に振付をする(1) 曲を決める 実技 10 (実習) * Lesson は普通に行い、今回から授業のラストに振付の仕方にチャレンジ 予習：発表者のみ自分の作品を練習してくる 復習：本日の創作作成内容を覚える						
11	三辻 浩子	【第 11 回】 授業：好きな曲に振付をする(2) 音割り 実技 11 (実習) 予習：作成した内容を覚えてくる 復習：本日の創作内容を覚える						
12	三辻 浩子	【第 12 回】 授業：好きな曲に振付をする(3) 32 カウントの動きを当てはめる 実技 12 (実習) 予習：作成した内容を覚えてくる 復習：本日の創作内容を覚える						
13	三辻 浩子	【第 13 回】 授業：好きな曲に振付をする(4) 曲の 1 番に振付完成 実技 13 (実習) 予習：作成した内容を覚えてくる 復習：本日の創作内容を覚える						
14	三辻 浩子	【第 14 回】 授業：好きな曲に振付をする(5) 練習 実技 14 (実習) 予習：作成した内容を覚えてくる 復習：作品を練習してくる						
15	三辻 浩子	【第 15 回】 授業：まとめ・発表 実技 15 (実習) *好きな曲に振り付けたものを発表してみる 予習：作品を練習してくる 復習：今後の自分なりの健康管理を考える						
授業開始前学習	『エアロビクス』が生まれた背景を調べておく。ケネス・H・クーパー、ジャッキー・ソーレンセン、ジェーン・フォンダの 3 人物を調べておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	少しずつ学び覚えた Step を組み合わせ創作を行う。その Step Sheet (用紙あり) を提出する。それに対してコメント(フィードバック)を行う。							
テキスト・教材	プリント配布							
参考書								
評価の基準と方法	実技+授業態度(片付け・協力度・楽しく動いているか)・・・(80%) 提出物(ステップシート)・・・(20%)							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	○	○				
関連科目								
その他	シューズ・ソックス・ウエアー(動ける用意)・筆記用具・タオル・飲料(水分補給)を持参のこと							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間(2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間(1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-131-21 (J)		授業コード	F01782
科目名称	スポーツⅡ		単位数	1.0 単位
英文名称	Physical Education II		授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	塩嶋 理恵		必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	塩嶋 理恵		開講時期	1・2 年
オフィスアワー	-		研究室	-
授業概要	健康・体力づくりは、国民全体の大きな課題となっている。この科目の目標は、スポーツその他の身体運動を通して継続できるスポーツを選択しながら、健康志向への動機付けを図り、それらの実践に関する知識や技術を得ると共に、その方法を自分自身に当てはめ、応用展開する能力を体験して養ってもらふことである。 スポーツⅡの実技種目は、インドア（体育館）でソフトバレーボール・卓球・軽スポーツなどを行う。			
到達目標	各種スポーツにおけるルールの理解・個々のスキルアップを目指す。 またチームプレイを通して協調性を養う。			
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回	複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容		
1	塩嶋 理恵	【第 1 回】 予習 : 体育実技にふさわしい服装の準備 授業 : ガイダンス (授業説明・注意事項) 復習 : 高等学校で使用した体育館専用シューズの確認		
2	塩嶋 理恵	【第 2 回】 予習 : 体育実技にふさわしい服装と体育館専用シューズの準備 授業 : リラックスヨガ (実習) 復習 : リラックスヨガの復習		
3	塩嶋 理恵	【第 3 回】 予習 : 服装とシューズの準備 授業 : ソフトバレーボール (基本練習・サーブ) (実習) 復習 : ソフトバレーボールサーブの復習		
4	塩嶋 理恵	【第 4 回】 予習 : ソフトバレーボールのルール確認。服装とシューズの準備 授業 : ソフトバレーボール (ゲーム・ルール説明) (実習) 復習 : ソフトバレーボールのルールの復習		
5	塩嶋 理恵	【第 5 回】 予習 : ソフトバレーボールのゲーム方法の確認。服装とシューズの準備 授業 : ソフトバレーボール (ゲーム・マナー) (実習) 復習 : ソフトバレーボールのゲームとマナーの復習		
6	塩嶋 理恵	【第 6 回】 予習 : ソフトバレーボールのゲーム方法の確認。服装とシューズの準備 授業 : ソフトバレーボール (ゲーム・フォーメーション) (実習) 復習 : ソフトバレーボールのゲームとフォーメーションの復習		
7	塩嶋 理恵	【第 7 回】 予習 : ソフトバレーボールゲーム方法の確認。服装とシューズの準備 授業 : ソフトバレーボール (ゲーム・フォーメーション) (実習) 復習 : ソフトバレーボールのフォーメーションの復習		
8	塩嶋 理恵	【第 8 回】 予習 : ソフトバレーボールゲーム方法の確認。服装とシューズの準備 授業 : ソフトバレーボール (ゲーム・フォーメーション) (実習) 復習 : ソフトバレーボールのゲームとフォーメーションの復習		
9	塩嶋 理恵	【第 9 回】 予習 : 卓球のフォア・バックの予習 授業 : 卓球 (基本練習・フォア・バック) (実習) 復習 : 卓球のフォア・バックの復習		
10	塩嶋 理恵	【第 10 回】 予習 : 卓球のサーブの予習 授業 : 卓球 (基本練習・サーブ) (実習) 復習 : 卓球のサーブの復習		
11	塩嶋 理恵	【第 11 回】 予習 : 卓球のサーブとレシーブの予習 授業 : 卓球 (基本練習・サーブとレシーブ) (実習)		

		復習 : 卓球のサーブとレシーブの復習						
12	塩嶋 理恵	【第 12 回】 予習 : 卓球のゲーム・ルールの予習 授業 : 卓球 (ゲーム・ルール説明) (実習) 復習 : 卓球のゲーム・ルールの復習						
13	塩嶋 理恵	【第 13 回】 予習 : 卓球のルールとマナーの予習 授業 : 卓球 (ゲーム・ルールとマナー説明) (実習) 復習 : 卓球のルールとマナーの復習						
14	塩嶋 理恵	【第 14 回】 予習 : 卓球のルールとマナーの予習 授業 : 卓球 (ゲーム・ルールとマナー説明) (実習) 復習 : 卓球のルールとマナーの復習						
15	塩嶋 理恵	【第 15 回】 予習 : 卓球のゲームとルールの予習 授業 : 卓球 (ゲーム・ルールの説明) (実習) 復習 : 卓球のゲームとルールの復習						
授業開始前学習	体育実技にふさわしい服装の準備と高等学校で使用した体育館専用シューズの確認							
授業内課題のフィードバックの方法	授業 8 回目、1 4 回目に各種目ごとのゲーム結果を発表し、個人、チーム全体の講評を行う。個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	特にありません							
参考書								
評価の基準と方法	実技態度 70%、技術・試合評価 30%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	○	○				
関連科目	スポーツ I							
その他	人数に応じて、バドミントンや軽スポーツなどの他のスポーツを並行して実施することもあります。リラックスヨガでは各自バスタオルを準備すること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容	競技子アリーディング上級指導資格・審査員資格をもち、幼児から大学生までを指導してきた経験を活かし、体のストレッチングや柔軟性を高めるよう授業に取り入れて行う。							

科目分類	100-110-21	授業コード	F02011
科目名称	言語表現演習 I	単位数	1.0 単位
英文名称	Seminar on Japanese Representation I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	松村 良	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	松村 良	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 14:40～16:10 木曜日 13:00～14:30 後期 火曜日 14:40～16:10 木曜日 13:00～14:30	研究室	10-617
授業概要	ふだん意識せずに使っている日本語の特徴や、自分の日本語に関する知識を確認しながら、コミュニケーションツールとしての日本語を適切に使いこなすための基礎的な技術を学ぶ。敬語の使い方、文法上問題のある表現、文章の形式や構成などについて、教科書の問題を考え、実際に文章を書いて理解を深めていく。この授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	敬語や文法などの日本語の基礎を身に付け、状況に応じて適切な文章を書けるようになる。日本語についての知識と教養を深め、専門分野での発表やレポート作成に必要な日本語力を身につけることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	松村 良	【第 1 回】 予習 : 教科書 2 冊 (a と b) を準備して目を通す。教科書 a の 12～14 頁を読んでおく。 授業 : 前期の授業の進め方について説明する。教科書 a「敬語の種類と使い分け」(12～14 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 12～14 頁を復習する。	
2	松村 良	【第 2 回】 予習 : 教科書 a の 15～17 頁の練習・応用問題を予習する。 授業 : 教科書 a「敬語の種類と使い分け」の練習・応用問題 (15～17 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 15～17 頁を復習する。	
3	松村 良	【第 3 回】 予習 : 教科書 a の 18～20 頁を読み、21～23 頁の練習・応用問題を予習しておく。 授業 : 教科書 a「注意すべき敬語」(18～20 頁) について説明し、練習・応用問題 (21～23 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 18～23 頁を復習する	
4	松村 良	【第 4 回】 予習 : 教科書 a の 24～26 頁と、教科書 b の 39～46 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「配慮を示す言葉」(24～26 頁) について説明する。教科書 b「手紙を書こう」(39～46 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 24～26 頁と、教科書 b の 39～46 頁を復習する。	
5	松村 良	【第 5 回】 予習 : 教科書 b の 39～46 頁を読み直す。 授業 : 教科書 b「手紙を書こう」(39～46 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 1 で確認する。作文課題 1 (手紙文) を授業時間内に書いて提出する (課題解決型学習)。 復習 : 手紙文の書き方を復習する。	
6	松村 良	【第 6 回】 予習 : 教科書 a の 27～29 頁の練習・応用問題を予習しておく。 授業 : 作文課題 1 を返却し、解説する。教科書 a「配慮を示す言葉」の練習・応用問題 (27～29 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 27～29 頁を復習する。	
7	松村 良	【第 7 回】 予習 : 教科書 a の 32～34 頁を読み、35～36 頁の練習問題を予習しておく。 授業 : 教科書 a「品詞・活用の種類」(32～34 頁) について説明してから、練習問題 (35～36 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 32～36 頁を復習する。	
8	松村 良	【第 8 回】 予習 : 教科書 a の 37 頁の応用問題を予習しておく。教科書 b の 5～10 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「品詞・活用の種類」の応用問題 (37 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 教科書 b「まずは書いてみよう」(5～10 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 37 頁と、教科書 b の 5～10 頁を復習する。	
9	松村 良	【第 9 回】 予習 : 教科書 b の 11～18 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 b「よい文章を書くために」(11～18 頁) の「(1)「文」を書くときの注意点」(11～13 頁) に	

		<p>ついて説明してから、作文課題2（原稿用紙に書く）を授業時間内に書いて提出する（課題解決型学習）。 復習：「文」を書くときの注意点と、原稿用紙の使い方を復習する。</p>							
10	松村 良	<p>【第10回】 予習：教科書bの11～18頁を読み直す。 授業：作文課題2を返却し、解説する。教科書b「よい文章を書くために」（11～18頁）の「(2)「文」から「文章」へ」以降（13～18頁）について説明する。 復習：教科書bの11～18頁を復習する。</p>							
11	松村 良	<p>【第11回】 予習：教科書aの38～40頁を読んでおく。教科書bの5～18頁を読み直す。 授業：教科書b「まずは書いてみよう」（5～10頁）・「よい文章を書くために」（11～18頁）の知識が身に付いているかを小テスト2で確認する。教科書a「ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉」（38～40頁）について説明する。 復習：教科書aの38～40頁と、教科書bの5～18頁を復習する。</p>							
12	松村 良	<p>【第12回】 予習：教科書aの41～43頁の練習・応用問題を予習し、44～46頁を読んでおく。 授業：教科書a「ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉」の練習・応用問題（41～43頁）の答え合わせと解説を行い（課題解決型学習）、「文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文」（44～46頁）について説明する。 復習：教科書aの41～46頁を復習する。</p>							
13	松村 良	<p>【第13回】 予習：教科書bの19～21頁を読んでおく。 授業：教科書b「さあ文章を書いてみよう」（19～21頁）を説明してから、作文課題3（論理的な文章）の下書き（構成）を考えさせた上で、宿題にする（課題解決型学習）。 復習：教科書bの19～21頁を復習する。作文課題3を書いてClassroomに提出する。</p>							
14	松村 良	<p>【第14回】 予習：教科書aの47～49頁の練習・応用問題を予習する。 授業：教科書a「文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文」の練習・応用問題（47～49頁）の答え合わせと解説を行う（課題解決型学習）。教科書aで前期に学んだことを振り返る。 復習：教科書aの47～49頁と、教科書aで前期に学んだことを復習する。</p>							
15	松村 良	<p>【第15回】 予習：教科書bの19～21頁を読み直す。前期の授業内容を振り返る。 授業：教科書bの「さあ文章を書いてみよう」（19～21頁）の知識が身に付いているかを小テスト3で確認する。作文課題3を解説する。教科書bで前期に学んだことを振り返る。 復習：教科書bで前期の授業で学んだことを復習する。</p>							
授業開始前学習		教科書に目を通して、どんなことを学ぶのか内容を確認しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法		日本語についての基礎的な問題や、作文課題、授業内テストを実施する。課題は返却後講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材		a『スキルアップ! 日本語力』名古屋大学日本語研究会 GK7 著（東京書籍） b『日本語表現法 新訂版』庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴著（翰林書房） 教科書は必ず2冊とも買うこと。							
参考書									
評価の基準と方法		定期試験（60%）と作文課題・授業内テスト（40%）で評価する。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		◎				○	
関連科目									
その他		毎回、国語辞典（電子辞書可）を持っていくこと。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F02012
科目名称	言語表現演習 I	単位数	1.0 単位
英文名称	Seminar on Japanese Representation I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	大内 瑞恵	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	大内 瑞恵	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	ふだん意識せずに使っている日本語の特徴や、自分の日本語に関する知識を確認しながら、コミュニケーションツールとしての日本語を適切に使いこなすための基礎的な技術を学ぶ。敬語の使い方、文法上問題のある表現、文章の形式や構成などについて、教科書の問題を考え、実際に文章を書いて理解を深めていく。この授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	敬語や文法などの日本語の基礎を身に付け、状況に応じて適切な文章を書けるようになる。日本語についての知識と教養を深め、専門分野での発表やレポート作成に必要な日本語力を身につけることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	大内 瑞恵	【第 1 回】 予習 : 教科書 2 冊 (a と b) を準備して目を通す。教科書 a の 12～14 頁を読んでおく。 授業 : 前期の授業の進め方について説明する。教科書 a「敬語の種類と使い分け」(12～14 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 12～14 頁を復習する。	
2	大内 瑞恵	【第 2 回】 予習 : 教科書 a の 15～17 頁の練習・応用問題を予習する。 授業 : 教科書 a「敬語の種類と使い分け」の練習・応用問題 (15～17 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 15～17 頁を復習する。	
3	大内 瑞恵	【第 3 回】 予習 : 教科書 a の 18～20 頁を読み、21～23 頁の練習・応用問題を予習しておく。 授業 : 教科書 a「注意すべき敬語」(18～20 頁) について説明し、練習・応用問題 (21～23 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 18～23 頁を復習する	
4	大内 瑞恵	【第 4 回】 予習 : 教科書 a の 24～26 頁と、教科書 b の 39～46 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「配慮を示す言葉」(24～26 頁) について説明する。教科書 b「手紙を書こう」(39～46 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 24～26 頁と、教科書 b の 39～46 頁を復習する。	
5	大内 瑞恵	【第 5 回】 予習 : 教科書 b の 39～46 頁を読み直す。 授業 : 教科書 b「手紙を書こう」(39～46 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 1 で確認する。作文課題 1 (手紙文) を授業時間内に書いて提出する (課題解決型学習)。 復習 : 手紙文の書き方を復習する。	
6	大内 瑞恵	【第 6 回】 予習 : 教科書 a の 27～29 頁の練習・応用問題を予習しておく。 授業 : 作文課題 1 を返却し、解説する。教科書 a「配慮を示す言葉」の練習・応用問題 (27～29 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 27～29 頁を復習する。	
7	大内 瑞恵	【第 7 回】 予習 : 教科書 a の 32～34 頁を読み、35～36 頁の練習問題を予習しておく。 授業 : 教科書 a「品詞・活用の種類」(32～34 頁) について説明してから、練習問題 (35～36 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 32～36 頁を復習する。	
8	大内 瑞恵	【第 8 回】 予習 : 教科書 a の 37 頁の応用問題を予習しておく。教科書 b の 5～10 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「品詞・活用の種類」の応用問題 (37 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 教科書 b「まずは書いてみよう」(5～10 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 37 頁と、教科書 b の 5～10 頁を復習する。	
9	大内 瑞恵	【第 9 回】 予習 : 教科書 b の 11～18 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 b「よい文章を書くために」(11～18 頁) の「(1) 「文」を書くときの注意点」(11～13 頁) について説明してから、作文課題 2 (原稿用紙に書く) を授業時間内に書いて提出する (課題解決型学習)。 復習 : 「文」を書くときの注意点と、原稿用紙の使い方を復習する。	

10	大内 瑞恵	【第10回】 予習：教科書bの11～18頁を読み直す。 授業：作文課題2を返却し、解説する。教科書b「よい文章を書くために」（11～18頁）の「(2)「文」から「文章」へ」以降（13～18頁）について説明する。 復習：教科書bの11～18頁を復習する。						
11	大内 瑞恵	【第11回】 予習：教科書aの38～40頁を読んでおく。教科書bの5～18頁を読み直す。 授業：教科書b「まずは書いてみよう」（5～10頁）・「よい文章を書くために」（11～18頁）の知識が身に付いているかを小テスト2で確認する。教科書a「ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉」（38～40頁）について説明する。 復習：教科書aの38～40頁と、教科書bの5～18頁を復習する。						
12	大内 瑞恵	【第12回】 予習：教科書aの41～43頁の練習・応用問題を予習し、44～46頁を読んでおく。 授業：教科書a「ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉」の練習・応用問題（41～43頁）の答え合わせと解説を行い（課題解決型学習）、「文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文」（44～46頁）について説明する。 復習：教科書aの41～46頁を復習する。						
13	大内 瑞恵	【第13回】 予習：教科書bの19～21頁を読んでおく。 授業：教科書b「さあ文章を書いてみよう」（19～21頁）を説明してから、作文課題3（論理的な文章）の下書き（構成）を考えさせた上で、宿題にする（課題解決型学習）。 復習：教科書bの19～21頁を復習する。作文課題3を書いて Classroom に提出する。						
14	大内 瑞恵	【第14回】 予習：教科書aの47～49頁の練習・応用問題を予習する。 授業：教科書a「文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文」の練習・応用問題（47～49頁）の答え合わせと解説を行う（課題解決型学習）。教科書aで前期に学んだことを振り返る。 復習：教科書aの47～49頁と、教科書aで前期に学んだことを復習する。						
15	大内 瑞恵	【第15回】 予習：教科書bの19～21頁を読み直す。前期の授業内容を振り返る。 授業：教科書bの「さあ文章を書いてみよう」（19～21頁）の知識が身に付いているかを小テスト3で確認する。作文課題3を解説する。教科書bで前期に学んだことを振り返る。 復習：教科書bで前期の授業で学んだことを復習する。						
授業開始前学習	教科書に目を通して、どんなことを学ぶのか内容を確認しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	日本語についての基礎的な問題や、作文課題、授業内テストを実施する。課題は返却後講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	a『スキルアップ! 日本語力』名古屋大学日本語研究会 GK7 著（東京書籍） b『日本語表現法 新訂版』庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴著（翰林書房） 教科書は必ず2冊とも買うこと。							
参考書								
評価の基準と方法	定期試験（60%）と作文課題・授業内テスト（40%）で評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目								
その他	毎回、国語辞典（電子辞書可）を持つこと。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02014
科目名称	言語表現演習 I	単位数	1.0 単位
英文名称	Seminar on Japanese Representation I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中尾 真樹	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中尾 真樹	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	ふだん意識せずに使っている日本語の特徴や、自分の日本語に関する知識を確認しながら、コミュニケーションツールとしての日本語を適切に使いこなすための基礎的な技術を学ぶ。敬語の使い方、文法上問題のある表現、文章の形式や構成などについて、教科書の問題を考え、実際に文章を書いて理解を深めていく。この授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	敬語や文法などの日本語の基礎を身に付け、状況に応じて適切な文章を書けるようになる。日本語についての知識と教養を深め、専門分野での発表やレポート作成に必要な日本語力を身につけることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	中尾 真樹	【第 1 回】 予習 : 教科書 2 冊 (a と b) を準備して目を通す。教科書 a の 12~14 頁を読んでおく。 授業 : 前期の授業の進め方について説明する。教科書 a「敬語の種類と使い分け」(12~14 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 12~14 頁を復習する。	
2	中尾 真樹	【第 2 回】 予習 : 教科書 a の 15~17 頁の練習・応用問題を予習する。 授業 : 教科書 a「敬語の種類と使い分け」の練習・応用問題 (15~17 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 15~17 頁を復習する。	
3	中尾 真樹	【第 3 回】 予習 : 教科書 a の 18~20 頁を読み、21~23 頁の練習・応用問題を予習しておく。 授業 : 教科書 a「注意すべき敬語」(18~20 頁) について説明し、練習・応用問題 (21~23 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 18~23 頁を復習する	
4	中尾 真樹	【第 4 回】 予習 : 教科書 a の 24~26 頁と、教科書 b の 39~46 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「配慮を示す言葉」(24~26 頁) について説明する。教科書 b「手紙を書こう」(39~46 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 24~26 頁と、教科書 b の 39~46 頁を復習する。	
5	中尾 真樹	【第 5 回】 予習 : 教科書 b の 39~46 頁を読み直す。 授業 : 教科書 b「手紙を書こう」(39~46 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 1 で確認する。作文課題 1 (手紙文) を授業時間内に書いて提出する (課題解決型学習)。 復習 : 手紙文の書き方を復習する。	
6	中尾 真樹	【第 6 回】 予習 : 教科書 a の 27~29 頁の練習・応用問題を予習しておく。 授業 : 作文課題 1 を返却し、解説する。教科書 a「配慮を示す言葉」の練習・応用問題 (27~29 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 27~29 頁を復習する。	
7	中尾 真樹	【第 7 回】 予習 : 教科書 a の 32~34 頁を読み、35~36 頁の練習問題を予習しておく。 授業 : 教科書 a「品詞・活用の種類」(32~34 頁) について説明してから、練習問題 (35~36 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 32~36 頁を復習する。	
8	中尾 真樹	【第 8 回】 予習 : 教科書 a の 37 頁の応用問題を予習しておく。教科書 b の 5~10 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「品詞・活用の種類」の応用問題 (37 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 教科書 b「まずは書いてみよう」(5~10 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 37 頁と、教科書 b の 5~10 頁を復習する。	
9	中尾 真樹	【第 9 回】 予習 : 教科書 b の 11~18 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 b「よい文章を書くために」(11~18 頁) の「(1)「文」を書くときの注意点」(11~13 頁) について説明してから、作文課題 2 (原稿用紙に書く) を授業時間内に書いて提出する (課題解決型学習)。 復習 : 「文」を書くときの注意点と、原稿用紙の使い方を復習する。	

10	中尾 真樹	【第10回】 予習：教科書bの11～18頁を読み直す。 授業：作文課題2を返却し、解説する。教科書b「よい文章を書くために」（11～18頁）の「(2)「文」から「文章」へ」以降（13～18頁）について説明する。 復習：教科書bの11～18頁を復習する。						
11	中尾 真樹	【第11回】 予習：教科書aの38～40頁を読んでおく。教科書bの5～18頁を読み直す。 授業：教科書b「まずは書いてみよう」（5～10頁）・「よい文章を書くために」（11～18頁）の知識が身に付いているかを小テスト2で確認する。教科書a「ら抜き言葉・etas言葉・さ入れ言葉」（38～40頁）について説明する。 復習：教科書aの38～40頁と、教科書bの5～18頁を復習する。						
12	中尾 真樹	【第12回】 予習：教科書aの41～43頁の練習・応用問題を予習し、44～46頁を読んでおく。 授業：教科書a「ら抜き言葉・etas言葉・さ入れ言葉」の練習・応用問題（41～43頁）の答え合わせと解説を行い（課題解決型学習）、「文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文」（44～46頁）について説明する。 復習：教科書aの41～46頁を復習する。						
13	中尾 真樹	【第13回】 予習：教科書bの19～21頁を読んでおく。 授業：教科書b「さあ文章を書いてみよう」（19～21頁）を説明してから、作文課題3（論理的な文章）の下書き（構成）を考えさせた上で、宿題にする（課題解決型学習）。 復習：教科書bの19～21頁を復習する。作文課題3を書いて Classroom に提出する。						
14	中尾 真樹	【第14回】 予習：教科書aの47～49頁の練習・応用問題を予習する。 授業：教科書a「文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文」の練習・応用問題（47～49頁）の答え合わせと解説を行う（課題解決型学習）。教科書aで前期に学んだことを振り返る。 復習：教科書aの47～49頁と、教科書aで前期に学んだことを復習する。						
15	中尾 真樹	【第15回】 予習：教科書bの19～21頁を読み直す。前期の授業内容を振り返る。 授業：教科書bの「さあ文章を書いてみよう」（19～21頁）の知識が身に付いているかを小テスト3で確認する。作文課題3を解説する。教科書bで前期に学んだことを振り返る。 復習：教科書bで前期の授業で学んだことを復習する。						
授業開始前学習	教科書に目を通して、どんなことを学ぶのか内容を確認しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	日本語についての基礎的な問題や、作文課題、授業内テストを実施する。課題は返却後講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	a『スキルアップ! 日本語力』名古屋大学日本語研究会 GK7 著（東京書籍） b『日本語表現法 新訂版』庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴著（翰林書房） 教科書は必ず2冊とも買うこと。							
参考書								
評価の基準と方法	定期試験（60%）と作文課題・授業内テスト（40%）で評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目								
その他	毎回、国語辞典（電子辞書可）を持っていくこと。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02018
科目名称	言語表現演習 I	単位数	1.0 単位
英文名称	Seminar on Japanese Representation I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	橋本 衆宝	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	橋本 衆宝	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00~12:00 後期 水曜日 09:00~12:00	研究室	10-616
授業概要	ふだん意識せずに使っている日本語の特徴や、自分の日本語に関する知識を確認しながら、コミュニケーションツールとしての日本語を適切に使いこなすための基礎的な技術を学ぶ。敬語の使い方、文法上問題のある表現、文章の形式や構成などについて、教科書の問題を考え、実際に文章を書いて理解を深めていく。この授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	敬語や文法などの日本語の基礎を身に付け、状況に応じて適切な文章を書けるようになる。日本語についての知識と教養を深め、専門分野での発表やレポート作成に必要な日本語力を身につけることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	橋本 衆宝	【第 1 回】 予習 : 教科書 2 冊 (a と b) を準備して目を通す。教科書 a の 12~14 頁を読んでおく。 授業 : 前期の授業の進め方について説明する。教科書 a「敬語の種類と使い分け」(12~14 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 12~14 頁を復習する。	
2	橋本 衆宝	【第 2 回】 予習 : 教科書 a の 15~17 頁の練習・応用問題を予習する。 授業 : 教科書 a「敬語の種類と使い分け」の練習・応用問題 (15~17 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 15~17 頁を復習する。	
3	橋本 衆宝	【第 3 回】 予習 : 教科書 a の 18~20 頁を読み、21~23 頁の練習・応用問題を予習しておく。 授業 : 教科書 a「注意すべき敬語」(18~20 頁) について説明し、練習・応用問題 (21~23 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 18~23 頁を復習する	
4	橋本 衆宝	【第 4 回】 予習 : 教科書 a の 24~26 頁と、教科書 b の 39~46 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「配慮を示す言葉」(24~26 頁) について説明する。教科書 b「手紙を書こう」(39~46 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 24~26 頁と、教科書 b の 39~46 頁を復習する。	
5	橋本 衆宝	【第 5 回】 予習 : 教科書 b の 39~46 頁を読み直す。 授業 : 教科書 b「手紙を書こう」(39~46 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 1 で確認する。作文課題 1 (手紙文) を授業時間内に書いて提出する (課題解決型学習)。 復習 : 手紙文の書き方を復習する。	
6	橋本 衆宝	【第 6 回】 予習 : 教科書 a の 27~29 頁の練習・応用問題を予習しておく。 授業 : 作文課題 1 を返却し、解説する。教科書 a「配慮を示す言葉」の練習・応用問題 (27~29 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 27~29 頁を復習する。	
7	橋本 衆宝	【第 7 回】 予習 : 教科書 a の 32~34 頁を読み、35~36 頁の練習問題を予習しておく。 授業 : 教科書 a「品詞・活用の種類」(32~34 頁) について説明してから、練習問題 (35~36 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 32~36 頁を復習する。	
8	橋本 衆宝	【第 8 回】 予習 : 教科書 a の 37 頁の応用問題を予習しておく。教科書 b の 5~10 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「品詞・活用の種類」の応用問題 (37 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 教科書 b「まずは書いてみよう」(5~10 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 37 頁と、教科書 b の 5~10 頁を復習する。	
9	橋本 衆宝	【第 9 回】 予習 : 教科書 b の 11~18 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 b「よい文章を書くために」(11~18 頁) の「(1)「文」を書くときの注意点」(11~13 頁) について説明してから、作文課題 2 (原稿用紙に書く) を授業時間内に書いて提出する (課題解決型学習)。 復習 : 「文」を書くときの注意点と、原稿用紙の使い方を復習する。	

10	橋本 衆宝	【第10回】 予習：教科書bの11～18頁を読み直す。 授業：作文課題2を返却し、解説する。教科書b「よい文章を書くために」（11～18頁）の「(2)「文」から「文章」へ」以降（13～18頁）について説明する。 復習：教科書bの11～18頁を復習する。						
11	橋本 衆宝	【第11回】 予習：教科書aの38～40頁を読んでおく。教科書bの5～18頁を読み直す。 授業：教科書b「まずは書いてみよう」（5～10頁）・「よい文章を書くために」（11～18頁）の知識が身に付いているかを小テスト2で確認する。教科書a「ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉」（38～40頁）について説明する。 復習：教科書aの38～40頁と、教科書bの5～18頁を復習する。						
12	橋本 衆宝	【第12回】 予習：教科書aの41～43頁の練習・応用問題を予習し、44～46頁を読んでおく。 授業：教科書a「ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉」の練習・応用問題（41～43頁）の答え合わせと解説を行い（課題解決型学習）、「文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文」（44～46頁）について説明する。 復習：教科書aの41～46頁を復習する。						
13	橋本 衆宝	【第13回】 予習：教科書bの19～21頁を読んでおく。 授業：教科書b「さあ文章を書いてみよう」（19～21頁）を説明してから、作文課題3（論理的な文章）の下書き（構成）を考えさせた上で、宿題にする（課題解決型学習）。 復習：教科書bの19～21頁を復習する。作文課題3を書いて Classroom に提出する。						
14	橋本 衆宝	【第14回】 予習：教科書aの47～49頁の練習・応用問題を予習する。 授業：教科書a「文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文」の練習・応用問題（47～49頁）の答え合わせと解説を行う（課題解決型学習）。教科書aで前期に学んだことを振り返る。 復習：教科書aの47～49頁と、教科書aで前期に学んだことを復習する。						
15	橋本 衆宝	【第15回】 予習：教科書bの19～21頁を読み直す。前期の授業内容を振り返る。 授業：教科書bの「さあ文章を書いてみよう」（19～21頁）の知識が身に付いているかを小テスト3で確認する。作文課題3を解説する。教科書bで前期に学んだことを振り返る。 復習：教科書bで前期の授業で学んだことを復習する。						
授業開始前学習	教科書に目を通して、どんなことを学ぶのか内容を確認しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	日本語についての基礎的な問題や、作文課題、授業内テストを実施する。課題は返却後講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	a『スキルアップ! 日本語力』名古屋大学日本語研究会 GK7 著（東京書籍） b『日本語表現法 新訂版』庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴著（翰林書房） 教科書は必ず2冊とも買うこと。							
参考書								
評価の基準と方法	定期試験（60%）と作文課題・授業内テスト（40%）で評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目								
その他	毎回、国語辞典（電子辞書可）を持っていくこと。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02061
科目名称	言語表現演習Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	Seminar on Japanese Representation II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	松村 良	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	松村 良	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 14:40～16:10 木曜日 13:00～14:30 後期 火曜日 14:40～16:10 木曜日 13:00～14:30	研究室	10-617
授業概要	ふだん意識せずに使っている日本語の特徴や、自分の日本語に関する知識を確認しながら、コミュニケーションツールとしての日本語を適切に使いこなすための基礎的な技術を学ぶ。文の構造や文体、表記の仕方、文章の形式や構成などについて、教科書の問題を考え、実際に文章を書いて理解を深めていく。この授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	文体、言葉の意味、表記などの日本語の基礎を身に付け、状況に応じて適切な文章を書けるようになる。日本語についての知識と教養を深め、専門分野での発表やレポート作成に必要な日本語力を身につけることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	松村 良	【第 1 回】 予習 : 教科書 2 冊 (a と b) を準備して目を通す。教科書 a の 50～52 頁を読み、53～54 頁の練習問題を予習する。 授業 : 後期の授業の進め方について説明する。教科書 a「接続語・指示語と文章」(50～52 頁) について説明し、53～54 頁の練習問題の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 50～54 頁を復習する。	
2	松村 良	【第 2 回】 予習 : 教科書 a の 55 頁の応用問題を予習し、58～60 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「接続語・指示語と文章」の応用問題 (55 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、「類義語・対義語」(58～60 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 55 頁、58～60 頁を復習する。	
3	松村 良	【第 3 回】 予習 : 教科書 a の 61～63 頁の練習・応用問題を予習する。教科書 b の 47～52 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「類義語・対義語」の練習・応用問題 (61～63 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、教科書 b の「効果的な電子メールとは？」(47～52 頁) について説明する。作文課題 1 (電子メールの文章) を宿題にする (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 61～63 頁、教科書 b の 47～52 頁を復習し、作文課題 1 を書いて Classroom に提出する。	
4	松村 良	【第 4 回】 予習 : 教科書 b の 23～27 頁を読んでおく。 授業 : 作文課題 1 について解説する。教科書 b の「インターネットとデジタル機器を用いた文章作成」(23～27 頁) について説明する。 復習 : 電子メールの書き方と、教科書 b の 23～27 頁を復習する。	
5	松村 良	【第 5 回】 予習 : 教科書 a の 64～66 頁を読んでおく。教科書 b の 23～27 頁と 47～52 頁を読み直す。 授業 : 教科書 b「効果的な電子メールとは？」(47～52 頁) と「インターネットとデジタル機器を用いた文章作成」(23～27 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 1 で確認する。教科書 a の「動詞の自他・視点」(64～66 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 64～66 頁を復習する。	
6	松村 良	【第 6 回】 予習 : 教科書 a の 67～69 頁の練習・応用問題を予習し、70～72 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「動詞の自他・視点」の練習・応用問題 (67～69 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、「文体・話し言葉・書き言葉」(70～72 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 67～72 頁を復習する。	
7	松村 良	【第 7 回】 予習 : 教科書 a の 73～75 頁の練習・応用問題を予習する。教科書 b の 53～57 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「文体・話し言葉・書き言葉」の練習・応用問題 (73～75 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、教科書 b「効果的な文書作成」(53～57 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 73～75 頁、教科書 b の 53～57 頁を復習する。	
8	松村 良	【第 8 回】 予習 : 教科書 b の 53～57 頁を読み直す。 授業 : 教科書 b「効果的な文書作成」(53～57 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 2 で確認する。作文課題 2 (履歴書・エントリーシート) を授業時間内に書いて提出する (課題解決型学習)。 復習 : 履歴書・エントリーシートの書き方について復習する。	

9	松村 良	【第 9 回】 予習 : 教科書 a の 76~78 頁を読んでおく。 授業 : 作文課題 2 を返却し、解説する。教科書 a「コロケーション」(76~78 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 76~78 頁を復習する。							
10	松村 良	【第 10 回】 予習 : 教科書 a の 79~81 頁の練習・応用問題を予習し、84~86 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「コロケーション」の練習・応用問題 (79~81 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、「部首・音訓・熟語」(84~86 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 79~81 頁と 84~86 頁を復習する。							
11	松村 良	【第 11 回】 予習 : 教科書 a の 87~89 頁の練習・応用問題を予習し、教科書 b の 59~63 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「部首・音訓・熟語」の練習・応用問題 (87~89 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、教科書 b の「冠婚葬祭・贈答のしきたり」(59~63 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 87~89 頁と、教科書 b の 59~63 頁を復習する。							
12	松村 良	【第 12 回】 予習 : 教科書 b の 59~63 頁を読み直す。教科書 a の 90~92 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 b「冠婚葬祭・贈答のしきたり」(59~63 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 3 で確認する。教科書 a「仮名遣い・送り仮名」(90~92 頁) について説明する。 復習 : 冠婚葬祭について復習する。教科書 a の 90~92 頁を復習する。							
13	松村 良	【第 13 回】 予習 : 教科書 a の 93~95 頁の練習・応用問題を予習する。 授業 : 教科書 a「仮名遣い・送り仮名」の練習・応用問題 (93~95 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。作文課題 3 (授業で学んだこと) を宿題にする (課題解決型学習)。 復習 : 教科書の 93~95 頁を復習する。作文課題 3 を書いて Classroom に提出する。							
14	松村 良	【第 14 回】 予習 : 教科書 b の 29~31 頁と 33~38 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 b「プレゼンテーションをより効果的に」(29~31 頁) と「敬語を適切に使おう」(33~38 頁) について説明する。 復習 : 教科書 b の 29~31 頁と 33~38 頁を復習する。							
15	松村 良	【第 15 回】 予習 : 教科書 b の 33~38 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 b の「敬語を適切に使おう」(33~38 頁) の内容を理解しているか問題を出して確認する。教科書 a・b で後期の授業で学んだことを振り返る。 復習 : 後期の授業で学んだことを復習する。							
授業開始前学習		教科書に目を通して、どんなことを学ぶのか内容を確認しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法		日本語についての基礎的な問題や、作文課題、授業内テストを実施する。課題は返却後講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材		a『スキルアップ! 日本語力』名古屋大学日本語研究会 GK7 著 (東京書籍) b『日本語表現法 新訂版』庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴著 (翰林書房) 教科書は必ず 2 冊とも買うこと。							
参考書									
評価の基準と方法		定期試験 (60%) と作文課題・授業内テスト (40%) で評価する。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		◎				○	
関連科目									
その他		毎回、国語辞典 (電子辞書可) を持ってくること。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

言語表現演習Ⅱ

科目分類	100-110-21	授業コード	F02062
科目名称	言語表現演習Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	Seminar on Japanese Representation II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	大内 瑞恵	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	大内 瑞恵	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	ふだん意識せずに使っている日本語の特徴や、自分の日本語に関する知識を確認しながら、コミュニケーションツールとしての日本語を適切に使いこなすための基礎的な技術を学ぶ。文の構造や文体、表記の仕方、文章の形式や構成などについて、教科書の問題を考え、実際に文章を書いて理解を深めていく。この授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	文体、言葉の意味、表記などの日本語の基礎を身に付け、状況に応じて適切な文章を書けるようになる。日本語についての知識と教養を深め、専門分野での発表やレポート作成に必要な日本語力を身につけることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	大内 瑞恵	【第 1 回】 予習：教科書 2 冊 (a と b) を準備して目を通す。教科書 a の 50～52 頁を読み、53～54 頁の練習問題を予習する。 授業：後期の授業の進め方について説明する。教科書 a「接続語・指示語と文章」(50～52 頁) について説明し、53～54 頁の練習問題の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習：教科書 a の 50～54 頁を復習する。	
2	大内 瑞恵	【第 2 回】 予習：教科書 a の 55 頁の応用問題を予習し、58～60 頁を読んでおく。 授業：教科書 a「接続語・指示語と文章」の応用問題 (55 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、「類義語・対義語」(58～60 頁) について説明する。 復習：教科書 a の 55 頁、58～60 頁を復習する。	
3	大内 瑞恵	【第 3 回】 予習：教科書 a の 61～63 頁の練習・応用問題を予習する。教科書 b の 47～52 頁を読んでおく。 授業：教科書 a「類義語・対義語」の練習・応用問題 (61～63 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、教科書 b の「効果的な電子メールとは？」(47～52 頁) について説明する。作文課題 1 (電子メールの文章) を宿題にする (課題解決型学習)。 復習：教科書 a の 61～63 頁、教科書 b の 47～52 頁を復習し、作文課題 1 を書いて Classroom に提出する。	
4	大内 瑞恵	【第 4 回】 予習：教科書 b の 23～27 頁を読んでおく。 授業：作文課題 1 について解説する。教科書 b の「インターネットとデジタル機器を用いた文章作成」(23～27 頁) について説明する。 復習：電子メールの書き方と、教科書 b の 23～27 頁を復習する。	
5	大内 瑞恵	【第 5 回】 予習：教科書 a の 64～66 頁を読んでおく。教科書 b の 23～27 頁と 47～52 頁を読み直す。 授業：教科書 b「効果的な電子メールとは？」(47～52 頁) と「インターネットとデジタル機器を用いた文章作成」(23～27 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 1 で確認する。教科書 a の「動詞の自他・視点」(64～66 頁) について説明する。 復習：教科書 a の 64～66 頁を復習する。	
6	大内 瑞恵	【第 6 回】 予習：教科書 a の 67～69 頁の練習・応用問題を予習し、70～72 頁を読んでおく。 授業：教科書 a「動詞の自他・視点」の練習・応用問題 (67～69 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、「文体・話し言葉・書き言葉」(70～72 頁) について説明する。 復習：教科書 a の 67～72 頁を復習する。	
7	大内 瑞恵	【第 7 回】 予習：教科書 a の 73～75 頁の練習・応用問題を予習する。教科書 b の 53～57 頁を読んでおく。 授業：教科書 a「文体・話し言葉・書き言葉」の練習・応用問題 (73～75 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、教科書 b「効果的な文書作成」(53～57 頁) について説明する。 復習：教科書 a の 73～75 頁、教科書 b の 53～57 頁を復習する。	
8	大内 瑞恵	【第 8 回】 予習：教科書 b の 53～57 頁を読み直す。 授業：教科書 b「効果的な文書作成」(53～57 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 2 で確認する。作文課題 2 (履歴書・エントリーシート) を授業時間内に書いて提出する (課題解決型学習)。 復習：履歴書・エントリーシートの書き方について復習する。	

9	大内 瑞恵	【第 9 回】 予習 : 教科書 a の 76~78 頁を読んでおく。 授業 : 作文課題 2 を返却し、解説する。教科書 a「コロケーション」(76~78 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 76~78 頁を復習する。						
10	大内 瑞恵	【第 10 回】 予習 : 教科書 a の 79~81 頁の練習・応用問題を予習し、84~86 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「コロケーション」の練習・応用問題 (79~81 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、 「部首・音訓・熟語」(84~86 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 79~81 頁と 84~86 頁を復習する。						
11	大内 瑞恵	【第 11 回】 予習 : 教科書 a の 87~89 頁の練習・応用問題を予習し、教科書 b の 59~63 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「部首・音訓・熟語」の練習・応用問題 (87~89 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、教科書 b の「冠婚葬祭・贈答のしきたり」(59~63 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 87~89 頁と、教科書 b の 59~63 頁を復習する。						
12	大内 瑞恵	【第 12 回】 予習 : 教科書 b の 59~63 頁を読み直す。教科書 a の 90~92 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 b「冠婚葬祭・贈答のしきたり」(59~63 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 3 で確認する。教科書 a「仮名遣い・送り仮名」(90~92 頁) について説明する。 復習 : 冠婚葬祭について復習する。教科書 a の 90~92 頁を復習する。						
13	大内 瑞恵	【第 13 回】 予習 : 教科書 a の 93~95 頁の練習・応用問題を予習する。 授業 : 教科書 a「仮名遣い・送り仮名」の練習・応用問題 (93~95 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。作文課題 3 (授業で学んだこと) を宿題にする (課題解決型学習)。 復習 : 教科書の 93~95 頁を復習する。作文課題 3 を書いて Classroom に提出する。						
14	大内 瑞恵	【第 14 回】 予習 : 教科書 b の 29~31 頁と 33~38 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 b「プレゼンテーションをより効果的に」(29~31 頁) と「敬語を適切に使おう」(33~38 頁) について説明する。 復習 : 教科書 b の 29~31 頁と 33~38 頁を復習する。						
15	大内 瑞恵	【第 15 回】 予習 : 教科書 b の 33~38 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 b の「敬語を適切に使おう」(33~38 頁) の内容を理解しているか問題を出して確認する。教科書 a・b で後期の授業で学んだことを振り返る。 復習 : 後期の授業で学んだことを復習する。						
授業開始前学習		教科書に目を通して、どんなことを学ぶのか内容を確認しておくこと。						
授業内課題のフィードバックの方法		日本語についての基礎的な問題や、作文課題、授業内テストを実施する。課題は返却後講評を行い、個別の質問に回答する。						
テキスト・教材		a『スキルアップ! 日本語力』名古屋大学日本語研究会 GK7 著 (東京書籍) b『日本語表現法 新訂版』庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴著 (翰林書房) 教科書は必ず 2 冊とも買うこと。						
参考書								
評価の基準と方法		定期試験 (60 %) と作文課題・授業内テスト (40%) で評価する。						
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける						
		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける						
		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける						
		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける						
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目								
その他		毎回、国語辞典 (電子辞書可) を持ってくること。						
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)						
実務経験を活かした教育内容								

言語表現演習Ⅱ

科目分類	100-110-21	授業コード	F02064
科目名称	言語表現演習Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	Seminar on Japanese Representation II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中尾 真樹	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中尾 真樹	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	ふだん意識せずに使っている日本語の特徴や、自分の日本語に関する知識を確認しながら、コミュニケーションツールとしての日本語を適切に使いこなすための基礎的な技術を学ぶ。文の構造や文体、表記の仕方、文章の形式や構成などについて、教科書の問題を考え、実際に文章を書いて理解を深めていく。この授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	文体、言葉の意味、表記などの日本語の基礎を身に付け、状況に応じて適切な文章を書けるようになる。日本語についての知識と教養を深め、専門分野での発表やレポート作成に必要な日本語力を身につけることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	中尾 真樹	【第 1 回】 予習：教科書 2 冊 (a と b) を準備して目を通す。教科書 a の 50～52 頁を読み、53～54 頁の練習問題を予習する。 授業：後期の授業の進め方について説明する。教科書 a「接続語・指示語と文章」(50～52 頁) について説明し、53～54 頁の練習問題の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習：教科書 a の 50～54 頁を復習する。	
2	中尾 真樹	【第 2 回】 予習：教科書 a の 55 頁の応用問題を予習し、58～60 頁を読んでおく。 授業：教科書 a「接続語・指示語と文章」の応用問題 (55 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、「類義語・対義語」(58～60 頁) について説明する。 復習：教科書 a の 55 頁、58～60 頁を復習する。	
3	中尾 真樹	【第 3 回】 予習：教科書 a の 61～63 頁の練習・応用問題を予習する。教科書 b の 47～52 頁を読んでおく。 授業：教科書 a「類義語・対義語」の練習・応用問題 (61～63 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、教科書 b の「効果的な電子メールとは？」(47～52 頁) について説明する。作文課題 1 (電子メールの文章) を宿題にする (課題解決型学習)。 復習：教科書 a の 61～63 頁、教科書 b の 47～52 頁を復習し、作文課題 1 を書いて Classroom に提出する。	
4	中尾 真樹	【第 4 回】 予習：教科書 b の 23～27 頁を読んでおく。 授業：作文課題 1 について解説する。教科書 b の「インターネットとデジタル機器を用いた文章作成」(23～27 頁) について説明する。 復習：電子メールの書き方と、教科書 b の 23～27 頁を復習する。	
5	中尾 真樹	【第 5 回】 予習：教科書 a の 64～66 頁を読んでおく。教科書 b の 23～27 頁と 47～52 頁を読み直す。 授業：教科書 b「効果的な電子メールとは？」(47～52 頁) と「インターネットとデジタル機器を用いた文章作成」(23～27 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 1 で確認する。教科書 a の「動詞の自他・視点」(64～66 頁) について説明する。 復習：教科書 a の 64～66 頁を復習する。	
6	中尾 真樹	【第 6 回】 予習：教科書 a の 67～69 頁の練習・応用問題を予習し、70～72 頁を読んでおく。 授業：教科書 a「動詞の自他・視点」の練習・応用問題 (67～69 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、「文体・話し言葉・書き言葉」(70～72 頁) について説明する。 復習：教科書 a の 67～72 頁を復習する。	
7	中尾 真樹	【第 7 回】 予習：教科書 a の 73～75 頁の練習・応用問題を予習する。教科書 b の 53～57 頁を読んでおく。 授業：教科書 a「文体・話し言葉・書き言葉」の練習・応用問題 (73～75 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、教科書 b「効果的な文書作成」(53～57 頁) について説明する。 復習：教科書 a の 73～75 頁、教科書 b の 53～57 頁を復習する。	
8	中尾 真樹	【第 8 回】 予習：教科書 b の 53～57 頁を読み直す。 授業：教科書 b「効果的な文書作成」(53～57 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 2 で確認する。作文課題 2 (履歴書・エントリーシート) を授業時間内に書いて提出する (課題解決型学習)。 復習：履歴書・エントリーシートの書き方について復習する。	

9	中尾 真樹	【第9回】 予習：教科書 a の 76～78 頁を読んでおく。 授業：作文課題 2 を返却し、解説する。教科書 a「コロケーション」(76～78 頁) について説明する。 復習：教科書 a の 76～78 頁を復習する。							
10	中尾 真樹	【第10回】 予習：教科書 a の 79～81 頁の練習・応用問題を予習し、84～86 頁を読んでおく。 授業：教科書 a「コロケーション」の練習・応用問題(79～81 頁) の答え合わせと解説を行い(課題解決型学習)、「部首・音訓・熟語」(84～86 頁) について説明する。 復習：教科書 a の 79～81 頁と 84～86 頁を復習する。							
11	中尾 真樹	【第11回】 予習：教科書 a の 87～89 頁の練習・応用問題を予習し、教科書 b の 59～63 頁を読んでおく。 授業：教科書 a「部首・音訓・熟語」の練習・応用問題(87～89 頁) の答え合わせと解説を行い(課題解決型学習)、教科書 b の「冠婚葬祭・贈答のしきたり」(59～63 頁) について説明する。 復習：教科書 a の 87～89 頁と、教科書 b の 59～63 頁を復習する。							
12	中尾 真樹	【第12回】 予習：教科書 b の 59～63 頁を読み直す。教科書 a の 90～92 頁を読んでおく。 授業：教科書 b「冠婚葬祭・贈答のしきたり」(59～63 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 3 で確認する。教科書 a「仮名遣い・送り仮名」(90～92 頁) について説明する。 復習：冠婚葬祭について復習する。教科書 a の 90～92 頁を復習する。							
13	中尾 真樹	【第13回】 予習：教科書 a の 93～95 頁の練習・応用問題を予習する。 授業：教科書 a「仮名遣い・送り仮名」の練習・応用問題(93～95 頁) の答え合わせと解説を行う(課題解決型学習)。作文課題 3(授業で学んだこと) を宿題にする(課題解決型学習)。 復習：教科書の 93～95 頁を復習する。作文課題 3 を書いて Classroom に提出する。							
14	中尾 真樹	【第14回】 予習：教科書 b の 29～31 頁と 33～38 頁を読んでおく。 授業：教科書 b「プレゼンテーションをより効果的に」(29～31 頁) と「敬語を適切に使おう」(33～38 頁) について説明する。 復習：教科書 b の 29～31 頁と 33～38 頁を復習する。							
15	中尾 真樹	【第15回】 予習：教科書 b の 33～38 頁を読んでおく。 授業：教科書 b の「敬語を適切に使おう」(33～38 頁) の内容を理解しているか問題を出して確認する。教科書 a・b で後期の授業で学んだことを振り返る。 復習：後期の授業で学んだことを復習する。							
授業開始前学習		教科書に目を通して、どんなことを学ぶのか内容を確認しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法		日本語についての基礎的な問題や、作文課題、授業内テストを実施する。課題は返却後講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材		a『スキルアップ! 日本語力』名古屋大学日本語研究会 GK7 著(東京書籍) b『日本語表現法 新訂版』庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴著(翰林書房) 教科書は必ず 2 冊とも買うこと。							
参考書									
評価の基準と方法		定期試験(60%)と作文課題・授業内テスト(40%)で評価する。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		◎				○	
関連科目									
その他		毎回、国語辞典(電子辞書可)を持ってくること。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間(2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間(1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F02065
科目名称	言語表現演習Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	Seminar on Japanese Representation II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	石川 創	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	石川 創	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 月曜日 10:40～12:10 金曜日 10:40～12:10 後期 月曜日 10:40～12:10 金曜日 10:40～12:10	研究室	10-510
授業概要	ふだん意識せずに使っている日本語の特徴や、自分の日本語に関する知識を確認しながら、コミュニケーションツールとしての日本語を適切に使いこなすための基礎的な技術を学ぶ。文の構造や文体、表記の仕方、文章の形式や構成などについて、教科書の問題を考え、実際に文章を書いて理解を深めていく。この授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	文体、言葉の意味、表記などの日本語の基礎を身に付け、状況に応じて適切な文章を書けるようになる。日本語についての知識と教養を深め、専門分野での発表やレポート作成に必要な日本語力を身につけることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	石川 創	【第 1 回】 予習 : 教科書 2 冊 (a と b) を準備して目を通す。教科書 a の 50～52 頁を読み、53～54 頁の練習問題を予習する。 授業 : 後期の授業の進め方について説明する。教科書 a「接続語・指示語と文章」(50～52 頁) について説明し、53～54 頁の練習問題の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 50～54 頁を復習する。	
2	石川 創	【第 2 回】 予習 : 教科書 a の 55 頁の応用問題を予習し、58～60 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「接続語・指示語と文章」の応用問題 (55 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、「類義語・対義語」(58～60 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 55 頁、58～60 頁を復習する。	
3	石川 創	【第 3 回】 予習 : 教科書 a の 61～63 頁の練習・応用問題を予習する。教科書 b の 47～52 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「類義語・対義語」の練習・応用問題 (61～63 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、教科書 b の「効果的な電子メールとは？」(47～52 頁) について説明する。作文課題 1 (電子メールの文章) を宿題にする (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 61～63 頁、教科書 b の 47～52 頁を復習し、作文課題 1 を書いて Classroom に提出する。	
4	石川 創	【第 4 回】 予習 : 教科書 b の 23～27 頁を読んでおく。 授業 : 作文課題 1 について解説する。教科書 b の「インターネットとデジタル機器を用いた文章作成」(23～27 頁) について説明する。 復習 : 電子メールの書き方と、教科書 b の 23～27 頁を復習する。	
5	石川 創	【第 5 回】 予習 : 教科書 a の 64～66 頁を読んでおく。教科書 b の 23～27 頁と 47～52 頁を読み直す。 授業 : 教科書 b「効果的な電子メールとは？」(47～52 頁) と「インターネットとデジタル機器を用いた文章作成」(23～27 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 1 で確認する。教科書 a の「動詞の自他・視点」(64～66 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 64～66 頁を復習する。	
6	石川 創	【第 6 回】 予習 : 教科書 a の 67～69 頁の練習・応用問題を予習し、70～72 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「動詞の自他・視点」の練習・応用問題 (67～69 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、「文体・話し言葉・書き言葉」(70～72 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 67～72 頁を復習する。	
7	石川 創	【第 7 回】 予習 : 教科書 a の 73～75 頁の練習・応用問題を予習する。教科書 b の 53～57 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「文体・話し言葉・書き言葉」の練習・応用問題 (73～75 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、教科書 b「効果的な文書作成」(53～57 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 73～75 頁、教科書 b の 53～57 頁を復習する。	
8	石川 創	【第 8 回】 予習 : 教科書 b の 53～57 頁を読み直す。 授業 : 教科書 b「効果的な文書作成」(53～57 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 2 で確認する。作文課題 2 (履歴書・エントリーシート) を授業時間内に書いて提出する (課題解決型学習)。 復習 : 履歴書・エントリーシートの書き方について復習する。	

9	石川 創	【第 9 回】 予習 : 教科書 a の 76~78 頁を読んでおく。 授業 : 作文課題 2 を返却し、解説する。教科書 a「コロケーション」(76~78 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 76~78 頁を復習する。							
10	石川 創	【第 10 回】 予習 : 教科書 a の 79~81 頁の練習・応用問題を予習し、84~86 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「コロケーション」の練習・応用問題 (79~81 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、「部首・音訓・熟語」(84~86 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 79~81 頁と 84~86 頁を復習する。							
11	石川 創	【第 11 回】 予習 : 教科書 a の 87~89 頁の練習・応用問題を予習し、教科書 b の 59~63 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「部首・音訓・熟語」の練習・応用問題 (87~89 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、教科書 b の「冠婚葬祭・贈答のしきたり」(59~63 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 87~89 頁と、教科書 b の 59~63 頁を復習する。							
12	石川 創	【第 12 回】 予習 : 教科書 b の 59~63 頁を読み直す。教科書 a の 90~92 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 b「冠婚葬祭・贈答のしきたり」(59~63 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 3 で確認する。教科書 a「仮名遣い・送り仮名」(90~92 頁) について説明する。 復習 : 冠婚葬祭について復習する。教科書 a の 90~92 頁を復習する。							
13	石川 創	【第 13 回】 予習 : 教科書 a の 93~95 頁の練習・応用問題を予習する。 授業 : 教科書 a「仮名遣い・送り仮名」の練習・応用問題 (93~95 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。作文課題 3 (授業で学んだこと) を宿題にする (課題解決型学習)。 復習 : 教科書の 93~95 頁を復習する。作文課題 3 を書いて Classroom に提出する。							
14	石川 創	【第 14 回】 予習 : 教科書 b の 29~31 頁と 33~38 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 b「プレゼンテーションをより効果的に」(29~31 頁) と「敬語を適切に使おう」(33~38 頁) について説明する。 復習 : 教科書 b の 29~31 頁と 33~38 頁を復習する。							
15	石川 創	【第 15 回】 予習 : 教科書 b の 33~38 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 b の「敬語を適切に使おう」(33~38 頁) の内容を理解しているか問題を出して確認する。教科書 a・b で後期の授業で学んだことを振り返る。 復習 : 後期の授業で学んだことを復習する。							
授業開始前学習		教科書に目を通して、どんなことを学ぶのか内容を確認しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法		日本語についての基礎的な問題や、作文課題、授業内テストを実施する。課題は返却後講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材		a『スキルアップ! 日本語力』名古屋大学日本語研究会 GK7 著 (東京書籍) b『日本語表現法 新訂版』庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴著 (翰林書房) 教科書は必ず 2 冊とも買うこと。							
参考書									
評価の基準と方法		定期試験 (60%) と作文課題・授業内テスト (40%) で評価する。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		◎				○	
関連科目									
その他		毎回、国語辞典 (電子辞書可) を持ってくること。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

言語表現演習Ⅱ

科目分類	100-110-21	授業コード	F02068
科目名称	言語表現演習Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	Seminar on Japanese Representation II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	橋本 衆宝	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	橋本 衆宝	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00～12:00 後期 水曜日 09:00～12:00	研究室	10-616
授業概要	ふだん意識せずに使っている日本語の特徴や、自分の日本語に関する知識を確認しながら、コミュニケーションツールとしての日本語を適切に使いこなすための基礎的な技術を学ぶ。文の構造や文体、表記の仕方、文章の形式や構成などについて、教科書の問題を考え、実際に文章を書いて理解を深めていく。この授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	文体、言葉の意味、表記などの日本語の基礎を身に付け、状況に応じて適切な文章を書けるようになる。日本語についての知識と教養を深め、専門分野での発表やレポート作成に必要な日本語力を身につけることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	橋本 衆宝	【第 1 回】 予習 : 教科書 2 冊 (a と b) を準備して目を通す。教科書 a の 50～52 頁を読み、53～54 頁の練習問題を予習する。 授業 : 後期の授業の進め方について説明する。教科書 a「接続語・指示語と文章」(50～52 頁) について説明し、53～54 頁の練習問題の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 50～54 頁を復習する。	
2	橋本 衆宝	【第 2 回】 予習 : 教科書 a の 55 頁の応用問題を予習し、58～60 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「接続語・指示語と文章」の応用問題 (55 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、「類義語・対義語」(58～60 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 55 頁、58～60 頁を復習する。	
3	橋本 衆宝	【第 3 回】 予習 : 教科書 a の 61～63 頁の練習・応用問題を予習する。教科書 b の 47～52 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「類義語・対義語」の練習・応用問題 (61～63 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、教科書 b の「効果的な電子メールとは？」(47～52 頁) について説明する。作文課題 1 (電子メールの文章) を宿題にする (課題解決型学習)。 復習 : 教科書 a の 61～63 頁、教科書 b の 47～52 頁を復習し、作文課題 1 を書いて Classroom に提出する。	
4	橋本 衆宝	【第 4 回】 予習 : 教科書 b の 23～27 頁を読んでおく。 授業 : 作文課題 1 について解説する。教科書 b の「インターネットとデジタル機器を用いた文章作成」(23～27 頁) について説明する。 復習 : 電子メールの書き方と、教科書 b の 23～27 頁を復習する。	
5	橋本 衆宝	【第 5 回】 予習 : 教科書 a の 64～66 頁を読んでおく。教科書 b の 23～27 頁と 47～52 頁を読み直す。 授業 : 教科書 b「効果的な電子メールとは？」(47～52 頁) と「インターネットとデジタル機器を用いた文章作成」(23～27 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 1 で確認する。教科書 a の「動詞の自他・視点」(64～66 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 64～66 頁を復習する。	
6	橋本 衆宝	【第 6 回】 予習 : 教科書 a の 67～69 頁の練習・応用問題を予習し、70～72 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「動詞の自他・視点」の練習・応用問題 (67～69 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、「文体・話し言葉・書き言葉」(70～72 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 67～72 頁を復習する。	
7	橋本 衆宝	【第 7 回】 予習 : 教科書 a の 73～75 頁の練習・応用問題を予習する。教科書 b の 53～57 頁を読んでおく。 授業 : 教科書 a「文体・話し言葉・書き言葉」の練習・応用問題 (73～75 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、教科書 b「効果的な文書作成」(53～57 頁) について説明する。 復習 : 教科書 a の 73～75 頁、教科書 b の 53～57 頁を復習する。	
8	橋本 衆宝	【第 8 回】 予習 : 教科書 b の 53～57 頁を読み直す。 授業 : 教科書 b「効果的な文書作成」(53～57 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 2 で確認する。作文課題 2 (履歴書・エントリーシート) を授業時間内に書いて提出する (課題解決型学習)。 復習 : 履歴書・エントリーシートの書き方について復習する。	

9	橋本 衆宝	【第9回】 予習：教科書 a の 76～78 頁を読んでおく。 授業：作文課題 2 を返却し、解説する。教科書 a「コロケーション」(76～78 頁) について説明する。 復習：教科書 a の 76～78 頁を復習する。							
10	橋本 衆宝	【第10回】 予習：教科書 a の 79～81 頁の練習・応用問題を予習し、84～86 頁を読んでおく。 授業：教科書 a「コロケーション」の練習・応用問題 (79～81 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、 「部首・音訓・熟語」(84～86 頁) について説明する。 復習：教科書 a の 79～81 頁と 84～86 頁を復習する。							
11	橋本 衆宝	【第11回】 予習：教科書 a の 87～89 頁の練習・応用問題を予習し、教科書 b の 59～63 頁を読んでおく。 授業：教科書 a「部首・音訓・熟語」の練習・応用問題 (87～89 頁) の答え合わせと解説を行い (課題解決型学習)、教科書 b の「冠婚葬祭・贈答のしきたり」(59～63 頁) について説明する。 復習：教科書 a の 87～89 頁と、教科書 b の 59～63 頁を復習する。							
12	橋本 衆宝	【第12回】 予習：教科書 b の 59～63 頁を読み直す。教科書 a の 90～92 頁を読んでおく。 授業：教科書 b「冠婚葬祭・贈答のしきたり」(59～63 頁) の知識が身に付いているかを小テスト 3 で確認する。教科書 a「仮名遣い・送り仮名」(90～92 頁) について説明する。 復習：冠婚葬祭について復習する。教科書 a の 90～92 頁を復習する。							
13	橋本 衆宝	【第13回】 予習：教科書 a の 93～95 頁の練習・応用問題を予習する。 授業：教科書 a「仮名遣い・送り仮名」の練習・応用問題 (93～95 頁) の答え合わせと解説を行う (課題解決型学習)。作文課題 3 (授業で学んだこと) を宿題にする (課題解決型学習)。 復習：教科書の 93～95 頁を復習する。作文課題 3 を書いて Classroom に提出する。							
14	橋本 衆宝	【第14回】 予習：教科書 b の 29～31 頁と 33～38 頁を読んでおく。 授業：教科書 b「プレゼンテーションをより効果的に」(29～31 頁) と「敬語を適切に使おう」(33～38 頁) について説明する。 復習：教科書 b の 29～31 頁と 33～38 頁を復習する。							
15	橋本 衆宝	【第15回】 予習：教科書 b の 33～38 頁を読んでおく。 授業：教科書 b の「敬語を適切に使おう」(33～38 頁) の内容を理解しているか問題を出して確認する。教科書 a・b で後期の授業で学んだことを振り返る。 復習：後期の授業で学んだことを復習する。							
授業開始前学習		教科書に目を通して、どんなことを学ぶのか内容を確認しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法		日本語についての基礎的な問題や、作文課題、授業内テストを実施する。課題は返却後講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材		a『スキルアップ! 日本語力』名古屋大学日本語研究会 GK7 著 (東京書籍) b『日本語表現法 新訂版』庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴著 (翰林書房) 教科書は必ず 2 冊とも買うこと。							
参考書									
評価の基準と方法		定期試験 (60%) と作文課題・授業内テスト (40%) で評価する。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		◎				○	
関連科目									
その他		毎回、国語辞典 (電子辞書可) を持ってくること。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F02111
科目名称	英語 A I	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	R.ヨシダ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	R.ヨシダ	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	<p>Required English AI lessons are aimed at integrating the four skills (listening, speaking, reading and writing) through group works, discussions, presentations, etc. to develop basic functional ability in English. English AI has a particular focus on improving the productive skills of speaking and writing. The lessons are designed to help develop students' confidence and fluency in communicating in English through the use of various vocabulary, essential grammar and engaging topics.</p> <p>In principle, lessons are conducted in English.</p>		
到達目標	<p>English AI aims to improve students' confidence and proficiency in their spoken and written English. With the guidance of the teacher, students speak and write English using basic syntax.</p> <p>Each student will have many opportunities to:</p> <ul style="list-style-type: none"> - produce simple, isolated phrases about people, places and events - ask/answer simple questions and initiate/respond to simple statements - obtain basic vocabulary of isolated words and a limited control of a few simple grammatical structures 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	R.ヨシダ	<p>【第 1 回】 予習 : Don't forget your textbook! 授業 : Class orientation; Unit 0 (pp.8-11); Unit 1 (pp.12-14): Personal information - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p>	
2	R.ヨシダ	<p>【第 2 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 1 (pp.15-18): Personal information - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review</p>	
3	R.ヨシダ	<p>【第 3 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 2 (pp.20-22): Appearance - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p>	
4	R.ヨシダ	<p>【第 4 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 2 (pp.23-26): Appearance - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review</p>	
5	R.ヨシダ	<p>【第 5 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 3 (pp.28-30): Daily activities - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p>	
6	R.ヨシダ	<p>【第 6 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 3 (pp.31-35): Daily activities - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Vocabulary review</p>	
7	R.ヨシダ	<p>【第 7 回】 予習 : preparation for Midterm Task 1 授業 : Midterm Task 1: Students submit a review of content learned in Units 0-3; Preparation for Midterm Task 2 復習 : Grammar & Vocabulary review</p>	
8	R.ヨシダ	<p>【第 8 回】 予習 : preparation for Midterm Task 2 授業 : Midterm Task 2 (speaking): Students give individual presentations 復習 : Grammar & Vocabulary review</p>	

9	R.ヨシダ	【第9回】 予習 : Vocabulary 授業 : Students receive feedback on Midterm Task 1 (writing) and Task 2 (speaking); Unit 4 (pp.36-38): Locations - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review						
10	R.ヨシダ	【第10回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 4 (pp.39-42): Locations - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review						
11	R.ヨシダ	【第11回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 5 (pp.44-46): Directions - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review						
12	R.ヨシダ	【第12回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 5 (pp.47-51): Directions - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review						
13	R.ヨシダ	【第13回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 6 (pp.52-59): Past events - vocabulary; listening; grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar & Vocabulary review						
14	R.ヨシダ	【第14回】 予習 : preparation for Final Task 1 授業 : Final Task 1: Students submit a review of content learned in Units 4-6; Preparation for Final Task 2 復習 : Grammar & Vocabulary review						
15	R.ヨシダ	【第15回】 予習 : preparation for Final Task 2 授業 : Final Task 2 (speaking): Students give individual presentations 復習 : Self reflection						
授業開始前学習	Take every opportunity to encounter and enjoy English through movies, music, TV, the Internet, etc.							
授業内課題のフィードバックの方法	- Each "Review Quiz" (weekly quiz given at the beginning of each class) will be marked and returned in the following week. - A written feedback will be provided for each Midterm and Final task.							
テキスト・教材	English Firsthand 1 (Pearson) ISBN: 978-981-313-022-7							
参考書	Information will be given in class							
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (review quizzes, submitted assignments, effort & attitude) and midterm and final tasks 60% (midterm 30% & final 30%).							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席重視。最低限必要な出席率: 2/3 It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02112
科目名称	英語 A I	単位数	1.0 単位
英文名称	English A I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	リチャード バラダット	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	R.バラダット	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	インタラクティブな練習を通じて英語の聞き取りと会話を体感します。英語 A I では、英語の基礎的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする		
到達目標	この授業では、さまざまな楽しく興味深いリスニングや発音、スピーキングアクティビティ（個人、ペア、グループアクティビティなど）を通して、英語を話す力、および理解力を向上させることに焦点を当てます。基本的な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	R.バラダット	【第 1 回】 予習 : Read pp. 8-11 授業 : Self-Introductions/Course goals, Q&A, get to know other 復習 : Review notes/ Do homework	
2	R.バラダット	【第 2 回】 予習 : Read pp. 12-15 授業 : Hobbies, Interests, pair work 復習 : Review notes/ Do homework	
3	R.バラダット	【第 3 回】 予習 : Read pp. 16-19 授業 : Personal Questions, group work 復習 : Review notes/ Do homework/ Do GC video presentation 1	
4	R.バラダット	【第 4 回】 予習 : Read pp. 20-23 授業 : Appearance adjectives, pair work, Unit 1 Quiz 復習 : Review notes/ Do homework	
5	R.バラダット	【第 5 回】 予習 : Read pp. 24-27 授業 : Describing friends, group work 復習 : Review notes/ Do homework/ Do GC video presentation 2	
6	R.バラダット	【第 6 回】 予習 : Read pp. 28-31 授業 : Describing routines and schedules, pair work, Unit 2 Quiz 復習 : Review notes/ Do homework	
7	R.バラダット	【第 7 回】 予習 : Read pp. 32-35 授業 : Talking about things you do, group work 復習 : Review notes/ Do homework	
8	R.バラダット	【第 8 回】 予習 : Prepare for quiz 授業 : Quiz for units 1-3 / Speaking exercise in pairs 復習 : Preview Unit 4 / Do homework	
9	R.バラダット	【第 9 回】 予習 : Read pp. 36-39 授業 : Talking about locations, furniture and household furnishings, pair work 復習 : Review notes/ Do homework	
10	R.バラダット	【第 10 回】 予習 : Read pp. 40-43 授業 : Describing a place that is special for you, group work 復習 : Review notes/ Do homework	
11	R.バラダット	【第 11 回】 予習 : Read pp. 44-47 授業 : Giving directions; stores and services, pair work, Unit 4 Quiz 復習 : Review notes/ Do homework	

12	R.バラダッド	【第12回】 予習 : Read pp. 48-51 授業 : Giving and understanding map directions, group work 復習 : Review notes/ Do homework						
13	R.バラダッド	【第13回】 予習 : Read pp. 52-55 授業 : Talking about important life events and past activities, pair work, Unit 5 Quiz 復習 : Review notes/ Do homework / Do GC video presentation 3						
14	R.バラダッド	【第14回】 予習 : Read pp. 56-59 授業 : Talking about your experiences, group work 復習 : Review notes/ Do homework						
15	R.バラダッド	【第15回】 予習 : Prepare for quiz 授業 : Quiz for units 4 - 6 / Speaking exercise in pairs 復習 : Do Portal evaluations in class (after quiz)						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業7回目、13回目に提出するまとめについては、2週間後（授業9回目、15回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	English Firsthand 1, 5th Edition (Marc Helgesen), Pearson							
参考書								
評価の基準と方法	定期試験 40%（小テスト、課題提出、プレゼンテーション、授業態度など）、定期試験 60%の組み合わせで評価します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始30分以上の遅刻は欠席をみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02113
科目名称	英語 A I	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	W.ミラー	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	W.ミラー	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	Required English AI is aimed at integrating the four skills (listening, speaking, reading, and writing) through group work, discussions, presentations, etc., to develop basic functional ability in English. English AI has a particular focus on improving the productive skills of writing and speaking. In principle, classes will be conducted entirely in English.		
到達目標	Students speak and write basic English using basic syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	W.ミラー	【第 1 回】 予習 : Read Unit 0 'Welcome to English Firsthand 1', p.8-11 授業 : Course goals and structure will be explained. Q & A activities (pair work) 復習 : Review notes	
2	W.ミラー	【第 2 回】 予習 : Read Unit 1 'It's nice to meet you.', p.12-16 授業 : Build vocabulary about hobbies, interests, and occupations to use in dialogues (pair work) 復習 : Review notes	
3	W.ミラー	【第 3 回】 予習 : Finish Reading Unit 1 'It's nice to meet you.', p.17-19 授業 : Grammar: Q & A using simple present form / Group work / Real Stories: 'My Introduction' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 1 Assignment in Google Classroom	
4	W.ミラー	【第 4 回】 予習 : Read Unit 2 'Who are they talking about?', p.20-24 授業 : Build vocabulary about appearance to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes	
5	W.ミラー	【第 5 回】 予習 : Finish Reading Unit 2 'Who are they talking about?', p.25-27 授業 : Grammar: Using simple present: be vs. have / Group work / Real Stories: 'My Family' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 2 Assignment in Google Classroom	
6	W.ミラー	【第 6 回】 予習 : Read Unit 3 'When do you start?', p.28-32 授業 : Build vocabulary about daily activities to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes	
7	W.ミラー	【第 7 回】 予習 : Finish Reading Unit 3 'When do you start?', p.33-35 授業 : Grammar: Using adverbs of frequency / Group work / Real Stories: 'My Routine' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 3 Assignment in Google Classroom	
8	W.ミラー	【第 8 回】 予習 : Review all homework assignments and textbook p. 12-35 授業 : Midterm Quiz of Unit 1 ~ Unit 3 復習 : Reread textbook p. 36-40	
9	W.ミラー	【第 9 回】 予習 : Read Unit 4 'Where does this go?', p.36-40 授業 : Build vocabulary about locations to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes	
10	W.ミラー	【第 10 回】 予習 : Finish Reading Unit 4 'Where does this go?', p.41-43 授業 : Grammar: Using to, at, from, on, in, with directions / Group work / Real Stories:	

		'My Room' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 4 Assignment in Google Classroom							
11	W.ミラー	【第 11 回】 予習 : Read Unit 5 'How do I get there?', p.44-48 授業 : Build vocabulary about directions to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes							
12	W.ミラー	【第 12 回】 予習 : Finish Reading Unit 5 'How do I get there?', p.49-51 授業 : Grammar: Using prepositions with there is and there are / Group work / Real Stories: 'My Farewell Party' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 5 Assignment in Google Classroom							
13	W.ミラー	【第 13 回】 予習 : Read Unit 6 'What happened?', p.52-56 授業 : Build vocabulary about important life events, leisure activities to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes							
14	W.ミラー	【第 14 回】 予習 : Finish Reading Unit 6 'What happened?', p.57-59 授業 : Grammar: Using the past tense: Irregular verbs / Group work / Real Stories: 'My Trip' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 6 Assignment in Google Classroom							
15	W.ミラー	【第 15 回】 予習 : Review all homework assignments and textbook p. 36-59 授業 : Final Quiz of Unit 4 ~ Unit 6 復習 : Complete course Questionnaire on the Komajo Portal.							
授業開始前学習		Practice listening to spoken English through videos or audio recordings and read English books, magazines, or comics. Look up unknown words in a dictionary.							
授業内課題のフィードバックの方法		Both written and oral feedback will be provided to all students for tasks and assignments. Students are encouraged to ask questions, which the teacher will answer.							
テキスト・教材		English Firsthand 1 (Fifth Edition), Pearson Longman, by Helgesen et al							
参考書									
評価の基準と方法		Students are evaluated on total class participation, which is 40% of grade (quizzes, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations are 60% of grade.							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		◎				△	○
関連科目									
その他		It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F02114
科目名称	英語 A I	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	K.バーンズ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	K.バーンズ	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	The emphasis of this class will be on speaking. However, listening, reading and writing will also be developed. This class though, focuses on improving the productive skills of speaking. In principle, lessons are conducted in English. If we are online we will still do speaking using software.		
到達目標	After this class, students will be able to communicate more freely in English. They will be able to have a basic conversation in English.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
		The topics of the class will follow the text book.	
1	K.バーンズ	【第 1 回】予習 : Read pp. 8 -11 in the textbook 授業 : Self-Introductions/Course goals/Pairwork-Q&A activities to get to know each other 復習 : Review notes/ Do homework	
2	K.バーンズ	【第 2 回】 予習 : Read pp. 12-19 授業 : Hobbies and Interests/Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework	
3	K.バーンズ	【第 3 回】 予習 : Read pp. 20-24 授業 : Appearance adjectives/Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework	
4	K.バーンズ	【第 4 回】 予習 : Read pp. 25 -27 授業 : Simple Present Pairwork and Group work 復習 : Review notes/ Do homework	
5	K.バーンズ	【第 5 回】 予習 : Read pp. 28-32 授業 : Daily activities and routines Pairwork and Discussion 復習 : Review notes/ Do homework	
6	K.バーンズ	【第 6 回】 予習 : Read pp. 33-35 授業 : Adverbs of Frequency Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework	
7	K.バーンズ	【第 7 回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review - Pairwork 復習 : Reread textbook pp.8 -24	
8	K.バーンズ	【第 8 回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review/Group Work prepare a Group Presentation (Project Based Learning) 復習 : Reread textbook pp.25-35	
9	K.バーンズ	【第 9 回】 予習 : Read pp. 36-39 授業 : Furniture, household furnishing,and locations/Group Work - Prepare a Presentation (Project Based Learning) 復習 : Review notes/ Do homework	
10	K.バーンズ	【第 10 回】 予習 : Read pp. 40-43 授業 : Prepositions-There is and There are/ Pairwork / Groupwork - Perform Presentations (Project Based Learning) 復習 : Review notes/ Do homework	

11	K.バーズ	【第 11 回】 予習 : Read pp. 44-47 授業 : Giving Directions - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework						
12	K.バーズ	【第 12 回】 予習 : Read pp. 48-51 授業 : To,at,from,on,in with directions - Pairwork and Discussion 復習 : Review notes/ Do homework						
13	K.バーズ	【第 13 回】 予習 : Read pp. 52-55 授業 : Important life events,past activities Pairwork and Group work 復習 : Review notes/ Do homework						
14	K.バーズ	【第 14 回】 予習 : Read pp. 56-59 授業 : Talk about a trip you took - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework						
15	K.バーズ	【第 15 回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review 復習 : Reread textbook pp.36-59						
授業開始前学習	Before the class starts students can prepare by listening to English recordings and reading English books, magazines or comics. Look up words in the dictionary.							
授業内課題のフィードバックの方法	Comprehensive feedback will be provided on coursework. Once class starts, evaluated homework assignments will be provided after each class to help students review and better understand the material.							
テキスト・教材	English Firsthand 1 by Helgesen et al (Pearson Longman)							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points of 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目	English Conversation							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival after 30 minutes or more after the start of class will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02115
科目名称	英語 A I	単位数	1.0 単位
英文名称	English A I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	M.オーズランド	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	M.オーズランド	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	Required English AI is aimed at integrating the four skills (listening, speaking, reading and writing) through group work, discussions, presentations etc. to develop basic functional ability in English. English AI has a particular focus on improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write basic English using basic syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	M.オーズランド	【第 1 回】 予習 : Overview unit 1. Prepare a short introductory speech (2 minutes). 授業 : Unit 1; Where are you from? Introductions and greetings. pp.2-4. Pair-work, groupwork. 復習 : Review unit pp.2-4	
2	M.オーズランド	【第 2 回】 予習 : Overview unit 1 pp. 5-7 授業 : Unit 1 continued; pp.5-7. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review unit 1.	
3	M.オーズランド	【第 3 回】 予習 : Overview Unit 2. 授業 : Unit 2; What do you do? Asking for and giving opinions. pp.8-10. Pair-work, groupwork, discussions. 復習 : Review unit 2 pp.8-10.	
4	M.オーズランド	【第 4 回】 予習 : Overview unit 2 pp.11-13 授業 : Unit 2 continued. pp.11-13. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review unit 2.	
5	M.オーズランド	【第 5 回】 予習 : Overview Unit 3. 授業 : Unit 3; How much are these? Shopping and prices. pp.16-18. Pair-work, groupwork, discussion. 復習 : Review unit 3 pp.16-18	
6	M.オーズランド	【第 6 回】 予習 : Overview Unit 3 pp.19-21 授業 : Unit 3 continued. Pp.19-21. Pair-work, groupwork, writing exercise, short presentation. 復習 : Review Unit 3.	
7	M.オーズランド	【第 7 回】 予習 : Review units 1-3. Prepare a short, written report. 授業 : General Comprehension exercises. 復習 : Reflect on personal performance and skills that need more work.	
8	M.オーズランド	【第 8 回】 予習 : Overview Unit 4. 授業 : Unit 4; Do you play the guitar? Likes and dislikes. pp.22-24. Pair-work, groupwork. 復習 : Review Unit 4 pp.22-24	
9	M.オーズランド	【第 9 回】 予習 : Overview Unit 4 pp.25-27. 授業 : Unit 4 continued. pp.25-27. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 4	
10	M.オーズランド	【第 10 回】 予習 : Overview Unit 6. 授業 : Unit 6; How often do you run? Describing routines, discussing exercise/sports. pp.36-38. Pair-work, groupwork.	

		復習 : Review Unit 6 pp.36-38						
11	M.オーズランド	【第 11 回】 予習 : Overview Unit 6 pp.39-41. 授業 : Unit 6 continued; pp.39-41. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 6.						
12	M.オーズランド	【第 12 回】 予習 : Overview Unit 7. 授業 : We went dancing; Talking about past events and experiences. pp.44-46. Pair-work, groupwork. 復習 : Review pp.44-46						
13	M.オーズランド	【第 13 回】 予習 : Overview Unit 7 pp.47-49. 授業 : Unit 7 continued; pp.47-49. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 7.						
14	M.オーズランド	【第 14 回】 予習 : Overview Unit 8. 授業 : Unit 8; How's the neighbourhood? Asking about and describing locations pp.50-52. Pair-work, groupwork. 復習 : Review unit 8.						
15	M.オーズランド	【第 15 回】 予習 : Review units 4,6,7 and 8. Prepare a short, written report. 授業 : General comprehension exercises. 復習 : Reflect on personal performance and skills that need more work.						
授業開始前学習	Prepare yourself to actively participate in classes in English. Consider your strong points and those that need improvement. Focus on topics that interest you, review vocabulary and listen to as much English as possible before the course.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students take a quiz at the beginning of every class or submit assignments and comprehensive feedback on these will be provided. Any questions from individual students will be answered.							
テキスト・教材	Richards, R.C, Hull, J., Proctor, S., Interchange 1 Students Book (Cambridge: C.U.P., 2020) ISBN: 978-1-316-62031-1							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02116
科目名称	英語 A I	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	T.グティエレス	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	T.グティエレス	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	Required English AI is aimed at integrating the four skills (listening, speaking, reading and writing) through group works, discussions, presentations etc. to develop basic functional ability in English. English AI has a particular focus on improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write basic English using basic syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	T.グティエレス	【第 1 回】 予習 : Write simple self-introduction in English 授業 : Guidance Activities 復習 : Buy the textbook; Complete self-introduction	
2	T.グティエレス	【第 2 回】 予習 : Preview Unit 0 - How do you spell that? - Part 1. 授業 : Unit 0 - How do you spell that? - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習 : Review Unit 0 - How do you spell that? - Part 1.	
3	T.グティエレス	【第 3 回】 予習 : Preview Unit 0 - How do you spell that? - Part 2. 授業 : Unit 0 - How do you spell that? - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習 : Review Unit 0 - How do you spell that? - Part 2.	
4	T.グティエレス	【第 4 回】 予習 : Preview Unit 1 - Can you open the window? - Part 1. 授業 : Unit 1 - Can you open the window? - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習 : Review Unit 1 - Can you open the window? - Part 1.	
5	T.グティエレス	【第 5 回】 予習 : Preview Unit 1 - Can you open the window? - Part 2. 授業 : Unit 1 - Can you open the window? - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習 : Review Unit 1 - Can you open the window? - Part 2.	
6	T.グティエレス	【第 6 回】 予習 : Preview Unit 2 - I like tea - Part 1. 授業 : Unit 2 - I like tea - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習 : Review Unit 2 - I like tea - Part 1.	
7	T.グティエレス	【第 7 回】 予習 : Preview Unit 2 - I like tea - Part 2. 授業 : Unit 2 - I like tea - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習 : Review Unit 2 - I like tea - Part 2.	
8	T.グティエレス	【第 8 回】 予習 : Review Units 0, 1, & 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned) 授業 : Midterm Quiz; Mid-Semester self-reflection 復習 : Complete speaking task.	
9	T.グティエレス	【第 9 回】 予習 : Preview Unit 3 - She's studying - Part 1. 授業 : Midterm Quiz; Unit 3 - She's studying - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習 : Review Unit 3 - She's studying - Part 1.	

10	T.グティエレス	【第10回】 予習：Preview Unit 3 - She's studying - Part 2. 授業：Unit 3 - She's studying - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習：Review Unit 3 - She's studying - Part 2.						
11	T.グティエレス	【第11回】 予習：Preview Unit 4 - What's the date today? - Part 1. 授業：Unit 4 - What's the date today? - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習：Review Unit 4 - What's the date today? - Part 1.						
12	T.グティエレス	【第12回】 予習：Preview Unit 4 - What's the date today? - Part 2. 授業：Unit 4 - What's the date today? - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習：Review Unit 4 - What's the date today? - Part 2.						
13	T.グティエレス	【第13回】 予習：Preview Units 1, 2, 3, & 4 Getting the Basic Idea & Getting Details 授業：Final Semester Review - Units 1, 2, 3, & 4. 復習：Review Units 1, 2, 3, & 4 Listening and Vocabulary						
14	T.グティエレス	【第14回】 予習：Review Units 1, 2, 3, & 4 Listening and Vocabulary 授業：Final Quiz 復習：Review Units 1, 2, 3, & 4 Listening and Vocabulary						
15	T.グティエレス	【第15回】 予習：Review Units 1, 2, 3, & 4 About Me 授業：Reflection on the semester 復習：Complete self-reflection on the semester						
授業開始前学習	Review your high school English textbooks. Review how to express information about yourself and your interests.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students will complete a selection of their answers into Google Classroom. The teacher will give feedback on these answers. Also, the teacher will give verbal feedback to the answers in their class.							
テキスト・教材	タイトル: Communication Spotlight, Starter, 3rd Edition 叢書名: 978-1-78547-077-6 著編者: Alastair Graham-Marr 出版社: ABAX ELT Publishing 出版年: 2019 (西暦 4 桁) 版数 第 3 版							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on total class participation, which is 40% of grade (quizzes, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations are 60% of grade.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02118
科目名称	英語 A I	単位数	1.0 単位
英文名称	English A I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	S.スティーブンス	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	S.スティーブンス	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	Required English AI integrates the four skills (listening, speaking, reading and writing). We focus on pair/group work, discussions, surveys and presentations to develop students functional ability in using everyday, practical English.		
到達目標	<p>1. Students' communicative ability will be developed through guided pair and group discussion activities (using the target language in a meaningful way, linking classroom language learning to real-world activities).</p> <p>2. They will learn an extensive range of communicative activity types including interviews, surveys, class presentations and mini projects.</p> <p>3. Students will also develop listening skills through listening to a variety of scripted and authentic audio/video material.</p> <p>4. Vocabulary learning methods and record keeping skills will also be developed.</p>		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	S.スティーブンス	<p>【第 1 回】 予習 : Don't forget your textbook ! Buy a notebook for classwork and vocabulary work. 授業 : Class orientation; Personal information - getting to know each other. Classroom language. 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
2	S.スティーブンス	<p>【第 2 回】 予習 : Do assigned tasks Warm up unit questions p11/Reading p14. 授業 : Unit 1 Food pp. 11-15 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/homework.</p>	
3	S.スティーブンス	<p>【第 3 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 1 Food pp. 16-18 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
4	S.スティーブンス	<p>【第 4 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 2 Festivals pp. 19-23 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
5	S.スティーブンス	<p>【第 5 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 2 Festivals pp. 24-26 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
6	S.スティーブンス	<p>【第 6 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 3 Cities pp. 31-34 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
7	S.スティーブンス	<p>【第 7 回】 予習 : Preparation for Mid-term Poster Presentations. 授業 : Unit 3 Cities pp. 36-38 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
8	S.スティーブンス	<p>【第 8 回】 予習 : Prepare for Mid-term Poster presentations. 授業 : Mid-term Poster presentations. 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
9	S.スティーブンス	<p>【第 9 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Students receive feedback on Poster presentations. Unit 4 Jobs pp. 39-43 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	

10	S.スティーブンス	【第10回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 4 Jobs pp.43-46 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.						
11	S.スティーブンス	【第11回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 5 Music pp.51-54 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.						
12	S.スティーブンス	【第12回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 5 Music pp. 55-58 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review preparation/ Homework.						
13	S.スティーブンス	【第13回】 予習 : Preparation for Final Vocabulary Review. 授業 : Final vocabulary review. 復習 : Poster presentations preparation.						
14	S.スティーブンス	【第14回】 予習 : Preparation for Final Speaking Poster Presentations. 授業 : Final Speaking Task : Poster presentations based on units 1-5. 復習 : Vocabulary review and self reflections on their presentations.						
15	S.スティーブンス	【第15回】 予習 : Preparation for Final Speaking Poster Presentations. 授業 : Final Speaking Task : Poster presentations based on units 1-5. 復習 : Feedback on class presentations.						
授業開始前学習	Before class students can try to review vocabulary, use graded readers, and do listening activities using various listening websites. Also try to take every opportunity to encounter and enjoy English through movies, music, TV, and the Internet.							
授業内課題のフィードバックの方法	There will be teacher oral/written feedback on assignments and homework. Additionally, there will be development of students' peer to peer feedback, particularly with presentations.							
テキスト・教材	INSPIRE 2 by Pamela Hartmann, Nancy Douglas and Andrew Boon. ISBN: 978-1-133-96368-4							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (review quizzes, submitted assignments, effort & attitude) and regular examinations 60% (midterm & final tasks).							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	Attendance is very important because it is part of your participation grade. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class. It is a communication class, so it is important to interact with the teacher, each other and express your opinions. This will build your confidence.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02119
科目名称	英語 A I	単位数	1.0 単位
英文名称	English A I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 A I では、英語の基礎的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	薬師 英子	【第 1 回】 予習 : 自分の英語学習を振り返る 授業 : オリエンテーション (授業のねらい、授業の進め方等について) グループワーク 復習 : 家庭学習を考える	
2	薬師 英子	【第 2 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 1 This is my first trip abroad. (pp.8~13) 〈be 動詞〉話しかける／自己紹介をする グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る	
3	薬師 英子	【第 3 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 2 Do you have anything to declare? (pp.14~19) 〈一般動詞 (現在形) 〉人を誘う／別れ際の挨拶 復習 : 授業中の活動を振り返る	
4	薬師 英子	【第 4 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 2 Do you have anything to declare? (pp.14~19) Unit 1 & 2 Review & Group Activities 復習 : 授業中の活動を振り返る	
5	薬師 英子	【第 5 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 3 How was your flight to Los Angeles? (pp.20~25) 〈一般動詞 (過去形) 〉グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る	
6	薬師 英子	【第 6 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 3 How was your flight to Los Angeles? (pp.20~25) Review & Group Activities 復習 : 授業中の活動を振り返る	
7	薬師 英子	【第 7 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 4 Are you still feeling tired? (pp.26~31)〈未来形〉予定を述べる／説明する グループワーク、これまで学んできた Unit1~4(pp.8~31)についてのまとめ提出 復習 : 授業中の活動を振り返る	
8	薬師 英子	【第 8 回】 予習 : ここまでの授業を総復習する 授業 : 前期前半のまとめをする 復習 : まとめを振り返る	
9	薬師 英子	【第 9 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 5 What are we going to do in the afternoon? (pp.32~37)〈進行形〉詳細を尋ねる／理由を述べる グループワーク、これまで学んできた Unit1~5(pp.8~37)についてのまとめの講評 復習 : 授業中の活動を振り返る	
10	薬師 英子	【第 10 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 5 What are we going to do in the afternoon? (pp.32~37) Review & Activity 復習 : 授業中の活動を振り返る	

11	薬師 英子	【第 11 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 6 It's called Mountain Grove. (pp.38~43)〈受動態〉意向を尋ねる／好みを述べる グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る						
12	薬師 英子	【第 12 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 6 It's called Mountain Grove. (pp.38~43) Review & Activities 復習 : 授業中の活動を振り返る						
13	薬師 英子	【第 13 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 7 How would you like your steak? (pp.44~49)、これまで学んできた Unit1~7(pp.8~49)についてのまとめ提出 復習 : 授業中の活動を振り返る						
14	薬師 英子	【第 14 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 8 How long have you felt this way? (pp.50~55) Review & Activities 復習 : 授業中の活動を振り返る						
15	薬師 英子	【第 15 回】 予習 : 今まで授業で学んだことを振り返る 授業 : Review of Unit 1 This is my first trip to abroad. ~ Unit 8 How long have you felt this way? (pp.8~55)、これまで学んできた Unit1~8(pp.8~55)についてのまとめの講評 復習 : 自分の課題を見つけて対策を立てる						
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	『Let's Read Aloud & Learn English -Going Abroad-』角山 照彦、Simon Capper、遠藤 利昌、（成美堂）、2021							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯電話使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の学習内容はシラバス、配信資料等に確認し、各自でフォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02120
科目名称	英語 A I	単位数	1.0 単位
英文名称	English A I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	鈴木 悠理	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 悠理	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 A I では、英語の基礎的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したペア・グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」を中心に英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	基本的な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	鈴木 悠理	【第 1 回】 予習：シラバスを確認する。今までの英語学習を振り返り、復習する。 授業：ガイダンス（授業概要、到達目標、授業の進め方について） 復習：ガイダンスをもとに、前期の目標を立てる。テキストを用意する。Google Classroom に登録する。	
2	鈴木 悠理	【第 2 回】 予習：Unit 1 会話（Dialogue 1, 2）と Reading（p.8）パートの音声を読み、音読する。Unit 1（p.6～13）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 1（p.6～13）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	
3	鈴木 悠理	【第 3 回】 予習：Unit 1 会話（Dialogue 1, 2）と Reading（p.8）パートの音声を読み、音読する。Unit 1（p.14～18）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 1（p.14～18）グループワーク、Unit 1（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。	
4	鈴木 悠理	【第 4 回】 予習：Unit 2 会話（Dialogue 1, 2）パートの音声を読み、音読する。Unit 2（p.19～22）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 2（p.19～22）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	
5	鈴木 悠理	【第 5 回】 予習：Unit 2 会話（Dialogue 1, 2）パートの音声を読み、音読する。Unit 2（p.23～26）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 2（p.23～26）グループワーク、Unit 2（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。	
6	鈴木 悠理	【第 6 回】 予習：Unit 3 会話（Dialogue 1, 2）パートの音声を読み、音読する。Unit 3（p.27～33）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 3（p.27～33）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	
7	鈴木 悠理	【第 7 回】 予習：Unit 3 会話（Dialogue 1, 2）パートの音声を読み、音読する。Unit 3（p.34～38）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 3（p.34～38）グループワーク、Unit 3（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。	
8	鈴木 悠理	【第 8 回】 予習：Unit 1～3 を振り返り、分からない単語の調べ直しや間違えた問題の直しをする。 授業：Unit 1～3 振り返り 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。間違えた問題を直し直す。	
9	鈴木 悠理	【第 9 回】 予習：Unit 4 会話（Dialogue 1, 2）パートの音声を読み、音読する。Unit 4（p.42～47）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 4（p.42～47）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	

10	鈴木 悠理	【第 10 回】 予習：Unit 4 会話 (Dialogue 1, 2) パートの音声を聞き、音読する。Unit4 (p.48～50) を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 4 (p.48～50) グループワーク、Unit 4 (全体) 小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。						
11	鈴木 悠理	【第 11 回】 予習：Unit 5 会話 (Dialogue 1, 2) と Reading (p.56) パートの音声を聞き、音読する。Unit 5 (p.51～55) を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 5 (p.51～55) ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。						
12	鈴木 悠理	【第 12 回】 予習：Unit 5 会話 (Dialogue 1, 2) と Reading (p.56) パートの音声を聞き、音読する。Unit 5 (p.56～59) を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 5 (p.56～59) グループワーク、Unit 5 (全体) 小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。						
13	鈴木 悠理	【第 13 回】 予習：Unit 6 会話 (Dialogue 1, 2) パートの音声を聞き、音読する。Unit 6 (p.60～64) を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 6 (p.60～64) ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。						
14	鈴木 悠理	【第 14 回】 予習：Unit 6 会話 (Dialogue 1, 2) パートの音声を聞き、音読する。Unit 6 (p.65～69) を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 6 (p.65～69) グループワーク、Unit 5 (全体) 小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。						
15	鈴木 悠理	【第 15 回】 予習：Unit 4～6 を振り返り、分からない単語の調べ直しや間違えた問題の解き直しをする。 授業：Unit 4～6 振り返り 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。間違えた問題を解き直す。						
授業開始前学習	時事ニュースや文化 (映画・音楽・ファッションなど) を通して英語に触れる機会を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	約 2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 8 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Peter Vincent, Alan Meadows, Naoko Nakazato『Speaking of People Intro 人とつながる英語コミュニケーション (初級編)』2024 年 (南雲堂)							
参考書	英和辞典・和英辞典があるとよい (電子辞典可) 。その他は授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40% (授業参加態度、小テスト、課題提出など) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業の 3 分の 1 以上を欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。その他、公欠についてなどは第 1 回の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02121
科目名称	英語 A I	単位数	1.0 単位
英文名称	English A I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	佐々木 千恵	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐々木 千恵	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 A I では、英語の基礎的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	基本的な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	佐々木 千恵	【第 1 回】 予習：とくにありません。 授業：オリエンテーション。今後の授業の進め方等の説明。プリントを使用して学習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
2	佐々木 千恵	【第 2 回】 予習：p11-13 の中で知らない単語は意味調べしておく。 授業：p11 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。12p リスニング&ディクテーション。p13 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
3	佐々木 千恵	【第 3 回】 予習：p14-16 の中で知らない単語は意味調べしておく。 授業：前回の単語チェックテスト。p14 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p15 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。p16 リスニング&ディクテーション。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
4	佐々木 千恵	【第 4 回】 予習：p17-19 の中で知らない単語は意味調べておく。 授業：前回の単語チェックテスト。p17 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。p18 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p19 の写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
5	佐々木 千恵	【第 5 回】 予習：p20-22 の中で知らない単語は意味調べておく。 授業：前回の単語チェックテスト。p20 リスニング&ディクテーション。p21 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。p22 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
6	佐々木 千恵	【第 6 回】 予習 p23-25 の中で知らない単語は意味調べておく。 授業：前回の単語チェックテスト。p23 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。p24 リスニング&ディクテーション。p25 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
7	佐々木 千恵	【第 7 回】 予習：p26-28 の中で知らない単語は意味調べておく。 授業：前回の単語チェックテスト。p26 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p27 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。p28 リスニング&ディクテーション。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
8	佐々木 千恵	【第 8 回】 予習：ここまでの授業を総復習する。 授業：前期前半の振り返り。 復習：自分の弱点を見極めて重点的に復習をする。	
9	佐々木 千恵	【第 9 回】 予習：p29-31 の中で知らない単語は意味調べておく。 授業：p29 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。p30 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p31 の写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	

10	佐々木 千恵	【第 10 回】 予習 : p32-34 の中で知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。 p 32 リスニング&ディクテーション。 p 33 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 p 34 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。						
11	佐々木 千恵	【第 11 回】 予習 : p35-37 の中で知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。 p35 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 p36 リスニング & ディクテーション。 p 37 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。						
12	佐々木 千恵	【第 12 回】 予習 : p38-40 の中で知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。 p38 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。 p39 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 p 40 リスニング & ディクテーション。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。						
13	佐々木 千恵	【第 13 回】 予習 : p41-43 の中で知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。 p 41 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 p42 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。 p 43 の写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。						
14	佐々木 千恵	【第 14 回】 予習 : p44-46 の中で知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。 p 44 リスニング & ディクテーション。 p 45 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 p 46 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。						
15	佐々木 千恵	【第 15 回】 予習 : ここまでの授業を総復習する。 授業 : 前期後半の振り返り。 復習 : 自分の課題を見つけ今後の対策を立てる。						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる習慣をつけておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業中に予習の確認、あるいは復習のための小テストを適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	『English Listening and Speaking Patterns 1 』 Andrew E. Bennett 南雲堂							
参考書	特にありません。							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02122
科目名称	英語 A I	単位数	1.0 単位
英文名称	English A I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	江連 成美	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	江連 成美	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 A I では、英語の基礎的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	基本的な構文を使って、英文を書いたり話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	江連 成美	【第 1 回】 予習： テキストの Welcome Unit に目を通しておく 授業： オリエンテーション（授業の進め方・オンラインアプリの登録などの説明） 復習： オリエンテーションの内容を確認する（登録が終わっていない場合は、第 2 回までに必ず登録を終わらせておく）	
2	江連 成美	【第 2 回】 予習： App Unit 1 - Lesson 1 Vocabulary 1 授業： Unit 1 : What do you do? (pp.5~9) (ペアワーク) 復習： App Unit 1 - Lesson 1 and 2	
3	江連 成美	【第 3 回】 予習： App Unit 1 - Lesson 3 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 1 : What do you do? (pp.10, 11, 14, 15) (グループワーク) 復習： App Unit 1 - Lesson 3	
4	江連 成美	【第 4 回】 予習： App Unit 2 - Lesson 1 Vocabulary 2, Lesson 2 Vocabulary 1 授業： Unit 2 : What's that? (pp. 17-21) (ペアワーク) 復習： App Unit 2 - Lesson 1 and 2	
5	江連 成美	【第 5 回】 予習： App Unit 2 - Lesson 3 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 2 : What do you do? (pp. 22, 23, 26, 27) (グループワーク) 復習： App Unit 2 - Lesson 3	
6	江連 成美	【第 6 回】 予習： App Unit 3 - Lesson 1 Vocabulary 1 and 2, Lesson 2 Vocabulary 1 授業： Unit 3 : What are you doing today? (pp. 29-33) (ペアワーク) 復習： App Unit 3 - Lesson 1 and 2	
7	江連 成美	【第 7 回】 予習： App Unit 3 - Lesson 3 Vocabulary 1 授業： Unit 3 : What are you doing today? (pp. 34, 35, 38, 39) (グループワーク) 復習： App Unit 3 - Lesson 3	
8	江連 成美	【第 8 回】 予習： pp. 125-132 の中から特に苦手な部分を自分で選び、問題を解く 授業： Unit 1-3 の前期前半の振り返り 復習： Unit 1-3 で理解できていなかった点を整理しておく	
9	江連 成美	【第 9 回】 予習： App Unit 4 - Lesson 1 Vocabulary 1 and 2, Lesson 2 Vocabulary 1 授業： Unit 4 : Whose phone is this? (pp. 41-45) (ペアワーク) 復習： App Unit 4 - Lesson 1 and 2	
10	江連 成美	【第 10 回】 予習： App Unit 4 - Lesson 3 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 4 : Whose phone is this? (pp. 46, 47, 50, 51) (グループワーク) 復習： App Unit 4 - Lesson 3	
11	江連 成美	【第 11 回】 予習： App Unit 5 - Lesson 1 Vocabulary 1, Lesson 2 Vocabulary 1 (両方) 授業： Unit 5 : Any plans for the weekend? (pp. 53-57) (ペアワーク)	

		復習： App Unit 5 - Lesson 1 and 2						
12	江連 成美	【第12回】 予習： App Unit 5 - Lesson 3 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 5 : Any plans for the weekend? (pp. 58, 59, 62, 63) (グループワーク) 復習： App Unit 5 - Lesson 3						
13	江連 成美	【第13回】 予習： Unit 1-5の単語や表現をもう一度整理する 授業： Unit 1-5の単語や表現を使ったグループワーク 復習： 教室内で行われたフィードバックを復習する						
14	江連 成美	【第14回】 予習： pp. 133-137の中から特に苦手な部分を自分で選び、問題を解く 授業： 前期後半の振り返り 復習： Unit 1-5を通して理解できていなかった点を整理する						
15	江連 成美	【第15回】 予習： Unit 1-5のAppで取り組んでいないpracticeに取り組む 授業： Unit 1-5のPut it Together 復習： 前期に学習した項目を整理し、後期に備える						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	隔週で授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	テキスト名： StartUp Level 2: Student Book & Interactive eBook with Digital Resources & App 出版社： Pearson ※課題としてアプリの Online Practice に取り組んでもらうので、最初のページのアクセスコードが使用済みになっている教科書は購入しないでください。また、初回にアプリの登録を行うので、教科書を購入し、授業に持参してください。							
参考書	特になし。							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02161
科目名称	英語 A II	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishA II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	R.ヨシダ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	R.ヨシダ	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	Required English AII continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading and writing), based on what students learned in AI. We focus on group works, discussions, presentations etc. to further develop functional ability in English. English AII has a particular focus on improving the productive skills of speaking and writing. The lessons are designed to help develop students' confidence and fluency in communicating in English.		
到達目標	English AII aims to improve students' confidence and proficiency in their spoken and written English. Students speak and write English using basic syntax, receiving guidance where necessary. Each student will have many opportunities to: - produce simple, isolated phrases about people, places and events - ask/answer simple questions and initiate/respond to simple statements - obtain basic vocabulary of isolated words and a limited control of a few simple grammatical structures		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	R.ヨシダ	【第 1 回】 予習 : Don't forget your textbook! 授業 : Unit 7 (pp.60-62): Jobs - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review	
2	R.ヨシダ	【第 2 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 7 (pp.63-67): Jobs - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review	
3	R.ヨシダ	【第 3 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 8 (pp.68-70): Entertainment - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review	
4	R.ヨシダ	【第 4 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 8 (pp.71-75): Entertainment - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review	
5	R.ヨシダ	【第 5 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 9 (pp.76-78): Plans & activities - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review	
6	R.ヨシダ	【第 6 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 9 (pp.79-83): Plans & activities - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review	
7	R.ヨシダ	【第 7 回】 予習 : preparation for Midterm Task 1 授業 : Midterm Task 1: Students submit a review of content learned in Units 7-9; Preparation for Midterm Task 2 復習 : Grammar & Vocabulary review	
8	R.ヨシダ	【第 8 回】 予習 : preparation for Midterm Task 2 授業 : Midterm Task 2 (speaking): Students give individual presentations 復習 : Grammar & Vocabulary review	
9	R.ヨシダ	【第 9 回】 予習 : Vocabulary 授業 : Students receive feedback on Midterm Task 1 (writing) and Task 2 (speaking);	

		Unit 10 (pp.84-86): Shopping - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review						
10	R.ヨシダ	【第 10 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 10 (pp.87-91): Shopping - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review						
11	R.ヨシダ	【第 11 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 11 (pp.92-94): Giving instructions - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review						
12	R.ヨシダ	【第 12 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 11 (pp.92-94): Giving instructions - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review						
13	R.ヨシダ	【第 13 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 12 (pp.95-99): Opinions - vocabulary; listening; grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar & Vocabulary review						
14	R.ヨシダ	【第 14 回】 予習 : preparation for Final Task 1 授業 : Final Task 1: Students submit a review of content learned in Units 10-12 復習 : Grammar & Vocabulary review						
15	R.ヨシダ	【第 15 回】 予習 : preparation for Final Task 2 授業 : Final Task 2 (speaking): Students give individual presentations 復習 : Self reflection						
授業開始前学習	Take every opportunity to encounter and enjoy English through movies, music, TV, the Internet, etc.							
授業内課題のフィードバックの方法	- Each "Review Quiz" (weekly quiz given at the beginning of each class) will be marked and returned in the following week. - A written feedback will be provided for each Midterm and Final task.							
テキスト・教材	English Firsthand 1 (Pearson) ISBN: 978-981-313-022-7							
参考書	Information will be given in class							
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (review quizzes, submitted assignments, effort & attitude) and midterm and final tasks 60% (midterm 30% & final 30%).							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席重視。最低限必要な出席率: 2/3 It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02162
科目名称	英語 A II	単位数	1.0 単位
英文名称	English A II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	リチャード バラダット	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	R.バラダット	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	インタラクティブな練習を通じて英語の聞き取りと会話を体感します。英語 A II では、英語 A I で修得した英語の運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	この授業では、さまざまな楽しく興味深いリスニングや発音、スピーキングアクティビティー（個人、ペア、グループアクティビティーなど）を通して、英語を話す力、および理解力を向上させることに焦点を当てます。標準的な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	R.バラダット	【第 1 回】 予習 : Come prepared to talk about your summer vacation 授業 : Introduction/ Course goals/ talking about summer vacation, Q&A activities 復習 : Review notes/ Do homework	
2	R.バラダット	【第 2 回】 予習 : Read pp. 60-63 授業 : Talking about types of jobs and job skills, pair work 復習 : Review notes/ Do homework	
3	R.バラダット	【第 3 回】 予習 : Read pp. 64-67 授業 : Exchanging job skill information, group work 復習 : Review notes/ Do homework/ do GC video presentation Unit 7	
4	R.バラダット	【第 4 回】 予習 : Read pp. 68-71 授業 : Talking about entertainment, pair work, Unit 7 quiz 復習 : Review notes/ Do homework	
5	R.バラダット	【第 5 回】 予習 : Read pp. 72-75 授業 : Inviting and suggesting, group work 復習 : Review notes/ Do homework/ do GC video presentation Unit 8	
6	R.バラダット	【第 6 回】 予習 : Read pp. 76-79 授業 : Talking about the future, pair work, Unit 8 Quiz 復習 : Review notes/ Do homework	
7	R.バラダット	【第 7 回】 予習 : Read pp. 80-83 授業 : Talking about your partner's future, group work 復習 : Do homework/review 64-83 for mid-term quiz	
8	R.バラダット	【第 8 回】 予習 : Prepare for quiz 授業 : Quiz for units 7-9 / Speaking exercise in pairs 復習 : Preview Unit 10/ Do homework	
9	R.バラダット	【第 9 回】 予習 : Read pp. 84-87 授業 : Talking about shopping, clothing, and electronics, pair work 復習 : Review notes/ Do homework	
10	R.バラダット	【第 10 回】 予習 : Read pp. 88-91 授業 : Talking about shopping experiences, group work 復習 : Review notes/ Do homework	
11	R.バラダット	【第 11 回】 予習 : Read pp. 92-95 授業 : Describing processes, pair work, Unit 10 Quiz	

		復習 : Review notes/ Do homework						
12	R.バラダット	【第 12 回】 予習 : Read pp. 96-99 授業 : Grammar focus: Using sequence markers and imperatives, group work 復習 : Review notes/ Do homework/ do GC video presentation Unit 11						
13	R.バラダット	【第 13 回】 予習 : Read pp. 100-103 授業 : Talking about and giving opinions about music, pair work, Unit 11 Quiz 復習 : Review notes/ Do homework						
14	R.バラダット	【第 14 回】 予習 : Read pp. 104-107 授業 : Talking about a personal story or series of events, group work 復習 : Do homework/ review 84-107 for mid-term quiz						
15	R.バラダット	【第 15 回】 予習 : Prepare for quiz 授業 : Quiz for units 10-12 / Speaking exercise in pairs 復習 : Do Portal evaluations in class (after quiz)						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、1 3 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、1 5 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	English Firsthand 1, 5th Edition (Marc Helgesen)							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、プレゼンテーション、授業態度など）及び定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始 3 0 分以上の遅刻は欠席をみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02163
科目名称	英語 A II	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishA II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	W.ミラー	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	W.ミラー	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	Required English AII continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading, and writing) based on what students learned in AI. We focus on group work, discussions, presentations, etc., to further develop functional ability in English. English AII has a particular focus on improving the productive skills of writing and speaking. In principle, classes will be conducted entirely in English.		
到達目標	Students speak and write various kinds of English using basic syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	W.ミラー	【第 1 回】 予習 : Read Unit 0 'Welcome to English Firsthand 1', p.8-11 授業 : Course goals and structure will be explained. Q & A activities to get to know others. (pair work) 復習 : Review notes	
2	W.ミラー	【第 2 回】 予習 : Read Unit 7 'I'd love that job.', p.60-64 授業 : Build vocabulary about different occupations to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes	
3	W.ミラー	【第 3 回】 予習 : Finish Reading Unit 7 'I'd love that job.', p.65-67 授業 : Grammar: Use enjoy..., like ..., good at ... / Group work / Real Stories: 'My Hobby' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 7 Assignment in Google Classroom	
4	W.ミラー	【第 4 回】 予習 : Read Unit 8 'What's playing?', p.68-72 授業 : Build vocabulary about entertainment to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes	
5	W.ミラー	【第 5 回】 予習 : Finish Reading Unit 8 'What's playing?', p.73-75 授業 : Grammar: Use various verb patterns for invitations / Group work / Real Stories: 'My Special Place' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 8 Assignment in Google Classroom	
6	W.ミラー	【第 6 回】 予習 : Read Unit 9 'What are you going to do?', p.76-80 授業 : Build vocabulary about plans and activities to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes	
7	W.ミラー	【第 7 回】 予習 : Finish Reading Unit 9 'What are you going to do?', p.81-83 授業 : Grammar: Use will and be going to for future events / Group work / Real Stories: 'Our One-Year Plan' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 9 Assignment in Google Classroom	
8	W.ミラー	【第 8 回】 予習 : Review all homework assignments and textbook p. 60-83 授業 : Midterm Quiz of Unit 7 ~ Unit 9 復習 : Review notes	
9	W.ミラー	【第 9 回】 予習 : Read Unit 10 'How much is this?', p.84-88 授業 : Build vocabulary about shopping to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes	
10	W.ミラー	【第 10 回】 予習 : Finish Reading Unit 10 'How much is this?', p.89-91 授業 : Grammar: Use comparative adjectives + intensifiers / Group work / Real Stories:	

		'My Way' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 10 Assignment in Google Classroom						
11	W.ミラー	【第 11 回】 予習 : Read Unit 11 'How do you make it?', p.92-96 授業 : Build vocabulary about instructions to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes						
12	W.ミラー	【第 12 回】 予習 : Finish Reading Unit 11 'How do you make it?', p.97-99 授業 : Grammar: Use sequence markers and imperatives / Group work / Real Stories: 'My Passion' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 11 Assignment in Google Classroom						
13	W.ミラー	【第 13 回】 予習 : Read Unit 12 'Listen to the music.', p.100-104 授業 : Build vocabulary about opinions to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes						
14	W.ミラー	【第 14 回】 予習 : Finish Reading Unit 12 'Listen to the music.', p.105-107 授業 : Grammar: Use simple past vs. present perfect / Group work / Real Stories: 'My Favorite Trend' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 12 Assignment in Google Classroom						
15	W.ミラー	【第 15 回】 予習 : Review all homework assignments and textbook p. 81-107 授業 : Final Quiz of Unit 10 ~ Unit 12 復習 : Complete course Questionnaire on the Komajo Portal.						
授業開始前学習	Practice listening to spoken English through videos or audio recordings and read English books, magazines, or comics. Look up unknown words in a dictionary.							
授業内課題のフィードバックの方法	Both written and oral feedback will be provided to all students for tasks and assignments. Students are encouraged to ask questions, which the teacher will answer.							
テキスト・教材	English Firsthand 1 (Fifth Edition), Pearson Longman, by Helgesen et al							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on total class participation, which is 40% of grade (quizzes, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations are 60% of grade.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02164
科目名称	英語 A II	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishA II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	K.バーンズ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	K.バーンズ	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	The emphasis of this class will be on speaking. However, listening, reading and writing will also be developed. This class though, focuses on improving the productive skills of speaking. In principle, lessons are conducted in English. If we are online we will still do speaking using software.		
到達目標	After this class, students will be able to communicate more freely in English.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	K.バーンズ	【第 1 回】 予習 : Come prepared to talk about your summer vacation 授業 : Introduction/ Course goals/Talking about summer vacation -Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework	
2	K.バーンズ	【第 2 回】 予習 : Read pp. 64-67 授業 : Occupations Pairwork and Discussion 復習 : Review notes/ Do homework	
3	K.バーンズ	【第 3 回】 予習 : Read pp. 68-71 授業 : Enjoy, like, good at and good with Pairwork and Group work 復習 : Review notes/ Do homework	
4	K.バーンズ	【第 4 回】 予習 : Read pp. 72-75 授業 : Entertainment Pairwork and Group work 復習 : Review notes/ Do homework	
5	K.バーンズ	【第 5 回】 予習 : Read pp. 76-79 授業 : Plan a Perfect Day Out Pairwork and Discussion 復習 : Review notes/ Do homework	
6	K.バーンズ	【第 6 回】 予習 : Read pp. 80-83 授業 : Future Plans and activities Pairwork and Group work 復習 : Review notes/ Do homework	
7	K.バーンズ	【第 7 回】 予習 : Read pp. 84-87 授業 : Future Tense 復習 : Review notes/ Do homework	
8	K.バーンズ	【第 8 回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review - Project Based Learning/Group work 復習 : Reread textbook pp.64-87	
9	K.バーンズ	【第 9 回】 予習 : Read pp. 88-91 授業 : Clothing, electronics, and personal items -Pairwork, Project Based Learning 復習 : Review notes/ Do homework	
10	K.バーンズ	【第 10 回】 予習 : Read pp. 92-95 授業 : Buy and Sell things at a Flea Market (Presentations) 復習 : Review notes/ Do homework	
11	K.バーンズ	【第 11 回】 予習 : Read pp. 96-99 授業 : Processes - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework	

12	K.バーズ	【第12回】 予習 : Read pp. 100-103 授業 : Learn and teach origami paper folding -Pairwork and Group work 復習 : Review notes/ Do homework						
13	K.バーズ	【第13回】 予習 : Read pp. 104-107 授業 : Opinions and Music - Pairwork and Discussion 復習 : Review notes/ Do homework						
14	K.バーズ	【第14回】 予習 : Read pp. 107-111 授業 : Talk about your musical history - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework						
15	K.バーズ	【第15回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review 復習 : Reread textbook pp.64-111						
授業開始前学習	Before the class starts students can prepare by listening to English recordings and reading English books, magazines or comics. Look up words in the dictionary.							
授業内課題のフィードバックの方法	Comprehensive feedback will be provided on coursework. Once class starts, evaluated homework assignments will be provided after each class to help students review and better understand the material.							
テキスト・教材	English Firsthand 1 by Helgesen et al (Pearson Longman)							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points of 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目	English Conversation							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival after 30 minutes or more after the start of class will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02165
科目名称	英語 A II	単位数	1.0 単位
英文名称	English A II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	M.オーズランド	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	M.オーズランド	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	Required English AII continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading and writing), based on what students learned in AI. We focus on group works, discussions, presentations etc. to further develop functional ability in English. English AII has a particular focus on improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write various kinds of English using basic syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	M.オーズランド	【第 1 回】 予習 : Overview unit 10. Prepare a short speech about your summer vacation (2 minutes). 授業 : Unit 10; Have you ever been there? Describing past experiences. pp.64-66. Pair-work, groupwork, discussions. 復習 : Review unit 10 pp.64-66.	
2	M.オーズランド	【第 2 回】 予習 : Overview unit 10 pp.67-69 授業 : Unit 10 continued. pp.67-69. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review unit 10.	
3	M.オーズランド	【第 3 回】 予習 : Overview Unit 11. 授業 : Unit 11; It's a really nice city. Describing cities. Giving suggestions. pp.72-74. Pair-work, groupwork. 復習 : Review Unit 11 pp.72-74.	
4	M.オーズランド	【第 4 回】 予習 : Overview Unit 11 pp.74-76 授業 : Unit 11 continued. pp.74-76. Pair-work, groupwork, discussions. 復習 : Review Unit 11.	
5	M.オーズランド	【第 5 回】 予習 : Overview Unit 12. 授業 : Unit 12; It's important to get rest. Talking about health. pp.78-80. Pair-work, groupwork, discussion. 復習 : Review unit 12 pp.78-80	
6	M.オーズランド	【第 6 回】 予習 : Overview Unit 12 pp.81-83 授業 : Unit 12 continued. Pp.81-83. Pair-work, groupwork, writing exercise, short presentation. 復習 : Review Unit 12.	
7	M.オーズランド	【第 7 回】 予習 : Review units 10-12. Prepare a short, written report. 授業 : General Comprehension exercises. 復習 : Reflect on personal performance and skills that need more work.	
8	M.オーズランド	【第 8 回】 予習 : Overview Unit 13. 授業 : Unit 13; What would you like? Food and restaurants. Likes and dislikes. pp.86-88. Pair-work, groupwork. 復習 : Review Unit 13 pp.86-88	
9	M.オーズランド	【第 9 回】 予習 : Overview Unit 13 pp.89-91. 授業 : Unit 13 continued. pp.89-91. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 13	
10	M.オーズランド	【第 10 回】 予習 : Overview Unit 14. 授業 : Unit 14; It's the coldest city. Describing countries. Expressing opinions. pp.92-94. Pair-work, groupwork.	

		復習 : Review Unit 14 pp.92-94						
11	M.オーズランド	【第11回】 予習 : Overview Unit 14 pp.95-97. 授業 : Unit 14 continued; pp95-97. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 14.						
12	M.オーズランド	【第12回】 予習 : Overview Unit 15. 授業 : Unit 15; What are you doing later?; Talking about plans. Accepting/refusing. pp.100-102. Pair-work, groupwork. 復習 : Review pp.100-102						
13	M.オーズランド	【第13回】 予習 : Overview Unit 15 pp.103-105. 授業 : Unit 15 continued; pp103-105. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 15.						
14	M.オーズランド	【第14回】 予習 : Overview Unit 16. 授業 : Unit 16; How have you changed? Describing change and plans for the future. pp.106-111. Pair-work, groupwork. 復習 : Review unit 16.						
15	M.オーズランド	【第15回】 予習 : Review units 13-16. Prepare a short, written report. 授業 : General comprehension exercises. 復習 : Reflect on personal performance and skills that need more work.						
授業開始前学習	Prepare yourself to actively participate in classes in English. Consider your strong points and those that need improvement. Focus on topics that interest you, review vocabulary and listen to as much English as possible before the course.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students take a quiz at the beginning of every class or submit assignments and comprehensive feedback on these will be provided. Any questions from individual students will be answered.							
テキスト・教材	Richards, R.C, Hull, J., Proctor, S., Interchange 1 Students Book (Cambridge: C.U.P., 2020) ISBN: 978-1-316-62031-1							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目	This course follows on from the first semester course Required English AI-f and uses the same textbook.							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02166
科目名称	英語 A II	単位数	1.0 単位
英文名称	English A II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	T.グティエレス	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	T.グティエレス	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	Required English AII continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading and writing), based on what students learned in AI. We focus on group works, discussions, presentations etc. to further develop functional ability in English. English AII has a particular focus on improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write various kinds of English using basic syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	T.グティエレス	【第 1 回】 予習 : Review Units 0, 1, 2, 3, & 4 from English I. 授業 : Guidance Activities 復習 : Buy the textbook; Complete self-introduction	
2	T.グティエレス	【第 2 回】 予習 : Preview Unit 5 - What do you mean? - Part 1. 授業 : Unit 5 - What do you mean? - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習 : Review Unit 5 - What do you mean? - Part 1.	
3	T.グティエレス	【第 3 回】 予習 : Preview Unit 5 - What do you mean? - Part 2. 授業 : Unit 5 - What do you mean? - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習 : Unit 5 - What do you mean? - Part 2.	
4	T.グティエレス	【第 4 回】 予習 : Preview Unit 6 - Where's my phone? - Part 1. 授業 : Unit 6 - Where's my phone? - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習 : Review Unit 6 - Where's my phone? - Part 1.	
5	T.グティエレス	【第 5 回】 予習 : Preview Unit 6 - Where's my phone? - Part 2. 授業 : Unit 6 - Where's my phone? - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習 : Unit 6 - Where's my phone? - Part 2.	
6	T.グティエレス	【第 6 回】 予習 : Preview Unit 7 - You're going to work? - Part 1. 授業 : Unit 7 - You're going to work? - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習 : Review Unit 7 - You're going to work? - Part 1.	
7	T.グティエレス	【第 7 回】 予習 : Preview Unit 7 - You're going to work? - Part 2. 授業 : Unit 7 - You're going to work? - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習 : Unit 7 - You're going to work? - Part 2.	
8	T.グティエレス	【第 8 回】 予習 : Review Units 5, 6, & 7 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned) 授業 : Midterm Quiz; Mid-Semester self-reflection 復習 : Complete speaking task.	
9	T.グティエレス	【第 9 回】 予習 : Preview Unit 8 - When do you have chemistry? - Part 1. 授業 : Unit 8 - When do you have chemistry? - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習 : Review Unit 8 - When do you have chemistry? - Part 1.	

10	T.グティエレス	【第10回】 予習：Preview Unit 8 - When do you have chemistry? - Part 2. 授業：Unit 8 - When do you have chemistry? - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習：Unit 8 - When do you have chemistry? - Part 2.						
11	T.グティエレス	【第11回】 予習：Preview Unit 9 - I can cook! - Part 1. 授業：Unit 9 - I can cook! - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習：Review Unit 9 - I can cook! - Part 1.						
12	T.グティエレス	【第12回】 予習：Preview Unit 9 - I can cook! - Part 2. 授業：Unit 9 - I can cook! - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習：Review Unit 9 - I can cook! - Part 2.						
13	T.グティエレス	【第13回】 予習：Preview Units 5, 6, 7, 8, & 9 Getting the Basic Idea & Getting Details 授業：Final Semester Review - Units 5, 6, 7, 8, & 9. 復習：Review Units 5, 6, 7, 8, & 9 Listening and Vocabulary						
14	T.グティエレス	【第14回】 予習：Review Units 5, 6, 7, 8, & 9 Listening and Vocabulary 授業：Final Quiz 復習：Review Units 5, 6, 7, 8, & 9 Listening and Vocabulary						
15	T.グティエレス	【第15回】 予習：Review Units 5, 6, 7, 8, & 9 About Me 授業：Reflection on the semester 復習：Complete self-reflection on the semester						
授業開始前学習	Review vocabulary and grammar references. Review how to express information about yourself and your interests.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students will complete a selection of their answers into Google Classroom. The teacher will give feedback on these answers. Also, the teacher will give verbal feedback to the answers in their class.							
テキスト・教材	タイトル: Communication Spotlight, Starter, 3rd Edition 叢書名: 978-1-78547-077-6 著編者: Alastair Graham-Marr 出版社: ABAX ELT Publishing 出版年: 2019 (西暦 4 桁) 版数 第 3 版							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02168
科目名称	英語 A II	単位数	1.0 単位
英文名称	English A II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	S.スティーブンス	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	S.スティーブンス	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	Required English A II integrates the four skills (listening, speaking, reading and writing). We focus on pair/group work, discussions, surveys and presentations to develop students functional ability in using everyday, practical English.		
到達目標	<p>1. Students' communicative ability will be developed through guided pair and group discussion activities (using the target language in a meaningful way, linking classroom language learning to real-world activities).</p> <p>2. They will learn an extensive range of communicative activity types including interviews, surveys, class presentations and mini projects.</p> <p>3. Students will also develop listening skills through listening to a variety of scripted and authentic audio/video material.</p> <p>4. Vocabulary learning methods and record keeping skills will also be developed.</p>		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	S.スティーブンス	【第 1 回】 予習 : Don't forget your textbook ! Bring notebook for classwork and vocabulary work. 授業 : Class orientation; Personal information - discussion on summer holidays. 復習 : Vocabulary review/Homework.	
2	S.スティーブンス	【第 2 回】 予習 : Do assigned tasks : Warm up unit questions p59 /Reading p62. 授業 : Unit 6 Journeys pp. 59-63 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/homework.	
3	S.スティーブンス	【第 3 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 6 Journeys pp. 63-66 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.	
4	S.スティーブンス	【第 4 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 7 Family pp. 71-74 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.	
5	S.スティーブンス	【第 5 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 7 Family pp. 75-78 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.	
6	S.スティーブンス	【第 6 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 8 Nature pp. 79-82 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.	
7	S.スティーブンス	【第 7 回】 予習 : Preparation for Mid-term Poster Presentations. 授業 : Unit 8 Nature pp. 83-86 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.	
8	S.スティーブンス	【第 8 回】 予習 : Prepare for Mid-term Poster presentations. 授業 : Mid-term Poster presentations. 復習 : Vocabulary review/Homework.	
9	S.スティーブンス	【第 9 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Students receive feedback on Poster presentations. Unit 9 Happiness pp. 91-95 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.	

10	S.スティーブンス	【第10回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 9 Happiness pp.96-98 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.						
11	S.スティーブンス	【第11回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 10 Conservation pp.99-102 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.						
12	S.スティーブンス	【第12回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 10 Conservation pp.103-110 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review preparation/ Homework.						
13	S.スティーブンス	【第13回】 予習 : Preparation for Final Vocabulary Review. 授業 : Final vocabulary review. 復習 : Poster presentations preparation.						
14	S.スティーブンス	【第14回】 予習 : Preparation for Final Speaking Poster Presentations. 授業 : Final Speaking Task : Poster presentations based on units 6-10. 復習 : Vocabulary review and self reflections on their presentations.						
15	S.スティーブンス	【第15回】 予習 : Preparation for Final Speaking Poster Presentations. 授業 : Final Speaking Task : Poster presentations based on units 6-10. 復習 : Feedback on class presentations.						
授業開始前学習	Before class students can try to review vocabulary, use graded readers, and do listening activities using various listening websites. Also try to take every opportunity to encounter and enjoy English through movies, music, TV, and the Internet.							
授業内課題のフィードバックの方法	There will be teacher oral/written feedback on assignments and homework. Additionally, there will be development of students' peer to peer feedback, particularly with presentations.							
テキスト・教材	INSPIRE 2 by Pamela Hartmann, Nancy Douglas and Andrew Boon. ISBN: 978-1-133-96368-4							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (review quizzes, submitted assignments, effort & attitude) and regular examinations 60% (midterm & final tasks).							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	Attendance is very important because it is part of your participation grade. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class. It is a communication class, so it is important to interact with the teacher, each other and express your opinions. This will build your confidence.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02169
科目名称	英語 A II	単位数	1.0 単位
英文名称	English A II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 A II では、英語 A I で修得した英語の運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	標準的な構文を使って、英文を書いたり話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	薬師 英子	【第 1 回】 予習 : 自分の英語学習を振り返る 授業 : Talk About Summer Vacation / Review of the first term & Introduction グループワーク 復習 : 家庭学習を考える	
2	薬師 英子	【第 2 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 9 I think I'm lost. (pp.56~61)〈助動詞〉道順を尋ねる／感謝する グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る	
3	薬師 英子	【第 3 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 9 I think I'm lost. (pp.56~61) Review & Activity 復習 : 授業中の活動を振り返る	
4	薬師 英子	【第 4 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 10 Do you want me to take your picture? (pp.62~67)〈不定詞〉問題点を述べる／依頼する グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る	
5	薬師 英子	【第 5 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 10 Do you want me to take your picture? (pp.62~67) Review & Activity 復習 : 授業中の活動を振り返る	
6	薬師 英子	【第 6 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 11 I've lost my phone. (pp.68~73) 〈関係詞〉理由を述べる／理解を示す グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る	
7	薬師 英子	【第 7 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 12 I love roller coasters! (pp.74~79) 〈形容詞・副詞〉意見を尋ねる／励ます グループワーク、これまで学んできた Unit 9~12(pp.56~79)についてのまとめ提出 復習 : 授業中の活動を振り返る	
8	薬師 英子	【第 8 回】 予習 : ここまでの授業を総復習する 授業 : 後期前半のまとめをする 復習 : まとめを振り返る	
9	薬師 英子	【第 9 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 13 Let me introduce my friend. (pp.80~85)〈接続詞・前置詞〉近況を尋ねる／確信を示す、これまで学んできた Unit 9 I think I'm lost. ~Unit 13 Let me introduce my friend. (pp.56~85) についてのまとめの講評 復習 : 授業中の活動を振り返る	
10	薬師 英子	【第 10 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 13 Let me introduce my friend. (pp.80~85) Review & Activity 復習 : 授業中の活動を振り返る	

11	薬師 英子	【第 11 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 14 I'd like to pay by credit card. (pp.86~91)〈動名詞〉賛同する／不安を示す 復習 : 授業中の活動を振り返る						
12	薬師 英子	【第 12 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 14 I'd like to pay by credit card. (pp.86~91) Review & Activity 復習 : 授業中の活動を振り返る						
13	薬師 英子	【第 13 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 15 I'm looking forward to seeing you again. (pp.92~97)〈分詞〉相槌を打つ／予定を尋ねる グループワーク、これまで学んできた Unit 9 I think I'm lost. ~ Unit 15 I'm looking forward to seeing you again.(pp.56~97)についてのまとめ提出 復習 : 授業中の活動を振り返る						
14	薬師 英子	【第 14 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Let's review. (pp.98~112)〈比較〉希望を尋ねる／注文する グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る						
15	薬師 英子	【第 15 回】 予習 : 今まで授業で学んだことを振り返る 授業 : Overall Review、これまで学んできた Unit 9~15 & Let's Review (pp.56~112)についてのまとめの講評 復習 : 自分の課題を見つけ対策を立てる						
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	『Let's Read Aloud & Learn English -Going Abroad-』角山 照彦、Simon Capper、遠藤 利昌（成美堂）							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻、早退は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯電話使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02170
科目名称	英語 A II	単位数	1.0 単位
英文名称	English A II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	鈴木 悠理	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 悠理	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 A II では、英語 A I で修得した英語の運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したペア・グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	標準的な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	鈴木 悠理	【第 1 回】 予習：シラバスを確認する。前期の英語学習を振り返る。 授業：ガイダンス（授業概要、到達目標、授業の進め方について）、前期の復習 復習：ガイダンスをもとに、後期の目標を立てる。Google Classroom に登録する。	
2	鈴木 悠理	【第 2 回】 予習：Unit 7 会話（Dialogue 1, 2）パートの音声を読み、音読する。Unit 7（p.72～77）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 7（p.72～77）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	
3	鈴木 悠理	【第 3 回】 予習：Unit 7 会話（Dialogue 1, 2）パートの音声を読み、音読する。Unit 7（p.78～82）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 7（p.78～82）グループワーク、Unit 7（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。	
4	鈴木 悠理	【第 4 回】 予習：Unit 8 会話（Dialogue 1, 2）パートの音声を読み、音読する。Unit 8（p.83～88）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 8（p.83～88）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	
5	鈴木 悠理	【第 5 回】 予習：Unit 8 会話（Dialogue 1, 2）パートの音声を読み、音読する。Unit 8（p.89～93）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 8（p.89～93）グループワーク、Unit 8（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。	
6	鈴木 悠理	【第 6 回】 予習：Unit 9 会話（Dialogue 1, 2）パートの音声を読み、音読する。Unit 9（p.94～99）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 9（p.94～99）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	
7	鈴木 悠理	【第 7 回】 予習：Unit 9 会話（Dialogue 1, 2）パートの音声を読み、音読する。Unit 9（p.99～102）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 9（p.99～102）グループワーク、Unit 3（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。	
8	鈴木 悠理	【第 8 回】 予習：Unit 7～9 を振り返り、分からない単語の調べ直しや間違えた問題の直しをする。 授業：Unit 7～9 振り返り 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。間違えた問題を直し直す。	
9	鈴木 悠理	【第 9 回】 予習：Unit 10 会話（Dialogue 1, 2）と Reading（p.111）パートの音声を読み、音読する。Unit 10（p.106～110）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 10（p.106～110）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	

10	鈴木 悠理	【第 10 回】 予習：Unit 10 会話 (Dialogue 1, 2) と Reading (p.111) パートの音声を聞き、音読する。Unit 10 (p.111~114) を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 10 (p.111~114) グループワーク、Unit 10 (全体) 小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。						
11	鈴木 悠理	【第 11 回】 予習：Unit 11 会話 (Dialogue 1, 2) と Reading (p.56) パートの音声を聞き、音読する。Unit 11 (p.115~120) を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 11 (p.115~120) ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。						
12	鈴木 悠理	【第 12 回】 予習：Unit 11 会話 (Dialogue 1, 2) パートの音声を聞き、音読する。Unit 11 (p.121~124) を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 11 (p.121~124) グループワーク、Unit 11 (全体) 小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。						
13	鈴木 悠理	【第 13 回】 予習：Unit 12 会話 (Dialogue 1, 2) パートの音声を聞き、音読する。Unit 12 (p.125~132) を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 12 (p.125~132) ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。						
14	鈴木 悠理	【第 14 回】 予習：Unit 12 会話 (Dialogue 1, 2) パートの音声を聞き、音読する。Unit 12 (p.132~136) を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 12 (p.132~136) グループワーク、Unit 12 (全体) 小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。						
15	鈴木 悠理	【第 15 回】 予習：Unit 10~12 を振り返り、分からない単語の調べ直しや間違えた問題の解き直しをする。 授業：Unit 10~12 振り返り 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。間違えた問題を解き直す。						
授業開始前学習	時事ニュースや文化 (映画・音楽・ファッションなど) を通して英語に触れる機会を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	約 2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 8 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Peter Vincent, Alan Meadows, Naoko Nakazato『Speaking of People Intro 人とつながる英語コミュニケーション (初級編)』2024 年 (南雲堂) *前期と同じテキスト							
参考書	英和辞典・和英辞典があるとよい (電子辞典可) 。その他は授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40% (授業参加態度、小テスト、課題提出など) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業の 3 分の 1 以上を欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。その他、公欠についてなどは第 1 回の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02171
科目名称	英語 A II	単位数	1.0 単位
英文名称	English A II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	佐々木 千恵	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐々木 千恵	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 A II では、英語 A I で修得した英語の運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	標準的な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	佐々木 千恵	【第 1 回】 予習 : p47-49 の中で知らない単語は意味調べしておく。 授業 : p47 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。48p リスニング & ディクテーション。p 49 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
2	佐々木 千恵	【第 2 回】 予習 : p50-52 の中で知らない単語は意味調べしておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。p50 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p51 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。p 52 リスニング & ディクテーション。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
3	佐々木 千恵	【第 3 回】 予習 : p53-55 の中で知らない単語は意味調べておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。p 53 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。p54 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p 55 の写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
4	佐々木 千恵	【第 4 回】 予習 : p56-58 の中で知らない単語は意味調べておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。p 56 リスニング & ディクテーション。p 57 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。p 58 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
5	佐々木 千恵	【第 5 回】 予習 : p59-61 の中で知らない単語は意味調べしておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。p59 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。p60 リスニング & ディクテーション。p 61 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
6	佐々木 千恵	【第 6 回】 予習 : p62-64 の中で知らない単語は意味調べておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。p 62 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p63 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。p 64 リスニング & ディクテーション。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
7	佐々木 千恵	【第 7 回】 予習 : p65-67 の中で知らない単語は意味調べておく。 授業 : p 65 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。p66 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p 67 の写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
8	佐々木 千恵	【第 8 回】 予習 : ここまでの授業を総復習する。 授業 : 後期前半の振り返り。 復習 : 自分の弱点を見極めて重点的に復習をする。	
9	佐々木 千恵	【第 9 回】 予習 : p68-70 の中で知らない単語は意味調べておく。 授業 : p 68 リスニング & ディクテーション。p 69 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。p 70 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	

10	佐々木 千恵	【第 10 回】 予習 : p71-73 の中で知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。p71 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。p72 リスニング & ディクテーション。p 73 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。						
11	佐々木 千恵	【第 11 回】 予習 : p74-76 の中で知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。p74 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p75 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。p 76 リスニング & ディクテーション。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。						
12	佐々木 千恵	【第 12 回】 予習 : p77-79 の中で知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。p 77 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。p78 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p 79 の写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。						
13	佐々木 千恵	【第 13 回】 予習 : p80-82 の中で知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。 p 80 リスニング & ディクテーション。p 81 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。p 82 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。						
14	佐々木 千恵	【第 14 回】 予習 : p83-85 の中で知らない単語は意味調べをしておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。p83 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。p84 リスニング & ディクテーション。p 85 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。						
15	佐々木 千恵	【第 15 回】 予習 : ここまでの授業を総復習する。 授業 : 後期後半の振り返り。 復習 : 自分の課題を見つけ今後の対策を立てる。						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる習慣をつけること。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業中に予習の確認、あるいは復習のための小テストを適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	『English Listening and Speaking Patterns 1 』 Andrew E. Bennett 南雲堂							
参考書	特にありません。							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02172
科目名称	英語 A II	単位数	1.0 単位
英文名称	English A II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	江連 成美	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	江連 成美	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 A II では、英語 A I で修得した英語の運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	標準的な構文を使って、英文を書いたり話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	江連 成美	【第 1 回】 予習： App Unit 6 - Lesson 1 Vocabulary 1, Lesson 2 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 6 : Are you OK? (pp.65-69) (ペアワーク) 復習： App Unit 6 - Lesson 1 and 2	
2	江連 成美	【第 2 回】 予習： App Unit 6 - Lesson 3 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 6 : Are you OK? (pp.70, 71, 74, 75) (グループワーク) 復習： App Unit 1 - Lesson 3	
3	江連 成美	【第 3 回】 予習： App Unit 7 - Lesson 1 Vocabulary 1, Lesson 2 Vocabulary 1 授業： Unit 7 : How do I get there? (pp. 77-81) (ペアワーク) 復習： App Unit 7 - Lesson 1 and 2	
4	江連 成美	【第 4 回】 予習： App Unit 7 - Lesson 3 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 7 : How do I get there? (pp. 82, 83, 86, 87) (グループワーク) 復習： App Unit 7 - Lesson 3	
5	江連 成美	【第 5 回】 予習： App Unit 8 - Lesson 1 Vocabulary 1 and 2, Lesson 2 Vocabulary 1 授業： Unit 8 : How was your vacation? (pp. 89-93) (ペアワーク) 復習： App Unit 8 - Lesson 1 and 2	
6	江連 成美	【第 6 回】 予習： App Unit 8 - Lesson 3 Vocabulary 1 授業： Unit 8 : How was your vacation? (pp. 94, 95, 98, 99) (グループワーク) 復習： App Unit 8 - Lesson 3	
7	江連 成美	【第 7 回】 予習： pp. 138-141 の中から特に苦手な部分を自分で選び、問題を解く 授業： Unit 6-8 の単語や表現を使ったグループワーク 復習： Unit 6-8 の App の問題でできなかった箇所をもう一度解く	
8	江連 成美	【第 8 回】 予習： pp. 142-144 の中から特に苦手な部分を自分で選び、問題を解く 授業： 後期前半の振り返り 復習： Unit 6-8 で苦手な学習項目を補強しておく	
9	江連 成美	【第 9 回】 予習： App Unit 9 - Lesson 1 Vocabulary 1 and 2, Lesson 2 Vocabulary 1 授業： Unit 9 : What's for dinner? (pp. 101-105) (ペアワーク) 復習： App Unit 9 - Lesson 1 and 2	
10	江連 成美	【第 10 回】 予習： App Unit 9 - Lesson 3 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 9 : What's for dinner? (pp. 106, 107, 110, 111) (グループワーク) 復習： App Unit 9 - Lesson 3	
11	江連 成美	【第 11 回】 予習： App Unit 10 - Lesson 1 Vocabulary 1, Lesson 2 Vocabulary 1 授業： Unit 10 : Where are you going? (pp. 113-117) (ペアワーク) 復習： App Unit 10 - Lesson 1 and 2	

12	江連 成美	【第12回】 予習： App Unit 10 - Lesson 3 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 10： Where are you going? (pp. 118, 119, 122, 123) (グループワーク) 復習： App Unit 10 - Lesson 3						
13	江連 成美	【第13回】 予習： Unit 9-10 の単語や表現をもう一度整理する 授業： Unit 1 から 10 の単語や表現を使ったグループワーク 復習： 教室内で行われたフィードバックを復習する						
14	江連 成美	【第14回】 予習： pp. 145-149 の中から特に苦手な部分を自分で選び、問題を解く 授業： 後期後半の振り返り 復習： Unit 9-10 を通して理解できていなかった点を整理する						
15	江連 成美	【第15回】 予習： Unit 9-10 の App で取り組んでいない practice に取り組む 授業： Unit 6-10 の Put it Together 復習： 1 年を通して学習した項目を整理し、次年度に備える						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	隔週で授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	テキスト名： StartUp Level 2: Student Book & Interactive eBook with Digital Resources & App 出版社： Pearson ※前期で使用したものを引き続き使用します							
参考書	特になし。							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02211
科目名称	英語 AⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	R.ヨシダ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	R.ヨシダ	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	Required English AIII is aimed at integrating the four skills (listening, speaking, reading and writing) through group works, discussions, presentations etc. to develop advanced functional ability in English. English AIII has a particular focus on further improving the productive skills of speaking and writing.		
到達目標	<p>English AIII aims to improve students' confidence and proficiency in their spoken and written English. With the guidance of the teacher, students speak and write English using more complex syntax.</p> <p>Each student will have many opportunities to:</p> <ul style="list-style-type: none"> - give a reasonably fluent description or presentation on a variety of subjects - understand the main points of clear standard speech on familiar matters - communicate with some confidence on familiar matters, and express thoughts on more abstract topics - utilize sufficient vocabulary to express ideas on a range of topics 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	R.ヨシダ	【第 1 回】 予習 : Don't forget your textbook! 授業 : Class orientation; Unit 0 (pp.8-11); Unit 1 (pp.12-14): Relationships - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review	
2	R.ヨシダ	【第 2 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 1 (pp.15-19): Relationships - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review	
3	R.ヨシダ	【第 3 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 2 (pp.20-22): Emotions - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review	
4	R.ヨシダ	【第 4 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 2 (pp.23-27): Emotions - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review	
5	R.ヨシダ	【第 5 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 3 (pp.28-30): Descriptions - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review	
6	R.ヨシダ	【第 6 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 3 (pp.31-35): Descriptions - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Vocabulary review	
7	R.ヨシダ	【第 7 回】 予習 : preparation for Midterm Task 1 授業 : Midterm Task 1: Students submit a review of content learned in Units 0-3; Preparation for Midterm Task 2 復習 : Grammar & Vocabulary review	
8	R.ヨシダ	【第 8 回】 予習 : preparation for Midterm Task 2 授業 : Midterm Task 2 (speaking): Students give individual presentations 復習 : Grammar & Vocabulary review	
9	R.ヨシダ	【第 9 回】 予習 : Vocabulary 授業 : Students receive feedback on Midterm Task 1 (writing) and Task 2 (speaking);	

		Unit 4 (pp.36-38): Opinions - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review							
10	R.ヨシダ	【第 10 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 4 (pp.39-43): Locations - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review							
11	R.ヨシダ	【第 11 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 5 (pp.44-46): Apologies and Problems - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review							
12	R.ヨシダ	【第 12 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 5 (pp.47-51): Apologies and Problems - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review							
13	R.ヨシダ	【第 13 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 6 (pp.52-59); Symbols and Traditions - vocabulary; listening; grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar & Vocabulary review							
14	R.ヨシダ	【第 14 回】 予習 : preparation for Final Task 1 授業 : Final Task 1: Students submit a review of content learned in Units 4-6; Preparation for Final Task 2 復習 : Grammar & Vocabulary review							
15	R.ヨシダ	【第 15 回】 予習 : preparation for Final Task 2 授業 : Final Task 2 (speaking): Students give individual presentations 復習 : Self reflection							
授業開始前学習		Take every opportunity to encounter and enjoy English through movies, music, TV, the Internet, etc.							
授業内課題のフィードバックの方法		- Each "Review Quiz" (weekly quiz given at the beginning of each class) will be marked and returned in the following week. - A written feedback will be provided for each Midterm and Final task.							
テキスト・教材		English Firsthand 2 (Pearson) ISBN: 978-981-313-023-4							
参考書		Information will be given in class							
評価の基準と方法		Students are evaluated on a total of class participation points 40% (review quizzes, submitted assignments, effort & attitude) and midterm and final tasks 60% (midterm 30% & final 30%).							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		◎				△	○
関連科目									
その他		出席重視。最低限必要な出席率: 2/3 It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-22	授業コード	F02212
科目名称	英語 AⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	リチャード バラダット	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	R.バラダット	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	この授業では、さまざまな楽しく興味深いリスニングや発音、スピーキングアクティビティー（個人、ペア、グループアクティビティーなど）を通して、英語を話す力、および理解力を向上させることに焦点を当てます。英語 AⅢ では、英語の発展的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	インタラクティブな練習を通じて英語の聞き取りと会話を体感します。複雑な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	R.バラダット	【第 1 回】 予習 : Purchase Textbook 授業 : Self-Introductions/Course goals, Q&A, get to know other (pp. 8-11) 復習 : Review notes / Do homework	
2	R.バラダット	【第 2 回】 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 1: Relationships (pp. 12-15), pair work 復習 : Review notes / Do homework	
3	R.バラダット	【第 3 回】 予習 : Review vocabulary 授業 : Meeting People (pp. 16-19), group work 復習 : Review notes / Do homework/ Do GC video presentation 1	
4	R.バラダット	【第 4 回】 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 2: Emotions (pp. 20-23), pair work, Unit 1 Quiz 復習 : Review notes / Do homework / GC short writing 1	
5	R.バラダット	【第 5 回】 予習 : Review vocabulary 授業 : Unit 2: Discussing emotions (pp. 24-27), group work 復習 : Review notes / Do homework	
6	R.バラダット	【第 6 回】 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 3: Places & travel (pp. 28-31) pair work, Unit 2 Quiz 復習 : Review notes / Do homework / GC short writing 2	
7	R.バラダット	【第 7 回】 予習 : Review vocabulary 授業 : Unit 3: Planning a vacation (pp. 32-35), group work 復習 : Review notes / Do homework / Do GC video presentation 2	
8	R.バラダット	【第 8 回】 予習 : Prepare for quiz 授業 : Quiz for units 1-3 / Speaking exercise in pairs 復習 : Preview Unit 4 / Do homework	
9	R.バラダット	【第 9 回】 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 4: Interests and opinions (pp. 36-39), pair work 復習 : Review notes / Do homework	
10	R.バラダット	【第 10 回】 予習 : Review vocabulary 授業 : Unit 4: Describing an experience (pp. 40-43), group work 復習 : Review notes / Do homework / GC short writing 3	
11	R.バラダット	【第 11 回】 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 5: Problems and reasons (pp. 44-47), pair work	

		復習 : Review notes / Do homework / Language check 5						
12	R.バラダッド	【第12回】 予習 : Review vocabulary 授業 : Unit 5: Giving excuses (pp. 47-51), group work 復習 : Review notes / Do homework / GC short writing 4						
13	R.バラダッド	【第13回】 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 6: Cultural symbols & traditions (pp. 52-56), pair work 復習 : Review notes / Do homework / Do GC video presentation 3						
14	R.バラダッド	【第14回】 予習 : Review vocabulary / Final speaking exercise 授業 : Customs and Culture (pp. 57-59), group work, Speaking exercise in pairs 復習 : Review Unit 4 - 6 notes / Do homework						
15	R.バラダッド	【第15回】 予習 : Prepare for quiz 授業 : Quiz for units 4 - 6 復習 : Do Portal course evaluations in class (after quiz)						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業7回目、13回目に提出するまとめについては、2週間後（授業9回目、15回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	English Firsthand 2, 5th Edition Pearson							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、プレゼンテーション、授業態度など）及び定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始30分以上の遅刻は欠席をみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02213
科目名称	英語 AⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	W.ミラー	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	W.ミラー	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	Required English AIII is aimed at integrating the four skills (listening, speaking, reading, and writing) through group work, discussions, presentations etc., to develop advanced functional ability in English. English AIII has a particular focus on further improving the productive skills of writing and speaking. In principle, classes will be conducted entirely in English.		
到達目標	Students speak and write English using more complex syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	W.ミラー	【第 1 回】 予習 : Read Unit 0 'Welcome to English Firsthand 2', p.8-11 授業 : Course goals and structure will be explained. Q & A activities (pair work) 復習 : Review notes	
2	W.ミラー	【第 2 回】 予習 : Read Unit 1 'Have you two met?', p.12-16 授業 : Build vocabulary about relationships to use in dialogues (pair work) 復習 : Review notes	
3	W.ミラー	【第 3 回】 予習 : Finish Reading Unit 1 'Have you two met?', p.17-19 授業 : Grammar: review verb tenses / Group work / Real Stories: 'My Personal Statement' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 1 Assignment in Google Classroom	
4	W.ミラー	【第 4 回】 予習 : Read Unit 2 'You must be excited!', p.20-24 授業 : Build vocabulary about emotions to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes	
5	W.ミラー	【第 5 回】 予習 : Finish Reading Unit 2 'You must be excited!', p.25-27 授業 : Grammar: Using real conditionals for present, future / Group work / Real Stories: 'My Unusual Club' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 2 Assignment in Google Classroom	
6	W.ミラー	【第 6 回】 予習 : Read Unit 3 'Where should I go?', p.28-32 授業 : Build vocabulary about descriptions to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes	
7	W.ミラー	【第 7 回】 予習 : Finish Reading Unit 3 'Where should I go?', p.33-35 授業 : Grammar: Using comparatives, superlatives / Group work / Real Stories: 'My Trip to Asia' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 3 Assignment in Google Classroom	
8	W.ミラー	【第 8 回】 予習 : Review all homework assignments and textbook p. 12-35 授業 : Midterm Quiz of Unit 1 ~ Unit 3 復習 : Reread textbook p. 36-40	
9	W.ミラー	【第 9 回】 予習 : Read Unit 4 'I love that!', p.36-40 授業 : Build vocabulary about opinions to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes	
10	W.ミラー	【第 10 回】 予習 : Finish Reading Unit 4 'I love that!', p.41-43 授業 : Grammar: Use cause and result clauses / Group work / Real Stories: 'My Students' Excuses' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 4 Assignment in Google Classroom	

11	W.ミラー	【第11回】 予習 : Read Unit 5 'How do I get there?', p.44-48 授業 : Build vocabulary about directions to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes						
12	W.ミラー	【第12回】 予習 : Finish Reading Unit 5 'How do I get there?', p.49-51 授業 : Grammar: Using prepositions with there is and there are / Group work / Real Stories: 'My Farewell Party' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 5 Assignment in Google Classroom						
13	W.ミラー	【第13回】 予習 : Read Unit 6 'What it like there?', p.52-56 授業 : Build vocabulary about symbols and traditions to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes						
14	W.ミラー	【第14回】 予習 : Finish Reading Unit 6 'What it like there?', p.57-59 授業 : Grammar: Use relative pronouns in adjective clauses / Group work / Real Stories: 'My Band' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 6 Assignment in Google Classroom						
15	W.ミラー	【第15回】 予習 : Review all homework assignments and textbook p. 36-59 授業 : Final Quiz of Unit 4 ~ Unit 6 復習 : Complete course Questionnaire on the Komajo Portal.						
授業開始前学習	Practice listening to spoken English through videos or audio recordings and read English books, magazines, or comics. Look up unknown words in a dictionary.							
授業内課題のフィードバックの方法	Both written and oral feedback will be provided to all students for tasks and assignments. Students are encouraged to ask questions, which the teacher will answer.							
テキスト・教材	English Firsthand 2 (Fifth Edition), Pearson Longman, by Helgesen et al							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on total class participation, which is 40% of grade (quizzes, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations are 60% of grade.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02214
科目名称	英語 AⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	K.バーンズ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	K.バーンズ	開講時期	2 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	The emphasis of this class will be on speaking. However, listening, reading and writing will also be developed. This class though, focuses on improving the productive skills of speaking. In principle, lessons are conducted in English. If we are online we will still do speaking using software.		
到達目標	After this class, students will be able to communicate more freely in English.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	K.バーンズ	The topics of the class will follow the text book. 【第 1 回】予習 : Read pp. 8 -11 in the textbook 授業 : Self-Introductions/Course goals Q&A Getting to Know Each other - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework	
2	K.バーンズ	【第 2 回】 予習 : Read pp. 12-19 授業 : Hobbies and Interests - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework	
3	K.バーンズ	【第 3 回】 予習 : Read pp. 20-24 授業 : Describe your feelings - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework	
4	K.バーンズ	【第 4 回】 予習 : Read pp. 25 -27 授業 : Express Empathy - Pairwork and Group work 復習 : Review notes/ Do homework	
5	K.バーンズ	【第 5 回】 予習 : Read pp. 28-32 授業 : Talk about a trip - Discussion and Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework	
6	K.バーンズ	【第 6 回】 予習 : Read pp. 33-35 授業 : Make recommendations - Pairwork and Group Work 復習 : Review notes/ Do homework	
7	K.バーンズ	【第 7 回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review - Pairwork 復習 : Reread textbook pp.8 -24	
8	K.バーンズ	【第 8 回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review -Project Based Learning 復習 : Reread textbook pp.25-35	
9	K.バーンズ	【第 9 回】 予習 : Read pp. 36-39 授業 : Share opinions - Project Based Learning 復習 : Review notes/ Do homework	
10	K.バーンズ	【第 10 回】 予習 : Read pp. 40-43 授業 : Express agreement and disagreement - Presentations 復習 : Review notes/ Do homework	
11	K.バーンズ	【第 11 回】 予習 : Read pp. 44-47 授業 : Make requests - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework	

12	K.バーズ	【第12回】 予習 : Read pp. 48-51 授業 : Accept and refuse offers - Pairwork and Group Work 復習 : Review notes/ Do homework						
13	K.バーズ	【第13回】 予習 : Read pp. 52-55 授業 : Talk about traditions in your country - Discussion and Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework						
14	K.バーズ	【第14回】 予習 : Read pp. 56-59 授業 : Talk about symbols and traditions of other countries - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework						
15	K.バーズ	【第15回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review 復習 : Reread textbook pp.36-59						
授業開始前学習	Before the class starts students can prepare by listening to English recordings and reading English books, magazines or comics. Look up words in the dictionary.							
授業内課題のフィードバックの方法	Comprehensive feedback will be provided on coursework. Once class starts, evaluated homework assignments will be provided after each class to help students review and better understand the material.							
テキスト・教材	English Firsthand 2 by Helgesen et al (Pearson Longman)							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points of 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目	English Conversation							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival after 30 minutes or more after the start of class will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02215
科目名称	英語 AⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	M.オーズランド	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	M.オーズランド	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	This is a four skills Integrated General English course with a particular emphasis on developing productive speaking and writing skills. Students explore a variety of topics, participate in pair-work, small-group work, and produce short written reports.		
到達目標	By the end of the course students should have: 1. Enhanced their productive speaking and writing skills using more complex syntax. 2. Gained further confidence in using General English for daily communication.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	M.オーズランド	【第 1 回】 予習 : Overview unit 1. Prepare a short introductory speech (2 minutes). 授業 : Unit 1; Good memories. Introductions and exchanging personal information. pp.2-4. Pair-work, groupwork. 復習 : Review unit pp.2-4	
2	M.オーズランド	【第 2 回】 予習 : Overview unit 1 pp. 5-7 授業 : Unit 1 continued; pp.5-7. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review unit 1	
3	M.オーズランド	【第 3 回】 予習 : Overview Unit 2. 授業 : Unit 2; Life in the city. Evaluating services. pp.8-10. Pair-work, groupwork, discussions. 復習 : Review unit 2 pp.8-10.	
4	M.オーズランド	【第 4 回】 予習 : Overview unit 2 pp.11-13 授業 : Unit 2 continued. pp.11-13. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review unit 2.	
5	M.オーズランド	【第 5 回】 予習 : Overview Unit 3. 授業 : Unit 3; Making Changes. Describing positive and negative features. pp.16-18. Pair-work, groupwork, discussion. 復習 : Review unit 3 pp.16-18	
6	M.オーズランド	【第 6 回】 予習 : Overview Unit 3 pp.19-21 授業 : Unit 3 continued. Pp.19-21. Pair-work, groupwork, writing exercise, short presentation. 復習 : Review Unit 3.	
7	M.オーズランド	【第 7 回】 予習 : Review units 1-3. Prepare a short, written report. 授業 : General Comprehension exercises. 復習 : Reflect on personal performance and skills that need more work.	
8	M.オーズランド	【第 8 回】 予習 : Overview Unit 4. 授業 : Unit 4; Have you ever tried it? Talking about food. pp.22-24. Pair-work, groupwork. 復習 : Review Unit 4 pp.22-24	
9	M.オーズランド	【第 9 回】 予習 : Overview Unit 4 pp.25-27. 授業 : Unit 4 continued. pp.25-27. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 4	
10	M.オーズランド	【第 10 回】 予習 : Overview Unit 5 授業 : Unit 5; Hit the road! Talking about travel, vacations, plans. pp.30-32 復習 : Review Unit 5 pp.30-32	

11	M.オーズランド	【第11回】 予習 : Overview Unit 5 pp.33-35. 授業 : Unit 5 continued; pp.33-35. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 5.						
12	M.オーズランド	【第12回】 予習 : Overview Unit 6. 授業 : Unit 6; Sure, I'll do it! Making/refusing requests, complaining, apologizing pp.36-38. Pair-work, groupwork. 復習 : Review Unit 6 pp.36-38						
13	M.オーズランド	【第13回】 予習 : Overview Unit 6 pp.39-41. 授業 : Unit 6 continued; pp.39-41. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 6.						
14	M.オーズランド	【第14回】 予習 : Overview Unit 8 授業 : Unit 8; Time to celebrate! Describing customs, festivals, special events. pp.50-55 復習 :						
15	M.オーズランド	【第15回】 予習 : Review units 4,5,6 and 8. Prepare a short, written report. 授業 : General comprehension exercises. 復習 : Reflect on personal performance and skills that need more work.						
授業開始前学習	Prepare yourself to actively participate in classes in English. Consider your strong points and those that need improvement. Focus on topics that interest you, review vocabulary and listen to as much English as possible before the course.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students take a quiz at the beginning of every class or submit assignments and comprehensive feedback on these will be provided. Any questions from individual students will be answered.							
テキスト・教材	Richards, R.C, Hull, J., Proctor, S., Interchange 2 Students Book (Cambridge: C.U.P., 2020) ISBN: 978-1-316-62032-6							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける	社会的責務を果たすこと のできる専門力と判断力を身 につける	文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケ ーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目	This course continues on from Required English AII-f. Please note the textbook is different from the first year.							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02216
科目名称	英語 AⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	T.グティエレス	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	T.グティエレス	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	Required English AIII is aimed at integrating the four skills (listening, speaking, reading and writing) through group works, discussions, presentations etc. to develop advanced functional ability in English. English AIII has a particular focus on further improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write English using more complex syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	T.グティエレス	【第 1 回】 予習 : Write simple self-introduction in English 授業 : Guidance Activities 復習 : Buy the textbook; Complete self-introduction	
2	T.グティエレス	【第 2 回】 予習 : Preview Unit 0 - What's your major? - Part 1. 授業 : Unit 0 - What's your major? - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習 : Review Unit 0 - What's your major? - Part 1.	
3	T.グティエレス	【第 3 回】 予習 : Preview Unit 0 - What's your major? - Part 2. 授業 : Unit 0 - What's your major? - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習 : Review Unit 0 - What's your major? - Part 2.	
4	T.グティエレス	【第 4 回】 予習 : Preview Unit 1 - I like action movies - Part 1. 授業 : Unit 1 - I like action movies - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習 : Review Unit 1 - I like action movies - Part 1.	
5	T.グティエレス	【第 5 回】 予習 : Preview Unit 1 - I like action movies - Part 2. 授業 : Unit 1 - I like action movies - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習 : Review Unit 1 - I like action movies - Part 2.	
6	T.グティエレス	【第 6 回】 予習 : Preview Unit 2 - How much is that? - Part 1. 授業 : Unit 2 - How much is that? - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習 : Review Unit 2 - How much is that? - Part 1.	
7	T.グティエレス	【第 7 回】 予習 : Preview Unit 2 - How much is that? - Part 2. 授業 : Unit 2 - How much is that? - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習 : Review Unit 2 - How much is that? - Part 2.	
8	T.グティエレス	【第 8 回】 予習 : Review Units 0, 1, & 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned) 授業 : Midterm Quiz; Mid-Semester self-reflection 復習 : Complete speaking task.	
9	T.グティエレス	【第 9 回】 予習 : Preview Unit 3 - Is that your cousin? - Part 1. 授業 : Midterm Quiz; Unit 3 - Is that your cousin? - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習 : Review Unit 3 - Is that your cousin? - Part 1.	

10	T.グティエレス	【第10回】 予習：Preview Unit 3 - Is that your cousin? - Part 2. 授業：Unit 3 - Is that your cousin? - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習：Review Unit 3 - Is that your cousin? - Part 2.						
11	T.グティエレス	【第11回】 予習：Preview Unit 4 - How was your weekend? - Part 1. 授業：Unit 4 - How was your weekend? - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習：Review Unit 4 - How was your weekend? - Part 1.						
12	T.グティエレス	【第12回】 予習：Preview Unit 4 - How was your weekend? - Part 2. 授業：Unit 4 - How was your weekend? - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習：Review Unit 4 - How was your weekend? - Part 2.						
13	T.グティエレス	【第13回】 予習：Preview Units 1, 2, 3, & 4 Getting the Basic Idea & Getting Details 授業：Final Semester Review - Units 1, 2, 3, & 4. 復習：Review Units 1, 2, 3, & 4 Listening and Vocabulary						
14	T.グティエレス	【第14回】 予習：Review Units 1, 2, 3, & 4 Listening and Vocabulary 授業：Final Quiz 復習：Review Units 1, 2, 3, & 4 Listening and Vocabulary						
15	T.グティエレス	【第15回】 予習：Review Units 1, 2, 3, & 4 About Me 授業：Reflection on the semester 復習：Complete self-reflection on the semester						
授業開始前学習	Review your English I-II English textbooks. Review how to express information about yourself and your interests.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students will complete a selection of their answers into Google Classroom. The teacher will give feedback on these answers. Also, the teacher will give verbal feedback to the answers in their class.							
テキスト・教材	タイトル: Communication Spotlight, High Beginner, 3rd Edition 叢書名: 978-1-78547-078-3 著編者: Alastair Graham-Marr 出版社: ABAX ELT Publishing 出版年: 2019 (西暦 4 桁) 版数 第 3 版							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02218
科目名称	英語 AⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	S.スティーブンス	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	S.スティーブンス	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	<p>Required English AⅢ integrates the four skills (listening, speaking, reading and writing). It will build on the skills learnt in the first year classes.</p> <p>We focus on pair/group work, discussions, surveys and presentations to develop students functional ability in using everyday, practical English.</p>		
到達目標	<p>1. Students' communicative ability will be developed through guided pair and group discussion activities (using the target language in a meaningful way, linking classroom language learning to real-world activities).</p> <p>2. They will learn an extensive range of communicative activity types including interviews, surveys, class presentations and mini projects.</p> <p>3. Students will also develop listening skills through listening to a variety of scripted and authentic audio/video material.</p> <p>4. Vocabulary learning methods and record keeping skills will also be developed.</p>		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	S.スティーブンス	<p>【第 1 回】 予習 : Don't forget your textbook ! Buy a notebook for classwork and vocabulary work. 授業 : Class orientation; Personal information - getting to know each other. Classroom language. 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
2	S.スティーブンス	<p>【第 2 回】 予習 : Do assigned tasks Warm up unit questions p11/Reading p14. 授業 : Unit 1 Friendship pp. 11-15 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/homework.</p>	
3	S.スティーブンス	<p>【第 3 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 1 Friendship pp. 16-18 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
4	S.スティーブンス	<p>【第 4 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 2 Fear pp. 19-23 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
5	S.スティーブンス	<p>【第 5 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 2 Fear pp. 24-26 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
6	S.スティーブンス	<p>【第 6 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 3 Health pp. 31-34 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
7	S.スティーブンス	<p>【第 7 回】 予習 : Preparation for Mid-term Poster Presentations. 授業 : Unit 3 Health pp. 35-38 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
8	S.スティーブンス	<p>【第 8 回】 予習 : Prepare for Mid-term Poster presentations. 授業 : Mid-term Poster presentations. 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
9	S.スティーブンス	<p>【第 9 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Students receive feedback on Poster presentations. Unit 4 Change pp. 39-43 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	

10	S.スティーブンス	【第10回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 4 Change pp.43-46 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.						
11	S.スティーブンス	【第11回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 5 Success pp.51-54 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.						
12	S.スティーブンス	【第12回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 5 Success pp. 55-58 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review preparation/ Homework.						
13	S.スティーブンス	【第13回】 予習 : Preparation for Final Vocabulary Review. 授業 : Final vocabulary review. 復習 : Poster presentations preparation.						
14	S.スティーブンス	【第14回】 予習 : Preparation for Final Speaking Poster Presentations. 授業 : Final Speaking Task : Poster presentations based on units 1-5. 復習 : Vocabulary review and self reflections on their presentations.						
15	S.スティーブンス	【第15回】 予習 : Preparation for Final Speaking Poster Presentations. 授業 : Final Speaking Task : Poster presentations based on units 1-5. 復習 : Feedback on class presentations.						
授業開始前学習	Before class students can try to review vocabulary, use graded readers, and do listening activities using various listening websites. Also try to take every opportunity to encounter and enjoy English through movies, music, TV, and the Internet.							
授業内課題のフィードバックの方法	There will be teacher oral/written feedback on assignments and homework. Additionally, there will be development of students' peer to peer feedback, particularly with presentations.							
テキスト・教材	INSPIRE 3 by Nancy Douglas and Andrew Boon ISBN: 978-1-133-96342-4							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (review quizzes, submitted assignments, effort & attitude) and regular examinations 60% (midterm & final tasks).							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	Attendance is very important because it is part of your participation grade. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class. It is a communication class, so it is important to interact with the teacher, each other and express your opinions. This will build your confidence.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02219
科目名称	英語 AⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中川 優一	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中川 優一	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 AⅢ では、英語の発展的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	中川 優一	【第 1 回】 予習：今まで学習した英語（特に単語と英文法）を見直しておく。 授業：オリエンテーション（今後の授業方針について、成績評価基準の説明等）。 復習：今後の学習の確認	
2	中川 優一	【第 2 回】 予習：Unit 1 (I Commute by Train, p.10-11) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 1 (I Commute by Train, p.10-11)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 2 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
3	中川 優一	【第 3 回】 予習：Unit 1 (I Commute by Train, p.12-13) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 1 (I Commute by Train, p.12-13)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 3 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
4	中川 優一	【第 4 回】 予習：Unit 2 (What Are You Going to Do This Weekend?, p.14-15) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 2 (What Are You Going to Do This Weekend?, p.14-15)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 4 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
5	中川 優一	【第 5 回】 予習：Unit 2 (What Are You Going to Do This Weekend?, p.16-17) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 2 (What Are You Going to Do This Weekend?, p.16-17)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 5 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
6	中川 優一	【第 6 回】 予習：Unit 3 (Have You Ever Volunteered?, p.18-19) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 3 (Have You Ever Volunteered?, p.18-19)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 6 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
7	中川 優一	【第 7 回】 予習：Unit 3 (Have You Ever Volunteered?, p.20-21) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 3 (Have You Ever Volunteered?, p.20-21)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 7 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
8	中川 優一	【第 8 回】 予習：第 1 回から第 7 回までの復習。 授業：前期前半のまとめを行う。 復習：まとめでわからなかったところの確認。	
9	中川 優一	【第 9 回】 予習：Unit 4 (Is There a Bank Near Here?, p.22-23) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 4 (Is There a Bank Near Here?, p.22-23)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 9 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
10	中川 優一	【第 10 回】 予習：Unit 4 (Is There a Bank Near Here?, p.24-25) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 4 (Is There a Bank Near Here?, p.24-25)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 10 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	

11	中川 優一	【第 11 回】 予習：Unit 5 (Could I Join Your Class?, p.26-27) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 5 (Could I Join Your Class?, p.26-27) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 11 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
12	中川 優一	【第 12 回】 予習：Unit 5 (Could I Join Your Class?, p.28-29) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 5 (Could I Join Your Class?, p.28-29) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 12 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
13	中川 優一	【第 13 回】 予習：Unit 6 (You Should Apply for the Program, p.30-31) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 6 (You Should Apply for the Program, p.30-31) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 13 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
14	中川 優一	【第 14 回】 予習：第 9 回から第 13 回までの復習。 授業：前期後半のまとめを行う。 復習：まとめでわからなかったところの確認。						
15	中川 優一	【第 15 回】 予習：Unit 6 (You Should Apply for the Program, p.32-33) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 6 (You Should Apply for the Program, p.32-33) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 15 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で小テストを行う。また、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	Say It Now! Grammar for Communication, Tomoko Takada and Diane H. Nagatomo, 2017, 金星堂							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等） および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02220
科目名称	英語 AⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	鈴木 悠理	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 悠理	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 AⅢ では、英語の発展的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したペア・グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	鈴木 悠理	【第 1 回】 予習：シラバスを確認する。今までの英語学習を振り返り、復習する。 授業：ガイダンス（授業概要、到達目標、授業の進め方について） 復習：ガイダンスをもとに、前期の目標を立てる。テキストを用意する。Google Classroom に登録する。	
2	鈴木 悠理	【第 2 回】 予習：Unit 1 の音声を聞き、音読する。Unit 1（前半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 1（前半）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	
3	鈴木 悠理	【第 3 回】 予習：Unit 1 の音声を聞き、音読する。Unit 1（後半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 1（後半）グループワーク、Unit 1（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。	
4	鈴木 悠理	【第 4 回】 予習：Unit 2 の音声を聞き、音読する。Unit 2（前半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 2（前半）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	
5	鈴木 悠理	【第 5 回】 予習：Unit 2 の音声を聞き、音読する。Unit 2（後半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 2（後半）グループワーク、Unit 2（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。	
6	鈴木 悠理	【第 6 回】 予習：Unit 3 の音声を聞き、音読する。Unit 3（前半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 3（前半）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	
7	鈴木 悠理	【第 7 回】 予習：Unit 3 の音声を聞き、音読する。Unit 3（後半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 3（後半）グループワーク、Unit 3（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。	
8	鈴木 悠理	【第 8 回】 予習：Unit 1～3 を振り返り、分からない単語の調べ直しや間違えた問題の解き直しをする。 授業：Unit 1～3 振り返り 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。間違えた問題を解き直す。	
9	鈴木 悠理	【第 9 回】 予習：Unit 4 の音声を聞き、音読する。Unit 4（前半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 4（前半）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	
10	鈴木 悠理	【第 10 回】 予習：Unit 4 の音声を聞き、音読する。Unit4（後半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 4（後半）グループワーク、Unit 4（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。	
11	鈴木 悠理	【第 11 回】 予習：Unit 5 の音声を聞き、音読する。Unit 5（前半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 5（前半）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	

12	鈴木 悠理	【第 12 回】 予習：Unit 5 の音声を聞き、音読する。Unit 5（後半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 5（後半）グループワーク、Unit 5（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。						
13	鈴木 悠理	【第 13 回】 予習：Unit 6 の音声を聞き、音読する。Unit 6（前半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 6（前半）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。						
14	鈴木 悠理	【第 14 回】 予習：Unit 6 の音声を聞き、音読する。Unit 6（後半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 6（後半）グループワーク、Unit 6（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。						
15	鈴木 悠理	【第 15 回】 予習：Unit 4～6 を振り返り、分からない単語の調べ直しや間違えた問題の解き直しをする。 授業：Unit 4～6 振り返り 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。間違えた問題を解き直す。						
授業開始前学習	時事ニュースや文化（映画・音楽・ファッションなど）を通して英語に触れる機会を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	約 2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 8 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Peter Vincent, Naoko Nakazato, Alan Meadows『Speaking of People 人とつながる英語コミュニケーション』2020 年（南雲堂）							
参考書	英和辞典・和英辞典があるとよい（電子辞典可）。その他は授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（授業参加態度、小テスト、課題提出など）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業の 3 分の 1 以上を欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。その他、公欠についてなどは第 1 回の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02221
科目名称	英語 AⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	岸山 健	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	岸山 健	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 AⅢ では、英語の発展的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、英文を書いたり話したりできる。与えられたトピックに対して 100--150 単語のエッセイを書ける。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	岸山 健	【第 1 回】 予習 : いままでの英語学習の振り返り 授業 : オリエンテーション (1. 到達目標 2. 授業の進め方 3. 評価方法の共有、アンケートの実施など) 復習 : 到達目標と各回のテーマの確認	
2	岸山 健	【第 2 回】 予習 : Unit 1 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業 : Targets の確認 (教科書 pp.9?11) 、ペアワーク(Conversation) 復習 : 新出単語、フレーズの確認	
3	岸山 健	【第 3 回】 予習 : Unit 1 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業 : Grammar Exercise の解説 (教科書 pp.12?14) とグループワーク(テーマに関する意見交換) 復習 : 新出単語、フレーズの確認	
4	岸山 健	【第 4 回】 予習 : Unit 2 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業 : Targets の確認 (教科書 pp.15?17) 、ペアワーク(Conversation) 復習 : 新出単語、フレーズの確認	
5	岸山 健	【第 5 回】 予習 : Unit 2 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業 : Grammar Exercise の解説 (教科書 pp.18?20) とグループワーク(テーマに関する意見交換) 復習 : 新出単語、フレーズの確認	
6	岸山 健	【第 6 回】 予習 : Unit 3 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業 : Targets の確認 (教科書 pp.21?23) 、ペアワーク(Conversation) 復習 : 新出単語、フレーズの確認	
7	岸山 健	【第 7 回】 予習 : Unit 3 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業 : Grammar Exercise の解説 (教科書 pp.24?26) とグループワーク、これまで学んできた項目についてのまとめ提出 復習 : 新出単語、フレーズの確認	
8	岸山 健	【第 8 回】 予習 : 前期前半の授業内容の復習 授業 : 前期前半のまとめ、フィードバック、アンケートの実施 復習 : フィードバックの確認	
9	岸山 健	【第 9 回】 予習 : Unit 4 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業 : Targets の確認 (教科書 pp.27?29) 、ペアワーク(Conversation)、これまで学んできた項目についてのまとめの講評 復習 : 新出単語、フレーズの確認	
10	岸山 健	【第 10 回】 予習 : Unit 4 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業 : Grammar Exercise の解説 (教科書 pp.30?32) とグループワーク(テーマに関する意見交換) 復習 : 新出単語、フレーズの確認	
11	岸山 健	【第 11 回】 予習 : Unit 5 の Targets (Listening と Target) の確認、Grammar Exercise 授業 : Targets の確認 (教科書 pp.33?38) 、Grammar Exercise の解説とペアワーク(Conversation)	

		復習 : 新出単語、フレーズの確認						
12	岸山 健	【第 12 回】 予習 : Unit 6 の Targets (Listening と Target) の確認、Grammar Exercise 授業 : Targets の確認 (教科書 pp.39?41) 、Grammar Exercise の解説とペアワーク(Conversation) 復習 : 新出単語、フレーズの確認						
13	岸山 健	【第 13 回】 予習 : Unit 6 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業 : Grammar Exercise の解説 (教科書 pp.42?44) とグループワーク(テーマに関する意見交換) 復習 : 新出単語、フレーズの確認						
14	岸山 健	【第 14 回】 予習 : Unit 7 の Targets (Listening と Target) の確認、Grammar Exercise 授業 : Targets の確認 (教科書 pp.45?50) 、Grammar Exercise の解説とペアワーク(Conversation) 復習 : 新出単語、フレーズの確認						
15	岸山 健	【第 15 回】 予習 : 前期後半の授業内容の復習 授業 : 前期後半のまとめ、フィードバック、これまで学んできた項目についてのまとめの講評、アンケートの実施 復習 : フィードバックの確認						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。また、指定した範囲にあるわからない単語があれば調べること。							
授業内課題のフィードバックの方法	小テストに関しては毎時間コメントする。							
テキスト・教材	【 タイトル 】 Trend Scope / 読んで発信、社会のいま 【 ISBN 】 9784791972654							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、授業態度等) および定期試験(レポート)60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02222
科目名称	英語 AⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 AⅢ では、英語の発展的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	薬師 英子	【第 1 回】 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：オリエンテーション（授業のねらい、授業の進め方等について） グループワーク 復習：家庭学習を考える	
2	薬師 英子	【第 2 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 1 Where are you heading? (pp.8~15) 〈be 動詞〉話しかける／自己紹介をする グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る	
3	薬師 英子	【第 3 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 2 May I see your passport? (pp.16~23) 〈一般動詞（現在形）〉人を誘う／別れ際の挨拶 復習：授業中の活動を振り返る	
4	薬師 英子	【第 4 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 2 May I see your passport? (pp.16~23) Unit 1 & 2 Review & Group Activities 復習：授業中の活動を振り返る	
5	薬師 英子	【第 5 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 3 Where to? (pp.24~31) 〈一般動詞（過去形）〉グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る	
6	薬師 英子	【第 6 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 3 Where to? (pp.24~31) Review & Group Activities 復習：授業中の活動を振り返る	
7	薬師 英子	【第 7 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Review of Unit 1 ~ 3 & Grammar(未来形)予定を述べる／説明する グループワーク、これまで学んできた Unit1~3(pp.8~31)についてのまとめ提出 復習：授業中の活動を振り返る	
8	薬師 英子	【第 8 回】 予習：ここまでの授業を総復習する 授業：前期前半のまとめをする 復習：まとめを振り返る	
9	薬師 英子	【第 9 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 4 I asked for a double. (pp.32~39)〈進行形〉詳細を尋ねる／理由を述べる グループワーク、これまで学んできた Unit1~4(pp.8~39)についてのまとめの講評 復習：授業中の活動を振り返る	
10	薬師 英子	【第 10 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 4 I asked for a double. (pp.32~39) Review & Activity 復習：授業中の活動を振り返る	

11	薬師 英子	【第 11 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 5 What would you suggest? (pp.40~47)〈受動態〉意向を尋ねる／好みを述べる グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る						
12	薬師 英子	【第 12 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 5 What would you suggest? (pp.40~47) Review & Activities 復習 : 授業中の活動を振り返る						
13	薬師 英子	【第 13 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Handout materials ①、これまで学んできた Unit1~7(pp.8~49)についてのまとめ提出 復習 : 授業中の活動を振り返る						
14	薬師 英子	【第 14 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Handout materials ②、Unit review 1 : Unit 1-5(p.48) Review & Activities 復習 : 授業中の活動を振り返る						
15	薬師 英子	【第 15 回】 予習 : 今まで授業で学んだことを振り返る 授業 : Review of Unit 1 Where are you heading? ~ Unit 5 What would you suggest? (pp.8~48)、これまで学んできた Unit1~5 & Handout materials のまとめの講評 復習 : 自分の課題を見つけ対策を立てる						
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Michael P. Critchley, 『Encounters Abroad』 (南雲堂)							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲)							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02261
科目名称	英語 AIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	R.ヨシダ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	R.ヨシダ	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	Required English AIV continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading and writing), based on what students learned in AIII. Emphasis is placed on group works, discussions, presentations etc. to develop advanced functional ability in English. English AIV has a particular focus on further improving the productive skills of speaking and writing.		
到達目標	<p>English AIV aims to improve students' confidence and proficiency in their spoken and written English. Students speak and write various kinds of English using more complex syntax, receiving guidance where necessary.</p> <p>Each student will have many opportunities to:</p> <ul style="list-style-type: none"> - give a reasonably fluent description or presentation on a variety of subjects - understand the main points of clear standard speech on familiar matters - communicate with some confidence on familiar matters, and express thoughts on more abstract topics - utilize sufficient vocabulary to express ideas on a range of topics 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	R.ヨシダ	【第 1 回】 予習 : Don't forget your textbook! 授業 : Unit 7 (pp.60-62): Life Events - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review	
2	R.ヨシダ	【第 2 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 7 (pp.63-67): Life Events - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review	
3	R.ヨシダ	【第 3 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 8 (pp.68-70): Social Events - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review	
4	R.ヨシダ	【第 4 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 8 (pp.71-75): Social Events - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review	
5	R.ヨシダ	【第 5 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 9 (pp.76-78): Problems and Advice - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review	
6	R.ヨシダ	【第 6 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 9 (pp.79-83): Problems and Advice - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review	
7	R.ヨシダ	【第 7 回】 予習 : preparation for Midterm Task 1 授業 : Midterm Task 1: Students submit a review of content learned in Units 7-9; Preparation for Midterm Task 2 復習 : Grammar & Vocabulary review	
8	R.ヨシダ	【第 8 回】 予習 : preparation for Midterm Task 2 授業 : Midterm Task 2 (speaking): Students give individual presentations 復習 : Grammar & Vocabulary review	
9	R.ヨシダ	【第 9 回】 予習 : Vocabulary 授業 : Students receive feedback on Midterm Task 1 (writing) and Task 2 (speaking);	

		Unit 10 (pp.84-86): Telling Stories - vocabulary; listening; conversations 復習 : Vocabulary review						
10	R.ヨシダ	【第 10 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 10 (pp.87-91): Telling Stories - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review						
11	R.ヨシダ	【第 11 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 11 (pp.92-94): World Issues - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review						
12	R.ヨシダ	【第 12 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 11 (pp.95-100): World Issues - grammar; group work; discussions 復習 : Grammar review						
13	R.ヨシダ	【第 13 回】 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 12 (pp.100-107): Dreams and Goals - vocabulary; listening; grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar & Vocabulary review						
14	R.ヨシダ	【第 14 回】 予習 : preparation for Final Task 1 授業 : Final Task 1: Students submit a review of content learned in Units 10-12 復習 : Grammar & Vocabulary review						
15	R.ヨシダ	【第 15 回】 予習 : preparation for Final Task 2 授業 : Final Task 2 (speaking): Students give individual presentations 復習 : Self reflection						
授業開始前学習	Take every opportunity to encounter and enjoy English through movies, music, TV, the Internet, etc.							
授業内課題のフィードバックの方法	- Each "Review Quiz"(weekly quiz given at the beginning of each class) will be marked and returned in the following week. - A written feedback will be provided for each Midterm and Final task.							
テキスト・教材	English Firsthand 2 (Pearson) ISBN: 978-981-313-023-4							
参考書	Information will be given in class							
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (review quizzes, submitted assignments, effort & attitude) and midterm and final tasks 60% (midterm 30%& final 30%).							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席重視。最低限必要な出席率: 2/3 It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02262
科目名称	英語 AIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	リチャード バラダット	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	R.バラダット	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	インタラクティブな練習を通じて英語の聞き取りと会話を体感します。英語 A IVでは、英語 A IIIで身につけた発展的な英語運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	この授業では、さまざまな楽しく興味深いリスニングや発音、スピーキングアクティビティー（個人、ペア、グループアクティビティーなど）を通して、英語を話す力、および理解力を向上させることに焦点を当てます。複雑な構文を使って、主体的に英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	R.バラダット	【第 1 回】 予習 : Purchase textbook 授業 : Introductions and course overview 復習 : Review classmate introductions / Preview new vocabulary	
2	R.バラダット	【第 2 回】 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 7: Past experiences (pp. 60-64) 復習 : Review notes / Do homework	
3	R.バラダット	【第 3 回】 予習 : Review vocabulary 授業 : Unit 7: A meaningful experience (pp. 65-67), group work 復習 : GC short writing 1 / do GC video presentation Unit 7	
4	R.バラダット	【第 4 回】 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 8: Making plans (pp. 68-72), pair work, Unit 7 quiz 復習 : Review notes/ Do homework	
5	R.バラダット	【第 5 回】 予習 : Review vocabulary 授業 : Unit 8: Obligations (pp. 73-75), group work 復習 : GC Short writing 2 / do GC video presentation Unit 8	
6	R.バラダット	【第 6 回】 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 9: Talking about possibilities (pp. 76-79), pair work, Unit 8 quiz 復習 : Review notes/ Do homework	
7	R.バラダット	【第 7 回】 予習 : Review vocabulary / Review 授業 : Unit 9: Giving advice (pp. 80-83), group work 復習 : Do homework/review 64-83 for mid-term quiz	
8	R.バラダット	【第 8 回】 予習 : Prepare for quiz 授業 : Quiz for units 7-9 / Speaking exercise in pairs 復習 : Preview Unit 10/ Do homework	
9	R.バラダット	【第 9 回】 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 10: Telling stories (pp. 84-88), pair work 復習 : Review notes/ Do homework	
10	R.バラダット	【第 10 回】 予習 : Review vocabulary 授業 : Unit 10: Talking about the past (pp. 89-91), group work 復習 : GC short writing 3	
11	R.バラダット	【第 11 回】 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 11: Agreeing and disagreeing (pp. 92-96), Unit 10 quiz 復習 : Review notes/ Do homework	

12	R.バラダッド	【第12回】 予習 : Review vocabulary 授業 : Unit 11: Discussing a controversial issue (pp. 97-99), group work 復習 : GC short writing 4						
13	R.バラダッド	【第13回】 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 12: Talking about dreams & goals (pp. 100-104), pair work, Unit 11 Quiz 復習 : Review notes / Do homework / Do GC video presentation Unit 12						
14	R.バラダッド	【第14回】 予習 : Review vocabulary 授業 : Unit 12 Predictions (pp.105-107), group work 復習 : Do homework / review pp. 84-107 for quiz						
15	R.バラダッド	【第15回】 予習 : Prepare for quiz 授業 : Quiz for units 10-12 / Speaking exercise in pairs 復習 : Do Portal evaluations in class (after quiz)						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業7回目、13回目に提出するまとめについては、2週間後（授業9回目、15回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	English Firsthand 2, 5th Edition, Pearson							
参考書								
評価の基準と方法	平常点40%（小テスト、課題提出、プレゼンテーション、授業態度など）及び定期試験60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始30分以上の遅刻は欠席をみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間30時間（2時間×15週）＋予習・復習時間15時間（1時間×15週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02263
科目名称	英語 AIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	W.ミラー	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	W.ミラー	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	Required English AIV continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading, and writing), based on what students learned in AIII. We focus on group work, discussions, presentations, etc., to develop advanced functional ability in English. English AIV has a particular focus on further improving the productive skills of writing and speaking. In principle, classes will be conducted entirely in English.		
到達目標	Students speak and write various kinds of English using more complex syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	W.ミラー	【第 1 回】 予習 : Read Unit 0 'Welcome to English Firsthand 1', p.8-11 授業 : Course goals and structure will be explained. Q & A activities to get to know others. (pair work) 復習 : Review notes	
2	W.ミラー	【第 2 回】 予習 : Read Unit 7 'Do you remember when...?', p.60-64 授業 : Build vocabulary about life events to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes	
3	W.ミラー	【第 3 回】 予習 : Finish Reading Unit 7 'Do you remember when...?', p.65-67 授業 : Grammar: Use irregular past tense verbs / Group work / Real Stories: 'My Gratitude Letter' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 7 Assignment in Google Classroom	
4	W.ミラー	【第 4 回】 予習 : Read Unit 8 'Let's have a get-together!', p.68-72 授業 : Build vocabulary about social events to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes	
5	W.ミラー	【第 5 回】 予習 : Finish Reading Unit 8 'Let's have a get-together!', p.73-75 授業 : Grammar: Use modal auxiliary verbs / Group work / Real Stories: 'How I Spend My Day' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 8 Assignment in Google Classroom	
6	W.ミラー	【第 6 回】 予習 : Read Unit 9 'What should I do?', p.76-80 授業 : Build vocabulary about problems and advice to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes	
7	W.ミラー	【第 7 回】 予習 : Finish Reading Unit 9 'What should I do?', p.81-83 授業 : Grammar: Use unreal conditionals / Group work / Real Stories: 'The Science of Happiness' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 9 Assignment in Google Classroom	
8	W.ミラー	【第 8 回】 予習 : Review all homework assignments and textbook p. 60-83 授業 : Midterm Quiz of Unit 7 ~ Unit 9 復習 : Review notes	
9	W.ミラー	【第 9 回】 予習 : Read Unit 10 'Tell me a story.', p.84-88 授業 : Build vocabulary about telling stories to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes	
10	W.ミラー	【第 10 回】 予習 : Finish Reading Unit 10 'Tell me a story.', p.89-91 授業 : Grammar: Use simple past, past continuous / Group work / Real Stories: 'What Does My Dream Mean'	

		復習 : Review notes / Do homework: Unit 10 Assignment in Google Classroom						
11	W.ミラー	【第 11 回】 予習 : Read Unit 11 'In my opinion...', p.92-96 授業 : Build vocabulary about world issues to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes						
12	W.ミラー	【第 12 回】 予習 : Finish Reading Unit 11 'In my opinion...', p.97-99 授業 : Grammar: Use present perfect / Group work / Real Stories: 'Grave Apartments' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 11 Assignment in Google Classroom						
13	W.ミラー	【第 13 回】 予習 : Read Unit 12 'It's my dream!', p.100-104 授業 : Build vocabulary about dreams and goals to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes						
14	W.ミラー	【第 14 回】 予習 : Finish Reading Unit 12 'It's my dream!', p.105-107 授業 : Grammar: Talk about future using will, be going to / Group work / Real Stories: 'My Five-Year Plan' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 12 Assignment in Google Classroom						
15	W.ミラー	【第 15 回】 予習 : Review all homework assignments and textbook p. 81-107 授業 : Final Quiz of Unit 10 ~ Unit 12 復習 : Complete course Questionnaire on the Komajo Portal.						
授業開始前学習	Practice listening to spoken English through videos or audio recordings and read English books, magazines, or comics. Look up unknown words in a dictionary.							
授業内課題のフィードバックの方法	Both written and oral feedback will be provided to all students for tasks and assignments. Students are encouraged to ask questions, which the teacher will answer.							
テキスト・教材	English Firsthand 2 by Helgesen et al (Pearson Longman)							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points of 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02264
科目名称	英語 AIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	K.バーンズ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	K.バーンズ	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	The emphasis of this class will be on speaking. However, listening, reading and writing will also be developed. This class though, focuses on improving the productive skills of speaking. In principle, lessons are conducted in English. If we are online we will still do speaking using software.		
到達目標	Goal: Students will be able to communicate more freely in English at the end of this class.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	K.バーンズ	【第 1 回】 予習 : Come prepared to talk about your summer vacation 授業 : Introduction/ Course goals/Talking about summer vacation - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework	
2	K.バーンズ	【第 2 回】 予習 : Read pp. 60-64 授業 : Life Events - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework	
3	K.バーンズ	【第 3 回】 予習 : Read pp. 65-67 授業 : Past Events - Pairwork and Discussion 復習 : Review notes/ Do homework	
4	K.バーンズ	【第 4 回】 予習 : Read pp. 68-71 授業 : Social Events - Pairwork and Group work 復習 : Review notes/ Do homework	
5	K.バーンズ	【第 5 回】 予習 : Read pp. 72-75 授業 : Obligations - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework	
6	K.バーンズ	【第 6 回】 予習 : Read pp. 76-79 授業 : Problems and Advice - Pairwork and Discussion 復習 : Review notes/ Do homework	
7	K.バーンズ	【第 7 回】 予習 : Read pp. 80-83 授業 : Possibilities - Pairwork and Discussion 復習 : Review notes/ Do homework	
8	K.バーンズ	【第 8 回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review - Project Based Learning 復習 : Reread textbook pp.60-83	
9	K.バーンズ	【第 9 回】 予習 : Read pp. 84-86 授業 : Telling Stories - Project Based Learning 復習 : Review notes/ Do homework	
10	K.バーンズ	【第 10 回】 予習 : Read pp. 87-91 授業 : Talking about the past - Presentations 復習 : Review notes/ Do homework	
11	K.バーンズ	【第 11 回】 予習 : Read pp. 92-94 授業 : World Issues - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework	

12	K.バーズ	【第12回】 予習 : Read pp. 95-99 授業 : Talking about the present - Pairwork and Group Work 復習 : Review notes/ Do homework						
13	K.バーズ	【第13回】 予習 : Read pp. 100-103 授業 : Dreams and Goals - Pairwork and Discussion 復習 : Review notes/ Do homework						
14	K.バーズ	【第14回】 予習 : Read pp. 104-107 授業 : Predictions - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework						
15	K.バーズ	【第15回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review 復習 : Reread textbook pp.60-107						
授業開始前学習	Before the class starts students can prepare by listening to English recordings and reading English books, magazines or comics. Look up words in the dictionary.							
授業内課題のフィードバックの方法	Comprehensive feedback will be provided on coursework. Once class starts, evaluated homework assignments will be provided after each class to help students review and better understand the material.							
テキスト・教材	English Firsthand 2 by Helgesen et al (Pearson Longman)							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points of 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目	English Conversation							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival after 30 minutes or more after the start of class will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02265
科目名称	英語 AIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	M.オーズランド	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	M.オーズランド	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	Required English AIV continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading and writing), based on what students learned in AIII. We focus on group works, discussions, presentations etc. to develop advanced functional ability in English. English AIV has a particular focus on further improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write various kinds of English using more complex syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	M.オーズランド	【第 1 回】 予習 : Overview unit 9. Prepare a short speech about your summer vacation (2 minutes). 授業 : Unit 9; Only time will tell. Talking about change. pp.58-60. Pair-work, groupwork, discussions. 復習 : Review unit 9 pp.58-60.	
2	M.オーズランド	【第 2 回】 予習 : Overview unit 9 pp.61-63. 授業 : Unit 9 continued. pp.61-63. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review unit 9.	
3	M.オーズランド	【第 3 回】 予習 : Overview Unit 11 授業 : Unit 11; It's really worth seeing. Landmarks and world knowledge pp.72-74. Pair-work, groupwork, discussions. 復習 : Review Unit 11 pp.72-74.	
4	M.オーズランド	【第 4 回】 予習 : Overview Unit 11 pp.75-77 授業 : Unit 11 continued. pp.75-77. Pair-work, groupwork, discussions. 復習 : Review Unit 11	
5	M.オーズランド	【第 5 回】 予習 : Overview Unit 12. 授業 : Unit 12; It's a long story. Storytelling, unexpected past events. pp.78-80. Pair-work, groupwork, discussion. 復習 : Review unit 12 pp.78-80	
6	M.オーズランド	【第 6 回】 予習 : Overview Unit 12 pp.81-83 授業 : Unit 12 continued. Pp.81-83. Pair-work, groupwork, writing exercise, short presentation. 復習 : Review Unit 12.	
7	M.オーズランド	【第 7 回】 予習 : Review units 9,11-12. Prepare a short, written report. 授業 : General Comprehension exercises. 復習 : Reflect on personal performance and skills that need more work.	
8	M.オーズランド	【第 8 回】 予習 : Overview Unit 13. 授業 : Unit 13; That's entertainment! Describing movies and books. pp.86-88. Pair-work, groupwork. 復習 : Review Unit 13 pp.86-88	
9	M.オーズランド	【第 9 回】 予習 : Overview Unit 13 pp.89-91. 授業 : Unit 13 continued. pp.89-91. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 13	
10	M.オーズランド	【第 10 回】 予習 : Overview Unit 14. 授業 : Unit 14; Now I get it! Interpreting body language. Describing behavior. pp.92-94. Pair-work, groupwork.	

		復習 : Review Unit 14 pp.92-94						
11	M.オーズランド	【第 11 回】 予習 : Overview Unit 14 pp.95-97. 授業 : Unit 14 continued; pp95-97. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 14.						
12	M.オーズランド	【第 12 回】 予習 : Overview Unit 15. 授業 : Unit 15; I wouldn't have done that. Speculating about past and future. pp.100-102. Pair-work, groupwork. 復習 : Review pp.100-102						
13	M.オーズランド	【第 13 回】 予習 : Overview Unit 15 pp.103-105. 授業 : Unit 15 continued; pp103-105. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 15.						
14	M.オーズランド	【第 14 回】 予習 : Overview Unit 16. 授業 : Unit 16; Making Excuses. Reported speech, requests and statements. pp.106-111. Pair-work, groupwork. 復習 : Review unit 16.						
15	M.オーズランド	【第 15 回】 予習 : Review units 13-16. Prepare a short, written report. 授業 : General comprehension exercises. 復習 : Reflect on personal performance and skills that need more work.						
授業開始前学習	Prepare yourself to actively participate in classes in English. Consider your strong points and those that need improvement. Focus on topics that interest you, review vocabulary and listen to as much English as possible before the course.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students take a quiz at the beginning of every class or submit assignments and comprehensive feedback on these will be provided. Any questions from individual students will be answered.							
テキスト・教材	Richards, R.C, Hull, J., Proctor, S., Interchange 2 Students Book (Cambridge: C.U.P., 2020) ISBN: 978-1-316-62032-6							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目	This course follows on from the first semester course Required English AIII-f and uses the same textbook.							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02266
科目名称	英語 AIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	T.グティエレス	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	T.グティエレス	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	Required English AIV continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading and writing), based on what students learned in AIII. We focus on group works, discussions, presentations etc. to develop advanced functional ability in English. English AIV has a particular focus on further improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write various kinds of English using more complex syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	T.グティエレス	【第 1 回】 予習 : Review Units 0, 1, 2, 3, & 4 from English III. 授業 : Guidance Activities 復習 : Buy the textbook; Complete self-introduction	
2	T.グティエレス	【第 2 回】 予習 : Preview Unit 5 - What do you do? - Part 1. 授業 : Unit 5 - What do you do? - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習 : Review Unit 5 - What do you do? - Part 1.	
3	T.グティエレス	【第 3 回】 予習 : Preview Unit 5 - What do you do? - Part 2. 授業 : Unit 5 - What do you do? - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習 : Unit 5 - What do you do? - Part 2.	
4	T.グティエレス	【第 4 回】 予習 : Preview Unit 6 - I get to work at eight - Part 1. 授業 : Unit 6 - I get to work at eight - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習 : Review Unit 6 - I get to work at eight - Part 1.	
5	T.グティエレス	【第 5 回】 予習 : Preview Unit 6 - I get to work at eight - Part 2. 授業 : Unit 6 - I get to work at eight - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習 : Unit 6 - I get to work at eight - Part 2.	
6	T.グティエレス	【第 6 回】 予習 : Preview Unit 7 - It's in front of the lamp - Part 1. 授業 : Unit 7 - It's in front of the lamp - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習 : Review Unit 7 - It's in front of the lamp - Part 1.	
7	T.グティエレス	【第 7 回】 予習 : Preview Unit 7 - It's in front of the lamp - Part 2. 授業 : Unit 7 - It's in front of the lamp - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習 : Unit 7 - It's in front of the lamp - Part 2.	
8	T.グティエレス	【第 8 回】 予習 : Review Units 5, 6, & 7 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned) 授業 : Midterm Quiz; Mid-Semester self-reflection 復習 : Complete speaking task.	
9	T.グティエレス	【第 9 回】 予習 : Preview Unit 8 - I liked science at school - Part 1. 授業 : Unit 8 - I liked science at school - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習 : Review Unit 8 - I liked science at school - Part 1.	

10	T.グティエレス	【第10回】 予習：Preview Unit 8 - I liked science at school - Part 2. 授業：Unit 8 - I liked science at school - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習：Unit 8 - I liked science at school - Part 2.							
11	T.グティエレス	【第11回】 予習：Preview Unit 9 - It's easy to make! - Part 1. 授業：Unit 9 - It's easy to make! - Part 1 (Warming-up; Getting the Main Idea; Getting Details; Practicing; Spotlight on Listening; Spotlight on Memory). 復習：Review Unit 9 - It's easy to make! - Part 1.							
12	T.グティエレス	【第12回】 予習：Preview Unit 9 - It's easy to make! - Part 2. 授業：Unit 9 - It's easy to make! - Part 2 (Spotlight on Speaking; Trying What You've Learned; Using What You've Learned; Spotlight on Vocabulary; At Home). 復習：Review Unit 9 - It's easy to make! - Part 2.							
13	T.グティエレス	【第13回】 予習：Preview Units 5, 6, 7, 8, & 9 Getting the Basic Idea & Getting Details 授業：Final Semester Review - Units 5, 6, 7, 8, & 9. 復習：Review Units 5, 6, 7, 8, & 9 Listening and Vocabulary							
14	T.グティエレス	【第14回】 予習：Review Units 5, 6, 7, 8, & 9 Listening and Vocabulary 授業：Final Quiz 復習：Review Units 5, 6, 7, 8, & 9 Listening and Vocabulary							
15	T.グティエレス	【第15回】 予習：Review Units 5, 6, 7, 8, & 9 About Me 授業：Reflection on the semester 復習：Complete self-reflection on the semester							
授業開始前学習		Review vocabulary and grammar references. Review how to express information about yourself and your interests.							
授業内課題のフィードバックの方法		Students will complete a selection of their answers into Google Classroom. The teacher will give feedback on these answers. Also, the teacher will give verbal feedback to the answers in their class.							
テキスト・教材		タイトル: Communication Spotlight, High Beginner, 3rd Edition 叢書名: 978-1-78547-078-3 著編者: Alastair Graham-Marr 出版社: ABAX ELT Publishing 出版年: 2019 (西暦 4 桁) 版数 第 3 版							
参考書									
評価の基準と方法		Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%.							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		◎				△	○
関連科目									
その他		It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-22	授業コード	F02268
科目名称	英語 AIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	S.スティーブンス	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	S.スティーブンス	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	<p>Required English A IV integrates the four skills (listening, speaking, reading and writing). We build on the skills learnt in the first year classes.</p> <p>We focus on pair/group work, discussions, surveys and presentations to develop students functional ability in using everyday, practical English.</p>		
到達目標	<p>1. Students' communicative ability will be developed through guided pair and group discussion activities (using the target language in a meaningful way, linking classroom language learning to real-world activities).</p> <p>2. They will learn an extensive range of communicative activity types including interviews, surveys, class presentations and mini projects.</p> <p>3. Students will also develop listening skills through listening to a variety of scripted and authentic audio/video material.</p> <p>4. Vocabulary learning methods and record keeping skills will also be developed.</p>		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	S.スティーブンス	<p>【第 1 回】 予習 : Don't forget your textbook ! Bring your notebook for classwork and vocabulary work. 授業 : Class orientation; Personal information - discussion on summer holidays. 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
2	S.スティーブンス	<p>【第 2 回】 予習 : Do assigned tasks : Warm up unit questions p59 /Reading p62. 授業 : Unit 6 Consumerism pp. 59-63 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/homework.</p>	
3	S.スティーブンス	<p>【第 3 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 6 Consumerism pp. 63-70 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
4	S.スティーブンス	<p>【第 4 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 7 Art pp. 71-74 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
5	S.スティーブンス	<p>【第 5 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 7 Art pp. 75-78 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
6	S.スティーブンス	<p>【第 6 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 8 Collaboration pp. 79-82 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
7	S.スティーブンス	<p>【第 7 回】 予習 : Preparation for Mid-term Poster Presentations. 授業 : Unit 8 Collaboration pp. 83-86 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
8	S.スティーブンス	<p>【第 8 回】 予習 : Prepare for Mid-term Poster presentations. 授業 : Mid-term Poster presentations. 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	
9	S.スティーブンス	<p>【第 9 回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Students receive feedback on Poster presentations. Unit 9 Survival pp. 91-95 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>	

10	S.スティーブンス	【第10回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 9 Survival pp.96-98 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.						
11	S.スティーブンス	【第11回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 10 Innovation pp.99-102 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.						
12	S.スティーブンス	【第12回】 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 10 innovation pp.103-110 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review preparation/ Homework.						
13	S.スティーブンス	【第13回】 予習 : Preparation for Final Vocabulary Review. 授業 : Final vocabulary review. 復習 : Poster presentations preparation.						
14	S.スティーブンス	【第14回】 予習 : Preparation for Final Speaking Poster Presentations. 授業 : Final Speaking Task : Poster presentations based on units 6-10. 復習 : Vocabulary review and self reflections on their presentations.						
15	S.スティーブンス	【第15回】 予習 : Preparation for Final Speaking Poster Presentations. 授業 : Final Speaking Task : Poster presentations based on units 6-10. 復習 : Feedback on class presentations.						
授業開始前学習	Before class students can try to review vocabulary, use graded readers, and do listening activities using various listening websites. Also try to take every opportunity to encounter and enjoy English through movies, music, TV, and the Internet.							
授業内課題のフィードバックの方法	There will be teacher oral/written feedback on assignments and homework. Additionally, there will be development of students' peer to peer feedback, particularly with presentations.							
テキスト・教材	INSPIRE 3 by Nancy Douglas and Andrew Boon ISBN: 978-1-133-96342-4							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (review quizzes, submitted assignments, effort & attitude) and regular examinations 60% (midterm & final tasks).							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	Attendance is very important because it is part of your participation grade. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class. It is a communication class, so it is important to interact with the teacher, each other and express your opinions. This will build your confidence.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02269
科目名称	英語 AIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中川 優一	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中川 優一	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 A IVでは、英語 A IIIで身につけた発展的な英語運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、主体的に英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	中川 優一	【第 1 回】 予習：Unit 7 (What Do the Plans Include?, p.34-35)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 7 (What Do the Plans Include?, p.34-35)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 1 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
2	中川 優一	【第 2 回】 予習：Unit 7 (What Do the Plans Include?, p.36-37)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 7 (What Do the Plans Include?, p.36-37)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 2 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
3	中川 優一	【第 3 回】 予習：Unit 8 (My New Apartment Is Safer Than My Old One, p.38-39)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 8 (My New Apartment Is Safer Than My Old One, p.38-39)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 3 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
4	中川 優一	【第 4 回】 予習：Unit 8 (My New Apartment Is Safer Than My Old One, p.40-41)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 8 (My New Apartment Is Safer Than My Old One, p.40-41)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 4 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
5	中川 優一	【第 5 回】 予習：Unit 9 (Typing Is Easy for Me!, p.42-43)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 9 (Typing Is Easy for Me!, p.42-43)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 5 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
6	中川 優一	【第 6 回】 予習：Unit 9 (Typing Is Easy for Me!, p.44-45)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 9 (Typing Is Easy for Me!, p.44-45)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 6 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
7	中川 優一	【第 7 回】 予習：第 1 回から第 6 回までの復習 授業：後期前半のまとめを行う。 復習：まとめでわからなかったところの確認。	
8	中川 優一	【第 8 回】 予習：Unit 10 (I Have Many Things to Learn, p.46-47)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 10 (I Have Many Things to Learn, p.46-47)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 8 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
9	中川 優一	【第 9 回】 予習：Unit 10 (I Have Many Things to Learn, p.48-49)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 10 (I Have Many Things to Learn, p.48-49)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 9 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
10	中川 優一	【第 10 回】 予習：Unit 11 (If I Travel Abroad, I'll Take a Group Tour, p.50-51)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 11 (If I Travel Abroad, I'll Take a Group Tour, p.50-51)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 10 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	

11	中川 優一	【第 11 回】 予習：Unit 11 (If I Travel Abroad, I'll Take a Group Tour, p.52-53)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 11 (If I Travel Abroad, I'll Take a Group Tour, p.52-53)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 11 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
12	中川 優一	【第 12 回】 予習：Unit 12 (Osamu Tezuka Is Admired by Many People, p.54-55)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 12 (Osamu Tezuka Is Admired by Many People, p.54-55)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 12 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
13	中川 優一	【第 13 回】 予習：Unit 12 (Osamu Tezuka Is Admired by Many People, p.56-57)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 12 (Osamu Tezuka Is Admired by Many People, p.56-57)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 13 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
14	中川 優一	【第 14 回】 予習：第 8 回から第 13 回までの復習。 授業：後期後半のまとめを行う。 復習：まとめでわからなかったところの確認。						
15	中川 優一	【第 15 回】 予習：一年間の学習の振り返り。 授業：一年を通して振り返り、及びフィードバック。 復習：今後に向けて必要な内容を振り返る。						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で小テストを行う。また、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	Say It Now! Grammar for Communication, Tomoko Takada and Diane H. Nagatomo, 2017, 金星堂							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02270
科目名称	英語 AIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	鈴木 悠理	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 悠理	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 A IV では、英語 A III で身につけた発展的な英語運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したペア・グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、主体的に英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	鈴木 悠理	【第 1 回】 予習：シラバスを確認する。前期の英語学習を振り返る。 授業：ガイダンス（授業概要、到達目標、授業の進め方について）、前期の復習 復習：ガイダンスをもとに、後期の目標を立てる。Google Classroom に登録する。	
2	鈴木 悠理	【第 2 回】 予習：Unit 7 の音声を聞き、音読する。Unit 7（前半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 7（前半）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	
3	鈴木 悠理	【第 3 回】 予習：Unit 7 会話の音声を聞き、音読する。Unit 7（後半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 7（後半）グループワーク、Unit 7（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。	
4	鈴木 悠理	【第 4 回】 予習：Unit 8 の音声を聞き、音読する。Unit 8（前半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 8（前半）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	
5	鈴木 悠理	【第 5 回】 予習：Unit 8 の音声を聞き、音読する。Unit 8（後半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 8（後半）グループワーク、Unit 8（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。	
6	鈴木 悠理	【第 6 回】 予習：Unit 9 の音声を聞き、音読する。Unit 9（前半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 9（前半）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	
7	鈴木 悠理	【第 7 回】 予習：Unit 9 の音声を聞き、音読する。Unit 9（後半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 9（後半）グループワーク、Unit 9（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。	
8	鈴木 悠理	【第 8 回】 予習：Unit 7～9 を振り返り、分からない単語の調べ直しや間違えた問題の解き直しをする。 授業：Unit 7～9 振り返り 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。間違えた問題を解き直す。	
9	鈴木 悠理	【第 9 回】 予習：Unit 10 の音声を聞き、音読する。Unit 10（前半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 10（前半）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	
10	鈴木 悠理	【第 10 回】 予習：Unit 10 の音声を聞き、音読する。Unit 10（後半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 10（後半）グループワーク、Unit 10（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。	
11	鈴木 悠理	【第 11 回】 予習：Unit 11 の音声を聞き、音読する。Unit 11（前半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 11（前半）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。	

12	鈴木 悠理	【第 12 回】 予習：Unit 11 の音声を読み、音読する。Unit 11（後半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 11（後半）グループワーク、Unit 11（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。						
13	鈴木 悠理	【第 13 回】 予習：Unit 12 の音声を読み、音読する。Unit 12（前半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 12（前半）ペアワーク 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。						
14	鈴木 悠理	【第 14 回】 予習：Unit 12 の音声を読み、音読する。Unit 12（後半）を通して分からない単語を調べる。 授業：Unit 12（後半）グループワーク、Unit 12（全体）小テスト 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。小テストを振り返る。						
15	鈴木 悠理	【第 15 回】 予習：Unit 10～12 を振り返り、分からない単語の調べ直しや間違えた問題の解き直しをする。 授業：Unit 10～12 振り返り 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。間違えた問題を解き直す。						
授業開始前学習	時事ニュースや文化（映画・音楽・ファッションなど）を通して英語に触れる機会を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	約 2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 8 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Peter Vincent, Naoko Nakazato, Alan Meadows『Speaking of People 人とつながる英語コミュニケーション』2020 年（南雲堂） *前期と同じテキスト							
参考書	英和辞典・和英辞典があるとよい（電子辞典可）。その他は授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（授業参加態度、小テスト、課題提出など）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業の 3 分の 1 以上を欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。その他、公欠についてなどは第 1 回の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02271
科目名称	英語 AIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	長谷 陸	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	長谷 陸	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 AIV では、英語 AIII で身につけた発展的な英語運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、主体的に英文を書いたり話したりできる。与えられたトピックに対して 150 単語以上のエッセイを書ける。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	長谷 陸	【第 1 回】 予習 : いままでの英語学習の振り返り 授業 : オリエンテーション (1. 到達目標 2. 授業の進め方 3. 評価方法の共有、アンケートの実施など) 復習 : 到達目標と各回のテーマの確認	
2	長谷 陸	【第 2 回】 予習 : Unit 8 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業 : Targets の確認 (教科書 pp.51?53) 、ペアワーク (Conversation) 復習 : 新出単語、フレーズの確認	
3	長谷 陸	【第 3 回】 予習 : Unit 8 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業 : Grammar Exercise の解説 (教科書 pp.54?56) とグループワーク (テーマに関する意見交換) 復習 : 新出単語、フレーズの確認	
4	長谷 陸	【第 4 回】 予習 : Unit 9 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業 : Targets の確認 (教科書 pp.57?59) 、ペアワーク (Conversation) 復習 : 新出単語、フレーズの確認	
5	長谷 陸	【第 5 回】 予習 : Unit 9 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業 : Grammar Exercise の解説 (教科書 pp.60?62) とグループワーク (テーマに関する意見交換) 復習 : 新出単語、フレーズの確認	
6	長谷 陸	【第 6 回】 予習 : Unit 10 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業 : Targets の確認 (教科書 pp.63?68) 、ペアワーク (Conversation) 復習 : 新出単語、フレーズの確認	
7	長谷 陸	【第 7 回】 予習 : Unit 11 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業 : Grammar Exercise の解説 (教科書 pp.69?74) とグループワーク、これまで学んできた項目についてのまとめ提出 復習 : 新出単語、フレーズの確認	
8	長谷 陸	【第 8 回】 予習 : 後期前半の授業内容の復習 授業 : 後期前半のまとめ、フィードバック、アンケートの実施 復習 : フィードバックの確認	
9	長谷 陸	【第 9 回】 予習 : Unit 12 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業 : Targets の確認 (教科書 pp.75?77) 、ペアワーク (Conversation)、これまで学んできた項目についてのまとめの講評 復習 : 新出単語、フレーズの確認	
10	長谷 陸	【第 10 回】 予習 : Unit 12 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業 : Grammar Exercise の解説 (教科書 pp.78?80) とグループワーク (テーマに関する意見交換) 復習 : 新出単語、フレーズの確認	

11	長谷 陸	【第 11 回】 予習 : Unit 13 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業 : Targets の確認 (教科書 pp.81?83) 、ペアワーク (Short Passages) 復習 : 新出単語、フレーズの確認						
12	長谷 陸	【第 12 回】 予習 : Unit 13 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業 : Grammar Exercise の解説 (教科書 pp.84?86) とグループワーク (テーマに関する意見交換) 復習 : 新出単語、フレーズの確認						
13	長谷 陸	【第 13 回】 予習 : Unit 14 の Targets (Listening と Target) の確認、Grammar Exercise 授業 : Targets の確認 (教科書 pp.87?92) 、Grammar Exercise の解説とペアワーク (Short Passages) 復習 : 新出単語、フレーズの確認						
14	長谷 陸	【第 14 回】 予習 : Unit 15 の Targets (Listening と Target) の確認、Grammar Exercise 授業 : Targets の確認 (教科書 pp.93?98) 、Grammar Exercise の解説とペアワーク (Short Passages) 復習 : 新出単語、フレーズの確認						
15	長谷 陸	【第 15 回】 予習 : 後期後半の授業内容の復習 授業 : 後期後半のまとめ、フィードバック、これまで学んできた項目についてのまとめの講評、アンケートの実施 復習 : フィードバックの確認						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。また、指定した範囲にあるわからない単語があれば調べること。							
授業内課題のフィードバックの方法	小テストに関しては毎時間コメントする。							
テキスト・教材	【 タイトル 】 Trend Scope / 読んで発信、社会のいま 【 ISBN 】 9784791972654							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、授業態度等) および定期試験 (レポート) 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02272
科目名称	英語 AIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 A IVでは、英語 A III で身につけた発展的な英語運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、主体的に英文を書いたり話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	薬師 英子	【第 1 回】 予習 : 自分の英語学習を振り返る 授業 : Talk About Summer Vacation / Review of the first term & Introduction グループワーク 復習 : 家庭学習を考える	
2	薬師 英子	【第 2 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 6 Here are your keys. (pp.50~57)(助動詞)予定を尋ねる/感謝する グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る	
3	薬師 英子	【第 3 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 7 Turn left at the light. (pp.58~65) 命令文 & Activity 復習 : 授業中の活動を振り返る	
4	薬師 英子	【第 4 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 8 How much is this? (pp.66~73)(不定詞)問題点を述べる/依頼する グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る	
5	薬師 英子	【第 5 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 6 ~ Unit 8(pp.50~73) Review & Activity 復習 : 授業中の活動を振り返る	
6	薬師 英子	【第 6 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Handout materials ①(関係詞)理由を述べる/理解を示す グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る	
7	薬師 英子	【第 7 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Grammar review (形容詞・副詞)意見を尋ねる/励ます グループワーク、これまで学んできた Unit 6~8(pp.50~73)についてのまとめ提出 復習 : 授業中の活動を振り返る	
8	薬師 英子	【第 8 回】 予習 : ここまでの授業を総復習する 授業 : 後期前半のまとめをする 復習 : まとめを振り返る	
9	薬師 英子	【第 9 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 9 Are you free tomorrow? (pp.74~81)(接続詞・前置詞)近況を尋ねる/確信を示す、これまで学んできた Unit 6 Here are your keys. ~Unit 9 Are you free tomorrow? (pp.50~81)についてのまとめの講評 復習 : 授業中の活動を振り返る	
10	薬師 英子	【第 10 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 9 Are you free tomorrow? (pp.74~81) Review & Activity グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る	

11	薬師 英子	【第 11 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 10 I'll have the steak. (pp.82~89)〈動名詞〉賛同する／不安を示す 復習 : 授業中の活動を振り返る						
12	薬師 英子	【第 12 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 10 I'll have the steak. (pp.82~89) Review & Activity 復習 : 授業中の活動を振り返る						
13	薬師 英子	【第 13 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Handout materials ②〈分詞〉相槌を打つ／予定を尋ねる グループワーク、これまで学んできた Unit 6 ~ Unit 10 (pp.50~89)についてのまとめ提出 復習 : 授業中の活動を振り返る						
14	薬師 英子	【第 14 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit review 2: Unit 6-10 (p.90)〈比較〉希望を尋ねる／注文する グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る						
15	薬師 英子	【第 15 回】 予習 : 今まで授業で学んだことを振り返る 授業 : Overall Review、これまで学んできた Unit 6~10 & Let's Review (pp.50~90)についてのまとめの講評 復習 : 自分の課題を見つけ対策を立てる						
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Michael P. Critchley, 『Encounters Abroad』 (南雲堂)							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲)							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02311
科目名称	英語 B I	単位数	1.0 単位
英文名称	English B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	遠藤 玲奈	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	遠藤 玲奈	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	遠藤 玲奈	【第 1 回】 予習：シラバスを読んでおく。テキストと辞書（電子辞書可）を用意する 授業：オリエンテーション（授業概要、到達目標、授業の進め方について）、グループワーク 復習：授業中に説明を受けた授業概要、到達目標、授業の進め方をもとに、今学期の目標を立てる	
2	遠藤 玲奈	【第 2 回】 予習：Unit 1 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 1（前半：pp. 9-13）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る	
3	遠藤 玲奈	【第 3 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 1（後半：pp. 14-16）グループワーク、Unit 1（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る	
4	遠藤 玲奈	【第 4 回】 予習：Unit 2 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 2（前半：p. 17-21）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする	
5	遠藤 玲奈	【第 5 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 2（後半：pp. 22-24）グループワーク、Unit 2（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る	
6	遠藤 玲奈	【第 6 回】 予習：Unit 3 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 3（前半：pp. 25-29）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする	
7	遠藤 玲奈	【第 7 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う前期前半の振り返りの準備をする 授業：Unit 3（後半：pp. 30-32）グループワーク、前期前半の振り返り 復習：授業中の活動を振り返る	
8	遠藤 玲奈	【第 8 回】 予習：Unit 4 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 4（前半：pp. 33-37）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る	
9	遠藤 玲奈	【第 9 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 4（後半：pp. 38-40）グループワーク、Unit 4（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る	
10	遠藤 玲奈	【第 10 回】 予習：Unit 5 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 5（前半：pp. 41-45）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする	
11	遠藤 玲奈	【第 11 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 5（後半：pp. 46-48）グループワーク、Unit 5（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る	

12	遠藤 玲奈	【第 12 回】 予習：Unit 6 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 6（前半：pp. 49-53）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする						
13	遠藤 玲奈	【第 13 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 6（後半：pp. 54-56）グループワーク、Unit 6（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る						
14	遠藤 玲奈	【第 14 回】 予習：Unit 7 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 7（前半：pp. 57-61）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする						
15	遠藤 玲奈	【第 15 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う前期後半の振り返りの準備をする 授業：Unit 7（後半：pp. 62-64）グループワーク、前期後半の振り返り 復習：自分の課題を見つけ対策を立てる						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。また、学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストの準備を必ず行うこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 7 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Atsushi Iino, Sayo Nakamura, Brian Wistner, Toshihiko Wada, Yukiko Yabuta『Voice Your Opinion』（金星堂）							
参考書	授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02312
科目名称	英語 B I	単位数	1.0 単位
英文名称	English B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	川上 真巳子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	川上 真巳子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	川上 真巳子	【第 1 回】 予習：これまでの英語学習を振り返る。 授業：オリエンテーション（課題解決型学習のための自習の重要性と授業内容について） Getting to know you activities 復習：今後の学習の確認	
2	川上 真巳子	【第 2 回】 予習：Unit 1 の指定箇所を読んでくる。 授業：Unit 1 Nature p.8-10. 復習：既習箇所の読みなおし	
3	川上 真巳子	【第 3 回】 予習：Unit 1 の指定箇所を読んでくる 授業：Unit 1 Nature p.11. Discussion & Writing 復習：既習箇所の読み直し 復習テスト準備	
4	川上 真巳子	【第 4 回】 予習：Unit 2 の指定箇所を読んでくる。 授業：Unit 2 Music p.12-14. 復習：既習箇所の読みなおし	
5	川上 真巳子	【第 5 回】 予習：Unit 2 の指定箇所を読んでくる 授業：Unit 2 Music p. 15. Discussion & Writing 復習：既習箇所の読み直し 復習テスト準備	
6	川上 真巳子	【第 6 回】 予習：Unit 3 の指定箇所を読んでくる。 授業：Unit 3 Hobbies p.16-18. 復習：既習箇所の読みなおし	
7	川上 真巳子	【第 7 回】 予習：Unit 3 の指定箇所を読んでくる 授業：Unit 3 Hobbies p.19. Discussion & Writing 復習：既習箇所の読みなおし 復習テスト準備	
8	川上 真巳子	【第 8 回】 予習：Unit 1～3 の復習 授業：前期前半の振り返り 復習：授業で学んだことを見直す。	
9	川上 真巳子	【第 9 回】 予習：Unit 4 の指定箇所を読んでくる。 授業：Unit 4 Culture p.20-22. 復習：既習箇所の読みなおし	
10	川上 真巳子	【第 10 回】 予習：Unit 4 の指定箇所を読んでくる 授業：Unit 4 Culture p.23. Discussion & Writing 復習：既習箇所の読みなおし 復習テスト準備	
11	川上 真巳子	【第 11 回】 予習：Unit 5 の指定箇所を読んでくる。 授業：Unit 5 Interesting Places p.24-26. 復習：既習箇所の読みなおし	

12	川上 真巳子	【第12回】 予習：Unit 5 の指定箇所を読んでくる 授業：Unit 5 Interesting Places p.27. Discussion & Writing 復習：既習箇所の読みなおし 復習テスト準備						
13	川上 真巳子	【第13回】 予習：自分の担当部分について調べる。 授業：Unit 6-10.の担当箇所についてのグループワーク 復習：調べた箇所を発展させる。作成資料の見直し						
14	川上 真巳子	【第14回】 予習：グループ発表練習 授業：グループ発表 復習：Refelction Paper の提出準備						
15	川上 真巳子	【第15回】 予習：Unit 4-5 および自分の担当課の復習 授業：前期後半の振り返り 復習：授業で学んだことを見直す						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	各課終了後、次の授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	"Reading Links," Andrew E.Bennet, NAN'UN-DO							
参考書	英和辞書、英英辞書							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02313
科目名称	英語 B I	単位数	1.0 単位
英文名称	English B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	境 奈津希	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	境 奈津希	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	境 奈津希	【第 1 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.7) 授業： オリエンテーション、Prolugue (教科書 p.5-6) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
2	境 奈津希	【第 2 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.7) 授業： Chapter 1 (教科書 p.7-10) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
3	境 奈津希	【第 3 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.11) 授業： Chapter 2 (教科書 p.11-14) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
4	境 奈津希	【第 4 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.7,11) 授業： Chapter 1,2 (教科書 p.7-14) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
5	境 奈津希	【第 5 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.15) 授業： Chapter 3 (教科書 p.15-18) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
6	境 奈津希	【第 6 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.19) 授業： Chapter 4 (教科書 p.19-22) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
7	境 奈津希	【第 7 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.15,19) 授業： Chapter 3,4 (教科書 p.15-22) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
8	境 奈津希	【第 8 回】 予習： 前期前半の授業で学んだことを復習する 授業： 前期前半の振り返り 復習： 前期前半の授業で学んだことを復習する	
9	境 奈津希	【第 9 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.23) 授業： Chapter 5 (教科書 p.23-26) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
10	境 奈津希	【第 10 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.27) 授業： Chapter 6 (教科書 p.27-30) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
11	境 奈津希	【第 11 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.23,27) 授業： Chapter 5,6 (教科書 p.23-30) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	

12	境 奈津希	【第 12 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.31) 授業： Chapter 7 (教科書 p.31-34) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する						
13	境 奈津希	【第 13 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.35) 授業： Chapter 8 (教科書 p.35-38) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する						
14	境 奈津希	【第 14 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.31,35) 授業： Chapter 7,8 (教科書 p.31-38) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する						
15	境 奈津希	【第 15 回】 予習： 前期後半の授業で学んだことを復習する 授業： 前期後半のふりかえり 復習： この授業を通して学んだことを復習する						
授業開始前学習	中学校、高等学校で学んだことを再確認しておきましょう。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	Atsuko Uemura, Irene Iwasaki『Mystery Break』(センゲージラーニング)							
参考書	授業内で適宜配布します。							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト 10%、授業での取り組み 20%、課題提出 10%) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02314
科目名称	英語 B I	単位数	1.0 単位
英文名称	English B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	長谷 陸	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	長谷 陸	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	長谷 陸	【第 1 回】 予習 : これまでの英語学習を振り返る。シラバスを確認する。 授業 : ガイダンス(授業の進め方の説明、評価の基準と方法など) 復習 : 授業の内容を振り返る。	
2	長谷 陸	【第 2 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit1 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
3	長谷 陸	【第 3 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit2 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
4	長谷 陸	【第 4 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit3 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
5	長谷 陸	【第 5 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit4 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
6	長谷 陸	【第 6 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit5 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
7	長谷 陸	【第 7 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit6 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
8	長谷 陸	【第 8 回】 予習 : 第 2 ～7 回の授業を振り返る。 授業 : 前期前半の授業のまとめ 復習 : 授業の内容を振り返る。	
9	長谷 陸	【第 9 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit7 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る	
10	長谷 陸	【第 10 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit8 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
11	長谷 陸	【第 11 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit9 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	

12	長谷 陸	【第 12 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit10 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。						
13	長谷 陸	【第 13 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit11 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。						
14	長谷 陸	【第 14 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit12 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。						
15	長谷 陸	【第 15 回】 予習 : 第 9～14 回の授業を振り返る。 授業 : 前期後半の授業のまとめ 復習 : 前期の授業を振り返る。						
授業開始前学習	国際的なニュースや自分の興味のある文化(映画、音楽、スポーツなど)を通して英語に触れること。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業の冒頭で小テストを行い、翌週の返却時に解説を行う。第 8 回、第 15 回の授業で振り返りを行う。							
テキスト・教材	佐藤哲三、愛甲ゆかり著『English Primer(Revised Edition) 大学生の英語入門(改訂新版)』(南雲堂)							
参考書	英和辞典、和英辞典(電子辞書可)							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02315
科目名称	英語 B I	単位数	1.0 単位
英文名称	English B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	阿部 春香	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	阿部 春香	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワークやディスカッション、グループワークなどの活動も行う。		
到達目標	基本的な後文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な後文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	阿部 春香	【第 1 回】 予習 : シラバスの確認 授業 : オリエンテーション(授業概要、到達目標、授業の進め方について), Reading 1: Unit 1 Can you guess what these creatures are?: Reading 復習 : 今後の学習の確認	
2	阿部 春香	【第 2 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 2 Unit 1 Paul and the World Cup (1): Reading, Questions, Grammar 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
3	阿部 春香	【第 3 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 2 Unit 1 Paul and the World Cup (2): Reading, ペア/グループワーク 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
4	阿部 春香	【第 4 回】 予習 : Warm up への回答、Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 1: Unit 2 An Innovation from Japan!: Reading, Questions 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
5	阿部 春香	【第 5 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 2 Unit 2 Robots for Work and Fun (1): Reading, Questions, Grammar 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
6	阿部 春香	【第 6 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 2 Unit 2 Robots for Work and Fun (2): Reading, ペア/グループワーク 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
7	阿部 春香	【第 7 回】 予習 : これまでの reading の復習 授業 : 前期前半の振り返り 復習 : 授業でやったことの見直し	
8	阿部 春香	【第 8 回】 予習 : Warm up への回答、Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 1: Unit 3 Moomin House Cafe: Reading, Questions 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
9	阿部 春香	【第 9 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 2 Unit 3 Creating an Icon: Mickey Mouse(1): Reading, Questions, Grammar 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
10	阿部 春香	【第 10 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 2 Unit 3 Creating an Icon: Mickey Mouse(2): Reading, ペア/グループワーク 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
11	阿部 春香	【第 11 回】 予習 : Warm up への回答、Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 1: Unit 4 Google's Happy Mistake: Reading, Questions 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	

12	阿部 春香	【第 12 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 2 Unit 4 Etymology of the Word "Yabai" (1): Reading, Questions, Grammar 復習 : 学習した語彙, 表現の復習						
13	阿部 春香	【第 13 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 2 Unit 4 Etymology of the Word "Yabai" (2): Reading, ペア/グループワーク 復習 : 学習した語彙, 表現の復習						
14	阿部 春香	【第 14 回】 予習 : Warm up への回答, Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 1: Unit 5 Tasty Insects Save the Earth: Reading, Questions 復習 : 学習した語彙, 表現の復習						
15	阿部 春香	【第 15 回】 予習 : 第 9 回以降の reading の復習 授業 : 前期後半振り返り 復習 : 授業でやったことの見直し						
授業開始前学習	学習予定の文章や単語の予習をしておくこと。また、映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	永本義弘・町田純子・八木茂那子・霜田敦子・Ian E. Ellsworth 著『Dear Class-Drop Everything And Read <second edition>』(南雲堂)							
参考書	授業内で適宜紹介する							
評価の基準と方法	平常点 40%(小テスト、課題提出、授業態度など)、および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。 その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02316
科目名称	英語 B I	単位数	1.0 単位
英文名称	English B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	鈴木 悠理	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 悠理	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、ペア・グループワークやディスカッション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	鈴木 悠理	【第 1 回】 予習：シラバスを確認する。これまでの英語学習を振り返る。 授業：ガイダンス（授業概要、到達目標、授業の進め方について） 復習：授業で説明を受けたガイダンスをもとに、前期の目標を立てる。テキストと辞書（電子辞書可）を用意する。	
2	鈴木 悠理	【第 2 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 1（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	
3	鈴木 悠理	【第 3 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 1（後半）ペア・グループワーク、Unit 1（全体）小テスト 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。	
4	鈴木 悠理	【第 4 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 2（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	
5	鈴木 悠理	【第 5 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 2（後半）ペア・グループワーク、Unit 2（全体）小テスト 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。	
6	鈴木 悠理	【第 6 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 3（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	
7	鈴木 悠理	【第 7 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 3（後半）ペア・グループワーク、Unit 3（全体）小テスト、前期前半の振り返り 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。	
8	鈴木 悠理	【第 8 回】 予習：Unit 1～3 の学習を振り返り、分からない単語の調べ直しや間違えた問題の解き直しをする。 授業：Unit 1～3 の学習 振り返り 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。間違えた問題を解き直す。	
9	鈴木 悠理	【第 9 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 4（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	
10	鈴木 悠理	【第 10 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 4（後半）ペア・グループワーク、Unit 4（全体）小テスト 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。	
11	鈴木 悠理	【第 11 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 5（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	

12	鈴木 悠理	【第 12 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 5（後半）ペア・グループワーク、Unit 5（全体）小テスト 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。						
13	鈴木 悠理	【第 13 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 6（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。						
14	鈴木 悠理	【第 14 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 6（後半）ペア・グループワーク、Unit 6（全体）小テスト、前期後半の振り返り 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。						
15	鈴木 悠理	【第 15 回】 予習：前期の学習を振り返り、分からない単語の調べ直しや間違えた問題の解き直しをする。 授業：前期の学習 振り返り 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。間違えた問題を解き直す。						
授業開始前学習	時事ニュースや文化（映画・音楽・ファッションなど）を通して英語に触れる機会を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	約 2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 8 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	木村博是、三原京『Answers to Everyday Questions 1 〈High-beginning〉身近な不思議を英語で学ぶ〈初級〉』（南雲堂）							
参考書	英和辞典・和英辞典は必須（電子辞典可）。その他は授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（授業参加態度、小テスト、課題提出など）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業の 3 分の 1 以上を欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。その他、公欠についてなどは第 1 回の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02317
科目名称	英語 B I	単位数	1.0 単位
英文名称	English B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中川 優一	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中川 優一	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	中川 優一	【第 1 回】 予習：今まで学習した英語（特に単語と英文法）を見直しておく。 授業：オリエンテーション（今後の授業方針について、成績評価基準の説明等） 復習：今後の学習の確認。	
2	中川 優一	【第 2 回】 予習：Unit 1 (Traveling, p.15-17)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 1 (Traveling, p.15-17) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 2 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
3	中川 優一	【第 3 回】 予習：Unit 1 (Traveling, p.18-21)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 1 (Traveling, p.18-21) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 3 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
4	中川 優一	【第 4 回】 予習：Unit 2 (Daily Life & Shopping, p.23-25)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 2 (Daily Life & Shopping, p.23-25) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 4 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
5	中川 優一	【第 5 回】 予習：Unit 2 (Daily Life & Shopping, p.26-29)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 2 (Daily Life & Shopping, p.26-29)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 5 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
6	中川 優一	【第 6 回】 予習：Unit 3 (At Restaurants, p.31-33)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 3 (At Restaurants, p.31-33)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 6 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
7	中川 優一	【第 7 回】 予習：Unit 3 (At Restaurants, p.34-37)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 3 (At Restaurants, p.34-37) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 7 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
8	中川 優一	【第 8 回】 予習：第 1 回から第 7 回までの復習。 授業：前期前半のまとめを行う。 復習：まとめでわからなかったところの確認。	
9	中川 優一	【第 9 回】 予習：Unit 4 (Job Hunting, p.39-41)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：前期前半のまとめのフィードバック及び Unit 4 (Job Hunting, p.39-41) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 9 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
10	中川 優一	【第 10 回】 予習：Unit 4 (Job Hunting, p.42-47)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 4 (Job Hunting, p.42-47) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 10 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
11	中川 優一	【第 11 回】 予習：Unit 5 (At the office, p.49-51)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 5 (At the office, p.49-51)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 11 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	

12	中川 優一	【第12回】 予習：Unit 5 (At the office, p.52-55) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 5 (At the office, p.52-55) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第12回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
13	中川 優一	【第13回】 予習：Unit 6 (At the office 2, p.57-59) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 6 (At the office 2, p.57-59) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第13回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
14	中川 優一	【第14回】 予習：第9回から第13回までの復習。 授業：前期後半のまとめを行う。 復習：まとめでわからなかったところの確認。						
15	中川 優一	【第15回】 予習：Unit 6 (At the office 2, p.60-63) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：前期後半のまとめのフィードバック及び Unit 6 (At the office 2, p.60-63) およびそれに付随したグループワーク。 復習：後期に向けて、前期でわからなかったところの再確認。						
授業開始前学習	高校までの英単語、英文法をできるだけ見直しておくこと。映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持ち、興味がある文章や単語を、辞書で調べること。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業内で小テストを行う。また、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	Illuminating the Path to the TOEIC L&R Test, (2022) Michiko Ueki, et al., 金星堂							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02318
科目名称	英語 B I	単位数	1.0 単位
英文名称	English B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	岸山 健	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	岸山 健	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	岸山 健	【第 1 回】 予習： Introduction を読んでおく 授業： 授業の目標と評価の説明 復習： 教科書の進め方の確認	
2	岸山 健	【第 2 回】 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 1 A Dream for all Nations (p.9-11) 復習： 内容と語彙の復習	
3	岸山 健	【第 3 回】 予習： 議論の準備 授業： Unit 1 A Dream for all Nations (p.11-14) 復習： 議論の整理	
4	岸山 健	【第 4 回】 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 2 Brain Drain (p.15-18) 復習： 内容と語彙の復習	
5	岸山 健	【第 5 回】 予習： 議論の準備 授業： Unit 2 Brain Drain (p.18-21) 復習： 議論の整理	
6	岸山 健	【第 6 回】 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 3 Cosmetic Tourism (p.21-24) 復習： 内容と語彙の復習	
7	岸山 健	【第 7 回】 予習： 議論の準備 授業： Unit 3 Cosmetic Tourism (p.24-27) 復習： 議論の整理	
8	岸山 健	【第 8 回】 予習： 前期前半の復習 授業： 前期前半の振り返り 復習： 内容の再確認	
9	岸山 健	【第 9 回】 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 4 Changing Breakfasts (p.27-30) 復習： 内容と語彙の復習	
10	岸山 健	【第 10 回】 予習： 議論の準備 授業： Unit 4 Changing Breakfasts (p.30-33) 復習： 議論の整理	
11	岸山 健	【第 11 回】 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 5 Modern Love (p.33-36) 復習： 内容と語彙の復習	

12	岸山 健	【第12回】 予習： 議論の準備 授業： Unit 5 Modern Love (p.36-39) 復習： 議論の整理							
13	岸山 健	【第13回】 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 6 Special Need (p.39-42) 復習： 内容と語彙の復習							
14	岸山 健	【第14回】 予習： 議論の準備 授業： Unit 6 Special Need (p.42-45) 復習： 議論の整理							
15	岸山 健	【第15回】 予習： 前期前半の復習 授業： 前期後半の振り返り 復習： 内容の再確認							
授業開始前学習		映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法		課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材		【 タイトル 】 Reading for Bright Future 明るい未来を拓く英語リーディング 【 ISBN 】 9784523179450							
参考書									
評価の基準と方法		平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等） および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		◎				△	○
関連科目									
その他		出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F02319
科目名称	英語 B I	単位数	1.0 単位
英文名称	English B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	池上 俊彦	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	池上 俊彦	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	本授業では、実践的英語力の育成のために、TOEIC 試験で一定の得点を取得できる英語力を身につけることを目指す。ただし、問題演習に終始するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	池上 俊彦	毎時間ペアワーク等を適宜行う 【第 1 回】 予習：シラバスを確認しておく 授業：Introduction 復習：新出単語と文法項目の暗記	
2	池上 俊彦	【第 2 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 1: The Beatles & Strawberry Fields ビートルズ：ストロベリーではなくアップル (pp. 2-3) 復習：新出単語と文法項目の暗記	
3	池上 俊彦	【第 3 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 1: The Beatles & Strawberry Fields ビートルズ：ストロベリーではなくアップル (pp. 4-5) 復習：新出単語と文法項目の暗記	
4	池上 俊彦	【第 4 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 2: Fuzjko Hemming & Potato Pancakes フジコ・ヘミング：ポテトパンケーキは思い出の味 (pp. 6-7) 復習：新出単語と文法項目の暗記	
5	池上 俊彦	【第 5 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 2: Fuzjko Hemming & Potato Pancakes フジコ・ヘミング：ポテトパンケーキは思い出の味 (pp. 8-9) 復習：新出単語と文法項目の暗記	
6	池上 俊彦	【第 6 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 3: Mozart & the Beef Tongue モーツァルト：懐かしい故郷ザルツブルクの牛タン(pp. 10-11) 復習：新出単語と文法項目の暗記	
7	池上 俊彦	【第 7 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 3: Mozart & the Beef Tongue モーツァルト：懐かしい故郷ザルツブルクの牛タン(pp. 12-13)、課題提出 復習：新出単語と文法項目の暗記	
8	池上 俊彦	【第 8 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：前期前半の振り返り 復習：新出単語と文法項目の暗記	
9	池上 俊彦	【第 9 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 4: Mozart & Fashionable Foods モーツァルト：最先端の食べ物でおもてなし(pp. 14-15)、提出課題のおさらい (グループワーク) 復習：新出単語と文法項目の暗記	

10	池上 俊彦	【第 10 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 4: Mozart & Fashionable Foods モーツァルト：最先端の食べ物でおもてなし(pp. 16-17) 復習：新出単語と文法項目の暗記						
11	池上 俊彦	【第 11 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 5: Beethoven & his Particular Viands ベートーヴェン：こだわりの食べ物(pp. 18-19) 復習：新出単語と文法項目の暗記						
12	池上 俊彦	【第 12 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 5: Beethoven & his Particular Viands ベートーヴェン：こだわりの食べ物(pp. 20-21) 復習：新出単語と文法項目の暗記						
13	池上 俊彦	【第 13 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 6: Rentaro Taki & Fukujinzuke 滝廉太郎：ドイツで食べた福神漬け(pp. 22-23)、課題提出 復習：新出単語と文法項目の暗記						
14	池上 俊彦	【第 14 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 6: Rentaro Taki & Fukujinzuke 滝廉太郎：ドイツで食べた福神漬け(pp. 24-25) 復習：新出単語と文法項目の暗記						
15	池上 俊彦	【第 15 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：前期後半の振り返り、提出課題のおさらい（グループワーク） 復習：新出単語と文法項目の暗記						
授業開始前学習	英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を辞書で調べる。教科書のリーディングセクションの音読。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業 7 回目、13 回目に提出する課題については、2 週間後（授業 9、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	堀越ウエンディ、松井真帆、本山ふじ子 『音楽家たちが奏でる食文化 At the Musician's Table : Food and Music』朝日出版社、2024 年。（ISBN: 978-4-255-15722-1） 適宜プリント							
参考書								
評価の基準と方法	授業態度と課題提出 40% テスト 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02321
科目名称	英語 B I	単位数	1.0 単位
英文名称	English B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	本村 万喜子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	本村 万喜子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	本村 万喜子	※ペアワークやディスカッションを含む回がある。 【第 1 回】 予習：これまでの英語学習を振り返る 授業：オリエンテーション（授業のすすめ方について）、Unit1 文法編：名詞、代名詞(pp.9-12) 復習：課題に取り組む	
2	本村 万喜子	【第 2 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit1 リーディング、リスニング(pp.9-12) グループワーク 復習：課題に取り組む	
3	本村 万喜子	【第 3 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit2 文法編：五文型(pp.13-16) 復習：課題に取り組む	
4	本村 万喜子	【第 4 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit2 リーディング、リスニング(pp.13-16) グループワーク 復習：課題に取り組む	
5	本村 万喜子	【第 5 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit3 文法編：現在・過去・未来(pp.17-20) 復習：課題に取り組む	
6	本村 万喜子	【第 6 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit3 リーディング、リスニング(pp.17-20) グループワーク 復習：課題に取り組む	
7	本村 万喜子	【第 7 回】 予習：Unit1-3 の内容を確認する 授業：Unit1-3 の振り返り 復習：前期前半の学習を振り返り、前期後半の学習計画を立てる	
8	本村 万喜子	【第 8 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit4 文法編：進行形(pp.21-24) 復習：課題に取り組む	
9	本村 万喜子	【第 9 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit4 リーディング、リスニング(pp.21-24) グループワーク 復習：課題に取り組む	
10	本村 万喜子	【第 10 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit5 文法編：完了形(pp.25-28) 復習：課題に取り組む	
11	本村 万喜子	【第 11 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit5 リーディング、リスニング(pp.25-28) グループワーク 復習：課題に取り組む	

12	本村 万喜子	【第 12 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit6 文法編：助動詞(pp.29-32) 復習：課題に取り組む						
13	本村 万喜子	【第 13 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit6 リーディング、リスニング(pp.29-32) グループワーク 復習：課題に取り組む						
14	本村 万喜子	【第 14 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit7(pp.33-36) 復習：課題に取り組む						
15	本村 万喜子	【第 15 回】 予習：前期の学習内容を確認する 授業：前期の学習についての講評 復習：苦手な学習内容等、自分の課題を見つけ、前期の学習を分析する						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	小テスト、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	JACET リスニング研究会 著『Power-Up College English <Intro>パワーアップ・イングリッシュ<入門編>』（南雲堂）							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02322
科目名称	英語 B I	単位数	1.0 単位
英文名称	English B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	薬師 英子	【第 1 回】 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：ガイダンス：（授業についての説明や事前指導） Lesson 1: Random Acts of Kindness「親切習慣」(P6-7)導入 復習：授業の活動を振り返る	
2	薬師 英子	【第 2 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 1 : Random Acts of Kindness (P6-8) グループワーク 復習：授業の活動を振り返る	
3	薬師 英子	【第 3 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 2 : College Drinking (P9-11) グループワーク 復習：授業の活動を振り返る	
4	薬師 英子	【第 4 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 3 : The Importance of Baseball (P12-14) 復習：授業の活動を振り返る	
5	薬師 英子	【第 5 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 4 : No Popcorn, No Movies (P15-17) グループワーク 復習：授業の活動を振り返る	
6	薬師 英子	【第 6 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 5 : Fatherless America (P18-20) グループワーク 復習：授業の活動を振り返る	
7	薬師 英子	【第 7 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 1 ~ 5 Review : (P6-20) これまで学んできた Reading 内容と Grammar についてのまとめの提出 復習：授業の活動を振り返る	
8	薬師 英子	【第 8 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：【第 1 回】～【第 7 回】の学習のまとめ 復習：授業の活動を振り返る	
9	薬師 英子	【第 9 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 6 ① : Stolen Car (P21-23) グループワーク これまで学んできた Reading 内容と Grammar についてのまとめの講評。 復習：授業の活動を振り返る	
10	薬師 英子	【第 10 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 6 ② : Stolen Car (P21-23) 復習：授業の活動を振り返る	
11	薬師 英子	【第 11 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 7 ① : Human Interest I (P24-26) グループワーク	

		復習：授業の活動を振り返る						
12	薬師 英子	【第12回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 7 ②: Human Interest I (P24-26) 復習：授業の活動を振り返る						
13	薬師 英子	【第13回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 8 ①: Human Interest II (P27-29) グループワーク これまで学んできた Reading 内容と Grammar についてのまとめの提出 復習：授業の活動を振り返る						
14	薬師 英子	【第14回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 8 ②: Human Interest II (P27-29) 復習：授業の活動を振り返る						
15	薬師 英子	【第15回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：【第8回】～【第14回】の学習のまとめ これまで学んできた Reading 内容と Grammar についてのまとめの講評。 復習：授業の活動を振り返る						
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	"Simply Listening ～American life Today～"、小島義朗、南雲堂							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻、早退は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯電話使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02361
科目名称	英語 B II	単位数	1.0 単位
英文名称	English B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	遠藤 玲奈	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	遠藤 玲奈	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	遠藤 玲奈	【第 1 回】 予習：Unit 8 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 8（前半：pp. 65-69）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。今学期の目標を立てる	
2	遠藤 玲奈	【第 2 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 8（後半：pp. 70-72）グループワーク、Unit 8（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る	
3	遠藤 玲奈	【第 3 回】 予習：Unit 9 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 9（前半：pp. 73-77）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする	
4	遠藤 玲奈	【第 4 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 9（後半：pp. 78-80）グループワーク、Unit 9（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る	
5	遠藤 玲奈	【第 5 回】 予習：Unit 10 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 10（前半：pp. 81-85）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする	
6	遠藤 玲奈	【第 6 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 10（後半：pp. 86-88）グループワーク、Unit 10（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る	
7	遠藤 玲奈	【第 7 回】 予習：Unit 11 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 11（前半：pp. 89-93）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする	
8	遠藤 玲奈	【第 8 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う後期前半の振り返りの準備をする 授業：Unit 11（後半：pp. 94-96）グループワーク、後期前半の振り返り 復習：授業中の活動を振り返る	
9	遠藤 玲奈	【第 9 回】 予習：Unit 12 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 12（前半：pp. 97-101）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る	
10	遠藤 玲奈	【第 10 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 12（後半：pp. 102-104）グループワーク、Unit 12（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る	
11	遠藤 玲奈	【第 11 回】 予習：Unit 13 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 13（前半：pp. 105-109）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする	

12	遠藤 玲奈	【第 12 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 13（後半：pp. 110-112）グループワーク、Unit 13（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る						
13	遠藤 玲奈	【第 13 回】 予習：Unit 14 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 14（前半：pp. 113-117）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする						
14	遠藤 玲奈	【第 14 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う後期後半の振り返りの準備をする 授業：Unit 14（後半：pp. 118-120）グループワーク、後期後半の振り返り 復習：授業中の活動を振り返る						
15	遠藤 玲奈	【第 15 回】 予習：今まで授業で学んだことを振り返る 授業：一年間のまとめ 復習：自分の課題を見つけ対策を立てる						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。また、学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストの準備を必ず行うこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 8 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Atsushi Iino, Sayo Nakamura, Brian Wistner, Toshihiko Wada, Yukiko Yabuta『Voice Your Opinion』（金星堂）							
参考書	授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02362
科目名称	英語 B II	単位数	1.0 単位
英文名称	English B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	川上 真巳子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	川上 真巳子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	川上 真巳子	【第 1 回】 予習：これまでの英語学習を振り返る。 授業：オリエンテーション（課題解決型学習のための自習の重要性と授業内容について） 復習：今後の学習の確認	
2	川上 真巳子	【第 2 回】 予習：Unit 11 の指定個所を読んでくる 授業：Unit 11 Friends p.48-50. 復習：既習個所を読み直す	
3	川上 真巳子	【第 3 回】 予習：Unit 11 の指定個所を読んでくる 授業：Unit 11 Friends p.51. Discussion & Writing 復習：既習個所を読み直す 復習テスト準備	
4	川上 真巳子	【第 4 回】 予習：Unit 12 の 指定個所を読んでくる。 授業：Unit 12 Africa p.52-54. 復習：既習個所を読み直す	
5	川上 真巳子	【第 5 回】 予習：Unit 12 の指定個所を読んでくる 授業：Unit 12 Africa p.55. Discussion & Writing 復習：既習個所を読み直す 復習テスト準備	
6	川上 真巳子	【第 6 回】 予習：Unit 13 の指定個所を読んでくる。 授業：Unit 13 Self-Improvement p.56-58. 復習：既習個所を読み直す	
7	川上 真巳子	【第 7 回】 予習：Unit 13 の指定個所を読んでくる 授業：Unit 13 Self-Improvement p.59. Discussion & Writing 復習：既習個所を読み直す 復習テスト準備	
8	川上 真巳子	【第 8 回】 予習：Unit 11~13 の復習 授業：後期前半の振り返り 復習：授業で学んだことを見直す。	
9	川上 真巳子	【第 9 回】 予習：Unit 14 指定個所を読んでくる。 授業：Unit 14 Sports p.60-62. 復習：既習個所を読み直す	
10	川上 真巳子	【第 10 回】 予習：Unit 14 の指定個所を読んでくる 授業：Unit 14 Sports p.63. Discussion & Writing 復習：既習個所を読み直す 復習テスト準備	
11	川上 真巳子	【第 11 回】 予習：Unit 15 の指定個所を読んでくる。 授業：Unit 15 Transportation p.64-66. 復習：既習個所を読み直す	
12	川上 真巳子	【第 12 回】 予習：Unit 15 の指定個所を読んでくる 授業：Unit 15 Transportation p.67. Discussion & Writing	

		復習：既習箇所を読み直す 復習テスト準備						
13	川上 真巳子	【第13回】 予習：自分の担当部分の予習 授業：グループワークまたはペアワーク Unit 16-20. 復習：グループワークの活動の振り返り 作成資料の見直し						
14	川上 真巳子	【第14回】 予習：グループ発表準備 授業：グループ発表 復習：プレゼンテーションの振り返り、Reflection Paper を書く。						
15	川上 真巳子	【第15回】 予習：Unit 14-15 および自分の担当課 の復習 授業：後期後半の振り返り 復習：授業で学んだことを見直す。						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	各課終了後、次の授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する							
テキスト・教材	"Reading Links," Andrew E. Bennet, NAN'UN-DO							
参考書	英和辞書、英英辞書							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02363
科目名称	英語 B II	単位数	1.0 単位
英文名称	English B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	境 奈津希	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	境 奈津希	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	境 奈津希	【第 1 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.7,11,15,19,23,27,31,35) 授業： Chapter 1-8 (教科書 p.7-38) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
2	境 奈津希	【第 2 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.39) 授業： Chapter 9 (教科書 p.39-42) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
3	境 奈津希	【第 3 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.43) 授業： Chapter 10 (教科書 p.43-46) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
4	境 奈津希	【第 4 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.39,43) 授業： Chapter 9,10 (教科書 p.39-46) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
5	境 奈津希	【第 5 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.47) 授業： Chapter 11 (教科書 p.47-50) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
6	境 奈津希	【第 6 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.51) 授業： Chapter 12 (教科書 p.51-54) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
7	境 奈津希	【第 7 回】 予習： Get Ready for the Story (教科書 p.47,51) 授業： Chapter 11,12 (教科書 p.47-54) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
8	境 奈津希	【第 8 回】 予習： 前期前半の授業で学んだことを復習する 授業： 前期前半の振り返り 復習： 前期前半の授業で学んだことを復習する	
9	境 奈津希	【第 9 回】 予習： 前期前半の授業で学んだことを復習する 授業： Epilogue (教科書 p.55-57) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
10	境 奈津希	【第 10 回】 予習： 語彙の予習 (配布資料) 授業： ミステリー文学のリーディング (配布資料) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	
11	境 奈津希	【第 11 回】 予習： 語彙の予習 (配布資料) 授業： ミステリー文学のリーディング (配布資料) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する	

12	境 奈津希	【第 12 回】 予習： 語彙の予習（配布資料） 授業： ミステリー文学のリーディング（配布資料）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する						
13	境 奈津希	【第 13 回】 予習： 語彙の予習（配布資料） 授業： ミステリー文学のリーディング（配布資料）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する						
14	境 奈津希	【第 14 回】 予習： 語彙の予習（配布資料） 授業： ミステリー文学のリーディング（配布資料）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する						
15	境 奈津希	【第 15 回】 予習： 前期後半の授業で学んだことを復習する 授業： 前期後半のふりかえり 復習： この授業を通して学んだことを復習する						
授業開始前学習	中学校、高等学校で学んだこと、及び英語 B I で学んだことを再確認しておきましょう。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	Atsuko Uemura, Irene Iwasaki『Mystery Break』（センゲージラーニング）							
参考書	授業内で適宜配布します。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト 10%、授業への取り組み 20%、課題提出 10%）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02364
科目名称	英語 B II	単位数	1.0 単位
英文名称	English B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	長谷 陸	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	長谷 陸	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	長谷 陸	【第 1 回】 予習 : 前期の英語学習を振り返る。シラバスを確認する。 授業 : ガイダンス(授業の進め方の説明、評価の基準と方法など) 復習 : 授業の内容を振り返る。	
2	長谷 陸	【第 2 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit13 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
3	長谷 陸	【第 3 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit14 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
4	長谷 陸	【第 4 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit15 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
5	長谷 陸	【第 5 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit16 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
6	長谷 陸	【第 6 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit17 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
7	長谷 陸	【第 7 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit18 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
8	長谷 陸	【第 8 回】 予習 : 第 2 ～7 回の授業を振り返る。 授業 : 後期前半の授業のまとめ 復習 : 授業の内容を振り返る。	
9	長谷 陸	【第 9 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit19 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
10	長谷 陸	【第 10 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit20 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
11	長谷 陸	【第 11 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit21 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	

12	長谷 陸	【第 12 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit22 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。						
13	長谷 陸	【第 13 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit23 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。						
14	長谷 陸	【第 14 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit24 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。						
15	長谷 陸	【第 15 回】 予習 : 第 9～14 回の授業を振り返る。 授業 : 後期後半の授業のまとめ 復習 : 後期の授業を振り返る。						
授業開始前学習	国際的なニュースや自分の興味のある文化(映画、音楽、スポーツなど)を通して英語に触れること。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業の冒頭で小テストを行い、翌週の返却時に解説を行う。第 8 回、第 15 回の授業で振り返りを行う。							
テキスト・教材	佐藤哲三、愛甲ゆかり著『English Primer(Revised Edition) 大学生の英語入門(改訂新版)』(南雲堂)							
参考書	英和辞典、和英辞典(電子辞書可)							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02365
科目名称	英語 B II	単位数	1.0 単位
英文名称	English B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	阿部 春香	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	阿部 春香	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 BI に引き続き、英語 BII では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	阿部 春香	【第 1 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 2 Unit 5 Poison Gas? (1): Reading, Questions, Grammar 復習 : 学習した語彙、表現の復習	
2	阿部 春香	【第 2 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 2 Unit 5 Poison Gas? (2): Reading, ペア/グループワーク 復習 : 学習した語彙、表現の復習	
3	阿部 春香	【第 3 回】 予習 : Warm up への回答、Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 1: Unit 6 A man Picking up Luck: Reading, Questions 復習 : 学習した語彙、表現の復習	
4	阿部 春香	【第 4 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 2 Unit 6 Tragedy to Triumph (1): Reading, Questions, Grammar 復習 : 学習した語彙、表現の復習	
5	阿部 春香	【第 5 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 2 Unit 6 Tragedy to Triumph (2): Reading, ペア/グループワーク 復習 : 学習した語彙、表現の復習	
6	阿部 春香	【第 6 回】 予習 : Warm up への回答、Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 1: Unit 7 A Short History of Harvard University: Reading, Questions 復習 : 学習した語彙、表現の復習	
7	阿部 春香	【第 7 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 2 Unit 7 The Power of Ideas (1): Reading, Questions, Grammar 復習 : 学習した語彙、表現の復習	
8	阿部 春香	【第 8 回】 予習 : これまでの reading の復習、Warm up への回答 授業 : 後期前半振り返り、Reading2 Unit 7 The Power of Ideas (2): Reading, ペア/グループワーク 復習 : 授業でやったことの見直し	
9	阿部 春香	【第 9 回】 予習 : Warm up への回答、Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 1: Unit 8 Humankind/ Reading 2 Unit 8 Humankind in action (1): Reading, Questions 復習 : 学習した語彙、表現の復習	
10	阿部 春香	【第 10 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 2 Unit 8 Humankind in action (2): Reading, ペア/グループワーク 復習 : 学習した語彙、表現の復習	
11	阿部 春香	【第 11 回】 予習 : Warm up への回答、Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 1: Unit 9 Tree of Wisdom: Reading, Questions 復習 : 学習した語彙、表現の復習	

12	阿部 春香	【第 12 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 2 Unit 9 Caffeine: More than Just an Energy Booster(1): Reading, Questions, Grammar 復習 : 学習した語彙、表現の復習						
13	阿部 春香	【第 13 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 2 Unit 9 Caffeine: More than Just an Energy Booster(2): Reading ペア/グループワーク 復習 : 学習した語彙、表現の復習						
14	阿部 春香	【第 14 回】 予習 : Warm up への回答、Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Reading 1: Unit 10 Mysterious Antarctica: Reading, Questions 復習 : 学習した語彙、表現の復習						
15	阿部 春香	【第 15 回】 予習 : 第 9 回以降の reading の復習 授業 : 後期後半振り返り Reading 2: Unit 10 what Lies below the Ice?: Reading, Questions 復習 : 授業でやったことの見直し						
授業開始前学習	学習予定の文章や単語の予習をしておくこと。また、映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	永本義弘・町田純子・八木茂那子・霜田敦子・Ian E. Ellsworth 著『Dear Class-Drop Everything And Read <second edition>』(南雲堂)							
参考書	授業内で適宜紹介する							
評価の基準と方法	平常点 40%(小テスト、課題提出、授業態度など)、および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02366
科目名称	英語 B II	単位数	1.0 単位
英文名称	English B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	鈴木 悠理	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 悠理	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B II では英語 BI に引き続き、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、ペア・グループワークやディスカッション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読み、理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	鈴木 悠理	【第 1 回】 予習：シラバスを確認する。Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 7（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。後期の目標を立てる。	
2	鈴木 悠理	【第 2 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 7（後半）ペア・グループワーク、Unit 7（全体）小テスト 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。	
3	鈴木 悠理	【第 3 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 8（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	
4	鈴木 悠理	【第 4 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 8（後半）ペア・グループワーク、Unit 8（全体）小テスト 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。	
5	鈴木 悠理	【第 5 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 9（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	
6	鈴木 悠理	【第 6 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 9（後半）ペア・グループワーク、Unit 9（全体）小テスト、後期前半の振り返り 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。	
7	鈴木 悠理	【第 7 回】 予習：Unit 7～9 の学習を振り返り、分からない単語の調べ直しや間違えた問題の解き直しをする。 授業：Unit 7～9 の学習 振り返り 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。間違えた問題を解き直す。	
8	鈴木 悠理	【第 8 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 10（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	
9	鈴木 悠理	【第 9 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 10（後半）ペア・グループワーク、Unit 10（全体）小テスト 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。	
10	鈴木 悠理	【第 10 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 11（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	
11	鈴木 悠理	【第 11 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 11（後半）ペア・グループワーク、Unit 11（全体）小テスト 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。	

12	鈴木 悠理	【第 12 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 13（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。						
13	鈴木 悠理	【第 13 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 13（後半）ペア・グループワーク、Unit 13（全体）小テスト 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。						
14	鈴木 悠理	【第 14 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 14（全体）ペア・グループワーク、後期後半の振り返り 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。						
15	鈴木 悠理	【第 15 回】 予習：後期の学習を振り返り、分からない単語の調べ直しや間違えた問題の解き直しをする。 授業：後期の学習 振り返り 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。間違えた問題を解き直す。						
授業開始前学習	時事ニュースや文化（映画・音楽・ファッションなど）を通して英語に触れる機会を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	約 2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 7 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	木村博是、三原京『Answers to Everyday Questions 1 〈High-beginning〉身近な不思議を英語で学ぶ〈初級〉』（南雲堂） *前期と同じテキスト							
参考書	英和辞典・和英辞典は必須（電子辞典可）。その他は授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（授業参加態度、小テスト、課題提出など）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業の 3 分の 1 以上を欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。その他、公欠についてなどは第 1 回の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02367
科目名称	英語 B II	単位数	1.0 単位
英文名称	English B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中川 優一	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中川 優一	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	中川 優一	【第 1 回】 予習：Unit 8 (Doing Business Online, p.75-77) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 8 (Doing Business Online, p.75-77) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 1 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
2	中川 優一	【第 2 回】 予習：Unit 8 (Doing Business Online, p.78-81) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 8 (Doing Business Online, p.78-81) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 2 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
3	中川 優一	【第 3 回】 予習：Unit 9 (Housing, p.83-85) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 9 (Housing, p.83-85) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 3 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
4	中川 優一	【第 4 回】 予習：Unit 9 (Housing, p.86-91) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 9 (Housing, p.86-91) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 4 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
5	中川 優一	【第 5 回】 予習：Unit 10 (Making Deals & Contracts, p.93-95) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 10 (Making Deals & Contracts, p.93-95) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 5 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
6	中川 優一	【第 6 回】 予習：Unit 10 (Making Deals & Contracts, p.96-99) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 10 (Making Deals & Contracts, p.96-99) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 6 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
7	中川 優一	【第 7 回】 予習：第 1 回から第 6 回までの復習 授業：後期前半のまとめを行う。 復習：まとめでわからなかったところの確認。	
8	中川 優一	【第 8 回】 予習：Unit 11 (Public Service, p.101-103) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：後期前半のまとめのフィードバック及び Unit 11 (Public Service, p.101-103) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 8 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
9	中川 優一	【第 9 回】 予習：Unit 11 (Public Service, p.104-109) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 11 (Public Service, p.104-109) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 9 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
10	中川 優一	【第 10 回】 予習：Unit 12 (Banking & Finance, p.111-113) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 12 (Banking & Finance, p.111-113) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 10 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
11	中川 優一	【第 11 回】 予習：Unit 12 (Banking & Finance, p.114-117) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 12 (Banking & Finance, p.114-117) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 11 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	

12	中川 優一	【第12回】 予習：Unit 13 (At Seminars & Workshops, p.119-121)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 13 (At Seminars & Workshops, p.119-121)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第12回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
13	中川 優一	【第13回】 予習：Unit 13 (At Seminars & Workshops, p.122-125)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 13 (At Seminars & Workshops, p.122-125)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第13回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
14	中川 優一	【第14回】 予習：第8回から第13回までの復習。 授業：後期後半のまとめを行う。 復習：まとめでわからなかったところの確認。						
15	中川 優一	【第15回】 予習：一年間の学習の振り返り。 授業：一年を通して振り返り、及びフィードバック。 復習：今後に向けて必要な内容を振り返る。						
授業開始前学習	高校までの英単語、英文法をできるだけ見直しておくこと。映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持ち、興味がある文章や単語を、辞書で調べること。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。また、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	Illuminating the Path to the TOEIC L&R Test, (2022) Michiko Ueki, et al., 金星堂							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等） および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02368
科目名称	英語 B II	単位数	1.0 単位
英文名称	English B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	長谷 陸	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	長谷 陸	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	長谷 陸	【第 1 回】 予習： 前期の振り返り 授業： 授業の目標と評価の説明 復習： 教科書の進め方の確認	
2	長谷 陸	【第 2 回】 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 7 Culinary Diplomacy (p.45-48)] 復習： 内容と語彙の復習	
3	長谷 陸	【第 3 回】 予習： 議論の準備 授業： Unit 7 Culinary Diplomacy (p.48-51) 復習： 議論の整理	
4	長谷 陸	【第 4 回】 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 8 2nd- and 3rd-Generation Immigrants (p.51-54) 復習： 内容と語彙の復習	
5	長谷 陸	【第 5 回】 予習： 議論の準備 授業： Unit 8 2nd- and 3rd-Generation Immigrants (p.54-57) 復習： 議論の整理	
6	長谷 陸	【第 6 回】 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 9 Happily Single (p.57-60) 復習： 内容と語彙の復習	
7	長谷 陸	【第 7 回】 予習： 議論の準備 授業： Unit 9 Happily Single (p.60-63) 復習： 議論の整理	
8	長谷 陸	【第 8 回】 予習： 後期前半の復習 授業： 後期前半の振り返り 復習： 内容の再確認	
9	長谷 陸	【第 9 回】 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 10 The Magic of the Smartphone (p.63-66) 復習： 内容と語彙の復習	
10	長谷 陸	【第 10 回】 予習： 議論の準備 授業： Unit 10 The Magic of the Smartphone (p.66-69) 復習： 議論の整理	
11	長谷 陸	【第 11 回】 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 11 Mindfulness (p.69-72) 復習： 内容と語彙の復習	

12	長谷 陸	【第12回】 予習： 議論の準備 授業： Unit 11 Mindfulness (p.72-75) 復習： 議論の整理							
13	長谷 陸	【第13回】 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 12 Marriage (p.75-78) 復習： 内容と語彙の復習							
14	長谷 陸	【第14回】 予習： 議論の準備 授業： Unit 12 Marriage (p.78-80) 復習： 議論の整理							
15	長谷 陸	【第15回】 予習： 後期後半の復習 授業： 後期後半の振り返り 復習： 内容の再確認							
授業開始前学習		映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法		課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材		【 タイトル 】 Reading for Bright Future 明るい未来を拓く英語リーディング 【 ISBN 】 9784523179450							
参考書									
評価の基準と方法		平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等） および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		◎				△	○
関連科目									
その他		出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F02369
科目名称	英語 B II	単位数	1.0 単位
英文名称	English B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	池上 俊彦	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	池上 俊彦	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	本授業では、実践的英語力のさらなる育成のために、TOEIC 試験で一定の得点を取得できる英語力を身につけることを目指す。ただし、問題演習に終始するのではなく、英語の運用能力向上のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	池上 俊彦	毎時間ペアワーク等を適宜行う 【第 1 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 7: Chopin & Pot-au-feu ショパン：ジョルジュ・サンドお手製のポトフ(pp. 26-27) 復習：新出単語と文法項目の暗記	
2	池上 俊彦	【第 2 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 7: Chopin & Pot-au-feu ショパン：ジョルジュ・サンドお手製のポトフ(pp. 28-29) 復習：新出単語と文法項目の暗記	
3	池上 俊彦	【第 3 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 8: Dvorak & his Last Dinner ドヴォルザーク：家族と囲んだ最後の食卓(pp. 30-31) 復習：新出単語と文法項目の暗記	
4	池上 俊彦	【第 4 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 8: Dvorak & his Last Dinner ドヴォルザーク：家族と囲んだ最後の食卓(pp. 32-33) 復習：新出単語と文法項目の暗記	
5	池上 俊彦	【第 5 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 9: Elvis Presley & the Elvis Sandwich エルビスプレスリー：エルビス・サンドイッチはおふくろの味(pp. 34-35) 復習：新出単語と文法項目の暗記	
6	池上 俊彦	【第 6 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 9: Elvis Presley & the Elvis Sandwich エルビスプレスリー：エルビス・サンドイッチはおふくろの味(pp. 36-37) 復習：新出単語と文法項目の暗記	
7	池上 俊彦	【第 7 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 10: Aretha Franklin & Soul Food アレサ・フランクリン：ソウルの女王のソウルフード(pp. 38-39)、課題提出 復習：新出単語と文法項目の暗記	
8	池上 俊彦	【第 8 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：後期前半の振り返り 復習：新出単語と文法項目の暗記	
9	池上 俊彦	【第 9 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 10: Aretha Franklin & Soul Food アレサ・フランクリン：ソウルの女王のソウルフード(pp. 40-41)、提出課題のおさらい（グループワーク） 復習：新出単語と文法項目の暗記	

10	池上 俊彦	【第 10 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 11: Seiji Ozawa & Nostalgic Nibbles 小澤征爾：海外にいと恋しくなる和食(pp. 42-43) 復習：新出単語と文法項目の暗記						
11	池上 俊彦	【第 11 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 11: Seiji Ozawa & Nostalgic Nibbles 小澤征爾：海外にいと恋しくなる和食(pp. 44-45) 復習：新出単語と文法項目の暗記						
12	池上 俊彦	【第 12 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 12: Bob Dylan & Country Pie ボブ・ディラン：答えはパイの中(pp. 46-47) 復習：新出単語と文法項目の暗記						
13	池上 俊彦	【第 13 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 12: Bob Dylan & Country Pie ボブ・ディラン：答えはパイの中(pp. 48-49)、課題提出 復習：新出単語と文法項目の暗記						
14	池上 俊彦	【第 14 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 13: Taylor Swift & her Shake Shake Shake テイラー・スウィフト：歌姫のお気に入りにはシェイク・シェイク・シェイク(pp. 50-51) 復習：新出単語と文法項目の暗記						
15	池上 俊彦	【第 15 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：後期後半の振り返り、提出課題のおさらい（グループワーク） 復習：新出単語と文法項目の暗記						
授業開始前学習	英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。教科書のリーディングセクションの音読。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業 7 回目、13 回目に提出する課題については、2 週間後（授業 9、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	堀越ウエンディ、松井真帆、本山ふじ子 『音楽家たちが奏でる食文化 At the Musician's Table : Food and Music』朝日出版社、2024 年。（ISBN: 978-4-255-15722-1） 適宜プリント							
参考書								
評価の基準と方法	授業態度と課題提出 40% テスト 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02371
科目名称	英語 B II	単位数	1.0 単位
英文名称	English B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	本村 万喜子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	本村 万喜子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	本村 万喜子	※ペアワークやディスカッションを含む回がある。 【第 1 回】 予習：これまでの英語学習を振り返る 授業：オリエンテーション（授業のすすめ方について）、Unit8 文法編：(pp.37-40) 復習：課題に取り組む	
2	本村 万喜子	【第 2 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit8 リーディング、リスニング(37-40) グループワーク 復習：課題に取り組む	
3	本村 万喜子	【第 3 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit9 文法編：受動態(pp.41-44) 復習：Unit9 の課題に取り組む	
4	本村 万喜子	【第 4 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit9 リーディング、リスニング(pp.41-44) グループワーク 復習：課題に取り組む	
5	本村 万喜子	【第 5 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit10 文法編：前置詞(pp.45-48) 復習：課題に取り組む	
6	本村 万喜子	【第 6 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit10 リーディング、リスニング(pp.45-48) グループワーク 復習：課題に取り組む	
7	本村 万喜子	【第 7 回】 予習：Unit8-10 の内容を確認する 授業：Unit8-10 の振り返り 復習：後期前半の学習を振り返り、後期後半の学習計画を立てる	
8	本村 万喜子	【第 8 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit11 文法編：接続詞(pp.49-52) 復習：課題に取り組む	
9	本村 万喜子	【第 9 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit11 リーディング、リスニング(pp.49-52) グループワーク 復習：課題に取り組む	
10	本村 万喜子	【第 10 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit12 文法編：比較(pp.53-56) 復習：課題に取り組む	
11	本村 万喜子	【第 11 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit12 リーディング、リスニング(pp.53-56) グループワーク 復習：課題に取り組む	

12	本村 万喜子	【第 12 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit13 文法編：関係代名詞(pp.57-60) 復習：課題に取り組む						
13	本村 万喜子	【第 13 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit13 リーディング、リスニング(pp.57-60) グループワーク 復習：課題に取り組む						
14	本村 万喜子	【第 14 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit14(pp.61-64) 復習：課題に取り組む						
15	本村 万喜子	【第 15 回】 予習：Unit11-14 の内容を確認する 授業：Unit11-14 の振り返り 復習：苦手な学習内容等、自分の課題を見つけ、後期の学習を分析する						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	小テスト、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	JACET リスニング研究会 著『Power-Up College English <Intro>パワーアップ・イングリッシュ<入門編>』（南雲堂）							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F02372
科目名称	英語 B II	単位数	1.0 単位
英文名称	English B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り理解できる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	薬師 英子	【第 1 回】 予習 : 自分の英語学習を振り返る 授業 : ガイダンス (授業についての説明や事前指導) Lesson 9 ① : Mix-up (P30-32) 導入 グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る	
2	薬師 英子	【第 2 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Lesson 9 ② : Mix-up (P30-32) 復習 : 授業中の活動を振り返る	
3	薬師 英子	【第 3 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Lesson 10 ① : Thank you for not swearing (P33-35) グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る	
4	薬師 英子	【第 4 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Lesson 10 ② : Thank you for not swearing (P33-35) Grammar 復習 : 授業中の活動を振り返る	
5	薬師 英子	【第 5 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Lesson 11 ① Non-violent Language (P36-37) グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る	
6	薬師 英子	【第 6 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Lesson 11 ② Non-violent Language (P36-37) Grammar 復習 : 授業中の活動を振り返る	
7	薬師 英子	【第 7 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Handout material ① これまで学んできた Reading 問題と Grammar についてのまとめ提出。 復習 : 授業中の活動を振り返る	
8	薬師 英子	【第 8 回】 予習 : ここまでの授業を総復習する 授業 : 【第 1 回】～【第 7 回】の学習のまとめ 復習 : まとめを振り返る	
9	薬師 英子	【第 9 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Lesson 12 : Loans and grants (P39-41) これまで学んできた Lesson 9~12(pp.30~41) についてのまとめの講評 復習 : 授業中の活動を振り返る	
10	薬師 英子	【第 10 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Lesson 13 ① : Gun Swap (P42-44) グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る	
11	薬師 英子	【第 11 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Lesson 13 ② : Gun Swap (P42-44) Grammar	

		復習 : 授業中の活動を振り返る						
12	薬師 英子	【第 12 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Lesson 14 ① : Reverse brain drain (P45-47) 復習 : 授業中の活動を振り返る						
13	薬師 英子	【第 13 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Lesson 14 ② : Reverse brain drain (P45-47) Grammar これまで学んできた Reading 問題と Grammar についてのまとめ提出。 復習 : 授業中の活動を振り返る						
14	薬師 英子	【第 14 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Handout material ② 復習 : 授業中の活動を振り返る						
15	薬師 英子	【第 15 回】 予習 : 今までの授業で学んだことを振り返る 授業 : 【第 8 回】～【第 14 回】の学習のまとめ これまで学んできた Reading 問題と Grammar についてのまとめの講評。 復習 : 自分の課題を見つけ対策を立てる						
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	"Simply Listening ～American Life Today～"、小島義朗、南雲堂							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻、早退は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯電話使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02411
科目名称	英語 BⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	池上 俊彦	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	池上 俊彦	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	本授業では、実践的英語力の育成のために、TOEIC 試験で一定の得点を取得できる英語力を身につけることを目指す。ただし、問題演習に終始するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	池上 俊彦	毎時間ペアワーク等を適宜行う 【第 1 回】 予習：シラバスを確認しておく 授業：Introduction 復習：新出単語と文法項目の暗記	
2	池上 俊彦	【第 2 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Johannes Vermeer & The Milkmaid pp. 2-3 復習：新出単語と文法項目の暗記	
3	池上 俊彦	【第 3 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Johannes Vermeer & The Milkmaid pp. 4-5 復習：新出単語と文法項目の暗記	
4	池上 俊彦	【第 4 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Jean-Francois Millet & Woman Baking Bread pp. 6-7 復習：新出単語と文法項目の暗記	
5	池上 俊彦	【第 5 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Jean-Francois Millet & Woman Baking Bread pp. 8-9 復習：新出単語と文法項目の暗記	
6	池上 俊彦	【第 6 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Vincent van Gogh & The Potato Eaters pp. 10-11 復習：新出単語と文法項目の暗記	
7	池上 俊彦	【第 7 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Vincent van Gogh & The Potato Eaters pp. 12-13、課題提出 復習：新出単語と文法項目の暗記	
8	池上 俊彦	【第 8 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：前期前半の振り返り 復習：新出単語と文法項目の暗記	
9	池上 俊彦	【第 9 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Paul Gauguin & Where Do We Come From? What Are We? Where Are We Going? pp. 14-15、提出課題のおさらい（グループワーク） 復習：新出単語と文法項目の暗記	
10	池上 俊彦	【第 10 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Paul Gauguin & Where Do We Come From? What Are We? Where Are We Going? pp. 16-17 復習：新出単語と文法項目の暗記	

11	池上 俊彦	【第 11 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Michelangelo Merisi da Caravaggio & Supper at Emmaus pp. 18-19 復習：新出単語と文法項目の暗記						
12	池上 俊彦	【第 12 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Michelangelo Merisi da Caravaggio & Supper at Emmaus pp. 20-21 復習：新出単語と文法項目の暗記						
13	池上 俊彦	【第 13 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Jean-Baptiste Simeon Chardin & The Prayer before Meal pp. 22-23、課題提出 復習：新出単語と文法項目の暗記						
14	池上 俊彦	【第 14 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Jean-Baptiste Simeon Chardin & The Prayer before Meal pp. 24-25 復習：新出単語と文法項目の暗記						
15	池上 俊彦	【第 15 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：前期後半の振り返り、提出課題のおさらい（グループワーク） 復習：新出単語と文法項目の暗記						
授業開始前学習	英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を辞書で調べる。教科書のリーディングセクションの音読。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業 7 回目、13 回目に提出する課題については、2 週間後（授業 9、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Josh Norman、松井真帆、本山ふじ子 『A View From Painters' Palettes : Food And Culture 絵画を彩る食文化』朝日出版社、2010 年。(ISBN: 9784255156446) 適宜プリント							
参考書								
評価の基準と方法	授業態度と課題提出 40% テスト 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02412
科目名称	英語 BⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中川 優一	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中川 優一	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を複数回にわたり聞き取りをすると理解ができる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	中川 優一	【第 1 回】 予習：今まで学習した英語（特に単語と英文法）を見直しておく。 授業：オリエンテーション（今後の授業方針について、成績評価基準の説明等） 復習：今後の学習の確認	
2	中川 優一	【第 2 回】 予習：Unit 1 (Nicknames: Is it Hazing?, p.9-10, 13-14)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 1 (Nicknames: Is it Hazing?, p.9-10, 13-14) およびそれに付随したグループワーク。 復習：【第 2 回】で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
3	中川 優一	【第 3 回】 予習：Unit 1 (Nicknames: Is it Hazing?, p.10-12)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 1 (Nicknames: Is it Hazing?, p.10-12)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 3 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
4	中川 優一	【第 4 回】 予習：Unit 2 (The Global Shift to Renewable Energy, p.15-16, 19-20)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 2 (The Global Shift to Renewable Energy, p.15-16, 19-20) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 4 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
5	中川 優一	【第 5 回】 予習：Unit 2 (The Global Shift to Renewable Energy, p.16-18)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 2 (The Global Shift to Renewable Energy, p.16-18)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 5 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
6	中川 優一	【第 6 回】 予習：Unit 3 (It's (Not) an Equal World After All, p.21-22, 25-26)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 3 (It's (Not) an Equal World After All, p.21-22, 25-26)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 6 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
7	中川 優一	【第 7 回】 予習：Unit 3 (It's (Not) an Equal World After All, p.22-24)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 3 (It's (Not) an Equal World After All, p.22-24)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 7 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
8	中川 優一	【第 8 回】 予習：第 1 回から第 7 回までの復習 授業：前期前半のまとめを行う。 復習：まとめでわからなかったところの確認。	
9	中川 優一	【第 9 回】 予習：Unit 4 (The Search for a Perfect Partner, p.27-28, 31-32)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：前期前半のまとめのフィードバック及び Unit 4 (The Search for a Perfect Partner, p.27-28, 31-32) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 9 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
10	中川 優一	【第 10 回】 予習：Unit 4 (The Search for a Perfect Partner, p.28-30)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 4 (The Search for a Perfect Partner, p.28-30)およびそれに付随したグループワーク。	

		復習：第 10 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
11	中川 優一	【第 11 回】 予習：Unit 5 (Bike Helmets: Are They Safe?, p.33-34, 37-38)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 5 (Bike Helmets: Are They Safe?, p.33-34, 37-38)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 11 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
12	中川 優一	【第 12 回】 予習：Unit 5 (Bike Helmets: Are They Safe?, p.34-36)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 5 (Bike Helmets: Are They Safe?, p.34-36)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 12 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
13	中川 優一	【第 13 回】 予習：Unit 6 (Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry, p.39-40, 43-44)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 6 (Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry, p.39-40, 43-44)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 13 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
14	中川 優一	【第 14 回】 予習：第 9 回から第 13 回までの復習 授業：前期後半のまとめを行う。 復習：まとめでわからなかったところの確認。						
15	中川 優一	【第 15 回】 予習：Unit 6 (Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry, p.40-42) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：前期後半のまとめのフィードバック及び Unit 6 (Green Fabrics: Toward a Sustainable Fashion Industry, p.40-42)およびそれに付随したグループワーク。 復習：後期に向けて、前期でわからなかったところの再確認。						
授業開始前学習	高校までの英単語、英文法をできるだけ見直しておくこと。映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持ち、興味がある文章や単語を、辞書で調べること。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業内で小テストを行う。また、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	INTEGRITY Advanced: Vitalize Your English Studies with Authentic Videos, 2023, Takeuchi, et al., 金星堂							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02413
科目名称	英語 BⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	2 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし同時に、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	薬師 英子	【第 1 回】 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：ガイダンス：（授業についての説明や事前指導） Pre-Test（前年度の学習を振り返る） 復習：授業の活動を振り返る	
2	薬師 英子	【第 2 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 1 : The Amazing Flying Chair (P1-6) 目的語と補語を学ぶ。グループワーク 復習：授業の活動を振り返る	
3	薬師 英子	【第 3 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 2 : Dropping Out of High School (P7-12) SVOO を学ぶ。グループワーク 復習：授業の活動を振り返る	
4	薬師 英子	【第 4 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 3 : Bad Medical Advice? (P13-18) SVOC グループワーク 復習：授業の活動を振り返る	
5	薬師 英子	【第 5 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 4 : The Colonel's Bad Luck (P19-24) 単文・複文（1）を学ぶ。グループワーク 復習：授業の活動を振り返る	
6	薬師 英子	【第 6 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 5 ①: A World Without Birds (P25-30) 単文・複文（2） グループワーク 復習：授業の活動を振り返る	
7	薬師 英子	【第 7 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 5 ②: A World Without Birds (P25-30) 単文・複文（2）を学ぶ。 これまで学んできた Reading & Grammar の問題についてのまとめの提出 復習：授業の活動を振り返る	
8	薬師 英子	【第 8 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：【第 1 回】～【第 7 回】の学習のまとめ 復習：授業の活動を振り返る	
9	薬師 英子	【第 9 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 6 ①: The Great Invention (P31-36) 補語：名詞節 that の文法を学ぶ。 これまで学んできた TOEIC の問題についてのまとめの講評。 復習：授業の活動を振り返る	
10	薬師 英子	【第 10 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 6 ②: The Great Invention (P31-36) 補語：名詞節 that の文法を学ぶ。 復習：授業の活動を振り返る	
11	薬師 英子	【第 11 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 7 ①: Garlic, Wonder Root (P37-42) 接続詞 グループワーク	

		復習：授業の活動を振り返る							
12	薬師 英子	【第 12 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 7 ②: Garlic, Wonder Root (P37-42) 接続詞を学ぶ。 復習：授業の活動を振り返る							
13	薬師 英子	【第 13 回】 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 8 ①: John Chapman, a Strange, but Heroic Man (P43-48) 修飾語 (1) を学ぶ。 グループワーク これまで学んできた Reading & Grammar の問題についてのまとめの提出 復習：授業の活動を振り返る							
14	薬師 英子	【第 14 回】 予習：教科書の該当箇所の予習をする 授業：Unit 8 ②: John Chapman, a Strange, but Heroic Man (P43-48) 修飾語 (1) を学ぶ。 復習：授業の活動を振り返る							
15	薬師 英子	【第 15 回】 予習：教科書の該当箇所の予習をする 授業：【第 8 回】～【第 14 回】の学習のまとめ これまで学んできた Reading & Grammar の問題についてのまとめの講評。 復習：授業の活動を振り返る							
授業開始前学習		学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法		毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材		"Premium Reader -Pre-intermediate-" Robert Juppe、馬場 幸雄、金星堂、2015							
参考書		授業中に紹介する。							
評価の基準と方法		試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		◎				△	○
関連科目									
その他		出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻、早退は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯電話使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-22	授業コード	F02414
科目名称	英語 BⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	鈴木 悠理	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 悠理	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B I II では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、ペア・グループワークやディスカッション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすと理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	鈴木 悠理	【第 1 回】 予習：これまでの英語学習を振り返る。シラバスを確認する。 授業：ガイダンス（授業概要、到達目標、授業の進め方について） 復習：授業で説明を受けたガイダンスをもとに、前期の目標を立てる。テキストと辞書（電子辞書可）を用意する。	
2	鈴木 悠理	【第 2 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 1（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	
3	鈴木 悠理	【第 3 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 1（後半）ペア・グループワーク、Unit 1（全体）小テスト 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。	
4	鈴木 悠理	【第 4 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 2（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	
5	鈴木 悠理	【第 5 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 2（後半）ペア・グループワーク、Unit 2（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	
6	鈴木 悠理	【第 6 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 3（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	
7	鈴木 悠理	【第 7 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 3（後半）ペア・グループワーク、Unit 3（全体）小テスト、前期前半の振り返り 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。	
8	鈴木 悠理	【第 8 回】 予習：Unit 1～3 を振り返り、分からない単語の調べ直しや間違えた問題の解き直しをする。 授業：Unit 1～3 振り返り 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。間違えた問題を解き直す。	
9	鈴木 悠理	【第 9 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 4（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	
10	鈴木 悠理	【第 10 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 4（後半）ペア・グループワーク、Unit 4（全体）小テスト 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。	
11	鈴木 悠理	【第 11 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 5（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	

12	鈴木 悠理	【第 12 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 5（後半）ペア・グループワーク、Unit 5（全体）小テスト 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。						
13	鈴木 悠理	【第 13 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 6（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。						
14	鈴木 悠理	【第 14 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 6（後半）ペア・グループワーク、Unit 6（全体）小テスト、前期後半の振り返り 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。						
15	鈴木 悠理	【第 15 回】 予習：前期の学習を振り返り、分からない単語の調べ直しや間違えた問題の解き直しをする。 授業：前期の学習 振り返り 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。間違えた問題を解き直す。						
授業開始前学習	時事ニュースや文化（映画・音楽・ファッションなど）を通して英語に触れる機会を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	約 2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 8 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Arnold Arano、三原京、巴波義典、木村博『Answers to Everyday Questions 3<Intermediate>身近な不思議を英語で学ぶ<中級>』（南雲堂）							
参考書	英和辞典・和英辞典は必須（電子辞典可）。その他は授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（授業参加態度、小テスト、課題提出など）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業の 3 分の 1 以上を欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。その他、公欠についてなどは第 1 回の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02415
科目名称	英語 BⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	本村 万喜子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	本村 万喜子	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすと理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	本村 万喜子	※ペアワークやディスカッションを含む回がある。 【第 1 回】 予習：これまでの英語学習を振り返る 授業：オリエンテーション（授業のすすめ方について）、Unit1 文法編：4 つの品詞とその働き/前置詞(pp.2-7) 復習：課題に取り組む	
2	本村 万喜子	【第 2 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit1 リーディング(pp.2-7) グループワーク 復習：課題に取り組む	
3	本村 万喜子	【第 3 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit2 文法編：基本文型(1)(pp.8-13) 復習：課題に取り組む	
4	本村 万喜子	【第 4 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit2 リーディング(pp.8-13) グループワーク 復習：課題に取り組む	
5	本村 万喜子	【第 5 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit3 文法編：基本文型(2)(pp.14-19) 復習：課題に取り組む	
6	本村 万喜子	【第 6 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit3 リーディング(pp.14-19) グループワーク 復習：課題に取り組む	
7	本村 万喜子	【第 7 回】 予習：Unit1～3 の内容を確認する 授業：Unit1～3 の振り返り 復習：前期前半の学習を振り返り、前期後半の学習計画を立てる	
8	本村 万喜子	【第 8 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit4 文法編：疑問文/付加疑問文(pp.20-25) 復習：課題に取り組む	
9	本村 万喜子	【第 9 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit4 リーディング(pp.20-25) グループワーク 復習：課題に取り組む	
10	本村 万喜子	【第 10 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit5 文法編：時制(1)(pp.26-31) 復習：課題に取り組む	
11	本村 万喜子	【第 11 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit5 リーディング(pp.26-31) グループワーク 復習：課題に取り組む	

12	本村 万喜子	【第 12 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit6 文法編：時制(2)(pp.32-37) 復習：課題に取り組む						
13	本村 万喜子	【第 13 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit6 リーディング(pp.32-37) グループワーク 復習：課題に取り組む						
14	本村 万喜子	【第 14 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit7(pp.38-43) 復習：課題に取り組む						
15	本村 万喜子	【第 15 回】 予習：Unit4-7 の内容を確認する 授業：Unit4-7 の振り返り 復習：苦手な学習内容等、自分の課題を見つけ、前期の学習を分析する						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	小テスト、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	川田 伸道 著『続・世界の常識：違いを知ったら世界も変わる！ Learn the Differences, Broaden Your World! - Short Readings and Basic Grammar for Cultural Literacy-』（朝日出版社）							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02416
科目名称	英語 BⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	長谷 陸	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	長谷 陸	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすと理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	長谷 陸	【第 1 回】 予習 : これまでの英語学習を振り返る。シラバスを確認する。 授業 : ガイダンス(授業の進め方の説明、評価の基準と方法など) 復習 : 授業の内容を振り返る。	
2	長谷 陸	【第 2 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit1 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
3	長谷 陸	【第 3 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit2 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
4	長谷 陸	【第 4 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit3 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
5	長谷 陸	【第 5 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit4 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
6	長谷 陸	【第 6 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit5 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
7	長谷 陸	【第 7 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit6 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
8	長谷 陸	【第 8 回】 予習 : 第 2 ～7 回の授業を振り返る。 授業 : 前期前半の授業のまとめ 復習 : 授業の内容を振り返る。	
9	長谷 陸	【第 9 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit7 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
10	長谷 陸	【第 10 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit8 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
11	長谷 陸	【第 11 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit9 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	

12	長谷 陸	【第 12 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit10 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。						
13	長谷 陸	【第 13 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit11 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。						
14	長谷 陸	【第 14 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit12 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。						
15	長谷 陸	【第 15 回】 予習 : 第 9～14 回の授業を振り返る。 授業 : 前期後半の授業のまとめ 復習 : 授業の内容を振り返る。						
授業開始前学習	国際的なニュースや自分の興味のある文化(映画、音楽、スポーツなど)を通して英語に触れること。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業の冒頭で小テストを行い、翌週の返却時に解説を行う。第 8 回、第 15 回の授業で振り返りを行う。							
テキスト・教材	Robert Hickling、臼倉美里著『Reading Steps ステップアップ 英文読解と基本文法』(金星堂)							
参考書	英和辞典、和英辞典(電子辞書可)							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02417
科目名称	英語 BⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	佐々木 千恵	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐々木 千恵	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。←これを基本にして、必要に応じて加筆してください。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすと理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。そのための語彙を増やす。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	佐々木 千恵	【第 1 回】 予習 : シラバスとテキスト (既に持っていれば) を読んで全体の流れを把握しておく。 授業 : オリエンテーション (授業のねらい、授業の進め方等について)。 復習 : とくにありません。	
2	佐々木 千恵	【第 2 回】 予習 : Lesson1 p6 の文章を音読し、p6-8 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : Lesson1 p6 を CD で聞き、音読。p7、8 の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
3	佐々木 千恵	【第 3 回】 予習 : Lesson1 p9-11 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson1 9-10 の exercise をやる。p11 の Activities でペアワーク、ライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
4	佐々木 千恵	【第 4 回】 予習 : Lesson2 p12 の文章を音読し、p12-14 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson2 p12 を CD で聞き、音読。p13、14 の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
5	佐々木 千恵	【第 5 回】 予習 : Lesson2 p15-17 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson2 p15-16 の exercise をやる。p17 の Activities でペアワーク、ライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
6	佐々木 千恵	【第 6 回】 予習 : Lesson3 p18 を音読し、p18-20 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson3p18 を CD で聞き、音読。p19、20 の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
7	佐々木 千恵	【第 7 回】 予習 : Lesson3 p21-23 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト返却・解説。p21-22 の exercise をやる。p23 の Activities でペアワーク、ライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
8	佐々木 千恵	【第 8 回】 予習 : ここまでの授業を総復習する。 授業 : 前期前半の振り返り。 復習 : 自分の弱点を見極めて重点的に復習をする。	
9	佐々木 千恵	【第 9 回】 予習 : Lesson4 p24 の文章を音読し、p24-26 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : Lesson4 p24 を CD で聞き、音読。p25、26 の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。	

		復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。							
10	佐々木 千恵	【第 10 回】 予習 : Lesson4 p27-29 の知らない単語は意味調べておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson4 p27-28 の exercise をやる。p29 の Activities でペアワーク、ライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。							
11	佐々木 千恵	【第 11 回】 予習 : Lesson5 p30 を音読し、p30-31 の知らない単語は意味調べておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson5p30 を CD で聞き、音読。p31、32 の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。							
12	佐々木 千恵	【第 12 回】 予習 : Lesson5 p33-35 の知らない単語は意味調べておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson5 p33-34 の exercise をやる。p35 の Activities でペアワーク、ライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。							
13	佐々木 千恵	【第 13 回】 予習 : Lesson6 p36 の文章を音読し、p36-38 の知らない単語は意味調べておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson6 p36 を CD で聞き、音読。p37、38 の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。							
14	佐々木 千恵	【第 14 回】 予習 : Lesson p39-41 の知らない単語は意味調べておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson6 p39-40 の exercise をやる。p41 の Activities でペアワーク、ライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。							
15	佐々木 千恵	【第 15 回】 予習 : 今まで授業で学んだことを振り返る 授業 : 前期後半の振り返り。 復習 : 自分の課題を見つけ対策を立てる							
授業開始前学習		映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法		授業中に予習の確認、および復習のための小テストを適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材		『Make It Simple』森田和子他 三修社							
参考書									
評価の基準と方法		平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		◎				△	○
関連科目									
その他		出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-22	授業コード	F02418
科目名称	英語 BⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	江連 成美	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	江連 成美	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすと理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	江連 成美	【第 1 回】 予習 : 指定教科書を購入し、全体の流れを把握する 授業 : オリエンテーション (授業のねらい、授業の進め方について) 復習 : 授業で説明した内容を確認する	
2	江連 成美	【第 2 回】Area 1: Europe (1) 予習 : p.8~9 の問題に解答する 授業 : 予習分の解答確認 (グループワーク) 、p.10~11 読解 復習 : p.8~11 のノート作成、単語・表現の復習	
3	江連 成美	【第 3 回】Area 1: Europe (2) 予習 : p.12 を読み、わからない単語や表現は調べておく 授業 : p.12~13 の読解 (グループワーク) 復習 : p.12~13 のノート作成、単語・表現の復習	
4	江連 成美	【第 4 回】Area 2: Africa (1) 予習 : p.14~15 の問題に解答する 授業 : Area 1 小テスト、予習分の解答確認 (グループワーク) 、p. 16~17 読解 復習 : p.14~17 のノート作成、単語・表現の復習	
5	江連 成美	【第 5 回】Area 2: Africa (2) 予習 : p.18 を読み、わからない単語や表現は調べておく 授業 : p.18~19 の読解 (グループワーク) 復習 : p.18~19 のノート作成、単語・表現の復習	
6	江連 成美	【第 6 回】Area 3: The Middle East (1) 予習 : p.20~21 の問題に解答する 授業 : Area 2 小テスト、予習分の解答確認 (グループワーク) 、p. 22~23 読解 復習 : p.20~23 のノート作成、単語・表現の復習	
7	江連 成美	【第 7 回】Area 3: The Middle East (2) 予習 : p.22 を読み、わからない単語や表現は調べておく 授業 : p.22~23 の読解 (グループワーク) 復習 : p.22~23 のノート作成、単語・表現の復習	
8	江連 成美	【第 8 回】 予習 : Area 1~3 で学習したこと、自分でまとめたノートの内容を再度確認 授業 : 前期前半の振り返り 復習 : 振り返りで理解できていなかった部分をノートにまとめ、理解が不十分な点をクリアにする	
9	江連 成美	【第 9 回】Area 4: South Asia (1) 予習 : p.26~27 の問題に解答する 授業 : 予習分の解答確認 (グループワーク) 、p. 28~29 読解 復習 : p.26~29 のノート作成、単語・表現の復習	
10	江連 成美	【第 10 回】Area 4: South Asia (2) 予習 : p.30 を読み、わからない単語や表現は調べておく 授業 : p.30~31 の読解 (グループワーク) 復習 : p.30~31 のノート作成、単語・表現の復習	
11	江連 成美	【第 11 回】Area 5: Russia and its Neighboring Countries (1) 予習 : p.32~33 の問題に解答する 授業 : Area 4 の小テスト、予習分の解答確認 (グループワーク) 、p. 34~35 読解 復習 : p.32~35 のノート作成、単語・表現の復習	

12	江連 成美	【第12回】Area 5: Russia and its Neighboring Countries (2) 予習 : p.36 を読み、わからない単語や表現は調べておく 授業 : p.36~37 の読解 (グループワーク) 復習 : p.36~37 のノート作成、単語・表現の復習						
13	江連 成美	【第13回】Area 6: East Asia (1) 予習 : p.38~39 の問題に解答する 授業 : Area 5 の小テスト、予習分の解答確認 (グループワーク)、p. 40~41 読解 復習 : p.38~41 のノート作成、単語・表現の復習						
14	江連 成美	【第14回】Area 6: East Asia (2) 予習 : p.42 を読み、わからない単語や表現は調べておく 授業 : p.42~43 の読解 (グループワーク) 復習 : p.42~43 のノート作成、単語・表現の復習						
15	江連 成美	【第15回】 予習 : Area 1~3 で学習したこと、自分でまとめたノートの内容を再度確認 授業 : 前期後半の振り返り 復習 : 復習課題で理解できていなかった部分をノートにまとめ、理解が不十分な点をクリアにし、後期に備える						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	各 Area の学習終了毎に、その次の授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	『CLIL 英語と地図で学ぶ世界事情(改訂版)』 笹島茂・仲谷都 他 著 (三修社) 2023							
参考書	特になし。							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。また、シラバスは、新型コロナウイルス感染状況や履修者の英語力に合わせて、進度や内容を変更する場合がある。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02419
科目名称	英語 BⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	遠藤 玲奈	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	遠藤 玲奈	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 BⅢでは、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすと理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	遠藤 玲奈	【第 1 回】 予習：シラバスを読んでおく。テキストと辞書（電子辞書可）を用意する 授業：オリエンテーション（授業概要、到達目標、授業の進め方について）、グループワーク 復習：授業中に説明を受けた授業概要、到達目標、授業の進め方をもとに、今学期の目標を立てる	
2	遠藤 玲奈	【第 2 回】 予習：Unit 1 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 1（前半：pp. 9-11）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る	
3	遠藤 玲奈	【第 3 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 1（後半：pp. 12-14）グループワーク、Unit 1（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る	
4	遠藤 玲奈	【第 4 回】 予習：Unit 2 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 2（前半：pp. 15-17）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする	
5	遠藤 玲奈	【第 5 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 2（後半：pp. 18-20）グループワーク、Unit 2（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る	
6	遠藤 玲奈	【第 6 回】 予習：Unit 3 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 3（前半：pp. 21-23）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする	
7	遠藤 玲奈	【第 7 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う前期前半の振り返りの準備をする 授業：Unit 3（後半：pp. 24-26）グループワーク、前期前半の振り返り 復習：授業中の活動を振り返る	
8	遠藤 玲奈	【第 8 回】 予習：Unit 4 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 4（前半：pp. 27-29）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る	
9	遠藤 玲奈	【第 9 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 4（後半：pp. 30-32）グループワーク、Unit 4（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る	
10	遠藤 玲奈	【第 10 回】 予習：Unit 5 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 5（前半：pp. 33-35）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする	
11	遠藤 玲奈	【第 11 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 5（後半：pp. 36-38）グループワーク、Unit 5（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る	

12	遠藤 玲奈	【第12回】 予習：Unit 6 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 6（前半：pp. 39-41）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする						
13	遠藤 玲奈	【第13回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 6（後半：pp. 42-44）グループワーク、Unit 6（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る						
14	遠藤 玲奈	【第14回】 予習：Unit 7 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 7（前半：pp. 45-47）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする						
15	遠藤 玲奈	【第15回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う前期後半の振り返りの準備をする 授業：Unit 7（後半：pp. 48-50）グループワーク、前期後半の振り返り 復習：自分の課題を見つけ対策を立てる						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。また、学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストの準備を必ず行うこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	2週に1回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 7 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Tatsuki Sato, Ayed Hasian, Shunsuke Uchino『Get the Signal!』（金星堂）							
参考書	授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02420
科目名称	英語 BⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	川上 真巳子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	川上 真巳子	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	川上 真巳子	※ペアワークやグループワークなどを適宜行う。 【第 1 回】予習：これまでの英語学習を振り返る。 授業：オリエンテーション（課題解決型学習のための自習の重要性と授業内容について） Getting to Know You Activities 復習：今後の学習の確認	
2	川上 真巳子	【第 2 回】 予習： Unit 1 該当箇所を読む。 授業： Unit 1 Live together p.13. ペアワーク p.16. Be a global citizen 復習： 既習箇所を読み直す。	
3	川上 真巳子	【第 3 回】 予習： Unit 1 該当箇所を読む。 授業： Unit 1 Be a global citizen p.16 復習： 既習箇所を読み直す。復習テスト準備	
4	川上 真巳子	【第 4 回】 予習： Unit 2 該当箇所を読む。 授業： Unit 2 Create inclusive society p.19. ペアワーク The Ainu people and language p.22. 復習： 既習箇所を読み直す。	
5	川上 真巳子	【第 5 回】 予習： Unit 2 該当箇所を読む。 授業： Unit 2 The Ainu people and language p.22. 復習： 既習箇所を読み直す。復習テスト準備	
6	川上 真巳子	【第 6 回】 予習： Unit 3 該当箇所を読む。 授業： Unit 3 Think about food problems p.25. ペアワーク Palm oil and our eating habits p.28. 復習： 既習箇所を読み直す。	
7	川上 真巳子	【第 7 回】 予習： Unit 3 該当箇所を読む。 授業： Unit 3 Palm oil and our eating habits p.28. 復習： 既習箇所を読み直す。復習テスト準備	
8	川上 真巳子	【第 8 回】 予習： Unit 1-3 の見直し 授業： 前期前半の振り返り 復習： 授業中に学んだ項目の確認	
9	川上 真巳子	【第 9 回】 予習： Unit 4 該当箇所を読む。 授業： Unit 4 Ensure quality education for all p.31. ペアワーク Educational problems in Africa p.34. 復習： 既習箇所を読み直す。	
10	川上 真巳子	【第 10 回】 予習： Unit 4 該当箇所を読む。 授業： Unit 4 Educational problems in Africa p.34. 復習： 既習箇所を読み直す。復習テスト準備	

11	川上 真巳子	【第 11 回】 予習 Unit 5 該当箇所を読む。 授業： Unit 5 Ensure clean water and safe toilets p.37. ペアワーク The problems of toilets in the world p.40. 復習： 既習箇所を読み直す。						
12	川上 真巳子	【第 12 回】 予習：Unit 5 該当箇所を読む。 授業：Unit 5 The problems of toilets in the world p.40. 復習： 既習箇所を読み直す。復習テスト準備						
13	川上 真巳子	【第 13 回】 予習：自分のグループで決めたテーマについて調べる。 授業： グループワーク 復習： 発表準備						
14	川上 真巳子	【第 14 回】 予習：発表準備 授業：グループ発表 復習： Reflection paper 準備						
15	川上 真巳子	【第 15 回】 予習：Unit 4-5 の見直し 授業：前期後半の振り返り 復習：授業中に学んだ項目の確認						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。自分の身の回りの社会問題に興味を持つ。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	各課終了後、次の授業冒頭で復習テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	"CLIL Primary SDGs" Shigeru Sasajima 他, SANSHUSHA							
参考書	英和辞書、英英辞書							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02421
科目名称	英語 BⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	境 奈津希	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	境 奈津希	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすと理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	境 奈津希	【第 1 回】 予習：教科書 p. 8 の確認 授業：be 動詞（教科書 p.8-9）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習（教科書 p.8-9）	
2	境 奈津希	【第 2 回】 予習：教科書 p. 9 の確認 授業：現在形（教科書 p.9-10）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習（教科書 p.9-10）	
3	境 奈津希	【第 3 回】 予習：教科書 p. 12 の確認 授業：過去形（教科書 p.12-13）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習（教科書 p.12-13）	
4	境 奈津希	【第 4 回】 予習：教科書 p. 14 の確認 授業：代名詞（教科書 p.14-15）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習（教科書 p.14-15）	
5	境 奈津希	【第 5 回】 予習：教科書 p. 16 の確認 授業：進行形（教科書 p.16-17）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習（教科書 p.16-17）	
6	境 奈津希	【第 6 回】 予習：教科書 p. 18 の確認 授業：進行形（教科書 p.18-19）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習（教科書 p.18-19）	
7	境 奈津希	【第 7 回】 予習：教科書 p. 20 の確認 授業：名詞と冠詞（教科書 p.20-21）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習（教科書 p.20-21）	
8	境 奈津希	【第 8 回】 予習：前期前半に学習したことを復習する 授業：前期前半の振り返り 復習：前期前半に学習したことを確認する	
9	境 奈津希	【第 9 回】 予習：教科書 p. 22 の確認 授業：助動詞（教科書 p.22-23）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習（教科書 p.22-23）	
10	境 奈津希	【第 10 回】 予習：教科書 p. 24 の確認 授業：提案と命令（教科書 p.24-25）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習（教科書 p.24-25）	
11	境 奈津希	【第 11 回】 予習：教科書 p. 26 の確認 授業：未来形（教科書 p.26-27）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習（教科書 p.26-27）	

12	境 奈津希	【第12回】 予習：教科書 p. 28の確認 授業：疑問詞と付加疑問文（教科書 p.28-29）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習（教科書 p.28-29）						
13	境 奈津希	【第13回】 予習：教科書 p. 30の確認 授業：形容詞（教科書 p.30-31）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習（教科書 p.30-31）						
14	境 奈津希	【第14回】 予習：教科書 p.32の確認 授業：比較（教科書 p.32-33）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習（教科書 p.32-33）						
15	境 奈津希	【第15回】 予習：前期後半に学習したことを復習する 授業：前期後半の振り返り 復習：前期に学習したことを確認する						
授業開始前学習	中学校、高等学校、昨年度の英語の授業で学んだことを再確認しておきましょう。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	Andrew E. Bennett, Toru Komiyama『大学英語「グラマープラス」【コンパクト版】』南雲堂							
参考書	授業内で適宜配布します。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト 10%、授業への取り組み 20%、課題提出 10%）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02422
科目名称	英語 BⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	阿部 春香	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	阿部 春香	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすることで理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	阿部 春香	【第 1 回】 予習 : シラバスの確認 授業 : オリエンテーション(授業概要、到達目標、授業の進め方について等) 復習 : 今後の学習の確認	
2	阿部 春香	【第 2 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 1: Uniquely Japanese Hospitality (1) Reading, Grammar 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
3	阿部 春香	【第 3 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 1: Uniquely Japanese Hospitality (2) Summary, グループワーク 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
4	阿部 春香	【第 4 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 2: "Time Machine" With a Flag on Top (1) Reading, Grammar 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
5	阿部 春香	【第 5 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 2: "Time Machine" With a Flag on Top (2) Summary, グループワーク 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
6	阿部 春香	【第 6 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 3: Start and Finish Work Earlier (1) Reading, Grammar 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
7	阿部 春香	【第 7 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 3: Start and Finish Work Earlier (2) Summary, グループワーク 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
8	阿部 春香	【第 8 回】 予習 : Unit 3 までの学習内容の確認 授業 : 前期前半の振り返り 復習 : 授業でやったことの見直し	
9	阿部 春香	【第 9 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 4: Humanoids In the Aging Society (1) Reading, Grammar 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
10	阿部 春香	【第 10 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 4: Humanoids In the Aging Society (2) Summary, グループワーク 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
11	阿部 春香	【第 11 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 5: No longer a Man's World (1) Reading, Grammar 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	

12	阿部 春香	【第12回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 2: 5: No longer a Man's World (2) Summary, グループワーク 復習 : 学習した語彙, 表現の復習						
13	阿部 春香	【第13回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 7: Your Name Is Not on the List (1) Reading, Grammar 復習 : 学習した語彙, 表現の復習						
14	阿部 春香	【第14回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 7: Your Name Is Not on the List (2) Summary, グループワーク 復習 : 学習した語彙, 表現の復習						
15	阿部 春香	【第15回】 予習 : Unit 7 までの学習内容の確認 授業 : 前期後半の振り返り 復習 : 授業でやったことの見直し						
授業開始前学習	学習予定の文章や単語の予習をしておくこと。また、映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を持ち、時事的な事柄にも積極的に触れておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	静哲人 著『Reading in Action Basic 始めよう！学習者参加型の英語リーディング』（金星堂）							
参考書	授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%(小テスト、課題提出、授業態度等)および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02461
科目名称	英語 BIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	池上 俊彦	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	池上 俊彦	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	本授業では、実践的かつ応用的な英語力のさらなる育成のために、TOEIC 試験で高得点を取得できる英語力の習得を目指す。同時に、英語の発展的かつ主体的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	池上 俊彦	毎時間ペアワーク等を適宜行う 【第 1 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Edouard Manet & The Luncheon on the Grass pp. 30-31 復習：新出単語と文法項目の暗記	
2	池上 俊彦	【第 2 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Edouard Manet & The Luncheon on the Grass pp. 32-33 復習：新出単語と文法項目の暗記	
3	池上 俊彦	【第 3 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Pierre-Auguste Renoir & Luncheon of the Boating Party pp. 34-35 復習：新出単語と文法項目の暗記	
4	池上 俊彦	【第 4 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Pierre-Auguste Renoir & Luncheon of the Boating Party pp. 36-37 復習：新出単語と文法項目の暗記	
5	池上 俊彦	【第 5 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Utagawa Kuniyoshi & Enchu hassen ka pp. 38-39 復習：新出単語と文法項目の暗記	
6	池上 俊彦	【第 6 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Utagawa Kuniyoshi & Enchu hassen ka pp. 40-41 復習：新出単語と文法項目の暗記	
7	池上 俊彦	【第 7 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Alfons Maria Mucha & Biscuits LeFevre-Utile pp. 42-43、課題提出 復習：新出単語と文法項目の暗記	
8	池上 俊彦	【第 8 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：後期前半の振り返り 復習：新出単語と文法項目の暗記	
9	池上 俊彦	【第 9 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Alfons Maria Mucha & Biscuits LeFevre-Utile pp. 44-45、提出課題のおさらい（グループワーク） 復習：新出単語と文法項目の暗記	
10	池上 俊彦	【第 10 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Marc Chagall & Birthday pp. 46-47 復習：新出単語と文法項目の暗記	
11	池上 俊彦	【第 11 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Marc Chagall & Birthday pp. 48-49	

		復習：新出単語と文法項目の暗記						
12	池上 俊彦	【第 12 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Edward Hopper & Nighthawks pp. 50-51 復習：新出単語と文法項目の暗記						
13	池上 俊彦	【第 13 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Edward Hopper & Nighthawks pp. 52-53、課題提出 復習：新出単語と文法項目の暗記						
14	池上 俊彦	【第 14 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：Andy Warhol & Campbell's Soup Cans pp. 54-55 復習：新出単語と文法項目の暗記						
15	池上 俊彦	【第 15 回】 予習：リーディングセクションの音読 授業：後期後半の振り返り、提出課題のおさらい（グループワーク） 復習：新出単語と文法項目の暗記						
授業開始前学習	英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。教科書のリーディングセクションの音読。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業 7 回目、13 回目に提出する課題については、2 週間後（授業 9、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Josh Norman、松井真帆、本山ふじ子『A View From Painters' Palettes : Food And Culture 絵画を彩る食文化』朝日出版社、2010 年。(ISBN: 9784255156446) 適宜プリント							
参考書								
評価の基準と方法	授業態度と課題提出 40% テスト 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02462
科目名称	英語 BIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中川 優一	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中川 優一	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B Ⅲに引き続き、英語 B IVではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	中川 優一	【第 1 回】 予習：Unit 7 (How Does Water Taste? Ask a Water Sommelier, p.45-46, 49-50) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 7 (How Does Water Taste? Ask a Water Sommelier, p.45-46, 49-50) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 1 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
2	中川 優一	【第 2 回】 予習：Unit 7 (How Does Water Taste? Ask a Water Sommelier, p.46-48) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 7 (How Does Water Taste? Ask a Water Sommelier, p.46-48) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 2 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
3	中川 優一	【第 3 回】 予習：Unit 8 (Emerging Forms of Family, p.51-52, 55-56)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 8 (Emerging Forms of Family, p.51-52, 55-56)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 3 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
4	中川 優一	【第 4 回】 予習：Unit 8 (Emerging Forms of Family, p.52-54)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 8 (Emerging Forms of Family, p.52-54)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 4 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
5	中川 優一	【第 5 回】 予習：Unit 9 (The Dark Side of Robots with Common Sense, p.57-58, 61-62)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 9 (The Dark Side of Robots with Common Sense, p.57-58, 61-62)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 5 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
6	中川 優一	【第 6 回】 予習：Unit 9 (The Dark Side of Robots with Common Sense, p.58-60)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 9 (The Dark Side of Robots with Common Sense, p.58-60)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 6 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
7	中川 優一	【第 7 回】 予習：第 1 回から第 6 回までの復習 授業：後期前半のまとめを行う。 復習：まとめでわからなかったところの確認。	
8	中川 優一	【第 8 回】 予習：Unit 10 (Mission to Make Space Exploration Sustainable, p.63-64, 67-68)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 10 (Mission to Make Space Exploration Sustainable, p.63-64, 67-68)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 8 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。	
9	中川 優一	【第 9 回】 予習：Unit 10 (Mission to Make Space Exploration Sustainable, p.64-66)を概観し、わからない単語等を調べておく。	

		授業：Unit 10 (Mission to Make Space Exploration Sustainable, p.64-66)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第9回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
10	中川 優一	【第10回】 予習：Unit 11 (I Love NY: An Enduring Legacy of Design, p.69-70, 73-74) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 11 (I Love NY: An Enduring Legacy of Design, p.69-70, 73-74) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第10回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
11	中川 優一	【第11回】 予習：Unit 11 (I Love NY: An Enduring Legacy of Design, p.70-72) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 11 (I Love NY: An Enduring Legacy of Design, p.70-72) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第11回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
12	中川 優一	【第12回】 予習：Unit 12 (Choosing to Be Childfree, p.75-76, p.79-80)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 12 (Choosing to Be Childfree, p.75-76, p.79-80)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第12回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
13	中川 優一	【第13回】 予習：Unit 12 (Choosing to Be Childfree, p.76-78)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 12 (Choosing to Be Childfree, p.76-78)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第13回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。						
14	中川 優一	【第14回】 予習：第8回から第13回までの復習 授業：後期後半のまとめを行う。 復習：まとめでわからなかったところの確認。						
15	中川 優一	【第15回】 予習：一年間の学習の振り返り。 授業：一年を通して振り返り、及びフィードバック。 復習：今後に向けて必要な内容を振り返る。						
授業開始前学習	高校までの英単語、英文法をできるだけ見直しておくこと。映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持ち、興味がある文章や単語を、辞書で調べること。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業内で小テストを行う。また、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	INTEGRITY Advanced: Vitalize Your English Studies with Authentic Videos, 2023, Takeuchi, et al., 金星堂							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等） および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02463
科目名称	英語 BIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B Ⅲに引き続き、英語 BIVではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	薬師 英子	【第 1 回】 予習 : 自分の英語学習を振り返る 授業 : ガイダンス (授業についての説明や事前指導) Review Test (前期に学んだ Unit の復習と演習) 復習 : 授業中の活動を振り返る	
2	薬師 英子	【第 2 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 9 ① : Baseball Curses (P49-54) 修飾語 (2) グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る	
3	薬師 英子	【第 3 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 9 ② : Baseball Curses (P49-54) 修飾語 (2) を学ぶ。 復習 : 授業中の活動を振り返る	
4	薬師 英子	【第 4 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 10 ① : Untimely Death (P55-60) 前置詞の目的語 グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る	
5	薬師 英子	【第 5 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 10 ② : Untimely Death (P55-60) 前置詞の目的語を学ぶ。 復習 : 授業中の活動を振り返る	
6	薬師 英子	【第 6 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 11 ① : Train Gropers (P61-66) 関係代名詞 (1) を学ぶ グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る	
7	薬師 英子	【第 7 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 11 ② : Train Gropers (P61-66) 関係代名詞 (2) これまで学んできた Reading & Grammer の問題についてのまとめ提出。 復習 : 授業中の活動を振り返る	
8	薬師 英子	【第 8 回】 予習 : ここまでの授業を総復習する 授業 : 【第 1 回】～【第 7 回】の学習のまとめ 復習 : まとめを振り返る	
9	薬師 英子	【第 9 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 12 : Japan Saves an Anime Star (P67-72) 前置詞と慣用表現 これまで学んできた Unit 9~12(pp.49~72)についてのまとめの講評 復習 : 授業中の活動を振り返る	
10	薬師 英子	【第 10 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 13 ① : Seeing Red (P73-78) 前置詞と接続詞 グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る	
11	薬師 英子	【第 11 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 13 ② : Seeing Red (P73-78) 仮定法 (1) を学ぶ。	

		復習 : 授業中の活動を振り返る						
12	薬師 英子	【第 12 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 14 ① : What's Your Wish? (P79-84) 仮定法 (2) を学ぶ。グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る						
13	薬師 英子	【第 13 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 14 ② : What's Your Wish? (P79-84) 仮定法 (2) を学ぶ。 これまで学んできた Reading & Grammar の問題についてのまとめ提出。 復習 : 授業中の活動を振り返る						
14	薬師 英子	【第 14 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 15 : Bob's Part-time Jobs (P85-91) 語法を学ぶ。 復習 : 授業中の活動を振り返る						
15	薬師 英子	【第 15 回】 予習 : 今までの授業で学んだことを振り返る 授業 : 【第 8 回】～【第 14 回】の学習のまとめ これまで学んできた Reading & Grammar の問題についてのまとめの講評。 復習 : 自分の課題を見つけ対策を立てる						
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	"Premium Reader -Pre-intermediate-" Robert Juppe、馬場 幸雄、金星堂							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻、早退は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02464
科目名称	英語 BIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	鈴木 悠理	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 悠理	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 BIV では英語 BIII に引き続き、あらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、ペア・グループワークやディスカッション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読み、理解することができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	鈴木 悠理	【第 1 回】 予習：シラバスを確認する。Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 7（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。後期の目標を立てる。	
2	鈴木 悠理	【第 2 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 7（後半）グループワーク、Unit 7（全体）小テスト 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。	
3	鈴木 悠理	【第 3 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 8（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	
4	鈴木 悠理	【第 4 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 8（後半）ペア・グループワーク、Unit 8（全体）小テスト 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。	
5	鈴木 悠理	【第 5 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 9（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	
6	鈴木 悠理	【第 6 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 9（後半）ペア・グループワーク、Unit 9（全体）小テスト、後期前半の振り返り 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。	
7	鈴木 悠理	【第 7 回】 予習：Unit 7～9 を振り返り、分からない単語の調べ直しや間違えた問題の解き直しをする。 授業：Unit 7～9 振り返り 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。間違えた問題を解き直す。	
8	鈴木 悠理	【第 8 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 10（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	
9	鈴木 悠理	【第 9 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 10（後半）ペア・グループワーク、Unit 10（全体）小テスト 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。	
10	鈴木 悠理	【第 10 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 11（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。	
11	鈴木 悠理	【第 11 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 11（後半）ペア・グループワーク、Unit 11（全体）小テスト 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。	

12	鈴木 悠理	【第 12 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 13（前半）ペア・グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。ペア・グループワークを振り返る。						
13	鈴木 悠理	【第 13 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 13（後半）ペア・グループワーク、Unit 13（全体）小テスト 復習：ペア・グループワークを振り返る。小テストを振り返る。						
14	鈴木 悠理	【第 14 回】 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 14（全体）ペア・グループワーク、後期後半の振り返り 復習：ペア・グループワークを振り返る。						
15	鈴木 悠理	【第 15 回】 予習：後期の学習を振り返り、分からない単語の調べ直しや間違えた問題の解き直しをする。 授業：後期の学習 振り返り 復習：学習した語句・表現・文法を振り返る。間違えた問題を解き直す。						
授業開始前学習	時事ニュースや文化（映画・音楽・ファッションなど）を通して英語に触れる機会を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	約 2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 7 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Arnold Arano、三原京、巳波義典、木村博『Answers to Everyday Questions 3 〈Intermediate〉身近な不思議を英語で学ぶ〈中級〉』（南雲堂） *前期と同じテキスト							
参考書	英和辞典・和英辞典は必須（電子辞典可）。その他は授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（授業参加態度、小テスト、課題提出など）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業の 3 分の 1 以上を欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。その他、公欠についてなどは第 1 回の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02465
科目名称	英語 BIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	本村 万喜子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	本村 万喜子	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B Ⅲに引き続き、英語 B IVではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	本村 万喜子	※ペアワークやディスカッションを含む回がある。 【第 1 回】 予習：これまでの英語学習を振り返る 授業：オリエンテーション（授業のすすめ方について）、Unit8 文法編:動名詞/副詞(pp.44-49) 復習：課題に取り組む	
2	本村 万喜子	【第 2 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit8 リーディング(pp.44-49) グループワーク 復習：課題に取り組む	
3	本村 万喜子	【第 3 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit9 文法編:不定詞(pp.50-55) 復習：課題に取り組む	
4	本村 万喜子	【第 4 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit9 リーディング(pp.50-55) グループワーク 復習：課題に取り組む	
5	本村 万喜子	【第 5 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit10 文法編:受動態(pp.56-61) 復習：課題に取り組む	
6	本村 万喜子	【第 6 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit10 リーディング(pp.56-61) グループワーク 復習：課題に取り組む	
7	本村 万喜子	【第 7 回】 予習：Unit8-10 の内容を確認する 授業：Unit8-10 の振り返り 復習：後期前半の学習を振り返り、前期後半の学習計画を立てる	
8	本村 万喜子	【第 8 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit11 文法編:分詞/数・量を表す形容詞(pp.62-67) 復習：課題に取り組む	
9	本村 万喜子	【第 9 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit11 リーディング(pp.62-67) グループワーク 復習：課題に取り組む	
10	本村 万喜子	【第 10 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit12 文法編:接続詞/分詞構文(pp.68-73) 復習：課題に取り組む	
11	本村 万喜子	【第 11 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit12 リーディング(pp.68-73) グループワーク 復習：課題に取り組む	

12	本村 万喜子	【第 12 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit13(pp.74-79) 復習：課題に取り組む						
13	本村 万喜子	【第 13 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit14(pp.80-85) グループワーク 復習：課題に取り組む						
14	本村 万喜子	【第 14 回】 予習：予習用課題を提出しておく 授業：Unit15(pp.86-91) 復習：課題に取り組む						
15	本村 万喜子	【第 15 回】 予習：Unit11-15 の内容を確認する 授業：Unit11-15 の振り返り 復習：苦手な学習内容等、自分の課題を見つけ、後期の学習を分析する						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	小テスト、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	川田 伸道 著『続・世界の常識：違いを知ったら世界も変わる！ Learn the Differences, Broaden Your World! - Short Readings and Basic Grammar for Cultural Literacy-』（朝日出版社）							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02466
科目名称	英語 BIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	長谷 陸	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	長谷 陸	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B Ⅲに引き続き、英語 B Ⅳではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	長谷 陸	【第 1 回】 予習 : 前期の英語学習を振り返る。シラバスを確認する。 授業 : ガイダンス(授業の進め方の説明、評価の基準と方法など) 復習 : 授業の内容を振り返る。	
2	長谷 陸	【第 2 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit13 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
3	長谷 陸	【第 3 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit14 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
4	長谷 陸	【第 4 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit15 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
5	長谷 陸	【第 5 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit16 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
6	長谷 陸	【第 6 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit17 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
7	長谷 陸	【第 7 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit18 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
8	長谷 陸	【第 8 回】 予習 : 第 2 ～7 回の授業を振り返る。 授業 : 後期前半の授業のまとめ 復習 : 授業の内容を振り返る。	
9	長谷 陸	【第 9 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit19 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
10	長谷 陸	【第 10 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit20 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	
11	長谷 陸	【第 11 回】 予習 : 教科書の文法解説を予習する。 授業 : Unit21 ペア・グループワーク 復習 : 授業の内容を振り返る。	

12	長谷 陸	【第12回】 予習：教科書の文法解説を予習する。 授業：Unit22 ペア・グループワーク 復習：授業の内容を振り返る。						
13	長谷 陸	【第13回】 予習：教科書の文法解説を予習する。 授業：Unit23 ペア・グループワーク 復習：授業の内容を振り返る。						
14	長谷 陸	【第14回】 予習：教科書の文法解説を予習する。 授業：Unit24 ペア・グループワーク 復習：授業の内容を振り返る。						
15	長谷 陸	【第15回】 予習：第9～14回の授業を振り返る。 授業：後期後半の授業のまとめ 復習：後期の授業を振り返る。						
授業開始前学習	国際的なニュースや自分の興味のある文化(映画、音楽、スポーツなど)を通して英語に触れること。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業の冒頭で小テストを行い、翌週の返却時に解説を行う。第8回、第15回の授業で振り返りを行う。							
テキスト・教材	Robert Hickling、臼倉美里著『Reading Steps ステップアップ 英文読解と基本文法』(金星堂)							
参考書	英和辞典、和英辞典(電子辞書可)							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02467
科目名称	英語 BIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	佐々木 千恵	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐々木 千恵	開講時期	2 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	英語 B Ⅲに引き続き、英語 B IVではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	佐々木 千恵	【第 1 回】 予習 : Lesson7 p42-44 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : Lesson7 p42-44 を CD で聞き、語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
2	佐々木 千恵	【第 2 回】 予習 : Lesson7 p45-47 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson7 p45-46 の exercise をやる。p47 の Activities でペアワーク、ライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
3	佐々木 千恵	【第 3 回】 予習 : Lesson8 p48-50 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson7 のチェックテスト。Lesson8 p48-50 を CD で聞き、語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
4	佐々木 千恵	【第 4 回】 予習 : Lesson8 p51-53 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson8 p51-52 の exercise をやる。p53 の Activities でペアワーク、ライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
5	佐々木 千恵	【第 5 回】 予習 : Lesson9 p54 を音読し、p54-56 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson9p54 を CD で聞き、音読。p19、20 の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
6	佐々木 千恵	【第 6 回】 予習 : Lesson9 p57-59 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト返却・解説。Lessonp57-58 の exercise をやる。p59 の Activities でペアワーク、ライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
7	佐々木 千恵	【第 7 回】 予習 : Lesson10 p60--62 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson10 p60-62 を CD で聞き、語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
8	佐々木 千恵	【第 8 回】 予習 : ここまでの授業を総復習する。 授業 : 後期前半の振り返り。 復習 : 自分の弱点を見極めて重点的に復習をする。	
9	佐々木 千恵	【第 9 回】 予習 : Lesson10 p63-65 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : Lesson10 p63-64 の exercise をやる。p65 の Activities でペアワーク、ライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。	
10	佐々木 千恵	【第 10 回】 予習 : Lesson11 p66-68 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson11 p66-68 を CD で聞き、語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニン	

		<p>グ、ライティング。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p>							
11	佐々木 千恵	<p>【第 11 回】 予習：Lesson11 p69-71 の知らない単語は意味調しておく。 授業：前回のチェックテスト返却・解説。Lesson11 p69-70 の exercise をやる。p71 の Activities でペアワーク、ライティング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p>							
12	佐々木 千恵	<p>【第 12 回】 予習：Lesson12 p72-75 の知らない単語は意味調しておく。 授業：前回のチェックテスト。Lesson12p72-75 の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p>							
13	佐々木 千恵	<p>【第 13 回】 予習：Lesson12 p76-77 の知らない単語は意味調しておく。 授業：前回のチェックテスト返却・解説。Lesson12 p76-77 でペアワーク、ライティング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p>							
14	佐々木 千恵	<p>【第 14 回】 予習：Lesson 13p78-82 の知らない単語は意味調しておく。 授業：前回のチェックテスト。Lesson13 p78-82 の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p>							
15	佐々木 千恵	<p>【第 15 回】 予習：今まで授業で学んだことを振り返る 授業：後期後半の振り返り。 復習：自分の課題を見つけ対策を立てる</p>							
授業開始前学習		映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法		授業中に予習確認、復習のための小テストを適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材		『Make It Simple』森田和子他 三修社							
参考書									
評価の基準と方法		平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		◎				△	○
関連科目									
その他		出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-22	授業コード	F02468
科目名称	英語 BIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	江連 成美	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	江連 成美	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B Ⅲに引き続き、英語 B IVではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	江連 成美	【第 1 回】 予習 : 前期のノートを見返しておく 授業 : 授業概要、プレゼンテーションの方法について 復習 : 授業で説明した内容を確認する	
2	江連 成美	【第 2 回】Area 7: Southeast Asia (1) 予習 : p.44~45 の問題に解答する 授業 : 予習分の解答確認 (グループワーク) 、 p.46~47 読解 復習 : p.44~47 のノート作成、単語・表現の復習	
3	江連 成美	【第 3 回】Area 7: Southeast Asia (2) 予習 : p.48 を読み、わからない単語や表現は調べておく 授業 : p.48~49 の読解 (グループワーク) 復習 : p.48~49 のノート作成、単語・表現の復習	
4	江連 成美	【第 4 回】Area 8: North America (1) 予習 : p.50~51 の問題に解答する 授業 : Area 7 小テスト、予習分の解答確認 (グループワーク) 、 p. 52~53 読解 復習 : p.50~53 のノート作成、単語・表現の復習	
5	江連 成美	【第 5 回】Area 8: North America (2) 予習 : p.54 を読み、わからない単語や表現は調べておく 授業 : p.54~55 の読解 (グループワーク) 復習 : p.54~55 のノート作成、単語・表現の復習	
6	江連 成美	【第 6 回】Area 10: South America (1) 予習 : p.62~63 の問題に解答する 授業 : Area 9 小テスト、予習分の解答確認 (グループワーク) 、 p. 64~65 読解 復習 : p.62~65 のノート作成、単語・表現の復習	
7	江連 成美	【第 7 回】Area 10: South America (2) 予習 : p.66 を読み、わからない単語や表現は調べておく 授業 : p.66~67 の読解 (グループワーク) 復習 : p.66~67 のノート作成、単語・表現の復習	
8	江連 成美	【第 8 回】 予習 : Area 7, 8, 10 で学習したこと、自分でまとめたノートの内容を再度確認 授業 : 前期前半の振り返り 復習 : 振り返りで理解できていなかった部分をノートにまとめ、理解が不十分な点をクリアにする	
9	江連 成美	【第 9 回】Area 12: Australia and New Zealand (1) 予習 : p.74~75 の問題に解答する 授業 : 予習分の解答確認 (グループワーク) 、 p. 76~77 読解 復習 : p.74~77 のノート作成、単語・表現の復習	
10	江連 成美	【第 10 回】Area 12: Australia and New Zealand (2) 予習 : p.78 を読み、わからない単語や表現は調べておく 授業 : p.78~79 の読解 (グループワーク) 復習 : p.78~79 のノート作成、単語・表現の復習	
11	江連 成美	【第 11 回】Presentation (1) 予習 : 第 1 回に行われた Presentation についての説明を再度確認しておく 授業 : Area 12 のテスト、Presentation の基本的な構造 復習 : 授業の内容を踏まえて、発表の準備を開始する	

12	江連 成美	【第12回】Presentation (2) 予習 : 前回の Presentation の構造について再度確認しておく 授業 : Presentation の基本的なスキル 復習 : 授業の内容を踏まえて、発表の準備を進める						
13	江連 成美	【第13回】Presentation (3) 予習 : 前回の Presentation のスキルについて再度確認しておく 授業 : 発表資料の作成方法 復習 : 授業の内容を踏まえて、発表の準備を進める						
14	江連 成美	【第14回】Group Presentation 予習 : 発表準備・練習 授業 : Group Presentation 復習 : 自分の発表の振り返りをする。また、クラスメートの発表を聞いてフィードバックを書く。						
15	江連 成美	【第15回】 予習 : 後期に教科書で扱った項目、発表で独自に調査した内容について確認する 授業 : 後期後半の振り返り 復習 : 前期後期を通して学習した世界の地理、歴史、文化、地域事情について英語で理解し、説明できるか、配布されたチェックシートを見ながら確認する						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	各 Area の学習終了毎に、その次の授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	『CLIL 英語と地図で学ぶ世界事情(改訂版)』 笹島茂・仲谷都 他 著 (三修社) 2023							
参考書	特になし。							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。また、シラバスは、新型コロナウイルス感染状況や履修者の英語力に合わせて、進度や内容を変更する場合がある。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02469
科目名称	英語 BIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	遠藤 玲奈	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	遠藤 玲奈	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B Ⅲに引き続き、英語 B IVではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	遠藤 玲奈	【第 1 回】 予習：Unit 8 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 8（前半：pp. 51-53）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。今学期の目標を立てる	
2	遠藤 玲奈	【第 2 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 8（後半：pp. 54-56）グループワーク、Unit 8（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る	
3	遠藤 玲奈	【第 3 回】 予習：Unit 9 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 9（前半：pp. 57-59）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする	
4	遠藤 玲奈	【第 4 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 9（後半：pp. 60-62）グループワーク、Unit 9（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る	
5	遠藤 玲奈	【第 5 回】 予習：Unit 10 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 10（前半：pp. 63-65）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする	
6	遠藤 玲奈	【第 6 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 10（後半：pp. 66-68）グループワーク、Unit 10（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る	
7	遠藤 玲奈	【第 7 回】 予習：Unit 11 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 11（前半：pp. 69-71）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする	
8	遠藤 玲奈	【第 8 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う後期前半の振り返りの準備をする 授業：Unit 11（後半：pp. 72-74）グループワーク、後期前半の振り返り 復習：授業中の活動を振り返る	
9	遠藤 玲奈	【第 9 回】 予習：Unit 12 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 12（前半：pp. 75-77）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る	
10	遠藤 玲奈	【第 10 回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 12（後半：pp. 78-80）グループワーク、Unit 12（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る	
11	遠藤 玲奈	【第 11 回】 予習：Unit 13 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 13（前半：pp. 81-83）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする	

12	遠藤 玲奈	【第12回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 13（後半：pp. 84-86）グループワーク、Unit 13（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る						
13	遠藤 玲奈	【第13回】 予習：Unit 14 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 14（前半：pp. 87-89）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする						
14	遠藤 玲奈	【第14回】 予習：前回の復習をし、授業内で行う後期後半の振り返りの準備をする 授業：Unit 14（後半：pp. 90-92）グループワーク、後期後半の振り返り 復習：授業中の活動を振り返る						
15	遠藤 玲奈	【第15回】 予習：今まで授業で学んだことを振り返る 授業：一年間のまとめ 復習：自分の課題を見つけ対策を立てる						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。また、学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストの準備を必ず行うこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	2週に1回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 8 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Tatsuki Sato, Ayed Hasian, Shunsuke Uchino『Get the Signal!』（金星堂）							
参考書	授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02470
科目名称	英語 BIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	川上 真巳子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	川上 真巳子	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B Ⅲに引き続き、英語 B IVではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	川上 真巳子	※ペアワークやグループワークなどを適宜行う。 【第 1 回】予習：前期の学習の振り返り 授業：既習テーマについて グループワーク、ディスカッション 復習：既習箇所の振り返り。	
2	川上 真巳子	【第 2 回】 予習：Unit 6 該当箇所を読む。 授業：Unit 6 Don't use plastic p.43. ペアワーク Microplastics p.46. 復習：既習箇所を読み直す。	
3	川上 真巳子	【第 3 回】 予習：Unit 6 該当箇所を読む。 授業：Unit 6 Microplastics p.46. 復習：既習箇所を読み直す。復習テスト準備	
4	川上 真巳子	【第 4 回】 予習：Unit 7 該当箇所を読む。 授業：Unit 7 Protect all living things p.49. ペアワーク Japanese eels as an endangered species p.52. 復習：既習箇所を読み直す。	
5	川上 真巳子	【第 5 回】 Unit 7 該当箇所を読む。 授業：Unit 7 Japanese eels as an endangered species p.52. 復習：既習箇所を読み直す。復習テスト準備	
6	川上 真巳子	【第 6 回】 予習：Unit 8 該当箇所を読む。 授業：Unit 8 Build sustainable cities and communities p.55 ペアワーク Disasters in Japan p.58. 復習：既習箇所を読み直す。	
7	川上 真巳子	【第 7 回】 Unit 8 該当箇所を読む。 授業：Unit 8 Disasters in Japan p.58. 復習：既習箇所を読み直す。復習テスト準備	
8	川上 真巳子	【第 8 回】 予習：Unit 6-8 復習 授業：前期前半の振り返り 復習：授業中に学んだ項目の確認	
9	川上 真巳子	【第 9 回】 予習：Unit 9 該当箇所を読む。 授業：Unit 9 Secure electricity resources p.61. ペアワーク A breakdown of electricity resources in Japan p.64. 復習：既習箇所を読み直す。	
10	川上 真巳子	【第 10 回】 予習：Unit 9 該当箇所を読む。 授業：Unit 9 A breakdown of electricity resources in Japan p.64. 復習：既習箇所を読み直す。復習テスト準備	
11	川上 真巳子	【第 11 回】 予習：Unit 10 該当箇所を読む。 授業：Unit 10 Promote good health and well-being. p.67. ペアワーク Fighting against major	

		communicable diseases p.70. 復習：既習箇所を読み直す。						
12	川上 真巳子	【第12回】 予習 Unit 10 該当箇所を読む。 授業：Unit 10 Fighting against major communicable diseases p.70. 復習：既習箇所を読み直す。復習テスト準備						
13	川上 真巳子	【第13回】 予習：各自担当課の予習 授業：Unit 11-14 担当課 グループワーク 復習：パワーポイントなど資料の準備、発表準備						
14	川上 真巳子	【第14回】 予習：発表準備 授業：グループ発表 復習：発表の振り返り Reflection Paper 作成						
15	川上 真巳子	【第15回】 予習：Unit 9-10 および自分の担当課の復習 授業：後期後半の振り返り 復習：授業中に学んだ項目の確認						
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。自分の身の回りの社会問題に興味を持つ。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	各課終了後、次の授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する							
テキスト・教材	"CLIL Primary SDG s" Shigeru Sasajima 他, SANSHUSHA							
参考書	英和辞書、英英辞書							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02471
科目名称	英語 BIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	境 奈津希	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	境 奈津希	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B Ⅲに引き続き、英語 B IVではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	境 奈津希	【第 1 回】 予習：教科書 p. 34 の確認 授業：副詞（教科書 p.34-35）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習（教科書 p.34-35）	
2	境 奈津希	【第 2 回】 予習：教科書 p. 36 の確認 授業：不定詞（教科書 p.36-37）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習	
3	境 奈津希	【第 3 回】 予習：教科書 p. 38 の確認 授業：動名詞（教科書 p.38-39）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習	
4	境 奈津希	【第 4 回】 予習：教科書 p. 40 の確認 授業：接続詞（教科書 p.40-41）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習	
5	境 奈津希	【第 5 回】 予習：教科書 p. 42 の確認 授業：受動態（教科書 p.42-43）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習	
6	境 奈津希	【第 6 回】 予習：教科書 p. 44 の確認 授業：語源（教科書 p.44-45）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習	
7	境 奈津希	【第 7 回】 予習：教科書 p. 46 の確認 授業：形容詞節（教科書 p.46-47）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習	
8	境 奈津希	【第 8 回】 予習：前期前半に学習したことを復習する 授業：前期前半の振り返り 復習：前期前半に学習したことを確認する	
9	境 奈津希	【第 9 回】 予習：教科書 p. 46 の確認 授業：形容詞節（教科書 p.46-47）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習	
10	境 奈津希	【第 10 回】 予習：教科書 p. 48 の確認 授業：副詞節（教科書 p.48-49）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習	
11	境 奈津希	【第 11 回】 予習：教科書 p. 48 の確認 授業：副詞節（教科書 p.48-49）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習	

12	境 奈津希	【第12回】 予習：教科書 p. 50 の確認 授業：仮定法（教科書 p.50-51）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習（教科書 p.45-50）						
13	境 奈津希	【第13回】 予習：教科書 p. 52 の確認 授業：名詞節（教科書 p.52-53）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習						
14	境 奈津希	【第14回】 予習：教科書 p. 54 の確認 授業：現在完了（教科書 p.54-55）（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習						
15	境 奈津希	【第15回】 予習：前期後半に学習したことを復習する 授業：前期後半の振り返り 復習：前期に学習したことを確認する						
授業開始前学習	中学校、高等学校、英語Ⅲの授業で学んだことを再確認しておきましょう。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	Andrew E. Bennett, Toru Komiyama『大学英語「グラマープラス」【コンパクト版】』南雲堂							
参考書	授業内で適宜配布します。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト 10%、授業内での取り組み 20%、課題提出等 10%）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02472
科目名称	英語 BIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	阿部 春香	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	阿部 春香	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 B III に引き続き、英語 B IV ではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力の向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなどの活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	阿部 春香	【第 1 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 8 When Quakes Hit, Eruptions May Follow (1) Reading, Grammar 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
2	阿部 春香	【第 2 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 8 When Quakes Hit, Eruptions May Follow (2) Summary, グループワーク 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
3	阿部 春香	【第 3 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit9: As Young as 70 Years Old (1) Reading, Grammar 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
4	阿部 春香	【第 4 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 9: As Young as 70 Years Old (2) Summary, グループワーク 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
5	阿部 春香	【第 5 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 10: The Music Industry Needs to Change (1) Reading, Grammar 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
6	阿部 春香	【第 6 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 10: The Music Industry Needs to Change (2) Summary, グループワーク 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
7	阿部 春香	【第 7 回】 予習 : Unit10 までの学習内容の確認 授業 : 後期前半の振り返り 復習 : 授業でやったことの見直し	
8	阿部 春香	【第 8 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 11: Don't Kill Lions to Prove Manhood (1) Reading, Grammar 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
9	阿部 春香	【第 9 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 11: Don't Kill Lions to Prove Manhood (2) Summary, グループワーク 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
10	阿部 春香	【第 10 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 12: How About a Nose Job in Malaysia? (1) Reading, Grammar 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	
11	阿部 春香	【第 11 回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 12: How About a Nose Job in Malaysia? (2) Summary, グループワーク 復習 : 学習した語彙, 表現の復習	

12	阿部 春香	【第12回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 13: Bats Carry Ebola but Don't Get It (1) Reading, Grammar 復習 : 学習した語彙, 表現の復習						
13	阿部 春香	【第13回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 13: Bats Carry Ebola but Don't Get It (2) Summary, グループワーク 復習 : 学習した語彙, 表現の復習						
14	阿部 春香	【第14回】 予習 : Reading パートの音声を聞き、音読する 授業 : Unit 14: Animals' "Human" Rights!?(1) Reading, Grammar, 復習 : 学習した語彙, 表現の復習						
15	阿部 春香	【第15回】 予習 : Unit14までの学習内容の確認 授業 : 後期後半の振り返り, Unit 14: Animals' "Human" Rights!?(2) Summary 復習 : 学習した語彙, 表現の復習						
授業開始前学習	学習予定の文章や単語の予習をしておくこと。また、映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	静哲人 著『Reading in Action Basic 始めよう！学習者参加型の英語リーディング』（金星堂）							
参考書	授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%(小テスト、課題提出、授業態度等)および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F02484
科目名称	英語 BIV	単位数	1.0 単位
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	英語 BⅢに引き続き、英語 BⅣではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、聞き取り理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	薬師 英子	【第 1 回】 予習 : 自分の英語学習を振り返る 授業 : Talk about your Summer Vacation / Reveiw of the first term & Introduction (グループワーク) 復習 : 家庭学習を考える	
2	薬師 英子	【第 2 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 8 How English Grew & Grows (pp.29~32) 復習 : Unit 8 How English Grew & Grows の新出単語・重要熟語・文法事項の復習	
3	薬師 英子	【第 3 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 9 Hudson River Miracle (pp.33~36) 復習 : Unit 9 Hudson River Miracle の新出単語・重要熟語・文法事項の復習	
4	薬師 英子	【第 4 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Review of Unit 8 & Unit 9 (グループワーク) 復習 : Unit 8 How English Grew & Grows・Unit 9 Hudson River Miracle の英語要約と文法 Exercise	
5	薬師 英子	【第 5 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 10 Odd Crimes (pp.37~40) 復習 : Unit 10 Odd Crimes の新出単語・重要熟語・文法事項の復習	
6	薬師 英子	【第 6 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 11 The Lucky Traveler (pp.41~44) 復習 : Unit 11 The Lucky Traveler の新出単語・重要熟語・文法事項の復習	
7	薬師 英子	【第 7 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Review of Unit 10 & 11 (グループワーク&プレゼンテーション) 復習 : Unit 10 Odd Crimes・Unit 11 The Lucky Traveler の英語要約と文法 Exercise	
8	薬師 英子	【第 8 回】 予習 : ここまでの授業を総復習する 授業 : 中間のまとめ 復習 : まとめを振り返る	
9	薬師 英子	【第 9 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 12 Are Men Losing? (pp.45~48) 復習 : Unit 12 Are Men Losing?の新出単語・重要熟語・文法事項の復習	
10	薬師 英子	【第 10 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 13 Super-Sized Dream (pp.49~52) 復習 : Unit 13 Super-Sixed Dream の新出単語・重要熟語・文法事項の復習	
11	薬師 英子	【第 11 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Review of Unit 12 & 13 (グループワーク)	

		復習 : Unit 12 Are Men Losing?・Unit 13 Super-Sized Dream の英語要約と文法 Exercise						
12	薬師 英子	【第12回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 14 It's Against the Law (pp.53~54) 復習 : Unit 14 It's Against the Law の新出単語・重要熟語・文法事項の復習						
13	薬師 英子	【第13回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 15 Black Sunday (pp.55~56) 復習 : Unit 15 Black Sunday の新出単語・重要熟語・文法事項の復習						
14	薬師 英子	【第14回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Review of Unit 14 &15 (グループワーク) 復習 : Unit 14 It's Against the Law・Unit 15 Black Sunday の英語要約と文法 Exercise						
15	薬師 英子	【第15回】 予習 : 今まで授業で学んだことを振り返る 授業 : Overall Review (プレゼンテーション) 復習 : 自分の課題を見つけて対策を立てる						
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 8 回目、15 回目に提出するまとめについては、全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Robert Juppe、馬場 幸雄『Premium Reader ~Elementary~』(金星堂)							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度)							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目	英語							
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻、早退は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯電話使用等は授業参加の減点対象とする。その他、1回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-131-21	授業コード	F02611
科目名称	英会話 I	単位数	1.0 単位
英文名称	English Conversation I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	K.バーンズ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	K.バーンズ	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	The emphasis of this class will be on speaking. However, listening, reading and writing will also be developed. This class though, focuses on improving the productive skills of speaking. In principle, lessons are conducted in English. If we are online we will still do speaking using software.		
到達目標	After this class, students will be able to communicate more freely in English. They will be able to have a basic conversation in English.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	K.バーンズ	【第 1 回】 予習 : Read pp. 9-12 in the textbook/ Listen to CD, tracks 3-7 授業 : Self-Introductions/Course goals 復習 : Review notes/ Do homework	
2	K.バーンズ	【第 2 回】 予習 : Read pp. 13-16/ Listen to tracks 10-14 授業 : Talking about entertainment ? movies and music 復習 : Review notes/ Do homework	
3	K.バーンズ	【第 3 回】 予習 : Read pp. 17-20/ Listen to tracks 17-21 授業 : Talking about art and impressions 復習 : Review notes/ Do homework	
4	K.バーンズ	【第 4 回】 予習 : Read pp. 21-24 /Listen to tracks 24-28 授業 : Talking about family members 復習 : Review notes/ Do homework p. 84	
5	K.バーンズ	【第 5 回】 予習 : Prepare a short talk about your family 授業 : Talking about family customs and traditions 復習 : Review notes/ Do homework	
6	K.バーンズ	【第 6 回】 予習 : Prepare any questions you have about class material 授業 : Consolidation and review 復習 : Reread textbook pp.9-24	
7	K.バーンズ	【第 7 回】 予習 : Prepare several topics you want to talk about 授業 : Conversation advice and coaching 復習 : Write self-evaluation for your conversation practice	
8	K.バーンズ	【第 8 回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review 復習 : Reread textbook pp.9-24	
9	K.バーンズ	【第 9 回】 予習 : Read pp. 25-28/ Listen to tracks 31-35 授業 : Talking about beliefs and fears 復習 : Review notes/ Do homework	

10	K.バーズ	【第10回】 予習 : Read pp. 29-32/ Listen to tracks 38-43 授業 : Talking about experiences 復習 : Review notes/ Do homework						
11	K.バーズ	【第11回】 予習 : Read pp. 33-36/ Listen to tracks 46-48 授業 : Telling stories 復習 : Review notes/ Do homework						
12	K.バーズ	【第12回】 予習 : Prepare some sentences about your plans for summer vacation 授業 : Talking about future plans 復習 : Review notes/ Do homework						
13	K.バーズ	【第13回】 予習 : Prepare any questions you have about class material 授業 : Consolidation and review 復習 : Reread textbook pp.25-36						
14	K.バーズ	【第14回】 予習 : Prepare several topics you want to talk about 授業 : Conversation advice and coaching 復習 : Write self-evaluation for your conversation practice						
15	K.バーズ	【第15回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review 復習 : Reread textbook pp.9-36						
授業開始前学習	Before the class starts students can prepare by listening to English recordings and reading English books, magazines or comics. Look up words in the dictionary.							
授業内課題のフィードバックの方法	Once class starts, homework assignments will be provided after each class to help students review and better understand the material.							
テキスト・教材	Impact Conversation 1 Kirsten Sullivan, Todd Beuckens (Pearson Longman)							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points of 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎				△	○
関連科目	English Conversation							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival after 30 minutes or more after the start of class will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-131-21	授業コード	F02612
科目名称	英会話 I	単位数	1.0 単位
英文名称	English Conversation I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	D.パートレイ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	D.パートレイ	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	This course aims at enjoyment & interest. When you are interested in something, you will enjoy doing it, so this class is based on enjoyment & interest. The key to success in anything you do depends on how interesting it is & how much you enjoy doing it. Through interest & enjoyment, you will improve your ability to speak English.		
到達目標	The goal of this class is a purely practical one: to get you to speak English better. To do this, we must find out what you are interested in because when you are interested in something, you will want to talk about it. So our lessons are designed to be informal meetings at which you will talk about the things that interest you. Your success will depend on the amount of interest you have in what you are talking about, so this course relies on your interest & enjoyment.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	D.パートレイ	【第 1 回】 予習 : Getting settled in 授業 : Course Introduction: I will explain the policies (attendance, participation & assignments) & protocols (contact, feedback & evaluation) of this course. 復習 : generally assess the English you have studied from high school until now.	
2	D.パートレイ	【第 2 回】 予習 : Checking class materials (paper, dictionary, writing implements). 授業 : Preparation: What things interest you? 復習 : Take stock of the English you have studied up until now.	
3	D.パートレイ	【第 3 回】 予習 : Review all class notes from the previous lesson, Q&A 授業 : Practice: talking about what interests you with your classmates & I will explain how to prepare your class notes so that you can express your thoughts more easily. 復習 : Review today's explanation about preparing your class notes, Q&A.	
4	D.パートレイ	【第 4 回】 予習 : Study your class notes in preparation for our discussion of the 1st topic. 授業 : Begin our first group discussion on the 1st topic. 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.	
5	D.パートレイ	【第 5 回】 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A 授業 : Continue the discussion of the 1st topic. 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.	
6	D.パートレイ	【第 6 回】 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson 授業 : Conclude our discussion of the 1st topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習 : Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.	
7	D.パートレイ	【第 7 回】 予習 : Prepare to announce & decide the 2nd topic of discussion. 授業 : Decide the 2nd topic & have a free discussion on the second most popular topic decided by your group. 復習 : Prepare your class notes by gathering information about the topic so that you will have something interesting to say in your group during the discussion.	
8	D.パートレイ	【第 8 回】 予習 : Review the class notes you prepared for today's discussion. 授業 : Begin your group's discussion on the 2nd topic. 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.	
9	D.パートレイ	【第 9 回】 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last discussion, Q&A	

		授業 : Continue the discussion of the 2nd topic. 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.						
10	D.パートレイ	【第 10 回】 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A. 授業 : Conclude our discussion of the 2nd topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習 : Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.						
11	D.パートレイ	【第 11 回】 予習 : Prepare to announce & decide the 3rd topic of discussion. 授業 : Decide the 3rd topic & have a free discussion on the second most popular topic decided by your group. 復習 : Prepare your class notes by gathering information about the topic so that you will have something interesting to say in your group during the discussion.						
12	D.パートレイ	【第 12 回】 予習 : Review the class notes you prepared for today's discussion. 授業 : Begin your group's discussion on the 3rd topic. 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.						
13	D.パートレイ	【第 13 回】 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last discussion, Q&A 授業 : Continue the discussion of the 2nd topic. 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.						
14	D.パートレイ	【第 14 回】 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A. 授業 : Conclude our discussion of the 3rd topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習 : Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.						
15	D.パートレイ	【第 15 回】 予習 : Prepare to submit all post-discussion rewrites (optional activity). 授業 : We will have a general assessment of our progress this semester. 復習 : Students will complete their final reports & submit them to me by email.						
授業開始前学習	Students are encouraged to encounter English in their daily lives whenever & wherever possible whether it be watching TV, listening to music, or reading English newspapers.							
授業内課題のフィードバックの方法	Feedback is an essential part of the course & is embedded in every lesson. A thorough review of the previous lesson is assessed in the daily lesson activities which provide ample opportunities for both the student & the teacher to appraise her level of progress. In addition, I will always give generous feedback on every post-discussion report & encourage the student to rewrite them if they wish to improve their marks.							
テキスト・教材	No textbook is assigned for this course. All necessary & relevant materials will be provided by the teacher. However, every student is required to bring paper, a dictionary, & writing implements to every lesson.							
参考書	notebook, dictionary, pen & pencil							
評価の基準と方法	continuous assessment based on attendance, participation & post-discussion reports (100%) .							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎				△	○
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-131-21	授業コード	F02621
科目名称	英会話Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	English Conversation II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	K.バーンズ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	K.バーンズ	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	The emphasis of this class will be on speaking. However, listening, reading and writing will also be developed. This class though, focuses on improving the productive skills of speaking. In principle, lessons are conducted in English. If we are online we will still do speaking using software.		
到達目標	After this class, students will be able to communicate more freely in English. They will be able to have a basic conversation in English.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	K.バーンズ	【第 1 回】 予習 : Read pp. 37-40 in the textbook/ Listen to CD, tracks 51-55 授業 : Self-Introductions/Course goals 復習 : Review notes/ Do homework	
2	K.バーンズ	【第 2 回】 予習 : Read pp. 45-48/ Listen to tracks 58-59 授業 : Talking about health and habits 復習 : Review notes/ Do homework	
3	K.バーンズ	【第 3 回】 予習 : Read pp. 49-52/ Listen to track 62 授業 : Talking about friends and relationships 復習 : Review notes/ Do homework	
4	K.バーンズ	【第 4 回】 予習 : Read pp. 53-56/ Listen to tracks 65-69 授業 : Talking about family members 復習 : Review notes/ Do homework p. 84	
5	K.バーンズ	【第 5 回】 予習 : Prepare a short talk about a travel experience 授業 : Talking about travel and studying abroad 復習 : Review notes/ Do homework	
6	K.バーンズ	【第 6 回】 予習 : Prepare any questions you have about class material 授業 : Consolidation and review 復習 : Reread textbook pp.37-40,45-56	
7	K.バーンズ	【第 7 回】 予習 : Prepare several topics you want to talk about 授業 : Conversation advice and coaching 復習 : Write self-evaluation for your conversation practice	
8	K.バーンズ	【第 8 回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review 復習 : Reread textbook pp.37-40,45-56	
9	K.バーンズ	【第 9 回】 予習 : Read pp. 57-60/ Listen to tracks 72-73 授業 : Talking about behavior and qualities in people 復習 : Review notes/ Do homework	

10	K.バーズ	【第10回】 予習 : Read pp. 61-64/ Listen to tracks 76-77 授業 : Talking about cultural stereotypes 復習 : Review notes/ Do homework						
11	K.バーズ	【第11回】 予習 : Read pp. 65-68/ Listen to tracks 80-84 授業 : Talking about cooking and food 復習 : Review notes/ Do homework						
12	K.バーズ	【第12回】 予習 : Prepare some sentences about something interesting you have done recently 授業 : Talking about past experiences 復習 : Review notes/ Do homework						
13	K.バーズ	【第13回】 予習 : Prepare any questions you have about class material 授業 : Consolidation and review 復習 : Reread textbook pp.57-68						
14	K.バーズ	【第14回】 予習 : Prepare several topics you want to talk about 授業 : Conversation advice and coaching 復習 : Write self-evaluation for your conversation practice						
15	K.バーズ	【第15回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review 復習 : Reread textbook pp. 37-40,45-68						
授業開始前学習	Before the class starts students can prepare by listening to English recordings and reading English books, magazines or comics. Look up words in the dictionary.							
授業内課題のフィードバックの方法	Once class starts, homework assignments will be provided after each class to help students review and better understand the material.							
テキスト・教材	Impact Conversation 1 Kirsten Sullivan, Todd Beuckens (Pearson Longman)							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points of 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎				△	○
関連科目	English Conversation							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival after 30 minutes or more after the start of class will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-131-21	授業コード	F02622
科目名称	英会話Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	English Conversation II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	D.パートレイ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	D.パートレイ	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	This course builds upon the foundation of the previous course & also aims at enjoyment & interest. When you are interested in something, you will enjoy doing it, so this class is based on enjoyment & interest. The key to success in anything you do depends on how interesting it is & how much you enjoy doing it. Through interest & enjoyment, you will improve your ability to speak English.		
到達目標	As in the previous course, this course, the goal of this class is a purely practical one: to get you to speak English better. To do this, we must find out what you are interested in because when you are interested in something, you will want to talk about it. So our lessons are designed to be informal meetings at which you will talk about the things that interest you. Your success will depend on the amount of interest you have in what you are talking about, so this course relies on your interest & enjoyment.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	D.パートレイ	【第 1 回】 予習 : Getting settled in 授業 : Course Introduction: I will explain the policies (attendance, participation & assignments) & protocols (contact, feedback & evaluation) of this course. 復習 : generally assess the English you have studied from high school until now.	
2	D.パートレイ	【第 2 回】 予習 : Checking class materials (paper, dictionary, writing implements). 授業 : Preparation: What things interest you? 復習 : Take stock of the English you have studied up until now.	
3	D.パートレイ	【第 3 回】 予習 : Review all class notes from the previous lesson, Q&A 授業 : Practice: talking about what interests you with your classmates & I will explain how to prepare your class notes so that you can express your thoughts more easily. 復習 : Review today's explanation about preparing your class notes, Q&A.	
4	D.パートレイ	【第 4 回】 予習 : Study your class notes in preparation for our discussion of the 1st topic. 授業 : Begin our first group discussion on the 1st topic. 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.	
5	D.パートレイ	【第 5 回】 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A 授業 : Continue the discussion of the 1st topic. 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.	
6	D.パートレイ	【第 6 回】 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson 授業 : Conclude our discussion of the 1st topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習 : Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.	
7	D.パートレイ	【第 7 回】 予習 : Prepare to announce & decide the 2nd topic of discussion. 授業 : Decide the 2nd topic & have a free discussion on the second most popular topic decided by your group. 復習 : Prepare your class notes by gathering information about the topic so that you will have something interesting to say in your group during the discussion.	
8	D.パートレイ	【第 8 回】 予習 : Review the class notes you prepared for today's discussion. 授業 : Begin your group's discussion on the 2nd topic. 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.	

9	D.パートレイ	【第9回】 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last discussion, Q&A 授業：Continue the discussion of the 2nd topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.						
10	D.パートレイ	【第10回】 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A. 授業：Conclude our discussion of the 2nd topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習：Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.						
11	D.パートレイ	【第11回】 予習：Prepare to announce & decide the 3rd topic of discussion. 授業：Decide the 3rd topic & have a free discussion on the second most popular topic decided by your group. 復習：Prepare your class notes by gathering information about the topic so that you will have something interesting to say in your group during the discussion.						
12	D.パートレイ	【第12回】 予習：Review the class notes you prepared for today's discussion. 授業：Begin your group's discussion on the 3rd topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.						
13	D.パートレイ	【第13回】 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last discussion, Q&A 授業：Continue the discussion of the 2nd topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.						
14	D.パートレイ	【第14回】 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A. 授業：Conclude our discussion of the 3rd topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習：Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.						
15	D.パートレイ	【第15回】 予習：Prepare to submit all post-discussion rewrites (optional activity). 授業：We will have a general assessment of our progress this semester. 復習：Students will complete their final reports & submit them to me by email.						
授業開始前学習	Students are encouraged to encounter English in their daily lives whenever & where-ever possible whether it be watching TV, listening to music or reading English newspapers.							
授業内課題のフィードバックの方法	Feedback is an essential part of the course & is embedded in every lesson. A thorough review of the previous lesson is assessed in the daily lesson activities which provide ample opportunities for both the student & the teacher to appraise her level of progress. In addition, I will always give generous feedback on every post-discussion report & encourage the student to rewrite them if they wish to improve their marks.							
テキスト・教材	No textbook is assigned for this course. All necessary & relevant materials will be provided by the teacher. However, every student is required to bring paper, a dictionary, & writing implements to every lesson.							
参考書	notebook, dictionary, pen & pencil							
評価の基準と方法	continuous assessment based on attendance, participation & module tests (100%) .							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎				△	○
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-131-22	授業コード	F02631
科目名称	英会話Ⅲ	単位数	1.0 単位
英文名称	English ConversationⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	W.ミラー	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	W.ミラー	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	The main emphasis of this course will be speaking. However, listening, reading, and writing will also be developed. This class will focus on speaking strategies and improving the skills of speaking. In principle, lessons will be conducted entirely in English.		
到達目標	After this class, students increased listening and speaking skills will allow them to participate in conversations more actively.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	W.ミラー	【第 1 回】 予習 : Read p.9-12 授業 : Self-introductions / Course goals 復習 : Review notes / Do homework	
2	W.ミラー	【第 2 回】 予習 : Read p.13-16 授業 : Interview classmates 復習 : Review notes / Do homework	
3	W.ミラー	【第 3 回】 予習 : Read p.17-20 授業 : Living Situations 復習 : Prepare for 1st Dialog Task	
4	W.ミラー	【第 4 回】 予習 : Read p.21-24 授業 : Favorite Foods: Expressing likes / dislikes and 1st Dialog Task 復習 : Reflect on 1st Dialog Task	
5	W.ミラー	【第 5 回】 予習 : Read p.25-28 授業 : Fashion: Expressing importance 復習 : Review notes / Do homework	
6	W.ミラー	【第 6 回】 予習 : Read p.29-32 授業 : Work experience: Expressing suitability 復習 : Prepare for 2nd Dialog Task	
7	W.ミラー	【第 7 回】 予習 : Prepare for 2nd Dialog Task 授業 : 2nd Dialog Task 復習 : Reflect on 2nd Dialog Task	
8	W.ミラー	【第 8 回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review 復習 : Review notes / Do homework	
9	W.ミラー	【第 9 回】 予習 : Read p. 33-36 授業 : Travel Advice / Recommending 復習 : Review notes / Do homework	
10	W.ミラー	【第 10 回】 予習 : Read p. 37-40 授業 : Weather Conditions: Expressing concern 復習 : Prepare for 3rd Dialog Task	
11	W.ミラー	【第 11 回】 予習 : Prepare for 3rd Dialog Task 授業 : Dealing with Stress: Expressing a need for a change 3rd Dialog Task 復習 : Reflect on 3rd Dialog Task	

12	W.ミラー	【第12回】 予習 : Read p. 71-79 授業 : Review Unit 1 / Conversation starters / Building fluency / Express yourself 復習 : Review notes / Do homework							
13	W.ミラー	【第13回】 予習 : Read p. 80-84 授業 : Conversation activity 復習 : Prepare for 4th Dialog Task							
14	W.ミラー	【第14回】 予習 : Prepare for 4th Dialog Task 授業 : 4th Dialog Task 復習 : Reflect on 4th Dialog Task							
15	W.ミラー	【第15回】 予習 : Complete Questionnaire on Komajo Portal 授業 : Take care of old business and discuss pros and cons of this course 復習 : Complete Questionnaire on Komajo Portal (if not completed yet)							
授業開始前学習		Watch movies and listen to the dialogues. Read comics in English. Look up unknown words in a dictionary. Seek opportunities to speak in English.							
授業内課題のフィードバックの方法		Both written and oral feedback will be provided to all students.							
テキスト・教材		Impact Conversation 2, Pearson Longman, by Sullivan and Beuckens							
参考書									
評価の基準と方法		Participation 20%, 1st Dialogue Task 20%, 2nd Dialogue Task 20%, 3rd Dialogue Task 20%, 4th Dialogue Task 20%							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当				◎				△	○
関連科目									
その他		It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-131-22	授業コード	F02641
科目名称	英会話Ⅳ	単位数	1.0 単位
英文名称	English ConversationⅣ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	W.ミラー	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	W.ミラー	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	The main emphasis of this course will be speaking. However, listening, reading, and writing will also be developed. This class will focus on speaking strategies and improving the skills of speaking. In principle, lessons will be conducted entirely in English.		
到達目標	After this class, students increased listening and speaking skills will allow them to participate in conversations more actively.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	W.ミラー	【第 1 回】 予習 : Read p.45-48 授業 : Self-introductions / Course goals 復習 : Review notes / Do homework	
2	W.ミラー	【第 2 回】 予習 : Read p.49-52 授業 : Family Stories 復習 : Review notes / Do homework	
3	W.ミラー	【第 3 回】 予習 : Read p.53-56 授業 : Cleaning Habits 復習 : Prepare for 1st Dialogue Task	
4	W.ミラー	【第 4 回】 予習 : Read p.57-60 授業 : Strange Stories and 1st Dialogue Task 復習 : Reflect on 1st Dialogue Task	
5	W.ミラー	【第 5 回】 予習 : Read p.61-64 授業 : Relationship Problems 復習 : Review notes / Do homework	
6	W.ミラー	【第 6 回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review 復習 : Prepare for 2nd Dialogue Task	
7	W.ミラー	【第 7 回】 予習 : Prepare for 2nd Dialogue Task 授業 : 2nd Dialogue Task 復習 : Reflect on 2nd Dialogue Task	
8	W.ミラー	【第 8 回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review 復習 : Review notes / Do homework	
9	W.ミラー	【第 9 回】 予習 : Read p. 61-64 授業 : Learning a Language 復習 : Review notes / Do homework	
10	W.ミラー	【第 10 回】 予習 : Read p. 65-68 授業 : School Memories 復習 : Prepare for 3rd Dialogue Task	
11	W.ミラー	【第 11 回】 予習 : Read p. 69-72 授業 : Special Events and 3rd Dialogue Task 復習 : Reflect on 3rd Dialogue Task	

12	W.ミラー	【第12回】 予習 : Read p. 73-76 授業 : Review Unit 1 / Conversation starters / Building fluency / Express yourself 復習 : Review notes / Do homework						
13	W.ミラー	【第13回】 予習 : Read p. 80-84 授業 : Conversation activity 復習 : Prepare for 4th Dialogue Task						
14	W.ミラー	【第14回】 予習 : Prepare for 4th Dialogue Task 授業 : 4th Dialogue Task 復習 : Reflect on 4th Dialogue Task						
15	W.ミラー	【第15回】 予習 : Complete Questionnaire on Komajo Portal 授業 : Take care of old business and discuss pros and cons of this course 復習 : Complete Questionnaire on Komajo Portal (if not completed yet)						
授業開始前学習	Watch movies and listen to the dialogues. Read comics in English. Look up unknown words in a dictionary. Seek opportunities to speak in English.							
授業内課題のフィードバックの方法	Both written and oral feedback will be provided to all students.							
テキスト・教材	Impact Conversation 2, Pearson Longman, by Sullivan and Beuckens							
参考書								
評価の基準と方法	Participation 20%, 1st Dialogue Task 20%, 2nd Dialogue Task 20%, 3rd Dialogue Task 20%, 4th Dialogue Task 20%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

Receptive English I

科目分類	100-130-21	授業コード	F02710
科目名称	Receptive English I	単位数	1.0 単位
英文名称	Receptive English I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	D.パートレイ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	D.パートレイ	開講時期	1・2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	This course is based on interest & enjoyment. It is a slightly more intensive course that will, likewise, consist of lively group discussions on various topics of your interest. The course will focus on improving skills both in listening & speaking as well as in reading & writing. This will be a thoroughly active course based on your interest & enjoyment. Through your interest, this course will instill practical language skills in an open forum. That means a free & unrestricted way.		
到達目標	This course aims to provide every student maximal freedom of expression. To do this, the lessons will be conducted in a casual manner, like friendly gatherings at which students will talk about topics of interest to them. The students will, therefore, decide what topics to discuss. Through this course, the student will improve not only her listening & speaking skills but also her reading & writing skills, submitting reports & reading short articles related to the topics.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	D.パートレイ	【第 1 回】 予習 : Getting settled in 授業 : Course Introduction: I will explain the policies (attendance, participation & assignments) & protocols (contact, feedback & evaluation) of this course. 復習 : generally assess the English you have studied from high school until now.	
2	D.パートレイ	【第 2 回】 予習 : Checking class materials (paper, dictionary, writing implements). 授業 : Preparation: What things interest you? 復習 : Take stock of the English you have studied up until now.	
3	D.パートレイ	【第 3 回】 予習 : Review all class notes from the previous lesson, Q&A 授業 : Practice: talking about what interests you with your classmates & I will explain how to prepare your class notes so that you can express your thoughts more easily. 復習 : Review today's explanation about preparing your class notes, Q&A.	
4	D.パートレイ	【第 4 回】 予習 : Study your class notes in preparation for our discussion of the 1st topic. 授業 : Begin our first group discussion on the 1st topic. 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.	
5	D.パートレイ	【第 5 回】 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A 授業 : Continue the discussion of the 1st topic. 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.	
6	D.パートレイ	【第 6 回】 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson 授業 : Conclude our discussion of the 1st topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習 : Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.	
7	D.パートレイ	【第 7 回】 予習 : Prepare to announce & decide the 2nd topic of discussion. 授業 : Decide the 2nd topic & have a free discussion on the second most popular topic decided by your group. 復習 : Prepare your class notes by gathering information about the topic so that you will have something interesting to say in your group during the discussion.	
8	D.パートレイ	【第 8 回】 予習 : Review the class notes you prepared for today's discussion. 授業 : Begin your group's discussion on the 2nd topic. 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.	

9	D.パートレイ	【第9回】 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last discussion, Q&A 授業：Continue the discussion of the 2nd topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.							
10	D.パートレイ	【第10回】 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A. 授業：Conclude our discussion of the 2nd topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習：Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.							
11	D.パートレイ	【第11回】 予習：Prepare to announce & decide the 3rd topic of discussion. 授業：Decide the 3rd topic & have a free discussion on the second most popular topic decided by your group. 復習：Prepare your class notes by gathering information about the topic so that you will have something interesting to say in your group during the discussion.							
12	D.パートレイ	【第12回】 予習：Review the class notes you prepared for today's discussion. 授業：Begin your group's discussion on the 3rd topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.							
13	D.パートレイ	【第13回】 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last discussion, Q&A 授業：Continue the discussion of the 2nd topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.							
14	D.パートレイ	【第14回】 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A. 授業：Conclude our discussion of the 3rd topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習：Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.							
15	D.パートレイ	【第15回】 予習：Prepare to submit all post-discussion rewrites (optional activity). 授業：We will have a general assessment of our progress this semester. 復習：Students will complete their final reports & submit them to me by email.							
授業開始前学習		Students are encouraged to encounter English in their daily lives whenever & where-ever possible whether it be watching TV, listening to music or reading English newspapers.							
授業内課題のフィードバックの方法		Feedback is an essential part of the course & is embedded in every lesson. A thorough review of the previous lesson is assessed in the daily lesson activities which provide ample opportunities for both the student & the teacher to appraise her level of progress. In addition, I will always give generous feedback on every post-discussion report & encourage the student to rewrite them if they wish to improve their marks.							
テキスト・教材		No textbook is assigned for this course. All necessary & relevant materials will be provided by the teacher. However, every student is required to bring paper, a dictionary, & writing implements to every lesson.							
参考書		notebook, dictionary, pen & pencil							
評価の基準と方法		continuous assessment based on attendance, participation & reports (100%) .							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		△		◎	○				
関連科目									
その他									
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

Receptive English II

科目分類	100-130-21	授業コード	F02720
科目名称	Receptive English II	単位数	1.0 単位
英文名称	Receptive English II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	D.パートレイ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	D.パートレイ	開講時期	1・2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	This course is based on interest & enjoyment. It is a slightly more intensive course that will, likewise, consist of lively group discussions on various topics of your interest. The course will focus on improving skills both in listening & speaking as well as in reading & writing. This will be a thoroughly active course based on your interest & enjoyment. Through your interest, this course will instill practical language skills in an open forum. That means a free & unrestricted way.		
到達目標	This course aims to provide every student maximal freedom of expression. To do this, the lessons will be conducted in a casual manner, like friendly gatherings at which students will talk about topics of interest to them. The students will, therefore, decide what topics to discuss. Through this course, the student will improve not only her listening & speaking skills but also her reading & writing skills, submitting reports & reading short articles related to the topics.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	D.パートレイ	【第 1 回】 予習 : Getting settled in 授業 : Course Introduction: I will explain the policies (attendance, participation & assignments) & protocols (contact, feedback & evaluation) of this course. 復習 : generally assess the English you have studied from high school until now.	
2	D.パートレイ	【第 2 回】 予習 : Checking class materials (paper, dictionary, writing implements). 授業 : Preparation: What things interest you? 復習 : Take stock of the English you have studied up until now.	
3	D.パートレイ	【第 3 回】 予習 : Review all class notes from the previous lesson, Q&A 授業 : Practice: talking about what interests you with your classmates & I will explain how to prepare your class notes so that you can express your thoughts more easily. 復習 : Review today's explanation about preparing your class notes, Q&A.	
4	D.パートレイ	【第 4 回】 予習 : Study your class notes in preparation for our discussion of the 1st topic. 授業 : Begin our first group discussion on the 1st topic. 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.	
5	D.パートレイ	【第 5 回】 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A 授業 : Continue the discussion of the 1st topic. 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.	
6	D.パートレイ	【第 6 回】 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson 授業 : Conclude our discussion of the 1st topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習 : Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.	
7	D.パートレイ	【第 7 回】 予習 : Prepare to announce & decide the 2nd topic of discussion. 授業 : Decide the 2nd topic & have a free discussion on the second most popular topic decided by your group. 復習 : Prepare your class notes by gathering information about the topic so that you will have something interesting to say in your group during the discussion.	
8	D.パートレイ	【第 8 回】 予習 : Review the class notes you prepared for today's discussion. 授業 : Begin your group's discussion on the 2nd topic. 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.	

9	D.パートレイ	【第9回】 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last discussion, Q&A 授業：Continue the discussion of the 2nd topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.							
10	D.パートレイ	【第10回】 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A. 授業：Conclude our discussion of the 2nd topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習：Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.							
11	D.パートレイ	【第11回】 予習：Prepare to announce & decide the 3rd topic of discussion. 授業：Decide the 3rd topic & have a free discussion on the second most popular topic decided by your group. 復習：Prepare your class notes by gathering information about the topic so that you will have something interesting to say in your group during the discussion.							
12	D.パートレイ	【第12回】 予習：Review the class notes you prepared for today's discussion. 授業：Begin your group's discussion on the 3rd topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.							
13	D.パートレイ	【第13回】 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last discussion, Q&A 授業：Continue the discussion of the 2nd topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.							
14	D.パートレイ	【第14回】 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A. 授業：Conclude our discussion of the 3rd topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習：Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.							
15	D.パートレイ	【第15回】 予習：Prepare to submit all post-discussion rewrites (optional activity). 授業：We will have a general assessment of our progress this semester. 復習：Students will complete their final reports & submit them to me by email.							
授業開始前学習		Students are encouraged to encounter English in their daily lives whenever & where-ever possible whether it be watching TV, listening to music or reading English newspapers.							
授業内課題のフィードバックの方法		Feedback is an essential part of the course & is embedded in every lesson. A thorough review of the previous lesson is assessed in the daily lesson activities which provide ample opportunities for both the student & the teacher to appraise her level of progress. In addition, I will always give generous feedback on every post-discussion report & encourage the student to rewrite them if they wish to improve their marks.							
テキスト・教材		No textbook is assigned for this course. All necessary & relevant materials will be provided by the teacher. However, every student is required to bring paper, a dictionary, & writing implements to every lesson.							
参考書		notebook, dictionary, pen & pencil							
評価の基準と方法		continuous assessment based on attendance, participation & reports (100%) .							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		△		◎	○				
関連科目									
その他									
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-130-21	授業コード	F02730
科目名称	Productive English I	単位数	1.0 単位
英文名称	Productive English I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	F.グリーンソン	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	F.グリーンソン	開講時期	1・2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	This course is designed to get students writing and speaking. The focus is on paragraph writing however speaking and listening skills are utilised in order for students to express their ideas during pair and group work. Thereby encouraging development of a well-balanced natural style of interactive communication.		
到達目標	By the end of this course students will be able to confidently plan, structure and write a paragraph as well as discuss its content. This will be achieved by studying the components of paragraph writing; Topic sentences; main idea; supporting sentences; concluding sentences; and various brainstorming techniques. The communication aspect will be achieved by directly discussing written content with fellow students and the teacher.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	F.グリーンソン	【第 1 回】 予習 : Pre-read the syllabus 授業 : Orientation: Syllabus review; Class guidelines. Review - What is a paragraph & topic sentence? What are supporting and concluding sentences; Fluency versus Accuracy 復習 : Review class notes	
2	F.グリーンソン	【第 2 回】 予習 : Pre-read unit 9 Pages 73-77 授業 : Warm Up; Fluency: Free writing: your typical day; Practicing summarizing I (partner's day) 復習 : HW 1 Find a paragraph on the internet (news article, magazine article) bring to class	
3	F.グリーンソン	【第 3 回】 予習 : Pre-read unit 9 continued 授業 : Fluency: Summarizing II (a paragraph on the internet) 復習 : HW 2 Reflecting page 78	
4	F.グリーンソン	【第 4 回】 予習 : Pre-read unit 10 Pages 79-86 授業 : Warm Up; Accuracy: Analyzing a typical day paragraph; Practicing summarizing sentence by sentence 復習 : HW 3 Choose a paragraph to summarize see page 84 (Units 2 & 4 only)	
5	F.グリーンソン	【第 5 回】 予習 : Pre-read unit 10 continued 授業 : Accuracy: Check partner's summary & revise your summary; Summarizing & writing a paragraph 復習 : HW 4 Submit 1st Assignment 10% (Review & Feedback)	
6	F.グリーンソン	【第 6 回】 予習 : Pre-read unit 1 Pages 11-15 授業 : Warm Up; Fluency: Free writing I; Researching; Free writing II 復習 : HW 5 Prepare 10 Questions for interviewing partner about interesting things about them (Page 15)	
7	F.グリーンソン	【第 7 回】 予習 : Pre-read unit 1 continued 授業 : Fluency: Interview partner (use HW Questions); Free writing III 復習 : HW 6 Reflecting page 16	
8	F.グリーンソン	【第 8 回】 予習 : Pre-read unit 2 Pages 17-23 授業 : Warm Up; Accuracy: Analyzing a narrative paragraph; Mind mapping 復習 : HW 7 Mind Map: A great memory (see page 21)	
9	F.グリーンソン	【第 9 回】 予習 : Pre-read unit 2 continued 授業 : Accuracy: Draft writing: A great memory (use HW mind map); Introduction to structuring; Find 15 mistakes (Page 24)	

		復習 : HW 8 Submit 2nd Assignment 10% (Review & Feedback)						
10	F.グリーンソン	【第 10 回】 予習 : Pre-read unit 3 Pages 25-29 授業 : Warm Up; Fluency: Free writing I; Researching; Free writing II 復習 : HW 9 Prepare 10 Questions for interviewing partner about their friend (Page 29)						
11	F.グリーンソン	【第 11 回】 予習 : Pre-read unit 3 continued 授業 : Fluency: Interview partner (use HW questions); Free writing III 復習 : HW 10 Reflecting page 30						
12	F.グリーンソン	【第 12 回】 予習 : Pre-read unit 4 Pages 31-37 授業 : Warm Up; Accuracy: Analyzing a descriptive paragraph; Mind Mapping 復習 : HW 11 Mind map: Your favourite place (Page 35)						
13	F.グリーンソン	【第 13 回】 予習 : Pre-read unit 4 continued 授業 : Accuracy: Draft writing: Your favourite place (use your HW mind map); Find 15 mistakes 復習 : HW 12 Submit 3rd Assignment 10% (Review & Feedback)						
14	F.グリーンソン	【第 14 回】 予習 : Review Units 2,4,10 授業 : Review previous assignments. How could you improve them? 復習 : Review Units 2,4,10						
15	F.グリーンソン	【第 15 回】 予習 : Review Units 2,4,10 授業 : Assessment 30% (Test) 復習 : Consider continuing in Productive English II and use skills learnt here in other classes						
授業開始前学習	Read over the syllabus. If you do not understand please ask questions in the first class and every class. Do the pre-reading before each class and review after each class. If you do not understand something it is your responsibility to ask the teacher for help.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students will receive feedback on class participation, homework (HW) & assignments in class or on Google Classroom. Assignments should be handed in on time. If you are sick, have transport or internet problems please email the teacher as soon as possible. Include your Teachers Name, Class, Name & Number in English on the Subject Line e.g. Frances PE Student Name & Number.							
テキスト・教材	Andy Boon. (2017) Writing for Fluency and Accuracy (CENGAGE Learning)							
参考書								
評価の基準と方法	Written assignments: 30%; participation & interaction: 20%; general homework: 20%; end of semester assessment: 30%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎	○				△
関連科目								
その他	Attendance: Students should arrive before class starts and do their best to attend all classes. Do not disturb others if you are late. Late passes (for example Train) are acceptable as long as they are filled out correctly. If you are absent it is your responsibility to contact the teacher. Also, ask the teacher or ask other students what you have missed. Classwork and homework is listed in the syllabus and will be posted on-line in Google Classroom as well. Important note: Credited absences due to illness or unforeseen circumstances will need official notification. Please bring a notebook to every class. You will need to keep your class notes, free-writing & draft notes in one place.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

Productive English II

科目分類	100-130-21	授業コード	F02740
科目名称	Productive English II	単位数	1.0 単位
英文名称	Productive English II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	F.グリーンソン	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	F.グリーンソン	開講時期	1・2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	This course builds on the skills learnt in Productive English I. Students will further develop their writing and communicative ability. While the focus is on writing more challenging paragraphs/essays there will also be scope for fine-tuning and strengthening existing skills.		
到達目標	After the completion of this course students will be more at ease with not only writing paragraphs that reflect their own ideas and opinions but they will be able to verbally express them as well.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	F.グリーンソン	【第 1 回】 予習 : Pre-read syllabus 授業 : Orientation: Syllabus review; Class guidelines. Review - What is a paragraph & topic sentence? What are supporting and concluding sentences; Fluency versus Accuracy 復習 : Review class notes	
2	F.グリーンソン	【第 2 回】 予習 : Pre-read unit 5 Pages 39-44 授業 : Warm Up; Fluency: Free writing I; Researching; Free writing II 復習 : HW 1 Prepare 10 Questions for interviewing partner	
3	F.グリーンソン	【第 3 回】 予習 : Pre-read unit 5 continued 授業 : Fluency: Interview partner (use HW questions); Free writing III 復習 : HW 2 Reflecting page 44	
4	F.グリーンソン	【第 4 回】 予習 : Pre-read unit 6 Pages 45-51 授業 : Warm Up; Accuracy: Analyzing a compare and contrast paragraph; Venn diagram Video 復習 : HW 3 Compare and contrast your high school and your university. Create a Venn diagram (See page 48)	
5	F.グリーンソン	【第 5 回】 予習 : Pre-read unit 6 continued 授業 : Accuracy: Draft writing in class (use HW Venn diagram); plan & write a draft paragraph; Find 15 mistakes 復習 : HW 4 Submit 1st Assignment 10% (Review & Feedback)	
6	F.グリーンソン	【第 6 回】 予習 : Pre-read unit 7 Pages 59-64 授業 : Warm Up; Fluency: Free writing I; Researching; Free writing II 復習 : HW 5 Prepare 10 Questions for interviewing partner about their habits	
7	F.グリーンソン	【第 7 回】 予習 : Pre-read unit 7 continued 授業 : Fluency: Interview partner (use HW Questions); Free writing III 復習 : HW 6 Reflecting page 64	
8	F.グリーンソン	【第 8 回】 予習 : Pre-read unit 8 Pages 65-72 授業 : Warm Up; Accuracy: Analyzing a cause and effect paragraph: Listing 復習 : HW 7 Choose a topic; Make a list (See page 68)	
9	F.グリーンソン	【第 9 回】 予習 : Pre-read unit 8 continued 授業 : Accuracy: Draft writing in class (use HW list): Relationships between people; Find 15 mistakes 復習 : HW 8 Submit 2nd Assignment 10% (Review & Feedback)	
10	F.グリーンソン	【第 10 回】 予習 : Pre-read unit 11 Pages 87-92 授業 : Warm Up; Fluency: Free writing I, Researching, Free writing II 復習 : HW 9 Think of 3 topics. Write 3 opinion sentences about chosen topics.	

11	F.グリーンソン	【第 11 回】 予習 : Pre-read unit 11 continued 授業 : Fluency: Exchange topic opinions with partner, Free writing III 復習 : HW 10 Reflecting page 92						
12	F.グリーンソン	【第 12 回】 予習 : Pre-read unit 12 Pages 93-102 授業 : Warm Up; Accuracy: Analyzing an opinion paragraph; Mind mapping 復習 : HW 11 What's your opinion? Prepare a mind map						
13	F.グリーンソン	【第 13 回】 予習 : Pre-read unit 12 continued 授業 : Accuracy: Draft writing your opinion in class: Find 15 mistakes 復習 : HW 12 Submit 3rd Assignment 10% (Review & Feedback)						
14	F.グリーンソン	【第 14 回】 予習 : Review units 6,8,12 授業 : Revision: Review your previous assignments. How could you improve them? 復習 : Review units 6,8,12						
15	F.グリーンソン	【第 15 回】 予習 : Review units 6,8,12 授業 : In class Assessment 30% (Test) 復習 : Use writing skills you have learnt here in other classes.						
授業開始前学習	Read over the syllabus. If you do not understand please ask questions in the first class and every class. Do the pre-reading before each class and review after each class. If you do not understand something it is your responsibility to ask the teacher for help.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students will receive feedback on class participation, homework (HW) & assignments in class or on Google Classroom. Assignments should be handed in on time. If you are sick, have transport or internet problems please email the teacher as soon as possible. Include your Teachers Name, Class, Name & Number in English on the Subject Line e.g. Frances PE Student Name & Number							
テキスト・教材	Andy Boon. (2017) Writing for Fluency and Accuracy (CENGAGE Learning)							
参考書								
評価の基準と方法	Written assignments: 30% (3x10%); participation & interaction: 20%; general homework: 20%; End of semester assessment: 30%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎	○				△
関連科目								
その他	Attendance: Students should arrive before class starts and do their best to attend all classes. Do not disturb others if you are late. Late passes are acceptable as long as they are filled out correctly. If you are absent it is your responsibility to contact the teacher. Also, ask the teacher or ask other students what you have missed. Classwork and homework is listed in the syllabus and will be posted on-line in Google Classroom as well. Important note: Credited absences due to illness or unforeseen circumstances will need official notification. Please bring a notebook to every class. You will need to keep your class notes, free-writing & draft notes in one place.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

English Summer Seminar

科目分類	100-130-22	授業コード	F02750
科目名称	English Summer Seminar	単位数	1.0 単位
英文名称	English Summer Seminar	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	T. プラザ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	プラザ・ブラウン	開講時期	2・3年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	This three-day, residential seminar has been designed to give you many opportunities to use English. Types of activities are pair and group work, peer-teaching and English activities and games. この授業は2泊3日の宿泊を伴う3日間のワークショップです。		
到達目標	The English summer seminar gives you many opportunities to become users of English outside of the classroom. The whole course is student-centered, interactive, and conducted entirely in English by both teachers and students. At the end of this intensive course, you will leave feeling more confident in your English communication skills and happy having made a closer connection with classmates.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	1回
		複数教員の場合の 授業形態	共同
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	T. プラザ・M.ブラウン	<p>Contents of the English Summer Seminar</p> <p>*"Peer Teaching" sessions to be held for use of explanatory English practice. *"General Talk" sessions to be held for multipurpose English conversation practice. *"Seminar" sessions to be held for small group discussion practice.</p>	
授業開始前学習	Prepare your 'Peer Teaching' activity so that everyone participates in the activity on the day (not lecture/presentation based).		
授業内課題のフィードバックの方法	Students will be given individual feedback from the teachers on their "Peer Teaching" activities. Students will also submit a written self-reflection on their experiences.		
テキスト・教材	Teacher handouts		
参考書			
評価の基準と方法	Student peer teaching 50% Participation in activities 50%		
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける	社会的責務を果たすことの できる専門力と判断力を身 につける
	文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける		
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力
			社会性
			専門力
			判断力
			技術力
			実践力
科目の該当			◎
			△
			○
関連科目			
その他	This will be a three day workshop and we will stay together for the three days. There will also be some meetings before we go. It is important to attend all meetings before going to the seminar. The first meeting will be announced at orientation.		

	この授業は2泊3日の宿泊を伴う3日間のワークショップです。
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)
実務経験を活かした 教育内容	

科目分類	100-130-21	授業コード	F02811
科目名称	フランス語 I	単位数	1.0 単位
英文名称	French I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	松村 悠子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	松村 悠子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	基礎的な会話練習を主体にフランス語の学修を行う。会話から出発して、発音、文法、語彙、表現を学ぶ。文法解説・練習問題、発話練習、聞き取り、テキスト読解、作文を通して、文法学習と、話す・聞く・読む・書く、の 4 技能の訓練をバランスよく行う。		
到達目標	基礎的な文法、語彙、表現を習得して、初歩的な会話を理解し遂行できるようになる。これらの文法、語彙、表現を用いた短い文を読み、簡単な文が書けるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	松村 悠子	【第 1 回】 予習 : フランス語やフランスについて調べる 授業 : 前期授業ガイダンス、辞書の紹介、自己紹介 復習 : 身の回りにあるフランス語とアルファベについての課題に取り組む	
2	松村 悠子	【第 2 回】 予習 : フランス語の挨拶表現について調べる 授業 : フランス語の挨拶。フランス語が話されている地域、アルファベ、フランス語に特有の音 (教科書 6 から 7 頁) (発見学習) 復習 : 挨拶表現、フランス語に特有の音の練習、アルファベの復習	
3	松村 悠子	【第 3 回】 予習 : 複母音字、鼻母音について調べる レッスン 1 の会話音声聴く 授業 : 綴り字の読み方 (プリント) (発見学習) レッスン 1 : 挨拶、自分の名前を言う。国籍を言う。(教科書 8 から 9 頁) (ペアワーク) 復習 : 綴り字の読み方の復習 挨拶、名前を言う表現の反復練習	
4	松村 悠子	【第 4 回】 予習 : レッスン 1 の会話音声聴く 授業 : レッスン 1 : 挨拶、自分の名前を言う。国籍を言う、聞く、数字 1 から 5、練習問題。(教科書 10 から 11 頁) (ペアワーク) 復習 : 挨拶、名前・国籍を言う表現の反復練習	
5	松村 悠子	【第 5 回】 予習 : レッスン 2 の音声教材を聴く 授業 : 語彙の練習、練習問題、会話練習 (教科書 12 から 13 頁) (ペアワーク) 復習 : 授業で扱った語彙・表現の復習	
6	松村 悠子	【第 6 回】 予習 : レッスン 2 の音声教材を聴く 授業 : 職業を言う、数字 6 から 10、練習問題 (教科書 14 から 15 頁) 復習 : 読解・作文したテキストの再考、復習	
7	松村 悠子	【第 7 回】 予習 : レッスン 3 の音声教材を聴く 授業 : 第 1 回目から第 6 回目授業内容の復習 名前を言う、聞く (教科書 16 頁) (ペアワーク) 復習 : 授業で扱った語彙・表現の復習	
8	松村 悠子	【第 8 回】 予習 : 第 1 回目から第 6 回目授業内容の復習 (小テスト 1 の準備) 授業 : 小テスト 1 住んでいるところを言う、聞く (教科書 17 頁) (ペアワーク) 復習 : 小テスト 1 の問題再考	
9	松村 悠子	【第 9 回】 予習 : レッスン 3 の音声教材を聴く 授業 : 国籍、名前、住んでいる場所を言う・聞く、練習問題 (教科書 18 から 19 頁) (ペアワーク) 復習 : 授業で扱った語彙・表現の復習	

10	松村 悠子	【第 10 回】 予習 : レッスン 4 の音声教材を聴く 授業 : 第 7 回目から第 9 回目授業内容の復習 だれかについてやりとりする、だれかの職業を言う (教科書 20 頁) (ペアワーク) 復習 : 授業で扱った語彙・表現の復習						
11	松村 悠子	【第 11 回】 予習 : 第 7 回目から第 9 回目授業内容の復習 (小テスト 2 の準備) 授業 : 小テスト 2 だれかについてやりとりする、だれかの住んでいる所を言う (教科書 21 頁) (ペアワーク) 復習 : 授業で扱った語彙・表現の復習 復習 : 小テスト 2 の問題再考						
12	松村 悠子	【第 12 回】 予習 : レッスン 4 の音声教材を聴く 授業 : 自分が話せる言語について言う、相手の話せる言語についてきく、だれかが話せる言語について言う (教科書 22 頁) (ペアワーク) 数字 11 から 15 復習 : 授業で扱った語彙・表現の復習						
13	松村 悠子	【第 13 回】 予習 : レッスン 4 の音声教材を聴く 授業 : 第 10 回目から第 12 回目授業内容の復習 レッスン 4 の練習問題 (教科書 23 頁) 復習 : 授業で扱った語彙・表現の復習						
14	松村 悠子	【第 14 回】 予習 : 第 10 回目から第 12 回目授業内容の復習 (小テスト 3 の準備) 授業 : 小テスト 3 フランスの街の場所をさく、言う (教科書 24 から 25 頁) (ペアワーク) 復習 : 小テスト 3 の問題再考						
15	松村 悠子	【第 15 回】 予習 : 第 14 回目までの授業内容を振り返る 授業 : 前期授業のまとめ 復習 : 授業で扱った項目の復習						
授業開始前学習								
授業内課題のフィードバックの方法		課題、小テストを返却後、問題を再考させ解説を行う。						
テキスト・教材		ロイク・ホグス 著『プティットゥ・コンヴェルサシオン』駿河台出版社 (定価 : 2,300 円 + 税) 仏和辞書 (主要なものを第 1 回目授業で紹介)						
参考書								
評価の基準と方法		小テスト 75 点、平常点 (授業態度・課題提出) 25 点						
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	海外観光資源研究 A (ヨーロッパ 1) 海外観光資源研究 B (ヨーロッパ 2) 言葉と心理 観光のフランス語							
その他	単位取得には 3 分の 2 以上の出席が必要です。遅刻 1 回、あるいは早退 1 回を欠席 3 分の 1 回とみなします。つまり遅刻ないし早退 3 回で欠席 1 回と数えます。授業開始時刻より 30 分以上遅れて到着した場合、授業終了時刻より 30 分以上早く早退した場合は欠席扱いです。出席数配慮は原則として証明書類の提出により検討します。 宿題を出すことがあります。 全 15 回の授業計画を上に表示していますが、受講者やクラスの実情、また社会状況など諸々の都合に応じて若干変更になる場合があります。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-21	授業コード	F02812
科目名称	フランス語 I	単位数	1.0 単位
英文名称	French I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	米金 孝雄	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	米金 孝雄	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 10:10~10:40 木曜日 10:30~13:00 後期 水曜日 10:00~10:40 水曜日 12:10~13:00	研究室	10-711
授業概要	基礎的なフランス語の表現・成句を通して、様々なシチュエーションを想定した日常会話の習得を目指す。特に、フランス語特有の音に慣れ親しみ、文を暗誦するだけでなく、現実的な練習「ロール・プレイ」「シミュレーション」など、コミュニケーションのための言語使用に重点を置いた授業である。		
到達目標	初歩的なフランス語運用能力（話す・聞く・読む・書く）を習得することが目標である。 フランス語特有のアルファベットの発音・基本的な挨拶の仕方・綴り字などを学び、積極的に使用する。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	米金 孝雄	【第 1 回】 予習 : 自分の知っているフランス語、フランス文化の紹介 1 授業 : 自己紹介、授業概要、授業の進め方、勉強の仕方、教科書、辞書の紹介、注意点など 復習 : アルファベットの復習	
2	米金 孝雄	【第 2 回】 予習 : 自分の知っているフランス語、フランス文化を紹介する 2 授業 : 特有の音、フランス語の使われている国、フランス語に慣れ親しむ (テキスト 6-7 頁) 復習 : 基本的なフランス語表現、アルファベットの復習	
3	米金 孝雄	【第 3 回】 予習 : レッスン 1 の音声を聴くこと 授業 : 綴り字と発音の仕方、挨拶の仕方、名前を言う、国籍を言う、男性形と女性形 (8-9 頁) (ペアワーク) 復習 : 主語人称代名詞、s'appeler 動詞、Etre 動詞、国籍の表現	
4	米金 孝雄	【第 4 回】 予習 : レッスン 1 の音声を聴くこと 授業 : 国籍、数の数え方、職業、名前、数字、アルファベットの練習 (10-11 頁) (ペアワーク) 復習 : 職業名詞、形容詞性数に一致	
5	米金 孝雄	【第 5 回】 予習 : レッスン 1, 1+ の音声を聴くこと、 授業 : 名前・国籍、数字、アルファベットの練習、基本表現、アクセント記号 (11 頁、76-77 頁) (ペアワーク) 復習 : 名前の言い方、対話練習	
6	米金 孝雄	【第 6 回】 予習 : レッスン 2 の音声を聴くこと ; 授業 : 綴り字と発音の仕方、国籍、職業 (12-13 頁) (ペアワーク) 復習 : 質問と答え	
7	米金 孝雄	【第 7 回】 予習 : レッスン 2 の音声を聴くこと 授業 : 数の数え方、職業 (14-15 頁) (ペアワーク) 復習 : 女性形、自己紹介、職業	
8	米金 孝雄	【第 8 回】 予習 : レッスン 2, 2+ の音声を聴くこと 授業 : 国籍、職業、tu と vous の表現 (78 頁) (ペアワーク) 復習 : 女性形、自己紹介	
9	米金 孝雄	【第 9 回】 予習 : レッスン 3 の音声を聴くこと 授業 : 発音の仕方、アポストロフ、名前・職業・国籍を言う、住んでいる場所を尋ねる、国名、都市、 人称代名詞強制形、En + 国籍、冠詞の縮約形 (16-17 頁) (ペアワーク) 復習 : Etre, Habiter, S'appeler 動詞の活用、対話練習、En + 国籍、冠詞の縮約形	
10	米金 孝雄	【第 10 回】 予習 : レッスン 3, 3+ の音声を聴くこと 授業 : 否定文の答え方、名前、職業、国籍、住んでいる場所の質問と答え。 (18 頁、79 頁) (ペアワーク) 復習 : 対話練習	

11	米金 孝雄	【第 11 回】 予習：レッスン 3,3+の音声を聴くこと 授業：練習問題 (19,79,91 頁) (ペアワーク) 復習：練習問題の確認と再考						
12	米金 孝雄	【第 12 回】 予習：レッスン 4 の音声を聴くこと 授業：アンジェヌマン、この人は誰？、場所を示す疑問文、Parler,habiter,etre 動詞活用の確認 (20-21 頁)(ペアワーク) 復習：人・場所を示す質問と答え、Parler,habiter,etre 動詞活用						
13	米金 孝雄	【第 13 回】 予習：レッスン 4 の音声を聴くこと 授業：parler 動詞を使った質問と答え、数字、紹介と質問の仕方、練習問題 (22-23 頁) (ペアワーク) 復習：「名前、国籍、職業、住んでいる場所、話せる言語」についての質問と答え						
14	米金 孝雄	【第 14 回】 予習：レッスン 4,4+の音声を聴くこと 授業：er 動詞の確認、quel を使った疑問文、練習問題 (80 頁)(ペアワーク) 復習：er 動詞(aimer,preferer...),quel の用法、練習問題の確認と再考						
15	米金 孝雄	【第 15 回】 予習：フランス語を話す国・フランス語に慣れ親しむ・特有の音の確認と再考 授業：前期授業の復習と確認 (Dans la classe1 から lecon4/4+)、場所の表現と都市(C'est ou ?) (6-25 頁,77-80 頁) (ペアワーク) 復習：前期学習事項を再考し、自分の弱点を克服すること						
授業開始前学習	前回の学習事項の復習と、次回の学習事項の予習をすること。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題(レポート・練習問題・小テスト等)を提出後、内容を再考させ、各人の弱点を把握させ、確実な学習事項の修得へと導く。							
テキスト・教材	Petites Conversations(プティットゥ・コンヴェルサシオン) (駿河台出版社)							
参考書	適宜、授業内で資料を配布する。							
評価の基準と方法	【配点】：小テスト・提出課題・レポート 80 点、平常点(授業態度)20 点							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	海外観光資源研究 A(ヨーロッパ 1) 言葉と心理 観光のフランス語							
その他	注意事項： 3 回の遅刻で 1 回欠席とみなす 予習・復習を怠らないこと							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-21	授業コード	F02821
科目名称	フランス語Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	FrenchⅡ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	松村 悠子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	松村 悠子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	基礎的な会話練習を主体にフランス語の学修を行う。会話から出発して、発音、文法、語彙、表現を学ぶ。文法解説・練習問題、発話練習、聞き取り、テキスト読解、作文を通して、文法学習と、話す・聞く・読む・書く、の4技能の訓練をバランスよく行う。		
到達目標	基礎的な文法、語彙、表現を習得して、初歩的な会話を理解し遂行できるようになる。これらの文法、語彙、表現を用いた短い文を読み、簡単な文が書けるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	松村 悠子	【第1回】 予習：前期に学習した項目の要点をまとめる 授業：後期授業ガイダンス、前期の復習 復習：授業で扱った文法、語彙、表現の復習	
2	松村 悠子	【第2回】 予習：レッスン5の音声教材を聴く 授業：レッスン5、国籍、話せる言語について否定形を用いて表現する（教科書26頁）（ペアワーク） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習	
3	松村 悠子	【第3回】 予習：レッスン5の音声教材を聴く 授業：レッスン5、だれかについて聞く、だれかの国籍、話せる言語について否定形を用いて表現する（教科書27頁）（ペアワーク） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習	
4	松村 悠子	【第4回】 予習：レッスン5の音声教材を聴く 授業：レッスン5、だれかについて聞く、だれかの国籍、職業について名詞と形容詞を組み合わせで表現する、数字16から20、練習問題（教科書28から29頁）（ペアワーク） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習	
5	松村 悠子	【第5回】 予習：レッスン6の音声教材を聴く 授業：第1回目から第4回目授業内容の復習 レッスン6、年齢を言う、きく、動詞 avoir（教科書30頁）（ペアワーク） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習	
6	松村 悠子	【第6回】 予習：第1回目から第4回目授業内容の復習（小テスト1の準備） 授業：小テスト1 だれかの年齢を言う、きく、数字21から30（教科書31頁） 復習：小テスト1の問題再考	
7	松村 悠子	【第7回】 予習：レッスン6の音声教材を聴く 授業：曜日と1週間の時間割を言う、きく、練習問題（教科書32から33頁） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習	
8	松村 悠子	【第8回】 予習：レッスン7の音声教材を聴く 授業：第5回目から第7回目授業内容の復習 レッスン7、動詞 avoir を使った熟語（お腹が空いた等）、tu（君）と vous（あなた、君たち、あなたたち）、on（私たち）（教科書36から37頁）（ペアワーク） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習	
9	松村 悠子	【第9回】 予習：第5回目から第7回目授業内容の復習（小テスト2の準備） 授業：小テスト2 レッスン7、数字31から40、動詞 etre を使った表現（疲れた等）（教科書37から38頁）（ペアワーク） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習 復習：小テスト2の問題再考	

10	松村 悠子	【第 10 回】 予習 : レッスン 7 の音声教材を聴く 授業 : レッスン 7、動詞 être を使った表現 (疲れた等)、練習問題 (教科書 38 から 39 頁) 復習 : 授業で扱った語彙・表現の復習							
11	松村 悠子	【第 11 回】 予習 : レッスン 8 の音声教材を聴く 授業 : 第 8 回目から第 10 回目授業内容の復習 レッスン 8、物の名前、名詞の性、不定冠詞 (教科書 40 頁) (ペアワーク) 復習 : 授業で扱った語彙・表現の復習							
12	松村 悠子	【第 12 回】 予習 : 第 8 回目から第 10 回目授業内容の復習 (小テスト 3 の準備) 授業 : 小テスト 3 物を指し示す、物についてまく (教科書 41 頁) (ペアワーク) 復習 : 小テスト 3 の問題再考							
13	松村 悠子	【第 13 回】 予習 : レッスン 8 の音声教材を聞く 授業 : 第 11 回目から第 12 回目授業内容の復習 レッスン 8、数字 41 から 50、物の値段を言う、まく (教科書 42) (ペアワーク) 復習 : 授業で扱った語彙・表現の復習							
14	松村 悠子	【第 14 回】 予習 : 第 11 回目から第 12 回目授業内容の復習 (小テスト 4 の準備) 授業 : 小テスト 4 レッスン 8 の練習問題 (教科書 43 頁) 復習 : 授業で扱った語彙・表現の復習 復習 : 小テスト 4 の問題再考							
15	松村 悠子	【第 15 回】 予習 : 第 14 回目までの授業を振り返る。 授業 : 後期授業のまとめ 復習 : 授業で扱った項目の復習							
授業開始前学習									
授業内課題のフィードバックの方法		課題、小テストを返却後、問題を再考させ解説を行う。							
テキスト・教材		ロイク・ホグス 著『ブティットゥ・コンヴェルサسیون』駿河台出版社 (定価 : 2,300 円 + 税) 仏和辞書							
参考書									
評価の基準と方法		小テスト 80 点、平常点 (授業態度・課題提出) 20 点							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		◎	○			△	
関連科目		海外観光資源研究 A (ヨーロッパ 1) 海外観光資源研究 B (ヨーロッパ 2) 言葉と心理 観光のフランス語							
その他		単位取得には 3 分の 2 以上の出席が必要です。遅刻 1 回、あるいは早退 1 回を欠席 3 分の 1 回とみなします。つまり遅刻ないし早退 3 回で欠席 1 回と数えます。授業開始時刻より 30 分以上遅れて到着した場合、授業終了時刻より 30 分以上早く早退した場合は欠席扱いです。出席数配慮は原則として証明書類の提出により検討します。 宿題を出すことがあります。 全 15 回の授業計画を上 に示していますが、受講者やクラス の特性、また社会状況など諸々の都合に応じて若干変更になる場合があります。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-130-21	授業コード	F02822
科目名称	フランス語Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	FrenchⅡ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	米金 孝雄	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	米金 孝雄	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 10:10～10:40 木曜日 10:30～13:00 後期 水曜日 10:00～10:40 水曜日 12:10～13:00	研究室	10-711
授業概要	基礎的なフランス語の表現・成句を通して、様々なシチュエーションを想定した日常会話の習得を目指す。特に、フランス語特有の音に慣れ親しみ、文を暗誦するだけでなく、現実的な練習「ロール・プレイ」「シミュレーション」など、コミュニケーションのための言語使用に重点を置いた授業である。		
到達目標	初歩的なフランス語運用能力（話す・聞く・読む・書く）を習得することが目標である。フランス語特有のアルファベットの発音・基本的な挨拶の仕方・綴り字などを学び、積極的に使用する。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	米金 孝雄	【第 1 回】 予習：前期の復習(レッスン 1-4)とレッスン 5 の音声を聴くこと 授業：前期の復習、前期課題の確認、否定形の作り方と答え方、エリズィオン(26-27 頁,80 頁) (ペアワーク) 復習：国籍名詞、habiter の練習	
2	米金 孝雄	【第 2 回】 予習：レッスン 5 の音声を聴くこと 授業：どこに住んでるの、否定形、名前、職業 数字、不定冠詞、男性名詞、女性名詞 (27-28 頁) (ペアワーク) 復習：職業名詞、いいえの答え方、1-20 の数字、C'est + 名詞の練習	
3	米金 孝雄	【第 3 回】 予習：レッスン 5 ,5+の音声を聴くこと 授業：練習問題 (女性形、否定文)、Etre de + 地名、対話練習 (29 頁、81 頁) (ペアワーク) 復習：地図、国籍と名前の言い方	
4	米金 孝雄	【第 4 回】 予習：レッスン 6 の音声を聴くこと 授業：発音、年齢を言う、数字、リエゾン (30-31 頁) (ペアワーク) 復習：1-30 の数字、年齢表現	
5	米金 孝雄	【第 5 回】 予習：レッスン 6 の音声を聴くこと 授業：年号、曜日、科目名詞、練習問題 (31-33 頁) (ペアワーク) 復習：年号、曜日、科目名を言う	
6	米金 孝雄	【第 6 回】 予習：レッスン 6 ,6+の音声を聴くこと 授業：前回の復習、自己紹介、会話練習、 (34 頁、82 頁、92 頁) (ペアワーク) 復習：自己紹介の練習	
7	米金 孝雄	【第 7 回】 予習：レッスン 5, 6 の復習と確認 授業：レッスン 5, 6 の課題 (27-34 頁、81-82 頁、92 頁) (ペアワーク) 復習：レッスン 5, 6 の課題再考	
8	米金 孝雄	【第 8 回】 予習：レッスン 7 の音声を聴くこと 授業：中間試験再考、フランス語圏、体調を伝える、On の用法、Avoir 動詞の疑問文と答え (35-36 頁) (ペアワーク) 復習：on の用法、Aoir 動詞の確認、	
9	米金 孝雄	【第 9 回】 予習：レッスン 7 の音声を聴くこと 授業：数字、形容詞の質問と答え、Etre の否定文 (37-38 頁) (ペアワーク) 復習：1-40 の数字、形容詞を使った表現	
10	米金 孝雄	【第 10 回】 予習：レッスン 7,7+の音声を聴くこと 授業：練習問題(形容詞の用法と avoir/etre 動詞)、 (39 頁、83 頁) (ペアワーク) 復習：練習問題、レッスン 5-7 の復習	
11	米金 孝雄	【第 11 回】 予習：レッスン 8 の音声を聴くこと 授業：不定冠詞の種類と用法、「C'est?」表現 (40-41 頁) (ペアワーク)	

		復習：不定冠詞の練習、C'est?の練習
12	米金 孝雄	【第12回】 予習：レッスン8の音声を聴くこと 授業：数字1-50、「C'est combien?」表現，練習問題(42-43頁)(ペアワーク) 復習：数字表現の練習、C'est?の練習
13	米金 孝雄	【第13回】 予習：レッスン8,8+の音声を聴くこと 授業：Revisions 会話表現，練習問題(44-45頁)，(ペアワーク) 復習：聞き取り練習、応答練習
14	米金 孝雄	【第14回】 予習：レッスン8,8+の音声を聴くこと 授業：「Qu'est-ce que c'est?」の応答練習(84頁)(ペアワーク) 復習：「Qu'est-ce que c'est?」の練習、課題
15	米金 孝雄	【第15回】 予習：後期授業の復習 授業：1年次授業内容・重要事項の確認 復習：1年次授業内容再考

授業開始前学習	前回の学習事項の復習と、次回の学習事項の予習をすること。							
授業内課題のフィードバックの方法	小テスト・課題・レポート等提出後、内容を再考させ、各人の弱点を把握させ、確実な学習事項の習得へと導く。							
テキスト・教材	Petites Conversations(プティットゥ・コンヴェルサシオン)(駿河台出版社)							
参考書	適宜、授業内で資料を配布する。							
評価の基準と方法	配点：小テスト・提出課題・レポート80点，平常点(授業態度)20点							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	海外観光資源研究 A(ヨーロッパ1) 言葉と心理 観光のフランス語							
その他	注意事項： 3回の遅刻で1回欠席とみなす 予習・復習を怠らないこと							
予習・復習の所要時間	講義時間30時間(2時間×15週)+予習・復習時間15時間(1時間×15週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-22	授業コード	F02830
科目名称	フランス語Ⅲ	単位数	1.0 単位
英文名称	FrenchⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	米金 孝雄	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	米金 孝雄	開講時期	2 年
オフィスアワー	前期 水曜日 10:10～10:40 木曜日 10:30～13:00 後期 水曜日 10:00～10:40 水曜日 12:10～13:00	研究室	10-711
授業概要	フランス語Ⅰ・Ⅱで修得した知識を活用しながら、更なるフランス語の向上を目指す。 特に、フランス語特有の発音練習（リエゾン、アンシェンヌマン等）や聞き取り練習を繰り返し行い、コミュニケーション（「ロール・プレイ」「シミュレーション」）に慣れ親しみ、実践的な言語運用能力を身に付ける。		
到達目標	中級フランス語運用能力（話す・聞く・読む・書く）を修得し、積極的なフランス語での授業参加を目指す。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	米金 孝雄	【第 1 回】 予習：1 年次の復習、レッスン 9 の音声を聴くこと 授業：不定冠詞と定冠詞、冠詞の練習（46 頁） 復習：冠詞の確認	
2	米金 孝雄	【第 2 回】 予習：レッスン 9 の音声を聴くこと 授業：il y a 表現と前置詞、数量の質問と答え（47-48 頁）（ペアワーク） 復習：il y a と前置詞	
3	米金 孝雄	【第 3 回】 予習：レッスン 9 と 9+ の音声を聴くこと 授業：仏文和訳、絵を描く、疑問詞の練習、指示形容詞、練習問題（49,85,93 頁）（ペアワーク） 復習：指示形容詞の復習	
4	米金 孝雄	【第 4 回】 予習：レッスン 10 の音声を聴くこと 授業：好き・嫌いの表現、疑問詞 Est-ce que と応答（50-51 頁）（ペアワーク） 復習：食事の名詞、Est-ce que の練習	
5	米金 孝雄	【第 5 回】 予習：レッスン 10 の音声を聴くこと 授業：質問と応答、聞き取り練習、数字（51-60）、対話練習（52-53 頁）（ペアワーク） 復習：好き嫌い表現、疑問文と応答の練習	
6	米金 孝雄	【第 6 回】 予習：レッスン 10,10+ の音声を聴くこと 授業：faire 動詞と用法、聞き取り、指示形容詞の練習、疑問文と応答の練習（86 頁）（ペアワーク） 復習：faire 動詞と疑問文の確認	
7	米金 孝雄	【第 7 回】 予習：レッスン 11 の音声を聴くこと 授業：中間試験問題再考、スポーツ名詞と preferer 動詞（35 頁、54 頁）（ペアワーク） 復習：スポーツ名詞と preferer 動詞	
8	米金 孝雄	【第 8 回】 予習：レッスン 11 の音声を聴くこと 授業：基礎的な er 動詞と faire 動詞 質問と答え、mais の用法（55 頁）（ペアワーク） 復習：er 動詞と faire 動詞の練習	
9	米金 孝雄	【第 9 回】 予習：レッスン 11 の音声を聴くこと 授業：相手に質問をする、er 動詞の演習、街を紹介する（56-57 頁）（ペアワーク） 復習：動詞と名詞の関係の確認	
10	米金 孝雄	【第 10 回】 予習：レッスン 11,11+ の音声を聴くこと 授業：aller 動詞と縮約、manger 動詞、質問と答え（87 頁）（ペアワーク） 復習：aller 動詞と縮約、manger 動詞	
11	米金 孝雄	【第 11 回】 予習：レッスン 12 の音声を聴くこと 授業：家族を紹介する（年齢・職業・好きこと・嫌いなこと）、数字（61-70）、質問と答え（58-59 頁）（ペアワーク）	

		ク) 復習：数字、質問と答え						
12	米金 孝雄	【第12回】 予習：レッスン12の音声を聴くこと 授業：兄弟はいますか、所有形容詞、家族を紹介する、練習問題 (60-61頁) (ペアワーク) 復習：所有形容詞の練習、家族の紹介の仕方						
13	米金 孝雄	【第13回】 予習：レッスン12,12+の音声を聴くこと 授業：会話練習、er動詞の確認、Quel est~の表現、四季、練習問題 (62-63頁, 88頁)(ペアワーク) 復習：会話練習、er動詞の活用、Quel est~の表現、四季						
14	米金 孝雄	【第14回】 予習：レッスン12,12+の音声を聴くこと 授業：Quel est ~?, 四季を表す表現、会話練習、練習問題の確認 (88頁)、練習問題(94頁) (ペアワーク) 復習：lecon12/12+の学習事項の確認と再考						
15	米金 孝雄	【第15回】 予習：後期学習事項(Lecon9/9+~lecon12/12+)を復習すること 授業：1年次・2年次前期の学習事項の再確認と再考、動詞活用表 (7-63頁)(77-88頁)(91-94頁) 復習：1年次・2年次前期学習事項の復習と再考						
授業開始前学習	前回の学習事項の復習と、次回の学習事項の予習をすること。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題(小テスト、レポート、練習問題等)を提出後、内容を再考させ、各人の弱点を把握させ、確実な学習事項の修得へと導く。							
テキスト・教材	Petites Conversations(プティットウ・コンヴェルサシオン) (駿河台出版社)							
参考書	適宜、授業内で資料を配布する。							
評価の基準と方法	【配点】：小テスト・提出課題・レポート 80点, 平常点(授業態度)20点							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	海外観光資源研究 A(ヨーロッパ1) 言葉と心理 観光のフランス語							
その他	注意事項： 3回の遅刻で1回欠席とみなす 予習・復習を怠らないこと							
予習・復習の所要時間	講義時間 30時間 (2時間×15週) + 予習・復習時間 15時間 (1時間×15週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-22	授業コード	F02840
科目名称	フランス語Ⅳ	単位数	1.0 単位
英文名称	FrenchⅣ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	米金 孝雄	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	米金 孝雄	開講時期	2 年
オフィスアワー	前期 水曜日 10:10～10:40 木曜日 10:30～13:00 後期 水曜日 10:00～10:40 水曜日 12:10～13:00	研究室	10-711
授業概要	フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで修得した知識を活用しながら、更なるフランス語の向上を目指す。 特に、フランス語特有の発音練習（リエゾン、アンシェンヌマン等）や聞き取り練習を繰り返し行い、コミュニケーション（「ロール・プレイ」「シミュレーション」）に慣れ親しみ、実践的な言語運用能力を身に付ける。		
到達目標	中級フランス語運用能力（話す・聞く・読む・書く）を修得し、積極的なフランス語での授業参加を目指す。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	米金 孝雄	【第 1 回】 予習：前期の復習、レッスン 13 の音声を聴くこと 授業：前期の復習、時間を言う、時間を質問する、(64-65 頁) (ペアワーク) 復習：時間の質問と答え	
2	米金 孝雄	【第 2 回】 予習：レッスン 13 の音声を聴くこと 授業：フランス新幹線に乗る、科目と曜日と時間を表現する、数字 (71-80), 練習問題 (66 頁) (ペアワーク) 復習：数字、時間、科目、曜日の復習	
3	米金 孝雄	【第 3 回】 予習：レッスン 13,13+の音声を聴くこと 授業：穴埋め練習（形容詞、疑問詞、動詞）、電車の時刻表・スケジュールの聞き取り、質問と答え (67 頁) arriver 動詞、partir 動詞の活用と用法 (89 頁) (ペアワーク) 復習：arriver, partir の活用と用法	
4	米金 孝雄	【第 4 回】 予習：レッスン 14 の音声を聴くこと 授業：レストランやカフェにて（食べ物・飲み物の語彙、注文する (68-69 頁) (ペアワーク) 復習：食べ物・飲み物の語彙、注文の表現の復習	
5	米金 孝雄	【第 5 回】 予習：レッスン 14 の音声を聴くこと 授業：質問と応答、疑問詞 Qu'est-ce que...?, 数字 (81-90), 聞き取り・会話を完成させる練習、数字 (51-60)(70-71 頁) (ペアワーク) 復習：数字の復習、疑問文と応答の練習	
6	米金 孝雄	【第 6 回】 予習：レッスン 14,14+の音声を聴くこと 授業：質問を作る、文を完成させる、将来の夢や願望を語る (vouloir 動詞条件法、近接未来の用法) (71、90 頁) (ペアワーク) 復習：Vouloir 動詞、近接未来の復習	
7	米金 孝雄	【第 7 回】 予習：レッスン 13,14 の復習と確認 授業：レッスン 13,14 の課題 (27-34 頁、81-82 頁、92 頁) (ペアワーク) 復習：レッスン 13, 14 の課題再考	
8	米金 孝雄	【第 8 回】 予習：レッスン 15 の音声を聴くこと、課題 授業：食べ物の材料の語彙、不定冠詞と部分冠詞の種類・用法・否定形、acheter 動詞 (72-73 頁) (ペアワーク) 復習：食べ物の材料の語彙と avoir 動詞、不定冠詞・部分冠詞の復習	
9	米金 孝雄	【第 9 回】 予習：レッスン 15 の音声を聴くこと 授業：数字 (91-100)、faire 動詞の活用と用法、メモを取る、聞き取り・発話練習 (74-75 頁) (ペアワーク)	

		ーク) 復習 : 数字、対話練習						
10	米金 孝雄	【第 10 回】 予習 : レッスン 15 の音声を聴くこと 授業 : 否定文・和文仏訳の練習、基礎的な日常表現 (75-76 頁) (ペアワーク) 復習 : 否定形と食べ物/material 語彙の確認						
11	米金 孝雄	【第 11 回】 予習 : Lecon13,14,15 の音声を聴くこと 授業 : Lecon13,14,15 の作成、前期の復習 (95 頁) (ペアワーク) 復習 : 1 年次からの授業内容の復習						
12	米金 孝雄	【第 12 回】 予習 : 1 年次からの授業内容の復習、動詞活用の確認 授業 : 1 年次からの授業内容の復習、「動詞活用表」の確認 (97 頁) (プリント) (ペアワーク) 復習 : 動詞活用の復習						
13	米金 孝雄	【第 13 回】 予習 : 近い未来・近い過去の用法について調べておく 授業 : 近い未来・近い過去の用法と練習、前置詞と定冠詞の縮約と練習 (プリント) (ペアワーク) 復習 : 近い未来・近い過去の練習、前置詞と定冠詞の縮約練習						
14	米金 孝雄	【第 14 回】 予習 : 形容詞と副詞の比較級と最上級について調べておく 授業 : 形容詞と副詞の比較級と最上級 (プリント) (ペアワーク) 復習 : 形容詞と副詞の比較級と最上級の練習						
15	米金 孝雄	【第 15 回】 予習 : 後期授業の復習 授業 : 2 年次授業内容・重要事項の確認 復習 : 2 年次授業内容再考						
授業開始前学習	前回の学習事項の復習と、次回の学習事項の予習をすること。							
授業内課題のフィードバックの方法	小テスト・課題・レポート等提出後、内容を再考させ、各人の弱点を把握させ、確実な学習事項の習得へと導く。							
テキスト・教材	Petites Conversations(プティットゥ コンヴェルサシオン) (駿河台出版社)							
参考書	適宜、授業内で資料を配布する。							
評価の基準と方法	配点 : 小テスト・提出課題・レポート 80 点、平常点(授業態度)20 点							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける	社会的責務を果たすこと のできる専門力と判断力を身 につける	文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケ ーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	海外観光資源研究 A (ヨーロッパ 1) 言葉と心理 観光のフランス語							
その他	注意事項 : 3 回の遅刻で 1 回欠席とみなす 予習・復習を怠らないこと							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目分類	100-130-21	授業コード	F02850
科目名称	ドイツ語 I	単位数	1.0 単位
英文名称	German I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	岡野 史	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	岡野 史	開講時期	1 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	ドイツ語初学者を対象とし、ドイツ語初級文法の修得を目指す。具体的な文法事項としては、ドイツ語の読み方、発音からはじめ、人称代名詞、動詞の現在形活用、名詞の性と格変化、ドイツ語の語順、様々な冠詞類や並列接続詞の習得を目標とする。合わせて基本的な挨拶などの表現や、ドイツ語圏における様々な都市や文化について触れていく。各課において短いドイツ語の文章読解や、ドイツ語作文に取り組み、初級ドイツ語の基礎を確実に身につける。さらに動画資料や文学作品、時事的なニュースなど実際に用いられているドイツ語表現を紹介し、ドイツ語圏文化に対する関心をさらに高めていくことができるよう進めていく。		
到達目標	基本的なドイツ語の読み方、発音ができるようになることをはじめ、ドイツ語学習の基礎となる人称代名詞の変化、動詞の現在形、冠詞の格変化や語順のルールなどを理解し、簡単な文章読解、ドイツ語作文のなかで用いることができるようになることを目標とする。また基本的な挨拶や自己紹介などの会話表現を学び、短くともドイツ語でコミュニケーションをとることができるようになる。同時に、第二外国語としてドイツ語を学ぶ意義や目標を各々が見つけられるよう、ドイツ語圏への文化理解を深めていく。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	岡野 史	【第 1 回】 予習：シラバスの内容を確認。 授業：ガイダンス・ドイツ語とは：ヨーロッパにおけるドイツ語圏。アルファベット 復習：授業計画の内容確認。配布資料の確認。	
2	岡野 史	【第 2 回】 予習：テキスト p.1-3「アルファベット」「つづりと発音」の予習。前回の授業での配布資料を確認。 授業：アルファベット、つづりと発音① 復習：テキスト p.1-3 までの範囲で不明点を再チェック。配布資料の確認。	
3	岡野 史	【第 3 回】 予習：テキスト p.1-3「アルファベット」「つづりと発音」の確認。テキスト p.4「あいさつ」p.9「数字」の確認。前回の授業での配布資料を確認。 授業：つづりと発音②、簡単な挨拶と数字 復習：テキスト p.1-3, 4, 9 までの内容を確認。配布資料の確認。	
4	岡野 史	【第 4 回】 予習：テキスト p.10「主語になる人称代名詞、動詞の現在人称変化」の確認。 授業：Lektion1：主語になる人称代名詞、動詞の現在人称変化（規則変化） 復習：テキスト p.10-11 の文法事項と単語を確認すること。配布資料の確認。	
5	岡野 史	【第 5 回】 予習：テキスト p.14-15 の確認。 授業：Lektion1：自己紹介 復習：テキスト p. 14-15 の表現と単語の確認、確認テストの準備。	
6	岡野 史	【第 6 回】 予習：確認テスト（Lektion1）の準備。p.80: Freut mich!の確認。 授業：確認テスト（Lektion1）、p.80: Freut mich!、Lektion2：名詞の性・冠詞 復習：テキスト p.80 の文法事項と単語の確認をすること。	
7	岡野 史	【第 7 回】 予習：テキスト p.16-17「名詞の性・冠詞、名詞の格変化」の予習。 授業：Lektion2：名詞の性・冠詞、名詞の格変化 復習：テキスト p. 16-17 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。	
8	岡野 史	【第 8 回】 予習：テキスト p.18-19「疑問代名詞の格変化、並列の接続詞」の予習。 授業：Lektion2: 疑問代名詞の格変化、並列の接続詞 復習：テキスト p.18-19 の表現と単語の確認、確認テストの準備。	
9	岡野 史	【第 9 回】 予習：確認テスト（Lektion2）の準備。p.80: Werner Adam, Journalist の確認。 授業：確認テスト（Lektion2）、p.20-21：職業、p.80: Werner Adam, Journalist、 復習：テキスト p.20-23, 80 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。	
10	岡野 史	【第 10 回】 予習：テキスト p.24「動詞の現在人称変化 2、命令形」の予習。 授業：Lektion3：動詞の現在人称変化 2、命令形 復習：テキスト p.24-25 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。	

11	岡野 史	【第 11 回】 予習：テキスト p.26「人称代名詞の 3・4 格、語順、非人称の es」の予習。 授業：Lektion3：人称代名詞の 3・4 格、語順、非人称の es 復習：テキスト p.26-27 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。						
12	岡野 史	【第 12 回】 予習：テキスト p.28-29, p.81: Pierre in Köln の確認。 授業：趣味、 p.81: Pierre in Köln 復習：テキスト p.28-29, p.81 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。						
13	岡野 史	【第 13 回】 予習：テキスト p.30「名詞の複数形、冠詞類」の予習。 授業：Lektion4 :名詞の複数形、冠詞類 復習：テキスト p.30-31 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。						
14	岡野 史	【第 14 回】 予習：テキスト p.32「kein と nicht の使い方、否定疑問文の答え方」の予習、p.81: Deutsches Brot の確認。 授業：Lektion4：kein と nicht の使い方、否定疑問文の答え方、p.81: Deutsches Brot 復習：テキスト p.32-34, p.81、Lektion4 まで全体の復習。						
15	岡野 史	【第 15 回】 予習：ドイツ語 I で扱った内容について、不明点がないか確認。全体の復習。 授業：Lektion4 について理解度の確認、ドイツ語 I で扱った内容の確認 復習：Lektion1-4 の内容を確認、これまでの配布資料の確認。						
授業開始前学習	ドイツ語がどのような言語であるのかを知るために、教科書などに目を通しておくこと。 ドイツ文学、映画、音楽などにふれ、ドイツ語文化圏への理解を深めておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で確認小テストを行う。次週までに返却し、解説を行う。							
テキスト・教材	小野寿美子ほか『アー・ツェット 楽しく学ぶドイツ語』(朝日出版社)							
参考書	授業内で適宜紹介。 独和辞典については紙でも電子でも可							
評価の基準と方法	平常点（授業内での課題への取り組み、確認テスト）50%、期末試験 50%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	観光のドイツ語、海外観光資源研究 B (ヨーロッパ 2)							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-21	授業コード	F02860
科目名称	ドイツ語Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	German II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	岡野 史	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	岡野 史	開講時期	1 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	ドイツ語 I での学習内容を復習しつつ、基礎文法についてさらに学習を進める。文法事項や単語などを繰り返し確認することで、初級ドイツ語の知識の定着を目指していく。前置詞・話法の助動詞・未来形・不定代名詞などの文法事項を新たに学び、ドイツ語の表現の幅を広げていく。また同時に、様々な資料を通してドイツ語圏の文化に対する理解を深める。動画や音声などを利用した学習により、ドイツ語の音に親しみ、自然なドイツ語の表現を学んでいく。		
到達目標	ドイツ語の初級文法を理解し、ドイツ語でさらに幅広い表現ができるようになる。ドイツ語の音に慣れ親しむことで、簡単な会話を聞き取り、さらにそれに答えることができるようになる。またドイツ語圏についての知識を得ることで、言葉だけでなくドイツ文化の理解も深める。		
アクティブ・ラーニング型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	岡野 史	【第 1 回】 予習：シラバスの内容を確認。ドイツ語 I での既習事項について、復習と確認をすること。 授業：ガイダンス・Lektion 4 までの復習と確認。 復習：授業計画の内容確認。Lektion 4 までの範囲で不明点があるか確認。	
2	岡野 史	【第 2 回】 予習：Lektion 4 までの復習と確認。前回の授業での配布資料を確認。 授業：Lektion 4 までの復習と確認、発音の確認 復習：Lektion 4 までの範囲で不明点の再チェック。	
3	岡野 史	【第 3 回】 予習：テキスト p.38「前置詞の格支配」の予習。 授業：Lektion 5：前置詞の格支配 復習：テキスト p.38-39 の文法事項の確認をすること。配布資料の確認。	
4	岡野 史	【第 4 回】 予習：テキスト p.40「前置詞と定冠詞の融合形」の予習。 授業：Lektion 5：前置詞と定冠詞の融合形、前置詞の練習 復習：テキスト p.40-41 の文法事項と単語を確認すること。配布資料の確認。	
5	岡野 史	【第 5 回】 予習：テキスト p.42-43 単語の意味を調べておく。 授業：Lektion 5：どう行けばいいですか？、p.82「Mozartstadt」 復習：テキスト p.42-43, p.82 の表現と単語の確認、確認テストの準備。	
6	岡野 史	【第 6 回】 予習：テキスト p.44「話法の助動詞、未来形」の予習。 授業：確認テスト (Lektion5)、Lektion 6：話法の助動詞、未来形 復習：テキスト p.44-45 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。	
7	岡野 史	【第 7 回】 予習：テキスト p.46「従属の接続詞と副文、時刻の表現、不定代名詞 man」の予習。 授業：Lektion 6：従属の接続詞と副文、時刻の表現、不定代名詞 man 復習：テキスト p.46-47 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。	
8	岡野 史	【第 8 回】 予習：テキスト p.48-49 単語の性と意味を確認しておく。 授業：Lektion 6：ノイシュヴァンシュタイン城を見てみたい、p.82「Schloss Neuschwanstein」 復習：テキスト p.48-49、p.82 の表現と単語の確認、確認テストの準備。	
9	岡野 史	【第 9 回】 予習：テキスト p.52「形容詞の格変化」の予習。 授業：確認テスト (Lektion6)、Lektion7：形容詞の格変化 復習：テキスト p.52-53 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。	
10	岡野 史	【第 10 回】 予習：テキスト p.54「形容詞・副詞の比較」の予習。 授業：Lektion 7：形容詞・副詞の比較 復習：テキスト p.54-55 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。	
11	岡野 史	【第 11 回】 予習：テキスト p.56-57 の単語の性と意味を確認しておく。 授業：Lektion 7：レストランでの料理の注文、p.83「Restaurants in Deutschland」	

		復習：テキスト p.56-57, p.83 の表現と単語の確認、確認テストの準備。						
12	岡野 史	【第 12 回】 予習：確認テストの準備。 授業：確認テスト（Lektion7）、冠詞類まとめ 復習：配布資料の確認。						
13	岡野 史	【第 13 回】 予習：動詞（現在形）についてこれまでの内容を復習 授業：動詞（現在形）まとめ 復習：配布資料の確認。						
14	岡野 史	【第 14 回】 予習：形容詞（格変化）についてこれまでの内容を復習 授業：形容詞（格変化）まとめ 復習：配布資料の確認。Lektion7 まで全体の復習。						
15	岡野 史	【第 15 回】 予習：ドイツ語 II で扱った内容について、不明点がないか確認。全体の復習。 授業：理解度の確認、ドイツ語 II で扱った内容、理解度の確認 復習：Lektion5-7 の内容を確認、これまでの配布資料の確認。						
授業開始前学習	ドイツ語 I で学習した内容を確認しておくこと。 またドイツ文学、映画、音楽などにふれ、ドイツ語文化圏への理解を深めておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内にて確認小テストを行う。次週までに返却し、解説を行う。							
テキスト・教材	小野寿美子ほか『アー・ツェット 楽しく学ぶドイツ語』（朝日出版社）							
参考書	授業内で適宜紹介 独和辞典を持参すること（紙、電子など媒体は問わず）							
評価の基準と方法	平常点（授業内での課題への取り組み、確認テスト）50%、期末試験 50%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	観光のドイツ語、海外観光資源研究 B(ヨーロッパ 2)							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-22	授業コード	F02870
科目名称	ドイツ語Ⅲ	単位数	1.0 単位
英文名称	GermanⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	岡野 史	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	岡野 史	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	ドイツ語 I・II での学習内容を復習しつつ、基礎文法についてさらに学習を進める。文法事項や単語などを繰り返し確認することで、初級ドイツ語の知識の定着を目指していく。zu 不定詞や過去形、現在完了形などの文法事項を新たに学び、ドイツ語の表現の幅を広げていく。また同時に、様々な資料を通してドイツ語圏の文化に対する理解を深める。動画や音声などを利用した学習により、ドイツ語の音に親しみ、自然なドイツ語の表現を学んでいく。		
到達目標	ドイツ語の初級文法を理解し、ドイツ語でさらに幅広い表現ができるようになる。ドイツ語の音に慣れ親しむことで、簡単な会話を聞き取り、さらにそれに答えることができるようになる。またドイツ語圏についての知識を得ることで、言葉だけでなくドイツ文化の理解も深める。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	岡野 史	予習：シラバスの内容を確認。ドイツ語 I II での既習事項について、復習と確認をすること。 授業：ガイダンス・Lektion 7 までの復習と確認。 復習：授業計画の内容確認。Lektion 7 までの範囲で不明点があるか確認。	
2	岡野 史	【第 2 回】 予習：テキスト p.58「分離動詞、非分離動詞」の予習。 授業：Lektion8: 分離動詞、非分離動詞 復習：テキスト p.58-59 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。	
3	岡野 史	【第 3 回】 予習：テキスト p.60「zu 不定詞・zu 不定詞句」の予習。 授業：Lektion8 :zu 不定詞・zu 不定詞句 復習：テキスト p.60-61 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。	
4	岡野 史	【第 4 回】 予習：テキスト p.62-63 単語の性と意味を確認しておく。 授業：Lektion 8 :週末の予定は？、p.83.「Oktoberfest」 復習：テキスト p.62-63, p.83 の表現と単語の確認。Lektion8 まで全体の復習。	
5	岡野 史	【第 5 回】 予習：テキスト p.66「動詞の 3 基本形、過去に ge-を付けない動詞」の予習。 授業：Lektion9：動詞の 3 基本形、過去に ge-を付けない動詞 復習：テキスト p.66-67 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。	
6	岡野 史	【第 6 回】 予習：テキスト p.68「現在完了形」の予習。 授業：Lektion9：現在完了形 復習：テキスト p.68-69 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。	
7	岡野 史	【第 7 回】 予習：テキスト p.70-71、p.84: Ninas Wochenende の予習。 授業：Lektion9：週末に何をしたの？、p.84: Ninas Wochenende 復習：テキスト p.70-71、p.84 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。	
8	岡野 史	【第 8 回】 予習：テキスト p.72「過去形」の予習。 授業：Lektion10 :過去形 復習：テキスト p.72-73 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。確認テスト	
9	岡野 史	【第 9 回】 予習：確認テストの準備（動詞の時制について） 授業：確認テスト（動詞の時制について）。Lektion9 までの不明点の確認。 復習：配布資料の確認。	
10	岡野 史	【第 10 回】 予習：テキスト p.74「再帰代名詞と再帰動詞」の予習。 授業：Lektion10：再帰代名詞と再帰動詞 復習：テキスト p.74-75 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。	
11	岡野 史	【第 11 回】 予習：テキスト p.76-77、p.84: Der Fuchs und die Trauben の予習。 授業：Lektion10: 昨日はどこにいたの？ p.84: Der Fuchs und die Trauben	

		復習：テキスト p.76-77、p.84 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。						
12	岡野 史	【第 12 回】 予習：Lektion4-6 の内容の確認。 授業：Lektion4-6 の内容復習。 復習：Lektion4-6 の表現と単語の確認、配布資料の確認。						
13	岡野 史	【第 13 回】 予習：Lektion7-8 の内容の確認。 授業：Lektion7-8 の内容復習。 復習：Lektion7-8 の表現と単語の確認、配布資料の確認。						
14	岡野 史	【第 14 回】 予習：Lektion7-8 の内容の確認。 授業：Lektion7-8 の内容復習。 復習：Lektion7-8 の表現と単語の確認、配布資料の確認。						
15	岡野 史	【第 15 回】 予習：ドイツ語Ⅲで扱った内容について、不明点がないか確認。全体の復習。 授業：Lektion8-10 について理解度の確認、ドイツ語Ⅲで扱った内容の確認 復習：Lektion8-10 の内容を確認、これまでの配布資料の確認。						
授業開始前学習	ドイツ語 I・II で学習した内容を確認しておくこと。 またドイツ文学、映画、音楽などにふれ、ドイツ語文化圏への理解を深めておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で確認小テストを行う。次週までに返却し、解説を行う。							
テキスト・教材	小野寿美子ほか『アー・ツェット 楽しく学ぶドイツ語』(朝日出版社)							
参考書	授業内で適宜紹介 独和辞典を持参すること（紙、電子など媒体は問わず）							
評価の基準と方法	平常点（授業内での課題への取り組み、確認テスト）50%、期末試験 50%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	観光のドイツ語、海外観光資源研究 B(ヨーロッパ 2)							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-22	授業コード	F02880
科目名称	ドイツ語Ⅳ	単位数	1.0 単位
英文名称	GermanⅣ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	岡野 史	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	岡野 史	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでの学習内容を復習しつつ、基礎文法についてさらに学習を進める。文法事項や単語などを繰り返し確認することで、初級ドイツ語の知識の定着を目指していく。時制や関係代名詞についての全体的な確認と受動態・仮定法などの文法事項を新たに学び、ドイツ語の表現の幅を広げていく。また同時に、様々な資料を通してドイツ語圏の文化に対する理解を深める。ドイツ語で書かれた文章に多く触れることで、初級ドイツ語文法の総括的な習得を目指す。		
到達目標	ドイツ語の基礎的な文法事項についての習得を一通り完了させる。過去や未来・もしもの話など、表現できるドイツ語の幅を広げる。これまで学んだ基礎知識を用いることで、多少複雑なドイツ語でも読解が可能になる。さらに映像や音声を通し、ドイツ語圏についての様々な知識を得ることで、言葉だけでなくドイツ文化の理解も深める。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	岡野 史	【第 1 回】 予習：シラバスの内容を確認。ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでの既習事項について復習。 授業：ガイダンス・既習の文法事項について確認 復習：授業計画の内容確認。Lektion 10 までの範囲で不明点があるか確認。	
2	岡野 史	【第 2 回】 予習：Lektion 9 までの復習と確認。前回の授業での配布資料を確認。 授業：Lektion 9 の復習と確認、「動詞の 3 基本形と現在完了」 復習：Lektion 9 までの範囲で不明点の再チェック。配布資料の確認。	
3	岡野 史	【第 3 回】 予習：Lektion 10 の復習と確認。前回の授業での配布資料を確認。 授業：Lektion 10 の復習と確認、「過去形、再帰代名詞と再帰動詞」 復習：Lektion 10 までの範囲で不明点の再チェック。配布資料の確認。	
4	岡野 史	【第 4 回】 予習：Lektion 9・10 の復習と確認。前回の授業での配布資料を確認。 授業：これまでの動詞の時制の総復習 復習：Lektion 9・10 の文法事項の確認。配布資料の確認。確認テストの準備。	
5	岡野 史	【第 5 回】 予習：これまでに学んだ動詞の時制について復習。 授業：確認テスト（動詞の時制）。名詞の性についての確認 復習：テキスト p.88-89「名詞の性の見分け方」、配布資料の確認。	
6	岡野 史	【第 6 回】 予習：テキスト p.95「受動形（1）動作受動」の予習。 授業：受動形の基本的用法 復習：テキスト p.95「受動形（1）動作受動」の文法事項の確認をすること。配布資料の確認。	
7	岡野 史	【第 7 回】 予習：テキスト p.96「受動形（2）状態受動（3）自動詞の受動」の予習。 授業：状態受動、自動詞の受動について 復習：テキスト p.96「受動形（2）状態受動（3）自動詞の受動」の文法事項の確認をすること。配布資料の確認。	
8	岡野 史	【第 8 回】 予習：前 2 回の授業で扱った受動形について復習。 授業：その他の受動形、受動形の使い分け 復習：テキスト p.95-96 の文法事項、配布資料の確認。確認テストの準備。	
9	岡野 史	【第 9 回】 予習：これまでに学んだ受動形について復習。 授業：確認テスト（受動形）、形容詞の格変化の確認 復習：形容詞の格変化について確認。配布資料の確認。	
10	岡野 史	【第 10 回】 予習：テキスト p.96「分詞」の予習。 授業：現在分詞、過去分詞 復習：テキスト p.96 の文法事項の確認をすること。配布資料の確認。	
11	岡野 史	【第 11 回】 予習：テキスト p.97-99「接続法」の予習。 授業：接続法の用法、時制	

		復習：テキスト p.97-99 の文法事項の確認をすること。配布資料の確認。						
12	岡野 史	【第 12 回】 予習：テキスト p.97-99「接続法」の予習。前回配布資料の確認。 授業：接続法第一式（要求話法、間接話法） 復習：テキスト p.97-99 の文法事項の確認をすること。配布資料の確認。						
13	岡野 史	【第 13 回】 予習：テキスト p.97-99「接続法」の予習。前回配布資料の確認。 授業：接続法第二式（仮定法） 復習：テキスト p.97-99 の文法事項の確認をすること。配布資料の確認。						
14	岡野 史	【第 14 回】 予習：前 3 回の授業で扱った接続法について復習。 授業：接続法についての確認、接続法のヴァリエーション 復習：テキスト p.98-99 の文法事項、配布資料の確認。確認テストの準備。						
15	岡野 史	【第 15 回】 予習：ドイツ語 I・II・III でこれまで学んだ文法事項について復習。 授業：全体を通じた不明点の確認 復習：Lektion1-10 の内容を確認、「受動態」「接続法」を中心にテキストとこれまでの配布資料の確認。						
授業開始前学習	ドイツ語 I・II・III で学習した内容を確認しておくこと。 またドイツ文学、映画、音楽などにふれ、ドイツ語文化圏への理解を深めておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で確認小テストを行う。次週までに返却し、解説を行う。							
テキスト・教材	小野寿美子ほか『アー・ツェット 楽しく学ぶドイツ語』(朝日出版社)							
参考書	授業内で適宜紹介 独和辞典を持参すること（紙、電子など媒体は問わず）							
評価の基準と方法	平常点（授業内での課題への取り組み、確認テスト） 50%、期末試験 50%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	観光のドイツ語、海外観光資源研究 B(ヨーロッパ 2)							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-21	授業コード	F02890
科目名称	スペイン語 I	単位数	1.0 単位
英文名称	Spanish I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	木下 令子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	木下 令子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	<p>スペイン語は約 4 億人の人々が話す世界で最も使用人口が多い言語の一つです。20 か国に及ぶスペイン語圏の人々の文化は多様性に富み、魅力にあふれています。この授業はスペイン語の読み・書き・会話の基本的な力をつけることをテーマとします。今期はまずスペイン語の発音に親しみ、男性名詞・女性名詞、形容詞、動詞 ser と estar の用法などの基本的な文法事項を学びます。同時に、日常生活を題材とした会話表現を練習することにより、コミュニケーション能力を養います。</p>		
到達目標	<p>スペイン語の音声に慣れることがまず第一の目標です。次に文法の 2 つの柱、名詞と動詞の特徴を理解して身につけます。名詞には男性名詞・女性名詞、単数・複数があること、それによって形の変化する要素があること。動詞には主語によって形を変える活用があること。この 2 つを理解し、何回も声に出して言うことで自然に身につけていきましょう。会話では、簡単な挨拶ができ、基本的な単語を使って食べ物・飲み物を注文したり、自己紹介ができるようになることを目標とします。</p>		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	木下 令子	<p>【第 1 回】 予習 : シラバスと 教科書 pp. i-iv を読む。スペイン語がどの国で話されているか調べてみる。 授業 : 授業の概要、スペイン語の説明。アルファベット。(課題解決型学習) 復習 : CD2 を聴きながらアルファベットを復習する。</p>	
2	木下 令子	<p>【第 2 回】 予習 : 教科書 pp. 1~2 を読む。 授業 : 発音の手引き。単語の発音練習。(課題解決型学習) 復習 : CD3~4 を聴きながら教科書 pp. 1~2 を復習する。</p>	
3	木下 令子	<p>【第 3 回】 予習 : 教科書 p. 3 を読む。 授業 : あいさつ。発音練習。数の 1~10。(ペア・ワーク) 復習 : CD5~6 を聞きながら教科書 p. 3 を復習する。小テストのために 1~10 のスペルを覚える。</p>	
4	木下 令子	<p>【第 4 回】 予習 : 1 課。教科書 p. 4 を読む。 授業 : 数 1~10 のスペルのテスト。男性名詞と女性名詞。名詞の複数形。定冠詞と不定冠詞。(課題解決型学習) 復習 : 教科書 p. 4 の単語を音読し、意味を覚える。</p>	
5	木下 令子	<p>【第 5 回】 予習 : 1 課。教科書 p. 5 を読む。単語の意味を調べる。 授業 : p. 4 の単語テスト。形容詞。Ejercicios。(課題解決型学習) 復習 : 冠詞・形容詞の名詞との一致を復習する。p. 5 を音読して意味を確認する。</p>	
6	木下 令子	<p>【第 6 回】 予習 : 1 課。教科書 p.6 を読む。単語の意味を調べる。 授業 : Expresiones clave. 「カフェオレをお願いします」「ワインをお願いします」「少しお待ちください」(ペア・ワーク) 復習 : Expresiones clave を暗記する。会話表現を繰り返し練習し、意味を確認する。CD7~10 を聴く。</p>	
7	木下 令子	<p>【第 7 回】 予習 : 1 課。p. 7 を読む。単語の意味を調べる。 授業 : Vamos a practicar. 「夕バス」飲み物や食べものを注文する。(ペア・ワーク) 復習 : 小テストのために 1 課を復習する。CD11, 12 を聴く。</p>	
8	木下 令子	<p>【第 8 回】 予習 : 2 課。教科書 p. 8 を読む。単語の意味を調べる。 授業 : 1 課の小テスト。主語の人称代名詞。動詞 ser の活用と用法。否定文。疑問文。(課題解決型学習) 復習 : 主語の人称代名詞と ser の活用を繰り返し練習して暗記する。</p>	
9	木下 令子	<p>【第 9 回】 予習 : 2 課。教科書 p. 9 を読む。単語の意味を調べる。 授業 : 動詞 ser 活用のテスト。指示詞。Ejercicios。(課題解決型学習) 復習 : p.9 を音読して意味を確認する。</p>	
10	木下 令子	<p>【第 10 回】 予習 : 2 課。教科書 p. 10 を読む。単語の意味を調べる。 授業 : Expresiones clave. 「やあ、みんな!」「どうぞよろしく」「それは何ですか?」(ペア・ワーク)</p>	

		復習 : Expresiones clave を暗記する。会話表現を繰り返し練習し、意味を確認する。CD13~16 を聴く。						
11	木下 令子	【第 11 回】 予習 : 2 課。教科書 p. 11 を読む。単語の意味を調べる。 授業 : Vamos a practicar. 自己紹介、他己紹介。国籍や出身について質問し合う。(ペア・ワーク) 復習 : 小テストのために 2 課を復習する。CD17, 18 を聴く。						
12	木下 令子	【第 12 回】 予習 : 3 課。教科書 p. 12 を読む。単語の意味を調べる。 授業 : 2 課の小テスト。動詞 estar の活用と用法。所有形容詞。疑問詞。(課題解決型学習) 復習 : estar の活用、所有形容詞を繰り返し練習して暗記する。						
13	木下 令子	【第 13 回】 予習 : 3 課。教科書 p. 13 を読む。単語の意味を調べる。 授業 : 動詞 estar の活用テスト。Ejercicios。(課題解決型学習) 復習 : 疑問詞を用いた例文を暗記する。p. 13 を音読して意味を確認する。						
14	木下 令子	【第 14 回】 予習 : 3 課。教科書 p. 14 を読む。単語の意味を調べる。 授業 : Expresiones clave. 「とてもおいしいです」「これは私のです」(ペア・ワーク) 復習 : Expresiones clave を暗記する。会話表現を繰り返し練習し、意味を確認する。CD19, 21,22 を聴く。						
15	木下 令子	【第 15 回】 予習 : 教科書 pp. 1~14 を見直す。 授業 : プリントを配布し、第 1 回~第 14 回の授業内容を復習する。(課題解決型学習) 復習 : 定期試験のために、プリントと教科書 pp. 1~14 を復習する。						
授業開始前学習	テレビやラジオのスペイン語講座を視聴してみてください。							
授業内課題のフィードバックの方法	小テストを実施し、翌週返却し、合格点に達していない学生は再提出します。							
テキスト・教材	加藤ナツ子、木下令子、吉川恵美子著『スペイン語を話しますか?』大学書林							
参考書	『プログレッシブ スペイン語辞典』小学館 『パスポート 初級スペイン語辞典』白水社							
評価の基準と方法	平常点(毎回の授業参加態度、課題、小テストなど) 40%、定期試験 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	授業では随時ビデオ、音楽 CD、インターネットサイトなどで、スペイン語圏の生活や文化を紹介します。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-21	授業コード	F02900
科目名称	スペイン語Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	Spanish II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	木下 令子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	木下 令子	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	この授業はスペイン語Ⅰを終了した人を対象とし、文法の基礎を理解し、読み・書き・会話の基本的な力をさらにつけることをテーマとします。今期は規則動詞・不規則動詞の活用と用法を中心に、目的語の代名詞、前置詞の用法などを理解し、身につけます。同時に、日常生活を題材とした会話表現を練習することにより、コミュニケーション能力をさらに養います。		
到達目標	文法では 3 種類の規則動詞と、よく使われる語幹母音変化動詞や不規則動詞の活用と用法を身につけることが第一の到達目標です。もう一つの到達目標は、スペイン語の理解に大切な目的語の代名詞の使い方を理解することです。会話ではそれらを使って自分の日常生活について話し、依頼したり許可を求めたりする表現が使えるようになることを目指します。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	木下 令子	【第 1 回】 予習 : 教科書 p. 13 までの復習。 授業 : スペイン語Ⅰで学んだ教科書 p. 13 までを復習する。 復習 : 動詞 ser と estar の活用と用法を復習する。	
2	木下 令子	【第 2 回】 予習 : 教科書 pp. 14-15 を読む。単語の意味を調べる。 授業 : 「観光案内所はこのあたりにありますか?」「とてもおいしいです」「これは私のです」 Vamos a practicar. (ペア・ワーク) 復習 : 小テストのために「施設」「位置の表現」を覚える。CD23, 24 を聴く。	
3	木下 令子	【第 3 回】 予習 : 4 課。教科書 p. 16 を読む。単語の意味を調べる。 授業 : 3 課の小テスト。規則動詞-ar 動詞, -er 動詞, -ir 動詞の活用。規則動詞-ar 動詞, -er 動詞, -ir 動詞の用法(1)。(課題解決型学習) 復習 : 3 種類の規則動詞の活用を繰り返し練習して暗記する。	
4	木下 令子	【第 4 回】 予習 : 4 課。教科書 pp. 16-17 を読む。単語の意味を調べる。 授業 : 規則動詞-ar 動詞, -er 動詞, -ir 動詞の用法(2)。目的語と前置詞 a。疑問詞(2)。 Ejercicios. (課題解決型学習) 復習 : 規則動詞の活用を復習し、単語の意味と例文を暗記する。	
5	木下 令子	【第 5 回】 予習 : 4 課。教科書 p. 18。単語の意味を調べる。 授業 : Expresiones clave. 「何語を話しますか?」「学生?それとも働いているの?」「千葉に住んでいます」(ペア・ワーク) 復習 : Expresiones clave を暗記する。会話表現を繰り返し練習し、意味を確認する。CD25~29 を聴く。	
6	木下 令子	【第 6 回】 予習 : 4 課。教科書 p. 19。単語の意味を調べる。 授業 : Vamos a practicar. 「時刻」規則動詞、疑問詞を使って会話練習をする。(ペア・ワーク) 復習 : 時刻の言い方を繰り返し練習し、スペイン語の質問に答えられるようにする。CD30 を聴く。 小テストのために 4 課を復習する。	
7	木下 令子	【第 7 回】 予習 : 5 課。教科書 p.20(1)。単語の意味を調べる。 授業 : 4 課小テスト。語幹母音変化動詞の活用と用法(1)。(課題解決型学習) 復習 : 語幹母音変化動詞の活用を繰り返し練習し、意味と例文を暗記する。	
8	木下 令子	【第 8 回】 予習 : 5 課。教科書 p.20(1)。単語の意味を調べる。 授業 : 語幹母音変化動詞の活用と用法(2)。(課題解決型学習) 復習 : 語幹母音変化動詞の活用を繰り返し練習し、意味と例文を暗記する。	
9	木下 令子	【第 9 回】 予習 : 5 課。教科書 pp.20(2)– 21(3)(4)。単語の意味を調べる。 授業 : 直接目的語の人称代名詞「〜を」。主な前置詞。前置詞後の人称代名詞。Ejercicios. (課題解決型学習) 復習 : 授業で学んだ項目を復習し、例文を暗記する。	
10	木下 令子	【第 10 回】 予習 : 5 課。教科書 p. 22。単語の意味を調べる。 復習 : Expresiones clave. 「今日の試合は何時から?」「買い物につきあってくれない?」「お手伝いしましょう	

		か？」(ペア・ワーク) 復習 : Expresiones clave を暗記する。会話文を繰り返し読み、意味を確認する。CD31~34 を聴く。						
11	木下 令子	【第 11 回】 予習 : 5 課。教科書 p.23。単語の意味を調べる。 授業 : Vamos a practicar. 要求、依頼、許可を求める会話を練習する。買い物の場面での会話を練習する。(ペア・ワーク) 復習 : 会話表現を繰り返し練習し、意味を確認する。CD35 を聴く。						
12	木下 令子	【第 12 回】 予習 : 6 課。教科書 p.26。単語の意味を調べる。 授業 : 5 課小テスト。不規則動詞 tener, venir, decir, oír, ir。(課題解決型学習) 復習 : 不規則動詞の活用を繰り返し練習し、意味と例文を暗記する。						
13	木下 令子	【第 13 回】 予習 : 6 課。教科書 pp.26-27。単語の意味を調べる。 授業 : 不定詞を使った表現。直接目的語の人称代名詞「〜に」。Ejercicios。(課題解決型学習) 復習 : 授業で学んだ項目を復習し、例文を暗記する。						
14	木下 令子	【第 14 回】 予習 : 6 課。教科書 pp. 28-29。単語の意味を調べる。 授業 : Expresiones clave。「ご飯にしよう」「何を作るの?」「車を貸してくれる?」Vamos a practicar. tener を使った表現。(ペア・ワーク) 復習 : Expresiones clave を暗記する。会話表現を繰り返し練習し、意味を確認する。CD38-42 を聴く。						
15	木下 令子	【第 15 回】 予習 : 教科書 pp. 14~29 を見直す。 授業 : 第 1 回~第 14 回の授業内容を復習する。(課題解決型学習) 復習 : 定期試験のために、教科書 pp. 14~29 を復習する。						
授業開始前学習	テレビやラジオのスペイン語講座を視聴してみてください。							
授業内課題のフィードバックの方法	小テストを実施し、翌週返却し、合格点に達していない学生は再提出します。							
テキスト・教材	加藤ナツ子、木下令子、吉川恵美子『スペイン語を話しますか?』 大学書林							
参考書	『プログレッシブ スペイン語辞典』小学館 『パスポート 初級スペイン語辞典』白水社							
評価の基準と方法	平常点(毎回の授業参加態度と課題、小テスト)40%、定期試験60%。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	授業では随時ビデオ、音楽 CD、インターネットサイトなどで、スペイン語圏の生活や文化を紹介します。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間(2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間(1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-22	授業コード	F02911
科目名称	スペイン語Ⅲ	単位数	1.0 単位
英文名称	SpanishⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	木下 令子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	木下 令子	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	<p>スペイン語は約 4 億人の人々が話す世界で最も使用人口が多い言語の一つです。20 か国に及ぶスペイン語圏の人々の文化は多様性に富み、魅力にあふれています。この授業はスペイン語Ⅱを終了した人を対象とし、スペイン語の読み・書き・会話の基本的な力をさらにつけることをテーマとします。</p> <p>スペイン語Ⅰ・Ⅱで学んだ内容を使いこなすと共に、今期では不規則動詞を学んでさらに多くのことを表現できるようになります。</p>		
到達目標	<p>タイプの異なる不規則動詞の活用に慣れて使えるようになる。</p> <p>また、好みについて話をしたり、2 つ以上の事柄を比較できるようになる。</p>		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	木下 令子	<p>【第 1 回】</p> <p>予習：教科書 pp.1-29 を読んで、スペイン語Ⅰ・Ⅱの復習をする。</p> <p>授業：プリントを配布し、スペイン語Ⅰ・Ⅱの内容を復習する。（課題解決型学習）</p> <p>復習：ser、estar、規則動詞、語幹母音変化動詞、不規則動詞の活用の復習をする。</p>	
2	木下 令子	<p>【第 2 回】</p> <p>予習：7 課 テキスト p.30 の 1 の活用表</p> <p>授業：1 人称単数形のみ不規則な動詞（1）hacer, poner, salir（課題解決型学習）</p> <p>復習：動詞 hacer, poner, salir の意味と活用を覚える。授業で学んだ例文を復習する。</p>	
3	木下 令子	<p>【第 3 回】</p> <p>予習：テキスト p.30 の 2</p> <p>授業：動詞 gustar の用法（課題解決型学習）</p> <p>復習：動詞 gustar の例文を復習して、好みを言うようにする。</p>	
4	木下 令子	<p>【第 4 回】</p> <p>予習：テキスト p.30 の 3 と 4、p.31</p> <p>授業：不定語と否定語（1）、接続詞（1）、Ejercicios（課題解決型学習）</p> <p>復習：授業で学んだ例文や練習問題を復習する。</p>	
5	木下 令子	<p>【第 5 回】</p> <p>予習：テキスト p.32 の単語を辞書で調べる。</p> <p>授業：Expresiones clave、Dialogos「明日何をするの?」「ピクニックに行かない?」「トドまでの往復切符 2 枚お願いします」（ペア・ワーク）</p> <p>復習：授業で学んだ例文や会話文を音読し、意味を確認する。</p>	
6	木下 令子	<p>【第 6 回】</p> <p>予習：テキスト p.33 の単語を辞書で調べる。</p> <p>授業：Vamos a practicar－天気（ペア・ワーク）</p> <p>復習：小テストのために 7 課を復習する。</p>	
7	木下 令子	<p>【第 7 回】</p> <p>予習：8 課 テキスト p.34 の 1</p> <p>授業：7 課の小テスト、1 人称単数形のみ不規則な動詞（2）conocer, saber, dar, ver（課題解決型学習）</p> <p>復習：conocer, saber, dar, ver の意味と活用を覚える。授業で学んだ例文を復習する。</p>	
8	木下 令子	<p>【第 8 回】</p> <p>予習：テキスト p.34 の 2 と 3</p> <p>授業：比較級と最上級、不定語と否定語（2）（課題解決型学習）</p> <p>復習：授業で学んだ例文を復習し、意味を確認する。</p>	
9	木下 令子	<p>【第 9 回】</p> <p>予習：テキスト pp.35-36 の単語を辞書で調べる。</p> <p>授業：Ejercicios、Dialogos「どこかいいレストラン知ってる?」「いつから彼を知っているの?」「もっと熟したのはありませんか?」（ペア・ワーク）</p> <p>復習：授業で学んだ例文や会話文を音読し、意味を確認する。</p>	
10	木下 令子	<p>【第 10 回】</p> <p>予習：テキスト p.37 の単語を辞書で調べる。</p> <p>授業：Vamos a practicar－8 課の文法事項を使った会話表現。「料理名」「レストランのメニュー」（ペア・ワ</p>	

		<p>ーク)</p> <p>復習 : 小テストのために 8 課の復習をする。</p>						
11	木下 令子	<p>【第 11 回】</p> <p>予習 : 9 課 テキスト p.38 の単語を辞書で調べる。</p> <p>授業 : 8 課の小テスト、再帰動詞(1) (課題解決型学習)</p> <p>復習 : 再帰動詞の活用を覚える。授業で学んだ例文を復習する。</p>						
12	木下 令子	<p>【第 12 回】</p> <p>予習 : 再帰動詞の活用の復習をする。</p> <p>授業 : 再帰動詞の使い方(2) (課題解決型学習)</p> <p>復習 : 授業で学んだ例文を復習し、意味を確認する。</p>						
13	木下 令子	<p>【第 13 回】</p> <p>予習 : テキスト p.38 の 2 と 3</p> <p>授業 : 無人称文、受け身(1) (課題解決型学習)</p> <p>復習 : 授業で学んだ例文を復習する。</p>						
14	木下 令子	<p>【第 14 回】</p> <p>予習 : テキスト p.39 の単語を辞書で調べる。</p> <p>授業 : Ejercicios (課題解決型学習)</p> <p>復習 : 9 課の文法事項を復習する。</p>						
15	木下 令子	<p>【第 15 回】</p> <p>予習 : 7 課- 9 課を復習しておく。</p> <p>授業 : プリントを配布し、今期の学習内容を復習する。(課題解決型学習)</p> <p>復習 : プリントとテキスト pp.30-39 を復習する。</p>						
授業開始前学習	インターネットやテレビ、新聞などのスペインや中南米に関する報道をチェックしよう。 また、自分の興味のある事柄をインターネットで調べてみよう。							
授業内課題のフィードバックの方法	各課終了時に行う小テストについては、返却時に解説を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	加藤ナツ子、木下令子、吉川恵美子著『スペイン語を話しますか?』(大学書林)							
参考書	『プログレッシブスペイン語辞典』小学館 『パスポート 初級スペイン語辞典』白水社							
評価の基準と方法	平常点(授業参加態度、小テストなど) 40%、定期試験 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	授業では随時ビデオ、音楽 CD、インターネットサイトなどで、スペイン語圏の生活や文化を紹介します。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-22	授業コード	F02921
科目名称	スペイン語Ⅳ	単位数	1.0 単位
英文名称	SpanishⅣ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	木下 令子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	木下 令子	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	<p>スペイン語は約 4 億人の人々が話す世界で最も使用人口が多い言語の一つです。20 か国に及ぶスペイン語圏の人々の文化は多様性に富み、魅力にあふれています。この授業はスペイン語Ⅲを終了した人を対象とし、さらにスペイン語の読み・書き・話す力を伸ばすことをテーマとします。スペイン語Ⅳでは、再帰動詞や 2 人称の肯定命令を学び、動詞の直説法現在の学習を終了し、過去形の学習に進みます。</p>		
到達目標	<p>再帰動詞を使って日常の行為について話せるようになる。 2 人称の肯定命令を使って親しい人に指示をしたり、お願いができるようになる。 動詞の直説法現在を使って多様な表現ができるようになる。 直説法点過去を使って過去に起こった出来事を伝えることができるようになる。</p>		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	木下 令子	<p>【第 1 回】 予習：テキスト pp.30-39 を読んで、スペイン語Ⅲの復習をする。 授業：プリントを配布し、スペイン語Ⅲの内容を復習する。(課題解決型学習) 復習：規則動詞、語幹母音変化動詞、不規則動詞、再帰動詞の活用を復習する。</p>	
2	木下 令子	<p>【第 2 回】 予習：テキスト p.40 の単語を辞書で調べる。 授業：Expresiones clave、Dialogos「もう行かなくちゃ」「また会えてうれしいわ」「どこで売っていますか?」(ペア・ワーク) 復習：授業で学んだ例文や会話文を音読し、意味を確認する。</p>	
3	木下 令子	<p>【第 3 回】 予習：テキスト p.41 の単語を辞書で調べる。 授業：Vamos a practicar –再帰動詞を使って 1 日の行動を説明する。「日常の行為」「身体」(ペア・ワーク) 復習：小テストのために 9 課の復習をする。</p>	
4	木下 令子	<p>【第 4 回】 予習：10 課 テキスト p.42 の 1 授業：9 課の小テスト。2 人称の肯定命令 (課題解決型学習) 復習：授業で学んだ例文を復習する。</p>	
5	木下 令子	<p>【第 5 回】 予習：テキスト p.42 の 2 と 3、p.43 授業：現在分詞、進行形、Ejercicios (課題解決型学習) 復習：10 課の文法事項を復習する。</p>	
6	木下 令子	<p>【第 6 回】 予習：テキスト p.44 の単語を辞書で調べる。 授業：Expresiones clave、Dialogos「ネットで動画を見ています」「大型台風が接近中」「遅れてごめん」(ペア・ワーク) 復習：授業で学んだ例文や会話文を音読し、意味を確認しておくこと。</p>	
7	木下 令子	<p>【第 7 回】 予習：テキスト p.45 の単語を辞書で調べる。 授業：Vamos a practicar – 2 人称の命令形や現在分詞を使っての会話練習 (ペア・ワーク) 復習：小テストのために 10 課の復習をする。</p>	
8	木下 令子	<p>【第 8 回】 予習：11 課 テキスト p.48 の単語を辞書で調べる。 授業：10 課の小テスト。直説法点過去 – 規則動詞 (課題解決型学習) 復習：規則動詞の点過去形の活用を覚える。授業で学んだ例文を復習する。</p>	
9	木下 令子	<p>【第 9 回】 予習：テキスト p.48 の 2、p.49 授業：直説法点過去 – 語幹母音変化動詞、Ejercicios (課題解決型学習) 復習：語幹母音変化動詞の点過去形の活用を覚える。授業で学んだ例文を復習する。</p>	

10	木下 令子	【第 10 回】 予習：p.50 の単語の意味を辞書で調べる。 授業：Expresiones clave, Dialogos 「何時に寝たの？」「何を盗まれたの？」「デートはどうだった？」（ペア・ワーク） 復習：授業で学んだ例文や会話文を音読し、意味を確認しておくこと。						
11	木下 令子	【第 11 回】 予習：p.51 の単語の意味を辞書で調べる。 授業：Vamos a practicar. 過去の表現(1) 点過去を使つての会話練習。（ペア・ワーク） 復習：小テストのために 11 課の復習をする。						
12	木下 令子	予習：12 課 p.52 授業：11 課の小テスト。直説法点過去－不規則動詞（課題解決型学習） 復習：不規則動詞の点過去形の活用を覚える。授業で学んだ例文を復習する。						
13	木下 令子	予習：p.53 授業：関係代名詞 que、Ejercicios（課題解決型学習） 復習：12 課の文法事項を復習する。。						
14	木下 令子	【第 14 回】 予習：p.54 と p.55 の単語の意味を辞書で調べる。 授業：Expresiones clave, Dialogos 「スキーに行きました」「パーティに行けなかった」「寒くて眠れませんでした」「土曜日に何をしたの？」、Vamos a practicar－メールの書き方（ペア・ワーク） 復習：授業で学んだ例文や会話文を音読し、意味を確認しておくこと。						
15	木下 令子	【第 15 回】 予習：9 課－12 課を復習しておく。 授業：プリントを配布し、今期の学習内容を復習する。（課題解決型学習） 復習：プリントと pp.40-53 を復習する。						
授業開始前学習	インターネットやテレビ、新聞などのスペインや中南米に関する報道をチェックしよう。 また、自分の興味のある事柄をインターネットで調べてみよう。							
授業内課題のフィードバックの方法	各課終了時に行う小テストについては、返却時に解説を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	加藤ナツ子、木下令子、吉川恵美子著『スペイン語を話しますか？』大学書林							
参考書	『プログレッシブ スペイン語辞典』小学館 『パスポート 初級スペイン語辞典』白水社							
評価の基準と方法	定期試験 60%、平常点（授業参加態度、小テストなど） 40%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	授業では随時ビデオ、音楽 CD、インターネットサイトなどで、スペイン語圏の生活や文化を紹介します。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-21	授業コード	F02931
科目名称	中国語 I	単位数	1.0 単位
英文名称	Chinese I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	保坂 律子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	保坂 律子	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 10:00～13:00 後期 水曜日 10:00～13:00	研究室	10-709
授業概要	隣国中国は歴史的、地理的、文化的に日本と関わりが深い。さらに中国市場の開放や、経済的躍進などによって、中国に対する関心がますます高まっている。中国語は日本語と同様に漢字で表記されることもあり親しみやすいが、同じ漢字でも意味も発音も全く異なることが少なくないため、誤解を生むことも多々ある。授業では中国語と日本語の相違点なども取り上げながら、中国語の文法ルールを中国語の発想と共に学ぶ。		
到達目標	中国語のピンイン表記の規則を理解し、4つの声調と母音、子音が正しく発音できる。中国語で基本的な挨拶ができる。基本的な文法ルールを身につけ、中国語で簡単な意思疎通ができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	保坂 律子	【第 1 回】 予習 : テキスト 8 頁～9 頁の講読 授業 : 中国語入門オリエンテーション、中国語の発音表記 復習 : テキスト 8～9 頁の音読	
2	保坂 律子	【第 2 回】 予習 : テキスト 10 頁～12 頁の講読 授業 : 4つの声調、単母音(テキスト 10 頁～12 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 4つの声調、単母音の発音練習	
3	保坂 律子	【第 3 回】 予習 : テキスト 13 頁～15 頁の講読 授業 : 複母音 3 タイプ(テキスト 13 頁～15 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 複母音 3 タイプの発音練習	
4	保坂 律子	【第 4 回】 予習 : テキスト 16 頁～19 頁の講読 授業 : 子音、無気音と有気音、そり舌音(テキスト 16 頁～19 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 子音、無気音と有気音、そり舌音の発音練習	
5	保坂 律子	【第 5 回】 予習 : テキスト 20 頁～22 頁の講読 授業 : 鼻音を伴う母音、声調変化の規則(テキスト 20 頁～22 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 鼻音を伴う母音、声調変化の発音練習	
6	保坂 律子	【第 6 回】 予習 : テキスト 23 頁～25 頁の講読 授業 : ピンイン表記の規則、数字の読み方(テキスト 23 頁～25 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 数字の読み方の発音練習	
7	保坂 律子	【第 7 回】 予習 : テキスト 26 頁～29 頁の講読 授業 : 声調の組み合わせ、挨拶言葉(テキスト 26 頁～29 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 声調の組み合わせ、挨拶言葉の発音練習	
8	保坂 律子	【第 8 回】 予習 : テキスト 29 頁までの復習 授業 : 中間テストと問題解説 復習 : 中間テストの直し	
9	保坂 律子	【第 9 回】 予習 : テキスト 30 頁～32 頁の講読、単語の復習 授業 : 人称代名詞、動詞述語文 (テキスト 30 頁～32 頁) 復習 : 人称代名詞、動詞述語文のドリル	
10	保坂 律子	【第 10 回】 予習 : テキスト 33 頁～35 頁の講読 授業 : 諸否疑問文、名前の聞き方(テキスト 33 頁～35 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 諸否疑問文、名前の聞き方のドリル	
11	保坂 律子	【第 11 回】 予習 : テキスト 36 頁～38 頁の講読 授業 : 指示代詞、連体修飾語(テキスト 36 頁～38 頁)	

		復習 : 指示代詞、連体修飾語のドリル						
12	保坂 律子	【第 12 回】 予習 : テキスト 39 頁～41 頁の講読 授業 : 経験の表し方 (テキスト 39 頁～41 頁) 復習 : 疑問詞疑問文のドリル						
13	保坂 律子	【第 13 回】 予習 : テキスト 42 頁～44 頁の講読 授業 : モノの数え方、所有の表し方(テキスト 42 頁～44 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : モノの数え方、所有の表し方のドリル						
14	保坂 律子	【第 14 回】 予習 : テキスト 45 頁～47 頁の講読 授業 : 数、数量のたずね方(テキスト 45 頁～47 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 数、数量のたずね方のドリル						
15	保坂 律子	【第 15 回】 予習 : 挨拶言葉の暗唱、単語のまとめ 授業 : 前期ポイントのまとめ 復習 : 前期ポイント構文の音読						
授業開始前学習	身の回りにみられる中国語表記や、中国に関するニュースに関心を持つように心がける。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で実施する中間テストは採点の上返却し、弱点の補強とステップアップのためのポイントについてアドバイスする。また適宜実施する小テスト(クイズ)についても都度解説する。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』(朝日出版社)							
参考書	辞書も含め授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	中間テスト 40 点、小テスト 30 点、平常点(授業態度・課題提出等) 30 点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間(2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間(1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-21	授業コード	F02933
科目名称	中国語 I	単位数	1.0 単位
英文名称	Chinese I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	盧 尤	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	盧 尤	開講時期	1 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	隣国中国は歴史的、地理的、文化的に日本と関わりが深い。さらに中国市場の開放や、経済的躍進などによって、中国に対する関心がますます高まっている。中国語は日本語と同様に漢字で表記されることもあり親しみやすいが、同じ漢字でも意味も発音も全く異なることが少なくないため、誤解を生むことも多々ある。授業では中国語と日本語の相違点なども取り上げながら、中国語の文法ルールを中国語の発想と共に学ぶ。		
到達目標	中国語のピンイン標記の規則を理解し、4つの声調と母音、子音が正しく発音できる。中国語で基本的な挨拶ができる。基本的な文法ルールを身につけ、中国語で簡単な意思疎通ができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	盧 尤	【第 1 回】 予習 : テキスト 8 頁～9 頁の講読 授業 : 中国語入門オリエンテーション、中国語の発音表記 復習 : テキスト 8～9 頁の音読	
2	盧 尤	【第 2 回】 予習 : テキスト 10 頁～12 頁の講読 授業 : 4つの声調、単母音(テキスト 10 頁～12 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 4つの声調、単母音の発音練習	
3	盧 尤	【第 3 回】 予習 : テキスト 13 頁～15 頁の講読 授業 : 複母音 3 タイプ(テキスト 13 頁～15 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 複母音 3 タイプの発音練習	
4	盧 尤	【第 4 回】 予習 : テキスト 16 頁～19 頁の講読 授業 : 子音、無気音と有気音、そり舌音(テキスト 16 頁～19 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 子音、無気音と有気音、そり舌音の発音練習	
5	盧 尤	【第 5 回】 予習 : テキスト 20 頁～22 頁の講読 授業 : 鼻音を伴う母音、声調変化の規則(テキスト 20 頁～22 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 鼻音を伴う母音、声調変化の発音練習	
6	盧 尤	【第 6 回】 予習 : テキスト 23 頁～25 頁の講読 授業 : ピンイン表記の規則、数字の読み方(テキスト 23 頁～25 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 数字の読み方の発音練習	
7	盧 尤	【第 7 回】 予習 : テキスト 26 頁～29 頁の講読 授業 : 声調の組み合わせ、挨拶言葉(テキスト 26 頁～29 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 声調の組み合わせ、挨拶言葉の発音練習	
8	盧 尤	【第 8 回】 予習 : テキスト 29 頁までの復習 授業 : 中間テストと問題解説 復習 : 中間テストの解き直し	
9	盧 尤	【第 9 回】 予習 : テキスト 30 頁～32 頁の講読、単語の復習 授業 : 人称代名詞、動詞述語文 (テキスト 30 頁～32 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 人称代名詞、動詞述語文のドリル	
10	盧 尤	【第 10 回】 予習 : テキスト 33 頁～35 頁の講読 授業 : 諸否疑問文、名前の聞き方(テキスト 33 頁～35 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 諸否疑問文、名前の聞き方のドリル	
11	盧 尤	【第 11 回】 予習 : テキスト 36 頁～38 頁の講読 授業 : 指示代詞、連体修飾語(テキスト 36 頁～38 頁) (ペア・ワーク)	

		復習：指示代詞、連体修飾語のドリル						
12	盧 尤	【第12回】 予習：テキスト 39 頁～41 頁の講読 授業：経験の表し方（テキスト 39 頁～41 頁） 復習：疑問詞疑問文のドリル						
13	盧 尤	【第13回】 予習：テキスト 42 頁～44 頁の講読 授業：モノの数え方、所有の表し方(テキスト 42 頁～44 頁)（ペア・ワーク） 復習：モノの数え方、所有の表し方のドリル						
14	盧 尤	【第14回】 予習：テキスト 45 頁～47 頁の講読 授業：数、数量のたずね方(テキスト 45 頁～47 頁)（ペア・ワーク） 復習：数、数量のたずね方のドリル						
15 回	盧 尤	【第15回】 予習：挨拶言葉の暗唱、単語のまとめ 授業：前期ポイントのまとめ 復習：前期ポイント構文の音読						
授業開始前学習	身の回りにみられる中国語表記や、中国に関するニュースに関心を持つように心がける。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で実施する中間テストは採点の上返却し、弱点の補強とステップアップのためのポイントについてアドバイスする。また適宜実施する小テスト（クイズ）についても都度解説する。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』（朝日出版社）							
参考書	辞書も含め授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	中間テスト 40 点、小テスト 30 点、平常点（授業態度・課題提出） 30 点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	履修希望者多数の場合は履修制限（抽選）することがあります。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-21	授業コード	F02941
科目名称	中国語Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	ChineseⅡ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	保坂 律子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	保坂 律子	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 10:00～13:00 後期 水曜日 10:00～13:00	研究室	10-709
授業概要	隣国中国は歴史的、地理的、文化的に日本と関わりが深い。さらに中国市場の開放や、経済的躍進などによって、中国に対する関心はますます高まっている。中国語は日本語と同様に漢字で表記されることもあり親しみやすいが、同じ漢字でも意味も発音も全く異なることが少なくないため、誤解を生むことも多々ある。授業では中国語と日本語の相違点なども取り上げながら、中国語の文法ルールを中国語の発想と共に学ぶ。		
到達目標	中国語の基本文法を理解し、正しく簡体字を書くことができる。中国語の語彙を増やし、単文の基本文型が理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	保坂 律子	【第 1 回】 予習 : テキスト 48 頁～49 頁の講読 授業 : 形容詞述語文、程度を表す副詞 (テキスト 48 頁～49 頁) 復習 : 形容詞述語文、程度を表す副詞のドリル	
2	保坂 律子	【第 2 回】 予習 : テキスト 50 頁～52 頁の講読 授業 : 反復疑問文、名詞 + “?” 疑問文 (テキスト 50 頁～52 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 反復疑問文、名詞 + “?” 疑問文のドリル	
3	保坂 律子	【第 3 回】 予習 : テキスト 53 頁～55 頁の講読 授業 : 場所を表す指示代詞、存在の表し方 (テキスト 53 頁～55 頁) 復習 : 場所を表す指示代詞、存在の表し方のドリル	
4	保坂 律子	【第 4 回】 予習 : テキスト 56 頁～58 頁の講読 授業 : 願望を表す助動詞 (テキスト 56 頁～58 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 願望を表す助動詞のドリル	
5	保坂 律子	【第 5 回】 予習 : テキスト 59 頁～60 頁の講読 授業 : 日付・時を表す言葉 (テキスト 59 頁～60 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 日付・時を表す言葉のドリル	
6	保坂 律子	【第 6 回】 予習 : テキスト 61 頁～62 頁の講読 授業 : 名詞述語文 (テキスト 61 頁～62 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 名詞述語文のドリル	
7	保坂 律子	【第 7 回】 予習 : テキスト 63 頁～64 頁の講読 授業 : 提案、推量の表し方 (テキスト 63 頁～64 頁) 復習 : 提案、推量の表し方のドリル	
8	保坂 律子	【第 8 回】 予習 : テキスト 64 頁までの復習 授業 : 中間テストと問題解説 復習 : 中間テストの直し	
9	保坂 律子	【第 9 回】 予習 : テキスト 65 頁～66 頁の講読 授業 : 連動文 (テキスト 65 頁～66 頁) 復習 : 連動文のドリル	
10	保坂 律子	【第 10 回】 予習 : テキスト 67 頁～68 頁の講読 授業 : 時間量、介詞 (テキスト 67 頁～68 頁) 復習 : 時間量、介詞のドリル	
11	保坂 律子	【第 11 回】 予習 : テキスト 69 頁～70 頁の講読 授業 : どれくらい～? のたずね方 (テキスト 69 頁～70 頁) (ペア・グループワーク)	

		復習 : どれくらい〜? のドリル						
12	保坂 律子	【第 12 回】 予習 : テキスト 71 頁〜72 頁の講読 授業 : 経験の表し方 (テキスト 71 頁〜72 頁) 復習 : 経験の表し方のドリル						
13	保坂 律子	【第 13 回】 予習 : テキスト 73〜74 頁の講読 授業 : 動詞の繰り返し型 (テキスト 73 頁〜74 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 動詞の繰り返し型のドリル						
14	保坂 律子	【第 14 回】 予習 : テキスト 75 頁〜77 頁の講読 授業 : 選択疑問文(テキスト 75 頁〜77 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 選択疑問文のドリル						
15	保坂 律子	【第 15 回】 予習 : 挨拶言葉の暗誦、単語のまとめ 授業 : 後期ポイントのまとめ 復習 : 後期ポイント構文の音読						
授業開始前学習	身の回りにみられる中国語表記や、中国に関するニュースに関心を持つようにしておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内に実施する中間テストは返却時に全体の講評を行い、弱点補強とステップアップのためのポイントについてアドバイスする。また適宜実施する小テスト(クイズ)についても都度解説する。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』(朝日出版社)							
参考書	辞書も含め授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	中間テスト 40 点、小テスト 30 点、平常点(授業態度・課題提出) 30 点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間(2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間(1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-21	授業コード	F02943
科目名称	中国語Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	ChineseⅡ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	盧 尤	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	盧 尤	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	隣国中国は、歴史的、地理的、文化的に日本と関わりが深い。さらに中国市場の開放や、経済的躍進などによって、中国に対する関心が高まっている。中国語は日本語と同様に、漢字で表記されることもあり親しみやすいが、同じ漢字でも意味も発音も全く異なることが少なくないため、誤解を生むことも多々ある。授業では中国語と日本語の相違点なども取り上げながら、中国語の文法ルールを中国語の発想と共に学ぶ。		
到達目標	中国語の基本文法を理解し、正しく簡体字を書くことができる。中国語の語彙を増やし、単文の基本文型が理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	盧 尤	【第 1 回】 予習 : テキスト 48 頁～49 頁の講読 授業 : 形容詞述語文、程度を表す副詞 (テキスト 48 頁～49 頁) 復習 : 形容詞述語文、程度を表す副詞のドリル	
2	盧 尤	【第 2 回】 予習 : テキスト 50 頁～52 頁の講読 授業 : 反復疑問文、名詞 + “?” 疑問文 (テキスト 50 頁～52 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 反復疑問文、名詞 + “?” 疑問文のドリル	
3	盧 尤	【第 3 回】 予習 : テキスト 53 頁～55 頁の講読 授業 : 場所を表す指示代詞、存在の表し方 (テキスト 53 頁～55 頁) 復習 : 場所を表す指示代詞、存在の表し方のドリル	
4	盧 尤	【第 4 回】 予習 : テキスト 56 頁～58 頁の講読 授業 : 願望を表す助動詞 (テキスト 56 頁～58 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 願望を表す助動詞のドリル	
5	盧 尤	【第 5 回】 予習 : テキスト 59 頁～60 頁の講読 授業 : 日付・時を表す言葉 (テキスト 59 頁～60 頁)	
6	盧 尤	【第 6 回】 予習 : テキスト 61 頁～62 頁の講読 授業 : 名詞述語文 (テキスト 61 頁～62 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 名詞述語文のドリル	
7	盧 尤	【第 7 回】 予習 : テキスト 63 頁～64 頁の講読 授業 : 提案、推量の表し方 (テキスト 63 頁～64 頁) 復習 : 提案、推量の表し方	
8	盧 尤	【第 8 回】 予習 : テキスト 64 頁までの復習 授業 : 小テストと問題解説 復習 : 小テストの書き直し	
9	盧 尤	【第 9 回】 予習 : テキスト 65 頁～66 頁の講読 授業 : 連動文 (テキスト 65 頁～66 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 連動文のドリル	
10	盧 尤	【第 10 回】 予習 : テキスト 67 頁～68 頁の講読 授業 : 時間量、介詞 (テキスト 67 頁～68 頁) 復習 : 時間量、介詞のドリル	
11	盧 尤	【第 11 回】 予習 : テキスト 69 頁～70 頁の講読 授業 : どれくらい? ? のたずね方 (テキスト 69 頁～70 頁) (ペア・ワーク) 復習 : どれくらい? ? のドリル	

12	盧 尤	【第 12 回】 予習 : テキスト 71 頁~72 頁の講読 授業 : 経験の表し方 (テキスト 71 頁~72 頁) 復習 : 経験の表し方のドリル						
13	盧 尤	【第 13 回】 予習 : テキスト 73 頁~74 頁の講読 授業 : 動詞の繰り返し型 (テキスト 73 頁~74 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 動詞の繰り返し型のドリル						
14	盧 尤	【第 14 回】 予習 : テキスト 75 頁~77 頁の講読 授業 : 選択疑問文(テキスト 75 頁~77 頁) 復習 : 選択疑問文のドリル						
15	盧 尤	【第 15 回】 予習 : 挨拶言葉の暗誦、単語のまとめ 授業 : 後期ポイントのまとめ 復習 : 後期ポイント構文の音読						
授業開始前学習	中国に関するニュースに関心を持つようしておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内に実施する小テストは返却時に全体の講評を行い、弱点補強とステップアップのための復習ポイントを提示する。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』朝日出版社							
参考書	辞書も含め、授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 40 点、小テスト 30 点、平常点 30 点 (授業態度・課題提出) とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	履修希望者多数の場合は履修制限 (抽選) することがあります。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-22	授業コード	F02951
科目名称	中国語Ⅲ	単位数	1.0 単位
英文名称	ChineseⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	保坂 律子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	保坂 律子	開講時期	2 年
オフィスアワー	前期 水曜日 10:00～13:00 後期 水曜日 10:00～13:00	研究室	10-709
授業概要	初級で習得した中国語文法を基礎とし、中国語検定も視野に入れて学習する。コミュニケーションの道具、手段として使える中国語へのレベルアップを目標に、言葉と同時に日中を取り巻く社会状況への理解を深め、コミュニケーション能力の強化を図る。		
到達目標	中国語の語彙、文法規則を学び、やや難易度の高い文章を正確に読み取り、聞き取ることができるようになる。また、身近な事柄について口頭および書面で表現することができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	保坂 律子	【第 1 回】 予習 : テキスト 8 頁～15 頁の講読 授業 : 発音編 (一) (二) (テキスト 8 頁～15 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 発音編 (一) (二) の音読	
2	保坂 律子	【第 2 回】 予習 : テキスト 16 頁～23 の講読 授業 : 発音編 (三) (四) (テキスト 16 頁～23 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 発音編 (三) (四) の音読	
3	保坂 律子	【第 3 回】 予習 : テキスト 24 頁～27 頁の講読 授業 : 発音編 (五) 挨拶言葉 (テキスト 24 頁～27 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 発音編 (五) 挨拶言葉の音読	
4	保坂 律子	【第 4 回】 予習 : テキスト 78 頁～81 頁の講読 授業 : 比較文、二重目的語文 (テキスト 78 頁～81 頁) 復習 : 比較文、二重目的語のドリル	
5	保坂 律子	【第 5 回】 予習 : テキスト 82 頁～83 頁の講読 授業 : 様態補語、お金の数え方、ものたずね方 (テキスト 81 頁～83 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 様態補語、お金の数え方、ものたずね方のドリル	
6	保坂 律子	【第 6 回】 予習 : テキスト 84 頁～87 頁の講読 授業 : 動作の完了と完成 (テキスト 84 頁～86 頁) 復習 : 動作の完了と完成のドリル	
7	保坂 律子	【第 7 回】 予習 : テキスト 88 頁～89 頁の講読 授業 : 可能表現 (テキスト 88 頁～89 頁) 復習 : 可能表現のドリル	
8	保坂 律子	【第 8 回】 予習 : テキスト 89 頁までの単語、構文の復習 授業 : 中間テスト及び問題解説 復習 : 中間テストの解き直し	
9	保坂 律子	【第 9 回】 予習 : テキスト 90 頁～91 頁の講読 授業 : 動作の進行表現 (テキスト 90 頁～91 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 動作の進行表現のドリル	
10	保坂 律子	【第 10 回】 予習 : テキスト 92 頁～93 頁の講読 授業 : 動作の持続表現 (テキスト 92 頁～93 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 動作の持続表現のドリル	
11	保坂 律子	【第 11 回】 予習 : テキスト 94 頁～95 頁の講読 授業 : 動作を促す表現 (テキスト 94 頁～95 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 動作を促す表現のドリル	

12	保坂 律子	【第 12 回】 予習 : テキスト 96 頁～97 頁の講読 授業 : 移動方向を表す補語 (テキスト 96 頁～97 頁) 復習 : 移動方向を表す補語のドリル						
13	保坂 律子	【第 13 回】 予習 : テキスト 98 頁～99 頁の講読 授業 : 結果補語 (テキスト 98 頁～99 頁) 復習 : 結果補語のドリル						
14	保坂 律子	【第 14 回】 予習 : テキスト 100 頁～101 頁の講読 授業 : 動作量を表す補語 (テキスト 100 頁～101 頁) 復習 : 動作量を表す補語のドリル						
15	保坂 律子	【第 15 回】 予習 : 挨拶言葉の暗誦、単語帳のまとめ 授業 : 前期ポイントのまとめ 復習 : 前期ポイント構文の音読						
授業開始前学習	身の回りで見られる中国語表記や、中国に関するニュースに関心を持つようしておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で実施する中間テストは採点の上返却し、弱点の補強とステップアップのためのポイントについてアドバイスする。また適宜する小テスト(クイズ)についても都度解説する。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』(朝日出版社)							
参考書	辞書も含め授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	中間テスト 40 点、小テスト 30 点、平常点(授業態度・課題提出) 30 点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間(2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間(1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-22	授業コード	F02952
科目名称	中国語Ⅲ	単位数	1.0 単位
英文名称	ChineseⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	盧 尤	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	盧 尤	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	初級で習得した中国語文法を基礎とし、中国語検定も視野に入れて学習する。コミュニケーションの道具、手段として使える中国語へのレベルアップを目標に、言葉と同時に日中を取り巻く社会状況への理解を深め、コミュニケーション能力の強化を図る。		
到達目標	中国語の語彙、文法規則を学び、やや難易度の高い文章を正確に読み取り、聞き取ることができるようになる。また、身近な事柄について口頭および書面で表現することができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	盧 尤	【第 1 回】 予習 : テキスト 8 頁～15 頁の講読 授業 : 発音編 (一) (二) (テキスト 8 頁～15 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 発音編 (一) (二) の音読	
2	盧 尤	【第 2 回】 予習 : テキスト 16 頁～23 の講読 授業 : 発音編 (三) (四) (テキスト 16 頁～23 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 発音編 (三) (四) の音読	
3	盧 尤	【第 3 回】 予習 : テキスト 24 頁～27 頁の講読 授業 : 発音編 (五) 挨拶言葉 (テキスト 24 頁～27 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 発音編 (五) 挨拶言葉の音読	
4	盧 尤	【第 4 回】 予習 : テキスト 78 頁～81 頁の講読 授業 : 比較文、二重目的語文 (テキスト 78 頁～81 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 比較文、二重目的語のドリル	
5	盧 尤	【第 5 回】 予習 : テキスト 82 頁～83 頁の講読 授業 : 様態補語、お金の数え方、ものたずね方 (テキスト 81 頁～83 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 様態補語、お金の数え方、ものたずね方のドリル	
6	盧 尤	【第 6 回】 予習 : テキスト 84 頁～87 頁の講読 授業 : 動作の完了と完成 (テキスト 84 頁～86 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 動作の完了と完成のドリル	
7	盧 尤	【第 7 回】 予習 : テキスト 88 頁～89 頁の講読 授業 : 可能表現 (テキスト 88 頁～89 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 可能表現のドリル	
8	盧 尤	【第 8 回】 予習 : テキスト 89 頁までの単語、構文の復習 授業 : 中間テスト及び問題解説 復習 : 中間テストの解き直し	
9	盧 尤	【第 9 回】 予習 : テキスト 90 頁～91 頁の講読 授業 : 動作の進行表現 (テキスト 90 頁～91 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 動作の進行表現のドリル	
10	盧 尤	【第 10 回】 予習 : テキスト 92 頁～93 頁の講読 授業 : 動作の持続表現 (テキスト 92 頁～93 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 動作の持続表現のドリル	
11	盧 尤	【第 11 回】 予習 : テキスト 94 頁～95 頁の講読 授業 : 動作を促す表現 (テキスト 94 頁～95 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 動作を促す表現のドリル	

12	盧 尤	【第 12 回】 予習 : テキスト 96 頁～97 頁の講読 授業 : 移動方向を表す補語 (テキスト 96 頁～97 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 移動方向を表す補語のドリル						
13	盧 尤	【第 13 回】 予習 : テキスト 98 頁～99 頁の講読 授業 : 結果補語 (テキスト 98 頁～99 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 結果補語のドリル						
14	盧 尤	【第 14 回】 予習 : テキスト 100 頁～101 頁の講読 授業 : 動作量を表す補語 (テキスト 100 頁～101 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 動作量を表す補語のドリル						
15	盧 尤	【第 15 回】 予習 : 挨拶言葉の暗誦、単語帳のまとめ 授業 : 前期ポイントのまとめ 復習 : 前期ポイント構文の音読						
授業開始前学習	身の回りで見られる中国語表記や、中国に関するニュースに関心を持つようにしておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で実施する中間テストは採点の上返却し、弱点の補強とステップアップのためのポイントについてアドバイスする。また適宜する小テスト (クイズ) についても都度解説する。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』 (朝日出版社)							
参考書	辞書も含め授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	中間テスト 40 点、小テスト 30 点、平常点 (授業態度・課題提出) 30 点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-22	授業コード	F02961
科目名称	中国語Ⅳ	単位数	1.0 単位
英文名称	ChineseⅣ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	保坂 律子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	保坂 律子	開講時期	2 年
オフィスアワー	前期 水曜日 10:00～13:00 後期 水曜日 10:00～13:00	研究室	10-709
授業概要	初級で習得した中国語文法を基礎とし、中国語検定も視野に入れて学習する。コミュニケーションの道具、手段として使える中国語へのレベルアップを目標に、言葉と同時に日中を取り巻く社会状況への理解を深め、コミュニケーション能力の強化を図る。		
到達目標	中国語の語彙、文法規則を学び、やや難易度の高い文章を正確に読み取り、聞き取ることができるようになる。また、身近な事柄について口頭および書面で表現することができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	保坂 律子	【第 1 回】 予習 : テキスト 102 頁～103 頁の講読 授業 : 自然現象を表す無主語文 (テキスト 102 頁～103 頁) 復習 : 自然現象を表す無主語文のドリル	
2	保坂 律子	【第 2 回】 予習 : テキスト 104 頁～105 頁の講読 授業 : 呼応表現 (一) (テキスト 104 頁～105 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 呼応表現 (一) のドリル	
3	保坂 律子	【第 3 回】 予習 : テキスト 106 頁～107 頁の講読 授業 : 呼応表現 (二) (テキスト 106 頁～107 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 呼応表現 (二) のドリル	
4	保坂 律子	【第 4 回】 予習 : テキスト 108 頁～109 頁の講読 授業 : たとえの表現 (テキスト 108 頁～109 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : たとえの表現のドリル	
5	保坂 律子	【第 5 回】 予習 : テキスト 110 頁～111 頁の講読 授業 : 禁止表現、不本意を表す「少し」(テキスト 110 頁～111 頁) 復習 : 禁止表現、不本意を表す「少し」のドリル	
6	保坂 律子	【第 6 回】 予習 : テキスト 112 頁～113 頁の講読 授業 : 同時進行の表現 (テキスト 112 頁～13 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 同時進行の表現のドリル	
7	保坂 律子	【第 7 回】 予習 : テキスト 114 頁～115 頁の講読 授業 : いろいろな動詞述語文 (テキスト 114 頁～115 頁) 復習 : いろいろな動詞述語文のドリル	
8	保坂 律子	【第 8 回】 予習 : テキスト 115 頁までの単語、構文の復習 授業 : 中間テスト及び問題解説 復習 : 中間テストの解き直し	
9	保坂 律子	【第 9 回】 予習 : テキスト 116 頁～117 頁の講読 授業 : 形容詞述語文、名詞述語文、いろいろな疑問文 (テキスト 116 頁～117 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 形容詞述語文、名詞述語文、いろいろな疑問文のドリル	
10	保坂 律子	【第 10 回】 予習 : テキスト 118 頁～119 頁の講読 授業 : 助動詞を中心とした文型、補語を中心とした文型 (テキスト 118 頁～119 頁) 復習 : 助動詞を中心とした文型、補語を中心とした文型のドリル	
11	保坂 律子	【第 11 回】 予習 : テキスト 119 頁までの単語の復習 授業 : 検定試験チャレンジ問題 (準 4 級) 復習 : 検定試験チャレンジ問題の解き直し	

12	保坂 律子	【第 12 回】 予習 : 検定試験チャレンジ問題の単語調べ 授業 : 検定試験チャレンジ問題及びステップアップポイントの解説 復習 : 自分に合ったステップアップのための学習方法を考える						
13	保坂 律子	【第 13 回】 予習 : テキスト 119 頁までの構文の復習 授業 : 検定試験チャレンジ問題 (4 級) 復習 : 検定試験チャレンジ問題の解き直し						
14	保坂 律子	【第 14 回】 予習 : 検定試験チャレンジ問題の単語調べ 授業 : 検定試験チャレンジ問題及びステップアップポイントの解説 復習 : 自分に合ったステップアップのための学習計画を立案						
15	保坂 律子	【第 15 回】 予習 : 1 年間の学習の振り返り 授業 : 中国映画鑑賞 復習 : 映画の感想を簡単な中国語でまとめる						
授業開始前学習	中国に関するニュースに関心を持つようにすること。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内に実施する中間テストは返却時に全体の講評を行い、弱点補強とステップアップのためのポイントについてアドバイスする。また適宜実施する小テスト (クイズ) についても都度解説する。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』 (朝日出版社)							
参考書	辞書も含め授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	試験 40 点、小テスト 30 点、平常点 (授業態度・課題提出) 30 点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-22	授業コード	F02962
科目名称	中国語Ⅳ	単位数	1.0 単位
英文名称	ChineseⅣ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	盧 尤	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	盧 尤	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	初級で習得した中国語文法を基礎とし、中国語検定も視野に入れて学習する。コミュニケーションの道具、手段として使える中国語へのレベルアップを目標に、言葉と同時に日中を取り巻く社会状況への理解を深め、コミュニケーション能力の強化を図る。		
到達目標	中国語の語彙、文法規則を学び、やや難易度の高い文章を正確に読み取り、聞き取ることができるようになる。また、身近な事柄について口頭および書面で表現することができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	盧 尤	【第 1 回】 予習 : テキスト 102 頁～103 頁の講読 授業 : 自然現象を表す無主語文 (テキスト 102 頁～103 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 自然現象を表す無主語文のドリル	
2	盧 尤	【第 2 回】 予習 : テキスト 104 頁～105 頁の講読 授業 : 呼応表現 (一) (テキスト 104 頁～105 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 呼応表現 (一) のドリル	
3	盧 尤	【第 3 回】 予習 : テキスト 106 頁～107 頁の講読 授業 : 呼応表現 (二) (テキスト 106 頁～107 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 呼応表現 (二) のドリル	
4	盧 尤	【第 4 回】 予習 : テキスト 108 頁～109 頁の講読 授業 : たとえの表現 (テキスト 108 頁～109 頁) (ペア・ワーク) 復習 : たとえの表現のドリル	
5	盧 尤	【第 5 回】 予習 : テキスト 110 頁～111 頁の講読 授業 : 禁止表現、不本意を表す「少し」(テキスト 110 頁～111 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 禁止表現、不本意を表す「少し」のドリル	
6	盧 尤	【第 6 回】 予習 : テキスト 112 頁～113 頁の講読 授業 : 同時進行の表現 (テキスト 112 頁～113 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 同時進行の表現のドリル	
7	盧 尤	【第 7 回】 予習 : テキスト 114 頁～115 頁の講読 授業 : いろいろな動詞述語文 (テキスト 114 頁～115 頁) (ペア・ワーク) 復習 : いろいろな動詞述語文のドリル	
8	盧 尤	【第 8 回】 予習 : テキスト 115 頁までの単語、構文の復習 授業 : 中間テスト及び問題解説 復習 : 中間テストの解き直し	
9	盧 尤	【第 9 回】 予習 : テキスト 116 頁～117 頁の講読 授業 : 形容詞述語文、名詞述語文、いろいろな疑問文 (テキスト 116 頁～117 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 形容詞述語文、名詞述語文、いろいろな疑問文のドリル	
10	盧 尤	【第 10 回】 予習 : テキスト 118 頁～119 頁の講読 授業 : 助動詞を中心とした文型、補語を中心とした文型 (テキスト 118 頁～119 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 助動詞を中心とした文型、補語を中心とした文型のドリル	
11	盧 尤	【第 11 回】 予習 : テキスト 119 頁までの単語の復習 授業 : 検定試験チャレンジ問題 (準 4 級) 復習 : 検定試験チャレンジ問題の解き直し	

12	盧 尤	【第 12 回】 予習 : 検定試験チャレンジ問題の単語調べ 授業 : 検定試験チャレンジ問題及びステップアップポイントの解説 復習 : 自分に合ったステップアップのための学習方法を考える						
13	盧 尤	【第 13 回】 予習 : テキスト 119 頁までの構文の復習 授業 : 検定試験チャレンジ問題 (4 級) 復習 : 検定試験チャレンジ問題の解き直し						
14	盧 尤	【第 14 回】 予習 : 検定試験チャレンジ問題の単語調べ 授業 : 検定試験チャレンジ問題及びステップアップポイントの解説 復習 : 自分に合ったステップアップのための学習計画立案						
15	盧 尤	【第 15 回】 予習 : 1 年間の学習の振り返り 授業 : 中国映画鑑賞 復習 : 映画の感想を簡単な中国語でまとめる						
授業開始前学習	身の回りで見られる中国語表記や、中国に関するニュースに関心を持つようにしておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で実施する中間テストは返却時に全体の講評を行い、弱点補強とステップアップのためのポイントについてアドバイスする。また適宜実施する小テスト(クイズ)についても都度解説する。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』(朝日出版社)							
参考書	辞書も含め授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	中間テスト 40 点、小テスト 30 点、平常点(授業態度・課題提出) 30 点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間(2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間(1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-111-21	授業コード	F03111
科目名称	コンピュータ演習 I	単位数	1.0 単位
英文名称	Computer Laboratory I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	高橋 大介	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	高橋 大介	開講時期	1 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	ここ数年の情報を取り巻く環境とそれを取り扱う情報機器の変化が著しい。コンピュータ中心だった情報処理からスマートフォンやタブレット端末が主流の情報共有に変化し、情報そのものも複雑化してきた。コロナ禍における社会の変化はすさまじく、テレワークや遠隔授業など私たちの生活を一変させるものでした。また、小中高においても情報活用能力の育成と ICT 活用が新学習指導要領のもと全面实施されました。こうした中、コンピュータ演習 I および II では、ICT（情報通信技術）を中心とした情報リテラシーを身につけるため、基礎理論の講義とその演習を中心に広範囲にわたって授業を行う。前期のコンピュータ演習 I では、オフィス系ソフトのワープロとプレゼンテーションを中心に、基礎ゼミや専門ゼミ、2 年次以降の授業で活かせるよう課題解決型学習に準じて演習を行う。併せて情報リテラシーを理解できるよう簡単な講義を行う。		
到達目標	コンピュータとスマートフォン（タブレット）を連携し、適切な情報収集および情報処理ができるようになる。具体的には、オフィス系ソフトを駆使して今後社会人として求められる文書を作成できるようになる。併せてメールやクラウドの概念を理解し、倫理観を持った情報のやり取りができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	高橋 大介	予習：履修ガイド・学生生活ガイドを読んでおくこと 授業：コンピュータの仕組みと起動/KOMAJO ポータルの使い方/Google クラウドの使い方/メールの使い方 復習：KOMAJO ポータルのログインやメールの送受信などおさらいして慣れておくこと	
2	高橋 大介	予習：教科書 P10 から P13 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：タイピング（課題 2-1-1） 復習：タイピングのホームポジションを振り返っておくこと	
3	高橋 大介	予習：教科書 P14 から P15 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：四字熟語・慣用句の入力（課題 2-1-2・課題 2-1-3） 復習：四字熟語・慣用句の意味を振り返っておくこと	
4	高橋 大介	予習：教科書 P16 から P17 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：文書作成とレイアウト（課題 2-1-4・課題 2-2-1・課題 2-2-5） 復習：さまざまな文章のレイアウトを確認すること	
5	高橋 大介	予習：教科書 P18 から P21 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（時間割）（課題 2-3-1） 復習：作成した時間割から操作方法を振り返ること	
6	高橋 大介	予習：教科書 P22 から P23 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（履歴書）（課題 2-3-2） 復習：作成した履歴書から操作方法を振り返ること	
7	高橋 大介	予習：教科書 P24 から P25 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（レシピ）（課題 2-3-3） 復習：作成したレシピから操作方法を振り返ること	
8	高橋 大介	予習：教科書 P26 から P27 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（レシピ）（課題 2-3-3） 復習：作成したレシピから画像の取り扱いを振り返ること	
9	高橋 大介	予習：教科書 P28 から P30 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：ビジネス文書の作成（見積書）（課題 2-3-4） 復習：さまざまな表組みと文章を組み合わせた文書を確認すること	
10	高橋 大介	予習：教科書 P31 から P32 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：図形描画（キャラクタ）（課題 2-4-1） 復習：図形描画の操作方法を振り返ること	
11	高橋 大介	予習：教科書 P33 から P35 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：図形描画（地図）（課題 2-4-2） 復習：さまざまな表組みと文章を組み合わせた文書を確認すること	
12	高橋 大介	予習：教科書 P36 から P40 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：ビジネス文書の作成（クラス会）（課題 2-4-3） 復習：文字データと図形データが混在した書類等を確認すること	

13	高橋 大介	予習 : 教科書 P41 から P42 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : シナリオメイキングと情報収集 (旅行計画) 復習 : シナリオ (ストーリー) を何度も振り返ること						
14	高橋 大介	予習 : 教科書 P43 から P44 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : 情報の構造化と構成 (旅行計画) 復習 : さまざまなプレゼン資料を確認すること						
15	高橋 大介	予習 : 教科書 P45 から P46 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : プレゼンテーションと演出 (旅行計画) 復習 : 全体の流れの振り返りをする						
授業開始前学習	高校の教科「情報」の教科書を読んでおくこと全体像をつかみやすい。							
授業内課題のフィードバックの方法	全体には、次の回に復習として解説を行う。個別には、課題返却時にクラスルームのコメントを通してアドバイスを行う。							
テキスト・教材	『講義と演習 情報のこころえ』ポラーノ出版							
参考書								
評価の基準と方法	毎回出される課題 40%、課題の内容および出来ばえ 40%と授業に対する取り組み (授業態度) 20%で評価を決める。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける		社会的責務を果たすこと のできる専門力と判断力を身 につける		文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケ ーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習 II 情報と科学							
その他	GWE(Google Workspace for Education)を中心に、Microsoft オフィスもしくは、Google ドキュメント、スプレッドシート、 スライドにて課題作成を行う。 課題の提出および資料の配布は、GWE を通して行う。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目分類	100-111-21	授業コード	F03112
科目名称	コンピュータ演習 I	単位数	1.0 単位
英文名称	Computer Laboratory I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中澤 美奈	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中澤 美奈	開講時期	1 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	<p>ここ数年の情報を取り巻く環境とそれを取り扱う情報機器の変化が著しい。コンピュータ中心だった情報処理からスマートフォンやタブレット端末が主流の情報共有に変化し、情報そのものも複雑化してきた。コロナ禍における社会の変化はすさまじく、テレワークや遠隔授業など私たちの生活を一変させるものでした。また、小中高においても情報活用能力の育成と ICT 活用が新学習指導要領のもと全面实施されました。こうした中、コンピュータ演習 I および II では、ICT（情報通信技術）を中心とした情報リテラシーを身につけるため、基礎理論の講義とその演習を中心に広範囲にわたって授業を行う。前期のコンピュータ演習 I では、オフィス系ソフトのワープロとプレゼンテーションを中心に、基礎ゼミや専門ゼミ、2 年次以降の授業で活かせるよう課題解決型学習に準じて演習を行う。併せて情報リテラシーを理解できるよう簡単な講義を行う。</p>		
到達目標	<p>コンピュータとスマートフォン（タブレット）を連携し、適切な情報収集および情報処理ができるようになる。具体的には、オフィス系ソフトを駆使して今後社会人として求められる文書を作成できるようになる。併せてメールやクラウドの概念を理解し、倫理観を持った情報のやり取りができるようになる。</p>		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	中澤 美奈	<p>予習：履修ガイド・学生生活ガイドを読んでおくこと 授業：コンピュータの仕組みと起動/KOMAJO ポータルの使い方/Google クラウドの使い方/メールの使い方 復習：KOMAJO ポータルのログインやメールの送受信などおさらいして慣れておくこと</p>	
2	中澤 美奈	<p>予習：教科書 P10 から P13 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：タイピング（課題 2-1-1） 復習：タイピングのホームポジションを振り返っておくこと</p>	
3	中澤 美奈	<p>予習：教科書 P14 から P15 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：四字熟語・慣用句の入力（課題 2-1-2・課題 2-1-3） 復習：四字熟語・慣用句の意味を振り返っておくこと</p>	
4	中澤 美奈	<p>予習：教科書 P16 から P17 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：文書作成とレイアウト（課題 2-1-4・課題 2-2-1・課題 2-2-5） 復習：さまざまな文章のレイアウトを確認すること</p>	
5	中澤 美奈	<p>予習：教科書 P18 から P21 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（時間割）（課題 2-3-1） 復習：作成した時間割から操作方法を振り返ること</p>	
6	中澤 美奈	<p>予習：教科書 P22 から P23 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（履歴書）（課題 2-3-2） 復習：作成した履歴書から操作方法を振り返ること</p>	
7	中澤 美奈	<p>予習：教科書 P24 から P25 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（レシピ）（課題 2-3-3） 復習：作成したレシピから操作方法を振り返ること</p>	
8	中澤 美奈	<p>予習：教科書 P26 から P27 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（レシピ）（課題 2-3-3） 復習：作成したレシピから画像の取り扱いを振り返ること</p>	
9	中澤 美奈	<p>予習：教科書 P28 から P30 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：ビジネス文書の作成（見積書）（課題 2-3-4） 復習：さまざまな表組みと文章を組み合わせた文書を確認すること</p>	
10	中澤 美奈	<p>予習：教科書 P31 から P32 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：図形描画（キャラクタ）（課題 2-4-1） 復習：図形描画の操作方法を振り返ること</p>	
11	中澤 美奈	<p>予習：教科書 P33 から P35 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：図形描画（地図）（課題 2-4-2） 復習：さまざまな表組みと文章を組み合わせた文書を確認すること</p>	
12	中澤 美奈	<p>予習：教科書 P36 から P40 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：ビジネス文書の作成（クラス会）（課題 2-4-3） 復習：文字データと図形データが混在した書類等を確認すること</p>	

13	中澤 美奈	予習 : 教科書 P41 から P42 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : シナリオメイキングと情報収集 (旅行計画) 復習 : シナリオ (ストーリー) を何度も振り返ること						
14	中澤 美奈	予習 : 教科書 P43 から P44 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : 情報の構造化と構成 (旅行計画) 復習 : さまざまなプレゼン資料を確認すること						
15	中澤 美奈	予習 : 教科書 P45 から P46 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : プレゼンテーションと演出 (旅行計画) 復習 : 全体の流れの振り返りをする						
授業開始前学習	高校の教科「情報」の教科書を読んでおくこと全体像をつかみやすい。							
授業内課題のフィードバックの方法	全体には、次の回に復習として解説を行う。個別には、課題返却時にクラスルームのコメントを通してアドバイスを行う。							
テキスト・教材	『講義と演習 情報のこころえ』ポラーノ出版							
参考書								
評価の基準と方法	毎回出される課題 40%、課題の内容および出来ばえ 40%と授業に対する取り組み (授業態度) 20%で評価を決める。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習Ⅱ 情報と科学							
その他	GWE(Google Workspace for Education)を中心に、Microsoft オフィスもしくは、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドにて課題作成を行う。 課題の提出および資料の配布は、GWE を通して行う。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-111-21	授業コード	F03113
科目名称	コンピュータ演習 I	単位数	1.0 単位
英文名称	Computer Laboratory I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	ここ数年の情報を取り巻く環境とそれを取り扱う情報機器の変化が著しい。コンピュータ中心だった情報処理からスマートフォンやタブレット端末が主流の情報共有に変化し、情報そのものも複雑化してきた。コロナ禍における社会の変化はすさまじく、テレワークや遠隔授業など私たちの生活を一変させるものでした。また、小中高においても情報活用能力の育成と ICT 活用が新学習指導要領のもと全面实施されました。こうした中、コンピュータ演習 I および II では、ICT（情報通信技術）を中心とした情報リテラシーを身につけるため、基礎理論の講義とその演習を中心に広範囲にわたって授業を行う。前期のコンピュータ演習 I では、オフィス系ソフトのワープロとプレゼンテーションを中心に、基礎ゼミや専門ゼミ、2 年次以降の授業で活かせるよう課題解決型学習に準じて演習を行う。併せて情報リテラシーを理解できるよう簡単な講義を行う。		
到達目標	コンピュータとスマートフォン（タブレット）を連携し、適切な情報収集および情報処理ができるようになる。具体的には、オフィス系ソフトを駆使して今後社会人として求められる文書を作成できるようになる。併せてメールやクラウドの概念を理解し、倫理観を持った情報のやり取りができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：履修ガイド・学生生活ガイドを読んでおくこと 授業：コンピュータの仕組みと起動/KOMAJO ポータルの使い方/Google クラウドの使い方/メールの使い方 復習：KOMAJO ポータルのログインやメールの送受信などおさらいして慣れておくこと	
2	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P10 から P13 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：タイピング（課題 2-1-1） 復習：タイピングのホームポジションを振り返っておくこと	
3	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P14 から P15 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：四字熟語・慣用句の入力（課題 2-1-2・課題 2-1-3） 復習：四字熟語・慣用句の意味を振り返っておくこと	
4	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P16 から P17 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：文書作成とレイアウト（課題 2-1-4・課題 2-2-1・課題 2-2-5） 復習：さまざまな文章のレイアウトを確認すること	
5	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P18 から P21 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（時間割）（課題 2-3-1） 復習：作成した時間割から操作方法を振り返ること	
6	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P22 から P23 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（履歴書）（課題 2-3-2） 復習：作成した履歴書から操作方法を振り返ること	
7	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P24 から P25 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（レシピ）（課題 2-3-3） 復習：作成したレシピから操作方法を振り返ること	
8	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P26 から P27 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（レシピ）（課題 2-3-3） 復習：作成したレシピから画像の取り扱いを振り返ること	
9	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P28 から P30 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：ビジネス文書の作成（見積書）（課題 2-3-4） 復習：さまざまな表組みと文章を組み合わせた文書を確認すること	
10	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P31 から P32 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：図形描画（キャラクタ）（課題 2-4-1） 復習：図形描画の操作方法を振り返ること	
11	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P33 から P35 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：図形描画（地図）（課題 2-4-2） 復習：さまざまな表組みと文章を組み合わせた文書を確認すること	
12	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P36 から P40 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：ビジネス文書の作成（クラス会）（課題 2-4-3） 復習：文字データと図形データが混在した書類等を確認すること	

13	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習 : 教科書 P41 から P42 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : シナリオメイキングと情報収集 (旅行計画) 復習 : シナリオ (ストーリー) を何度も振り返ること						
14	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習 : 教科書 P43 から P44 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : 情報の構造化と構成 (旅行計画) 復習 : さまざまなプレゼン資料を確認すること						
15	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習 : 教科書 P45 から P46 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : プレゼンテーションと演出 (旅行計画) 復習 : 全体の流れの振り返りをする						
授業開始前学習	高校の教科「情報」の教科書を読んでおくこと全体像をつかみやすい。							
授業内課題のフィードバックの方法	全体には、次の回に復習として解説を行う。個別には、課題返却時にクラスルームのコメントを通してアドバイスを行う。							
テキスト・教材	『講義と演習 情報のこころえ』ポラーノ出版							
参考書								
評価の基準と方法	毎回出される課題 40%、課題の内容および出来ばえ 40%と授業に対する取り組み (授業態度) 20%で評価を決める。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習 II 情報と科学							
その他	GWE(Google Workspace for Education)を中心に、Microsoft オフィスもしくは、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドにて課題作成を行う。 課題の提出および資料の配布は、GWE を通して行う。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-111-21	授業コード	F03116
科目名称	コンピュータ演習 I	単位数	1.0 単位
英文名称	Computer Laboratory I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	明田川 紀彦	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	明田川 紀彦	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00～12:10 火曜日 09:00～12:10 後期 水曜日 09:00～12:10 火曜日 09:00～12:10	研究室	10-707
授業概要	<p>ここ数年の情報を取り巻く環境とそれを取り扱う情報機器の変化が著しい。コンピュータ中心だった情報処理からスマートフォンやタブレット端末が主流の情報共有に変化し、情報そのものも複雑化してきた。コロナ禍における社会の変化はすさまじく、テレワークや遠隔授業など私たちの生活を一変させるものでした。また、小中高においても情報活用能力の育成と ICT 活用が新学習指導要領のもと全面实施されました。こうした中、コンピュータ演習 I および II では、ICT（情報通信技術）を中心とした情報リテラシーを身につけるため、基礎理論の講義とその演習を中心に広範囲にわたって授業を行う。前期のコンピュータ演習 I では、オフィス系ソフトのワープロとプレゼンテーションを中心に、基礎ゼミや専門ゼミ、2 年次以降の授業で活かせるよう課題解決型学習に準じて演習を行う。併せて情報リテラシーを理解できるよう簡単な講義を行う。</p>		
到達目標	<p>コンピュータとスマートフォン（タブレット）を連携し、適切な情報収集および情報処理ができるようになる。具体的には、オフィス系ソフトを駆使して今後社会人として求められる文書を作成できるようになる。併せてメールやクラウドの概念を理解し、倫理観を持った情報のやり取りができるようになる。</p>		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	明田川 紀彦	<p>予習：履修ガイド・学生生活ガイドを読んでおくこと 授業：コンピュータの仕組みと起動/KOMAJO ポータルの使い方/Google クラウドの使い方/メールの使い方 復習：KOMAJO ポータルのログインやメールの送受信などおさらいして慣れておくこと</p>	
2	明田川 紀彦	<p>予習：教科書 P10 から P13 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：タイピング（課題 2-1-1） 復習：タイピングのホームポジションを振り返っておくこと</p>	
3	明田川 紀彦	<p>予習：教科書 P14 から P15 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：四字熟語・慣用句の入力（課題 2-1-2・課題 2-1-3） 復習：四字熟語・慣用句の意味を振り返っておくこと</p>	
4	明田川 紀彦	<p>予習：教科書 P16 から P17 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：文書作成とレイアウト（課題 2-1-4・課題 2-2-1・課題 2-2-5） 復習：さまざまな文章のレイアウトを確認すること</p>	
5	明田川 紀彦	<p>予習：教科書 P18 から P21 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（時間割）（課題 2-3-1） 復習：作成した時間割から操作方法を振り返ること</p>	
6	明田川 紀彦	<p>予習：教科書 P22 から P23 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（履歴書）（課題 2-3-2） 復習：作成した履歴書から操作方法を振り返ること</p>	
7	明田川 紀彦	<p>予習：教科書 P24 から P25 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（レシピ）（課題 2-3-3） 復習：作成したレシピから操作方法を振り返ること</p>	
8	明田川 紀彦	<p>予習：教科書 P26 から P27 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（レシピ）（課題 2-3-3） 復習：作成したレシピから画像の取り扱いを振り返ること</p>	
9	明田川 紀彦	<p>予習：教科書 P28 から P30 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：ビジネス文書の作成（見積書）（課題 2-3-4） 復習：さまざまな表組みと文章を組み合わせた文書を確認すること</p>	
10	明田川 紀彦	<p>予習：教科書 P31 から P32 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：図形描画（キャラクタ）（課題 2-4-1） 復習：図形描画の操作方法を振り返ること</p>	
11	明田川 紀彦	<p>予習：教科書 P33 から P35 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：図形描画（地図）（課題 2-4-2） 復習：さまざまな表組みと文章を組み合わせた文書を確認すること</p>	
12	明田川 紀彦	<p>予習：教科書 P36 から P40 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：ビジネス文書の作成（クラス会）（課題 2-4-3） 復習：文字データと図形データが混在した書類等を確認すること</p>	

13	明田川 紀彦	予習 : 教科書 P41 から P42 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : シナリオメイキングと情報収集 (旅行計画) 復習 : シナリオ (ストーリー) を何度も振り返ること						
14	明田川 紀彦	予習 : 教科書 P43 から P44 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : 情報の構造化と構成 (旅行計画) 復習 : さまざまなプレゼン資料を確認すること						
15	明田川 紀彦	予習 : 教科書 P45 から P46 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : プレゼンテーションと演出 (旅行計画) 復習 : 全体の流れの振り返りをする						
授業開始前学習	高校の教科「情報」の教科書を読んでおくこと全体像をつかみやすい。							
授業内課題のフィードバックの方法	全体には、次の回に復習として解説を行う。個別には、課題返却時にクラスルームのコメントを通してアドバイスを行う。							
テキスト・教材	『講義と演習 情報のこころえ』ポラーノ出版							
参考書								
評価の基準と方法	毎回出される課題 40%、課題の内容および出来ばえ 40%と授業に対する取り組み (授業態度) 20%で評価を決める。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習 II 情報と科学							
その他	GWE(Google Workspace for Education)を中心に、Microsoft オフィスもしくは、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドにて課題作成を行う。 課題の提出および資料の配布は、GWE を通して行う。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-111-21	授業コード	F03118
科目名称	コンピュータ演習 I	単位数	1.0 単位
英文名称	Computer Laboratory I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	篠 政行	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	篠 政行	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	4-204
授業概要	<p>ここ数年の情報を取り巻く環境とそれを取り扱う情報機器の変化が著しい。コンピュータ中心だった情報処理からスマートフォンやタブレット端末が主流の情報共有に変化し、情報そのものも複雑化してきた。コロナ禍における社会の変化はすさまじく、テレワークや遠隔授業など私たちの生活を一変させるものでした。また、小中高においても情報活用能力の育成と ICT 活用が新学習指導要領のもと全面实施されました。こうした中、コンピュータ演習 I および II では、ICT（情報通信技術）を中心とした情報リテラシーを身につけるため、基礎理論の講義とその演習を中心に広範囲にわたって授業を行う。前期のコンピュータ演習 I では、オフィス系ソフトのワープロとプレゼンテーションを中心に、基礎ゼミや専門ゼミ、2 年次以降の授業で活かせるよう課題解決型学習に準じて演習を行う。併せて情報リテラシーを理解できるよう簡単な講義を行う。</p>		
到達目標	<p>コンピュータとスマートフォン（タブレット）を連携し、適切な情報収集および情報処理ができるようになる。具体的には、オフィス系ソフトを駆使して今後社会人として求められる文書を作成できるようになる。併せてメールやクラウドの概念を理解し、倫理観を持った情報のやり取りができるようになる。</p>		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	篠 政行	<p>予習：履修ガイド・学生生活ガイドを読んでおくこと 授業：コンピュータの仕組みと起動/KOMAJO ポータルの使い方/Google クラウドの使い方/メールの使い方 復習：KOMAJO ポータルのログインやメールの送受信などおさらいして慣れておくこと</p>	
2	篠 政行	<p>予習：教科書 P10 から P13 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：タイピング（課題 2-1-1） 復習：タイピングのホームポジションを振り返っておくこと</p>	
3	篠 政行	<p>予習：教科書 P14 から P15 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：四字熟語・慣用句の入力（課題 2-1-2・課題 2-1-3） 復習：四字熟語・慣用句の意味を振り返っておくこと</p>	
4	篠 政行	<p>予習：教科書 P16 から P17 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：文書作成とレイアウト（課題 2-1-4・課題 2-2-1・課題 2-2-5） 復習：さまざまな文章のレイアウトを確認すること</p>	
5	篠 政行	<p>予習：教科書 P18 から P21 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（時間割）（課題 2-3-1） 復習：作成した時間割から操作方法を振り返ること</p>	
6	篠 政行	<p>予習：教科書 P22 から P23 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（履歴書）（課題 2-3-2） 復習：作成した履歴書から操作方法を振り返ること</p>	
7	篠 政行	<p>予習：教科書 P24 から P25 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（レシピ）（課題 2-3-3） 復習：作成したレシピから操作方法を振り返ること</p>	
8	篠 政行	<p>予習：教科書 P26 から P27 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（レシピ）（課題 2-3-3） 復習：作成したレシピから画像の取り扱いを振り返ること</p>	
9	篠 政行	<p>予習：教科書 P28 から P30 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：ビジネス文書の作成（見積書）（課題 2-3-4） 復習：さまざまな表組みと文章を組み合わせた文書を確認すること</p>	
10	篠 政行	<p>予習：教科書 P31 から P32 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：図形描画（キャラクタ）（課題 2-4-1） 復習：図形描画の操作方法を振り返ること</p>	
11	篠 政行	<p>予習：教科書 P33 から P35 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：図形描画（地図）（課題 2-4-2） 復習：さまざまな表組みと文章を組み合わせた文書を確認すること</p>	
12	篠 政行	<p>予習：教科書 P36 から P40 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：ビジネス文書の作成（クラス会）（課題 2-4-3） 復習：文字データと図形データが混在した書類等を確認すること</p>	

13	篠 政行	予習 : 教科書 P41 から P42 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : シナリオメイキングと情報収集 (旅行計画) 復習 : シナリオ (ストーリー) を何度も振り返ること						
14	篠 政行	予習 : 教科書 P43 から P44 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : 情報の構造化と構成 (旅行計画) 復習 : さまざまなプレゼン資料を確認すること						
15	篠 政行	予習 : 教科書 P45 から P46 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : プレゼンテーションと演出 (旅行計画) 復習 : 全体の流れの振り返りをする						
授業開始前学習	高校の教科「情報」の教科書を読んでおくこと全体像をつかみやすい。							
授業内課題のフィードバックの方法	全体には、次の回に復習として解説を行う。個別には、課題返却時にクラスルームのコメントを通してアドバイスを行う。							
テキスト・教材	『講義と演習 情報のこころえ』ポラーノ出版							
参考書								
評価の基準と方法	毎回出される課題 40%、課題の内容および出来ばえ 40%と授業に対する取り組み (授業態度) 20%で評価を決める。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習Ⅱ 情報と科学							
その他	GWE(Google Workspace for Education)を中心に、Microsoft オフィスもしくは、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドにて課題作成を行う。 課題の提出および資料の配布は、GWE を通して行う。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-111-21	授業コード	F03119
科目名称	コンピュータ演習 I	単位数	1.0 単位
英文名称	Computer Laboratory I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	高橋 大介	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	高橋 大介	開講時期	1 年
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>ここ数年の情報を取り巻く環境とそれを取り扱う情報機器の変化が著しい。コンピュータ中心だった情報処理からスマートフォンやタブレット端末が主流の情報共有に変化し、情報そのものも複雑化してきた。コロナ禍における社会の変化はすさまじく、テレワークや遠隔授業など私たちの生活を一変させるものでした。また、小中高においても情報活用能力の育成と ICT 活用が新学習指導要領のもと全面实施されました。こうした中、コンピュータ演習 I および II では、ICT（情報通信技術）を中心とした情報リテラシーを身につけるため、基礎理論の講義とその演習を中心に広範囲にわたって授業を行う。前期のコンピュータ演習 I では、オフィス系ソフトのワープロとプレゼンテーションを中心に、基礎ゼミや専門ゼミ、2 年次以降の授業で活かせるよう課題解決型学習に準じて演習を行う。併せて情報リテラシーを理解できるよう簡単な講義を行う。</p>		
到達目標	<p>コンピュータとスマートフォン（タブレット）を連携し、適切な情報収集および情報処理ができるようになる。具体的には、オフィス系ソフトを駆使して今後社会人として求められる文書を作成できるようになる。併せてメールやクラウドの概念を理解し、倫理観を持った情報のやり取りができるようになる。</p>		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	高橋 大介	<p>予習：履修ガイド・学生生活ガイドを読んでおくこと 授業：コンピュータの仕組みと起動/KOMAJO ポータルの使い方/Google クラウドの使い方/メールの使い方 復習：KOMAJO ポータルのログインやメールの送受信などおさらいして慣れておくこと</p>	
2	高橋 大介	<p>予習：教科書 P10 から P13 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：タイピング（課題 2-1-1） 復習：タイピングのホームポジションを振り返っておくこと</p>	
3	高橋 大介	<p>予習：教科書 P14 から P15 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：四字熟語・慣用句の入力（課題 2-1-2・課題 2-1-3） 復習：四字熟語・慣用句の意味を振り返っておくこと</p>	
4	高橋 大介	<p>予習：教科書 P16 から P17 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：文書作成とレイアウト（課題 2-1-4・課題 2-2-1・課題 2-2-5） 復習：さまざまな文章のレイアウトを確認すること</p>	
5	高橋 大介	<p>予習：教科書 P18 から P21 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（時間割）（課題 2-3-1） 復習：作成した時間割から操作方法を振り返ること</p>	
6	高橋 大介	<p>予習：教科書 P22 から P23 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（履歴書）（課題 2-3-2） 復習：作成した履歴書から操作方法を振り返ること</p>	
7	高橋 大介	<p>予習：教科書 P24 から P25 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（レシピ）（課題 2-3-3） 復習：作成したレシピから操作方法を振り返ること</p>	
8	高橋 大介	<p>予習：教科書 P26 から P27 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（レシピ）（課題 2-3-3） 復習：作成したレシピから画像の取り扱いを振り返ること</p>	
9	高橋 大介	<p>予習：教科書 P28 から P30 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：ビジネス文書の作成（見積書）（課題 2-3-4） 復習：さまざまな表組みと文章を組み合わせた文書を確認すること</p>	
10	高橋 大介	<p>予習：教科書 P31 から P32 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：図形描画（キャラクタ）（課題 2-4-1） 復習：図形描画の操作方法を振り返ること</p>	
11	高橋 大介	<p>予習：教科書 P33 から P35 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：図形描画（地図）（課題 2-4-2） 復習：さまざまな表組みと文章を組み合わせた文書を確認すること</p>	
12	高橋 大介	<p>予習：教科書 P36 から P40 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：ビジネス文書の作成（クラス会）（課題 2-4-3） 復習：文字データと図形データが混在した書類等を確認すること</p>	

13	高橋 大介	予習 : 教科書 P41 から P42 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : シナリオメイキングと情報収集 (旅行計画) 復習 : シナリオ (ストーリー) を何度も振り返ること						
14	高橋 大介	予習 : 教科書 P43 から P44 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : 情報の構造化と構成 (旅行計画) 復習 : さまざまなプレゼン資料を確認すること						
15	高橋 大介	予習 : 教科書 P45 から P46 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : プレゼンテーションと演出 (旅行計画) 復習 : 全体の流れの振り返りをする						
授業開始前学習	高校の教科「情報」の教科書を読んでおくこと全体像をつかみやすい。							
授業内課題のフィードバックの方法	全体には、次の回に復習として解説を行う。個別には、課題返却時にクラスルームのコメントを通してアドバイスを行う。							
テキスト・教材	『講義と演習 情報のこころえ』ポラーノ出版							
参考書								
評価の基準と方法	毎回出される課題 40%、課題の内容および出来ばえ 40%と授業に対する取り組み (授業態度) 20%で評価を決める。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける		社会的責務を果たすこと のできる専門力と判断力を身 につける		文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケ ーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習 II 情報と科学							
その他	GWE(Google Workspace for Education)を中心に、Microsoft オフィスもしくは、Google ドキュメント、スプレッドシート、 スライドにて課題作成を行う。 課題の提出および資料の配布は、GWE を通して行う。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目分類	100-111-21	授業コード	F03122
科目名称	コンピュータ演習 I	単位数	1.0 単位
英文名称	Computer Laboratory I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	星野 好晃	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	星野 好晃	開講時期	1 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	<p>ここ数年の情報を取り巻く環境とそれを取り扱う情報機器の変化が著しい。コンピュータ中心だった情報処理からスマートフォンやタブレット端末が主流の情報共有に変化し、情報そのものも複雑化してきた。コロナ禍における社会の変化はすさまじく、テレワークや遠隔授業など私たちの生活を一変させるものでした。また、小中高においても情報活用能力の育成と ICT 活用が新学習指導要領のもと全面实施されました。こうした中、コンピュータ演習 I および II では、ICT（情報通信技術）を中心とした情報リテラシーを身につけるため、基礎理論の講義とその演習を中心に広範囲にわたって授業を行う。前期のコンピュータ演習 I では、オフィス系ソフトのワープロとプレゼンテーションを中心に、基礎ゼミや専門ゼミ、2 年次以降の授業で活かせるよう課題解決型学習に準じて演習を行う。併せて情報リテラシーを理解できるよう簡単な講義を行う。</p>		
到達目標	<p>コンピュータとスマートフォン（タブレット）を連携し、適切な情報収集および情報処理ができるようになる。具体的には、オフィス系ソフトを駆使して今後社会人として求められる文書を作成できるようになる。併せてメールやクラウドの概念を理解し、倫理観を持った情報のやり取りができるようになる。</p>		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	星野 好晃	<p>予習：履修ガイド・学生生活ガイドを読んでおくこと 授業：コンピュータの仕組みと起動/KOMAJO ポータルの使い方/Google クラウドの使い方/メールの使い方 復習：KOMAJO ポータルのログインやメールの送受信などおさらいして慣れておくこと</p>	
2	星野 好晃	<p>予習：教科書 P10 から P13 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：タイピング（課題 2-1-1） 復習：タイピングのホームポジションを振り返っておくこと</p>	
3	星野 好晃	<p>予習：教科書 P14 から P15 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：四字熟語・慣用句の入力（課題 2-1-2・課題 2-1-3） 復習：四字熟語・慣用句の意味を振り返っておくこと</p>	
4	星野 好晃	<p>予習：教科書 P16 から P17 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：文書作成とレイアウト（課題 2-1-4・課題 2-2-1・課題 2-2-5） 復習：さまざまな文章のレイアウトを確認すること</p>	
5	星野 好晃	<p>予習：教科書 P18 から P21 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（時間割）（課題 2-3-1） 復習：作成した時間割から操作方法を振り返ること</p>	
6	星野 好晃	<p>予習：教科書 P22 から P23 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（履歴書）（課題 2-3-2） 復習：作成した履歴書から操作方法を振り返ること</p>	
7	星野 好晃	<p>予習：教科書 P24 から P25 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（レシピ）（課題 2-3-3） 復習：作成したレシピから操作方法を振り返ること</p>	
8	星野 好晃	<p>予習：教科書 P26 から P27 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（レシピ）（課題 2-3-3） 復習：作成したレシピから画像の取り扱いを振り返ること</p>	
9	星野 好晃	<p>予習：教科書 P28 から P30 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：ビジネス文書の作成（見積書）（課題 2-3-4） 復習：さまざまな表組みと文章を組み合わせた文書を確認すること</p>	
10	星野 好晃	<p>予習：教科書 P31 から P32 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：図形描画（キャラクタ）（課題 2-4-1） 復習：図形描画の操作方法を振り返ること</p>	
11	星野 好晃	<p>予習：教科書 P33 から P35 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：図形描画（地図）（課題 2-4-2） 復習：さまざまな表組みと文章を組み合わせた文書を確認すること</p>	
12	星野 好晃	<p>予習：教科書 P36 から P40 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：ビジネス文書の作成（クラス会）（課題 2-4-3） 復習：文字データと図形データが混在した書類等を確認すること</p>	

13	星野 好晃	予習 : 教科書 P41 から P42 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : シナリオメイキングと情報収集 (旅行計画) 復習 : シナリオ (ストーリー) を何度も振り返ること						
14	星野 好晃	予習 : 教科書 P43 から P44 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : 情報の構造化と構成 (旅行計画) 復習 : さまざまなプレゼン資料を確認すること						
15	星野 好晃	予習 : 教科書 P45 から P46 を読んでおくこと 授業 : プレゼン演習 : プレゼンテーションと演出 (旅行計画) 復習 : 全体の流れの振り返りをする						
授業開始前学習	高校の教科「情報」の教科書を読んでおくこと全体像をつかみやすい。							
授業内課題のフィードバックの方法	全体には、次の回に復習として解説を行う。個別には、課題返却時にクラスルームのコメントを通してアドバイスを行う。							
テキスト・教材	『講義と演習 情報のこころえ』ポラーノ出版							
参考書								
評価の基準と方法	毎回出される課題 40%、課題の内容および出来ばえ 40%と授業に対する取り組み (授業態度) 20%で評価を決める。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習Ⅱ 情報と科学							
その他	GWE(Google Workspace for Education)を中心に、Microsoft オフィスもしくは、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドにて課題作成を行う。 課題の提出および資料の配布は、GWE を通して行う。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-111-21	授業コード	F03161
科目名称	コンピュータ演習Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	Computer Laboratory Ⅱ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	高橋 大介	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	高橋 大介	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	コンピュータ演習Ⅰと同様に、総合的に ICT（情報通信技術）を活用する知識とリテラシーを身につけるため、基礎理論の講義とその演習を広範囲にわたって授業を行う。本演習では、オフィス系ソフトのエクセル（スプレッドシート）を中心に、特に、数値処理や統計処理など基礎ゼミや専門ゼミ、2 年次以降の授業で活かせるよう課題解決型学習に準じて実務的な演習を行う。		
到達目標	コンピュータとスマートフォン（タブレット）を連携し、適切な情報収集および情報処理ができるようになる。具体的には、オフィス系ソフトを駆使して今後社会人として求められる文書を作成できるようになる。併せてメールやクラウドの概念を理解し、倫理観を持った情報のやり取りができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	高橋 大介	予習：教科書 P45 から P46 を読んでおくこと 授業：表計算演習：作表（データ入力と罫線処理）（課題 3-1-1） 復習：時間割、カレンダーなど格子状のデータを確認すること	
2	高橋 大介	予習：教科書 P47 から P48 を読んでおくこと 授業：表計算演習：作表（複雑な罫線処理）（課題 3-1-2） 復習：フロアマップや料金表など複雑な表形式のデータを確認すること	
3	高橋 大介	予習：教科書 P49 から P50、P53 から 54 を読んでおくこと 授業：表計算演習：計算とグラフの基本（前期成績表の作成） 復習：構造化された情報を紙に書き起こして見返すこと	
4	高橋 大介	予習：教科書 P51 から P52 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の人口分布（課題 3-3-1） 復習：総務省統計局のさまざまなデータを確認すること	
5	高橋 大介	予習：教科書 P56 から P57 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の主要都市の平均気温（課題 3-3-2） 復習：気象庁のさまざまなデータを確認すること	
6	高橋 大介	予習：教科書 P58 から P59 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の所得ランキング 復習：国連統計局のさまざまなデータを確認すること	
7	高橋 大介	予習：教科書 P60 から P62 を読んでおくこと 授業：表計算演習：ジェンダーギャップ指数 復習：世界経済フォーラムのさまざまなデータを確認すること	
8	高橋 大介	予習：教科書 P63 から P64 を読んでおくこと 授業：表計算演習：企業研究 復習：注目した企業の活動をニュースメディアを通して確認すること	
9	高橋 大介	予習：教科書 P65 から P66 を読んでおくこと 授業：表計算演習：レシート（課題 3-4-1） 復習：さまざまなレシートを確認すること	
10	高橋 大介	予習：教科書 P67 から P68 を読んでおくこと 授業：表計算演習：成績表（課題 3-3-3） 復習：基本統計量（その 1）を振り返ること	
11	高橋 大介	予習：教科書 P69 から P71 を読んでおくこと 授業：表計算演習：身体測定表（課題 3-3-4） 復習：基本統計量（その 2）を振り返ること	
12	高橋 大介	予習：教科書 P72 から P73 を読んでおくこと 授業：表計算演習：レシピ（課題 3-4-7） 復習：栄養管理について確認すること	
13	高橋 大介	予習：教科書 P75 から P77 を読んでおくこと 授業：表計算演習：歳入・歳出の概要（課題 3-4-2） 復習：それぞれの区分について理解すること	
14	高橋 大介	予習：次年度予算関連のニュース記事を確認すること 授業：表計算演習：歳入・歳出の概要（課題 3-4-2） 復習：財政状況と時事問題を理解すること	

15	高橋 大介	予習 : いままでの課題について振り返ること 授業 : 表計算演習:見積書(課題3-4-3) 復習 : それぞれの課題について振り返ること						
授業開始前学習	高校の教科「情報」の教科書を読んでおくこと全体像をつかみやすい。コンピュータ演習 I の内容をおさらいしておくこと							
授業内課題のフィードバックの方法	全体には、次の回に復習として解説を行う。個別には、課題返却時にクラスルームのコメントを通してアドバイスを行う。							
テキスト・教材	『講義と演習 情報のこころえ』ポラーノ出版							
参考書								
評価の基準と方法	毎時間出される課題 40%、課題の内容および出来映え 40%と授業に対する取り組み(授業態度) 20%で評価を決める。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習 I 情報と科学							
その他	GWE(Google Workspace for Education)を中心に、Microsoft オフィスもしくは、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドにて課題作成を行う。 課題の提出および資料の配布は、GWE を通して行う。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-111-21	授業コード	F03162
科目名称	コンピュータ演習Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	Computer Laboratory Ⅱ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中澤 美奈	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中澤 美奈	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	コンピュータ演習Ⅰと同様に、総合的に ICT（情報通信技術）を活用する知識とリテラシーを身につけるため、基礎理論の講義とその演習を範囲にわたって授業を行う。本演習では、オフィス系ソフトのエクセル（スプレッドシート）を中心に、特に、数値処理や統計処理など基礎ゼミや専門ゼミ、2 年次以降の授業で活かせるよう課題解決型学習に準じて実務的な演習を行う。		
到達目標	コンピュータとスマートフォン（タブレット）を連携し、適切な情報収集および情報処理ができるようになる。具体的には、オフィス系ソフトを駆使して今後社会人として求められる文書を作成できるようになる。併せてメールやクラウドの概念を理解し、倫理観を持った情報のやり取りができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	中澤 美奈	予習：教科書 P45 から P46 を読んでおくこと 授業：表計算演習：作表（データ入力と罫線処理）（課題 3-1-1） 復習：時間割、カレンダーなど格子状のデータを確認すること	
2	中澤 美奈	予習：教科書 P47 から P48 を読んでおくこと 授業：表計算演習：作表（複雑な罫線処理）（課題 3-1-2） 復習：フロアマップや料金表など複雑な表形式のデータを確認すること	
3	中澤 美奈	予習：教科書 P49 から P50、P53 から 54 を読んでおくこと 授業：表計算演習：計算とグラフの基本（前期成績表の作成） 復習：構造化された情報を紙に書き起こして見返すこと	
4	中澤 美奈	予習：教科書 P51 から P52 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の人口分布（課題 3-3-1） 復習：総務省統計局のさまざまなデータを確認すること	
5	中澤 美奈	予習：教科書 P56 から P57 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の主要都市の平均気温（課題 3-3-2） 復習：気象庁のさまざまなデータを確認すること	
6	中澤 美奈	予習：教科書 P58 から P59 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の所得ランキング 復習：国連統計局のさまざまなデータを確認すること	
7	中澤 美奈	予習：教科書 P60 から P62 を読んでおくこと 授業：表計算演習：ジェンダーギャップ指数 復習：世界経済フォーラムのさまざまなデータを確認すること	
8	中澤 美奈	予習：教科書 P63 から P64 を読んでおくこと 授業：表計算演習：企業研究 復習：注目した企業の活動をニュースメディアを通して確認すること	
9	中澤 美奈	予習：教科書 P65 から P66 を読んでおくこと 授業：表計算演習：レシート（課題 3-4-1） 復習：さまざまなレシートを確認すること	
10	中澤 美奈	予習：教科書 P67 から P68 を読んでおくこと 授業：表計算演習：成績表（課題 3-3-3） 復習：基本統計量（その 1）を振り返ること	
11	中澤 美奈	予習：教科書 P69 から P71 を読んでおくこと 授業：表計算演習：身体測定表（課題 3-3-4） 復習：基本統計量（その 2）を振り返ること	
12	中澤 美奈	予習：教科書 P72 から P73 を読んでおくこと 授業：表計算演習：レシピ（課題 3-4-7） 復習：栄養管理について確認すること	
13	中澤 美奈	予習：教科書 P75 から P77 を読んでおくこと 授業：表計算演習：歳入・歳出の概要（課題 3-4-2） 復習：それぞれの区分について理解すること	
14	中澤 美奈	予習：次年度予算関連のニュース記事を確認すること 授業：表計算演習：歳入・歳出の概要（課題 3-4-2） 復習：財政状況と時事問題を理解すること	

15	中澤 美奈	予習 : いままでの課題について振り返ること 授業 : 表計算演習 : 見積書 (課題 3-4-3) 復習 : それぞれの課題について振り返ること						
授業開始前学習	高校の教科「情報」の教科書を読んでおくこと全体像をつかみやすい。コンピュータ演習 I の内容をおさらいしておくこと							
授業内課題のフィードバックの方法	全体には、次の回に復習として解説を行う。個別には、課題返却時にクラスルームのコメントを通してアドバイスを行う。							
テキスト・教材	『講義と演習 情報のこころえ』ポラーノ出版							
参考書								
評価の基準と方法	毎時間出される課題 40%、課題の内容および出来映え 40%と授業に対する取り組み (授業態度) 20%で評価を決める。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習 I 情報と科学							
その他	GWE(Google Workspace for Education)を中心に、Microsoft オフィスもしくは、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドにて課題作成を行う。 課題の提出および資料の配布は、GWE を通して行う。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-111-21	授業コード	F03163
科目名称	コンピュータ実習Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	Computer Laboratory Ⅱ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	コンピュータ実習Ⅰと同様に、総合的に ICT（情報通信技術）を活用する知識とリテラシーを身につけるため、基礎理論の講義とその演習を範囲にわたって授業を行う。本実習では、オフィス系ソフトのエクセル（スプレッドシート）を中心に、特に、数値処理や統計処理など基礎ゼミや専門ゼミ、2 年次以降の授業で活かせるよう課題解決型学習に準じて実務的な演習を行う。		
到達目標	コンピュータとスマートフォン（タブレット）を連携し、適切な情報収集および情報処理ができるようになる。具体的には、オフィス系ソフトを駆使して今後社会人として求められる文書を作成できるようになる。併せてメールやクラウドの概念を理解し、倫理観を持った情報のやり取りができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P45 から P46 を読んでおくこと 授業：表計算演習：作表（データ入力と罫線処理）（課題 3－1－1） 復習：時間割、カレンダーなど格子状のデータを確認すること	
2	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P47 から P48 を読んでおくこと 授業：表計算演習：作表（複雑な罫線処理）（課題 3－1－2） 復習：フロアマップや料金表など複雑な表形式のデータを確認すること	
3	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P49 から P50、P53 から 54 を読んでおくこと 授業：表計算演習：計算とグラフの基本（前期成績表の作成） 復習：構造化された情報を紙に書き起こして見返すこと	
4	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P51 から P52 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の人口分布（課題 3－3－1） 復習：総務省統計局のさまざまなデータを確認すること	
5	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P56 から P57 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の主要都市の平均気温（課題 3－3－2） 復習：気象庁のさまざまなデータを確認すること	
6	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P58 から P59 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の所得ランキング 復習：国連統計局のさまざまなデータを確認すること	
7	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P60 から P62 を読んでおくこと 授業：表計算演習：ジェンダーギャップ指数 復習：世界経済フォーラムのさまざまなデータを確認すること	
8	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P63 から P64 を読んでおくこと 授業：表計算演習：企業研究 復習：注目した企業の活動をニュースメディアを通して確認すること	
9	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P65 から P66 を読んでおくこと 授業：表計算演習：レシート（課題 3－4－1） 復習：さまざまなレシートを確認すること	
10	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P67 から P68 を読んでおくこと 授業：表計算演習：成績表（課題 3－3－3） 復習：基本統計量（その 1）を振り返ること	
11	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P69 から P71 を読んでおくこと 授業：表計算演習：身体測定表（課題 3－3－4） 復習：基本統計量（その 2）を振り返ること	
12	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P72 から P73 を読んでおくこと 授業：表計算演習：レシピ（課題 3－4－7） 復習：栄養管理について確認すること	
13	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：教科書 P75 から P77 を読んでおくこと 授業：表計算演習：歳入・歳出の概要（課題 3－4－2） 復習：それぞれの区分について理解すること	
14	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習：次年度予算関連のニュース記事を確認すること 授業：表計算演習：歳入・歳出の概要（課題 3－4－2） 復習：財政状況と時事問題を理解すること	

15	スワット・チャロンニボン・ワーニッチ	予習 : いままでの課題について振り返ること 授業 : 表計算演習 : 見積書 (課題 3-4-3) 復習 : それぞれの課題について振り返ること						
授業開始前学習	高校の教科「情報」の教科書を読んでおくこと全体像をつかみやすい。コンピュータ演習 I の内容をおさらいしておくこと							
授業内課題のフィードバックの方法	全体には、次の回に復習として解説を行う。個別には、課題返却時にクラスルームのコメントを通してアドバイスを行う。							
テキスト・教材	『講義と演習 情報のこころえ』ポラーノ出版							
参考書								
評価の基準と方法	毎時間出される課題 40%、課題の内容および出来映え 40%と授業に対する取り組み (授業態度) 20%で評価を決める。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習 I 情報と科学							
その他	GWE(Google Workspace for Education)を中心に、Microsoft オフィスもしくは、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドにて課題作成を行う。 課題の提出および資料の配布は、GWE を通して行う。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-111-21	授業コード	F03166
科目名称	コンピュータ演習Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	Computer Laboratory Ⅱ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	明田川 紀彦	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	明田川 紀彦	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00～12:10 火曜日 09:00～12:10 後期 水曜日 09:00～12:10 火曜日 09:00～12:10	研究室	10-707
授業概要	コンピュータ演習Ⅰと同様に、総合的に ICT（情報通信技術）を活用する知識とリテラシーを身につけるため、基礎理論の講義とその演習を範囲にわたって授業を行う。本演習では、オフィス系ソフトのエクセル（スプレッドシート）を中心に、特に、数値処理や統計処理など基礎ゼミや専門ゼミ、2 年次以降の授業で活かせるよう課題解決型学習に準じて実務的な演習を行う。		
到達目標	コンピュータとスマートフォン（タブレット）を連携し、適切な情報収集および情報処理ができるようになる。具体的には、オフィス系ソフトを駆使して今後社会人として求められる文書を作成できるようになる。併せてメールやクラウドの概念を理解し、倫理観を持った情報のやり取りができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	明田川 紀彦	予習：教科書 P45 から P46 を読んでおくこと 授業：表計算演習：作表（データ入力と罫線処理）（課題 3-1-1） 復習：時間割、カレンダーなど格子状のデータを確認すること	
2	明田川 紀彦	予習：教科書 P47 から P48 を読んでおくこと 授業：表計算演習：作表（複雑な罫線処理）（課題 3-1-2） 復習：フロアマップや料金表など複雑な表形式のデータを確認すること	
3	明田川 紀彦	予習：教科書 P49 から P50、P53 から 54 を読んでおくこと 授業：表計算演習：計算とグラフの基本（前期成績表の作成） 復習：構造化された情報を紙に書き起こして見返すこと	
4	明田川 紀彦	予習：教科書 P51 から P52 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の人口分布（課題 3-3-1） 復習：総務省統計局のさまざまなデータを確認すること	
5	明田川 紀彦	予習：教科書 P56 から P57 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の主要都市の平均気温（課題 3-3-2） 復習：気象庁のさまざまなデータを確認すること	
6	明田川 紀彦	予習：教科書 P58 から P59 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の所得ランキング 復習：国連統計局のさまざまなデータを確認すること	
7	明田川 紀彦	予習：教科書 P60 から P62 を読んでおくこと 授業：表計算演習：ジェンダーギャップ指数 復習：世界経済フォーラムのさまざまなデータを確認すること	
8	明田川 紀彦	予習：教科書 P63 から P64 を読んでおくこと 授業：表計算演習：企業研究 復習：注目した企業の活動をニュースメディアを通して確認すること	
9	明田川 紀彦	予習：教科書 P65 から P66 を読んでおくこと 授業：表計算演習：レシート（課題 3-4-1） 復習：さまざまなレシートを確認すること	
10	明田川 紀彦	予習：教科書 P67 から P68 を読んでおくこと 授業：表計算演習：成績表（課題 3-3-3） 復習：基本統計量（その 1）を振り返ること	
11	明田川 紀彦	予習：教科書 P69 から P71 を読んでおくこと 授業：表計算演習：身体測定表（課題 3-3-4） 復習：基本統計量（その 2）を振り返ること	
12	明田川 紀彦	予習：教科書 P72 から P73 を読んでおくこと 授業：表計算演習：レシピ（課題 3-4-7） 復習：栄養管理について確認すること	
13	明田川 紀彦	予習：教科書 P75 から P77 を読んでおくこと 授業：表計算演習：歳入・歳出の概要（課題 3-4-2） 復習：それぞれの区分について理解すること	
14	明田川 紀彦	予習：次年度予算関連のニュース記事を確認すること 授業：表計算演習：歳入・歳出の概要（課題 3-4-2） 復習：財政状況と時事問題を理解すること	

15	明田川 紀彦	予習 : いままでの課題について振り返ること 授業 : 表計算演習 : 見積書 (課題 3-4-3) 復習 : それぞれの課題について振り返ること						
授業開始前学習	高校の教科「情報」の教科書を読んでおくこと全体像をつかみやすい。コンピュータ演習 I の内容をおさらいしておくこと							
授業内課題のフィードバックの方法	全体には、次の回に復習として解説を行う。個別には、課題返却時にクラスルームのコメントを通してアドバイスを行う。							
テキスト・教材	『講義と演習 情報のこころえ』ポラーノ出版							
参考書								
評価の基準と方法	毎時間出される課題 40%、課題の内容および出来映え 40%と授業に対する取り組み (授業態度) 20%で評価を決める。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習 I 情報と科学							
その他	GWE(Google Workspace for Education)を中心に、Microsoft オフィスもしくは、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドにて課題作成を行う。 課題の提出および資料の配布は、GWE を通して行う。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-111-21	授業コード	F03168
科目名称	コンピュータ演習Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	Computer Laboratory Ⅱ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	篠 政行	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	篠 政行	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	4-204
授業概要	コンピュータ演習Ⅰと同様に、総合的に ICT（情報通信技術）を活用する知識とリテラシーを身につけるため、基礎理論の講義とその演習を広範囲にわたって授業を行う。本演習では、オフィス系ソフトのエクセル（スプレッドシート）を中心に、特に、数値処理や統計処理など基礎ゼミや専門ゼミ、2 年次以降の授業で活かせるよう課題解決型学習に準じて実務的な演習を行う。		
到達目標	コンピュータとスマートフォン（タブレット）を連携し、適切な情報収集および情報処理ができるようになる。具体的には、オフィス系ソフトを駆使して今後社会人として求められる文書を作成できるようになる。併せてメールやクラウドの概念を理解し、倫理観を持った情報のやり取りができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	篠 政行	予習：教科書 P45 から P46 を読んでおくこと 授業：表計算演習：作表（データ入力と罫線処理）（課題 3-1-1） 復習：時間割、カレンダーなど格子状のデータを確認すること	
2	篠 政行	予習：教科書 P47 から P48 を読んでおくこと 授業：表計算演習：作表（複雑な罫線処理）（課題 3-1-2） 復習：フロアマップや料金表など複雑な表形式のデータを確認すること	
3	篠 政行	予習：教科書 P49 から P50、P53 から 54 を読んでおくこと 授業：表計算演習：計算とグラフの基本（前期成績表の作成） 復習：構造化された情報を紙に書き起こして見返すこと	
4	篠 政行	予習：教科書 P51 から P52 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の人口分布（課題 3-3-1） 復習：総務省統計局のさまざまなデータを確認すること	
5	篠 政行	予習：教科書 P56 から P57 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の主要都市の平均気温（課題 3-3-2） 復習：気象庁のさまざまなデータを確認すること	
6	篠 政行	予習：教科書 P58 から P59 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の所得ランキング 復習：国連統計局のさまざまなデータを確認すること	
7	篠 政行	予習：教科書 P60 から P62 を読んでおくこと 授業：表計算演習：ジェンダーギャップ指数 復習：世界経済フォーラムのさまざまなデータを確認すること	
8	篠 政行	予習：教科書 P63 から P64 を読んでおくこと 授業：表計算演習：企業研究 復習：注目した企業の活動をニュースメディアを通して確認すること	
9	篠 政行	予習：教科書 P65 から P66 を読んでおくこと 授業：表計算演習：レシート（課題 3-4-1） 復習：さまざまなレシートを確認すること	
10	篠 政行	予習：教科書 P67 から P68 を読んでおくこと 授業：表計算演習：成績表（課題 3-3-3） 復習：基本統計量（その 1）を振り返ること	
11	篠 政行	予習：教科書 P69 から P71 を読んでおくこと 授業：表計算演習：身体測定表（課題 3-3-4） 復習：基本統計量（その 2）を振り返ること	
12	篠 政行	予習：教科書 P72 から P73 を読んでおくこと 授業：表計算演習：レシピ（課題 3-4-7） 復習：栄養管理について確認すること	
13	篠 政行	予習：教科書 P75 から P77 を読んでおくこと 授業：表計算演習：歳入・歳出の概要（課題 3-4-2） 復習：それぞれの区分について理解すること	
14	篠 政行	予習：次年度予算関連のニュース記事を確認すること 授業：表計算演習：歳入・歳出の概要（課題 3-4-2） 復習：財政状況と時事問題を理解すること	

15	篠 政行	予習 : いままでの課題について振り返ること 授業 : 表計算演習:見積書(課題3-4-3) 復習 : それぞれの課題について振り返ること						
授業開始前学習	高校の教科「情報」の教科書を読んでおくこと全体像をつかみやすい。コンピュータ演習 I の内容をおさらいしておくこと							
授業内課題のフィードバックの方法	全体には、次の回に復習として解説を行う。個別には、課題返却時にクラスルームのコメントを通してアドバイスを行う。							
テキスト・教材	『講義と演習 情報のこころえ』ポラーノ出版							
参考書								
評価の基準と方法	毎時間出される課題 40%、課題の内容および出来映え 40%と授業に対する取り組み(授業態度) 20%で評価を決める。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習 I 情報と科学							
その他	GWE(Google Workspace for Education)を中心に、Microsoft オフィスもしくは、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドにて課題作成を行う。 課題の提出および資料の配布は、GWE を通して行う。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-111-21	授業コード	F03172
科目名称	コンピュータ演習Ⅱ	単位数	1.0 単位
英文名称	Computer Laboratory Ⅱ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	星野 好晃	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	星野 好晃	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	コンピュータ演習Ⅰと同様に、総合的に ICT（情報通信技術）を活用する知識とリテラシーを身につけるため、基礎理論の講義とその演習を範囲にわたって授業を行う。本演習では、オフィス系ソフトのエクセル（スプレッドシート）を中心に、特に、数値処理や統計処理など基礎ゼミや専門ゼミ、2 年次以降の授業で活かせるよう課題解決型学習に準じて実務的な演習を行う。		
到達目標	コンピュータとスマートフォン（タブレット）を連携し、適切な情報収集および情報処理ができるようになる。具体的には、オフィス系ソフトを駆使して今後社会人として求められる文書を作成できるようになる。併せてメールやクラウドの概念を理解し、倫理観を持った情報のやり取りができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	星野 好晃	予習：教科書 P45 から P46 を読んでおくこと 授業：表計算演習：作表（データ入力と罫線処理）（課題 3-1-1） 復習：時間割、カレンダーなど格子状のデータを確認すること	
2	星野 好晃	予習：教科書 P47 から P48 を読んでおくこと 授業：表計算演習：作表（複雑な罫線処理）（課題 3-1-2） 復習：フロアマップや料金表など複雑な表形式のデータを確認すること	
3	星野 好晃	予習：教科書 P49 から P50、P53 から 54 を読んでおくこと 授業：表計算演習：計算とグラフの基本（前期成績表の作成） 復習：構造化された情報を紙に書き起こして見返すこと	
4	星野 好晃	予習：教科書 P51 から P52 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の人口分布（課題 3-3-1） 復習：総務省統計局のさまざまなデータを確認すること	
5	星野 好晃	予習：教科書 P56 から P57 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の主要都市の平均気温（課題 3-3-2） 復習：気象庁のさまざまなデータを確認すること	
6	星野 好晃	予習：教科書 P58 から P59 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の所得ランキング 復習：国連統計局のさまざまなデータを確認すること	
7	星野 好晃	予習：教科書 P60 から P62 を読んでおくこと 授業：表計算演習：ジェンダーギャップ指数 復習：世界経済フォーラムのさまざまなデータを確認すること	
8	星野 好晃	予習：教科書 P63 から P64 を読んでおくこと 授業：表計算演習：企業研究 復習：注目した企業の活動をニュースメディアを通して確認すること	
9	星野 好晃	予習：教科書 P65 から P66 を読んでおくこと 授業：表計算演習：レシート（課題 3-4-1） 復習：さまざまなレシートを確認すること	
10	星野 好晃	予習：教科書 P67 から P68 を読んでおくこと 授業：表計算演習：成績表（課題 3-3-3） 復習：基本統計量（その 1）を振り返ること	
11	星野 好晃	予習：教科書 P69 から P71 を読んでおくこと 授業：表計算演習：身体測定表（課題 3-3-4） 復習：基本統計量（その 2）を振り返ること	
12	星野 好晃	予習：教科書 P72 から P73 を読んでおくこと 授業：表計算演習：レシピ（課題 3-4-7） 復習：栄養管理について確認すること	
13	星野 好晃	予習：教科書 P75 から P77 を読んでおくこと 授業：表計算演習：歳入・歳出の概要（課題 3-4-2） 復習：それぞれの区分について理解すること	
14	星野 好晃	予習：次年度予算関連のニュース記事を確認すること 授業：表計算演習：歳入・歳出の概要（課題 3-4-2） 復習：財政状況と時事問題を理解すること	

15	星野 好晃	予習 : いままでの課題について振り返ること 授業 : 表計算演習 : 見積書 (課題 3-4-3) 復習 : それぞれの課題について振り返ること						
授業開始前学習	高校の教科「情報」の教科書を読んでおくこと全体像をつかみやすい。コンピュータ演習 I の内容をおさらいしておくこと							
授業内課題のフィードバックの方法	全体には、次の回に復習として解説を行う。個別には、課題返却時にクラスルームのコメントを通してアドバイスを行う。							
テキスト・教材	『講義と演習 情報のこころえ』ポラーノ出版							
参考書								
評価の基準と方法	毎時間出される課題 40%、課題の内容および出来映え 40%と授業に対する取り組み (授業態度) 20%で評価を決める。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習 I 情報と科学							
その他	GWE(Google Workspace for Education)を中心に、Microsoft オフィスもしくは、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドにて課題作成を行う。 課題の提出および資料の配布は、GWE を通して行う。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-130-22	授業コード	F03131
科目名称	コンピュータ演習Ⅲ	単位数	1.0 単位
英文名称	Computer Laboratory Ⅲ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	星野 好晃	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	星野 好晃	開講時期	1 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	情報機器の普及や情報共有環境の発達により、誰もが情報処理と発信を身近に扱うことができる時代となっている。コンピュータ演習 I/II では基礎的な情報の処理について学んだが、本演習ではコンピュータについてシステムの理解からより広い利活用の範囲までを取り扱う。システム理解については、ローカルシステム及びクラウドシステムでのファイルの管理・運用及びアプリケーション利用の同異点を取り扱い、現代のコンピュータシステムをより理解することを狙う。コンピュータ利活用については、より専門的な情報処理の一つとしてデジタルグラフィックツールを取り扱う。いくつかの制作課題を通じて、グラフィックツールの活用方法を体験的に学習し、画像素材や作品を自分で出力する技能を習得することを目的とする。		
到達目標	ローカルシステムとクラウドシステムでのファイルの管理・運用及びアプリケーション利用の同異点について実践的に学ぶ。またグラフィックツールと画像処理について、素材の撮影、写真修整、加工といった一連の編集工程を、作品制作を通じて習得することで、さまざまな目的やメディアに対応可能な画像作成・加工編集技能を身につける。		
アクティブ・ラーニング型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	星野 好晃	【第 1 回】 予習 : コンピュータ演習 I / II の内容を復習しておくこと 授業 : ローカルシステムとクラウドシステム 復習 : ローカル上のデータとクラウド上のデータの同異点を理解する	
2	星野 好晃	【第 2 回】 予習 : デジタルとアナログの違いについて調べておく 授業 : ペイント系ツール入門 1 - ペイント系ツールの環境構築と基本操作 復習 : 写真データの扱い方を確認しておく	
3	星野 好晃	【第 3 回】 予習 : 写真の色調補正・明るさ・コントラストについて調べておく 授業 : ペイント系ツール入門 2 - 修整機能・フィルターの使用 復習 : 画像加工機能について確認しておく	
4	星野 好晃	【第 4 回】 予習 : デジタルカメラの機構について調べておく 授業 : デジタルカメラとデジタル写真データの取り扱い 復習 : デジタルカメラとデータについて確認しておく	
5	星野 好晃	【第 5 回】 予習 : 写真の切り抜きについて調べておく 授業 : ペイント系ツール入門 3 - 切り取り・切り抜き 1 復習 : 画像の切り抜きの仕組みを理解しておく	
6	星野 好晃	【第 6 回】 予習 : 写真の切り抜きについて調べておく 授業 : ペイント系ツール入門 3 - 切り取り・切り抜き 2 復習 : 画像の切り抜きの仕組みを理解しておく	
7	星野 好晃	【第 7 回】 予習 : 制作の完成イメージを持ち、必要な素材の準備を始める 授業 : ペイント系ツール入門 4 - レイヤー・合成機能 復習 : レイヤー機能による画像編集の役割について理解する	
8	星野 好晃	【第 8 回】 予習 : デジタル写真の撮り方について調べておく 授業 : デジタルカメラによる写真撮影技能概説 復習 : デジタルカメラの機能を理解しておく	
9	星野 好晃	【第 9 回】 予習 : 授業で取り扱ってきた写真編集の機能について復習しておく 授業 : 実習・制作課題 1 - コラージュ写真制作 1 復習 : 必要な画像編集作業を進めておく	
10	星野 好晃	【第 10 回】 予習 : 制作の完成イメージを確認しておく 授業 : 実習・制作課題 1 - コラージュ写真制作 2 復習 : 制作課題を進め、完成の目処を立てる	

11	星野 好晃	【第 11 回】 予習 : 制作の完成イメージと必要な工程を確認しておく 授業 : 実習・制作課題 1 - コラージュ写真制作 3 復習 : 制作課題を進め、完成させる						
12	星野 好晃	【第 12 回】 予習 : 写真素材を用意しておく 授業 : 実習・制作課題 2 - フォトキューブ制作 1 復習 : 制作の意図を理解し、作品に反映する						
13	星野 好晃	【第 13 回】 予習 : 写真素材の編集・加工しておく 授業 : 実習・制作課題 2 - フォトキューブ制作 2 復習 : 制作を進めておくこと						
14	星野 好晃	【第 14 回】 予習 : 制作課題を完了させておく 授業 : 実習・制作課題 2 - フォトキューブ発表 復習 : 自分が制作したもの、ほかの学生が制作したものを相互に評価する						
15	星野 好晃	【第 15 回】 予習 : これまでの学習内容を復習しておく 授業 : まとめ 復習 : 学習内容をふりかえり、まとめておくこと						
授業開始前学習	コンピュータ演習 I および同 II の内容を復習しておくこと							
授業内課題のフィードバックの方法	次の回に復習として全体に解説を行う。返却時、個別にアドバイスを行う。							
テキスト・教材	適宜指示する							
参考書								
評価の基準と方法	毎時間出される課題 80%と授業態度 20%で評価を決める。課題に関しては、内容や出来映えも評価対象とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケ ーション力と社会性を身につ ける		社会的責務を果たすこと のできる専門力と判断力を身 につける		文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケ ーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習 I、コンピュータ演習 II							
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目分類	100-130-22	授業コード	F03141
科目名称	コンピュータ演習Ⅳ	単位数	1.0 単位
英文名称	Computer Laboratory IV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	星野 好晃	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	星野 好晃	開講時期	1 年
オフィスアワー	—	研究室	—
授業概要	コンピュータ演習Ⅳではより広くコンピュータの仕組みについて取り扱う。コンピュータシステムの基盤のひとつとしてプログラムの基礎的な仕組みを知り、コンピュータ処理について体験的に学ぶ。また、情報発信の環境は従来の紙メディアによる発信だけでなくスマートフォンと SNS により飛躍的に広がっている。コンピュータ演習Ⅲで扱ったさまざまなメディアへ対応する技能の一つとして、制作課題を通じてドロー系グラフィックツールの基本を取り扱う。ドロー系ツールの活用方法を体験的に学習する中で出力するメディアの特性を理解し、さまざまなメディアに対応して自分で制作・出力する技能を習得する。		
到達目標	プログラム処理の基礎及びグラフィックツールの基本を学ぶ。プログラム処理の基礎では、プログラミングの基礎的な仕組みと要素を知り、コンピュータ処理の流れを理解する。グラフィックツールの基本では、素材の撮影、オブジェクト作成、レイアウトといった一連の編集工程について作品制作を通じて習得することで、デジタル・アナログに依らない幅広い情報発信の技能を身につける。		
アクティブラーニング型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の授業形態
授業回数	担当者	授業の内容	
1	星野 好晃	【第 1 回】 予習 : プログラミングについて基本を確認しておくこと 授業 : プログラミング基礎 1 復習 : プログラミングの基礎と要素を確認・理解しておく	
2	星野 好晃	【第 2 回】 予習 : プログラミングについて基本と要素を理解しておくこと 授業 : プログラミング基礎 2 復習 : プログラミングの仕組みを確認し、プログラムの動作を設計する	
3	星野 好晃	【第 3 回】 予習 : プログラミングについて基本と要素を理解しておくこと 授業 : プログラミング課題 復習 : 簡単なプログラムを完成させ、プログラミングの基礎を理解すること	
4	星野 好晃	【第 4 回】 予習 : ペンツールの機能について調べておく 授業 : ドロー系ツール入門 1 - ペンツール 復習 : ベジエ曲線の特徴と扱い方について復習しておくこと	
5	星野 好晃	【第 5 回】 予習 : トレースの手順について調べておく 授業 : ドロー系ツール入門 2 - イラストレーションのトレース 復習 : 下絵からペンツールでトレースしてイラストレーションを描けるよう練習しておくこと	
6	星野 好晃	【第 6 回】 予習 : オープンパスとクローズパスについて調べておく 授業 : ドロー系ツール入門 3 - パスの連結と塗りつぶし 復習 : ペンツールで自由にオブジェクトを描けるよう練習しておくこと	
7	星野 好晃	【第 7 回】 予習 : イラストレーションの構造について調べておく 授業 : ドロー系ツール入門 4 - オブジェクトの組み合わせ 復習 : オブジェクトの組み合わせでのイラストレーション構築について理解すること	
8	星野 好晃	【第 8 回】 予習 : デジタル写真の撮り方について調べておく 授業 : デジタルカメラによる写真撮影技能概説 復習 : デジタルカメラの機能を理解しておく	
9	星野 好晃	【第 9 回】 予習 : グリッドシステムについて調べておく 授業 : ドロー系ツール入門 5 - ガイドとグリッドシステムによるレイアウト 復習 : さまざまなメディアのレイアウト技法について調べておくこと	
10	星野 好晃	【第 10 回】 予習 : テキスト機能について復習しておくこと 授業 : ドロー系ツール入門 6 - テキスト機能とトリミング機能 復習 : 仕上げをおこない、制作を完成させておくこと	
11	星野 好晃	【第 11 回】 予習 : DTP や印刷メディアについて確認しておくこと 授業 : 実習・制作課題 - プロトタイピング	

		復習：プロトタイプを制作し、完成イメージを作っておく						
12	星野 好晃	【第12回】 予習：写真素材を用意しておく 授業：実習・制作課題 - ブックレット制作 復習：プロトタイプを基にレイアウトの下地を制作する						
13	星野 好晃	【第13回】 予習：完成イメージを具体的に決めておくこと 授業：実習・制作課題 - ブックレット制作 復習：必要な作業を進め完成の目処を立てておくこと						
14	星野 好晃	【第14回】 予習：仕上げをおこない、制作を完成させておくこと 授業：最終確認とデータ出力及び提出 復習：印刷用データに必要な要件を確認しておくこと						
15	星野 好晃	【第15回】 予習：これまでの授業をふりかえっておくこと 授業：ふりかえり 復習：これまでの学習内容まとめ、理解すること						
授業開始前学習	履修者はコンピュータ演習Ⅰ、Ⅱ及びコンピュータ演習Ⅲの内容を復習しておくこと							
授業内課題のフィードバックの方法	次の回に復習として全体に解説を行う。返却時、個別にアドバイスを行う。							
テキスト・教材	適宜指示する							
参考書								
評価の基準と方法	毎時間出される課題 80%と授業態度 20%で評価を決める。課題に関しては、内容や出来映えも評価対象とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習Ⅰ、コンピュータ演習Ⅱ、コンピュータ演習Ⅲ							
その他	本演習は実習的に授業を進めます。コンピュータ演習Ⅲを修得していなくても履修できます。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F03610
科目名称	日本語 A I	単位数	1.0 単位
英文名称	Japanese A I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中尾 真樹	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中尾 真樹	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	<p>大学で授業を受けるための総合的な日本語能力を身につけることを目標とする。「読む・書く・聞く・話す」という 4 技能の習得を目指す。特に講義を聞くための聴解力と、ゼミや研究発表のための口頭表現能力を養うことに重点を置く。同時に日本語能力試験 N1 レベルの語彙・文型を身につけ、表現力の向上を図る。</p> <p>聞きやすくわかりやすい発音で話せるようになること、人前で話すことに慣れること、そして論理的な表現ができるようになることを目指す。この授業では発表とディスカッションを行う。</p>		
到達目標	<p>1) 語彙を増やし、話の内容に即した表現ができるようになる。</p> <p>2) 日本語能力検定試験 N1 レベルの語彙・文型が身につく。</p> <p>3) 時事問題について、幅広く意見を言えるようになる。</p>		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	中尾 真樹	<p>【第 1 回】</p> <p>予習 : 印象に残る自己紹介を考えておく。</p> <p>授業 : 自己紹介 (1) : スピーチをするときの段取りを身につける。(発表)</p> <p>「時間・時期に関する文型」の学習。</p> <p>復習 : 授業で学習した文型を使って文を作る。</p>	
2	中尾 真樹	<p>【第 2 回】</p> <p>予習 : 前回配布したプリントの内容を見直す。</p> <p>授業 : 自己紹介 (2) : 聞き手が聞きとりやすい発声やスピードを身につける。(発表)</p> <p>「立場・状況・場合に関する文型」の学習。</p> <p>復習 : 立場・状況・場合に関する文型を使って文を作る。</p>	
3	中尾 真樹	<p>【第 3 回】</p> <p>予習 : 前回配布したプリントの内容を見直す。</p> <p>授業 : 時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション)</p> <p>「限定に関する文型」の学習。</p> <p>復習 : 授業で取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。限定の文型を使って文を作る。</p>	
4	中尾 真樹	<p>【第 4 回】</p> <p>予習 : 前回配布したプリントの内容を見直す。</p> <p>授業 : 前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表)</p> <p>「例示・比喩に関する文型」の学習。</p> <p>復習 : 例示・比喩に関する文型を使って文を作る。</p>	
5	中尾 真樹	<p>【第 5 回】</p> <p>予習 : ニュースや新聞を見て、時事問題を調べる。</p> <p>授業 : 時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション)</p> <p>「対比に関する文型」の学習。</p> <p>復習 : 前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。対比に関する文型を使って文を作る。</p>	
6	中尾 真樹	<p>【第 6 回】</p> <p>予習 : これまでに学習した文型について復習する。</p> <p>授業 : 文型に関する小テスト。</p> <p>前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表)</p> <p>復習 : 小テストで出題された文型を使って文を作る。</p>	
7	中尾 真樹	<p>【第 7 回】</p> <p>予習 : 自分の出身地について、情報をまとめる。</p> <p>授業 : 学生の出身地紹介 (1) : 聞き手が興味をもつようなテーマ選びを考える。(発表)</p> <p>「同時・2 つの事柄を述べる文型」の学習。</p> <p>復習 : 同時・2 つの事柄を述べる文型を使って文を作る。</p>	
8	中尾 真樹	<p>【第 8 回】</p> <p>予習 : 前回学んだ発表の仕方について復習する。</p> <p>授業 : 学生の出身地紹介 (2) : 発表に際しては問題点を絞って深く考察することを学ぶ。(発表)</p> <p>「不変・無関係に関する文型」の学習。</p> <p>復習 : 不変・無関係に関する文型を使って文を作る</p>	

9	中尾 真樹	【第 9 回】 予習 : ニュースや新聞を見て、時事問題を調べる。 授業 : 時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション) 「強調・繰り返しに関する文型」の学習。 復習 : 強調・繰り返しに関する文型を使って文を作る。							
10	中尾 真樹	【第 10 回】 予習 : 前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。 授業 : 前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表) 「逆接・意外な気持ちに関する文型」の学習。 復習 : 逆接・意外な気持ちに関する文型を使って文を作る。							
11	中尾 真樹	【第 11 回】 予習 : ニュースや新聞を見て、時事問題を調べる。 授業 : 時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション) 「結果に関する文型」の学習。 復習 : 結果に関する文型を使って文を作る。							
12	中尾 真樹	【第 12 回】 予習 : 前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。 授業 : 前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表) 「条件に関する文型」の学習。 復習 : 条件に関する文型を使って文を作る。							
13	中尾 真樹	【第 13 回】 予習 : ニュースや新聞を見て時事問題を調べる。 授業 : 時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション) 「基準に関する文型」の学習 復習 : 基準に関する文型を使って文を作る。							
14	中尾 真樹	【第 14 回】 予習 : 前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。これまでに学習した文型を見直す。 授業 : 文型に関する小テスト。 前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表) 復習 : 小テストで取り上げた文型を使って、文を作る。							
15	中尾 真樹	【第 15 回】 予習 : ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。 授業 : 時事問題について、問題点を明確にしながらディスカッションする。(発表・ディスカッション) 復習 : これまでに学んだ発表の仕方を復習する。							
授業開始前学習		N2,N3 の語彙・文法などを復習しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法		受講者の発表について、直すべきところなどを指摘する。随時小テストを実施して、次の授業でフィードバックする。							
テキスト・教材		テキストは使用しない。授業時にプリントを配布する。							
参考書		随時指示する。							
評価の基準と方法		課題への取り組みと到達度を総合的に評価する。発表 60%、ディスカッション 20%、小テスト 20%。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		◎	○			△	
関連科目									
その他		クラスの数、レベルによって授業内容が多少変わることもある。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F03620
科目名称	日本語 B I	単位数	1.0 単位
英文名称	Japanese B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	橋本 衆宝	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	橋本 衆宝	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00~12:00 後期 水曜日 09:00~12:00	研究室	10-616
授業概要	<p>日本語を読む力と書く力をつける。</p> <p>授業は日本語を読む活動が中心で、課題として作文を課す。</p> <p>読む活動では、日本語の語彙や表現について学ぶ。そして、内容に関して、情報や意見を交換する。漢字を読む力を強化するために、読み物の中に出てきた言葉を使って、漢字クイズを行う。</p> <p>基本的に日本語 B I → 日本語 B II → 日本語 B III → 日本語 B IV と、レベルが上がる。</p> <p>必要性、関心、実力に応じた課題が設定されることがある。</p> <p>日本語 B I では、主に短く平易なニュース記事を読む。</p> <p>書く活動としては、人物紹介文、報告文などに取り組む。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの日本語や短いニュース記事が楽に読める ・短い分量で簡単な内容なら、適切な表現で文法を間違わずに書ける ・日本語を読んだり書いたりすることが楽しくなる 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	橋本 衆宝	【第 1 回】 予習：意味が分からない日本語を集めておく 授業：集めてきた日本語を紹介する（発表） 復習：分かるようになった日本語を確認する	
2	橋本 衆宝	【第 2 回】 予習：自己紹介文を書く 授業：短いニュース記事（人物紹介）を読む（ディスカッション） 復習：人物を描写するための語彙を増やす	
3	橋本 衆宝	【第 3 回】 予習：自己紹介文を仕上げる 授業：短いニュース記事（人物紹介）を読む（ディスカッション）／短文理解（設問形式。N3~N2 レベル） 復習：既習の文法を確認する	
4	橋本 衆宝	【第 4 回】 予習：自己紹介文を読む練習をしておく 授業：自己紹介文（作文）を読む（発表／ディスカッション） 復習：クラスメートの自己紹介文を再読し、語彙・文法を確認する	
5	橋本 衆宝	【第 5 回】 予習：人物紹介文を書く 授業：短いニュース記事（人物紹介）を読む（ディスカッション） 復習：人物を描写するための語彙を増やす	
6	橋本 衆宝	【第 6 回】 予習：人物紹介文を仕上げる 授業：短いニュース記事（人物紹介）を読む（ディスカッション）／短文理解（設問形式。N3~N2 レベル） 復習：既習の文法を確認する	
7	橋本 衆宝	【第 7 回】 予習：人物紹介文を読む練習をしておく 授業：人物紹介文（作文）を読む（発表／ディスカッション） 復習：クラスメートの人物紹介文を再読し、語彙・文法を確認する	
8	橋本 衆宝	【第 8 回】 予習：身近な出来事を伝える作文を書く 授業：短いニュース記事（出来事）を読む（ディスカッション） 復習：出来事を伝えるための語彙を増やす	
9	橋本 衆宝	【第 9 回】 予習：身近な出来事を伝える作文を仕上げる 授業：短いニュース記事（出来事）を読む（ディスカッション）／短文理解（設問形式。N3~N2 レベル）	

		復習：既習の文法を確認する						
10	橋本 衆宝	【第10回】 予習：身近な出来事を伝える作文を読む練習をしておく 授業：身近な出来事を伝える作文を読む（発表／ディスカッション） 復習：身近な出来事を伝えるクラスメートの作文を再読し、語彙・文法を確認する						
11	橋本 衆宝	【第11回】 予習：社会での出来事を伝える作文を書く 授業：短いニュース記事（出来事）を読む（ディスカッション） 復習：出来事を伝えるための語彙を増やす						
12	橋本 衆宝	【第12回】 予習：社会での出来事を伝える作文を仕上げる 授業：短いニュース記事（出来事）を読む（ディスカッション）／短文理解（設問形式。N3～N2レベル） 復習：既習の文法を確認する						
13	橋本 衆宝	【第13回】 予習：社会での出来事を伝える作文を読む練習をしておく 授業：社会での出来事を伝える作文を読む（発表／ディスカッション） 復習：社会での出来事を伝えるクラスメートの作文を再読し、語彙・文法を確認する						
14	橋本 衆宝	【第14回】 予習：様々なニュース記事を読んでおく 授業：ニュースを紹介する（発表／ディスカッションー前半） 復習：新出語彙を理解する						
15	橋本 衆宝	【第15回】 予習：様々なニュース記事を読んでおく 授業：ニュースを紹介する（発表／ディスカッションー後半） 復習：新出語彙を理解する						
授業開始前学習	これまでに学習した日本語の文字・語彙・文法について復習しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題（作文）は、提出の翌週に、添削して返却する。							
テキスト・教材	教科書は使用しない。適宜、プリントを配布する。							
参考書	授業時に、適宜紹介する。							
評価の基準と方法	エッセイ・作文 30%、漢字クイズ 30%、授業時の日本語力評価（発表・ディスカッション・ニュース記事音読・設問解答等）20%、平常点 20%（授業への取り組み、課題（作文等）提出）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	「日本語A I」「日本事情 I」。日本語科目は、それぞれが「聞く・話す」「読む・書く」を中心に授業を進めながら、4技能の力を高めていく。日本事情を知ることが、新聞記事等の内容理解に役立つ。							
その他	授業の進め方やプリント教材の内容は、学生の人数や日本語の力によって変更になる場合がある。学生からの提案も歓迎する。「遅刻 3 回で、欠席 1 回分」「30 分以上の遅刻は、欠席扱い」とする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-21	授業コード	F03630
科目名称	日本語 A II	単位数	1.0 単位
英文名称	Japanese A II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中尾 真樹	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中尾 真樹	開講時期	1 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	<p>大学で授業を受けるための総合的な日本語能力を身につけることを目標とする。「読む・書く・聞く・話す」という 4 技能の習得を目指す。特に講義を聞くための聴解力と、ゼミや研究発表のための口頭表現能力を養うことに重点を置く。同時に日本語能力試験 N1 レベルの語彙・文型を身につけ、表現力の向上を図る。</p> <p>聞きやすわかりやすい発音で話せるようになること、人前で話すことに慣れること、そして論理的な表現ができるようになることを目指す。この授業では発表、ディスカッションを行う。</p>		
到達目標	<p>1) 語彙を増やし、話の内容に即した表現ができるようになる。</p> <p>2) 日本語能力検定試験 N1 レベルの語彙・文型が身につく。</p> <p>3) 時事問題について、幅広く意見を言えるようになる。</p>		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	中尾 真樹	<p>【第 1 回】</p> <p>予習：ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。</p> <p>授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション)</p> <p>「方法に関する文型」の学習。</p> <p>復習：方法に関する文型を使って文を作る。</p>	
2	中尾 真樹	<p>【第 2 回】</p> <p>予習：前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。</p> <p>授業：前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表)</p> <p>スピーチの導入について、言葉遣いや決まり文句を確認する。</p> <p>「様子に関する文型」を学習する。</p> <p>復習：様子に関する文型を使って文を作る。</p>	
3	中尾 真樹	<p>【第 3 回】</p> <p>予習：ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。</p> <p>授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション)</p> <p>スピーチをする際に、声の大きさや姿勢などが重要であることを確認する。</p> <p>「傾向に関する文型 (1)」を学習する。</p> <p>復習：傾向に関する文型を使って文を作る。</p>	
4	中尾 真樹	<p>【第 4 回】</p> <p>予習：前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。</p> <p>授業：前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表)</p> <p>予期せぬ質問などへの対応方法を考える。</p> <p>「傾向に関する文型 (2)」を学習する。</p> <p>復習：傾向に関する文型を使って文を作る。</p>	
5	中尾 真樹	<p>【第 5 回】</p> <p>予習：ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。</p> <p>授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション)</p> <p>パワーポイントなどの資料は、情報の読み取りやすさが重要であることを確認する。</p> <p>「話題・対象に関する文型」を学習する。</p> <p>復習：話題・対象に関する文型を使って文を作る。</p>	
6	中尾 真樹	<p>【第 6 回】</p> <p>予習：これまでに学習した文型を見直す。前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。</p> <p>授業：小テスト：これまでに学習した文型について</p> <p>前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表)</p> <p>スピーチはテーマを絞り、問題点を明確にする必要があることを確認する。</p> <p>復習：小テストで扱った文型を使って文を作る。</p>	
7	中尾 真樹	<p>【第 7 回】</p> <p>予習：ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。</p> <p>授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション)</p> <p>スピーチの内容を考える際には、聞き手が何を求めているかを考える必要があることを確認する。</p> <p>「意思・意向に関する文型」を学習する。</p> <p>復習：意思・意向に関する文型を使って文を作る。新聞記事の中から副詞を用いた接続表現を探し、ほかの言葉に置き換える。</p>	
8	中尾 真樹	<p>【第 8 回】</p> <p>予習：前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。</p> <p>授業：前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表)</p> <p>日頃から時事問題に接しておくことの必要性を考える。</p>	

		「理由・根拠に関する文型」を学習する。 復習：理由・根拠に関する文型を使って文を作る。							
9	中尾 真樹	【第9回】 予習：ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。 授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション) SNS以外の情報に目配りすることの重要性を考える。 「目的に関する文型」を学習する。 復習：目的に関する文型を使って文を作る。							
10	中尾 真樹	【第10回】 予習：前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。 授業：前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表) 時事問題の情報源には信頼性に差があることを確認する。 「可能・不可能に関する文型」を学習する。 復習：可能・不可能に関する文型を使って文を作る。							
11	中尾 真樹	【第11回】 予習：ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。 授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション) 情報源の信頼性をどのように見分けるかを考える。 「評価に関する文型」を学習する。 復習：評価に関する文型を使って文を作る。							
12	中尾 真樹	【第12回】 予習：前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。 授業：前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表) 特定の時事問題について、いくつかの視点を設定して論じる練習をする。 「感想に関する文型」を学習する。 復習：感想に関する文型を使って文を作る。							
13	中尾 真樹	【第13回】 予習：ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。 授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション) 意見を述べる際には、まず問題点を明確にする必要があることを確認する。 「見方・考え方に関する文型」を学習する。 復習：見方・考え方に関する文型を使って文を作る。							
14	中尾 真樹	【第14回】 予習：これまでに学んだ文型を見直す。 授業：小テスト：これまでに学習した文型について 前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表) 特定の時事問題について、各自が設定した視点を比較する。 「禁止に関する文型」を学習する。 復習：禁止に関する文型を使って文を作る。							
15	中尾 真樹	【第15回】 予習：ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。 授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション) 復習：授業で行ったディスカッションで、他者が設定した視点からあらためて問題を見直す。							
授業開始前学習		N2,N3の学習内容を確認しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法		受講者の発表について、直すべきところなどを指摘する。随時小テストを実施して、次の授業でフィードバックする。							
テキスト・教材		テキストは使用しない。授業時にプリントを配布する。							
参考書		随時指示する。							
評価の基準と方法		課題への取り組みと到達度を総合的に評価する。発表 60%、ディスカッション 20%、小テスト 20%。							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		◎	○			△	
関連科目									
その他		クラスの人数、レベルによって授業内容が多少変わることもある。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-21	授業コード	F03640
科目名称	日本語 B II	単位数	1.0 単位
英文名称	Japanese B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	橋本 衆宝	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	橋本 衆宝	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00～12:00 後期 水曜日 09:00～12:00	研究室	10-616
授業概要	<p>日本語を読む力と書く力をつける。 授業は日本語を読む活動が中心で、課題として作文を課す。 読む活動では、日本語の語彙や表現について学ぶ。そして、内容に関して、情報や意見を交換する。漢字を読む力を強化するために、読み物の中に出てきた言葉を使って、漢字クイズを行う。 基本的に日本語 B I → 日本語 B II → 日本語 B III → 日本語 B IV と、レベルが上がる。 必要性、関心、実力に応じた課題が設定されることがある。</p> <p>日本語 B II では、レベル相当の読解問題を解くことにより、読解力の定着を図る。 また、様々なテキストに触れることで、読む楽しみを広げる。 書くことに関しては、意見文、解説文に取り組む。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・初級、中級の語彙・文法を用いた読解問題が解けるようになる。 ・テキストの種類に応じて読む進めることができるようになる。 ・論理的で説得力のある文章が書けることを目標とする。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	橋本 衆宝	【第 1 回】 予習：N3～N2 レベルの語彙・文法を見直しておく 授業：長文理解（設問形式。N3～N2 レベル） 復習：間違った箇所について、納得がいくまで理解を進める	
2	橋本 衆宝	【第 2 回】 予習：作文「日本語について気づいたこと」を書く 授業：長めのニュース記事（言語関連）を読む（ディスカッション） 復習：言語関連の語彙を増やす	
3	橋本 衆宝	【第 3 回】 予習：作文「日本語について気づいたこと」を仕上げる 授業：長めのニュース記事（言語関連）を読む（ディスカッション） / 長文理解（設問形式。N3～N2 レベル） 復習：既習の文法を確認する	
4	橋本 衆宝	【第 4 回】 予習：作文「日本語について気づいたこと」を読む練習をしておく 授業：作文「日本語について気づいたこと」を読む（発表 / ディスカッション） 復習：クラスメートの作文「日本語について気づいたこと」を再読み、語彙・文法を確認する	
5	橋本 衆宝	【第 5 回】 予習：作文「教育について」を書く 授業：長めのニュース記事（教育関連）を読む（ディスカッション） 復習：教育関連の語彙を増やす	
6	橋本 衆宝	【第 6 回】 予習：作文「教育について」を仕上げる 授業：長めのニュース記事（教育関連）を読む（ディスカッション） / 長文理解（設問形式。N3～N2 レベル） 復習：既習の文法を確認する	
7	橋本 衆宝	【第 7 回】 予習：作文「教育について」を読む練習をしておく 授業：作文「教育について」を読む（発表 / ディスカッション） 復習：クラスメートの作文「教育について」を再読み、語彙・文法を確認する	
8	橋本 衆宝	【第 8 回】 予習：作文「ニュース&コメント」を書く 授業：長めのニュース記事（時事問題）を読む（ディスカッション） 復習：時事問題の語彙を増やす	
9	橋本 衆宝	【第 9 回】 予習：作文「ニュース&コメント」を仕上げる 授業：長めのニュース記事（時事問題）を読む（ディスカッション） / 長文理解（設問形式。N3～N2 レベル）	

		復習：既習の文法を確認する							
10	橋本 衆宝	【第10回】 予習：作文「ニュース&コメント」を読む練習をしておく 授業：作文「ニュース&コメント」を読む（発表／ディスカッション） 復習：クラスメートの作文「ニュース&コメント」を再読み、語彙・文法を確認する							
11	橋本 衆宝	【第11回】 予習：作文「私の意見」を書く 授業：長めのニュース記事（論説）を読む（ディスカッション） 復習：意見を述べるための語彙を増やす							
12	橋本 衆宝	【第12回】 予習：作文「私の意見」を仕上げる 授業：長めのニュース記事（論説）を読む（ディスカッション）／長文理解（設問形式。N3～N2レベル） 復習：既習の文法を確認する							
13	橋本 衆宝	【第13回】 予習：作文「私の意見」を読む練習をしておく 授業：作文「私の意見」を読む（発表／ディスカッション） 復習：クラスメートの作文「私の意見」を再読み、語彙・文法を確認する							
14	橋本 衆宝	【第14回】 予習：様々な主張や意見を知っておく 授業：主張や意見を紹介する（発表／ディスカッションー前半） 復習：新出語彙を理解する							
15	橋本 衆宝	【第15回】 予習：様々な主張や意見を知っておく 授業：主張や意見を紹介する（発表／ディスカッションー後半） 復習：新出語彙を理解する							
授業開始前学習		日本語 B I で学習した内容を復習しておく。							
授業内課題のフィードバックの方法		課題（作文）は、提出の翌週に、添削して返却する。							
テキスト・教材		教科書は使用しない。適宜、プリントを配布する。							
参考書		授業時に、適宜紹介する。							
評価の基準と方法		エッセイ・作文 30%、漢字クイズ 30%、授業時の日本語力評価（発表・ディスカッション・ニュース記事音読・設問解答等）20%、平常点 20%（授業への取り組み、課題（作文等）提出）							
ディプロマポリシー		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当		○		◎	○			△	
関連科目		「日本語 A II」「日本事情 II」。日本語科目は、それぞれが「聞く・話す」「読む・書く」を中心に授業を進めながら、4 技能の力を高めていく。日本事情を知ることは、新聞記事等の内容理解に役立つ。							
その他		授業の進め方やプリント教材の内容は、学生の人数や日本語の力によって変更になる場合がある。学生からの提案も歓迎する。「遅刻 3 回で、欠席 1 回分」「30 分以上の遅刻は、欠席扱い」とする。							
予習・復習の所要時間		講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容									

科目分類	100-110-22	授業コード	F03650
科目名称	日本語 AⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	Japanese AⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中尾 真樹	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中尾 真樹	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	総合的な日本語力の向上を目指す、特に日本人学生の中でも臆せず自己表現できるよう、聴解力と口頭表現能力を伸ばすことに重点を置く。口頭要約表現や意見表明および論理的に相手を説得する方法を身につける。この授業では発表とディスカッションを行う。		
到達目標	1) 語彙を増やし、話の内容に即した表現ができるようになる。 2) 時事ニュースに親しむことで、広い視野が身につく。 3) 日中間のさまざまな問題について、日本語で討論できるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	中尾 真樹	【第 1 回】 予習：日本のニュースを見て疑問に思ったことを挙げておく。 授業：今年に入ってから気になったニュースについてコメントする。(発表・ディスカッション) 復習：授業で挙げられたニュースの中で、とくに気になったものをノートにまとめる。	
2	中尾 真樹	【第 2 回】 予習：日本の成人年齢について調べる。 授業：日本の成人年齢について。母国の成人年齢と比較し、問題点を話し合う。(ディスカッション) 復習：ディスカッションで挙げた問題点をノートにまとめる。	
3	中尾 真樹	【第 3 回】 予習：母国のネットで紹介されている日本の観光地を調べる。 授業：日本の有名観光地について。日本の観光地の人気ランキングをまとめ、理由を考察する。(発表・ディスカッション) 復習：神社仏閣、温泉など有名観光地の人気ランキングをノートにまとめる。	
4	中尾 真樹	【第 4 回】 予習：母国のブログなどで紹介されている日本の穴場的観光地を調べる。 授業：日本の穴場的観光地について。母国からの観光客が訪れる観光地が、近年どう変わってきたかを話し合う。(発表・ディスカッション) 復習：母国からの観光客が訪れる観光地が、近年どう変わってきたかをノートにまとめる。	
5	中尾 真樹	【第 5 回】 予習：自分の発表内容について、あらためて見直す。 授業：各自、日本に関するテーマを決めて発表を行う。(発表・ディスカッション) 復習：ディスカッションの内容をノートにまとめる。	
6	中尾 真樹	【第 6 回】 予習：母国のネットで紹介されている日本人の生活習慣を調べる。 授業：日本人の生活習慣について(入浴・挨拶など) 日本の生活習慣が母国でどのように評価されているかを話し合う。(発表・ディスカッション) 復習：日本の生活習慣が母国でどのように評価されているかをノートにまとめる。	
7	中尾 真樹	【第 7 回】 予習：母国のネットで紹介されている日本人の公共意識を調べる。 授業：日本人の公共意識(マナーなど)について 日本と母国の公(おおやけ)意識の違いを話し合う。(発表・ディスカッション) 復習：日本と母国の公(おおやけ)意識の違いをノートにまとめる。	
8	中尾 真樹	【第 8 回】 予習：母国人がもつ日本の会社のイメージを調べる。 授業：日本人の労働に対する意識について 日本と中国の「仕事」に対する考え方の違いを話し合う。(発表・ディスカッション) 復習：日本と中国の「仕事」に対する考え方の違いをノートにまとめる。	
9	中尾 真樹	【第 9 回】 予習：日本と中国でそれぞれ人気のあるスポーツを調べる。 授業：日本人とスポーツについて 社会におけるスポーツの意味・重要性が、母国と日本で違うのかどうか話し合う。(発表・ディスカッション) 復習：社会におけるスポーツの意味・重要性が、母国と日本でどう違うかノートにまとめる。	
10	中尾 真樹	【第 10 回】 予習：日本の家族の形態について調べる。 授業：恋愛・結婚意識について 日本と母国における結婚の条件について、共通点と相違点を話し合う。(発表・	

		ディスカッション) 復習：日本と母国における結婚の条件について、共通点と相違点をノートにまとめる。						
11	中尾 真樹	【第 11 回】 予習：日本の少子化問題について調べる。 授業：少子化について 日本 <small>の</small> 少子化の原因と解決策について話し合う。(発表・ディスカッション) 復習：日本の少子化の原因と解決策についてノートにまとめる。						
12	中尾 真樹	【第 12 回】 予習：高齢化社会について調べる。 授業：高齢化社会について 日本と母国における高齢化問題の共通点と相違点を話し合う。(発表・ディスカッション) 復習：日本と母国における高齢化問題の共通点と相違点をノートにまとめる。						
13	中尾 真樹	【第 13 回】 予習：日本の格差問題について調べる。 授業：格差問題 日本と母国における格差問題の共通点と相違点を話し合う。(発表・ディスカッション) 復習：日本と母国における格差問題の共通点と相違点をノートにまとめる。						
14	中尾 真樹	【第 14 回】 予習：日本の学歴意識について調べる。 授業：学歴社会について 日本と母国における学歴意識の共通点と相違点を話し合う。(発表・ディスカッション) 復習：日本と母国における学歴意識の共通点と相違点をノートにまとめる。						
15	中尾 真樹	【第 15 回】 予習：自分の発表内容について、あらためて見直す。 授業：各自、日本に関するテーマを決めて発表を行う。(発表・ディスカッション) 復習：ディスカッションの内容をノートにまとめる。						
授業開始前学習	N1,N2 の知識を復習しておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎回のディスカッションについて授業中にフィードバックする。また、期間中、学生によるプレゼンテーションを 2 回実施し、内容、発表方法などについてコメントする。随時小テストを実施し、次回授業にてフィードバックする。							
テキスト・教材	必要に応じてプリントを配布する。							
参考書	随時指示する。							
評価の基準と方法	総合的に評価する。発表 60%、ディスカッション 20%、小テスト 20%。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	クラスの人数、レベルによって授業内容が変わることもある。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F03660
科目名称	日本語 BⅢ	単位数	1.0 単位
英文名称	Japanese BⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	吉田 佑亮	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	吉田 佑亮	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	<p>日本語を読む力と書く力をつける。 授業は日本語を読む活動が中心で、課題として作文を課す。 読む活動では、日本語の語彙や表現について学ぶ。そして、内容に関して、情報や意見を交換する。漢字を読む力を強化するために、読み物の中に出てきた言葉を使って、漢字クイズを行う。 基本的に日本語 BⅠ→日本語 BⅡ→日本語 BⅢ→日本語 BⅣと、レベルが上がる。 必要性、関心、実力に応じた課題が設定されることがある。</p> <p>日本語 BⅢでは、学生の専門分野に関連したニュース記事等を読む。 書くことでは、自分の専門分野の面白さを生き生きと伝えるための表現力を磨く。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・長文を読み切る読解力を身につけることを目的とする。 ・自分の専門分野の基礎レベルの文章が読めるようになる。 ・専門に関係する語彙力を強化するとともに、面白さを伝えるための表現力を向上させる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	吉田 佑亮	【第 1 回】 予習：自己紹介（学部・学科、卒業論文テーマ、卒業後のことなど）の準備、春休みに取り組んだことについて話せるようにしておく 授業：授業説明、自己紹介、春休みに取り組んだことについて発表、ディスカッション 復習：新出語彙・表現について確認する	
2	吉田 佑亮	【第 2 回】 予習：作文「専門に関する話」を書く 授業：長めのニュース記事（各専門関連）を読む、ディスカッション 復習：授業に出てきた漢字・語彙を復習する	
3	吉田 佑亮	【第 3 回】 予習：作文「専門に関する話」を仕上げる 授業：漢字クイズ、長めのニュース記事（各専門関連）を読む、ディスカッション、内容確認（設問形式） 復習：授業に出てきた文法を確認する	
4	吉田 佑亮	【第 4 回】 予習：作文「専門に関する話」の発表練習をしておく 授業：作文「専門に関する話」を発表、ディスカッション 復習：クラスメートの作文「専門に関する話」を再読し、語彙・文法を確認する	
5	吉田 佑亮	【第 5 回】 予習：作文「私の国」を書く 授業：「日本ってどんな国？」を読む、ディスカッション 復習：授業に出てきた漢字・語彙を復習する	
6	吉田 佑亮	【第 6 回】 予習：作文「私の国」を仕上げる 授業：漢字クイズ、「日本ってどんな国？」を読む、ディスカッション、内容確認（設問形式） 復習：授業に出てきた文法を確認する	
7	吉田 佑亮	【第 7 回】 予習：作文「私の国」の発表練習をしておく 授業：作文「私の国」を発表、ディスカッション 復習：クラスメートの作文「私の国」を再読し、語彙・表現を確認する	
8	吉田 佑亮	【第 8 回】 予習：作文「私の故郷/好きな街」を書く 授業：「都市の暮らし・地方の暮らし」を読む、ディスカッション 復習：授業に出てきた漢字・語彙を復習する	

9	吉田 佑亮	【第 9 回】 予習：作文「私の故郷/好きな街」を仕上げる 授業：漢字クイズ、「都市の暮らし・地方の暮らし」を読む、ディスカッション、内容確認（設問形式） 復習：授業に出てきた文法を確認する						
10	吉田 佑亮	【第 10 回】 予習：作文「私の故郷/好きな街」の発表練習をしておく 授業：作文「私の故郷/好きな街」を発表、ディスカッション 復習：クラスメートの作文「私の故郷/好きな街」を再読し、語彙・表現を確認する						
11	吉田 佑亮	【第 11 回】 予習：作文「歴史的イベント/忘れられないあの時」を書く 授業：「知っておきたい日本の歴史」を読む、ディスカッション 復習：授業に出てきた漢字語彙を復習する						
12	吉田 佑亮	【第 12 回】 予習：作文「歴史的イベント/忘れられないあの時」を仕上げる 授業：漢字クイズ、「知っておきたい日本の歴史」を読む、ディスカッション、内容確認（設問形式） 復習：授業に出てきた文法を確認する						
13	吉田 佑亮	【第 13 回】 予習：作文「歴史的イベント/忘れられないあの時」の発表練習をしておく 授業：作文「歴史的イベント/忘れられないあの時」を発表、ディスカッション 復習：クラスメートの作文「歴史的イベント/忘れられないあの時」を再読し、語彙・表現を確認する						
14	吉田 佑亮	【第 14 回】 予習：あらためて専門の面白さを考えておく 授業：自分の専門の面白さを語る（発表/ディスカッションー前半） 復習：新出語彙、表現について確認する						
15	吉田 佑亮	【第 15 回】 予習：あらためて専門の面白さを考えておく 授業：自分の専門の面白さを語る（発表/ディスカッションー後半） 復習：新出語彙、表現について確認する						
授業開始前学習	中級レベルの語彙・文法を身につけておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題（作文）は、提出の翌週に、添削して返却する。							
テキスト・教材	教科書は使用しない。適宜、プリントを配布する。							
参考書	授業時に、適宜紹介する。							
評価の基準と方法	エッセイ・作文 30%、漢字クイズ 30%、授業時の日本語力評価（発表・ディスカッション・ニュース記事等の音読・設問解答等）20%、平常点 20%（授業への取り組み、課題（作文等）提出）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	「日本語 A Ⅲ」「日本事情Ⅲ」。日本語科目は、それぞれが「聞く・話す」「読む・書く」を中心に授業を進めながら、4 技能の力を高めていく。日本事情を知ることが、新聞記事等の内容理解に役立つ。							
その他	授業の進め方やプリント教材の内容は、学生の人数や日本語の力によって変更になる場合がある。学生からの提案も歓迎する。「遅刻 3 回で、欠席 1 回分」「30 分以上の遅刻は、欠席扱い」とする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F03670
科目名称	日本語 AIV	単位数	1.0 単位
英文名称	Japanese AIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中尾 真樹	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中尾 真樹	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	パネルディスカッション、グラフを使った意見表明のスピーチ、ディベート（1対1）を通して、聴解力と口頭表現能力をさらに伸ばすことを目標とする。また、資料の読解、原稿やレポートの作成によって、総合的に日本語力が向上することを目指す。この授業ではディスカッションを行う。		
到達目標	1) 語彙を増やし、話の内容に即した表現ができるようになる。 2) 時事ニュースに親しみ、視野を広くすることができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	中尾 真樹	【第 1 回】 予習：夏期休業中のニュースを見て疑問に思ったことを挙げておく。 授業：夏期休業中、気になったニュースについてコメントする。（発表・ディスカッション） 復習：授業で挙げられたニュースの中で、とくに気になったものをノートにまとめる。	
2	中尾 真樹	【第 2 回】 予習：母国のネットで紹介されている日本のインフラ事情を調べる。 授業：日本のインフラが母国でどのように評価されているかを話し合う。（発表・ディスカッション） 復習：日本のインフラが母国でどのように評価されているかをノートにまとめる。	
3	中尾 真樹	【第 3 回】 予習：日本の自然災害について調べる。 授業：日本の火山活動と災害について。（ディスカッション） 復習：火山活動に関して、中国と日本の事情の相違をまとめる。	
4	中尾 真樹	【第 4 回】 予習：東日本大震災について調べる。 授業：東日本大震災の発生と被害について。（ディスカッション） 復習：東日本大震災の発生当時、海外にどのように情報が伝えられたのかまとめる。	
5	中尾 真樹	【第 5 回】 予習：防災について調べる。 授業：日本の防災意識について。（ディスカッション） 復習：身近なところに見られる災害対策を探してみる。	
6	中尾 真樹	【第 6 回】 予習：自分の発表内容について、あらためて見直す。 授業：各自、日本に関するテーマを決めて発表を行う。（発表・ディスカッション） 復習：ディスカッションの内容をノートにまとめる。	
7	中尾 真樹	【第 7 回】 予習：日本の少子化について調べる。 授業：少子化について。（ディスカッション） 復習：日本の少子化の原因と対策を考える。	
8	中尾 真樹	【第 8 回】 予習：日本の高齢化について調べる。 授業：高齢化社会について。（ディスカッション） 復習：日本と中国における高齢者の生活を比較する。	
9	中尾 真樹	【第 9 回】 予習：「公私」という概念を調べる。 授業：新聞記事「自分の子供の入学式のために仕事を休む教師」について。（ディスカッション） 復習：日本と中国における公私の概念の共通点と相違点を考える。	
10	中尾 真樹	【第 10 回】 予習：日本における夫婦別姓について。 授業：新聞記事「夫婦同姓は合憲」について。（ディスカッション） 復習：夫婦の姓について、各国の実情をまとめる。	
11	中尾 真樹	【第 11 回】 予習：日本の子育てに関する問題を調べる。 授業：新聞記事「子供に無断で触らないで」について。（ディスカッション） 復習：地域社会と子育ての関係について考える。	

12	中尾 真樹	【第 12 回】 予習：放送の公平性に関する政府見解を調べる。 授業：「放送の政治的公平性」について。(ディスカッション) 復習：日本と諸外国のジャーナリズムの政治性を比較する。						
13	中尾 真樹	【第 13 回】 予習：日本における英語の早期教育について調べる。 授業：「小学校における英語教育」について。(ディスカッション) 復習：日本と中国の外国語教育を比較する。						
14	中尾 真樹	【第 14 回】 予習：日本におけるインターネットの普及率を調べる。 授業：若者の生活と IT の関係について。(ディスカッション) 復習：日本と中国の若者の IT 利用の実態を比較する。						
15	中尾 真樹	【第 15 回】 予習：自分の発表内容について、あらためて見直す。 授業：各自、日本に関するテーマを決めて発表を行う。(発表・ディスカッション) 復習：ディスカッションの内容をノートにまとめる。						
授業開始前学習	N1,N2 の知識を復習しておくこと。また、日頃からニュースや新聞を見て、社会問題に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎回のディスカッションについて授業中にフィードバックする。また、期間中、学生によるプレゼンテーションを 2 回実施し、内容、発表方法などについてコメントする。随時小テストを実施し、次回授業にてフィードバックする。							
テキスト・教材	必要に応じてプリントを配布する。							
参考書								
評価の基準と方法	総合的に評価する。発表 60%、ディスカッション 20%、小テスト 20%。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	クラスの数、レベルによって授業内容が変わることもある。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-22	授業コード	F03680
科目名称	日本語 BIV	単位数	1.0 単位
英文名称	Japanese BIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	吉田 佑亮	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	吉田 佑亮	開講時期	2 年
オフィスアワー	－	研究室	－
授業概要	<p>日本語を読む力と書く力をつける。 授業は日本語を読む活動が中心で、課題として作文を課す。 読む活動では、日本語の語彙や表現について学ぶ。そして、内容に関して、 情報や意見を交換する。漢字を読む力を強化するために、読み物の中に出てきた 言葉を使って、漢字クイズを行う。 基本的に日本語 B I →日本語 B II →日本語 B III →日本語 B IV と、レベルが上がる。 必要性、関心、実力に応じた課題が設定されることがある。</p> <p>日本語 BIV では、N2～N1 レベル相当の読解問題を解くことにより、読解力の定着を図る。 また、小説を読み進めることで、読むことの充実感を味わう。 書くことに関しては、エッセイ（随筆）に取り組み、流れのある自然な日本語が作れるようにする。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・N2～N1 の語彙・文法を用いた読解問題が解けるようになる。 ・小説の筋や登場人物の人物描写が理解できるようになる。 ・文章全体の構成力と細かいエピソードを伝える描写力を身につけることを目標とする。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	吉田 佑亮	<p>【第 1 回】 予習：自己紹介（学部・学科、卒業論文のテーマ、卒業後のことなど）の準備、夏休みに取り組んだことについて 話せるようにしておく 授業：授業説明、自己紹介、夏休みに取り組んだことについて発表、ディスカッション 復習：新出語彙・表現について確認する</p>	
2	吉田 佑亮	<p>【第 2 回】 予習：エッセイ「私の青春」を書く 授業：エッセイ「途中下車」を読む、ディスカッション 復習：授業に出てきた漢字・語彙を復習する</p>	
3	吉田 佑亮	<p>【第 3 回】 予習：エッセイ「私の青春」を仕上げる 授業：漢字クイズ、エッセイ「途中下車」を読む、ディスカッション、内容確認（設問形式） 復習：授業に出てきた文法を確認する</p>	
4	吉田 佑亮	<p>【第 4 回】 予習：エッセイ「私の青春」の発表練習をしておく 授業：エッセイ「私の青春」を発表、ディスカッション 復習：クラスメートのエッセイ「私の青春」を再読し、語彙・表現を確認する</p>	
5	吉田 佑亮	<p>【第 5 回】 予習：作文「私の好きな小説」を書く 授業：「鞆」を読む、ディスカッション 復習：授業に出てきた漢字・語彙を復習する</p>	
6	吉田 佑亮	<p>【第 6 回】 予習：作文「私の好きな小説」を仕上げる 授業：漢字クイズ、「鞆」を読む、ディスカッション、内容確認（設問形式） 復習：授業に出てきた文法を確認する</p>	
7	吉田 佑亮	<p>【第 7 回】 予習：作文「私の好きな小説」の発表練習をしておく 授業：作文「私の好きな小説」を発表、ディスカッション 復習：クラスメートの作文「私の好きな小説」を再読し、語彙・表現を確認する</p>	
8	吉田 佑亮	<p>【第 8 回】 予習：作文「私の好きな児童文学」を書く 授業：「わすれ傘」を読む、ディスカッション 復習：授業に出てきた漢字・語彙を復習する</p>	

9	吉田 佑亮	【第 9 回】 予習：作文「私の好きな児童文学」を仕上げる 授業：漢字クイズ、「わすれ傘」を読む、ディスカッション、内容確認（設問形式） 復習：授業に出てきた文法を確認する						
10	吉田 佑亮	【第 10 回】 予習：作文「私の好きな児童文学」の発表練習をしておく 授業：作文「私の好きな児童文学」を発表、ディスカッション 復習：クラスメートの作文「私の好きな児童文学」を再読し、語彙・文法を確認する						
11	吉田 佑亮	【第 11 回】 予習：作文「私の国の代表的な作家」を書く 授業：「鼻」を読む、ディスカッション 復習：授業に出てきた漢字・語彙を復習する						
12	吉田 佑亮	【第 12 回】 予習：作文「私の国の代表的な作家」を仕上げる 授業：漢字クイズ、「鼻」を読む、ディスカッション、内容確認（設問形式） 復習：授業に出てきた文法を確認する						
13	吉田 佑亮	【第 13 回】 予習：作文「私の国の代表的な作家」の発表練習をしておく 授業：作文「私の国の代表的な作家」を発表、ディスカッション 復習：クラスメートの作文「私の国の代表的な作家」を再読し、語彙・文法を確認する						
14	吉田 佑亮	【第 14 回】 予習：ことばを調べておく 授業：「源氏物語（冒頭）」を読む、ディスカッション 復習：授業に出てきた漢字・語彙を復習する						
15	吉田 佑亮	【第 15 回】 予習：ことばを調べておく 授業：漢字クイズ、「源氏物語（冒頭）」を読む、ディスカッション、内容確認（設問形式） 復習：授業に出てきた文法を確認する						
授業開始前学習	日本語 BⅢで学習した内容を復習しておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題（作文）は、提出の翌週に、添削して返却する。							
テキスト・教材	教科書は使用しない。適宜、プリントを配布する。							
参考書	授業時に、適宜紹介する。							
評価の基準と方法	エッセイ・作文 30%、漢字クイズ 30%、授業時の日本語力評価（発表・ディスカッション・ニュース記事等の音読・設問解答等）20%、平常点 20%（授業への取り組み、課題（作文等）提出）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	「日本語 AⅣ」「日本事情Ⅳ」。日本語科目は、それぞれが「聞く・話す」「読む・書く」を中心に授業を進めながら、4 技能の力を高めていく。日本事情を知ることが、新聞記事等の内容理解に役立つ。							
その他	授業の進め方やプリント教材の内容は、学生の人数や日本語の力によって変更になる場合がある。学生からの提案も歓迎する。「遅刻 3 回で、欠席 1 回分」「30 分以上の遅刻は、欠席扱い」とする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-11	授業コード	F03690
科目名称	日本事情 I	単位数	2.0 単位
英文名称	Studies of Japanese Society I	授業区分	講義
科目責任者	木内 英実	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	木内 英実	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 13:00~14:30 水曜日 14:40~16:10 後期 月曜日 13:00~14:30 水曜日 13:00~14:30	研究室	10-620
授業概要	日常生活や大学生活などさまざまな場面でみられる日本の社会と文化について、これまで得てきた知識を確認しながら、さらにそれらを深め、社会の変遷に伴い改めていくことを目的とする。一緒に教科書を読み、トピックについて話し合うほか、自分自身の日本における生活で気づいたことについて発表し、質問や意見を述べ合うなど、コミュニケーションを通してお互いを高めることを重視する。		
到達目標	日本における留学生活に必要な知識として、日本の社会や文化、習慣、教育などを理解することができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	木内 英実	【第 1 回】 予習：これまでの日本での生活を振り返る 授業：全 15 回の授業内容について解説／日本に関する知識確認クイズ実施/意見交換・質疑応答 復習：日本に関する知識確認クイズで不正解だった項目を、再確認する	
2	木内 英実	【第 2 回】 予習：教科書第 1 部「生活 1 住所を覚える」・「生活 5 あなたのまわり」を読む、自分の生活に必要な住所、場所を調べて書き出す 授業：教科書第 1 部「生活 1 住所を覚える」・「生活 5 あなたのまわり」/意見交換 復習：母国と比較する	
3	木内 英実	【第 3 回】 予習：教科書第 1 部「生活 2 電話をかける」を読む、自分のスマホに問題がないか確認する、自分の生活に必要な公衆電話、内線電話などを写メする 授業：教科書第 1 部「生活 2 電話をかける」/意見交換 復習：母国と比較する	
4	木内 英実	【第 4 回】 予習：教科書第 1 部「生活 3 手紙を書く」を読む 授業：教科書第 1 部「生活 3 手紙を書く」・荷物の配送について・季節の手紙を書く/意見交換 復習：母国と比較する	
5	木内 英実	【第 5 回】 予習：教科書第 1 部「生活 4 日本の家に住む」・第 3 部「社会 3 住居」を読む 授業：教科書第 1 部「生活 4 日本の家に住む」・第 3 部「社会 3 住居」/意見交換 復習：母国と比較する	
6	木内 英実	【第 6 回】 予習：教科書第 1 部「生活 6 買い物する」・「生活 7 銀行に行く」・「生活 8 食事に行く」を読む、自分の生活に必要な場所について疑問点を書き出す 授業：教科書第 1 部「生活 6 買い物する」・「生活 7 銀行に行く」・「生活 8 食事に行く」/意見交換 復習：母国と比較する	
7	木内 英実	【第 7 回】 予習：教科書第 1 部「生活 9 乗り物に乗る」を読む 授業：教科書第 1 部「生活 9 乗り物に乗る」・日本の諸車両運転免許証について/意見交換 復習：母国と比較する	
8	木内 英実	【第 8 回】 予習：教科書第 1 部「生活 10 保険に入る」を読む 授業：教科書第 1 部「生活 10 保険に入る」・日本の各種保険について/意見交換 復習：母国と比較する	
9	木内 英実	【第 9 回】 予習：教科書第 1 部「生活 11 仕事をする」・第 3 部「社会 9 労働と賃金」を読む 授業：教科書第 1 部「生活 11 仕事をする」・第 3 部「社会 9 労働と賃金」/意見交換 復習：母国と比較する	
10	木内 英実	【第 10 回】 予習：教科書第 3 部「社会 4 出生率と平均寿命」・「社会 5 ライフサイクル」を読む 授業：教科書第 3 部「社会 4 出生率と平均寿命」・「社会 5 ライフサイクル」/意見交換 復習：母国と比較する	

11	木内 英実	【第 11 回】 予習：教科書第 3 部「社会 6 日本人の一日」・「社会 7 ライフスタイルの変化」を読む、疑問点を書き出す 授業：教科書第 3 部「社会 6 日本人の一日」・「社会 7 ライフスタイルの変化」/意見交換 復習：母国と比較する						
12	木内 英実	【第 12 回】 予習：教科書第 3 部「社会 8 教育」を読む、大学生活についての疑問点を書き出す 授業：教科書第 3 部「社会 8 教育」、ノートテイク、先生の研究室や教育支援センターなど学内機関訪問時のマナー、サークル・クラブ活動、友達づくり 復習：母国と比較する						
13	木内 英実	【第 13 回】 予習：教科書第 3 部「社会 10 資産形成」を読む、疑問点を書き出す 授業：教科書第 3 部「社会 10 資産形成」/意見交換 復習：母国と比較する						
14	木内 英実	【第 14 回】 予習：これまでに見たり参加したりした伝統芸能・祭りを思い出し、その名称を書き出す 授業：伝統芸能・祭り/意見交換 復習：母国と比較する						
15	木内 英実	【第 15 回】 予習：これまでの授業内容を復習する 授業：日本の社会と文化について、自分自身で学び理解したことをまとめる 復習：自身の記述を再確認し、日本の社会と文化について理解を深める						
授業開始前学習	日本の自然、食べ物、行事、人々の生活等、さまざまなことに関心を持って過ごす。母国と比較し、わからないことがあったら調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題を出した場合は、次の回の授業時にフィードバックを行う。課題や授業に関する質問は、GWClassroom 内で随時受け付ける。							
テキスト・教材	「日本事情」プロジェクト『四訂版 話そう考えよう 初級 日本事情』スリーエーネットワーク (2023)							
参考書	佐々木瑞枝『クローズアップ 日本事情 15』ジャパンタイムズ出版(2023)							
評価の基準と方法	平常点 (授業態度・課題) 60%、最終回のレポートを 40%とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		○	◎				△
関連科目	「日本語 A I」「日本語 B I」確かな日本語力を身につけると日本事情を理解しやすくなる。							
その他	受講者数や受講者の日本滞在年数によって、授業内容は変更になる場合がある。 「遅刻 3 回で、欠席 1 回分」「30 分以上の遅刻は、欠席扱い」とする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-11	授業コード	F03700
科目名称	日本事情Ⅱ	単位数	2.0 単位
英文名称	Studies of Japanese Society Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	木内 英実	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	木内 英実	開講時期	1 年
オフィスアワー	前期 火曜日 13:00～14:30 水曜日 14:40～16:10 後期 月曜日 13:00～14:30 水曜日 13:00～14:30	研究室	10-620
授業概要	四季を有する日本の気候的特徴を背景に、日本の歳時記（四季に応じた事物や行事などを列記したもの）に伴う年中行事を中心に、その由来となった昔話、行事にまつわる習慣、日本人の考え方について学ぶ。昔話を読み、歳時記を反映させた日本の伝統文化（華道、香道、和歌、俳句、着物等）を体験し、日本文化を情動と共に理解する。一緒に教科書を読み、トピックについて話し合うほか、質問や意見を述べ合うなどコミュニケーションを通してお互いを高めることを重視する。		
到達目標	日本における留学生活に必要な知識として、日本の社会や文化、習慣、歴史などを理解することができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回 複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	木内 英実	【第 1 回】 予習：これまでに体験した日本の行事や伝統文化について思い出し、それらを書き出す 授業：全 15 回の授業内容について・日本の四季と一年について・日本人の宗教観について/意見交換 復習：母国と比較する	
2	木内 英実	【第 2 回】 予習：教科書「4 月」を読む 授業：教科書「4 月」、桜を詠んだ秀歌、俳句、桜が登場する小説鑑賞/意見交換 復習：花まつり（灌仏会）・お花見について理解したことを口頭で簡単に説明する	
3	木内 英実	【第 3 回】 予習：教科書「5 月」を読む 授業：教科書「5 月」・煎茶をいれる体験・日本人と草つきについて/意見交換 復習：端午の節句（こどもの日）・八十八夜について理解したことを口頭で簡単に説明する	
4	木内 英実	【第 4 回】 予習：教科書「6 月」を読む 授業：教科書「6 月」・米栽培について・祓と禊について/意見交換 復習：衣替え・梅雨・田植え・夏越し・虫送りについて理解したことを口頭で簡単に説明する	
5	木内 英実	【第 5 回】 予習：教科書「7 月」を読む 授業：教科書「7 月」・七夕伝説をもとにした物語、秀歌、俳句鑑賞・日本の暦について/意見交換 復習：七夕・お中元・土用について理解したことを口頭で簡単に説明する	
6	木内 英実	【第 6 回】 予習：教科書「8 月」を読む 授業：教科書「8 月」・盂蘭盆会について・暑中見舞いと残暑見舞いについて/意見交換 復習：母国と比較する・お盆について理解したことを口頭で簡単に説明する	
7	木内 英実	【第 7 回】 予習：教科書「9 月」を読む 授業：教科書「9 月」・月の兎伝説及び夏目漱石「二百十日」鑑賞/意見交換 復習：母国と比較する・二百十日・重陽の節句・十五夜・秋祭り・彼岸（秋分の日）について理解したことを口頭で簡単に説明する	
8	木内 英実	【第 8 回】 予習：教科書「10 月」を読む 授業：教科書「10 月」・神無月と七福神について・「三夕の歌」鑑賞/意見交換 復習：十日夜（亥の子）・えびす講について理解したことを口頭で簡単に説明する	
9	木内 英実	【第 9 回】 予習：教科書「11 月」を読む 授業：教科書「11 月」・通過儀礼と氏神について/意見交換 復習：お酉様・七五三について理解したことを口頭で簡単に説明する	
10	木内 英実	【第 10 回】 予習：教科書「12 月」を読む 授業：教科書「12 月」・年賀状を書く・年末行事について・今年の漢字について/意見交換 復習：成道会・お歳暮・冬至・日本式クリスマスについて理解したことを口頭で簡単に説明する	
11	木内 英実	【第 11 回】 予習：教科書「1 月」を読む 授業：教科書「1 月」・お正月の子供の遊び体験・書き初め体験・年始行事について・歌会始について/意見交換	

		復習：母国と比較する・お屠蘇・お節料理・七草粥・鏡開き・小正月・成人式について理解したことを口頭で簡単に説明する						
12	木内 英実	【第12回】 予習：教科書「2月」を読む 授業：教科書「2月」・鬼、妖怪、幽霊の違いについて・豆まき体験/意見交換 復習：母国と比較する・節分・事始め・初午・涅槃会について理解したことを口頭で簡単に説明する						
13	木内 英実	【第13回】 予習：教科書「3月」を読む 授業：教科書「3月」・ひな祭り体験/意見交換 復習：母国と比較する・桃の節句・二月堂お水取り・彼岸（春分の日）・イースターについて理解したことを口頭で簡単に説明する						
14	木内 英実	【第14回】 予習：教科書巻末「十二支」「通過儀礼」を読む 授業：教科書巻末「十二支」「通過儀礼」・「十二支の物語」鑑賞/意見交換 復習：母国と比較する						
15	木内 英実	【第15回】 予習：これまでの授業内容を復習する 授業：教科書で学んだ日本の行事の中で1, 2つの年中行事を取り上げ、母国の行事と比較してその相違点をまとめる 復習：自身の記述を再確認し、教科書と照らし合わせて日本の社会と文化について理解を深める						
授業開始前学習	日本の自然、食べ物、行事、人々の生活等、さまざまなことに関心を持って過ごす。母国と比較し、わからないことがあったら調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題を出した場合は、次の回の授業時にフィードバックを行う。課題や授業に関する質問は、GWClassroom 内で随時受け付ける。							
テキスト・教材	萌文書林編集部編『子どもに伝えたい年中行事・記念日』＜小型普及版＞ 萌文書林(2012)							
参考書	佐々木瑞枝『クローズアップ日本事情 15』ジャパントイムズ出版(2023)							
評価の基準と方法	平常点（授業態度・課題）60%、最終回のレポートを40%とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		○	◎				△
関連科目	「日本語A II」「日本語B II」確かな日本語力を身につけると日本事情を理解しやすくなる。							
その他	受講者数や受講者の日本滞在年数によって、授業内容は変更になる場合がある。 「遅刻3回で、欠席1回分」「30分以上の遅刻は、欠席扱い」とする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-12	授業コード	F03710
科目名称	日本事情Ⅲ	単位数	2.0 単位
英文名称	Studies of Japanese Society Ⅲ	授業区分	講義
科目責任者	安井 裕司	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	安井 裕司	開講時期	2 年
オフィスアワー	前期 水曜日 13:00～14:30 水曜日 14:40～16:10 後期 水曜日 13:00～14:30 水曜日 14:40～16:10	研究室	16-306
授業概要	日本事情について日本学の基本書・古典を用いて、学問的に把握し、また、今日、日本が直面している様々な課題について分析します。 講義では、授業内容についてそれぞれの母国（留学生の出身国）との比較を含め、議論していきます。 授業内容に沿って各自が更に深く調べ、短時間のプレゼンテーションもして頂きます。		
到達目標	日本学の文脈から日本の特徴を把握し、同時にその普遍性も考えられるようになることを目標にします。 日本の特徴を母国（留学生の出身国）の社会や民族文化と比較し、日本と母国、両方を客観的にみられるようになることもターゲットとします。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無	全授業回数	15 回
			複数教員の場合の 授業形態
授業 回数	担当者	授業の内容	
1	安井 裕司	予習：「お花見」についてニュースを見る。機会があれば「お花見」に行ってみる 授業：「お花見」の伝統と「桜」と日本人 復習：自国においてどのような「花」がシンボルとなり、自国の人々とどのようにかかわりがあるのかを考えておく	
2	安井 裕司	予習：R.ベネディクトの『菊と刀』の「恩」と「義理」の部分について読む 授業：『菊と刀』にみる日本人の【恩】と【義理】 復習：授業を纏め、母国や日本以外の国の人々の考え方に「恩」と「義理」に相当するものがあるかを考える。	
3	安井 裕司	予習：R.ベネディクトの『菊と刀』の「恥」の部分について読む 授業：『菊と刀』にみる日本人の【恥】と【罪】 復習：「恥」を重んずる人々（社会）と「罪」を重んずる人々（社会）の違いに自国がどちらに近いかを考えておく	
4	安井 裕司	予習：土居健郎『甘えの構造』を読む 授業：日本人と「甘えの構造」 復習：授業を纏め、自国の社会に「甘え」の構造があるかどうかを考える	
5	安井 裕司	予習：中根千枝『タテ社会の人間関係』を読んでおく 授業：日本人と「タテ社会」の過去・現在・未来 復習：講義を纏め、自国の社会が「タテ社会」なのかどうかを考える	
6	安井 裕司	予習：山本七平『空気の研究』を読んでおく 授業：日本社会の「空気」とは何か 復習：授業の内容を纏め、それぞれの母国における社会的な意味の「空気」が日本と異なるかどうかを考えておく	
7	安井 裕司	予習：阿部謹也『「世間」とは何か』を読む 授業：日本における「世間」とは何か 復習：授業を纏め、それぞれの母国に「世間」的なものがあるかどうかを考えておく	
8	安井 裕司	予習：エズラ・ヴォーゲル『ジャパン・アズ・ナンバーワン』を読んでおく 授業：「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と日本型経営論 復習：1980 年代の日本の経済と「日本型経営」を調べておく	
9	安井 裕司	予習：カレル・G・ファン・ウォルフレン『日本 権力構造の謎』、ポール・ボネ『不思議の国ニッポン』論を読んでおく 授業：政治・社会における日本特殊論 復習：日本特殊論を語る著作を図書館で調べて読んでおく	
10	安井 裕司	予習：内田樹『日本辺境論』を読んでおく 授業：日本人の「中心性」の考察 復習：講義を纏め、それぞれの母国の自民族中心主義を考える	
11	安井 裕司	予習：杉本良夫『日本人をやめる方法』 授業：「日本人をやめる方法」で著者が主張したい内容を抽出し、日本人とは何かを考える 復習：授業を纏め、それぞれの母国の〇〇人であることは何かを考える	
12	安井 裕司	予習：D.ドーア『江戸時代の教育』、R.N.ベラー『徳川時代の教育』を読んでおく 授業：近代化と日本の教育 復習：それぞれの母国の近代化と教育の関係を考える	
13	安井 裕司	予習：吉田裕『日本の軍隊』を読んでおく 授業：「侍」精神と日本の近代 復習：授業を纏め、今日の日本人にある「侍」意識を考える	

14	安井 裕司	予習：小林慶一郎『日本の経済政策』を読んでおく 授業：グローバル化と日本経済の停滞：バブル経済崩壊後の「失われた 30 年」 復習：なぜ、日本では 30 年間も経済停滞が続いているのか授業からそれぞれ考えておく						
15	安井 裕司	予習：日本の少子高齢化問題と外国人労働者の受け入れについて調べておく 授業：少子高齢化と多文化共生社会 復習：15 回の授業を復習し、定期試験に備える						
授業開始前学習	各回の関連文献、書籍を読んでおいて下さい。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題の成果を授業での質疑応答で確認します。							
テキスト・教材	特になし。							
参考書	随時紹介します。							
評価の基準と方法	受講意欲・態度 30%、定期試験 70%。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		○	◎				△
関連科目	特になし							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目分類	100-110-12		授業コード	F03720	
科目名称	日本事情Ⅳ		単位数	2.0 単位	
英文名称	Studies of Japanese Society Ⅳ		授業区分	講義	
科目責任者	安井 裕司		必修・選択	履修ガイド参照	
担当教員	安井 裕司		開講時期	2 年	
オフィスアワー	前期 水曜日 13:00～14:30 水曜日 14:40～16:10 後期 水曜日 13:00～14:30 水曜日 14:40～16:10		研究室	16-306	
授業概要	日本社会、日本文化について研究書、新聞記事、映像作品、漫画などを通じて学びます。 講義では、授業内容についてそれぞれの母国（留学生の出身国）との比較を含め、議論していきます。 授業内容に沿って各自が更に深く調べ、短時間のプレゼンテーションも行って頂きます。				
到達目標	学術書や代表的な映像作品や漫画を通じて日本の文化、社会を理解し、説明できるようになることを目標にします。 日本が直面している社会的課題を深く理解し、客観的に把握できるようになることもターゲットとします。				
アクティブ・ラーニング 型授業	有	全授業回数	15 回	複数教員の場合の 授業形態	
授業 回数	担当者	授業の内容			
1	安井 裕司	【第 1 回】 予習：ロバート ホワイティング『菊とバット』を読んでおく 授業：日本人とスポーツ(1)：武道としての野球：『菊とバット』論 復習：授業を振り返り、米国の「ベースボール」が日本にきて「野球」になったこと（日本化されたこと）を理解する			
2	安井 裕司	【第 2 回】 予習：西尾克洋『スポーツとしての相撲論』；内館牧子『女はなぜ土俵にあげられないのか』等、相撲に関する本を読んでおく 授業：日本人とスポーツ(2)：ウイングブルド化する「相撲」 復習：外国人力士が活躍しながら様々な課題と直面する相撲界を考える			
3	安井 裕司	【第 3 回】 予習：漫画『キャプテン翼』と日本のサッカーに関する論文や新聞記事を読んでおく 授業：日本人とスポーツ(3)：「キャプテン翼」とサッカー日本代表「侍」 復習：授業を振り返り、サッカーでは大国とは見なされていなかった日本から生まれた「キャプテン翼」がどれほど海外に影響を与えてきたかを考える			
4	安井 裕司	【第 4 回】 予習：黒澤明監督作品の映画『七人の侍』を観ておく 授業：映画から日本社会を考える(1)：黒澤明作品の「侍」の普遍性 復習：授業を振り返り、映画『七人の侍』の米国版リメイク映画『荒野の七人』を観る。			
5	安井 裕司	【第 5 回】 予習：小津安二郎監督の映画『東京物語』を観ておく 授業：映画から日本社会を考える(2)：小津安二郎作品にみる「結婚」と「家族」 復習：授業を纏め、可能ならば『東京物語』以外の小津作品も観ておく			
6	安井 裕司	【第 6 回】 予習：映画『男はつらいよ』のシリーズ作品を一作品は観ておく 授業：映画から日本社会を考える(3)：『男はつらいよ』の義理人情 復習：講義を振り返り、映画『男はつらいよ』に描かれる日本人性を考える			
7	安井 裕司	【第 7 回】 予習：宮崎駿監督の映画作品のうち日本が舞台のもの（例えば『千と千尋の神隠し』、『となりのトトロ』）と、日本以外が舞台となっているもの（例えば『魔女の宅急便』）からそれぞれ 1 作品ずつ観ておく 授業：宮崎駿が描く世界と日本 復習：講義の内容を振り返り、更に宮崎監督作品を観ておく			
8	安井 裕司	【第 8 回】 予習：野坂昭如の小説『火垂るの墓』を読む 授業：映画『火垂るの墓』にみる第二次世界大戦下の「戦争と世間」 復習：高畑勲監督の映画『火垂るの墓』を観る（先に映画を観て、復習として小説を読んでもよい）			
9	安井 裕司	【第 9 回】 予習：手塚治虫の漫画作品を読むか、アニメ作品（例えば『鉄腕アトム』）を観ておく 授業：漫画から TV アニメへ：手塚治虫作品と日本 復習：授業の内容を纏め、更に手塚の漫画作品を読む（あるいは TV アニメ作品を観る）			
10	安井 裕司	【第 10 回】 予習：白石さや『グローバル化した日本のマンガとアニメ』を読んでおく 授業：ドラえもんから昭和の普遍性を考える 復習：漫画『ドラえもん』を読む、あるいはアニメ『ドラえもん』を観る			

11	安井 裕司	【第 11 回】 予習：長谷川町子『「サザエさん」の昭和図鑑』を読んでおく 授業：シンボルとしての大家族：少子化時代の「サザエさん」の家族像 復習：講義を纏め、TV アニメ『サザエさん』を観る						
12	安井 裕司	【第 12 回】 予習：日本の出生率の変化について調べておく 授業：ジェンダーと日本社会(1)：女性の社会進出と出生率 復習：授業を纏め、何が日本の女性の社会進出の妨げになっているかを考える						
13	安井 裕司	【第 13 回】 予習：ワークライフバランスについて調べておく 授業：ジェンダーと日本社会(2)：ワークライフバランス 復習：授業を纏め、何が日本のワークライフバランスの課題になっているか自分自身で考える						
14	安井 裕司	【第 14 回】 予習：日本の過去の大地震について調べておく 授業：震災国としての日本：阪神淡路大震災、東日本大震災が日本社会へ与えた影響 復習：講義を受けて、日本でどのような防災対策が考えられているかを纏めておく						
15	安井 裕司	【第 15 回】 予習：コロナ前の日本とコロナ後の日本がどのように変化したかを調べておく 授業：コロナ後の日本社会 復習：過去 15 回の講義を纏め、定期試験に備える						
授業開始前学習	新聞、テレビやインターネットで話題になっている日本のニュースを見て考える習慣を身につけて下さい。 日本の映画を観る、小説、漫画を読む際に社会的な背景を考察するようにして下さい。							
授業内課題のフィードバックの方法	予習学習の成果を授業での質疑応答で確認します。							
テキスト・教材	なし。							
参考書	随時紹介します。							
評価の基準と方法	受講意欲・態度 30%、定期試験 70%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい 教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニ ケーション力と社会性を身に つける		社会的責務を果たすこと のできる専門力と判断力を身 につける		文化の創造的担い手となる ための技術力と実践力を身 につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニ ケーション 力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		○	◎				△
関連科目	特になし							
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								